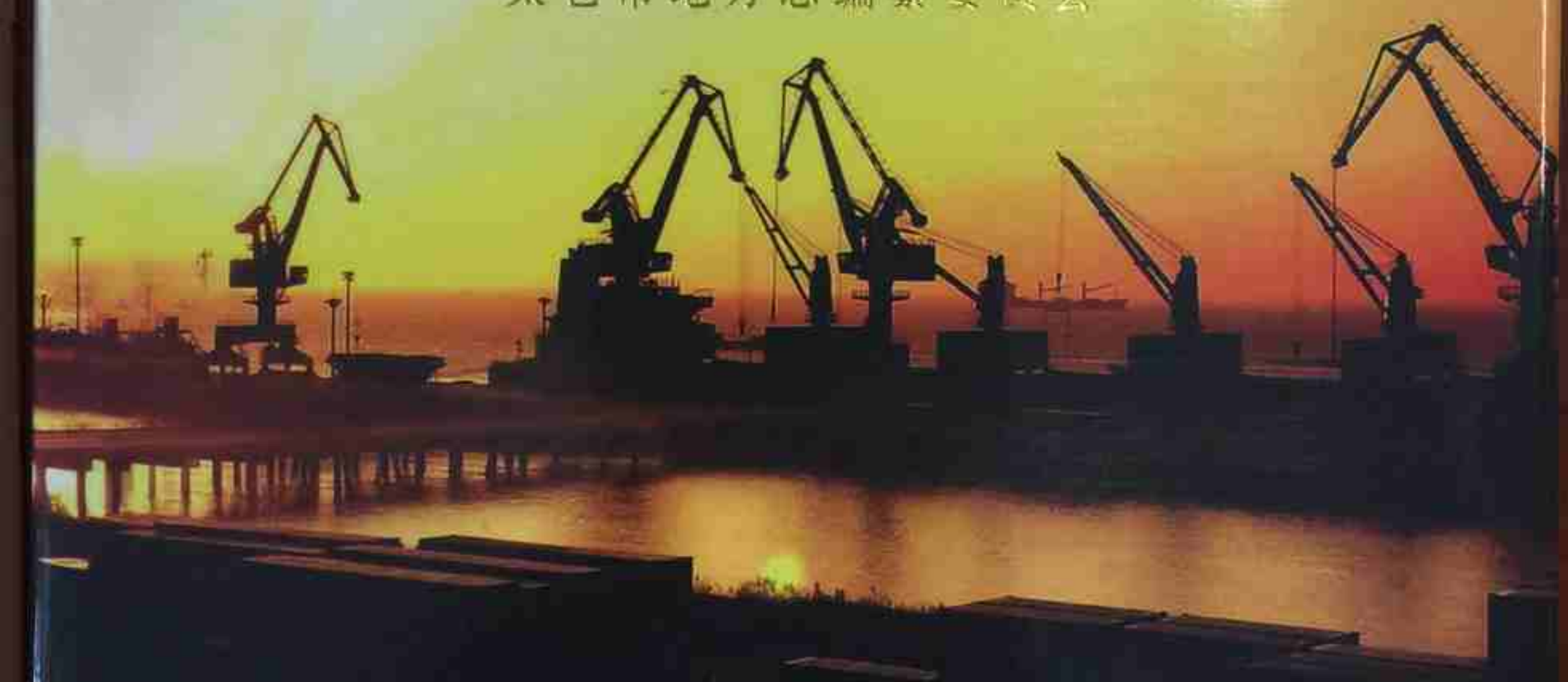
太仓市志

TAI CANG SHI ZHI

(1986~2005)

（上册）

太仓市地方志编纂委员会



方志出版社

总　目　录

卷一　建置区划 ……（061）

卷二　自然环境 ……（073）

卷三　环境保护 ……（109）

卷四　国土资源 ……（129）

卷五　人　口 ……（171）

卷六　基础设施 ……（209）

卷七　江苏省太仓港经济开发区 ……（293）

卷八　开发开放 ……（329）

卷九　农　业 ……（361）

卷十　工　业 ……（409）

卷十一　服务业 ……（475）

卷十二　综合经济管理 ……（601）

卷十三　中国共产党太仓市委员会 ……（715）

卷十四　太仓市人民代表大会 ……（799）

卷十五　太仓市人民政府 …（827）

卷十六　政协太仓市委员会 ……（903）

卷十七　民主党派　工商联　人民团体 ……（917）

卷十八　公安　司法　军事 ……（953）

卷十九　科　技 ……（1017）

卷二十　教　育 ……（1037）

卷二十一　文　化 ……（1079）

卷二十二　卫　生 ……（1133）

卷二十三　体　育 ……（1175）

卷二十四　民　政 ……（1197）

卷二十五　人民生活 ……（1237）

卷二十六　精神文明　风尚习俗 ……（1249）

卷二十七　方　言 ……（1281）

卷二十八　乡镇概览 ……（1311）

卷二十九　人　物 ……（1401）

上　册　目　录

概　述

概　述 …… (003)

大事记

大事记 …… (013)

卷一　建置区划

一、建置沿革 …… (063)
境　域 …… (063)
沿　革 …… (063)
二、区　划 …… (064)
乡　镇 …… (064)
村 …… (065)
社　区 …… (071)

卷二　自然环境

一、地形地貌 …… (075)
二、气　候 …… (075)
气候特征 …… (075)
【春　季】 …… (075)
【夏　季】 …… (076)
【秋　季】 …… (076)

【冬　季】……(076)
气候要素 ……(077)
【气　温】……(077)
【降　水】……(078)
【日　照】……(079)
【风】……(080)
【雷　暴】……(082)
【霜】……(082)
【雪】……(082)
【雾】……(082)
【相对湿度】……(082)
三、水　文 ……(083)
河　流 ……(083)
【主要内河】……(083)
【地下水】……(086)
长江潮位 ……(086)
四、土　壤 ……(088)
种类及分布 ……(088)
地力及分布 ……(089)
养分及分布 ……(090)
【有机质】……(090)
【全　氮】……(091)
【有效磷】……(091)
【速效钾】……(092)
土壤环境质量状况 ……(094)
五、动植物 ……(094)
植　物 ……(094)
【树木类】……(095)
【花卉类】……(097)
【药材类】……(099)

【杂草类】……（100）
动　物 ……（102）
【脊椎类】……（102）
【节肢类】……（103）
【软体类】……（104）
【环节类】……（104）
六、自然灾害 ……（104）
气象灾害 ……（104）
【台　风】……（104）
【洪　涝】……（106）
【干　旱】……（107）
【龙卷风】……（107）
【雷雨冰雹】……（107）
地质灾害 ……（108）
【地　震】……（108）

卷三　环境保护

一、环境质量 ……（111）
大气环境 ……（111）
【大气质量】……（111）
【酸　雨】……（113）
水环境 ……（113）
【饮用水质量】……（113）
【地表水质量】……（113）
声环境 ……（114）
【功能区声环境】……（114）
【区域声环境】……（114）
【交通道路声环境】……（115）
二、环境污染 ……（115）

水污染 …… (115)
大气污染 …… (120)
三、污染治理 …… (122)
水污染治理 …… (122)
大气污染治理 …… (123)
噪声治理 …… (124)
固体废物处置 …… (124)
四、环境监测 …… (125)
监测设备 …… (125)
大气监测 …… (125)
工业废水监测 …… (126)
工业废气监测 …… (126)
地表水监测 …… (126)
噪声监测 …… (127)
五、环境管理 …… (127)
宣传教育 …… (127)
排污费征收 …… (128)

卷四　国土资源

一、土地资源与利用 …… (131)
调查测定 …… (132)
现状变更 …… (133)
二、土地管理 …… (135)
总体规划 …… (135)
【乡镇规划】 …… (135)
【市级规划】 …… (136)
耕地保护 …… (136)
【基本农田保护】 …… (136)
【土地复垦整理】 …… (138)

建设用地管理 …… (140)
【用地审批】 …… (140)
【征地补偿安置】 …… (145)
【建设用地清理】 …… (152)
土地使用制度 …… (153)
【国有土地使用权】 …… (153)
【建设用地有偿使用】 …… (156)
【经营性用地公开出让】 …… (156)
【农村集体建设用地使用权流转】 …… (159)
【土地税费】 …… (159)
地籍管理 …… (160)
【地籍调查】 …… (160)
【登记发证】 …… (160)
【定级估价】 …… (161)
执法监察 …… (166)
【监察网络】 …… (166)
【法制宣传】 …… (166)
【执法检查】 …… (167)
【信访受理】 …… (167)
【创建活动】 …… (167)
三、水资源 …… (168)
水资源量 …… (168)
水质评价 …… (168)
四、水资源保护 …… (170)
河流水污染控制 …… (170)
地下水超采控制 …… (170)

卷五　人　口

一、人口总量 …… (173)

数　量 …… (173)
分　布 …… (174)
密　度 …… (176)
二、人口结构 …… (177)
性　别 …… (177)
【户籍人口性别构成】 …… (177)
【分年龄段性别构成】 …… (178)
【城镇人口性别构成】 …… (179)
年　龄 …… (179)
民　族 …… (181)
文　化 …… (183)
职　业 …… (184)
姓　氏 …… (186)
三、人口变动 …… (190)
自然增减 …… (190)
迁徙流动 …… (191)
外来人口 …… (192)
四、人口控制 …… (194)
宣传教育 …… (194)
【媒体宣传】 …… (194)
【文化宣传】 …… (195)
【《公开信》纪念活动】 …… (196)
【骨干培训】 …… (197)
技术服务 …… (197)
【避孕节育】 …… (197)
【家庭保健】 …… (199)
生育政策 …… (201)
【晚婚晚育规定】 …… (201)
【少生及奖励规定】 …… (201)
【照顾再生一个孩子的规定】 …… (203)

流动人口 …… (204)
【管　理】 …… (204)
【服　务】 …… (204)
专　记 …… (205)
中国生殖健康家庭保健培训中心 …… (205)

卷六　基础设施

一、城市建设 …… (211)
城市规划 …… (212)
【总体规划】 …… (212)
【规划管理】 …… (213)
旧城改造 …… (214)
市政设施 …… (215)
【街　道】 …… (215)
【城区跨河桥梁】 …… (218)
【污水处理】 …… (218)
公用事业 …… (219)
【公共交通】 …… (219)
【供　水】 …… (220)
【供　气】 …… (220)
【路　灯】 …… (221)
园林绿化 …… (221)
【公　园】 …… (221)
【中心广场】 …… (222)
【沿河风景线】 …… (222)
环境卫生 …… (223)
【城区保洁】 …… (223)
【环卫设施】 …… (224)
城市管理 …… (225)

【市容管理】……(225)
【市政设施管理】……(226)
二、交　通……(227)
公　路……(227)
【高速公路】……(228)
【国　道】……(229)
【省　道】……(230)
【县(市)道】……(231)
【专用公路】……(233)
【乡(镇)、村道】……(234)
水　路……(237)
【航　道】……(237)
【航道疏浚整治】……(239)
【渡　口】……(241)
【内河港口】……(243)
桥　梁……(244)
【公路桥梁】……(245)
【航道桥梁】……(256)
【农村桥梁】……(261)
三、港　口……(262)
太仓港……(262)
【码头泊位】……(262)
【锚　地】……(264)
【仓储堆场】……(265)
浏河渔港……(265)
【苏州海发渔业有限公司】……(266)
【太仓市幸福海洋渔业公司】……(267)
【浏河镇前进渔业社】……(267)
四、邮　政……(268)
邮　路……(268)

【邮运邮路】……（268）
【投递邮路】……（269）
设　备……（270）
网点改造……（271）
五、电　信……（273）
电报通讯设施……（273）
固定电话通讯设施……（273）
【电路设施】……（273）
【机房设备】……（274）
【管道设施】……（276）
移动通讯设施……（276）
【江苏移动太仓分公司】……（276）
【中国联通太仓公司】……（277）
六、水利设施建设……（278）
农田水利……（278）
【农田水利工程】……（278）
【河道治理】……（279）
防洪排涝……（280）
【防洪工程】……（280）
【排涝工程】……（282）
饮水工程……（283）
【城市饮水工程】……（283）
【农村饮水工程】……（284）
七、电　力……（284）
发电企业……（285）
【华能电厂】……（285）
【环保电厂】……（286）
【国华电厂】……（286）
【玖龙纸业热电厂】……（286）
【协鑫热电厂】……（286）

【宏达热电厂】……(287)
【调峰电厂】……(287)
【岳王电厂】……(287)
【百科热电分厂】……(287)
【金龙热电分厂】……(288)
【针织热电分厂】……(288)
【潮汐电站】……(288)
【垃圾焚烧电厂】……(288)
电网改造……(289)
【输电设施】……(289)
【变电设施】……(289)
【配电设施】……(291)
【农电改造】……(291)

卷七　江苏省太仓港经济开发区

一、概　况……(295)
二、港　区……(297)
港口建设……(297)
【自然条件】……(297)
【功能定位】……(298)
【组团布局】……(298)
【码头泊位】……(300)
港区开发……(301)
【首期启动区】……(301)
【远太国际城】……(302)
【围滩吹填】……(303)
【配套设施】……(304)
【招商引资】……(305)
专　记……(307)

凤凰号下西洋　航海神话续新篇 …… (307)
三、新　区 …… (310)
开发规划 …… (311)
基础设施 …… (312)
载体建设 …… (317)
【同济科技园】 …… (317)
【外贸创业园】 …… (318)
【科技创业园】 …… (318)
【软件园】 …… (318)
招商引资 …… (319)
【德企招商】 …… (320)
专　记 …… (324)
德资高新技术企业集聚太仓 …… (324)

卷八　开发开放

一、招商引资 …… (331)
政策措施 …… (331)
招商活动 …… (333)
利用外资 …… (335)
【引资国别与地区】 …… (336)
【外资贡献】 …… (337)
二、经济协作 …… (337)
机　构 …… (337)
技术协作 …… (337)
区域合作 …… (338)
三、对外贸易 …… (340)
出口贸易 …… (340)
【外贸商品收购】 …… (340)
【自营出口】 …… (340)

【出口类别】……(340)
【出口国别与地区】……(341)
进口贸易……(341)
四、外经合作……(341)
五、口岸管理……(342)
海　关……(343)
【机　构】……(343)
【货运监管】……(344)
【关税征收】……(347)
【缉私稽查】……(348)
边　检……(348)
【机　构】……(348)
【边防检查】……(349)
海　事……(350)
【机　构】……(350)
【文明航区创建】……(350)
【服务太仓港】……(352)
【基础建设】……(352)
检验检疫……(352)
【机　构】……(352)
【商品检验】……(353)
【卫生检疫】……(355)
【动植物检疫】……(357)
【认证认可】……(357)
专　记……(358)
接轨上海……(358)

卷九　农　业

一、种植业……(363)

耕作制度 …… (363)
作物种植 …… (364)
【水　稻】…… (364)
【三　麦】…… (365)
【棉　花】…… (366)
【油　菜】…… (366)
【大　蒜】…… (367)
【蔬　菜】…… (367)
【食用菌】…… (371)
【杂　粮】…… (371)
【大　豆】…… (372)
【西　瓜】…… (372)
【甜　瓜】…… (372)
种　子 …… (372)
【良种繁育基地】…… (372)
【良种繁育】…… (373)
【种子经营】…… (373)
植物保护 …… (375)
【病虫害】…… (375)
【病虫测报】…… (377)
【病虫防治】…… (378)
肥　料 …… (379)
【有机肥】…… (379)
【无机肥】…… (380)
农业机械 …… (380)
【农用机械】…… (381)
【农机作业】…… (382)
二、林　业 …… (383)
资　源 …… (383)
造林绿化 …… (383)

【农田林网】……(383)
【城镇绿化】……(384)
【公路绿化】……(384)
【苗木生产】……(385)
【义务植树】……(385)
古树名木 ……(385)
果　树 ……(390)
蚕　桑 ……(390)
【生产形式】……(390)
【面积与产量】……(391)
【布局与品种】……(391)
三、畜牧业 ……(393)
畜禽品种 ……(393)
梅山猪保种 ……(394)
畜禽饲养 ……(394)
【猪】……(394)
【牛】……(395)
【兔】……(395)
【羊】……(395)
【鸡】……(395)
【鸭】……(396)
【其　他】……(396)
养　蜂 ……(396)
疫病防治 ……(397)
四、渔　业 ……(398)
水产捕捞 ……(398)
【海洋捕捞】……(398)
【长江捕捞】……(399)
【内河捕捞】……(400)
淡水养殖 ……(400)

【生产组织】……（400）
【养殖形式与面积】……（401）
【养殖品种】……（401）
【鱼苗繁育】……（402）
【河蚌育珠】……（402）
水产品产量 ……（402）
五、农业产业化 ……（403）
农业资源开发 ……（403）
龙头企业 ……（405）
现代农业园区 ……（406）
【太仓市现代农业开发园区】……（406）
【休闲农业】……（407）
农产品质量建设 ……（407）
【标准化建设】……（407）
【认　证】……（407）
【商标注册】……（407）
【名牌农产品】……（408）
【蔬菜市场准入】……（408）
农产品市场 ……（408）

卷十　工　业

一、概　况 ……（411）
二、工业经济结构 ……（412）
所有制结构 ……（413）
【国有、大集体企业】……（413）
【乡镇工业】……（415）
【民营工业】……（416）
【外资工业】……（417）
产业结构 ……（418）

区域结构 …… (421)
三、制造业 …… (423)
纺织服装 …… (423)
【棉　纺】 …… (424)
【织　造】 …… (424)
【服装服饰】 …… (426)
【化　纤】 …… (428)
机电冶金 …… (429)
【冶金工业】 …… (429)
【电子工业】 …… (430)
【机械工业】 …… (430)
【金属制品业】 …… (433)
粮油加工业 …… (434)
食品加工业 …… (434)
饮料制造业 …… (435)
木材加工业 …… (435)
家具制造业 …… (436)
造纸及纸制品业 …… (436)
印刷业 …… (437)
皮革制品业 …… (437)
塑料制品业 …… (438)
编　织 …… (439)
化工医药、建材 …… (439)
【化工医药业】 …… (439)
【建材业】 …… (440)
四、电力　燃气　热能 …… (441)
电力生产供应 …… (441)
【电力生产】 …… (441)
【电网负荷】 …… (442)
【社会用电】 …… (443)

【电力管理】……（444）
【同电同价】……（445）
专 记 ……（446）
全国第一个农村电气化示范县 ……（446）
燃气供应 ……（447）
热能供应 ……（449）
五、建筑业 ……（450）
房屋和土木工程建筑 ……（450）
【建筑队伍】……（450）
【建筑工作量】……（452）
【公共建筑】……（453）
【商品房建筑】……（453）
【农房建筑】……（454）
【施工技术】……（454）
【劳务输出】……（455）
建筑安装 ……（455）
建筑装饰 ……（456）
【外墙装饰】……（456）
【室内装饰】……（456）
建筑业管理 ……（457）
【工程质量管理】……（457）
【定额及技术管理】……（460）
【工程安全管理】……（460）
【资质管理】……（461）
六、工业管理 ……（461）
技术改造 ……（461）
企业管理 ……（464）
【人才培训】……（464）
【基础管理】……（465）
【质量管理】……（465）

管理体制 …… (466)
【综合管理部门】 …… (466)
【行业管理部门】 …… (466)
企业改制 …… (467)
【概　况】 …… (467)
【重点企业改制】 …… (468)
重点企业选介 …… (469)
【太仓利泰纺织有限公司】 …… (469)
【江苏仓环铜业股份有限公司】 …… (470)
【江苏新雅鹿集团有限公司】 …… (470)
【江苏香塘集团有限公司】 …… (470)
【江苏申久化纤有限公司】 …… (471)
【江苏省长江石油化工有限公司】 …… (471)
【苏州华苏塑料有限公司】 …… (471)
【克恩—里伯斯(太仓)有限公司】 …… (471)
【苏州碧辟液化石油气有限公司】 …… (472)
【舍弗勒(中国)有限公司】 …… (472)
【埃克森美孚(太仓)石油有限公司】 …… (473)
【特灵空调器有限公司】 …… (473)
【耐克(苏州)体育用品有限公司】 …… (474)
【玖龙纸业(太仓)有限公司】 …… (474)

卷十一　服务业

一、交通运输 …… (477)
陆　运 …… (477)
【汽车站】 …… (477)
【旅客运输】 …… (479)
【货物运输】 …… (483)
【驾驶员培训与车辆维修】 …… (485)
【道路运输管理】 …… (486)

水　运 …… (488)
【水路客运】 …… (488)
【水路货运】 …… (491)
【太海汽渡渡运】 …… (493)
【内河港口搬运装卸】 …… (494)
【水路运输管理】 …… (495)
港　口 …… (497)
【航线航班】 …… (497)
【港口生产】 …… (498)
二、信息传输 …… (498)
电　报 …… (499)
固定电话 …… (500)
【太仓电信】 …… (500)
【小灵通】 …… (502)
【中国铁通太仓局】 …… (502)
移动通信 …… (503)
【江苏移动太仓分公司】 …… (503)
【中国联通太仓公司】 …… (504)
无线寻呼 …… (505)
【邮电寻呼】 …… (505)
【联通寻呼】 …… (505)
【机关寻呼】 …… (506)
互联网 …… (506)
【信息港宽带】 …… (507)
【电信宽带】 …… (507)
【网通宽带】 …… (508)
邮政业务 …… (508)
计算机 …… (510)
【计算机培训】 …… (510)
【软件开发与服务】 …… (510)
三、商业贸易 …… (511)

流通体制改革 …… (511)
【物资体制改革】 …… (511)
【供销体制改革】 …… (513)
【商业体制改革】 …… (516)
【贸易体制改革】 …… (518)
【粮油体制改革】 …… (520)
经营网点 …… (522)
【概　况】 …… (522)
【商贸企业选介】 …… (525)
生产资料 …… (528)
【农业生产资料】 …… (528)
【石　油】 …… (529)
【煤　炭】 …… (530)
【木　材】 …… (530)
【水　泥】 …… (531)
【金属材料】 …… (531)
【化工原料】 …… (532)
【机电设备】 …… (533)
【废旧物资回收】 …… (534)
生活资料 …… (535)
【食品、糖酒】 …… (535)
【日用百货】 …… (536)
【纺织品、服装、鞋帽】 …… (537)
【五金、交电】 …… (538)
【计算机及其他自动化办公设备】 …… (540)
【汽　车】 …… (540)
【文化体育用品】 …… (541)
【珠宝饰品】 …… (541)
【药　品】 …… (542)
【中草药】 …… (545)
【果　品】 …… (545)

粮油棉购销 …… (546)
【粮油购销网点】 …… (546)
【粮油收购】 …… (546)
【粮油供应】 …… (548)
【粮油储备调运】 …… (550)
【饲料经营】 …… (553)
【粮油批发市场】 …… (554)
【棉花收购】 …… (554)
专卖商品 …… (555)
【烟　草】 …… (555)
【食　盐】 …… (557)
副食品供应 …… (559)
【蔬　菜】 …… (559)
【肉、禽、蛋】 …… (559)
【水产品】 …… (560)
社会服务业 …… (561)
【餐　饮】 …… (561)
【宾　馆】 …… (562)
【理发美容】 …… (563)
【洗　浴】 …… (563)
【日用修理】 …… (563)
【照相扩印】 …… (564)
四、旅　游 …… (564)
旅游资源与产品 …… (564)
【公　园】 …… (564)
【名园故居】 …… (565)
【元代古桥】 …… (566)
【古镇沙溪】 …… (566)
【宗教寺庙】 …… (568)
【生态农业景观】 …… (569)
【太仓一日游线路】 …… (569)

旅游服务 …… (569)
【旅行社与星级饭店】 …… (569)
【风味食品】 …… (571)
【特色产品】 …… (571)
旅游节庆 …… (572)
【郑和航海节】 …… (572)
【江海河三鲜美食节】 …… (573)
旅游管理 …… (573)
【行业管理】 …… (573)
【中国优秀旅游城市创建】 …… (573)
五、金　融 …… (574)
金融体制改革 …… (574)
银　行 …… (575)
【机　构】 …… (575)
【概　况】 …… (576)
【储蓄业务电子化】 …… (578)
【贷　款】 …… (578)
【结　算】 …… (581)
【外汇业务】 …… (582)
【货　币】 …… (582)
【金融监管】 …… (583)
保　险 …… (584)
【机　构】 …… (584)
【财产保险】 …… (586)
【人寿保险】 …… (587)
【典型案例】 …… (588)
证　券 …… (588)
拍卖典当 …… (590)
【拍卖行】 …… (590)
【典当行】 …… (591)
六、房地产 …… (592)

开　发 …… (592)
交　易 …… (594)
【商品房销售】 …… (594)
【房地产交易中心】 …… (595)
管　理 …… (596)
【公房管理】 …… (596)
【产权产籍管理】 …… (597)
【房产中介】 …… (598)
【物业管理】 …… (598)
小区楼盘 …… (599)
【概　况】 …… (599)
【世纪苑小区】 …… (600)

卷十二　综合经济管理

一、计划管理 …… (603)
职能转换 …… (603)
综合协调 …… (604)
【计划编制】 …… (604)
【固定资产投资】 …… (605)
【能源电力】 …… (606)
【信息化】 …… (607)
专　记 …… (609)
太仓市电子政务系统 …… (609)
二、统　计 …… (611)
经济与社会发展统计 …… (611)
【统计制度】 …… (611)
【工业统计】 …… (611)
【能源统计】 …… (612)
【百强县统计评比】 …… (612)
市(县)情普查 …… (614)

【人口普查】……(614)
【工业普查】……(614)
【农业普查】……(615)
【基本单位普查】……(615)
【经济普查】……(616)
专项调查 ……(616)
【人口抽样调查】……(616)
【农村居民住户调查】……(617)
【城镇居民住户调查】……(617)
三、财　政 ……(618)
预算管理 ……(618)
【财政收入】……(618)
【财政支出】……(621)
【国库管理】……(625)
【政府采购】……(626)
预算外资金 ……(627)
农业税收 ……(630)
【农业税】……(630)
【农业特产税】……(630)
【耕地占用税】……(630)
契税征收 ……(631)
企业财务 ……(631)
【国有企业财务管理】……(631)
【外商投资企业财务管理】……(632)
国有资产 ……(632)
【产权管理】……(633)
【保值增值】……(633)
【清产核资】……(634)
【授权经营】……(635)
基金资金 ……(636)
【职工基本养老保险基金】……(636)

【城镇职工基本医疗保险基金】……（637）
【职工失业、工伤及女职工生育保险基金】……（637）
会计管理 ……（638）
【达标升级】……（638）
【人员管理】……（638）
【代理记账】……（639）
财政监督 ……（640）
【财务检查】……（640）
【控制社会集团购买力】……（640）
四、国家税务 ……（641）
征收管理 ……（641）
【税务登记】……（641）
【征管模式】……（643）
税收收入 ……（644）
【税　种】……（644）
【税　收】……（644）
【减免退税】……（646）
国税稽查 ……（647）
【稽　查】……（647）
【案　例】……（649）
五、地方税务 ……（649）
地税收入 ……（649）
【税种税率】……（649）
【税　收】……（652）
【基金和费】……（653）
地税征管 ……（654）
【税务登记】……（654）
【发票管理】……（655）
【征收管理】……（656）
【税务信息化】……（657）
依法治税 ……（657）

【宣传服务】……(657)
【地税稽查】……(658)
六、工商行政 ……(659)
国有集体企业管理 ……(659)
【国有集体企业注册】……(659)
【国有集体企业监管】……(661)
个体私营经济管理 ……(662)
【个体私营企业登记】……(662)
【个体私营企业监管】……(664)
外商投资企业登记管理 ……(665)
【外商投资企业注册】……(665)
【外商投资企业监管】……(666)
商　标 ……(667)
【商标注册】……(667)
【商标监管】……(668)
广　告 ……(669)
【广告业】……(669)
【广告监督】……(669)
市场管理 ……(670)
【集贸市场建设】……(670)
【市场监督管理】……(672)
【文明市场创建】……(673)
经济合同 ……(673)
【网络建设】……(673)
【合同鉴证】……(674)
【合同监督检查】……(674)
【“重合同、守信用”活动】……(675)
【调解仲裁】……(676)
【动产抵押物登记】……(676)
监督检查 ……(676)
权益保护 ……(677)

【宣传教育】……（677）
【受理投诉】……（678）
【诚信建设】……（678）
七、质量技术监督 ……（679）
计量管理 ……（679）
【计量监督】……（679）
【计量器具检测修理】……（680）
【企业计量升级】……（680）
标准化管理 ……（680）
【企业标准制定与发布】……（680）
【国际标准采用】……（680）
【标准覆盖率】……（681）
【农业标准化】……（681）
【组织机构代码管理】……（681）
质量管理与监督 ……（682）
【产品质量监督】……（682）
【名牌产品】……（682）
特种设备安全监察 ……（683）
执法打假 ……（684）
八、食品药品监督管理 ……（685）
药品监督 ……（685）
【药品综合管理】……（685）
【药品行政执法】……（686）
【特殊药品管理】……（687）
【药品监管网络】……（687）
食品安全 ……（687）
九、安全生产监督管理 ……（688）
安全生产责任制 ……（689）
安全督查 ……（689）
工伤事故 ……（690）
宣传教育 ……（691）

十、价格管理 …… (691)
价格体制改革 …… (691)
价　格 …… (693)
【工业品价格】 …… (693)
【农产品价格】 …… (695)
【商品房价格】 …… (697)
【药品价格】 …… (698)
收　费 …… (698)
【行政事业性收费】 …… (698)
【经营服务性收费】 …… (699)
【教育医疗收费】 …… (700)
监督检查 …… (704)
【全国性物价检查】 …… (704)
【收费检查】 …… (704)
【行业价格监管】 …… (705)
【市场专项监督】 …… (705)
十一、审计监督 …… (710)
国家审计 …… (710)
【本级预算执行审计】 …… (710)
【乡镇财政决算审计】 …… (710)
【金融审计】 …… (711)
【企业审计】 …… (711)
【行政事业单位审计】 …… (712)
【经济责任审计】 …… (712)
【固定资产投资审计】 …… (713)
【要案审计】 …… (713)
内部审计 …… (714)
社会审计 …… (714)

概　述

GAI SHU

太仓地处江海交汇的前哨，素以殷实富足而著称，有“锦绣江南金太仓”的美誉。改革开放如春风化雨，为太仓注入了发展的活力。太仓先后抓住农村改革、浦东开发开放和全面建设小康社会三大机遇，实现了经济社会发展“由农转工”“由内转外”“由量转质”的三大历史性跨越，形成了经济发展、政治稳定、文化繁荣、社会和谐的生动局面。

一

太仓市位于江苏省东南部，长江口南岸。地处北纬31°20′～31°45′、东经120°58′～121°20′。东濒长江，与上海市崇明岛隔江相望，南邻上海市宝山区、嘉定区，西连昆山市，北接常熟市。沿江邻沪，区位优势明显，水陆交通便捷。204国道、沿江高速公路和苏昆太高速公路过境，距上海市区53千米，苏州市区57千米。太仓港拥有长江岸线38.8千米，距吴淞口13海里，是距长江入海口最近的港口。2005年年末，全市总面积822.91平方千米，其中内陆面积649.0165平方千米，长江水域面积173.89平方千米。耕地面积3.51万公顷。辖太仓港经济开发区和城厢、沙溪、浏河、浮桥、璜泾、陆渡、双凤7个镇及其所属126个村民委员会（简称村委会）、62个社区居民委员会（简称社区居委会）。全市户籍人口45.76万人，暂住人口24.49万人。人口自然增长率为负1.79‰。有少数民族32个，689人，以回族和满族居多。

太仓属长江三角洲冲积平原。全境地势平坦，自东北向西南略呈倾斜。东部为沿江平原，西部为低洼圩区。境内河流稠密，塘浦纵横，浏河、杨林塘、七浦塘横穿东西，盐铁塘纵贯南北，水资源蕴藏量4.54亿立方米，过境长江水量丰富。年均气温16.2℃，降水量1173毫米，日照1910小时，无霜期232天，属北亚热带南部湿润气候区，四季分明。2002年，太仓市十二届人大常委会第三十七次会议命名香樟树为太仓市市树，月季花为太仓市市花。2005年年末，全市土壤分2个土类、5个亚类、9个土属、28个土种，比1986年减少1个土种。有常见树木63种，分属26科。动物主要有脊椎类、节肢类等4类252种。

二

太仓古代为滨海村落，春秋时属吴地，秦属会稽郡，汉为吴郡娄县之惠安乡。太仓之名，传因春秋吴王置仓于此而得名，正式见于宋熙宁三年(1070年)郏亶《吴中水利书》中述："今昆山之东，地名太仓，俗号冈身。"元开创漕粮海运后，日益繁盛，成万家之邑，明弘治十年(1497年)建太仓州。清雍正二年(1724年)，升为江苏直隶州。民国元年(1912年)，太仓州和镇洋县合并，定名太仓县。中华人民共和国成立后，属苏州地区。1983年3月改隶苏州市。1993年3月，撤县设太仓市，市政府驻地城厢镇。2003年5月21日，境内出土马桥文化时期的陶片、红陶罐和良渚文化时期的陶片、石器等，将太仓有据可考的历史上溯至距今4500年左右。境内保存的元代古桥，独具风格。地灵人杰的太仓大地，在经史理学、文坛艺苑、科技工艺等方面涌现了许多鸿儒先贤、领袖大师，在文化艺术界，孕育出明清文豪王世贞、吴伟业，复社领袖张溥，画坛"明四家"之一仇英，娄东画派王时敏、王鉴、王原祁，著名教育家暨上海交通大学创始人唐文治，现代画家朱屺瞻、宋文治和中国新舞蹈艺术奠基人吴晓邦等。在科技界，孕育出被誉为"中国的居里夫人"吴健雄，诺贝尔物理学奖获得者朱棣文。至2005年年末，有11人被评聘为中国科学院、中国工程院院士。

三

以港强市，接轨上海。1991年1月20日，太仓县委决定成立城东经济新区建设指挥部。新区依托老城，沿太平路向东、新浏河向北发展。1992年，县委、县政府审时度势，果断做出开发建设浏家港(后更名太仓港)的重大决策，以呼应上海浦东开发开放，带动太仓经济发展。同年10月，浏家港第一个万吨级码头——江苏长江石化有限公司投资兴建的石化码头开工建设，拉开了港口开发建设的序幕。1993年11月，浏家港港口开发区、太仓经济开发区被江苏省政府批准为省级开发区。1996年3月，市委第九次党代会明确提出"实施'以港兴市'和'外向带动'战略，突出'两区'(港区、新区)开发，发挥'三沿'(沿路、沿江、沿沪)优势，

形成东西联动，‘三沿’并进，辐射全市的开发开放格局”。1997 年 1 月 19 日，太仓市隆重举行太仓港开港典礼。2002 年 12 月 12 日，江苏省政府审批同意太仓港口开发区与太仓经济开发区合并，并更名为江苏省太仓港经济开发区（省级开发区），下设太仓港经济开发区港区（简称港区）和太仓港经济开发区新区（简称新区）。2005 年，太仓港实现货物吞吐量 1510.1 万吨，集装箱 25.12 万标箱；两区共实现财政收入 24.08 亿元。至 2005 年年末，太仓港共建成大小泊位 29 个，其中万吨级以上泊位 12 个。两区初步形成石油化工、电力能源、轻工造纸、仓储物流、基础原材料、精密机械、电子信息和汽车配件等八大产业板块。沿沪的“一区三镇”（新区、城厢、陆渡、浏河），面积 172 平方千米，共引进沪上项目 159 个，投资总额 80.5 亿元。初步形成三产、高新技术产业带，实现与上海产业配套、功能衔接和与上海地区在城市景观、交通体系、生态环境、人居环境、旅游发展等方面无缝对接，全面接轨。

四

农业结构日趋优化，综合生产能力不断提高，传统农业向现代农业转型。太仓农业，历史上以种植业为主。80 年代，全县以吴塘河为界分成粮棉和纯粮棉两大作物区。主要种植水稻、三麦（大麦、小麦、元麦）、棉花、油菜、大蒜等作物。之后，开展以“保菜、稳粮、扩经”为中心的农业结构调整，打破传统种植格局，鼓励农户根据市场需求，因地制宜适当发展瓜果、花木和其他经济作物，大力发展畜禽和水产养殖业。同时，开展村级农业服务体系建设，建立农业服务站，解决农户在全面推行家庭联产承包制中无力经营承包的问题。进入 90 年代，全市（县）逐步压缩用工大、经济效益较低的棉花、三麦、油菜等作物，扩大效益较高的蔬菜作物。畜禽产品逐步实现规模化生产，水产养殖向特种养殖、高效混养模式发展，效益稳步上升。同时以村为基点，改农业服务站为综合服务站，统一管理农机、排灌、农技、植保和用电、肥、药供应等，添置、更新农业技术装备，建立良种引进、繁育和供应系统，逐步实现农业生产专业化、商品化。1998 年 7 月，太仓市委、市政府印发《关于扶持农业产业化龙头企业发展的意见》。同年，按“大稳定、小调整”，农村开展

第二轮土地承包和确权发证,承包期再延长30年不变,并在分户确权基础上,建立土地有偿流转制度。2001年,经国家农业综合开发办公室批准,太仓市进入国家农业综合开发项目县(市)行列。同年起,建立乡镇土地流转管理服务中介机构。至2005年年末,全市粮食生产保持稳定;蔬菜生产加速发展,全年蔬菜种植面积1.65万公顷;畜禽养殖规模化特色明显,全年实现产值6.34亿元;水产特种高效养殖比例继续提高,全年实现产值1.3亿元;浏河的辣椒,陆渡的包菜、青虾,浮桥的中华绒螯蟹、獭兔,城厢的芋艿、早毛豆、香葱、大白菜等名牌农产品,形成一批"一镇一品"农业特色镇及专业村;迅速崛起的太仓(广东)温氏家禽有限公司等一批农业产业化经营龙头企业,富有成效的"公司+基地+农户"经营模式和活跃在城乡的经纪人队伍,带动了太仓农业发展、农民致富,农产品品质和商品率提高,实现农业与国际市场多方位接轨;工商资本、外来资本投入增多,发展了一批生态观光、特种养殖业等现代化新型农业项目。全年第一产业实现总产值14.71亿元,占三次产业的5%。

五

工业公有制经济转轨变型,外向型经济、民营经济发展迅猛。1986年,太仓工业基本由国有、大集体和乡镇集体企业两种经济成分构成。此后,国有、大集体企业进入了转换经营机制的改革尝试,在实施厂长负责制、扩大企业自主权、第二步利改税、拨改贷等基础上,积极开展与外商和外国资本的合资合作,外向型经济开始发展。与此同时,太仓与吴江、无锡等地的乡镇工业共同创立了著名的"苏南模式",各乡镇纷纷投资办厂,积极开展内联外引。90年代初,太仓民营经济开始起步,集中在小化工、小棉纺、小服装、小砖瓦、小印刷、小注塑、小电镀等行业。经营方式为"家庭作坊式",管理方式为"夫妻老婆店"。1993年后,王秀的横机、璜泾的加弹、浮桥的注塑、沙溪的轻纺和金浪的衬衫逐步形成了具有"一镇一品"特色的产业群,民营经济开始迅猛发展。1994年后,由于外向型经济、民营经济的迅猛发展,以集体经济为主导的"苏南模式"——乡镇工业受到严峻挑战,一度进入低谷。1995年,乡镇企业开始产权制度改革,至1999年完成转制。转制后的乡镇企业成

为全市民营经济发展的重要支柱和强大推动力。同期，通过制定优惠政策，开辟多种渠道吸纳境外大公司、大财团到太仓落户，外商投资由制造业领域向一产、三产领域延伸。至2001年，外资工业占全市工业总量的57%。至2005年年末，全市工业所有制结构形成由股份制经济、外资企业（独资、合资）、民营经济和部分部属国有企业等各种经济成分竞相发展的格局；有工业企业6638家，实现工业总产值680.81亿元，其中外资企业1174家，民营企业5193家，实现工业产值分别占全市工业产值总量的59%和36%。

六

商贸物流改革中求发展，繁荣兴旺。1986年，全县商业系统中国有中、小企业开始改革，前后经历了转换企业经营机制、企业改革改组与组建商业控股（集团）公司等3个阶段。1992年，县供销总社改革启动，成立了县供销总社（集团）总公司，下辖由核心层、紧密层、半紧密层组成的111家企事业单位。1994年，华联、新世界商厦相继开业，与新城商厦构成太仓综合性商场三足鼎立之势。至1998年，物资系统在体制改革中实现了从统配型向市场调节型转移，从条块分割的封闭型向联合开放型转移，从专业经营向“一业为主，多种经营”转移。1999年，撤销市商业局、供销社、物资局，归并组建为市贸易局。此后大批专业市场、批发市场及连锁超市涌现，多层次的经营网点，遍布城乡，形成一个完整的商贸服务体系，满足和方便了不同层次消费者的需求。至2005年年末，全市有各类商品交易市场60个，市场成交总额108.85亿元；有三纵四横四连接的公路网和以“两纵”（盐铁塘、南石头塘）“三横”（苏浏线、杨林塘、七浦塘）为主干航道，与34条支线航道相连接的水上运输网；全社会用电量38.96亿千瓦时；完成社会消费品零售总额47.87亿元；全年接待海内外游客98.48万人次，实现旅游总收入9.22亿元。全市全年第三产业增加值102.07亿元，占三次产业的34.6%。

城市建设步伐加快，面貌日新月异。1986年，太仓城区总面积4.69平方千米，城区主要街道呈四横两纵格局。公共建筑大部分层高为4层左右。有人民、太平、梅园、府南、向阳、布厂新村等居民住宅区，总面积57.82万平方米，人均居住面积

9.81 平方米。进入 90 年代,县城开始依照总体规划进行大面积的拆迁改造。随着旧房的拆除和住房制度的改革,商品房的开发速度日趋加快。1998 ～ 2002 年,先后建成世纪苑、景都花苑、娄江雅苑等,年均开发商品房 25 万平方米。2003 年始,太仓土地价格上扬,房价攀升,加快了小高层、高层住宅的建设,先后建成名都花苑、景仓花园、华侨公寓、高尔夫湖滨花园等。至 2005 年年末,市区总面积扩至 16.1 平方千米,比 1986 年增加 2.43 倍,主干道呈六纵六横格局,道路绿化面积 40.47 万平方米,普及率 100%,并形成盐铁塘、致和塘等风光带。人均居住面积 58 平方米,比 1986 年增加 4.91 倍,大大超过小康目标。市区市政设施齐全,环境卫生优美,经济开发区管委会、公安、商检、电信、银行等办公大楼及市一院、花园酒店等高楼星罗棋布,太仓由一个小城镇变成具有现代气息的中小城市,先后获得国家卫生城市、国家环境保护模范城市称号。

七

实施产学研结合,实行科技成果产业化。1986 年起,实施以科技推动工业企业发展,同时开展企业与国内外高校、科研院对接。1995 年,太仓市获全国科学技术工作先进县(市)称号。至 2005 年年末,全市有专业技术人员 30267 人,其中高级职称 1032 人;承担国家各类科技计划 26 项,江苏省各类科技计划 107 项;获江苏省科技进步奖 25 个,苏州市科技进步奖 64 个;累计专利申请 1254 件,授权 796 件;经科技部认定的高新技术企业 3 家,江苏省高新技术企业 21 家,江苏省民营科技企业 58 家。建成太仓特种功能新材料产业基地、太仓市棉花科技示范园区、苏州市现代农业示范园区、太仓软件园等特色产业基地和创业孵化器。

实施“科教兴县”战略,推动科教文卫体事业健康发展。80 年代起,在推进九年制义务教育的同时,逐步建立起职业教育体系和各类专业技术培训中心。深化教育体制改革,推行素质教育和终身教育,发展多层次职业技术教育和成人教育。加大教育投入,改善办学条件,优化学校布局,逐步实现教育现代化。2002 年,太仓市获江苏省教育现代化建设先进市称号。2005 年,太仓学前教育幼儿入园率 100%,小学由 1986 年 280 所并至 31 所,初中毕业升学率 97.08%,高中毕业升学率 88.81%;国家财政预算内教育经费 2.63 亿元。

加强城乡文化设施建设，丰富群众文化生活。80 年代中期，全县各乡镇普遍建立图书阅览、文化茶室、科技讲座、陈列展览、游艺、电视录像等活动场所。90 年代起，广播电视迅速发展，《太仓日报》创刊在国内公开发行。社会娱乐业兴起，文艺创作日趋繁荣，江南丝竹、舞龙狮、麦秸画等民间文化艺术走出国门，亮相于欧美、澳大利亚、日本等国家。太仓成为全国龙狮之乡、民乐之乡。1996 年，太仓市获全国文化先进县（市）称号。至 2005 年，城乡文化活动丰富多彩，文艺创作繁荣活跃。

优化资源配置，提高医疗服务质量，满足市民医疗卫生服务需求。改善就诊环境，方便市民就医，公共卫生服务体系逐步健全。至 2005 年年末，全市有各类卫生机构 144 所，拥有床位 1959 张，卫技人员 2127 人，卫生服务体系健全率为 95.7%，人均期望寿命增至 79.63 岁。完成农村改厕 10.67 万户，无害化卫生户厕率 92.4%。实现创建江苏省卫生镇满堂红，沙溪镇、陆渡镇先后获国家卫生镇称号。

体育事业快速发展，全民健身蔚然成风。80 年代起，相继创建桥牌、棋类、信鸽、气功、职工、武术、老年人、羽毛球、残疾人、乒乓球、农民、门球等体育运动协会，太仓体育事业逐渐进入多元化、社会化的兴盛期。1987 年，太仓县被命名为首批全国“体育先进县”；1992 年，被评为首批全国“武术之乡”；1995 年，被命名为全国“桥牌之乡”。至 2005 年年末，全市有各种体育活动场所 521 个，面积 53 万平方米，人均占有 1.18 平方米；全年体育事业经费 832.81 万元，人均 18.2 元；在第十七届举重世锦赛上，太仓籍运动员顾薇勇夺女子 58 公斤级抓举、挺举、总成绩三项第一，破两项世界纪录，圆了太仓“世界冠军”梦。

八

城乡居民消费水平提升，消费观念发生变化，生活水平逐年提高。1986 年，太仓农村住户人均生活消费 713.8 元，城镇居民年人均消费 843 元。随着全县经济和社会建设快速发展，长期以吃、用为主的生存型消费成为历史，文化教育、医疗保健、旅游娱乐等方面的消费逐年增长，且在家庭消费中占有重要地位。至 2005 年年末，太仓农村居民年人均生活消费 6014 元，城镇居民年人均生活消费 10955

元；吃、穿、住、行档次提升，农村和城镇居民文教娱乐服务消费占家庭消费分别为17.35%和19.11%，电脑、汽车进入家庭。太仓入围全国百强县（市）前十名，为率先达到江苏省全面小康社会指标的6个县级市之一。

构建社会保障体系，逐步完善民主法制，建设平安太仓。1986年7月11日，太仓在全县企事业单位试行社会养老保险制度。进入90年代，在发展经济的同时花大气力构建社会保障体制，先后实行医疗、养老、失业、工伤和生育保险。2003年起，市政府将平安太仓工作纳入政府实事工程。2004年，太仓市实施“土地换保障”政策。用征地补偿金一次性缴费，置换15年城镇养老保险，成为江苏省第一个把全部被征地农民纳入“城保”的县级市。至2005年年末，全市医疗保险参保人数183679人；失业参保人数116868人，覆盖面98.5%。城市养老参保人数167291人，覆盖面98.3%；农村养老参保人数65639人，覆盖面96.6%。太仓市连续3年被江苏省委、省政府授予“社会治安安全市”称号。

回眸过去备受鼓舞，展望未来催人奋进。太仓人民将继往开来，再接再厉，开拓创新，扎实工作，在加快推进社会主义现代化建设、全面建设小康社会的进程中，不断取得新的业绩，实现城乡、区域、经济与社会、人与自然的协调发展，谱写太仓经济社会发展的新篇章，奋力开创太仓更加美好的明天！

大事记

DA SHI JI

1986 年

1 月 13 日至 15 日　省委书记韩培信考察太仓针织总厂等，并召开基层思想政治工作干部座谈会。

1 月 21 日　太仓县体制改革办公室、太仓县对外经济贸易委员会成立。

2 月 3 日　苏州市委决定，黄炳福任太仓县委书记，曹兴福调离太仓。

2 月 4 日　浏河口外长江水域捕获一条 132.5 千克的中华鲟。

2 月 16 日　县委举办农村整党骨干培训班，乡、镇、厂党委（总支）委员以上干部参加。全县乡镇机关，国有、大集体、乡镇企业，村的整党先后展开。至 2 月 19 日，县级机关 62 个党支部整党工作结束，1038 名党员履行登记手续，占党员总数的 99.6%。至 10 月中旬，全县整党结束，共查处严重以权谋私、违法乱纪的党员 107 名。

3 月 4 日　国家计划生育委员会（简称国家计生委）命名太仓县为“全国计划生育先进县”。

4 月 4 日至 5 日　国务委员姬鹏飞视察太仓，并参观郑和纪念馆。

4 月 30 日　太仓县地面自来水厂在城厢镇建成。

5 月 18 日　国际计划生育联合会东亚、东南亚及太平洋地区主席坦布一行参观访问太仓。

5 月 23 日　凌晨 4 时 25 分，南黄海（北纬 32.4 度，东经 121.5 度）发生 4.7 级地震，境内有震感。

6 月 2 日　县政府公布，墨妙亭石刻、王氏古居、周家厅、东亭子桥、流顺桥、浏河新闸桥、庵弄桥、永乐古井为第四批县级文物保护单位。

6 月 17 日　省委副书记孙颔考察太仓，对稳定农业生产、推广农业规模经营等问题作了指示。

6 月 24 日　太仓县与黑龙江省安达市结为友好县市。

同月　解放军太仓县人武部改归地方建制，为副县级单位，改称江苏省太仓县人武部（简称人武部），实行地方和军队双重领导。所配干部退出现役，改服预备役。6 月 10 日，县委、县政府和苏州军分区举行交接仪式。

7 月 23 日　下午 1 时起，新毛、板桥、浏河、浮桥等乡镇共 18 个村遭遇龙卷风、冰雹袭击，造成 1 死 3 伤，损坏房屋 238 间，刮倒电杆 134 根。

7月28日　太仓举办工业品展销订货会,18个省、市、自治区的560余名客商到会洽谈,成交金额2864万元。

7月31日　全县农村储蓄余额1.67亿元,人均储蓄450元,居全省第一。

8月31日　王秀乡南港村羽绒厂1～8月出口羽绒36吨,价值158万元,是全县第一个出口超100万元的村办企业。

9月5日　经苏州市科委审核同意,成立浮桥乡太仓塑料制品一厂塑料模具研究所和沙溪镇东华无线电厂电子技术应用研究所,是全县乡镇企业办的第一批研究所。

9月20日　日本小城镇研究访华团一行考察沙溪乡和茜泾乡马北村。

9月28日　县委、县政府举行太仓与上海横向经济联谊会。上海市政府、企业界和金融界近200名代表应邀参加,来宾参观部分县属企业和乡镇企业,沪太企业界进行对口活动,签订4项联营协议。

10月16日　太仓县除尘设备厂研制的FLB-10型除尘机参加在瑞士举办的国际环保博览会。

10月18日　太仓县和沙溪镇分别被省政府、省体委命名为“体育先进县”“体育先进镇”。

10月30日　省政府批准茜泾、浮桥、岳王为苏锡常经济开放区第二批对外开放的重点工业卫星镇。

11月5日　中国舞蹈家协会主席、舞蹈表演艺术家吴晓邦和夫人盛婕应县文联邀请回故乡访问。

11月7日　县委、县政府制定《县属工业企业厂长任期目标责任制试行办法》及《县属工业企业1986～1990年经营承包责任制的意见》。

11月24日　太仓县与新疆疏勒县结为友好县。

12月18日　茜泾、浮桥、岳王、南郊分别撤乡建镇,实行镇管理村的体制。

1987年

1月1日　太仓县博物馆建成开馆。

1月13日　太仓县与山东省泰安市郊区结成友好区县。

2月17日　太仓县与黑龙江省阿城县结为友好县。

4月18日　太仓县被国家体育运动委员会(简称国家体委)评为全国体育先进县。

5 月 13 日　省政府批准王秀、新塘、璜泾、鹿河、南郊、新湖、陆渡、双凤、板桥为苏锡常经济开放区第三批对外开放的重点工业卫星镇。

6 月 1 日　太仓县分别与河北省武安县、黑龙江省呼兰县结为友好县。

6 月 5 日　太仓化肥厂荣获首批“全国环境优美工厂”称号。

7 月 2 日　全县 24 个乡镇机关全部开通自动电话。

7 月 15 日　专业技术人员职称改革在全县展开，至 1990 年 1 月 3 日完成评审，全县各类专业技术人员共 12219 人通过评审，其中高级职称 208 人，中级职称 1720 人，初级职称 10291 人。

7 月 27 日至 28 日　7 号强台风入侵境内，造成房屋倒塌 139 间、畜舍 446 间，棉花倒伏 9000 公顷。

8 月 11 日　日本计划生育、妇幼保健考察团考察太仓计划生育、妇幼保健和控制寄生虫情况。

8 月 25 日　县委、县政府决定撤销 45 个县级非常设机构。

8 月 28 日　联合国粮农组织与亚太地区食品流通机构联合会成员一行考察新毛粮库。

9 月 18 日　全县 22 个乡镇、317 个村实行村办乡管合作医疗体制。

9 月 24 日　太仓成为江苏省第一个农村电报传真化县。

9 月 25 日　太仓第一家太仓香港合资企业——太仓环球皮革制造有限公司成立，投资 140 万美元，生产自销各种动物毛皮成衣及毛皮制品。

10 月 8 日　中国民主建国会苏州市委员会太仓县直属支部成立，有会员 17 人。

10 月 15 日　太仓第一期公路黑色化工程竣工，铺设柏油路面 37.78 千米。

11 月 21 日　太仓举办第一期劳务市场，31 个招工单位入驻，204 名待业人员到场洽谈，其中 132 人被招录用。

12 月 5 日　全县累计成立 24 个台胞接待站。

12 月 11 日　太仓县物价局成立。

12 月 19 日　太仓县体育中学开办，首批招收 20 名新生。

12 月 25 日　位于太仓西门新建的长途汽车站正式启用。

1988 年

1 月 1 日　全县生猪收购、鲜肉销售放开经营，价格随行就市。

3月16日　浏河幸福渔业社1119号渔轮在东海作业区锚泊时沉没,16名渔民遇难。3月18日,县处理事故指挥部成立,组织处理善后事宜。

4月3日　太仓县监察局成立。

5月3日　境内遭暴风雨和冰雹袭击,三麦倒伏1093.33公顷、油菜倾倒7000余公顷。

7月29日　太仓县拥军优属、拥政爱民领导小组被评为“全国‘双拥’先进集体”,受到民政部、中国人民解放军总政治部的表彰。

8月17日　太仓县政府驻珠海特区办事处成立。

8月20日　旅港太仓籍人士徐彩娣捐赠30万元建造的茜泾中心幼儿园通过验收。

9月7日至16日　省、市联合考核组对太仓县直塘、新湖、新毛3个乡9个村的血吸虫病情检查考核,共检查3899人,未发现阳性病例,各项考核指标达标,成为苏州市第一个血吸虫病病情检查考核合格县。

9月9日至10日　联合国粮农组织水稻综防考察团一行56人考察太仓。

9月15日　建筑面积2.3万平方米的弇山大厦竣工并营业。

9月26日　太仓县邮电局开通国际全自动长途电话,拥有有权用户15户,国内长途全自动直拨44户,成为全省第一个开通国际全自动电话的县级局。

10月5日　直塘乡张泾村10组闵姓农户冒雨建房,楼房突然倒塌,致9人死亡、3人重伤、10多人轻伤。事发后,县委、县政府、县人大常委会领导和有关局负责人当夜赶赴现场组织抢救和处理善后事宜。

10月7日　太仓举行近代教育家吴仲裔诞辰100周年纪念活动,美籍物理学家吴健雄夫妇应邀回故土参加纪念活动。

10月14日　太仓县家畜改良站站长、助理畜牧师邹家祥,在泰国曼谷举行的“世界粮食日”纪念大会上获荣誉证书和银质奖章,被当地华人报刊誉为“亚洲杰出农民”。

11月14日　经省人民银行、省外汇管理局批准,设立国家外汇管理局太仓支局。

12月7日　澳大利亚、法国、苏联等7国驻沪总领事、商务经济领事等一行10人访问太仓。

12月16日　太仓县政府驻上海办事处成立。

12 月 27 日　太仓牌肉松、香玉牌糟油在首届中国食品博览会上获金奖。

1989 年

1 月 4 日　中共中央农村政策研究室主任杜润生考察太仓，并就发展农业和乡镇企业等问题发表意见。

1 月 14 日　太仓第一家村办太仓香港合资企业——苏州泰利电器照明制造有限公司在新塘乡新塘村成立。

2 月 22 日　中国粮油进出口总公司在太仓召开全国大蒜出口会议。

4 月 11 日　国家计划生育协会与日本家族计划国际协力财团一行参观考察太仓。

5 月 16 日　建设部副部长周干峙考察太仓小城镇建设。

5 月 31 日　太仓县政府驻深圳办事处成立。

6 月 2 日　太仓县信访局成立。

6 月 8 日　苏州市委决定，蒋志杰任太仓县委书记，黄炳福调任苏州市委秘书长，不再担任太仓县委书记。

9 月 4 日至 5 日　省委书记韩培信到太仓调研农业和乡镇企业。

9 月 26 日　国家计生委主任彭珮云考察太仓县计划生育工作。

10 月 20 日　中共中央顾问委员会常委胡乔木一行参观浏河天妃宫。

11 月 15 日　纺织工业部部长吴文英一行考察太仓。

12 月 5 日　全县电话号码由 4 位升至 6 位；1995 年 12 月 17 日，升至 7 位；2002 年 4 月 20 日，升至 8 位，区号为 0512。

12 月 17 日　宋文治艺术馆开馆。

1990 年

1 月 12 日　太仓县家畜改良站建成全省第一条工厂养猪生产流水线。

2 月 10 日　凌晨 1 时 57 分，沙溪乡与常熟市支塘镇交界处发生 5.1 级地震。全县均受到不同程度影响，共造成 15 人伤亡，直接经济损失 1.34 亿元。

2 月 24 日　最高人民检察院副检察长沈思卿到太仓检查工作，省检察院副检

察长张道陪同检查。

3月27日至31日　太仓县十届人大第一次会议选举范正清为县人民政府县长。

5月13日　撤销太仓县文教局,成立太仓县教育局、太仓县文化局。

6月14日　县委、县政府印发《关于“科技兴县”的决定》,确立“科技兴县”的战略思想。

6月15日　太仓县法制局成立。

8月3日　日本计划生育、妇幼保健考察团一行考察太仓。

8月5日　省人大常委会主任韩培信到太仓考察县、乡(镇)两级人大工作。

8月25日　岳王镇益新制革厂生产的“铬鞣黄牛纺羊皮面革”通过省级新产品鉴定,填补国内空白。

8月31日　工行太仓支行中心储蓄所成为境内第一家电脑储蓄所。

9月3日　苏州市委决定,周振球任太仓县委书记,蒋志杰调离太仓。

9月11日　鹿河乡农民杨永明向亚运会捐赠红木雕刻台屏。

9月30日　陆渡乡残疾人联合会成立,为全县第一个乡级残联。

10月3日　太仓铜材厂紫铜毛细管获国家金奖,创全县工业品质量获奖最高纪录。

10月20日至25日　县政府、县政协在宋文治艺术馆举办国画大师朱屺瞻百岁画展。

10月26日　太仓县社会福利院老人公寓在陆渡桃园落成。

12月1日　纺织工业部副部长刘珩一行考察太仓。

12月31日　太仓县被农业部、纺织工业部评为全国棉花生产先进县。

1991年

3月15日　茜泾镇马北村党总支成立,是太仓第一个村级党总支。

3月21日　太仓县与陕西省宁陕县结为友好县。

4月12日　太仓县政府驻南京办事处成立。

4月13日　县委、县政府召开建设城东经济新区动员大会,城东经济新区建设启动。1992年5月28日,城东经济新区更名为太仓经济技术开发区。

5 月 13 日　太仓革命历史陈列馆在人民公园开馆。

5 月 31 日　全县电话机总数 11372 部，平均每 100 人 2.5 部，列全省各县之首。

6 月 24 日　中国国民党革命委员会苏州市委太仓县支部委员会成立。

7 月初　境内连降大雨、暴雨（6 月份已雨水过多），造成严重水灾，直接、间接经济损失 2.46 亿元。

8 月 1 日　第一个落户太仓新区的企业苏州哈通汽车电机有限公司开工建设。

8 月 11 日　太仓 1 万门程控电话交换机开通使用。

8 月 25 日　国画大师朱屺瞻故居——梅花草堂在浏河公园重建落成。

9 月 7 日　太仓第一家村办农贸市场——鹿河乡新泾村农贸市场建成开业。

9 月 17 日　参加亚洲结合项目国际研讨会的 11 个国家的 30 多名代表考察太仓。

同月　《太仓县志》由江苏人民出版社出版，公开发行。全志 131 万字，印数 8110 册。

10 月 25 日　国家科学技术委员会（简称国家科委）副主任朱丽兰考察太仓。

10 月 31 日　204 国道太仓段一期工程竣工。

11 月 9 日　浮桥镇浮桥村 7 组建办的中日合资企业“苏州金庆塑料工艺品有限公司”成立，是太仓首家由村民组办的中外合资企业。

11 月 12 日　县委决策开发港口，并成立太仓县港口开发领导小组。1992 年 6 月 9 日，太仓县浏家港港区开发建设指挥部成立。

同月　《太仓人民革命斗争史》出版发行。

12 月 9 日　太仓县政府驻海口办事处成立。

12 月 13 日　全县乡镇集镇全部通上自来水。

同年　境内棉花平均亩产 103.5 千克，成为全省第一个亩产超“双纲”的县。

1992 年

1 月 8 日　太仓县与河北省邱县结为友好县。

1 月 30 日　太仓县农村社会主义思想教育领导小组成立。

2 月 29 日　全县 3 万名群众走上街头，观赏民间灯会。

3 月 11 日　太仓召开县级机关全体干部大会，传达邓小平南方谈话精神。

5月9日　国家计生委主任彭珮云一行30多人考察太仓。

5月13日　水利部及省、市有关领导检查太仓水利建设,“太仓26666.67公顷节水灌排贷款示范项目”通过验收。

6月1日　太仓电子元件厂生产的AECP全自动体外反搏器在第八届美国匹兹堡发明与新产品展览会上获金奖。

6月4日　县委、县政府印发《鼓励从县外引进人才的若干意见》《太仓经济技术开发区若干优惠、奖励政策(暂行)》。

6月14日　交通部部长黄镇东考察浏家港港口开发情况。

6月24日　民政部部长崔乃夫一行考察太仓福利企业,充分肯定太仓兴办福利事业取得的成绩。

7月1日　县委在王秀乡草庙村举行太仓县第一个党支部诞生地纪念碑、纪念室落成典礼。

同日　境内粮食市场开放。

7月5日　化学工业部(简称化工部)部长顾秀莲一行考察太仓。

7月7日　全国政协副主席钱正英视察太仓农村卫生工作。

7月10日　农业部确定太仓县种猪场为全国种畜选育场(太湖猪选育)。

同日　太仓举办首届人才市场。80余家企业到场招聘,1800余名县内外专业技术人才参加交流,达成意向协议540人,当场聘用200余人。

8月15日　太仓召开老城区改造动员大会,组织力量加快老城区改造步伐。

9月8日　由太仓、中国香港、上海合资兴办的江苏长江石油化工有限公司举行签字仪式。

9月16日至17日　省委书记沈达人考察太仓,要求加快发展,敢于争先。

9月28日　画家朱屺瞻、宋文治回故乡太仓举办画展。

10月19日　卫生部、国家计划委员会(简称国家计委)、全国爱国卫生运动委员会(简称全国爱卫会)认定太仓为初级卫生保健达标县。

同日　县委、县政府召开浏家港港区建设动员大会,提出用三五年时间建成新型港口和大型化工基地。10月28日,浏家港石油化工码头动工兴建,并举行开工典礼。1993年7月28日,全长1756米的石化码头引桥桥面合拢。8月29日,浏家港首座万吨级石化码头水工工程竣工。

11月10日　江苏雅鹿企业集团在太仓成立,为太仓第一家省级乡镇企业集团。

同月　经苏州市验收，太仓达到国务院规定的扫盲县标准。

同月　国家体委授予太仓县全国“武术之乡”称号。

12 月 10 日　太仓提前两年实现九年制义务教育达标。

12 月 18 日　县政协举行《娄东画派》首发式，纪念清代画家王时敏诞辰 400 周年。

12 月 26 日　县委、县政府举行太仓经济技术开发区 68 项工程奠基、动工、竣工仪式暨经贸洽谈会，600 余名中外客商参加。

同月　太仓县电视中心成立。太仓电视台正式开播。

1993 年

1 月 6 日　省政府批准，鹿河、王秀、归庄、板桥、陆渡、牌楼等撤乡建镇，实行镇管村体制。

1 月 8 日　民政部批复江苏省政府：经国务院批准，同意撤销太仓县，设立太仓市（县级），由省直辖，以原太仓县行政区划为太仓市行政区划，不增加机构和编制。同日，撤县设市筹备工作领导小组成立。1 月 16 日，太仓召开动员大会，部署撤县设市准备工作。

同日　县属工业第一家集团公司，苏州宏达集团公司成立。

1 月 22 日　太仓开通 900 兆赫窝状移动通信网，首批“大哥大”（移动电话）用户 105 个。

2 月 5 日　市区电话全部改为国内或国际直拨，在全省县（市）中属首家。

2 月 18 日　境内城东半泾河出土元代海船大型缆绳。

2 月 24 日　中央电视台播放电视系列片《延伸的长城》第六集“走向辉煌”，较高评价太仓安置军队转业干部工作。

3 月 5 日　《太仓县志》《太仓县工会志》《太仓县税务志》3 部志书在全国新编地方志成果展览会上展出。

3 月 28 日　召开太仓市成立大会，国务院有关部门、省和苏州市有关部门的领导，各县（区）的代表和海内外朋友 1000 多人出席大会。省民政厅厅长朱德功宣读国务院和省政府的批复；副省长俞兴德、苏州市委书记王敏生分别代表省委、省政府和苏州市委、市政府表示祝贺，并对今后工作提出要求。市委书记周振球发

表讲话,市长范正清主持大会。会后举行市委、市人大常委会、市政府、市政协、市纪委揭牌仪式。

4月1日　全市放开粮油价格和经营。取消粮票、油票和糕饼券,国家发给城镇居民每人每月粮价补贴6元。

4月13日至15日　全国人大常委会副委员长、民盟中央主席费孝通视察太仓,就探索农业规模经营、重视农产品流通、乡镇企业发展等发表意见。

5月14日至19日　中国科学技术协会(简称中国科协)副主席高镇宁考察太仓。

5月28日　新华社报道,在全国乡镇企业年总产值超100亿元的226个县(市)中,太仓市居第十位。

6月12日　民革中央主席、中华全国总工会副主席、劳动部副部长李沛瑶考察太仓。

6月12日至13日　省委副书记孙家正考察太仓新区、浏家港港口开发区等地,对太仓的经济工作给予肯定和高度评价。

6月19日　茜泾镇更名为浏家港镇。

同月　省政府批准,撤销娄东乡、沙溪乡,分别并入城厢镇、沙溪镇。

7月12日　市委决定设立中共太仓经济技术开发区工作委员会,为市委派出机构;成立太仓经济技术开发区管理委员会,城厢镇的朝阳、洋沙、东郊、太东、太胜、梅园、薛家滩等7个村由太仓经济技术开发区代管。

8月1日至4日　境内连遭雷暴雨袭击,总降雨量316.5毫米。全市6666.67公顷棉花、25333.33公顷水稻、1333.33公顷蔬菜受淹,其中4000公顷棉花倒伏;225户民房受灾,部分企业和供电、交通、通讯等基础设施受损严重,直接经济损失1200余万元。

8月30日　全国第一个镇级教育区——陆渡教育区举行落成典礼。

9月16日　国务院命名太仓市“全国计划生育工作先进单位”。

10月　农业部授予太仓市“发展乡镇企业先进县(市)”称号。

11月4日　省政府批准设立太仓浏家港港口开发区,并批准太仓经济开发区、太仓浏家港港口开发区为省级开发区。

12月28日　省乡镇企业首家规范化定向募集股份制企业——江苏雅鹿实业股份有限公司在鹿河镇挂牌。

1994 年

1 月 3 日　苏州富丽达五金电器有限公司工会成立，是太仓建立工会组织的第一家私营企业。

1 月 5 日　浮桥镇日新村建成全市第一个电话村。

1 月 18 日　第二届中国农村综合实力百强县（市）信息发布会公布，太仓由第三十三位跃居第八位。

1 月 21 日　市委、市政府决定浏家港镇马北村、王秀镇王秀村、沙溪镇沙星村、归庄镇香塘村、南郊镇群星村、陆渡镇横沥村、新塘镇新塘村为太仓开展社会主义新农村建设试点村。

1 月 28 日　市委、市政府决定陆渡镇横沥村、沙溪镇沙星村、浏家港镇火箭村、新塘镇新塘村、直塘镇直塘村、时思乡新亚村为太仓开展农业现代化建设试点村。

2 月 13 日　化工部部长顾秀莲考察太仓经济开发区、浏家港港口开发区等。

2 月 28 日　太仓商业系统首家省级集团——江苏弇山集团成立。

3 月 21 日　省交通厅和苏州市交通局批准设立浏家港港口航道监督站。

3 月 23 日　全国首家家庭保健服务中心在太仓成立。

4 月 5 日　苏州大仓高级时装有限公司的“爱英杰”牌西装，获“中国十大名牌西装”称号。

4 月 7 日至 8 日　省人大常委会副主任、苏州市委书记王敏生到太仓检查指导工作，强调浏家港港口建设要搞好规划、滚动发展、外引内联、超前配套。

4 月 8 日　太仓首届商品房交易会开幕，同时举行市房地产交易市场开业仪式。

4 月 19 日　市委、市政府制定《关于进一步加强农业和农村工作的若干意见》，要求坚定不移地把农业和农村工作放在经济工作的首位，积极推进农村由小康向现代化迈进。

5 月 17 日　市委、市政府批转市科委《关于开展创建全国科学技术工作先进县（市）活动的意见》。1995 年 3 月 22 日，国家科委授予太仓市“全国科学技术工作先进县（市）”称号。

5 月 26 日　太仓市与中国远洋运输（集团）总公司在浏家港港口开发区合作

建设中远国际城合同意向签字仪式举行,交通部部长黄镇东,省委常委、副省长季允石等参加签字仪式。同年9月27日,省政府批准,太仓与中国远洋运输(集团)总公司共同开发中远国际城。12月28日,举行协议草签仪式。1996年6月6日,签署《共同开发建设中远国际城协议书》。

同日　太仓市与山西省阳泉市郊区缔结友好市区。

6月12日　司法部部长肖扬考察太仓,充分肯定太仓的司法工作。

6月14日　中共中央政治局候补委员、中央书记处书记温家宝视察太仓,并召开种田大户、小农场场长座谈会。

6月16日　国务委员、国家计生委主任彭珮云考察太仓,与市委、市政府和市计生委领导进行座谈。

6月20日　太仓市人民防空委员会成立。

7月19日　市委、市政府决定,板桥、马北开发区为首批太仓市级开发区。

7月22日　市委决定成立中共浏家港港口开发区委员会和浏家港港口开发区管理委员会,同时,撤销浏家港港区开发建设指挥部。

8月31日　中共太仓市代表会议召开,选举产生太仓市出席中共苏州市第八次代表大会代表。10月19日,太仓市代表团赴苏州参加中共苏州市第八次代表大会。

9月11日　交通部副部长刘劲松考察浏家港港口开发区。

9月18日　《苏州日报》报道,太仓市电话普及率每100人超过10部,居全省各市(县)前茅。

9月26日　民政部副部长范宝俊一行考察太仓。

9月26日至29日　太仓招商团赴韩国,在汉城举行经贸洽谈会,132位客商参加,共达成投资意向13项。

9月30日　太仓市国家税务局、太仓市地方税务局成立。

10月26日　国家计生委在太仓举办中国结合项目第四期试点地区寄生虫预防技术训练班。

10月28日　化工部部长顾秀莲考察浏家港港口开发区。

11月11日　美国前国务卿、中国远洋运输(集团)总公司高级名誉顾问亚历山大·黑格考察浏家港港口开发区,省委常委、副省长季允石陪同考察。

11月19日　国家口岸办公室(简称国家口岸办)主任叶剑考察浏家港港口开

发区。

11 月 21 日　化工部副部长贺国强考察浏家港港口开发区。

11 月 28 日　中国首座“私立公助”形式的“雷锋文献资料馆”在时思镇揭牌开馆，国务委员、国防部部长迟浩田题写馆名。

12 月 6 日　浏河镇 6000 门程控交换机开通。12 月 16 日，全市实现电话交换程控化、传输数字化。

12 月 17 日　苏州海关驻太仓办事处举行开关仪式。

12 月 22 日　全国总工会副主席方嘉德考察太仓。

1995 年

2 月 15 日至 16 日　省委常委、省委秘书长梁保华率省有关部门领导考察太仓直塘农业丰产方、太仓经济开发区、浏家港港口开发区等，对太仓的工作给予充分肯定。

3 月 6 日　太仓市创建全国卫生城市指挥部成立。4 月 28 日，市委、市政府召开创建全国卫生城市动员大会。6 月 4 日，太仓市城区建设管理委员会成立，与太仓市创建全国卫生城市指挥部实行两块牌子，一套班子。

3 月 28 日　省委常委、省军区司令员郑炳清到时思镇考察雷锋文献资料馆，要求太仓办好“雷锋馆”，探索爱国主义、集体主义、共产主义教育的新路子。

4 月 3 日至 4 日　省委书记陈焕友考察太仓，高度评价太仓工作，希望太仓在迈向现代化进程中走在苏州前面。

4 月 8 日　浏家港更名为太仓港。

4 月 20 日　副省长王荣炳考察太仓港，要求太仓港创造条件及早投入运行。

同月　省口岸领导小组办公室在太仓召开验收会议，同意太仓市浏家港作为二类口岸对中国籍国际航行船舶开放。5 月 25 日，第一艘国轮“胜利 4 号”靠泊长江石化码头，太仓港正式投运。

5 月 2 日　国家体委命名太仓市为全国“桥牌之乡”。

5 月 16 日　江苏金龙集团和江苏仓环集团被列入国家千家重点联系企业。

5 月 25 日　美国加德士石油公司落户太仓。是该公司在华东地区开设的第一个窗口。

6月22日　市委、市政府制定《太仓市实现基本现代化实施意见》,要求各级党政组织迅速行动起来,抓好落实,积极带领全市人民为本世纪末实现基本现代化而努力奋斗。

7月2日　卫生部部长陈敏章考察太仓,充分肯定太仓农村防保和合作医疗等方面工作。

7月14日　国家计生委副主任张维庆考察太仓,充分肯定太仓建立市、镇、村三级家庭保健服务阵地等做法。

7月24日　全市第一家镇级慈善基金会——璜泾镇慈善基金会成立并运作。

9月23日　太仓市机关行政事务管理局成立。

10月10日　第三届"中国农村综合实力百强县(市)"揭晓,太仓列第十一位。

10月15日　太仓承办"国际奥委会主席杯"全国百城市"浏家港杯"太仓赛区自行车比赛。

10月24日　市委、市政府命名太仓市革命烈士陵园、太仓革命历史陈列馆、太仓市博物馆、郑和纪念馆、太仓市第一个党支部诞生地(草庙村)、明德楼、雷锋文献资料馆、浏家港镇马北村、太仓利泰纺织厂、太仓市民兵训练基地为太仓首批爱国主义教育和全民国防教育基地。

10月26日　太仓市报社成立。1996年7月1日,《太仓市报》创刊出版,为四开四版,每周两刊(周三、周五出版)。

10月29日　太仓港万吨级石化码头靠泊第一艘外籍化工船舶——韩国"又钟"轮。(经交通部批准)

11月5日　上海医科大学中山医院与太仓市第一人民医院开通使用"远程电视医疗会诊系统"。

11月9日　挪威王国首相格罗·哈莱姆·布伦特兰访问太仓,并参加太仓鲍利葛化工有限公司和苏州华苏塑料有限公司开工典礼。

11月22日　民政部命名太仓市为"全国村民自治示范县(市)"。

11月22日至26日　日本鸟取县青谷町友好都市缔结代表团访问太仓,并签署缔结友好市町关系协议。

12月3日　国务院批准太仓港为国家一类口岸,对外国籍船舶开放。1996年10月22日,国家口岸办同意太仓港对外国籍船舶开放,11月8日正式对外开放。首期开放泊位是江苏长江石化有限公司的2.5万吨级石化码头。

12 月 22 日　太仓—海门长江汽渡首航成功。1996 年 3 月 31 日，正式通航。

同日　中国民主促进会太仓市支部委员会成立。

1996 年

1 月 3 日　石油部副部长张轰一行 8 人考察太仓港，对港区发展给予较高评价。

1 月 8 日　浏家港港口开发区更名为江苏省太仓港港口开发区。

1 月 21 日　全省第一支武警边防总队海警支队在太仓组建，首艘海上缉私巡逻艇驻扎太仓港。

1 月 29 日　国家长江港务监督局同意组建太仓港务监督局。

2 月 2 日　全国第一个冷冻液化气基地在太仓港举行开工典礼，由中国华能综合利用开发公司、美国阿莫科炼油控股公司、江苏长江石油化工有限公司合资建设，总投资 3000 万美元，年储量 50 万～ 70 万吨。全国人大常委会副委员长王光英，省委常委、副省长、苏州市委书记杨晓堂等出席开工典礼。

2 月 3 日　全国人大常委会常务委员林宗棠一行 9 人考察太仓港区。

2 月 20 日　国家环境保护局（简称国家环保局）副局长张坤民一行考察太仓。

3 月 30 日　交通部部长黄镇东一行考察太仓。

4 月 1 日　美孚（太仓）石油有限公司、美孚（太仓）石油化工贮运有限公司在太仓港区举行开工典礼。美孚公司亚太公司总裁派克、日晖株式会社代表和省、苏州市、太仓市领导出席开工典礼。

4 月 5 日　太仓市关心下一代基金会成立。

4 月 17 日　人事部副部长张学忠考察太仓，参观太仓市人才服务中心、太仓市退休干部活动中心，高度评价太仓经济社会发展和人事工作。

4 月 22 日　文化部命名太仓市为“全国文化先进县（市）”。

同日　全市公共图书馆藏书总量 46.77 万册，实现公共藏书人均超 1 册，成为全国第二个公共图书藏书人均超 1 册的县（市）。

5 月 11 日　美国专空调公司与中方合资 3000 万美元组建的特灵空调器有限公司在太仓经济开发区开业投产。

6 月 7 日至 9 日　中国社会科学院（简称中国社科院）、省社科院和太仓市委

联合举办的“苏南精神文明建设理论研讨会”在太仓召开。全国政协副主席、中国社科院院长胡绳等参加会议。

6月12日　《苏州日报》报道,国务院确定太仓港为上海国际航运中心重要组成部分。

同日　省政府在太仓召开太仓港开发建设研讨会,省长助理张长胜,苏州市委副书记、市长章新胜出席会议并讲话。美国、英国等11个国家驻沪领事馆总领事和领事,80余家跨国公司代表和部分国内公司及省市有关部门领导250多人参加会议。

7月30日　太仓市行政学校成立,与市委党校合署办公,实行一套班子两块牌子。

9月1日　经省政府批准,江苏太仓港开发建设股份有限公司成立。由太仓投资公司、江苏省太仓港港口开发建设总公司等36家企业共同发起,注册资金6000万元。

9月3日　化工部副部长成思危考察太仓港石化码头。

9月26日　中共中央委员华国锋考察太仓,参观太仓铜材厂、大仓公司、马北村农民住宅区和港区石化码头,并为太仓铜材厂和马北村题词。

10月18日　公安部同意组建中华人民共和国太仓边防检查站。

10月19日　国家计划经济委员会副主任叶青、副省长陈必亭考察太仓港区。

同日　化工部副部长王兴芳考察太仓港区。

10月21日　中国农业发展银行太仓市支行挂牌成立。

11月2日至3日　国家计生委副主任杨魁孚考察太仓计划生育宣传教育工作。

11月7日　《太仓市党政机构改革方案》出台,明确太仓市为县级二类市,22个镇均为一类镇。党政工作机构由65个缩至40个,市级机关行政编制由1108人减至840人。

11月26日至28日　国务院总理李鹏在上海考察时指出,要做好上海、宁波和南京以下港口,特别是太仓港的扩能工作,以满足经济发展的需要。

12月16日　中远亚洲发展有限公司、江苏交通投资公司、江苏省高新技术投资公司苏州分公司、太仓港开发建设股份有限公司合资经营的中远国际城开发有限公司合同签字仪式举行。注册资金4亿元,其中中远亚洲发展有限公司出资占

比 74%，太仓占比 10%。

12 月 31 日　省计划经济委员会批复，同意建设太仓港港口开发区中远国际城起步工程围堤吹填项目及码头项目。围堤吹填范围自浪港口下游约 2660 米至 3400 米处，形成陆地面积约 81 万平方米，估算投资 1.7 亿元；码头项目为 2.5 万吨级多用途泊位 1 座，估算投资 2 亿元。

1997 年

1 月 8 日　中共太仓港港口开发区工作委员会、江苏省太仓港港口开发区管理委员会举行揭牌仪式。

1 月 13 日　太仓进出口商品检验局（简称商检局）成立。

1 月 18 日至 19 日　市委、市政府举行太仓港开港典礼、中远国际城开发有限公司成立大会暨对外经贸洽谈会，20 多个国家和地区的 600 多位来宾参加开港典礼。省委常委、苏州市委书记杨晓堂，省人大常委会副主任、苏州市人大常委会主任王敏生等有关领导和代表出席庆典。国务院总理李鹏为太仓港题写“开创太仓港建设新局面”题词，副总理李岚清、中央军委副主席迟浩田、全国人大常委会副委员长费孝通、全国政协副主席万国权等分别为太仓港题词。其间，举行万吨轮靠岸、港区项目奠基、中远国际城开发有限公司揭牌、商检局开检、经济开发区项目奠基等庆典仪式。对外经贸洽谈会共签约 21 个合同和意向项目，投资总额 2.6 亿美元，注册资本 1.5 亿美元。

2 月 12 日　交通部太仓长江港航监督局成立。

2 月 17 日　物理学家、中国科学院（简称中科院）外籍院士吴健雄在美国逝世，享年 85 岁。同年 2 月 23 日，太仓各界人士代表在浏河镇明德学校举行悼念活动。4 月 6 日，吴健雄骨灰由丈夫袁家骝及亲属从美国护送回归故里——浏河镇。1998 年 5 月 31 日，在浏河镇吴健雄墓园内举行骨灰安葬仪式。吴健雄丈夫袁家骝及其亲属，教育部副部长韦珏，中科院院士谢希德，南京大学党委书记韩星臣，苏州市委副书记、市长陈德铭等参加安葬仪式。

3 月 3 日　省教委确认太仓高级中学为江苏省重点中学。

3 月 8 日　中国农业科学院（简称中国农科院）棉花研究所在太仓召开国家棉花品种区试会议，决定将太仓市棉花原种场“太 193”棉花扩至整个长江流域进行

种植试验。

4月1日　农业部副部长洪绂曾考察太仓马北国际高新技术园区。

4月1日至2日　经省农作物品种审定委员会审定,“太193”棉花定名为“苏棉12号”,准予在适宜地区示范推广。

4月8日至9日　国家计生委副主任蒋正华到太仓指导计划生育工作。

4月10日　耐克(苏州)体育用品有限公司在太仓经济开发区开工建设。

4月13日　中共中央委员、原中国石油天然气总公司总经理王涛考察太仓港。

4月16日　市委、市政府召开职工医疗保障制度改革试点工作,全市职工医疗保障制度改革正式启动。

4月17日　省委副书记、省长郑斯林考察太仓铜材厂、南郊群星农业丰产方、和路雪冷饮公司、大仓服装公司、浏河套闸工地和太仓港石化码头,强调要加快经济结构调整,抓住机遇,加快发展,加快太仓港建设。

4月18日　国防科学技术工业委员会(简称国防科工委)副政委、纪委书记葛焕标率国防科工委参观团考察太仓。

4月24日　经省通信建设领导小组确认,太仓市实现村村电话村、镇镇电话镇的目标,城乡电话普及率达到每100人38.56部,成为全国第一个电话市。

5月27日至28日　交通部部长黄镇东一行考察建设中的太仓港。

5月31日　华能阿莫科清洁能源有限公司在太仓港区建成全国首座全冷冻液化石油气储库。同年12月1日,华能阿莫科清洁能源有限公司在北京举行新闻发布会,宣布全冷冻液化石油气储库在太仓港区建成投运。

6月18日　交通部长江引航中心在太仓港区成立。

8月23日　省委书记陈焕友考察太仓城区、新区和港区,肯定太仓变化大、发展快、后劲足,希望太仓着眼未来、抓住机遇、加快开发建设。

9月18日　克恩—里伯斯、托克斯、慧鱼、美名格—艾罗公司联合举行开业典礼,副省长王荣炳、中国驻德国大使卢秋田及省计经委、外经委、外事办、开放办等有关部门领导参加典礼。

10月22日　化工部部长顾秀莲一行考察太仓。

10月24日　德国巴符州经济代表团参观克恩—里伯斯、托克斯、慧鱼、威格玛、和路雪等企业。

10月27日　中远国际城第一座2.5万吨级多用途码头举行开工典礼。国

务院副总理邹家华，省委书记陈焕友，省委常委、常务副省长季允石，交通部副部长李居昌、郑光迪，国务院三峡工程建设委员会办公室（简称国务院三峡办）副主任高金榜，省委常委、苏州市委书记杨晓堂等领导和嘉宾出席开工典礼。

11 月 18 日　太仓市第二水厂和城区污水处理厂开工建设。1999 年 5 月 8 日，城区污水处理厂一期工程投入运行；1999 年 8 月 8 日，太仓市第二水厂长江引水一期工程建成并试供水。

11 月 24 日　交通部部长黄镇东一行考察太仓港。

12 月 5 日　中国文学艺术界联合会（简称中国文联）主席周巍峙一行考察太仓。

1998 年

3 月 21 日　交通部、省政府在太仓召开“太仓港总体布局规划”审查会，省委常委、常务副省长季允石出席会议并讲话。交通部、省政府和中国远洋运输（集团）总公司有关领导及建港专家共 80 余人参加会议。会议作出审查意见：将太仓港规划建设成以国际集装箱运输为主的多功能综合性港口。

3 月 29 日　澳大利亚昆士兰州经贸部部长杜士·斯拉克率领昆士兰州经贸代表团访问太仓。

同日　全国政协常委、香港中港集团主席徐展堂率领香港经贸代表团考察访问太仓。

4 月 6 日　国家体委副主任、国家乒乓球联合会（简称国家乒联）主席徐寅生，国家体委训练局局长李富荣等考察太仓，对太仓群众体育开展情况表示肯定。

4 月 18 日　太仓警方在浏河汽车站破获特大贩运毒品案，查获高纯度海洛因 18763.4 克。

5 月 6 日　苏州工业园区华能发电厂在太仓举行一期工程开工典礼。

5 月 24 日　交通部部长黄镇东一行考察太仓港中远国际城码头建设情况，要求第一个泊位在年末试运行。

6 月 10 日　省委常委、省军区司令员蒋文郁考察太仓民兵工作。

6 月 26 日　省委常委、苏州市委书记梁保华到太仓调研。

6 月 30 日　耐克（苏州）体育用品有限公司太仓工厂举行落成典礼。

7月12日　太仓市棉花原种场承担的《苏棉8号的选育与大面积推广应用》项目获省科技进步一等奖。

8月23日　诺贝尔物理学奖获得者、美国斯坦福大学教授朱棣文首次回太仓寻根探亲，参观港区、新区，并拜谒吴健雄墓。省委常委、苏州市委书记梁保华到太仓会见朱棣文。

9月7日　太仓市邮电局撤销，分别成立太仓市邮政局、太仓市电信局。

10月16日　太仓市国家安全局成立。

11月14日　全国人大常委会副委员长邹家华视察太仓港中远国际城码头。交通部副部长胡希捷，省委常委、苏州市委书记梁保华等陪同。

11月18日　省政府批准：浏家港、牌楼、璜泾、王秀、时思、老闸、九曲等7个镇行政区划进行调整，撤销牌楼镇，将其原辖区域并入浏家港镇；撤销王秀镇，将其原辖区域并入璜泾镇；撤销时思镇、老闸镇、九曲镇，将3个镇原辖区域合并设立金浪镇。11月27日，市委决定，撤销中共太仓市时思镇委员会、中共太仓市老闸镇委员会、中共太仓市九曲镇委员会，成立中共太仓市金浪镇委员会。

12月16日　中共中央纪律委员会（简称中纪委）常委傅杰一行到太仓检查工作，对太仓党风廉政工作表示满意。

1999年

2月10日　全国慢性非传染疾病综合防治示范点工作汇报会在太仓召开。卫生部疾病控制司，国家慢性病防治专家组，省、苏州市等领导和专家参加会议，对太仓慢性病基础研究工作及组织管理模式给予充分肯定。

3月5日　太仓市与意大利罗索里纳市签署建立友好经济合作关系协议书。

3月12日　江苏省科学技术委员会（简称省科委）批准太仓建立省级民营科技园。

3月26日　太仓海关成立，并举行揭牌仪式，正式对外办公。

同月　太仓长江主江堤达标工程竣工，工程全长37.94千米，投资1.64亿元。该工程获省水利厅“江海堤防达标优胜奖”。

4月8日　民政部授予太仓市“全国村民自治模范市”称号。

4月20日　司法部庆祝太仓市司法局荣立集体一等功大会在太仓娄东宾馆

召开，在全省县级司法局中属首家。

5 月 15 日　吴晓邦舞蹈艺术馆和高仁岐油画艺术馆落成开馆。中国文联主席周巍峙等出席开馆仪式。

9 月 4 日　太仓市贸易系统体制改革，撤销太仓市商业局、太仓市物资局、太仓市供销总社，合并成立太仓市贸易局，筹备组建太仓市贸易控股（集团）有限公司。

9 月 15 日　省委、省政府命名太仓市为首批“江苏省文明城市”。

9 月 17 日　国务院侨务办公室（简称国务院侨办）副主任刘泽彭考察太仓新移民工作，并拜谒吴健雄墓园。

9 月 22 日　世界著名物理学家杨振宁瞻仰吴健雄墓园。

9 月 29 日　海关总署批准太仓港为集装箱运输中转港。太仓港成为第三个长江沿线的集装箱运输中转港。

11 月 18 日　太仓进出口商品检验局、太仓动植物检疫局、太仓卫生检疫局合并，组建太仓出入境检验检疫局，承担太仓港口岸及太仓地区出入境检验检疫、鉴定、认证和监督管理等行政职能。

2000 年

1 月 10 日　太仓港区中远国际城陆上第一个项目——太仓长江仓储有限公司合资签约仪式举行。

1 月 20 日　中共中央委员、南京军区司令员梁光烈和政委方祖歧等考察太仓预备役部队建设情况。

2 月 23 日　太仓市与意大利罗索里纳市签署缔结友好城市关系协议书。

3 月 30 日　市委召开领导干部“三讲”（讲学习、讲政治、讲正气）教育动员大会，省“三讲”教育巡视组及苏州市委等有关领导出席会议并讲话。会议确定集中两个月时间，在全市领导班子、领导干部中开展以“三讲”为主要内容的党性党风教育。

4 月 2 日　宋文治铜像在宋文治艺术馆落成。全国政协主席李瑞环书赠贺词“祖国山河美，入画更辉煌”。

4 月 21 日　锦江航运与京汉海运航位互换在太仓交通大厦签约，并于当日实现太仓至釜山首航，航线一周两班。

4 月 24 日　明德高级中学经省教委专家组考核验收，被确认为省级重点中学。

5月5日　交通部部长黄镇东一行考察中远码头,慰问节日加班的码头工人和船员,并对港口有关情况进行调研。

5月9日至13日　国际合作计划生育项目研讨会在太仓召开,对太仓计划生育结合项目的成功经验给予高度评价。国家计生委副主任张玉芹等参加会议。

5月16日　文化部命名新湖镇为“中国民间艺术之乡”。

5月30日　中科院院士、原子核探测科学家唐孝威到明德高级中学讲学。

5月31日　教育部发文确认,太仓市职教中心为首批国家级重点中等职业学校。

7月4日　经省委、省政府批准,新毛、南郊、板桥、城厢4个镇合并为城厢镇,新塘、浏河两镇合并为浏河镇,直塘、沙溪两镇合并为沙溪镇,新湖、双凤两镇合并为双凤镇。

7月9日　太仓市首幅国有土地使用权在市土地市场公开竞拍成交,面积3924平方米,出让金156.3万元。

7月16日　总参谋部副总参谋长钱树根考察太仓预备役某团建设情况。

7月24日　劳动和社会保障部(简称劳动保障部)部长张左己一行到太仓检查指导工作。

9月17日　太仓出入境检验检疫局通过中国进出口商品认证中心(CQC)审核,成为全省县(市)级首家通过质量体系认证审核的单位。

9月24日　全市第七届村委会换届选举,实行“一票直选村委会”,在全省属首家。

9月28日　全国爱卫会正式命名太仓市为“国家卫生城市”。同年12月25日受全国爱卫会委托,苏州市领导向太仓市政府颁发“国家卫生城市”奖牌和“爱国卫生楷模”锦旗。

11月1日　全国第五次人口普查太仓普查工作展开。2500名人口普查员上门逐户进行普查登记。普查结果:2000年11月1日0时,全市常住人口51.49万人,其中户籍人口44.94万人,外来人口6.55万人。

2001年

1月3日　市委召开农村“三个代表”重要思想学习教育活动动员大会,部署

市级机关、各镇领导班子领导干部开展学习教育活动。学习教育活动分学习培训、对照检查、整改提高 3 个阶段展开。91 家单位、735 名副科级以上干部参加学习教育活动。

1 月 19 日　交通部太仓长江港航监督局更名为中华人民共和国江苏太仓海事处。

2 月 20 日　沿江高速公路（太仓段）工程建设启动。

3 月 20 日　国家环境保护总局（简称国家环保总局）局长汪纪戎率调研组检查太仓创建国家环境保护模范城市工作。

3 月 28 日　“江苏省县级市数字化示范城市工程启动暨中新网‘长江第一港’开港、中国网通宽带接入”庆典仪式在太仓举行。国家信息中心副主任王长胜等出席庆典。

同日　全市第一家民营股份有限公司，江苏德威新材料股份有限公司成立。

同月　省政府命名沙溪镇为“省历史文化名镇”。

5 月 16 日　太仓港港口开发建设总公司和加拿大纽芬兰与拉博拉多开发公司签署合资开发太仓港高科技园区协议。

同月　省教育厅确认太仓市沙溪高级中学为国家级示范性普通高中。

6 月 17 日　财政部部长项怀诚考察太仓港。

7 月 29 日　加拿大纽芬兰与拉博拉多省教育部部长朱迪·福特和加拿大驻沪领事馆代总领事尼尔·克莱格等考察太仓经济建设和教育事业。

8 月 7 日　璜泾中心小学民乐队演奏的《骑车去郊游》获全国第二届“蒲公英奖”创作、表演银奖，是太仓少儿文艺类作品获得的最高荣誉。

8 月 31 日　市政府公布第一批市级机关取消的 61 项行政审批项目，其中审批 31 项，审核 22 项，核准 4 项，备案 4 项。

9 月 1 日　全国首家德资企业专业工人培训中心，在太仓经济开发区揭牌并举行开学典礼。

9 月 21 日　太仓港区、新区与 8 家企业参展第四届亚太经济合作组织技交会，科技部部长徐冠华参观太仓展馆。

10 月 8 日　中国香港协鑫（集团）控股有限公司与省电力建设第一工程公司签署在太仓港投资建设热电项目协议，投资总额 12 亿元。

10 月 9 日　市委召开机构改革动员大会，公布《太仓市党政机关机构改革实

施意见》。改革后,市委、市政府设机构48个,比原来减少20个;镇级党政内设机构调整为8个综合办公室;市镇两级机关行政编制精简20%。

10月27日　全国政协副主席、全国工商联主席经叔平视察太仓新雅鹿集团等民营企业,并为新雅鹿集团题词“塑民族品牌,创世纪辉煌”。

10月29日　中国文联主席周巍峙考察张溥故居、吴晓邦舞蹈艺术馆等。

11月6日至8日　全国慢性非传染疾病社区综合防治示范点经验交流会在太仓召开,卫生部确认太仓为国家级慢性病防治示范点。

11月22日　苏州市太仓药品监督管理局成立。

12月5日　市委召开第二批农村“三个代表”重要思想学习教育活动动员会,要求全市农村基层党组织围绕“干部受到教育、农民得到实惠、组织达到加强”的目标,开展学习教育活动。全市204个行政村、341个乡镇站所2600余名干部参加第二批学习教育活动。

12月15日　国家环保总局命名太仓市为“国家环境保护模范城市”。

12月20日　沪嘉浏高速公路通车,与外环一级公路相接。

2002年

1月5日　省人大常委会主任陈焕友率省人大代表考察太仓。

1月10日　太仓市城市管理局正式揭牌。

2月6日　《人民日报》报道,太仓列全国发达百强县(市)第七位。

2月18日　《解放日报》报道,国家统计局农调总队公布,太仓发展活力指数为90.3,位居全国县(市)社会经济综合发展指数前100名县(市)第一。

3月28日　美国中南集团控股有限公司总裁张茵与太仓签订投资玖龙纸业协议,投资金额10.08亿美元。

同月　省第三批民间艺术乡镇评审公布,命名璜泾镇为“民乐之乡”,沙溪镇为“舞蹈之乡”。

4月9日　太仓港港口开发建设总公司与浙江紫光环保有限公司、清华紫光有限公司举行筹建港区污水处理厂签约仪式,投资总额4691万元。

4月25日　国土资源部副部长李元在太仓调研国土资源方面的情况,对太仓国土资源工作给予充分肯定。

5 月 10 日　省政府批准，成立太仓港环保发电有限公司，总投资 9 亿元。

6 月 8 日　长江引航中心太仓引航站挂牌成立。

6 月 26 日　苏南首个民营企业党委会——中共太仓市璜泾镇民营企业委员会成立。

7 月 1 日　南京军区政委雷鸣球率调研组调研太仓预备役某团工作。

7 月 20 日　岳王镇太星村全村 345 人一次性办理参加农民养老保险手续，成为太仓农民养老保险第一村。

7 月 26 日　国家电力公司副总经理、华能集团董事长李小鹏考察太仓港华能电厂。

8 月 13 日　中国石油天然气总公司润滑油分公司年产 32 万吨润滑油生产、仓储项目落户太仓港区。

10 月 15 日　城厢镇板桥管理区整建制委托太仓经济开发区代管。

10 月 21 日　全国政协副主席钱伟长一行视察太仓经济、文化、教育等方面的发展情况。

10 月 26 日　在江苏省第十五届体育运动会上，太仓运动员获金牌 16 枚，列全省县（市）第四名，创历史最好成绩。

10 月 28 日　太仓市行政审批服务中心挂牌运行，市规划建设局、外经贸局等 20 个部门入驻。

11 月　中央文明办确认太仓市为“全国创建文明城市工作先进城市”。

12 月　耐克（苏州）体育用品有限公司成为全市第一家国税入库超 1 亿元企业。

2003 年

1 月 26 日　太仓电信“小灵通”正式开通。

同月　太仓弇山园（原称人民公园）出土距今近 1000 年历史的海宁寺旧址基石、台基、亭基等文物。

同月　鹿河中学开设的民工子弟班招生，是全市公办学校开设的第一个民工子弟班。

2 月 1 日　太仓政府网站开通，网址为“www.taicang.gov.cn”。

2月20日　世界著名高能物理学家袁家骝骨灰抵达浏河镇,并与夫人吴健雄合穴共葬。2004年4月5日,骨灰安葬仪式在明德高级中学举行。

2月27日　全市首家社区股份合作社,城厢镇向阳社区股份合作社成立。

4月6日　世界气象组织多国别考察团考察太仓气象事业发展情况,国家气象局有关负责人陪同考察。

4月28日　江苏最大的输变电工程——220千伏浏家港输变电站在赵阳村动工,总投资1.7亿元。于2004年3月15日建成投运。

5月3日　市委、市政府召开“非典”防治紧急会议,要求各单位实行领导负责制,全力落实“非典”防控措施。

5月18日　交通银行太仓支行揭牌,首家股份制商业银行入驻太仓。

5月21日　双凤镇维新村发现“马桥文化”和“良渚文化”遗址。遗址距今4500年左右,是境内发现最早的人类活动遗址。

5月26日　武汉钢铁集团公司与太仓市政府签署在太仓港区建办钢铁原燃料及钢材物流配送中心合作意向书,一期投资10亿元。省委常委、苏州市委书记王珉,苏州市委副书记、市长杨卫泽,武汉钢铁集团公司董事长刘本仁,宁波港务局局长李令红等出席签约仪式。

5月27日　省委常委、政法委书记孙安华考察太仓,强调要以最佳法治环境推动高水平小康社会的建设。

5月30日　中化国际(太仓)兴国实业有限公司奠基暨PTMEG项目开工仪式在太仓港区举行,一期投资1.95亿元。省委常委、苏州市委书记王珉,中化国际董事长施国梁及太仓市领导出席开工典礼。

6月7日　省委书记李源潮在太仓调研,考察远太国际城码头、玖龙纸业、环保电厂等项目,提出太仓要继续放开眼界,抓住机遇,加快发展。省委常委、秘书长赵少麟,省委常委、苏州市委书记王珉,苏州市委副书记、市长杨卫泽等陪同调研。

7月1日　交通部批准:7月1日起,凡进出太仓港国际航线船舶航道养护费减半征收;准许进出太仓港的船舶夜航和在两个不同航区“一次引水”。

同日　《太仓市农村社会养老保险金试行办法》实施,首批1500余名农民领到农村养老保险金。至年末,全市9.33万人参加农村社会养老保险,其中未缴费直接达到享受年龄的老年农民4.84万人。

7月16日　太仓农电管理信息网全线开通,成为全国首个农电管理信息化市。

7 月 17 日　全市第一个农民公寓式住宅小区——浮桥镇“和平花园”动工，占地面积 30 公顷，可安置拆迁农民近 1600 户。

8 月 1 日　全市第一家德资企业工会——依纳（中国）有限公司工会成立。

8 月 12 日　省政府批准：太仓市调整部分镇行政区划，原 12 个镇合并为 7 个镇。沙溪镇、归庄镇、岳王镇合并成立新的沙溪镇；璜泾镇、鹿河镇合并成立新的璜泾镇；浮桥镇、浏家港镇、金浪镇合并成立新的浮桥镇；陆渡镇划归新区统一规划、管理，保留镇级建制。

8 月 28 日　公安部副部长赵永吉、公安部边防局局长朱家华考察太仓港中远国际城码头、太仓边防检查站。

9 月 19 日　太仓市国库支付中心成立，首批 88 家单位纳入国库集中支付。

同日　中国国民党革命委员会太仓市委员会成立，民革中央副主席厉无畏等出席成立大会。

10 月　市委、市政府组织质监、工商、卫生等部门对全市肉松及食品行业进行专项整治。对中央电视台曝光的两家肉松生产企业使用不合格原料和超标准使用添加剂等问题进行严肃查处。

11 月 8 日至 9 日　市委、市政府举行首届中国太仓郑和航海节、经贸洽谈会暨撤县设市 10 周年庆典。中国文联主席周巍峙，省委常委、苏州市委书记王珉，副省长李全林，苏州市委副书记、市长杨卫泽和太仓市（县）历任老领导及海内外客商 800 余人出席庆典大会。活动期间，举行庆祝太仓撤县设市 10 周年文艺演出、大型焰火晚会及江南丝竹音乐会、“郑和杯”美术书法作品展、首届中国太仓郑和航海节征文评选和纪念郑和下西洋 600 周年知识竞赛颁奖仪式、娄东美食节开幕式等活动。经贸洽谈会上，签约项目 53 个，外资项目总投资 32.91 亿美元，内资项目总投资 79.1 亿元。

同月　市明德小学创意作品“助残鼠标控制器”获第五届国际青少年机器人奥林匹克竞赛创意赛冠军。

12 月 19 日　中国石油天然气股份有限公司华东润滑油厂在太仓港区举行奠基仪式，中国石油润滑油公司总经理廖国勤及太仓市领导出席仪式。项目占地面积 10.8 万平方米，计划投资 2.2 亿元。

同年　太仓实行政府代缴农业税政策，不直接向农户征收农业税。2005 年取消农业税。

2004 年

1 月 13 日　省委、省政府授予太仓市“社会治安安全市”称号。

1 月 24 日　中共中央政治局常委、国务院副总理黄菊视察太仓港，肯定太仓港的开发建设情况，指出开发太仓港对国家有利，要加快发展步伐。省委书记李源潮，省委副书记、省长梁保华，交通部部长张春贤，国务院副秘书长尤权，国务院研究室副主任侯春云，省委常委、苏州市委书记王珉，副省长李全林，苏州市委副书记、市长杨卫泽等陪同。

3 月 9 日　太仓市与加拿大索里市建立友好交流城市关系。

同日　省委常委、省军区政委吴齐到太仓调研基层人民武装工作。

3 月 22 日　省教育厅公布普通高中星级转评结果：太仓高级中学、沙溪高级中学为四星级普通高中，明德高级中学、实验高级中学为三星级普通高中。

5 月 11 日　市政府印发《太仓市征地补偿和被征地农民基本生活保障实施办法》，对境内的征地补偿和被征地农民基本生活保障办法作出具体规定。7 月，浮桥镇光明村 10 名被征地农民首批按征地补偿和基本生活保障安置政策，享受“土地换保障”待遇。

6 月 6 日　江苏苏州孙剑良律师事务所在太仓开业，是全省第一批个人开业的律师事务所试点单位，也是苏州市第一家个人律师事务所。

6 月 30 日　健雄职业技术学院经省政府批准正式招生。9 月 3 日，健雄职业技术学院举行揭牌仪式。省委常委、苏州市委书记王珉发来贺信，教育部、省教育厅、苏州市教育局有关领导、部分高校负责人等近 1000 人参加仪式。

7 月 3 日　太仓受 7 号热带风暴“蒲公英”影响，风力 9 级，极大风速每秒 23.9 米，24 小时降水 111.4 毫米，造成 1 人死亡，8 人受伤，损坏房屋 330 间。

7 月 12 日　大庆油田力神泵业公司出口基地落户太仓，中国天然气集团公司总经理、大庆石油管理局局长曾玉康等出席开工仪式。

7 月 15 日　太仓市与海军大连舰艇学院在郑和舰上举行共建仪式。

8 月 6 日　太仓第一条高速公路——沿江高速公路江阴至太仓段开通。

8 月 8 日　国务院新闻办、香港凤凰卫视、太仓市政府联合举办的大型电视活动“凤凰号下西洋”启航仪式在太仓港国际集装箱码头举行。

8 月 23 日　德国国会议员富赫特尔率参观考察团 180 多人考察太仓，进行文化经贸交流。

9 月 1 日　太仓市教育系统作出新规定，凡符合条件的外来民工子弟可就近读公办学校，并取消借读费。

9 月 3 日　太仓江南丝竹专场音乐会在南京江南剧院举行。

9 月 13 日　全国生态示范区国家级考核组在太仓现场检查，确认太仓生态示范区建设达到国家标准。

10 月 8 日　国际合作结合项目——中国生殖健康家庭保健培训中心在太仓奠基。2005 年 10 月 28 日举行落成典礼，国家人口与计生委主任张维庆、副主任赵白鸽，副省长王湛，科摩罗副总统卡比·埃尔亚克鲁图·穆罕默德等 20 多个国家及有关国际组织高级官员出席典礼。

同月　中国科协命名太仓市为全国科普示范市。

11 月 1 日　全市各级党政机关、省部属单位停止纸质公文传送，实施电子公文传输。

11 月 2 日　太仓市无党派知识分子联谊会成立。

11 月 8 日　日本岩国市政府考察团访问太仓。

11 月 22 日　杨波在苏州大学附属第一医院捐献造血干细胞，成为太仓第一个造血干细胞捐献者。

同月　交通部批准，太仓港开通经日本石垣岛至中国台湾高雄、基隆港的集装箱航线，是交通部批准的长江沿岸港口中第一条海峡两岸间接航线。

12 月 11 日至 12 日　全国村务公开民主管理经验交流会在太仓召开。中共中央书记处书记、中央纪委副书记何勇，民政部部长李学举，省领导李源潮、梁保华、王寿亭、张连珍，全国各省、自治区、直辖市有关领导，民政系统负责人，全国村务公开领导小组办公室成员等 200 多人参加会议。太仓市委书记程惠明作《把村务公开和民主管理贯穿于村民自治全过程》的交流发言。与会者参观横沥村、时思村、香塘村村务公开、民主管理工作。

同月　中国纺织工业协会、中国化纤工业协会命名璜泾镇为“中国化纤加弹名镇”。

同月　陆渡镇陆东村发现明代晚期墓葬，出土器物 28 件，其中包金玉带板是太仓考古挖掘中首次发现。

2005 年

1 月 1 日　太仓《农村计划生育家庭奖励制度》实施。凡年满 60 周岁已领独生子女证,或未生育未收养子女,或只生育一个孩子且孩子已死亡未再生育和收养子女的农民,均可获得每人每月 50 元奖励。全年共有 2437 人领到奖励金卡。

1 月 25 日　在科技部、中国石油化工协会等组织的“中国石油和化学工业最具投资价值园区”展示活动中,太仓港区获“最具投资价值园区”称号。

3 月 16 日　世界电机巨头艾欧史密斯公司苏州分公司新厂在太仓新区开业。

3 月 22 日　全市首家英国独资企业海名斯(太仓)颜料化工有限公司开业,投资 6000 万美元。

4 月 7 日　省委书记李源潮到太仓调研,强调太仓必须确立“以工兴港、以港兴市、接轨上海、服务苏南”的发展路径及“建设国家级现代化港口工业城市”的目标,抓住机遇,科学发展,争取太仓港在“十一五”期间早日建成集装箱年吞吐能力 300 万标箱的亿吨大港。

4 月 28 日　太仓港至中国台湾的集装箱班轮“兴胜”轮启航,开启太仓港通达台湾的航线。

5 月 30 日　在卫生部、全国爱卫会联合举办的世界无烟日主题大会上,太仓荣获“全国无烟草广告城市”称号。

同月　中央社会治安综合治理委员会(简称中央综治委)、人事部授予太仓“全国社会治安综合治理先进集体”称号。

6 月 28 日　国家邮政局在太仓举行《郑和下西洋 600 周年》纪念邮票首发仪式。“扬帆高张 600 年——中新马泰联合集邮展”同时开幕。

6 月 29 日　苏州市太仓食品药品监督管理局成立。

7 月 6 日　第三届中国太仓郑和航海节开幕仪式举行。交通部副部长徐祖远、副省长李全林、中国科协书记处书记冯长根等领导及海内外嘉宾、太仓各界代表近 3000 人参加开幕式。开幕式上,太仓市与肯尼亚马林迪市签署缔结友好城市协议;太仓市政府授予重走郑和下西洋路的凤凰号 4 勇士“太仓荣誉市民”称号。7 月 10 日,第三届中国太仓郑和航海节闭幕式举行。

同日　由国家纪念郑和下西洋 600 周年活动筹备领导小组和省政府联合举办

的以“传承文明、走向世界、和平发展”为主题的纪念郑和下西洋600周年国际学术论坛闭幕仪式在太仓举行，全国人大常委会副委员长成思危出席闭幕会并讲话，省委副书记、省长梁保华致闭幕辞。

8月4日　省政府在太仓港召开现场办公会，专题研究加快太仓港的建设与发展问题，省委副书记、省长梁保华率有关部门负责人出席会议。梁保华强调太仓港要加快建设与发展，为提升苏南竞争力发挥更大的作用。

8月12日　太仓召开医疗机构改革动员会，提出对撤并镇卫生院实行资产整体转让的产权制度改革。

8月27日　集塑料原料、辅料、仓储、运输、商务于一体的大型专业化市场——中国华东国际塑化城在太仓港区开工奠基，规划占地面积100公顷。

8月29日　太仓市哲学社会科学界联合会成立。

10月22日　在首届中国小康建设与构建和谐县区论坛、2005中国小康建设十佳单位和人物颁奖典礼上，沙溪镇太星村获“中国（东部）小康建设十佳村”称号。

10月25日　德国巴符腾堡州代表团参观访问太仓。

10月29日至11月1日　国际人口与发展高官研修班在太仓举行，科摩罗副总统卡比·埃尔亚克鲁图·穆罕默德，刚果、肯尼亚、贝宁等19个国家的部长、国会议员及非洲联盟、人口与发展南南合作伙伴组织、国际计划生育联合会、日本家族计划国际协力财团的高级官员参加研修。省委书记李源潮在研修班作《构建和谐社会在江苏》专题演讲。

11月1日　省委书记李源潮率省委研究室、省建设厅、省交通厅等有关部门到太仓考察调研，要求太仓发挥优势、加快发展。省委常委、苏州市委书记王荣等陪同考察调研。

同日　太仓天然气门站点火，天然气开始进入太仓。

11月8日　苏昆太高速公路建成通车。

11月12日　太仓籍运动员顾薇获举重世锦赛女子58公斤级抓举、挺举和总成绩3枚金牌，打破挺举和总成绩世界纪录，是太仓第一位世界冠军。

同日　沙溪镇被建设部、国家文物局列入第二批中国历史文化名镇。

11月13日　铁道部副部长王兆成率专家组考察太仓地理交通区位和港口发展情况。

12月1日　农业部副部长范小健在太仓检查禽流感防控工作,肯定太仓防控措施扎实、效果好。

12月8日　碧辟(中国)工业油品有限公司在太仓港区成立,港区成为国内最大、品种最全的高级润滑油生产基地。

2006年

1月5日　全市举行第二代居民身份证首发仪式。

1月6日　国家旅游局授予太仓市“中国优秀旅游城市”称号。

同日　共青团中央授予太仓市“全国团建先进县(市)”称号。

1月16日　海关总署副署长龚正、武警部队副司令员刘红军一行考察太仓港和太仓边防检查站。

2月15日　太仓市体育馆、体育场部分房产租赁权经苏州天泰拍卖公司拍卖成交,是太仓国有资产房产租赁权首次进行拍卖。

同月　国家信访局副局长王石奇一行到太仓调研基层信访工作。

3月26日　国家人口计生委副主任江帆一行考察太仓计生工作和中国生殖健康家庭保健培训中心(CTC)项目。

3月29日　国家质量监督检验检疫总局(简称国家质检总局)局长李长江一行考察太仓,赞誉太仓是贯彻科学发展观与构建社会主义和谐社会的典范。

4月1日　宁夏回族自治区副主席张来武一行考察太仓,高度评价太仓快速发展和深厚绵长的文化底蕴。

4月14日　城厢镇府东社区采取“公推直选”方式进行基层党组织换届选举,在全市属第一家。

4月18日　市委召开第三批保持共产党员先进性教育活动总结大会。教育活动有8926名党员参加,举办各类党员培训班535期,专题辅导报告526场,征求各类意见4261条,建立党员中心户479个,开展活动3800多次,群众对教育活动的成效满意率94.48%。

4月23日　人口与发展南南合作伙伴组织中国项目办事处在太仓举行揭幕仪式,国家人口计生委主任张维庆,合作伙伴组织执行主任哈利·乔瑟里共同为办事处揭幕。

4 月 24 日　江西省委书记孟建柱考察太仓，称赞太仓是社会主义新农村的典范。

4 月 28 日　交通部部长李盛霖、副部长翁孟勇一行考察太仓港，希望通过优质服务实现太仓港更快发展。

5 月 20 日　国务院公布第一批国家级非物质文化遗产名录，太仓与上海市共同申报的江南丝竹名列其中。

5 月 21 日至 27 日　第三届全国体育大会“紫荆花纺织”杯桥牌比赛在太仓举行。

5 月 22 日　中共中央委员、全国政协常委袁伟民考察太仓体育工作，称赞太仓群众体育兴旺活跃。

5 月 26 日　省委常委、苏州市委书记王荣考察太仓新农村建设工作，强调一定要提高年龄大的和不能再就业农民的社会保障水平，让他们充分享受到新农村建设成果。

6 月 2 日　国务院公布第六批全国重点文物保护单位名单，太仓明代张溥故居和 5 座元代石拱桥（皋桥、州桥、周泾桥、金鸡桥、井亭桥）名列其中。

同日　省委常委、苏州市委书记王荣率领参加苏州市转变经济增长方式现场会的代表考察太仓，肯定太仓在为开放型经济注入新内涵、全方位开放及引进资金、人才、技术等方面取得的成绩。

6 月 13 日　太仓市领导干部会议在花园酒店召开，宣布省委、苏州市委任命决定：浦荣皋任太仓港党工委书记，谢鸣任太仓市委副书记。

6 月 23 日至 26 日　中共太仓市第十一次代表大会召开。大会选举产生中共太仓市第十一届委员会、中共太仓市纪律检查委员会、出席中共苏州市第十次代表大会代表。6 月 27 日，市委十一届一次全委会议选举 11 人为市委常委，浦荣皋为书记，谢鸣、宋建中为副书记。

同月　全市开展城市精神大讨论，广泛征集城市精神主题词。9 月，确定太仓城市精神为精致、和谐、务实、创新。

7 月 9 日　国务院台湾事务办公室副主任王在希一行考察太仓，赞誉太仓发展快、前景好。

7 月 10 日　市委举行《中共太仓地方党史》第一卷（1919 ～ 1949）发行仪式。

7 月 29 日　在第三届中国国际专利与名牌博览会上，太仓获 4 个特别金奖、1

个国际商标优秀企业奖、1 个最佳组团奖和 1 个最佳布展奖。

8 月 14 日　全市农业保险工作会议召开,农业保险工作启动。农民只要每亩水稻出 4 元保费,一旦水稻因自然灾害和意外事故造成损失,就可以获得赔偿。

8 月 16 日　在世界青年田径锦标赛上,太仓籍运动员张晓一以 7.86 米成绩获男子跳远铜牌。

8 月 21 日　中共中央原政治局常委、国务院副总理李岚清视察太仓,希望加快落实科学发展观,大力推进港口建设。省委副书记张连珍等陪同。

8 月 29 日　日本政府无偿援助中国生殖健康家庭保健培训中心器材完善计划交接仪式在太仓举行,国家人口计生委副主任赵白鸽等出席交接仪式。

9 月 2 日　2005 年度中国纳税 500 强企业排行榜公布,耐克(苏州)体育用品有限公司、太仓港环保发电有限公司分居排行榜 290 位和 458 位。

9 月 11 日　全国第二次农业普查省级综合试点动员大会召开,并于 9 月 4 日至 14 日在城厢镇电站村开展农业普查试点工作。2007 年 1 月 1 日,1200 多名普查人员现场调查全市 2058 个普查小区的农户。

9 月 16 日　全国人大常委会常委、上海市人大常委会副主任、民革中央副主席厉无畏率民革上海市委成员视察太仓。

9 月 29 日　2006 全国百强县(市)信息发布会在北京人民大会堂举行,太仓市列全国百强县(市)第九名。

同月　建设部命名太仓市为“国家园林城市”。11 月 4 日,太仓举行国家园林城市授牌仪式暨创建生态园林城市推进会议,建设部、省建设厅领导出席会议。

10 月 14 日　国家统计局在 2006 全国强镇发展论坛上公布 2005 年全国小城镇综合发展水平 1000 强名单,太仓 7 个镇再次全部入围。

10 月 17 日　商务部副部长魏建国一行考察太仓港及中国生殖健康家庭保健培训中心。

10 月 19 日　斯洛文尼亚共和国驻华大使麦尔·金、斯洛文尼亚 ISKRA 集团高层考察太仓,并参加该国投资的苏州依斯克拉汽车电器有限公司举行的开业典礼。

10 月 26 日　市政府召开太仓市志编修启动暨年鉴会议,《太仓市志(1986 ～ 2005)》启动编修。

同月　省外经贸厅批准设立太仓德资工业园区。

11 月 2 日至 3 日　全国人大常委会副委员长许嘉璐一行,就长三角地区贯彻

落实科学发展观和构建和谐社会视察太仓。

11 月 6 日　太仓市棉花育种中心研究员刘正銮培育的“苏 16 提高种”和“太 8033”棉花品种（系）搭载“实践八号”育种卫星后顺利返回太仓。太仓市棉花育种中心成为全国 4 家进行棉花航天育种的单位之一。

11 月 9 日　经苏州市科技局鉴定，太仓“百亩水稻亩产 800 千克无公害优质超高产技术”项目区中，一块 0.08 公顷杂交晚粳高产田块亩产达到 800.2 千克，成为全国水稻单块产量最高的田块。

11 月 10 日　国家旅游局批准太仓艳阳农庄为全国农业旅游示范点。

11 月 12 日　太仓市易裕粮油购销有限公司创办粮食银行。农户在收获季节按规定折率将稻谷折算成大米存入粮食银行，一年内农户凭粮食存折随时到粮食银行领取粮食。

11 月 15 日　城厢镇电站村首届农民文化节开幕，是全市第一家村办文化节。

11 月 28 日至 12 月 4 日　“2006 中国·沙溪首届舞蹈艺术节”举行。闭幕式上，中国舞协授予沙溪镇“群众舞蹈培训基地”称号。

12 月 1 日　中共中央原政治局常委、中央书记处书记、中央纪委书记尉健行视察太仓。

12 月 5 日　第六届全国县域经济基本竞争力百强榜公布，太仓列第八位。

12 月 6 日　璜泾镇 13 个行政村全部成立劳动关系调解小组，在全省属首家。

12 月 12 日　吴晓邦诞辰 100 周年纪念活动——“为人民而舞”、全国吴晓邦舞蹈艺术思想研讨会在太仓举行。12 月 18 日，由文化部、中国文联、省政府主办的吴晓邦诞辰 100 周年暨吴晓邦文集画册首发式活动在北京人民大会堂举行。同月，《一代舞魂吴晓邦》出版。

同月　双凤、璜泾、浮桥、沙溪 4 个镇通过创建全国环境优美乡镇省级考核。

2007 年

1 月 10 日　副省长黄莉新考察太仓，称赞太仓的新农村、现代农业建设“速度最快、潜力最大、后劲最足、协调发展最好”，希望太仓新农村建设成为全省典型。

同月　浮桥“长浮牌”中华绒螯蟹被认定为中国绿色食品 A 级产品，池塘养蟹获绿色食品证书在全国属首家。

2月2日　全国暖通空调领域第一家国际型博士后科研站——特灵空调系统(江苏)公司博士后科研站在太仓成立。

3月15日　太仓市政府公布第一批非物质文化遗产名录：双凤民歌、江南丝竹、古琴、滚灯、利泰高跷、矛子舞、昆曲、堂名、宣卷、肉松制作、糟油酿造、七夕节、新湖龙狮制作。

3月31日　财政部副部长张少春一行到太仓调研，对太仓发挥财政资金和改革双向调节作用，促进经济发展，培植扩充财源的做法予以肯定。

4月15日至16日　省委在太仓召开加快太仓港开发建设、推进昆太联动发展座谈会，强调加快太仓港建设，推动昆太联动发展是实现两市优势叠加，形成新优势的重要途径。

4月28日　国家文物局局长单霁翔一行考察太仓文物保护工作，提出要保护好明清建筑的风貌和民国初期的建筑物。

5月10日至13日　国际人口与发展南南合作能力建设专家咨询会议在太仓召开，12个国家30多位专家出席会议。

5月16日　舍弗勒(中国)有限公司新工厂开业投产，投资2亿欧元，建筑面积11万平方米，是德国舍弗勒集团在全球范围内最大的生产基地。

6月10日　新港城启动区10幢大楼同时开工，总投资15亿元、建筑总面积31万平方米。

6月11日　健雄职业技术学院举行新校区落成典礼。

6月13日　全国村务公开民主管理理论研讨和制度创新颁奖大会在北京召开，太仓的“村民小组代表会议制度”获“全国村务公开和民主管理制度创新奖”，成为全省唯一获此殊荣的县级市。

同月　国家环保总局命名城厢镇县府社区为国家级绿色社区，成为全市第一个国家级绿色社区。

同月　太仓百名农业科技专家与镇、村、户、人及项目对接到位，共对接80个村、68个项目，引进推广新品种60个，推广先进适用技术10个，创建农村科技示范基地36个。

8月29日　由交通部主办的“长江黄金水道建筑巡礼”江苏接力仪式，在太仓港码头举行。

8月31日　省委书记李源潮到太仓调研，肯定太仓经济建设和社会事业“发

展提速、面貌明显变化”，要求把太仓港建成“绿色港口”。

9 月 10 日至 23 日　国际生殖健康服务中心基础设施设计和装备官员研修班在太仓开班，亚洲地区 18 个国家近 30 位外国官员参加。

9 月 14 日　国家人口计生委党组书记、副主任李斌一行考察太仓人口与计划生育工作，赞誉太仓计划生育工作在理念、机制、服务体系、管理方法上均有创新。

9 月 17 日　省委常委、苏州市委书记王荣率苏州市四套班子领导到城厢镇电站村调研新农村建设示范村情况，在肯定电站村工作的同时，要求保持农村特色，进一步引进现代化概念，只有农村和现代化有机结合，优势互补才能更好地建设新农村。

10 月 23 日　中央电视台“欢乐中国行·魅力太仓”大型综艺晚会在太仓港举行，现场观众 1.5 万人，是太仓历史上演出规模最大的大型文化活动。

10 月 26 日　“双凤福地文化暨首届羊肉美食节”开幕。在开幕式上，1000 多人共同舞动 2008 米巨龙 1 条、18 米大龙 9 条、2 米小龙 81 条，创下舞龙场面最大的吉尼斯纪录，上海大世界吉尼斯总部颁发吉尼斯证书。

11 月 10 日　斯洛文尼亚共和国总理雅奈兹·扬沙访问太仓，随同访问的有外交部部长、经济部部长、卫生部部长和驻华大使等。

11 月 10 日至 11 日　“全国区域教育发展特色示范区”评估专家组现场评估太仓教育现代化，太仓市获“全国区域教育发展特色示范区”称号。

11 月 11 日　“地中海波罗的”号（世界第三大集装箱船）靠泊太仓港远太码头 2 号泊位，是太仓港迄今为止靠泊的最大轮船，改写长江直航靠泊最大轮船的纪录。

11 月 18 日　首届中国（璜泾）化纤加弹节在太仓举行。中国工程院院士、原纺工部部长季国标向璜泾镇赠题词“中国化纤加弹名镇——璜泾”，国内外 500 多位嘉宾出席。

12 月 3 日　太仓市政府公布第二批非物质文化遗产代表作名录：妈祖祭拜仪式、浏河渔民号子、灶头画、璜泾红木雕刻、抛石锁。

12 月 15 日　海关总署副署长龚正考察太仓，表示要加强服务，促进太仓发展。

12 月 19 日　世界著名运动悬挂弹簧生产商——德国艾巴赫集团投资项目落户太仓新区，至此，入驻新区的德资企业总数达 100 家。

12 月 20 日　市政府、太仓港管委会在苏州现代货箱码头有限公司举行太仓

港集装箱吞吐量突破100万标箱庆典活动,至此,太仓港实现从喂给港到支线港的飞跃。

12月25日至28日　太仓市十四届人大一次会议召开,出席代表217名。选举产生太仓市十四届人大常委会主任浦荣皋,选举谢鸣为太仓市人民政府市长。

2008年

1月1日　太仓市政府落实低保标准自然增长机制,城乡居民最低生活保障标准分别由每月人均320元、200元调至360元、250元。

1月18日　苏州中化国际聚氨酯有限公司开业,是世界500强企业在太仓港区投资的第十三个项目。

1月20日　在中国城市民营经济活力调研成果发布会上,太仓获“中国民营经济最具活力县(市、区)”第三名。

1月25日至2月2日　境内遭受严重暴雪冰冻灾害,总降雪量65.1毫米,积雪最深处23厘米。1月28日,市委、市政府召开抗雪紧急会议,要求紧急行动,积极应对。

2月8日至9日　民进中央主席严隽琪、副主席朱永新视察太仓。

2月24日　中国劳动保障科学研究院(简称劳科院)在太仓召开太仓建设城乡统筹社会保障体系实践模式研讨会。劳动保障部、省劳动保障厅等部门的40余位专家、学者参加会议。与会代表认为太仓市的城乡统筹“培训、就业、保障”三位一体工作,理顺了城乡统筹社会保障管理体制,制度设计走在全国前列,对全国有启示意义和借鉴作用。5月,太仓市被劳科院授予“创新实践研究基地”。

3月6日至12日　安踏全国女子排球赛(雅鹿赛区)在太仓举行,国际排联裁委主席克劳斯出席开幕式。

4月5日　交通运输部副部长徐祖远一行考察太仓,希望太仓抓住机遇,加快推进港口建设。

4月9日　太仓市金融合作管理办公室成立,属全省县级市第一家。

4月10日　联合国人口基金驻华代表博纳德一行到太仓考察中国生殖健康家庭保健中心。

4月23日　太仓中玻皮尔金顿特种玻璃有限公司特种玻璃生产线在陆渡镇

建成点火，是国内产能最大的太阳能玻璃生产线。

同月　太仓“梅山猪”入选国家级畜禽遗传资源保护名录。

5月2日至4日　在2008年江苏省县级田径比赛上，太仓代表团获8枚金牌、3枚银牌、3枚铜牌，总分170分，列全省金牌数第二、团体总分第三，居苏州5县（市）第一。

5月13日至24日　太仓市旅游促销团赴日本，在大阪举办太仓至下关客运航线旅游说明会，并与下关市政府、日本近畿旅游集团等签订合作协议。

5月20日　太仓市第一批救灾物资运往四川地震灾区，第一位卫监人员启程前往。22日，全市2.61万名党员响应市委号召交纳特殊党费564.8万元支援灾区。8月6日，太仓对口援建绵竹市齐天镇地震灾后重建指挥组赴四川灾区开展工作。至2008年年末，太仓市慈善总会募集救灾捐款2497万元，救灾物资价值489万元。至2010年9月，累计投入援建资金1.72亿元。

5月23日　全市举行社会化养老机构硬件建设奠基仪式，沙溪、浮桥、浏河三镇福利院奠基开工。2009年12月15日，三镇福利院竣工启用。

5月30日　省委常委、苏州市委书记王荣，苏州市委副书记、市长阎立在太仓考察生态绿化及金仓湖生态项目建设，称太仓生态绿化建设创新做法值得借鉴。

同日　在公安部、住房和城乡建设部联合组织的全国联评中，太仓城市“畅通工程”被评定为一等管理水平，获“实施畅通工程模范管理城市”奖牌。6月12日，公安部交管局副局长王金彪专程到太仓市颁发奖牌。

同月　太仓首届业余文艺团队“百团大展演”启动，127个业余文艺团队和民间文艺组织，2500名业余文艺爱好者深入到全市90个村、40个社区演出，至9月底，共演出140多场。

6月7日　省委副书记、省长罗志军考察太仓，强调加快太仓港建设和发展，无论对太仓还是整个苏南地区经济社会发展，都具有十分重要意义。

7月9日　中国航海日主体活动——2008年科技兴港论坛在太仓娄东宾馆开幕，论坛主题为“科技创新引领港口节能减排、环保高效”。

同日　2008年中国航海日“和谐之水”接水仪式在太仓举行，采自全国五省江河湖海（山东威海、黑龙江黑河、云南红河、辽宁丹东、四川九寨沟）的“五色水”汇聚太仓，注入象征奥运五环的容器内，寓意人们和谐相聚、珍爱地球、珍惜水源。中国航海日活动组委会办公室常务副主任李育平等参加接水仪式。

7月11日　2008年中国航海日庆祝大会在太仓玖龙体育馆举行。中共中央政治局委员、国务院副总理张德江发来贺信,全国人大常委会副委员长华建敏宣布大会开幕,并为航海日题词“扬帆远航,再创辉煌”。省委书记梁保华、海协会会长陈云林等出席大会。

同日　“2008郑和与航海国际论坛”“海峡两岸港口合作与发展研讨会”在太仓举行。

8月1日　国家环境保护部(简称环保部)命名太仓市为国家生态市。

8月8日　全市第一个经济适用房项目——南城雅苑小区在南郊新城动工。

8月14日　财政部副部长张少春一行考察太仓,称赞太仓新农村建设取得突破性进展,希望太仓港进一步加快建设步伐。

8月26日　华荣海运“太仓—石垣岛—台湾”航班首航庆典仪式在太仓港国际集装箱码头举行。

9月3日　第一届以“城市化和月季产业化”为主题的中国月季产业发展高峰论坛在太仓开幕,世界月季联合会主席梅兰,中国月季协会主席张佐双、副主席娄洪涛,欧洲植物保护委员会主席梅昂等出席开幕式。

9月5日　太仓港进口木材检疫除害处理区项目通过验收,成为全国第二个进口木材检疫除害处理区。

9月19日　在第三届中国·苏州美食节开幕式上,中国烹饪协会授予太仓市“中国江海河三鲜美食之乡”称号,授予双凤镇“中国羊肉美食之乡”称号。

10月16日　由太仓市政府和德国驻沪总领事馆共同举办的“德中同行——2008太仓周”系列活动在太仓开幕,是“德中同行”大型活动第一次在县级市举行。德国驻华大使施明贤、商务部副部长蒋耀平等2000多名中外嘉宾出席开幕式。

10月17日　投资20亿元,总建筑面积23万平方米,商业经营面积14万平方米的南洋广场举行开街仪式。

同日　国家知识产权局局长田力普一行调研太仓德资企业科技研发和知识产权保护情况,对太仓“双元制”培养技术工人的做法表示赞赏。

同月　太仓金仓湖生态休闲体验之旅入围2010年中国上海世博会主题体验之旅第一批示范点名单。

11月1日　在第三届世界健康城市联盟大会上,世界卫生组织授予太仓市健康城市优秀实践奖。

11 月 8 日　第五届中国中小城市科学发展高峰论坛发布“2008 年度全国中小城市综合实力百强”测评结果，太仓列第九位。

11 月 24 日　商务部和德国经济部共同授予太仓市“中德企业合作基地”称号，是全国第一个“中德企业合作基地”。

12 月 4 日至 7 日　中国社科院社会学研究所和太仓市委、市政府联合举办的“苏南模式新实践——中国县域（太仓）现代化道路探索”理论研讨会在太仓举行。中国社科院副院长武寅、原常务副院长汝信、学部秘书长何秉孟及 20 多位专家、教授、学者、新闻界人士参加。

12 月 8 日　健雄职业技术学院被授予“省级服务外包人才培训基地”称号，成为全省第一批 15 家服务外包人才培训基地之一。

12 月 15 日　海峡两岸海上直航首航仪式在太仓港国际集装箱码头举行。上午 11 时整，“天轮号”从太仓港正式起航，直航台湾基隆港。

12 月 19 日　《光明日报》发表题为《太仓对苏南模式形成和发展贡献很大》文章，总结太仓对苏南模式的形成和发展积累的经验是富民强市、城乡统筹、内外结合、探索新型工业化道路。

12 月 23 日　太仓市委宣布省委和苏州市委关于市政府主要领导的调整任免决定：谢鸣调任苏州市发展和改革委员会主任，陆留生任太仓市委副书记并提名为市长候选人。

12 月 26 日　海关总署、财政部、国家税务总局和国家外汇管理局联合批准设立太仓港保税物流中心。

12 月 28 日　省民间文艺协会授予太仓市“七夕文化传承基地”称号。

2009 年

1 月 5 日至 7 日　太仓市第十四届人大二次会议召开。大会选举陆留生为市人民政府市长。

同月　在国家发展和改革委员会（简称国家发改委）等七部委联合主办的中国首届创新型国家论坛年会上，太仓市获“建设创新型国家百强县”称号，列第九位。

同月　格林威（太仓）汽车销售服务有限公司经商务部批准设立，由世界 500 强之一美国福特汽车集团投资，是太仓第一家外资汽车品牌销售服务公司。

2月20日　在江苏省与中央企业合作发展恳谈会暨合作项目签约仪式上,太仓市与中国远洋运输(集团)总公司签订建设太平洋港口码头项目、中集集装箱及物流装备项目,总投资130亿元;与中化集团公司签订建设有机氟化工产业园项目,投资20亿元。

2月26日　以“中远太仓”命名的集装箱船在南通川崎造船基地举行下水仪式。省委书记梁保华为集装箱船命名,省政协主席张连珍为新船砍缆绳,中远集团总裁魏家福,省委常委、苏州市委书记王荣,副省长史和平,日本川崎重工特别顾问、株式会社川崎造船会长寺崎正俊等出席仪式。该船长348.5米、宽45.6米,总吨位11.8万吨,可装载10020个标准集装箱,是世界上最大级别集装箱船之一。

2月28日　中午12时,太仓二级公路收费站取消收费。

3月12日　副省长何权一行到太仓调研劳动和社会保障体系发展情况,考察获国家专利的“人力资源市场招聘摊位信息发布装置”,充分肯定该部门技术创新工作。

3月13日　市委学习实践科学发展观活动领导小组成立。同日,市委印发《全市深入学习科学发展观活动实施意见》。学习实践活动历时一年,分两批,每批分学习调研、分析检查、整改落实3个阶段进行。3月15日,市委召开深入学习实践科学发展观活动动员大会,部署学习实践活动。全市35个党组、21个党委、36个党总支、327个党支部、5675名党员参加第一批学习实践活动。

3月28日　2009年中国·太仓江海河三鲜美食节在浏河镇开幕。中国烹饪协会向太仓颁发“中国江海河三鲜美食之乡”奖牌。

3月29日　教育部副部长章新胜一行到太仓调研。省委常委、苏州市委书记王荣在太仓会见其一行。

4月2日　省委书记、省人大常委会主任梁保华到太仓考察。要求太仓在新一轮竞争中,实现跨越发展。

4月5日　交通运输部副部长徐祖远,福建省委常委、组织部部长于伟国,森林武警部队政治部主任闻培德,世界知识杂志社总编辑沈国放,中远集团副总裁李建红考察太仓,对太仓发展现代休闲农业,推进城市建设等给予充分肯定。

4月18日　太仓汽车客运中心站和城市公交枢纽站举行落成典礼暨上海世博会太仓游客中心签约仪式。太仓长途客运与城市公交实现“无缝对接”。太仓游客中心成为世博局在上海之外设立的首个游客集散中心。8月,太仓汽车客运中心站获评“一级站”。

4 月 22 日　省委深入学习实践科学发展观活动指导检查小组到太仓检查指导，肯定太仓的学习实践活动做到了突出针对性，把应对国际金融危机作为切实点；突出实践性，把“双保双促”作为着力点；突出群众性，把走群众路线作为关键点；突出有效性，把解决问题作为落脚点。

4 月 30 日　省委常委、宣传部部长杨新力到太仓考察，充分肯定太仓始终坚持科学发展观，促进经济社会又好又快发展。

5 月 13 日　中共中央宣传部（简称中宣部）副部长、中央学习实践活动领导小组成员兼办公室副主任翟卫华一行到太仓指导检查学习实践活动，对太仓在学习实践活动中经济社会取得平稳较快发展表示肯定。希望太仓学习实践活动走在苏州前列，把联系点建成学习实践活动的示范点，多出经验和亮点。

同日　由国家人口计生委、人口与发展南南合作伙伴组织共同举办的“国际人口与发展南南合作战略研讨会”在太仓举行，孟加拉、印度尼西亚、巴基斯坦等 10 多个国家官员、专家出席会议。

5 月 21 日　太仓保税物流中心正式封关运作，首次招商推介会揽下 12 个项目近 3 亿元的投资。

同日　LOFT 工业设计园（首期）正式开园运营。开园典礼上，省科技厅为园区颁发“江苏省高新技术创业服务中心”牌匾，是全省第一个以工业设计为主体的高新技术创业服务中心。

5 月 27 日　由太仓市政府、德国慕尼黑工商会和德国工商大会上海代表处共同举办的“2009 年太仓走进德国——慕尼黑太仓日”在德国慕尼黑举行。

6 月 2 日　新华社发表《江苏太仓：六个“千方百计”实现又好又快》的消息；中央电视台新闻联播报道太仓在学习实践活动中分析检查实际工作，切实解决突出问题的做法；中央人民广播电台也播出了此消息。

6 月 12 日　农业部部长孙政才到太仓考察现代农业工作。充分肯定太仓发展现代农业，不断提高农业科技创新能力等工作，并勉励继续以高效环保的生态科技示范作用，推动全市高效农业的发展。

6 月 25 日　由中国交通运输协会（简称中国交协）和太仓市政府主办的 2009 年中国物流万里行暨投融资考察座谈会在太仓举行。中国交协会长、中国国际物流节组委会主任钱永昌，中国货代协会、沃尔沃（中国）投资有限公司和 UPS（中国）有限公司等数十家物流机构和企业负责人出席会议。

6月27日　由上海文广新闻传媒集团主办的“魅力东方迎世博”大型媒体行动对太仓进行两小时的电视直播。上海东方电视台、太仓电视台并机直播；腾讯世博网、上海世博会官方网站、SMG传媒网在线直播。

6月28日　省委常委、常务副省长赵克志到太仓考察，对太仓积极应对国际金融危机挑战，加快经济社会发展给予充分肯定。

7月11日　太仓举行首届中国太仓旅游文化节开幕式暨郑和公园开园仪式。开幕式分项活动“弇山百乐园开园仪式”在弇山园举行。

7月15日　国家发改委副主任徐宪平一行到太仓专题调研长江水运情况。

8月2日　境内遭受特大暴雨灾害，3小时降雨量超过300毫米。受淹农田10466.67公顷、鱼塘2446.67公顷、企业1459家、民宅12185户，直接经济损失34830万元。市委、市政府召开紧急会议，部署抗洪救灾。

8月15日　省委常委、纪委书记冯敏刚考察太仓，对太仓的纪检工作给予充分肯定，强调反腐倡廉必须积极探索民主监督新形式。

8月20日　国家人口计生委副主任赵白鸽到太仓考察建设国家生殖健康科技产业(太仓)基地情况。

9月19日　市委召开第一批学习实践活动总结暨第二批学习实践活动启动工作会议。全市914个单位、29025名党员参加第二批学习实践活动。

同月　太仓市被评为“中国长寿之乡”，是全国第十二个、全省第二个获此荣誉的城市。2010年4月12日，长寿之乡新闻发布会暨授牌仪式在太仓举行，《人民日报》、新华社、中央电视台、《光明日报》等10多家媒体齐聚太仓，报道太仓长寿“秘诀”。

10月15日　“中国微型小说之乡”和“江苏省微型小说创作基地”授牌仪式暨《太仓微型小说作家群作品选》首发式在太仓娄东宾馆举行。

10月17日　民政部授予太仓市“全国农村社区建设实验全覆盖示范单位”称号。

10月19日　民政部授予太仓市“全国和谐社区建设示范城区(市)”称号。

10月21日　商务部党组成员、副部长姜增伟考察江苏(太仓) LOFT工业设计园和南洋广场。

10月21日至22日　2009年海峡两岸港口物流与制造业(太仓)合作对话大会在太仓举办。由太仓市人民政府主办，中国物流与采购联合会、台湾物流协会、

香港物流协会、台湾产业电子化运筹管理学会共同协办。主题为“两岸四地新机遇、新发展、新趋势”。

10 月 22 日　解放军选手、太仓籍运动员张晓一在第十一届全国运动会田径男子跳远决赛中夺得冠军。

10 月 30 日　国家档案局局长杨冬权到太仓调研档案工作，充分肯定太仓档案工作的成绩，认为太仓有 100 多家单位达到“数字档案室标准”，处于全国领先水平。

同月　科技部批准太仓建设国家可持续发展实验区。2010 年 1 月 11 日，在北京召开的国家科学技术奖励大会上，太仓市被授予“国家可持续发展实验区”称号。

11 月 9 日　国家知识产权局确定太仓“中德企业合作基地”为第二批全国专利保护重点联系基地，并被纳入全国专利保护重点联系机制，是全省唯一进入该机制的单位，在全国县级市中属首家。2010 年 7 月 10 日，太仓市获“中德企业合作基地”全国专利保护重点联系基地称号。

11 月 18 日　太仓市在 2009 年中国国际物流节上获“物流中心城市最佳投资环境奖”。

11 月 19 日　省委书记梁保华率省有关部门负责人到太仓考察。充分肯定太仓应对金融危机取得的成绩，强调进一步推进区港联动，提升太仓港对苏南经济转型升级的支撑能力。

11 月 26 日　上海世博会安保协调小组组长、公安部副部长、党委副书记刘京一行到太仓，考察上海世博会“环沪护城河”安保工作。2010 年 3 月 29 日，再次到太仓考察上海世博会安保工作。

12 月 1 日　美国佐治亚州沙泉市市长伊娃·加兰博斯率政府代表团一行到太仓参观考察，并与太仓市签订缔结友好城市关系意向书。

12 月 4 日　国土资源部党组成员、副部长王世元到太仓，对太仓经济社会发展和节约集约用地情况进行调研。

12 月 25 日　民革中央副主席、省政协副主席、民革江苏省委主委程崇庆一行，就太仓港进一步发挥在苏台经贸合作中作用的课题到太仓调研。

12 月 31 日　沪太城际快线正式开通，朝阳路车站正式启用，太仓与上海轨道交通 11 号线实现无缝对接。

同月　太仓市获 2014 年第二十六届世界杯竞走比赛的承办权。

同月　国家文物局授予太仓市全国文物工作先进县(市)称号,是全省唯一获此荣誉的县(市)。

2010 年

1 月 7 日　第三届“长三角最具投资价值县(市)”揭晓,太仓市获“最具创新力奖”。

1 月 12 日　太仓创建“白内障无障碍市”工作通过全国残工委考核,成为全国第一批“白内障无障碍市”。

1 月 22 日　2010 年上海世博会太仓游客中心暨世博会江苏省旅游集散中心揭牌。郑和公园、郑和纪念馆被授予“长三角世博主题体验之旅示范点”称号。

同日　公安部副部长黄明到太仓考察世博“环沪护城河”卡点建设等安保工作。

2 月 17 日　中央联席会议办公室副主任、国家信访局副局长王石奇一行到太仓调研,评价太仓信访工作措施扎实有效。

3 月 11 日　全省发展完善党领导的村级民主自治机制工作经验交流会在太仓召开。省委副书记、组织部部长王国生等出席会议。

3 月 24 日　国家海关总署党组副书记、副署长李克农在苏州海关关长柏华冰陪同下到太仓考察。

同日　城厢镇电站村入选环保部发布的第二批国家级生态村名单,是太仓首个获此荣誉的村庄。

3 月 30 日　太仓市供销合作总社揭牌。

4 月 14 日　太仓市委、市政府制定《关于加快城乡发展一体化、推进农民进城(镇、区)集中居住的实施意见》,5 月 1 日起实施。

4 月 19 日　太仓港第一条远洋集装箱航线,太仓港—美国西岸航线“太仓龙”号开航。航线直航美国洛杉矶港,每周 1 班,单程航行 14 天,投入 5 艘船舶。

4 月 20 日　全国政协常委、民革中央副主席、民革中央人口资源环境委员会主任何丕杰一行到太仓调研经济社会发展与港口建设情况。

4 月 22 日　南非农村发展和土地改革部部长古吉莱·恩昆蒂率考察团到太仓考察新农村建设和现代农业发展情况。

5 月 7 日至 9 日　“雅鹿杯”2010 年全国竞走冠军赛在太仓举行。

6 月 12 日　中央农村工作领导小组副组长、办公室主任陈锡文到太仓考察现代设施农业示范园、太仓港集装箱码头、沙溪镇太星村、城厢镇东林佳苑等地。

6 月 20 日　人社部信息中心将太仓市列为全国首家“人力资源和社会保障信息化建设实践应用基地”。

6 月 24 日　中国轻工业联合会和中国自行车协会联合授予陆渡镇“中国自行车名镇”称号，是全国首个获此荣誉的乡镇。

7 月 6 日　西班牙巴塞罗那市政府第一副市长卡纳率市政府代表团到太仓参观考察。

7 月 14 日　省委副书记、省长罗志军率省有关部门负责人到太仓调研城乡一体化工作，并主持召开加快太仓港建设发展专题会议。

7 月 15 日　中国驻日本大使程永华到太仓考察新区和科教新城等地，并表示将努力促进太仓与日本的友好交流和经济合作。

同日　日本坂东市市长吉原英一率代表团到太仓访问，探讨如何促进两个城市更深层次的交流与合作。

7 月 19 日　中华人民共和国太仓海事局举行揭牌仪式。

7 月 22 日　中国城市经济学会和中国劳动学会主办的首届“中国城市民生建设调研成果发布会暨中国城市民生建设论坛”召开，太仓市入选十大“中国最关爱民生的城市”。

8 月 13 日　太仓市被列为第二批全国小型农田水利建设重点县。

8 月 16 日　“七夕”文化活动日暨《民间传说——牛郎织女》特种邮票首发式，在太仓科教新城风情水岸街举行。

8 月 18 日　中国农工民主党太仓直属支部成立，会议选出中国农工民主党太仓直属支部的主任委员、委员。

8 月 23 日　“中国德企之乡”——太仓新区入选科技部评选的第六批“国际科技合作基地”，是苏州县级市中首个国家级“国际科技合作基地”。

9 月 1 日　太仓市被公安部、住房和城乡建设部联合授予 2008—2009 年度实施畅通工程模范管理城市称号。

9 月 9 日　水利部副部长矫勇，水利部副总工程师、国务院水利普查办公室副主任庞进武到太仓港集装箱码头、浏河水利枢纽工程、市水利普查试点工作现场考

察水利普查和水利工作。

9月11日至17日　“2010上海世博会太仓主题周”活动在世博园内最佳城市实践区苏州馆开幕,4万多名海内外世博游客入馆参观。

9月21日　太仓港与高雄港缔结合作港签约仪式暨苏台商品物流中心奠基仪式举行。交通运输部副部长徐祖远、海峡两岸关系协会副会长李炳才等出席仪式。

9月28日至29日　在2010年中国现代服务业大会上,国家发展战略学研究会经济战略专业委员会和中国产业集群研究院联合授予太仓市“中国现代服务业投资环境十佳区县”称号。

10月21日　召开全市领导干部会议,宣布省委、苏州市委对太仓市党政主要领导调整的决定:浦荣皋任苏州市副市长,免去太仓市委委员、常委、书记,太仓港经济开发区党工委委员、书记,太仓港口党工委委员、书记职务,不再担任太仓市人大常委会主任。陆留生任太仓市委书记、太仓港经济开发区党工委书记,不再担任太仓市政府市长职务,免去太仓港经济开发区管委会主任职务;王剑锋任太仓市委副书记、太仓港经济开发区管委会主任,并提名为太仓市政府市长候选人。

10月26日至29日　在第四届世界健康城市联盟大会上,太仓因提升外来儿童健康水平成效显著获“健康城市优异奖”。

10月27日　太仓市十四届人大常委会第二十一次会议决定王剑锋为太仓市人民政府代理市长;同意浦荣皋因工作变动辞去市人大常委会主任职务,同意陆留生因工作变动辞去市政府市长职务。

10月28日　太仓港正和集装箱码头对外开放,成为继太仓港国际集装箱码头和现代货箱码头之后的第三座对外开放的现代化集装箱码头。

11月28日　农业部农业推广服务中心在太仓调研现代植保机械推广情况,充分肯定近年来太仓自主研发、转型升级现代植保机械取得的成绩。

12月16日　太仓市入选农业部、国家安监总局公布的全国“平安农机”示范县名单。

12月17日　苏州锦凯纺织有限公司在美国纳斯达克成功借壳上市,是太仓首家民营企业在境外成功上市。

12月30日　204国道收费站停止收取过往车辆通行费。

12月31日　天顺风能(苏州)股份有限公司A股成功上市,是太仓在A股市场上市的首家企业。

建置区划

卷 一

JIAN ZHI QU HUA

1985 年年末，太仓县设有 21 个乡、3 个县属镇，辖群众自治组织 333 个村和 32 个市镇居民委员会。1993 年 3 月，撤县设太仓市。经多次乡镇区域调整及村域、社区调整，至 2005 年年末，全市设有 7 个镇，辖 126 个行政村和 62 个社区居委会。全境总面积 822.91 平方千米。

一、建置沿革

境　域

太仓市位于江苏省东南部，长江入海口南岸。地处长江三角洲东南，北纬 31° 20′ ~ 31° 45′，东经 120° 58′ ~ 121° 20′。境域最大直线距离南北长 45.5 千米，东西宽 39 千米。东濒长江，与上海市崇明岛隔江相望，西连昆山市，南邻上海市宝山、嘉定两区，北与常熟市接壤。太仓与宝山、嘉定、昆山、常熟四区市交界线总长 189.28 千米，其中与宝山、嘉定两区省际交界线 87 千米，与昆山、常熟两市县际交界线 102.28 千米。2005 年，全境总面积 822.91 平方千米，其中长江水域面积 173.89 平方千米，内陆面积 649.0165 平方千米；耕地面积 3.51 万公顷。

沿　革

太仓古代为滨海村落。春秋时属吴地，秦属会稽郡，汉为吴郡娄县惠安乡。三国吴于此建仓屯粮，渐次发展。元代于刘家港开创漕粮海运后，遂日益繁盛，成为万家之邑。元末筑太仓城。吴元年建太仓卫，明初置镇海卫，屯兵驻防。明弘治十年（1497 年），割昆山、常熟、嘉定三县地建太仓州。清雍正二年（1724 年），升为江苏直隶州，并析州地置镇洋县。民国元年（1912 年），太仓州和镇洋县合并，定名太仓县。中华人民共和国成立后，始属苏南人民行政公署苏州区专员公署，后隶属江苏省苏州地区专员公署。1983 年 3 月，改隶苏州市。1993 年 3 月，撤县设太仓市，市政府驻地城厢镇。

二、区　划

乡　镇

1985 年年末，全县有 21 个乡，3 个县属镇。1986 年 12 月 18 日，茜泾、浮桥、岳王、南郊 4 个乡分别撤乡建镇。1991 年 4 月 16 日，璜泾撤乡建镇。1993 年 1 月至 4 月，鹿河、王秀、归庄、板桥、陆渡、牌楼、双凤、新毛、新湖、新塘、直塘 11 个乡先后撤乡建镇。6 月，茜泾镇更名浏家港镇；娄东乡、沙溪乡分别并入城厢镇、沙溪镇。1994 年 8 月 8 日，时思撤乡建镇。1995 年 2 月 15 日，九曲、老闸 2 个乡撤乡建镇。至此，全市实现镇管村体制。1998 年 11 月 30 日，牌楼、浏家港 2 个镇合并称浏家港镇，王秀、璜泾 2 个镇合并称璜泾镇，九曲、时思、老闸 3 个镇合并称金浪镇（11 月 18 日，省政府批复）。2000 年 7 月 17 日，直塘、新塘、新湖 3 个镇分别并入沙溪镇、浏河镇、双凤镇，南郊、板桥、新毛 3 个镇并入城厢镇（7 月 4 日，省政府批复）。2003 年 8 月 12 日，岳王、归庄、沙溪 3 个镇合并称沙溪镇，鹿河、璜泾 2 个镇合并称璜泾镇，浏家港、金浪、浮桥 3 个镇合并称浮桥镇。至 2005 年年末，全市共有 7 个镇。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）乡镇行政区域调整情况表

表 1

<table>
<tr><th>1986</th><th>1993</th><th>1998</th><th>2000</th><th>2003</th><th>2005</th></tr>
<tr><td>城厢镇</td><td>城厢镇</td><td rowspan="2">城厢镇</td><td rowspan="5">南郊、板桥、新毛并入城厢镇</td><td rowspan="5">城厢镇</td><td rowspan="5">城厢镇</td></tr>
<tr><td>娄东乡</td><td>并入城厢镇</td></tr>
<tr><td>南郊镇</td><td>南郊镇</td><td>南郊镇</td></tr>
<tr><td>板桥乡</td><td>板桥镇</td><td>板桥镇</td></tr>
<tr><td>新毛乡</td><td>新毛镇</td><td>新毛镇</td></tr>
<tr><td>沙溪镇</td><td>沙溪镇</td><td rowspan="2">沙溪镇</td><td rowspan="2">沙溪镇</td><td rowspan="5">岳王、归庄、沙溪合并为沙溪镇</td><td rowspan="5">沙溪镇</td></tr>
<tr><td>沙溪乡</td><td>并入沙溪镇</td></tr>
<tr><td>直塘乡</td><td>直塘镇</td><td>直塘镇</td><td>并入沙溪镇</td></tr>
<tr><td>岳王镇</td><td>岳王镇</td><td>岳王镇</td><td>岳王镇</td></tr>
<tr><td>归庄乡</td><td>归庄镇</td><td>归庄镇</td><td>归庄镇</td></tr>
</table>

续表 1

1986	1993	1998	2000	2003	2005
浮桥镇	浮桥镇	浮桥镇	浮桥镇	浏家港、金浪、浮桥合并为浮桥镇	浮桥镇
茜泾镇	浏家港镇	牌楼、浏家港合并为浏家港镇	浏家港镇		
牌楼乡	牌楼镇				
九曲乡	九曲乡	九曲、时思、老闸合并为金浪镇	金浪镇		
时思乡	时思乡				
老闸乡	老闸乡				
鹿河乡	鹿河镇	鹿河镇	鹿河镇	鹿河、璜泾合并为璜泾镇	璜泾镇
璜泾乡	璜泾镇	王秀、璜泾合并为璜泾镇	璜泾镇		
王秀乡	王秀镇				
浏河镇	浏河镇	浏河镇	浏河镇	浏河镇	浏河镇
新塘乡	新塘镇	新塘镇	并入浏河镇		
双凤乡	双凤镇	双凤镇	双凤镇	双凤镇	双凤镇
新湖乡	新湖镇	新湖镇	并入双凤镇		
陆渡乡	陆渡镇	陆渡镇	陆渡镇	陆渡镇	陆渡镇
合计 24	22	18	12	7	7

村

1986 年，全县有行政村 329 个（不含茜渔、浮渔、时渔、鹿渔 4 个经济合作社）。1999 年，根据江苏省村域调整意见，“一个村的人口一般在 3000 人左右”的要求，合并 87 个村，占总数的 26.44%；合并后，全市有行政村 242 个。

1999 年太仓市行政村区域调整情况表

表 2

镇名	村名		村名		村名		合并个数
	合并前	合并后	合并前	合并后	合并前	合并后	
城厢	魏桥	北郊	东新	东港	娄渔	伟阳	3
	北郊		顾港		伟阳		
南郊	常丰	南郊	水产	胜昔	安乐	太安	3
	南郊		胜昔		太安		

续表 2

镇名	村名		村名		村名		合并个数
	合并前	合并后	合并前	合并后	合并前	合并后	
新毛	姚湾	徐姚	民力	新兴	—	—	2
	徐泾		流顺				
板桥	常胜	香花桥	—	—	—	—	1
	花桥						
沙溪	洞泾	洪泾	夏桥	杨桥	新河	松南	4
	洪泾		杨桥		松南		
	岳湾	半泾	—	—	—	—	
	半泾						
直塘	洞星	张泾	沙巨	泥桥	—	—	3
	张泾		渔业				
			泥桥				
岳王	横杨	岳星	—	—	—	—	1
	岳星						
归庄	新桥	项桥	梅林	双泾	归北	高泾	7
	项桥		双泾		高泾		
	葛桥	庄西	米东	陈泾	管泾	苏巷	
	米泾		陈泾		苏巷		
	庄西						
浏河	阅兵	新镇	农场	闸南	江沿	东仓	10
	新镇		闸南		东仓		
	三星	何桥	常红	苏张	六里	桃源	
	何桥		苏张		桃源		
	常清	新闸	子泾	闸北	石桥	浏南	
	新闸		闸北		浏南		
	海塘	东海	—	—	—	—	
	东海						
新塘	凤洲	斑竹	新胜	墙里	高桥	天浜	4
	斑竹		墙里		天浜		
	新南	新塘	—	—	—	—	
	新塘						
浮桥	石孔	和平	六尺	浮南	浮北	浮桥	3
	和平		浮南		浮桥		

续表 2

镇名	村名		村名		村名		合并个数
	合并前	合并后	合并前	合并后	合并前	合并后	
浏家港	茜星	茜泾	崔漕	杨林	凤星	兆丰	5
	茜东		杨林		米场		
	新生	新邵	夹宅	赵阳	—	—	
	邵桥		赵桥				
金浪	火星	卫星	新浦	方桥	大众	红光	13
	卫星		方桥		红光		
	闸西	老闸	河沼	绿化	红丰	三市	
	老闸		绿化		三市		
	东升	鹿鸣	建设	鹿新	万众	浪港	
	鹿鸣		鹿新		浪港		
	大星	先锋	红跃	柳园	—	—	
	红健		闸渔				
	先锋		柳园				
璜泾	长乐	新华	广丰	华南	江海渔业	荡茜	10
	前进		华南		荡茜		
	新华						
	荷花	永乐	广乐	广新	湘里	王秀	
	永乐		广新		王秀		
	白荡	孙桥	伍胥	健华	草庙	杨漕	
	孙桥		健华		杨漕		
鹿河	玉影	东影	滨海	新海	黎明	新明	7
	东泾		新泾		新幸		
	泗洲	长洲	新市	长新	飞跃	飞鹿	
	长城		长沙		鹿南		
	长江						
双凤	凤北	凤中	新安	黄桥	南转	新杨	4
	凤中		黄桥		新杨		
	双渔	同新	—	—	—	—	
	同新						

续表 2

镇名	村名		村名		村名		合并个数
	合并前	合并后	合并前	合并后	合并前	合并后	
新湖	新渔	湖川	新跃	新星	严林	新湖	4
	湖川		新星		新湖		
	民丰	新乐	—	—	—	—	
	新乐						
陆渡	渔业	枫泾	陆东	陆渡	—	—	3
	枫泾		陆西				
			向东				
总　计							87

2000 年起，分期分批再次调整行政村，至 2003 年，调整合并 24 个行政村，其中，原岳王镇的兴隆、光跃、双桥、岳南 4 个行政村在苏昆太高速公路以南的 39 个村民小组，组成岳南村，划归城厢镇，合并后，全市有行政村 218 个。

2000 ～ 2003 年太仓市行政村区域调整情况表

表 3

镇名	村名		村名		合并个数	附注
	合并前	合并后	合并前	合并后		
城厢	薛家滩	太胜	银星	金星	5	其中薛家滩 2000 年并入，银星 2002 年并入，其余 2003 年并入
	太胜		金星			
	红旗	长泾	东风	小桥		
	长泾		小桥			
	凤联	花北	—	—		
	花北					
沙溪	大通	中荷	印南	胜利	4	
	中荷		胜利			
	张泾	曾湾	陶湾	涂松		
	曾湾		涂松			

续表 3

镇名	村名		村名		合并个数	附注
	合并前	合并后	合并前	合并后		
沙溪	凤凰	直塘	邢巷	塘桥	7	其中大通、印南、邢巷 2000 年并入，三仓、张泾、东街、西街 2001 年并入。岳南划入城厢镇
	直塘		塘桥			
	东街	岳镇	三仓	楼巷		
	西街		楼巷			
	岳南	岳南	—	—		
	兴隆					
	光跃					
	双桥					
浮桥	马桥	马北	茜胜	跃胜	7	其中马桥、方埝、白埝、高桥、茜胜、跃进2000年并入，火箭2001年并入，其余2003年并入
	马北		跃进			
	火箭	三里	健心	丁泾		
	三里		丁泾			
	白埝	高埝	花蒲	中燕		
	方埝		中燕			
	高桥					
陆渡	红新	横沥	—	—	1	2003年并入
	横沥					
总　计					24	

2004 年，根据经济发展，坚持“调大、调强、调优”原则，适应“城市化管理”，全市调整合并 92 个行政村，其中合并 69 个行政村。2005 年年末，全市有行政村 126 个。

2004 年太仓市行政村区域调整情况表

表 4

镇名	村名		村名		村名		村名		合并个数
	合并前	合并后	合并前	合并后	合并前	合并后	合并前	合并后	
城厢	新民	新农	西新	胜泾	仗义	电站	新陆	花北	4
	新农		胜泾		电站		花北		

续表 4

镇名	村名		村名		村名		村名		合并个数
	合并前	合并后	合并前	合并后	合并前	合并后	合并前	合并后	
城厢	沼泾	永丰	柴塘	万丰	徐姚	东林	—	—	6
	独娄		大丰		新横				
	永丰		万丰		东林				
沙溪	百花	涂松	沙北	印北	杨桥	中荷	楼巷	胜利	16
	涂松		印北		中荷		胜利		
	青秧	半泾	曾湾	虹桥	青凤	泥桥	米中	泰西	
	半泾		虹桥		泥桥		泰西		
	项门	岳星	岳东	新建	双泾	项桥	高泾	庄西	
	岳星		新建		项桥		庄西		
	岳西	塘桥	苏巷	渠泾	陈泾	凡山	—	—	
	星月		渠泾		凡山				
	塘桥								
浏河	钱泾	闸北	三井	东海	新东	万安	杨桥	张桥	6
	闸北		东海		万安		楼新		
							张桥		
	石新	墙里	—	—	—	—	—	—	
	墙里								
浮桥	江海	童桥	跃胜	高埝	渔丰	牌楼	兆丰	丁泾	12
	童桥		高埝		牌楼		丁泾		
	赵阳	新邵	卫星	新仓	红光	方桥	新光	老闸	
	新邵		新仓		方桥		老闸		
	柳园	三市	新亚	时思	太平	鹿新	—	—	
	三市		永新		鹿新				
			时思						
璜泾	邢庄	华南	万新	新联	海城	林场	利华	永乐	8
	华南		新联		林场		永乐		
	长浜	王秀	包桥	孟河	南港	杨漕	—	—	
					建民				
	王秀		孟河		杨漕				

续表 4

镇名	村名		村名		村名		村名		合并个数
	合并前	合并后	合并前	合并后	合并前	合并后	合并前	合并后	
双凤	南新	塘东	凤新	庆丰	新杨	黄桥	同新	勤力	13
	塘东		庆丰		黄桥		勤力		
	缪泾	凤中	湖川	维新	新立	新创	新红	泥泾	
	凤东		新星		共和				
	凤中		维新		新创		泥泾		
	新乐	新湖	南圩	新卫	—	—	—	—	
	新湖		新卫						
陆渡	枫泾	红庙	夏家桥	朱桥	长桥	三港	苗圃	陆渡	4
	红庙		朱桥		三港		陆渡		
总 计									69

社　区

1986 年年末，全县有城厢、沙溪、浏河、南郊、浮桥、岳王 6 个镇和娄东、璜泾、直塘、新毛、双凤 5 个乡共设立居委会 32 个。1987 年起，开始调整、增设居委会。至 1995 年，全市先后调整增设居委会 30 个，撤销 2 个，共有 60 个。至此，各乡镇均设居委会。1998 年，居委会增至 71 个。2000 年起，根据“全国城市居委会改革试验区活动”的要求和中办发〔2000〕23 号文件精神，全市居委会经过两次调整，增设 2 个，合并 24 个，至 2003 年年末有 49 个。调整后的居委会通过民主选举统一冠名“社区居民委员会”。2004 年，全市 16 个村委会更名为社区居委会，社区居委会增至 65 个。2005 年，增设 2 个，合并 5 个，社区居委会调整为 62 个。其中，城厢镇 32 个（含新区代管 11 个），沙溪镇 8 个，浏河镇 5 个，浮桥镇 10 个（含港区代管 2 个），璜泾镇 3 个，双凤镇 2 个，陆渡镇 1 个。

2005 年太仓市社区居委会一览表

表 5

镇名	社区居委会名	个数
城厢	南区、西区、梅园、德兴、长春、康乐、西郊、东区、中区、南园、县府、府东、桃园、弇山、新毛、伟阳、太丰、群星、太安、利民、南郊（新区代管：惠阳、东郊、板桥、太平、洋沙、朝阳、太东、太胜、北郊、梅花、世纪苑）	32
沙溪	东市、西市、利泰、新北、直塘、岳镇、归庄、沙东	8
浏河	复兴、渔村、新塘、河北、闸北	5
浮桥	浮桥、和平、牌楼、九曲、时思、老闸、茜泾、马北（港区代管：茜胜、高埝）	10
璜泾	璜泾东、璜泾西、王秀、新鹿	4
双凤	双凤、湖川桥	2
陆渡	陆渡	1
合 计		62

自然环境

卷 二

ZI RAN HUAN JING

太仓属长江三角洲冲积平原，境内地势平坦，河道棋布，气候湿润，四季分明，动植物种类较多。至2005年年末，全市有大小河道2232条，总长2911千米；土壤分2个土类、5个亚类、9个土属、28个土种；有植物种类655种，动物种类252种。1986～2005年，全市（县）遭受较大气象灾害40余次。

一、地形地貌

太仓属长江三角洲冲积平原。全境地势平坦，自东北向西南略呈倾斜。东部为沿江平原，西部为阳澄淀泖圩区。地面高程：东部3.5～5.8米（基准：吴淞零点，下同），西部2.4～3.8米。

二、气　候

太仓属北亚热带南部湿润气候区，四季分明。冬季受北方冷高压控制，以少雨寒冷天气为主；夏季受副热带高压控制，天气炎热；春、秋季是季风交替时期，天气冷暖多变，干湿相间。1986～2005年，年平均气温16.2℃，降水量1173毫米，日照1910小时，无霜期232天。

气候特征

【春　季】

连续5天滑动平均气温在10℃以上进入春季。一般自4月1日（清明节前3～4天）开始，至6月16日（夏至节前5～6天）结束，为期77天。

春季气温随着太阳高度角的增大而逐渐回升，这时夏季风开始盛行，冬季风势力逐步衰退，江淮流域上空常有冷暖空气交锋，时寒时暖，乍晴乍雨，变化多端。故有“春天孩儿脸，一天变三变”的说法。常年春天雨水较多，为256.2毫米，占全年总雨量的21.8%。少数年份晚霜冻、冰雹、龙卷风等灾害性天气也在这段时期出现。

【夏　季】

连续5天滑动平均气温在22℃以上进入夏季，一般自6月17日开始，至9月16日（约秋分前一周）结束，为期92天。

夏季气温高，湿度大，雨量集中。初夏多梅雨，仲夏多雷雨，夏末初秋多台风雨，故夏季雨量最多，为543.1毫米，占全年总雨量的46.3%。尤其初夏，冷暖空气在长江中下游交锋，势均力敌，形成“准静止锋”，出现持续阴雨。时值梅子成熟之际，故有“梅雨”之称；又因湿度大，东西易发生霉烂，也称“霉雨”。常年6月15日入梅，7月10日出梅，历时25天。常年梅雨量210.4毫米，也有少数年份出现早黄梅和倒黄梅及空梅。7月中旬，冷空气减退，梅雨结束，受太平洋副热带高压控制，盛吹偏南风，天气晴热，常会出现连续无雨的干旱天气，又时值“三伏”，故称“伏旱”。常年7～9月，西北太平洋台风活动进入盛期，常有1～2次台风影响境内，出现大风大雨或狂风暴雨。

【秋　季】

连续5天滑动平均气温在22℃以下进入秋季，一般自9月17日（约秋分前一周）开始，至11月18日（约立冬后一旬）结束，为期63天，是四季中最短的一季。

秋季是夏、冬两季的过渡性季节，这时太阳直射地球表面位置南移，白天渐渐缩短，北方冷空气开始南下。正常年份，在冷空气控制下的长江中下游一带，近地面形成一个小高压，天气比较稳定，阳光灿烂，秋高气爽，如果这种单一冷气团长期控制江淮一带，会造成秋旱。也有少数年份，在秋分前后，夏季风尚未撤退，冬季风势力已强，北方冷空气频频南下，形成秋风秋雨天气。这时若有台风在东南沿海登陆，或在南海向偏西方向移动，就可能出现秋雨连绵的现象。常年秋季降水量为103.1毫米，占全年总雨量的8.8%。

【冬　季】

连续5天滑动平均气温在10℃以下进入冬季，一般自11月19日开始，至次年3月31日结束，为期133天，是四季中最长最冷最干燥的一季。

冬季冷空气影响前后，往往有雨、雪和大风，冷锋过境后，天晴风息，温度迅速下降，夜间常有霜或冰冻。冬季气候多周期性变化，骤寒与回暖，晴与阴交替出现，时有寒潮大风。在冬季风全盛期，境内处于蒙古高压系统的东南，大陆季风吹向海

洋，平均每月有 4 ～ 6 次冷锋过境，常维持 1 ～ 2 天阴雨（雪）日。有时冷空气南下路径偏东，会出现 3 ～ 5 天连阴雨天气；有时冷空气南下路径偏西，会出现 10 天以上的持续晴天。在两次冷空气活动之间，一般是晴好天气。当北方有强冷空气南下，会出现 6 ～ 8 级西北或偏北大风，48 小时内气温骤降 8℃，最低气温降至 4℃以下时，会出现“寒潮”。常年冬季降水量为 270.6 毫米，占全年总雨量的 23.1%。

气候要素

【气　温】

年均气温 16.2℃，最低年 14.9℃（1986 年），最高年 17.4℃（1998 年）。1 月最冷，月均气温 4℃；7 月最热，月均气温 28.1℃。年较差 24.1℃，年平均日较差 7.6℃。气温最低的一天 1991 年 12 月 29 日，为零下 8.6℃；最高的两天 1998 年 8 月 11 日、8 月 15 日，均为 38℃。日最低气温小于等于 0℃的低温日年均 41.2 天，最多年 54 天（1986 年），最少年 2 天（1998 年）；日最高气温大于等于 35℃的高温日年均 10.7 天，最多年 29 天（2003 年），最少年 2 天（1989 年）。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）各月平均气温统计表

表 6　　单位：℃

年份	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均	最高	最低
1986	2.6	3.2	8.2	13.2	19.5	23.9	26.8	26.7	21.8	16.2	11.3	5.9	14.9	35.7	−8.4
1987	4.3	5.7	7.3	13.0	18.5	22.3	26.6	27.7	21.8	18.7	12.6	4.8	15.3	36.1	−7.6
1988	4.5	3.6	6.7	14.4	19.1	23.8	28.8	26.2	22.1	17.7	10.7	6.0	15.3	37.2	−5.2
1989	4.5	4.7	8.8	13.9	18.6	23.6	26.0	26.3	22.9	17.5	11.3	6.4	15.4	35.3	−4.3
1990	4.0	5.1	10.7	14.2	19.9	25.4	29.4	28.1	23.0	17.3	13.6	5.8	16.4	37.1	−6.5
1991	3.8	5.4	8.0	13.2	19.2	24.0	27.6	26.1	23.1	17.1	11.6	6.3	15.5	35.8	−8.6
1992	3.6	5.9	7.9	14.7	20.1	22.8	28.1	26.8	23.5	16.3	10.7	7.3	15.6	37.3	−4.0
1993	2.6	6.3	8.3	14.3	18.8	24.7	26.7	25.8	23.5	17.5	12.8	5.1	15.5	36.6	−6.3
1994	4.3	4.9	8.5	15.5	22.2	24.6	30.4	28.8	23.5	18.1	14.8	8.5	17.0	37.3	−3.1
1995	4.0	5.2	10.1	14.0	19.5	23.2	28.3	29.0	24.5	18.4	11.5	5.3	16.1	37.4	−4.3
1996	3.9	4.0	7.8	13.5	19.8	24.8	27.1	28.0	24.8	19.0	12.6	6.5	16.0	35.9	−4.3
1997	3.4	6.1	10.5	15.3	22.6	25.2	27.8	27.7	22.9	19.1	13.1	7.1	16.7	37.1	−4.4

续表 6

年份	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均	最高	最低
1998	4.0	7.3	9.3	17.5	20.7	23.9	29.5	29.6	24.0	19.7	15.2	8.2	17.4	38.0	−5.5
1999	5.6	7.1	9.7	15.1	20.9	22.5	25.6	26.9	25.8	19.3	12.2	6.5	16.4	35.8	−5.4
2000	4.2	3.7	10.3	15.8	21.2	24.8	28.7	27.9	23.6	19.0	11.9	8.0	16.6	36.7	−5.4
2001	5.2	6.3	10.6	15.1	21.0	24.1	29.6	26.6	23.9	19.1	12.2	6.2	16.7	37.0	−4.8
2002	6.1	7.9	12.6	16.5	19.2	25.3	27.5	26.9	23.9	18.9	11.8	6.7	16.9	37.0	−3.1
2003	3.1	6.3	9.5	15.1	19.7	24.4	28.9	28.8	25.4	18.1	13.0	5.7	16.5	37.4	−5.4
2004	3.8	8.2	9.6	16.1	20.9	24.4	29.7	28.8	23.6	18.1	14.2	8.2	17.1	37.9	−5.5
2005	2.5	3.8	9.0	17.6	20.8	26.8	29.4	27.8	25.8	18.0	14.5	4.1	16.7	37.7	−5.9
平均	4.0	5.5	9.2	14.9	20.1	24.2	28.1	27.5	23.7	18.2	12.6	6.4	16.2	—	—

【降　水】

年均降水量 1173 毫米。最少年 807.9 毫米(1992 年),最多年 1519.5 毫米(1993 年)。年均雨日(日雨量大于等于 0.1 毫米) 125 天。降水最多的一天 1999 年 6 月 30 日,日雨量 164 毫米。汛期(5 ～ 9 月)雨量 653.9 毫米,占全年雨量的 55.7%。梅雨量(6 月 15 日至 7 月 10 日) 210.7 毫米,占全年雨量的 18%。全年降水量 4 ～ 9 月为多,每月都大于 100 毫米。6 月最多,202.6 毫米,占全年雨量的 17.3%,8 月次多,189 毫米,占全年雨量的 16.1%;12 月最少,37.7 毫米,占全年雨量的 3.2%。

1986 ～ 2005 年太仓市(县)各月降水量统计表

表 7　　单位:毫米

年份	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
1986	11.9	11.2	84.9	82.0	83.6	276.7	329.2	117.3	74.0	45.5	44.9	25.0	1186.2
1987	36.0	53.7	127.0	107.6	92.3	191.6	361.2	224.8	153.9	62.4	59.5	—	1470.0
1988	18.6	70.1	106.2	38.8	112.7	97.7	196.7	58.8	175.9	9.5	3.5	1.8	890.3
1989	90.6	82.5	69.2	132.5	86.3	131.7	220.0	158.9	164.2	6.3	81.0	34.8	1258.0
1990	49.4	135.1	87.8	91.4	84.3	146.6	36.1	236.7	335.7	40.1	80.2	50.7	1374.1
1991	40.0	98.1	135.9	75.5	86.8	356.1	306.7	186.5	107.7	51.8	20.4	41.6	1507.1
1992	43.2	13.4	226.3	49.2	60.8	98.4	12.8	149.6	97.8	13.5	10.3	32.6	807.9

续表 7

年份	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
1993	72.1	66.5	126.0	48.0	80.8	170.8	99.3	601.4	85.7	55.6	94.0	19.3	1519.5
1994	48.3	63.1	32.6	158.5	91.3	144.3	33.4	145.4	65.1	96.8	25.3	41.3	945.4
1995	55.6	19.9	95.7	68.1	170.8	177.8	153.5	104.5	4.8	76.4	1.2	11.5	939.8
1996	87.1	23.0	132.5	43.0	36.4	206.2	224.5	79.1	19.3	64.0	49.4	27.4	991.9
1997	54.3	15.8	52.7	37.1	57.6	193.5	124.1	165.7	12.9	17.4	90.3	87.5	908.9
1998	178.7	63.6	117.9	96.1	55.2	173.5	278.4	92.9	161.2	31.5	15.1	47.7	1311.8
1999	39.7	32.9	106.6	58.3	70.9	600.2	92.8	346.7	39.0	56.1	35.4	5.4	1484.0
2000	96.9	45.0	89.4	56.5	153.3	112.6	145.7	195.6	35.0	128.3	117.5	13.7	1189.5
2001	121.5	55.0	24.3	61.3	48.8	409.9	114.7	363.6	22.6	34.7	48.4	94.7	1399.5
2002	32.2	36.8	97.0	98.0	207.9	170.4	88.0	237.2	42.2	69.6	51.4	105.7	1236.4
2003	48.2	68.3	103.7	87.2	38.1	158.0	167.8	39.4	59.1	28.8	41.2	22.6	862.4
2004	91.2	60.1	43.1	124.0	139.1	198.6	237.5	27.0	73.7	4.0	75.9	74.7	1148.9
2005	62.0	114.0	42.0	52.2	86.3	38.3	150.9	249.2	141.0	32.4	42.9	16.5	1027.7
平均	63.9	56.4	95.0	78.3	92.2	202.6	168.7	189.0	93.5	46.2	49.4	37.7	1173.0

【日　照】

按太仓气象站所处的纬度，全年可照 4426.5 小时（闰年 4436.4 小时），实际日照时数 1919 小时，占可照时数 43.4%。年际变化较大，最多年 2255.8 小时（2004 年），最少年 1683.7 小时（1989 年），年际差 572.1 小时。7 月日照时数最多，月均 212.1 小时，占月可照时数 49.1%；1 月最少，月均 120.8 小时，占月可照时数 37.9%。月日照时数 1994 年的 7 月最多，311 小时；1989 年的 1 月最少，63.5 小时。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）各月平均日照时数统计表

表 8　　单位：小时

年份	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
1986	175.5	146.6	139.4	110.5	242.5	127.3	183.6	266.7	171.4	183.7	105.1	149.2	2001.5
1987	129.5	144.3	91.2	144.0	175.8	162.3	117.5	217.1	184.5	117.5	121.2	190.3	1795.2
1988	108.0	86.3	108.3	186.3	160.3	132.5	261.7	229.0	142.3	170.6	227.7	148.2	1961.2
1989	63.5	99.9	170.5	109.2	119.8	149.8	186.8	198.3	132.8	186.2	147.5	119.4	1683.7

续表 8

年份	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
1990	106.2	52.2	161.4	163.7	167.8	185.1	292.9	212.6	137.4	160.9	145.7	152.2	1938.1
1991	112.3	129.6	52.1	113.0	111.1	102.1	158.4	234.4	178.7	204.6	166.8	122.9	1686.0
1992	81.9	167.2	54.0	179.0	215.5	169.1	249.6	166.9	158.1	224.4	185.0	139.3	1990.0
1993	112.6	154.6	141.5	160.0	132.9	172.9	117.7	74.7	201.0	173.4	108.9	170.8	1721.0
1994	96.1	84.3	128.7	82.1	218.4	175.4	311.0	243.1	182.0	191.4	121.7	75.4	1909.6
1995	153.2	132.9	167.5	133.0	174.8	109.8	232.6	265.9	163.9	159.3	188.4	170.4	2051.7
1996	124.4	152.5	88.3	191.5	165.4	84.4	176.0	228.1	231.0	149.4	106.8	164.7	1862.5
1997	124.5	135.1	116.6	168.6	210.8	171.6	191.1	163.2	223.3	185.8	133.0	91.4	1915.0
1998	114.7	120.8	96.4	153.1	131.2	121.1	221.1	230.2	174.5	183.4	186.7	140.1	1873.3
1999	151.9	174.7	74.8	175.3	212.3	111.8	117.5	128.5	184.6	114.6	126.1	193.5	1765.6
2000	107.2	139.9	168.1	210.0	215.6	133.0	254.1	219.8	154.1	102.4	94.0	108.1	1906.3
2001	94.8	104.5	209.4	159.8	171.4	107.1	267.0	193.7	204.6	182.6	152.7	90.6	1938.2
2002	142.6	139.7	144.1	101.5	101.2	191.9	205.7	186.8	203.9	187.6	172.8	84.2	1862.0
2003	159.8	115.3	166.2	138.6	165.5	194.8	213.7	224.8	218.7	186.3	142.3	147.9	2073.9
2004	119.0	149.9	149.4	193.4	192.9	180.9	296.8	256.8	187.6	221.6	180.5	127.0	2255.8
2005	137.7	100.6	215.3	227.2	209.8	212.9	188.0	195.8	213.2	179.3	144.9	164.7	2189.4
平均	120.8	126.5	132.2	155.0	174.8	149.8	212.1	206.8	182.4	173.3	147.9	137.5	1919.0

【风】

年均风速每秒 3 米，最大年每秒 3.8 米(2001 年)，最小年每秒 2.3 米(1999 年)。3、4 月最大，每秒 3.2 米；10 月最小，每秒 2.5 米。风速最大的一天 2004 年 7 月 8 日，西北风每秒 16.7 米。瞬时最大风速 2005 年 8 月 7 日，每秒 28.1 米(10 级)。大风日数年均 6.9 天，最多年 17 天(1987 年)，最少年 0 天(1999 年)。

1986 ～ 2005 年太仓市(县)各月平均风速统计表

表 9　　单位：米／秒

年份	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1986	3.2	3.0	3.4	3.3	3.0	3.1	3.2	3.5	2.3	2.7	2.9	3.3	3.1
1987	3.7	4.0	3.9	3.5	3.5	3.4	2.9	2.8	2.7	3.0	3.2	2.7	3.3
1988	2.9	3.1	3.3	3.5	3.5	3.1	3.3	2.8	3.2	2.5	2.9	2.7	3.1

续表 9

年份	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1989	2.6	2.5	3.3	3.3	2.6	3.1	3.6	3.3	2.7	2.4	2.8	2.2	2.9
1990	3.1	3.2	2.8	3.8	3.3	3.5	3.3	3.1	3.2	2.0	2.6	2.8	3.1
1991	2.4	2.9	3.1	3.0	2.8	2.6	2.9	2.8	2.6	2.0	2.1	2.4	2.6
1992	2.3	2.1	2.8	2.8	3.0	2.7	2.6	2.7	3.0	2.2	2.4	2.2	2.6
1993	2.4	2.7	2.3	2.5	2.5	3.1	2.6	2.5	2.3	2.4	2.7	2.8	2.6
1994	2.5	3.1	3.2	2.7	3.5	3.0	3.2	3.9	2.3	2.9	2.4	2.5	2.9
1995	2.4	2.4	3.2	2.9	3.4	3.0	3.3	3.3	2.5	1.9	2.1	2.0	2.7
1996	2.2	2.7	3.1	3.3	2.8	2.7	3.1	3.4	3.0	2.6	2.9	1.9	2.8
1997	2.7	2.4	2.8	3.1	3.1	2.9	2.8	3.4	2.5	1.9	2.4	2.1	2.7
1998	2.6	2.6	2.7	2.7	2.6	2.6	2.5	2.3	2.5	1.7	2.0	1.7	2.4
1999	1.7	2.1	2.8	2.9	2.6	2.7	2.3	2.1	2.6	2.1	1.7	1.8	2.3
2000	4.2	3.1	3.5	3.6	3.5	2.9	3.4	3.5	3.4	3.0	3.6	3.1	3.4
2001	3.4	4.1	4.1	4.0	3.4	3.6	4.1	3.9	3.9	3.3	3.5	4.1	3.8
2002	3.7	3.3	3.7	3.5	3.5	4.0	3.4	3.3	3.4	3.6	3.5	4.2	3.6
2003	3.2	2.9	3.7	3.2	3.4	2.8	2.7	2.9	3.1	3.0	3.6	3.0	3.1
2004	2.8	3.2	3.7	3.8	3.2	2.9	3.8	3.6	3.1	2.8	2.8	3.1	3.2
2005	2.5	3.3	3.5	3.3	3.7	3.1	3.0	3.6	3.3	2.6	2.6	3.4	3.2
平均	2.8	2.9	3.2	3.2	3.1	3.0	3.1	3.1	2.9	2.5	2.7	2.7	3.0

风向有明显的季节变化。春、夏为东南偏南风，秋为北风、东北风，冬为西北风。全年以东北偏东风最多，占 9%；东北偏北、偏东，东南偏南风次之，各占 8%；西南偏南、西南偏西风较少，各占 3%。

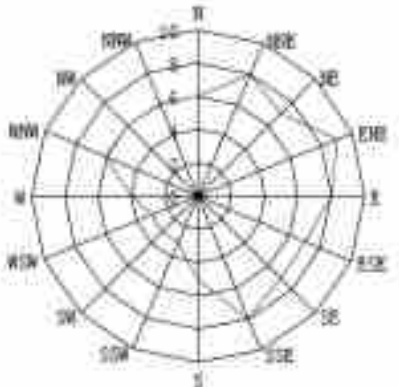


图 1　1986 ～ 2005 年太仓市（县）风向图

【雷　暴】

年均雷暴日数26.5天,最多年45天(1987年),最少年16天(2001年)。年均初雷日期3月7日,终止日期9月28日,初终间日数205天。最早年初雷日期1月1日(1997年),最晚年终止日期11月6日(1989年)。

【霜】

年均霜日数48天,最多年69天(1994—1995年度),最少年31天(1999—2000年度)。年均初霜期11月13日,终霜期3月26日,无霜期232天。最早年初霜期10月30日(1987年),最晚年终霜期4月16日(1986年、1987年)。无霜期最长256天(1998—1999年度),最短196天(1985—1986年度)。

【雪】

年均降雪日数5.9天,最多年13天(2004—2005年度),最少年1天(2000—2001年度、2003—2004年度)。年均初雪日期1月4日,终雪日期3月6日。最早初雪日期11月27日(1999年),最晚终雪日期4月11日(1987年)。

【雾】

年均大雾日24.3天,最多年47天(1987年),最少年6天(2005年)。12月最多,月均4.5天;7月最少,月均1.4天。

【相对湿度】

年均相对湿度78%,8月最大,相对湿度83%,12月最小,相对湿度76%。空气湿润,遇雨日、雾日,相对湿度可达100%;干燥日期不多,相对湿度最小的一天1986年3月2日,相对湿度10%。

1986～2005年太仓市(县)各月相对湿度统计表

表10　　单位:%

年份	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1986	72	71	75	82	77	85	87	83	87	80	80	78	80
1987	77	73	82	82	80	82	89	85	83	86	85	72	81

续表 10

年份	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1988	76	79	80	73	81	83	81	85	86	80	66	71	78
1989	83	83	77	84	82	81	85	87	88	78	78	81	82
1990	83	87	81	80	79	82	80	86	87	82	83	77	82
1991	83	80	86	81	80	86	85	85	85	77	75	81	82
1992	80	70	86	75	74	79	80	86	83	76	76	79	79
1993	78	75	78	76	80	80	85	88	83	80	84	71	80
1994	79	82	74	83	72	80	75	81	77	77	82	83	79
1995	75	74	72	78	78	83	83	81	78	81	66	70	77
1996	79	67	78	69	73	83	84	80	78	81	78	72	77
1997	75	72	79	74	70	75	81	83	75	73	80	82	77
1998	77	79	84	79	78	80	79	76	77	77	71	76	78
1999	76	69	82	73	73	84	83	83	79	78	77	68	77
2000	81	76	73	68	71	77	77	81	80	83	83	81	78
2001	80	81	67	75	76	83	77	84	80	78	74	79	78
2002	72	75	77	79	82	77	79	83	78	75	73	80	78
2003	77	83	78	80	80	77	80	79	80	74	80	73	78
2004	75	69	71	68	74	77	71	77	82	75	76	81	75
2005	77	80	65	66	70	69	76	78	77	77	74	65	73
平均	78	76	77	76	77	80	81	83	81	78	77	76	78

三、水　文

河　流

【主要内河】

太仓地处江南，紧邻长江，境内河道广布，纵横交错，素有水乡之称。随着时间的变迁，受长江潮汐及人工开挖拓浚的影响，许多河况发生变化。至 2005 年年末，全市有大小河道 2232 条，总长 2911 千米。东西向的有浏河、杨林塘、七浦塘、浪港、茜泾、鹿鸣泾、荡茜泾、钱泾、新泾 9 条，除茜泾外，其余 8 条均通长江。南北贯

通的有吴塘、盐铁塘、半泾、十八港、江申泾、石头塘、随塘河7条。

浏　河　古称刘家河、刘家港，亦名浏河塘。清代改名为浏河。西接娄江而达太湖，东至长江而分泄太湖东北阳澄湖地区之水，是主要入江河道之一。据《汉书·地理志》引《禹贡篇》曰："三江既入，震泽底定。"三江谓东江、吴淞江、娄江。震泽是太湖的古称。刘家河是娄江的尾部，《汉书·娄敬传》记：娄就是刘，既是乡音也是古音。也有人说：唐宋年间崇明沙有刘、姚二姓居于此，故又名刘家河。元初朱清通海运，开刘家港导娄江入海。由此，浏河则直接娄江。源出太湖鲇鱼口，并承泻娄江两边湖泊及农田之水。古刘家港水面辽阔，达二里许，可容万斛之舟。清初，黄浦江由吴淞江入海，海运自刘家港转由宝山、上海出海，刘家港逐步被黄浦江替代，浏河随之萎缩。自1958年冬浏河开始拓浚，截弯取直。西自昆山草芦村接太仓塘，穿越吴塘入太仓境，直线向东半泾湾稍向北折。致和塘侧一段浏河为嘉定、太仓两县之界河，向东行果园东穿老浏河再入太仓境，经浏河镇南老浏河口入长江。流经昆山市的蓬朗，嘉定区的朱桥、娄塘、唐行以及太仓的南郊、娄东、陆渡、浏河等。穿越吴塘、盐铁塘、半泾、致和塘、东横沥河等河道。北岸有石头塘、十八港、吴家港、三港、苏张泾、杨家浜、汤泾等主要支河，南岸有沈浜、钱家港、双塘、红蚌蜞港、新泾、南橹漕等支河。全长24.6千米，境内22.6千米，河面宽120～150米，流速每秒0.6～1米左右。

2005年新浏河

杨林塘　西起昆山市斜塘湖，经三千湾入太仓境。流经新湖、双凤、新毛、岳王、牌楼、浮桥、茜泾等入长江。穿越吴塘、盐铁塘、半泾、西横沥河、孔泾、花漕、斜泾、东横沥河、茜（千）步泾、石头塘、米场河、花蒲塘等河道。北岸有厢脊泾、马路塘、六尺河、东花蒲，南岸有新泾塘、丁泾、向阳河。全长 45.7 千米，境内 26.35 千米，河面宽 50 米左右，流速每秒 0.7 米左右。杨林故道西起盐铁塘，东入海。在明代因口子淤塞，一度走东花蒲经茜泾河入海。盐铁塘以西三千湾间原名王泾。

七浦塘　又名七鸦浦、七浦、七丫浦、戚浦。源出阳澄湖，西起相城区阳澄湖，经巴城、石牌流入常熟市任阳，于直塘西姚泾日晖桥入太仓境。流经直塘、沙溪、老闸、九曲、浮桥等，于七丫口入长江。穿越吴塘、盐铁塘、西横沥河、东横沥河、石头塘、张浦、米场河、六尺河等河道。北岸有中心河、陆交泾、芦沟、石家泾、北五尺河、张家浜等，南岸有和尚泾、半泾、孔泾、丹浦、石孔泾等。全长 48 千米，境内 25.5 千米，河面宽 30 ～ 50 米，流速为每秒 0.6 米左右。

浪　港　西接穿山塘、迷泾，于冯家桥穿潮头塘，流经直塘、归庄、老闸、九曲、璜泾、时思、浮桥入长江。自石头塘至长江口全长 11.2 千米，河面宽 30 ～ 32 米，流速每秒 0.6 米左右。

茜　泾　东起随塘河至沙溪镇胜利村止，全长 16 千米，河面宽 18 ～ 20 米，流速每秒 0.3 米。

鹿鸣泾　西起王泾塘，流经时思入长江，全长 7.8 千米，河面宽 22 ～ 28 米，流速每秒 0.7 米。

荡茜泾　西起西横沥河，流经璜泾、时思入长江，全长 6.6 千米，河面宽 30 ～ 35 米，流速每秒 0.7 米左右。

钱　泾　西起王秀，流经璜泾、鹿河入长江，全长 8.8 千米，河面宽 40 米，流速每秒 0.7 米。

新　泾　自鹿河起，东入长江，全长 5.9 千米，河面宽 30 ～ 32 米，流速每秒 0.8 米左右。

吴　塘　自嘉定区望新入境，流经南郊、城厢、新湖、双凤、直塘，入常熟市支塘。从李塘河口起往北穿浏河、湖川塘、七浦塘至直塘竹桥由陆泾界河出境。全长 26.7 千米，河面宽 25 ～ 30 米，最狭处 12 米，流速每秒 0.3 米。

盐铁塘　又名内河。相传西汉初期（公元前 196 年）为运盐铁沿“冈身”开挖的一条运河，故名“盐铁塘”。西起张家港市杨舍镇，经常熟市支塘入太仓境，流经

直塘、双凤、新湖、新毛、城厢、南郊，从葛隆入嘉定区，经外冈，于黄渡入吴淞江，全长95千米，境内25.02千米，河面宽25～40米，流速每秒0.3米。

半　泾　自老浏河半泾湾起，穿致和塘、湖川塘、杨林塘、杜柴塘入七浦塘，流经城厢、板桥、新毛、沙溪，全长16.43千米，河面宽22米左右，流速每秒0.1米左右。

十八港　始于浏河，穿湖川塘、杨林塘入七浦塘，流经城厢、陆渡、板桥、新毛、沙溪，全长15.2千米，河面宽22～28米，流速每秒0.3米。

江申泾—东横沥—白米泾　全长21.7千米，河面宽22～28米，流速每秒0.6米，江申泾自南横沥入境，穿新浏河至洙泾，长3千米；洙泾向北至七浦塘一段，名横沥河，又称东横沥；七浦塘往北名白米泾，流经陆渡、板桥、岳王、沙溪、归庄，长7千米，由陈泾界河入常熟市境。

石头塘　南起浏河，穿洙泾、杨林塘、七浦塘、浪港、湘里泾入钱泾河。流经陆渡、新塘、岳王、老闸、归庄、王秀，全长24.3千米，河面宽28～34米，流速每秒0.6米左右。

随塘河　北起鹿河沙行庙，南至上海界，全长44千米，河面宽7米。

【地下水】

太仓属松散岩类孔隙含水组中三角洲含水岩组，地下富水性弱。省测定代表性水点：孔深103.2米，水头埋深41米，含水层顶板埋头65.2米，每小时涌水量10.4吨。地下含水量不富裕，水质欠佳，单井出水量每小时25～60吨。第一层水埋深70～95米左右，水质较差，有微土气，硬度稍大于标准；氯化物超标4倍以上，氨氮超标3倍左右，单井出水量每小时60吨。第二层水埋深140米左右，水质含汞量超标，高硬度水，单井出水量每小时25吨。第三层水埋深180米左右，除汞、铅超标外，其余均小于允许标准，单井出水量每小时30吨左右。第四层水埋深在180米以下，除铜、锰超标外，还有异臭味，不宜做生活饮用水。

2005年，地下水蕴藏量为11686.5万立方米，水位基本控制在20米以内。

长江潮位

1986～1990年，高潮位平均5.28米，低潮位平均0.59米。1991～2005年

2005 年长江太仓段

高潮位平均 5.57 米，低潮位平均 0.72 米。最高潮位 6.42 米，出现在 1997 年 8 月 19 日，最低潮位 0.45 米，出现在 1990 年 12 月 1 日。据长江口水文水资源勘测局提供的 1986 ～ 2005 年，杨林站下游 20 年潮位资料综合分析，一年中沿江受潮汛影响，冬季潮小影响较小，春季较大，秋季最甚。

1986 ～ 2005 年杨林站历年最值及平均潮位值统计表

表 11　　单位：米

年份	最高潮位	最低潮位	年平均
1986	4.94	0.64	2.44
1987	5.30	0.50	2.50
1988	5.25	0.58	2.44
1989	5.67	0.77	2.54
1990	5.22	0.45	2.51
1991	5.35	0.72	2.57
1992	5.79	0.65	2.47
1993	5.26	0.62	2.54
1994	5.45	0.73	2.53
1995	4.88	0.58	2.50

续表 11

年份	最高潮位	最低潮位	年平均
1996	5.94	0.72	2.54
1997	6.42	0.72	2.50
1998	5.32	0.70	2.69
1999	5.27	0.57	2.60
2000	6.10	0.81	2.59
2001	5.40	0.77	2.58
2002	5.92	0.83	2.63
2003	5.13	0.81	2.60
2004	5.51	0.70	2.55
2005	5.82	0.79	2.59

注：1. 1986 ～ 1990 年表内潮位(冻结基面以上米数)－1.925 米＝黄海基面以上米数
2. 1991 ～ 2005 年表内潮位(冻结基面以上米数)－1.922 米＝ 1985 年国家高程基准

四、土　壤

种类及分布

1983 年，全县第二次土壤普查结果显示，全县土壤分 2 个土类、5 个亚类、9 个土属、29 个土种。2005 年，全市耕地地力调查结果与 1983 年基本一致，减少 1 个土种。2 个土类：水稻土、潮土；5 个亚类：渗育型水稻土、潴育型水稻土、脱潜型水稻土、潜育型水稻土、灰潮土；9 个土属：水耕堆叠土、小粉土、沙土、沙夹垅、垅泥、黄泥土、乌栅土、青泥土、灰潮土；28 个土种：水耕堆叠土、小粉土、沙土、灰底沙土、沙夹垅、粉底沙夹垅、砂底沙夹垅、灰底沙夹垅、老沙夹垅、灰心老沙夹垅、灰底老沙夹垅、垅泥、灰底垅泥、老垅泥、灰底老垅泥、黄泥土、灰底黄泥土、灰深底黄泥土、乌底黄泥土、砂底黄泥土、铁砂底黄泥土、乌栅土、青紫土、青泥土、潮沙土、潮泥土、园田潮泥土、堆叠土。减少的土种是老城厢镇周边 55.87 公顷的砖屑潮泥土，因市镇建设占用而消失。

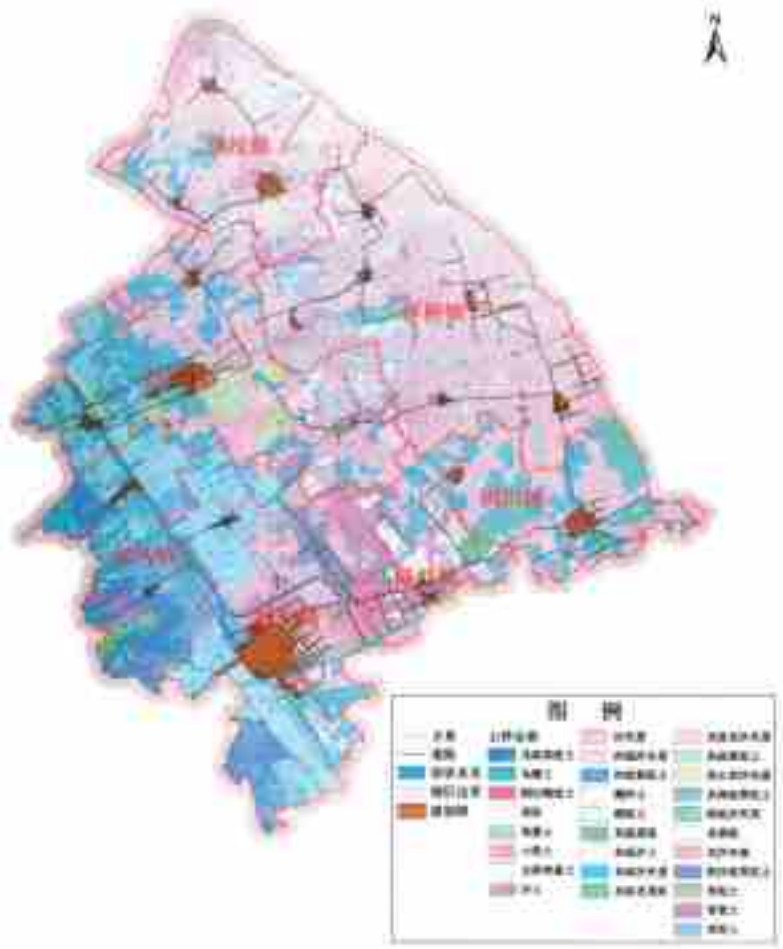


图 2　2005 年太仓市土壤种类分布图

地力及分布

1983 年第二次土壤普查中，根据土壤环境、耕作层深度、表土层质地、土壤养分等条件，评出土壤分 5 个级别。其中一级土壤 371.97 公顷，二级土壤 7666.92 公顷，三级土壤 23212.18 公顷，四级土壤 10043.17 公顷，五级土壤 415.23 公顷。2005 年全市耕地地力调查，全市总耕地面积 36001.79 公顷（2004 年年末耕地面积），按照耕地生产性能综合指数（IFI），采用累积频率曲线法，全市耕地划分为 5 个等级。其中一级地 501.63 公顷，二级地 6478.72 公顷，三级地 19313.02 公顷，四级地 8123.46 公顷，五级地 1584.96 公顷，分别占总耕地面积的 1.39%、18%、53.64%、22.57%、4.4%。一级地、五级地分别比第二次土壤普查增加 0.5%、3.4%，二级地、三级地、四级地分别比第二次土壤普查减少 0.38%、2.01%、1.52%。

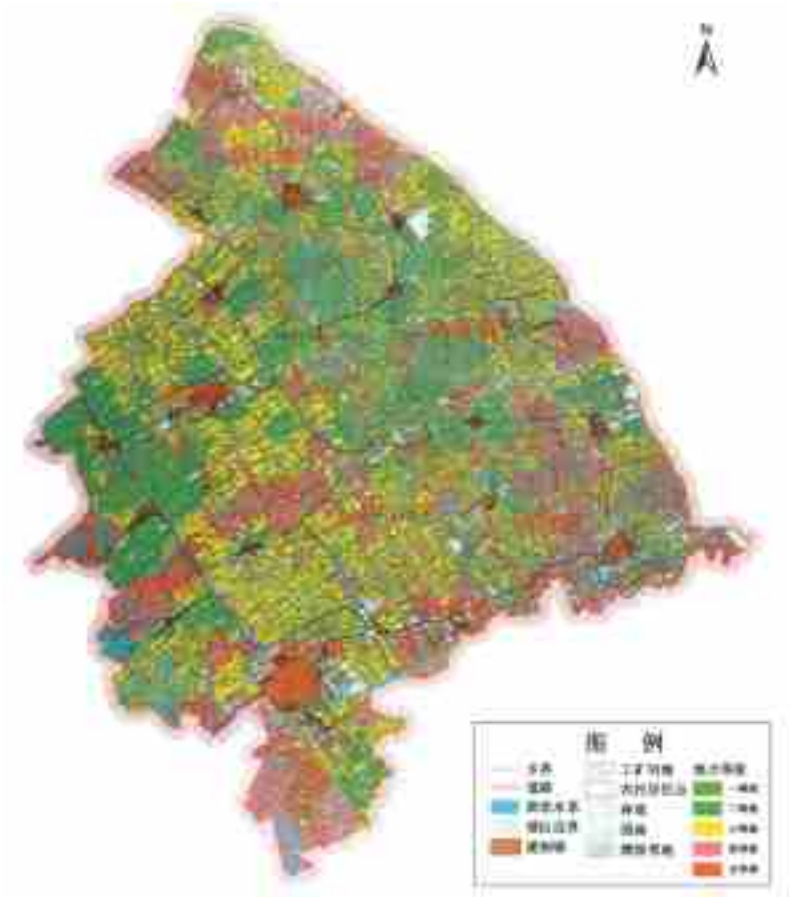


图 3　2005 年太仓市耕地地力等级图

养分及分布

1983 年第二次土壤普查，土壤耕作层的养分含量平均有机质 2.22%，全氮 0.14%，全磷 0.16%，速效磷每千克含 7 毫克，速效钾每千克含 92 毫克。2005 年耕地地力调查，28 个土种调查 17 种。

【有机质】

2005 年全市耕地地力调查结果显示，乌栅土的有机质含量最高，平均每千克含有机质 40.97 克，潮泥土含量最低，平均每千克含有机质 14.9 克，各土种间含量顺序为乌栅土、青紫土、青泥土、乌底黄泥土、黄泥土、灰底黄泥土、灰深底黄泥土、灰底老沙夹垅、老垅泥、灰底老垅泥、沙夹垅、垅泥、灰底沙夹垅、老沙夹垅、粉底沙夹垅、小粉土、潮泥土。

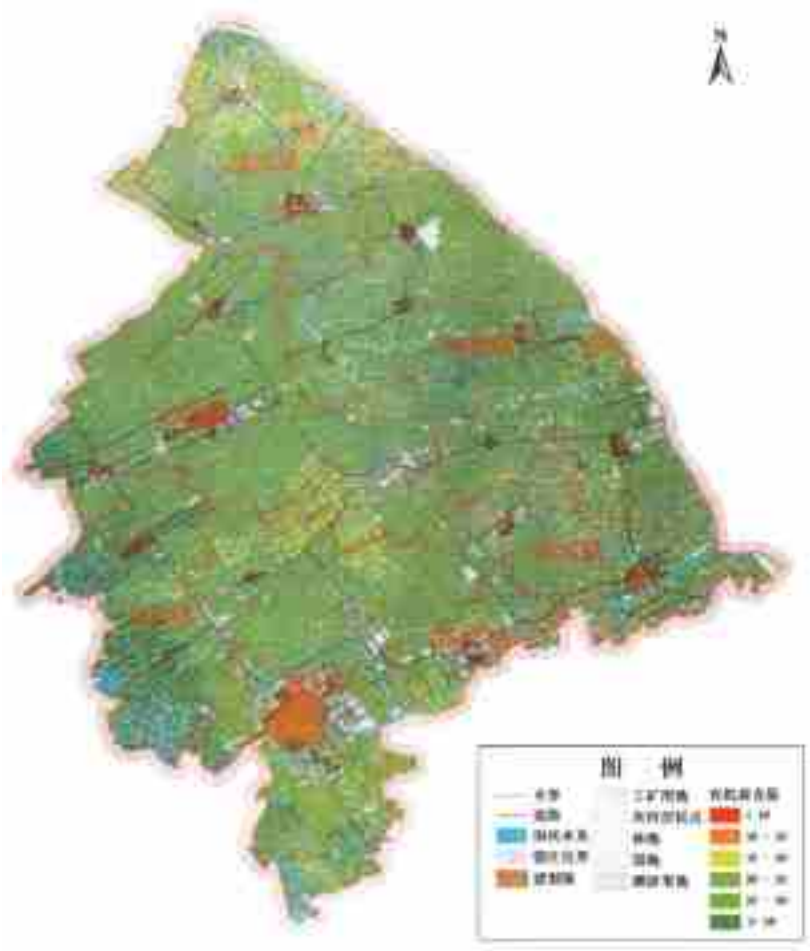


图 4　2005 年太仓市土壤有机质含量分布图

【全　氮】

2005 年全市耕地地力调查结果显示，青紫土的全氮含量最高，平均每千克含全氮 2.29 克，小粉土含量最低，平均每千克含全氮 1.23 克，各土种间含量顺序为青紫土、青泥土、乌栅土、乌底黄泥土、灰底黄泥土、黄泥土、灰深底黄泥土、沙夹垅、灰底老沙夹垅、粉底沙夹垅、灰底沙夹垅、老垅泥、垅泥、老沙夹垅、灰底老垅泥、潮泥土、小粉土。

【有效磷】

2005 年全市耕地地力调查结果显示，粉底沙夹垅的有效磷含量最高，平均每千克含有效磷 26.99 毫克，灰底老垅泥含量最低，平均每千克含有效磷 2.89 毫克，各土种间含量顺序为粉底沙夹垅、灰深底黄泥土、灰底黄泥土、垅泥、灰底沙夹垅、

黄泥土、沙夹垅、乌底黄泥土、老垅泥、老沙夹垅、青紫土、小粉土、青泥土、灰底老沙夹垅、乌栅土、潮泥土、灰底老垅泥。

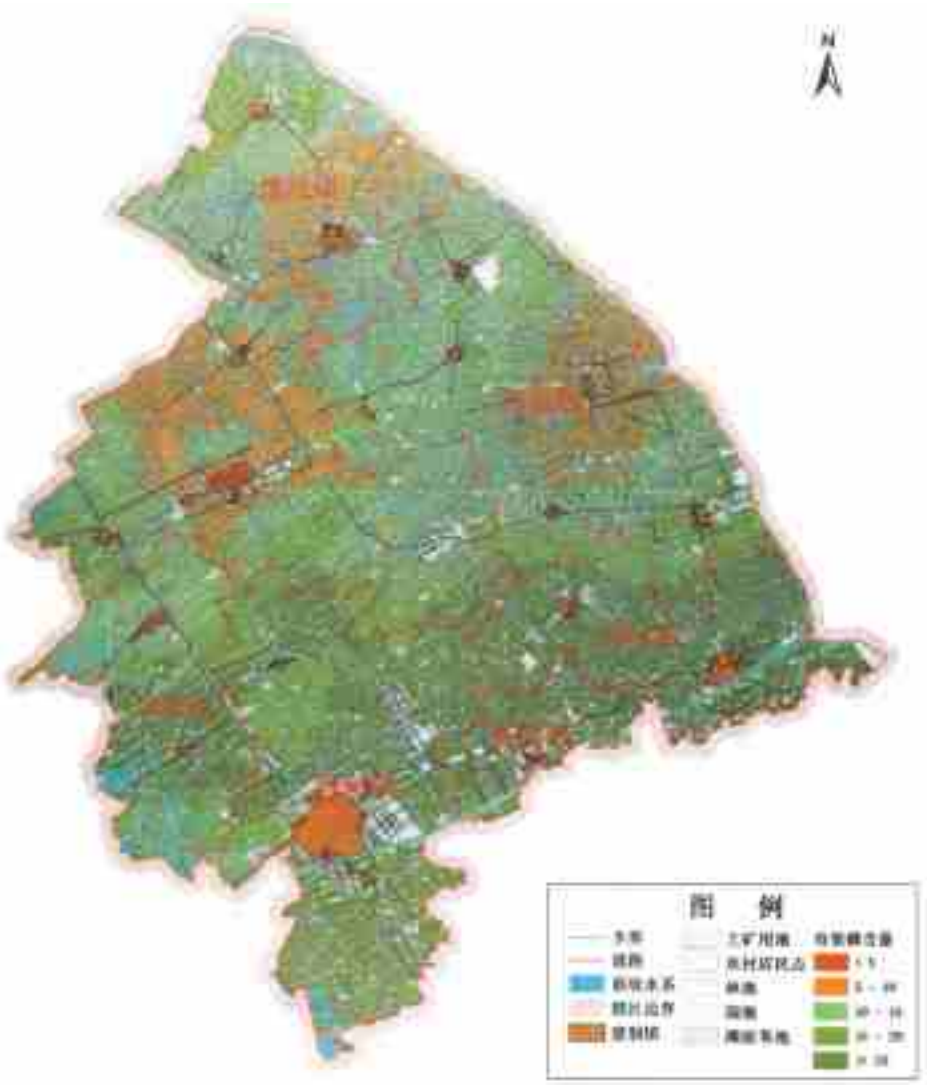


图 5　2005 年太仓市土壤有效磷含量分布图

【速效钾】

2005 年全市耕地地力调查结果显示，粉底沙夹垅的速效钾含量最高，平均每千克含速效钾 95.15 毫克，乌栅土含量最低，平均每千克含速效钾 65 毫克，各土种间含量顺序为粉底沙夹垅、垅泥、青紫土、青泥土、灰底老垅泥、老垅泥、老沙夹垅、灰底黄泥土、灰底沙夹垅、沙夹垅、灰底老沙夹垅、乌底黄泥土、小粉土、灰深底黄泥土、黄泥土、潮泥土、乌栅土。

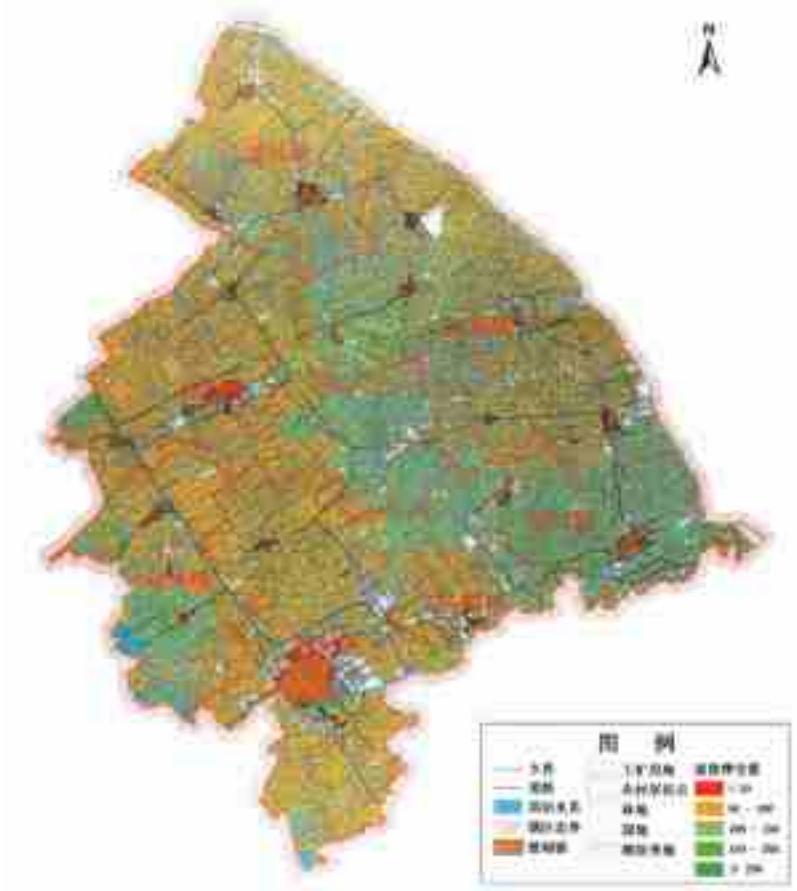


图 6　2005 年太仓市土壤速效钾含量分布图

1983 年、2005 年太仓县（市）各土种养分含量情况表

表 12

土种名称	有机质（%）		全氮（%）		磷		速效钾	
					ppm（百万分率）	毫克/千克	ppm（百万分率）	毫克/千克
	1983年	2005年	1983年	2005年	1983年	2005年	1983年	2005年
小粉土	1.55	1.988	0.094	0.123	6.00	11.06	60.00	76.28
沙夹垅	2.10	2.215	0.138	0.145	7.00	14.35	94.00	82.64
粉底沙夹垅	2.04	1.992	0.132	0.142	7.00	26.99	86.00	95.15
灰底沙夹垅	1.95	2.147	0.127	0.142	7.00	20.25	87.00	82.95
老沙夹垅	1.95	2.074	0.131	0.134	8.00	11.94	92.00	83.75
灰底老沙夹垅	2.04	2.335	0.132	0.143	9.00	8.59	92.00	79.44
垅泥	2.43	2.186	0.159	0.140	6.00	21.13	118.00	93.74

续表 12

土种名称	有机质（%）		全氮（%）		磷		速效钾	
					ppm（百万分率）	毫克/千克	ppm（百万分率）	毫克/千克
	1983年	2005年	1983年	2005年	1983年	2005年	1983年	2005年
老垅泥	2.29	2.262	0.142	0.140	5.00	12.85	103.00	84.51
灰底老垅泥	2.03	2.238	0.135	0.133	5.00	2.89	76.00	86.00
黄泥土	2.51	2.833	0.139	0.178	6.00	15.29	82.00	74.65
灰底黄泥土	2.65	2.731	0.149	0.180	9.00	25.00	83.00	83.73
灰深底黄泥土	3.13	2.593	0.177	0.170	10.00	25.06	85.00	75.50
乌底黄泥土	3.31	3.028	0.207	0.188	9.00	14.20	99.00	79.32
乌栅土	3.67	4.097	0.204	0.203	11.00	6.86	93.00	65.00
青紫土	3.97	3.684	0.212	0.229	7.00	11.26	103.00	89.17
青泥土	3.58	3.064	0.207	0.221	8.00	8.87	99.00	86.75
潮泥土	1.61	1.490	0.086	0.124	5.00	5.46	65.00	71.12

注：1. 磷，1983 年称速效磷，2005 年改称有效磷

2. 磷、速效钾 1983 年用 ppm 表示，2005 年改用毫克 / 千克表示，二者相同

土壤环境质量状况

2005 年，全市耕地地力调查取样点测试和面源污染土壤环境综合评价结果表明，达到轻度污染点占总样点 16.7%，处于污染境界限点占总样点 60%，安全、清洁、符合绿色食品生产条件的土壤点占总样点 23.3%。蔬菜地土壤取样点污染较严重，一级土壤（安全、清洁）样点占总样点 26%，二级土壤（警戒限、尚清洁）样点占 30%，三级土壤（轻污染）样点占 40%，四级土壤（中污染）样点占 4%，五级土壤重污染未出现。

五、动植物

植　物

80 年代中期，因造林绿化引进新品种等原因，境内树木类、花卉类、杂草类品

种有所增加。至 2005 年，树木类有 216 种，分属 53 科。花卉类有 166 种，分属 56 科。药材类有 103 种，分属 44 科。杂草类有 170 种，分属 42 科。

【树木类】

有 216 种，分属 53 科。

紫葳科　梓树、楸树、凌霄。

玄参科　泡桐（白花泡桐）。

柿树科　柿子树、君迁子、瓶兰。

五加科　刺楸、五加、常春藤、八角金盘、熊掌木。

胡颓子科　胡颓子、金边胡颓子。

梧桐科　梧桐（青桐）。

杜仲科　杜仲。

鼠李科　枳椇、枣。

槭树科　三角枫、五角枫、红枫、青枫、复叶槭、鸡爪槭。

大戟科　乌桕、重阳木。

楝　科　香椿、苦楝。

苦木科　臭椿。

芸香科　花椒、枸橼（香圆）、枸橘、柑橘、代代花、佛手、金柑、九里香、四季橘、蜜橘、竹叶椒、香柚。

豆　科　合欢、皂荚、刺槐、紫穗槐、紫荆、加拿大紫荆、含羞草、紫藤、国槐、龙爪槐、金枝槐。

含羞草科　银荆。

蔷薇科　石楠、椤木石楠、红叶石楠、樱花、木瓜、桃、苹果、海棠、贴梗海棠、垂丝海棠、榆叶梅、红叶李、碧桃、梅、红梅、绿梅、日本晚樱、毛樱桃、十姊妹、郁李、棣棠、麻叶绣球、笑靥花、枇杷、火棘。

悬铃木科　悬铃木（法国梧桐）。

樟　科　香樟、月桂、天竺桂、浙江楠。

桑　科　桑、构树、无花果、薜荔、橡皮树。

榆　科　朴树、刺榆、青檀、榔榆、大叶榆、白榆、榉树。

壳斗科　槲栎、苦槠、青冈栎、柞木。

胡桃科　枫杨。

杨柳科　杨树、垂柳、水杨、杞柳、旱柳。

柽柳科　柽柳。

杨梅科　杨梅。

松　科　落叶松、白皮松、马尾松、油松、黑松、金钱松、五针松、雪松、湿地松。

杉　科　杉木、水杉、柳杉、池杉、墨西哥落羽杉。

红豆杉科　香榧。

罗汉松科　罗汉松、竹柏。

柏　科　圆柏、侧柏、龙柏、千头柏、花柏、翠柏、铺地柏、香柏。

银杏科　银杏。

小檗科　南天竹、阔叶十大功劳、狭叶十大功劳、紫叶小檗。

杜英科　杜英。

桦木科　桤木。

漆树科　南酸枣。

金缕梅科　枫香、蚊母树、红花檵木。

七叶树科　七叶树。

珙桐科　喜树。

木兰科　广玉兰、白玉兰、木兰、含笑、乐昌含笑、鹅掌楸、杂交鹅掌楸、深山含笑、二乔玉兰、木莲。

忍冬科　珊瑚树(法国冬青)、金银花、金银木、荚蒾、绣球花(八仙花)、接骨木。

夹竹桃科　夹竹桃。

木犀科　茉莉花、迎春花、丁香(白、紫两种)、小叶女贞、女贞、金叶女贞、金森女贞、金桂、银桂、四季桂、丹桂、金钟、连翘、云南黄馨、小蜡、雪柳。

卫矛科　卫矛、扶芳藤、大叶黄杨、金边大叶黄杨、银边大叶黄杨、丝绵木。

冬青科　枸骨、无刺枸骨、冬青、龟甲冬青。

黄杨科　黄杨、雀舌黄杨。

海桐花科　海桐。

腊梅科　腊梅。

棕榈科　棕榈、华盛顿棕榈、中东海枣、棕竹、鱼尾葵。

禾本科　孝顺竹、早园竹、刚竹、毛竹、阔叶箬竹、乌哺鸡竹、碧玉间黄金竹、淡竹、

燕竹。

石榴科　花石榴、日本石榴（姬石榴）。

山茶科　山茶、重瓣山茶、茶梅、厚皮香。

无患子科　无患子、黄山栾树。

千屈菜科　紫薇。

【花卉类】

有 166 种，分属 56 科。

菊　科　延命菊、金盏花、翠菊、矢车菊、菊、茼蒿菊、波斯菊、天竺牡丹、万寿菊、百日菊、瓜叶菊、大吴风草。

葫芦科　北瓜、苦瓜（锦荔枝）。

茜草科　虎刺、栀子花、小叶栀子、满天星（六月雪）。

玄参科　金鱼草（龙口花）、荷包花。

旋花科　牵牛、茑萝（有羽叶、葵叶等种）。

报春花科　报春花、仙客来。

杜鹃花科　杜鹃、毛鹃。

仙人掌科　品种繁多，可相互嫁接，主要品种有昙花、令箭荷花、蟹爪兰等。

蔷薇科　蔷薇、野蔷薇、玫瑰、木香、菱叶绣线菊、丰花月季、现代月季、藤本月季。

瑞香科　瑞香、结香。

堇菜科　三色堇。

夹竹桃科　络石、花叶蔓长春、长春蔓。

豆　科　伞房决明。

藤黄科　金丝桃。

锦葵科　蜀葵、秋葵、木芙蓉、槭葵、扶桑、木槿、锦葵。

凤仙花科　凤仙花。

大戟科　一品红（圣诞花）、山麻杆。

牛儿苗科　天竺葵（入腊红）、香叶天竺葵。

马齿苋科　半枝莲。

景天科　景天、宝石花、垂盆草、佛甲草。

十字花科　紫罗兰、羽衣甘兰、桂竹香。

罂粟科　丽春花(虞美人)、荷包牡丹、花菱草。

毛茛科　牡丹、芍药、飞燕草、铁线莲。

千屈菜科　千屈菜。

睡莲科　睡莲、荷花、王莲。

石竹科　美国石竹、香石竹(康乃馨)、石竹。

紫茉莉科　紫茉莉、叶子花。

苋　科　雁来红(老少年)、鸡冠花、千日红(千日白)。

蓼　科　荭草(观音柳)、竹节蓼。

金粟兰科　珠兰(草本)。

姜　科　蘘荷、艳山姜。

旅人蕉科　鹤望兰。

美人蕉科　美人蕉、花叶美人蕉。

芭蕉科　芭蕉。

酢浆草科　红花酢浆草。

鸢尾科　唐菖蒲、黄菖蒲、蝴蝶花、射干、小苍兰、鸢尾。

石蒜科　蟑螂花、水仙、君子兰、朱顶红(百子莲)、晚香玉、葱兰、韭兰。

兰　科　春兰、蕙兰、建兰、石斛、白芨。

百合科　文竹、天门冬、吊兰、萱草(金针菜)、玉簪花(白萼花)、风信子(洋水仙)、沿阶草、吉祥草、万年青、郁金香。

禾本科　花叶燕麦草、高羊茅、矮生百慕大。

鸭跖草科　紫鸭跖草、吊竹梅。

天南星科　蓬莱蕉、龟背竹、广东万年青、石菖蒲、金钱菖蒲、马蹄莲(慈菇花)、菖蒲、大薸。

苏铁科　苏铁、刺叶苏铁。

卷柏科　翠云草。

龙舌兰科　丝兰、龙舌兰、虎尾兰、朱蕉、凤尾兰。

唇形科　一串红、彩叶草、迷迭香。

茄　科　五色辣椒、木本夜来香、冬珊瑚、矮牵牛。

楝　科　米兰(米仔兰)。

葡萄科　爬山虎、葡萄(观赏葡萄)、美国地锦。

山茱萸科　洒金桃叶珊瑚、红瑞木。

秋海棠科　秋海棠、四季海棠、银星海棠、竹节海棠。

鳞毛蕨科　贯众。

肾蕨科　肾蕨。

铁线蕨科　铁线蕨。

凤梨科　水塔花、筒凤梨。

旱金莲科　旱金莲。

【药材类】

有 103 种，分属 44 科。

菊　科　牛蒡、青蒿、艾、红花（与鸢尾科藏红花有别）、菊花（杭甘菊，多黄色；白菊、滁菊；野菊花，外用）、大蓟、小蓟、鳢肠、泽兰、鼠曲草、三七草、旋覆花、石胡荽（鹅不食草）、天名精（狗屎粘）、豨莶草、蒲公英、苍耳、白术。

桔梗科　桔梗。

葫芦科　栝楼（瓜蒌）、葫芦（药葫芦）。

忍冬科　忍冬（金银花）、接骨草。

茜草科　茜草。

车前草科　车前草。

玄参科　地黄、玄参。

茄　科　曼陀罗、枸杞、烟草、莨菪、白英。

唇形科　藿香、香薷、连钱草、益母草、薄荷、荆芥、荏（白苏、紫苏）、荔枝草、留兰香、夏枯草、丹参。

马鞭草科　海州常山（臭梧桐）、马鞭草。

旋花科　豆寄生（狗屎黄金草）。

萝藦科　萝藦、徐长卿。

木犀科　女贞。

伞形科　香（瘪谷茴香）、蛇床。

五加科　五加。

堇菜科　紫花地丁。

锦葵科　冬葵。

葡萄科　乌蔹莓。

大戟科　泽漆、地锦草、蓖麻、铁苋菜。

芸香科　花椒。

豆　科　决明、葛(地瓜)。

蔷薇科　金樱子。

虎耳草科　虎耳草(金丝荷叶)。

十字花科　葶苈、大青。

罂粟科　延胡索。

防己科　木防己。

石竹科　瞿麦、孩儿参(太子参)。

马齿苋科　马齿苋、土人参。

商陆科　商陆。

苋　科　青葙(野鸡冠)。

蓼　科　萹蓄、扛板归、何首乌、土大黄、虎杖。

马兜铃科　马兜铃、野木香根。

三白草科　鱼腥草。

百合科　天门冬、土茯苓、石刁柏(芦笋)、韭、葱、葫(蒜)、贝母、麦门冬。

谷精草科　谷精草。

天南星科　白菖菖蒲、石菖蒲、天南星、半夏。

莎草科　莎草(香附子)。

禾本科　白茅(茅草)。

水龙骨科　骨牌草。

泽泻科　泽泻。

鸭跖草科　鸭跖草。

姜　科　良姜。

毛茛科　威灵仙。

鼠李科　枳椇。

【杂草类】

有170种,分属42科。

菊　科　黄花蒿、蒌蒿、野艾蒿、鬼针草、苦芙、小蓟、飞廉、鳢肠、飞蓬、苍耳、苦菜、多茎鼠麴、马兰、豚草、苦荬菜、加拿大一枝黄花、紫茎泽兰、银胶菊、薇甘菊、熊耳草。

十字花科　球果蔊菜、碎米荠、荠、风花菜、播娘蒿、诸葛菜。

桔梗科　半边莲、异檐花。

苋　科　牛膝、刺苋、空心莲子草（水花生）、刺花莲子草、凹头苋（紫苋）、反枝苋、青葙、藜。

葫芦科　合子草。

藜　科　地肤、扫帚菜。

泽泻科　矮慈菇。

眼子菜科　眼子菜。

牛儿苗科　野老鹳草。

星接藻科　水绵（青苔）。

酢浆草科　酢浆草。

茜草科　细叶水团花、猪殃殃。

桑　科　葎草（割人藤）。

爵床科　爵床。

茄　科　酸浆、龙葵、青杞。

旋花科　旋花、裂叶牵牛、圆叶牵牛、打碗花、田旋花、五爪金龙。

伞形科　积雪草、窃衣、水芹、破铜钱。

毛茛科　毛茛、石龙芮。

石竹科　繁缕、簇生卷耳、牛繁缕（鹅儿肠）、漆姑草、米瓦罐。

豆　科　土圞儿、救荒野豌豆、天蓝、草木樨、小巢菜、紫云英（红花草）、田菁、鸡眼草、红车轴草。

景天科　昨叶荷草（瓦楞草）、景天、费菜、棒叶景天。

罂粟科　紫堇、黄堇。

蔷薇科　蛇莓、草莓、野蔷薇、委陵菜、地榆。

蓼　科　辣蓼、水蓼、红蓼（观音柳）、春蓼、丛枝蓼、刺蓼、箭叶蓼、海滨酸蓼、两栖蓼。

麻黄科　木贼麻黄。

木贼科　木贼草、问荆。

千屈菜科　节节菜、耳叶水苋、圆叶节节菜。

玄参科　通泉草、阿拉伯婆婆纳、水苦荬。

锦葵科　苘麻(青麻)。

雨久花科　凤眼莲(水葫芦)、鸭舌草。

莎草科　咸草、席草、荆三稜、飘拂草、水蜈蚣、蒯草、萤蔺、扁秆藨草、异形莎草、水莎草、日照飘拂草。

禾本科　小糠草、鹅冠草、看麦娘、燕麦(摇铃麦)、雀麦、狗牙根、川谷、马唐、知风草、鸭嘴草、荻、芒、青茅、狗尾草、糠稷、稗、狼尾草、芦竹、蟋蟀草、油芒、芦苇、野茭白、千金子、双穗雀稗、硬草、早熟禾、棒头草、秋画眉草、游草、荩草、球茎大麦、毒麦、大米草。

凤尾蕨科　凤尾蕨、蜈蚣草。

水龙骨科　骨牌蕨。

金鱼藻科　金鱼藻。

松藻科　松藻。

水鳖科　柳叶藻、苦草(面条草)、黑藻、水鳖。

浮萍科　浮萍。

槐叶萍科　满江红(红萍)、槐叶萍(编纂草)。

香蒲科　香蒲(蒲草)。

商陆科　美洲商陆。

唇形科　细风轮草、夏至草、甘露子。

动　物

2005年,境内脊椎类动物品种124种,分属5纲,较《太仓县志》增加牛蛙、鸵鸟两个品种;节肢类品种有112种,分属4纲,较《太仓县志》增加46种;软体类、环节类动物较《太仓县志》未作变动。

【脊椎类】

有124种,分属5纲。

鱼　纲　青鱼、草鱼、鲢、鳙（花鲢）、鲤鱼、鲫鱼、鳜鱼、鲈鱼、鳓鱼、鳊鱼、鲳鱼、黄姑鱼、黄花鱼、泥鳅、鳑鲏、塘鳢鱼、鲩鱼、鲇鱼、黄颡鱼、麦穗鱼、胭脂鱼、翘嘴鲌、青稍子、采石鲋、花鳈鱼、重唇鱼、鲨鲦鱼、玉郎季、凤尾鱼、银鱼、面鱼、鳢鱼（黑鱼）、鳗鲤、黄鳝、箸鲽鱼、鲻鱼、鲴鱼、鲋鱼、刀鱼、鲩鱼（白吉）、河鲀、白鲟、青鳉鱼、针鱼、鲻梭鱼、虾虎鱼、四腮鲈、金鱼、棒花鱼、中华鲟。

两栖纲　蝌蚪、蟾蜍、青蛙、虎纹蛙、泽蛙、金钱蛙、沼蛙、雨蛙、姬蛙、棘胸蛙、牛蛙。

爬行纲　龟、鼋、鳖、赤练蛇、水赤练、青鞘蛇、黄颔蛇、秤星蛇、蝮蛇、翠青蛇、壁虎、蜥蜴（四脚蛇）。

鸟　纲　鹌鹑、雉（野鸡）、黄雀、麻雀、喜鹊、灰喜鹊、乌鸦、云雀、相思鸟、黄腾、翠鸟、姑恶鸟、麦鸡、斑鸠、杜鹃（布谷鸟）、鸮（猫头鹰）、燕子、啄木鸟、百灵、黄鹂、画眉、白头翁、伯劳、八哥、鹊鸲、娇凤、鱼狗（偷鱼鸟）、腊嘴、偷仓、稻鸡、凫（野鸭）、鹈鹕、鹧鸪（家家种花）、鸢（老鹰）、鸵鸟。

哺乳纲　狗、猫（都为家养）、野兔、鼠（家鼠）、田鼠、仓鼠、豚鼠（天竺鼠）、狗獾、猪獾、野猫、黄鼬（黄鼠狼）、刺猬、松鼠、蝙蝠、白鳍豚。

【节肢类】

有 112 种，分属 4 纲。

多足纲　蜈蚣（百脚）、蚰蜒（草鞋虫）、马陆。

甲壳纲　青虾（长臂虾）、米虾、罗氏沼虾、南美白对虾、蝲蛄、河蟹、溪蟹、蟛蜞、水蚤（金鱼虫）、克氏螯虾（龙虾）。

蛛形纲　圆形蛛、络新妇、蟢蛸（喜蛛）、狼蛛、草蛛、跳蛛、姬蛛、壁钱（壁喜蛛）、微蛛、青脚蛛、蜱、螨。

昆虫纲　蝗、蚱蜢、纺织娘、摇纱郎、蟋蟀、油葫芦、蝼蛄、蜜蜂、胡蜂、竹蜂、金小蜂、赤眼蜂、姬蜂、茧蜂、黄蜂、螫蜂、狼蜂、蝉（知了）、叶蝉、螳螂、蜻蜓、豆娘、天牛、豆蟓、苍蝇、寄蝇、食蚜蝇、果蝇、蚊、蠓、虻、蟑螂、跳蚤、尺蠖（造桥虫）、刺蛾、蜃虫（地鳖虫）、猎蝽、麻皮蝽、盲蝽、网蝽、草蛉、萤火虫、蜣螂（尿壳虫）、蜉蝣、白蚁、黑蚁、小红蚁、长脚蚁、粉蝶、凤蝶、灰蝶、斑蝶、眼蝶、蛱蝶、椿象、粘虫、瓢虫、步虫甲、虎甲、桑蚕、叩头虫、三化螟、二化螟、大螟、纵卷叶螟、稻飞虱（褐飞虱、白背飞虱、灰飞虱）、稻象甲、稻蓟马、棉铃虫、红铃虫、蚜虫、菜粉蝶、小菜蛾、斜纹夜蛾、豆

天蛾、甜菜夜蛾、美洲斑潜蝇、油菜潜叶蝇、烟粉虱、樟巢螟、淡剑夜蛾、金龟子(蛴螬)、小地老虎、二十八星瓢虫、蚧壳虫、豆荚螟、瓜绢螟。

【软体类】

有11种,分属2纲。

腹足纲　蜗牛、田螺、螺蛳、海蛳、蛞蝓。

瓣鳃纲　折纹冠蚌(海蚌)、帆蚌(三角蚌)、河蚌、蛏、蚬、蛤。

【环节类】

有5种,分属2纲。

毛足纲　蚯蚓、沙蚕、白线蚓。

蛭　纲　水蛭、蚂蟥。

六、自然灾害

气象灾害

境内遭受的气象灾害,主要有台风、洪涝、干旱、龙卷风、雷雨冰雹等。1986～2005年,遭受较大灾害40余次,有灾害损失记录的28次,其中台风造成的灾害损失最大;影响全市(县)的台风共27次,有灾害损失记录的15次,其中有12次并发洪涝灾害。

【台　风】

1986年7月11日至12日,受7号台风影响,全县普降暴雨,雨量100毫米以上有6个乡,130毫米以上4个乡,河道水位猛涨,造成8753.33公顷棉花、60.53公顷水稻、10公顷蔬菜、10公顷精养鱼塘被淹,57间房屋、33间猪棚倒塌,损坏桥梁2座、砖坯590万块,沉没农船9条,部分仓库进水造成产品受潮,17户遭雷击,避雷器、变压器和配电仪表多台被雷击坏。同年8月26日至28日,遭15号台风袭击,风力8～9级,沿江阵风10～11级,吹倒棉花5333.33公顷,减产652吨;

2000 公顷水稻受损，减产 750 吨；倒塌房屋 120 间、烟囱 9 柱、围墙 425 米、电线杆 76 根；损坏变压器电动机 9 台、砖坯 48.5 万块。

1987 年 7 月 27 日至 28 日，遭 7 号台风袭击，风力 8 级，沿江阵风 9 ～ 10 级，吹倒棉花 9000 公顷、房屋 139 间、围墙 179 米、烟囱 1 柱、猪棚 446 间、电线杆 45 根、树木 2100 棵；吹断低压电线 1885 米；损坏砖坯 45 万块。

1989 年 8 月 3 日，遭 13 号强热带风暴袭击，造成经济损失 818 万元；倒塌房屋 84 间、厂房 33 间、围墙 60 米、电线杆 30 根；吹坏房屋 90 间；损失砖坯 595 万块；7333.33 公顷棉花倒伏，其中 3333.33 公顷严重倒伏。

1994 年，受 14 号、17 号台风影响，沿江 4 个乡镇在主海塘堤外 69.6 公顷农田两次受淹，其中 27.87 公顷棉花无收；90 多米海塘护岸工程受冲刷，发生沉陷、塌方、滑坡；冲损 2 座进排涵洞；吹损民房 5 间、厂房 3 间、棚舍 36 间；经济损失 1934 万元。

1996 年 8 月 1 日，受 8 号台风外围影响，造成 144 公顷农田受淹，其中棉花 58.67 公顷，水稻 74.67 公顷，其他作物 10.67 公顷，农业经济损失 224 万元；水利设施损失 220 万元。

1997 年 8 月 18 日，遭 11 号台风袭击，风力 9 级，长江口风力 10 ～ 11 级，并伴有短时大暴雨。造成海塘受损 132 处，主海塘 1.23 万米、港堤 630 米、外围护坎 2454 米，损失土方 12.27 万立方米，石方 3.2 万立方米，混凝土 0.3 万立方米，修复需 3600 万元。断裂低压电线杆 71 根、广播线杆 109 根、通信线杆 18 根。淹没农田 133.33 公顷，倒伏棉花 4666.67 公顷。损坏农房 200 多户，其中倒塌 67 间。经济损失 1.06 亿元。

2001 年 6 月 22 日至 24 日，遭 2 号台风“飞燕”袭击，普降暴雨。6 月 23 日平均降雨量 174.8 毫米。鹿河钱泾口实测最大降雨量 242 毫米。7 月 6 日，遭 4 号台风“尤特”袭击，14 时至 16 时 16 分，出现强降雨，实测降雨量城厢 80 毫米，岳王 191 毫米，沙溪 116 毫米，杨林 177 毫米，浏河 84 毫米，七浦 201 毫米。共造成 8560 公顷农田受淹，1133.33 公顷淡水养殖受损，10 万羽鸡淹死，2000 户 4834 间民房进水，部分倒塌，近 20 吨小麦浸水，鹿河镇 388 米江堤内坡土体塌陷，经济损失 2700 万元。

2002 年，受台风“威马逊”和“森拉克”外围影响，2426.67 公顷农作物受灾，成灾 966.67 公顷，其中绝收 170 公顷，粮食减产 160 吨；68 户住宅受淹，105 间房

屋损坏,直接经济损失866万元。

2004年7月3日,受7号热带风暴“蒲公英”影响,风力9级,极大风速每秒23.9米,24小时降水111.4毫米,造成1人死亡,8人受伤,损坏房屋330间,倒塌房屋26间、棚舍20间,100公顷农作物受灾,直接经济损失100万元。

2005年8月5日至7日,遭9号台风“麦莎”正面袭击,又逢农历七月初三天文大潮,台风、暴雨、天文大潮“三碰头”,雨量205.5毫米,最大风力每秒28.1米。9月11日至12日,遭15号台风“卡努”正面袭击,雨量110.8毫米,极大风速每秒29.4米,共造成124个村受灾,紧急转移安置人口2852人,损坏房屋2212间,倒塌房屋310间、棚舍82间,3226.67公顷农作物受灾,成灾2573.33公顷,损坏堤防11.97千米。直接经济损失1.68亿元,其中农林牧渔业损失5983万元,水利设施损失3345万元,工业交通运输业损失1484万元,其他损失5988万元。

【洪　涝】

1988年5月3日,遭暴风雨和冰雹袭击,三麦倒伏1093.33公顷,油菜倾倒7000余公顷。

1993年8月1日至4日,连遭雷暴雨袭击,总降雨量316.5毫米。全市6666.67公顷棉花、25333.33公顷水稻、1333.33公顷蔬菜受淹,其中4000公顷棉花倒伏;225户民房受灾,部分企业和供电、交通、通讯等基础设施受损严重,直接经济损失1200余万元。

1995年5月20日,遭暴雨袭击,城厢地区日雨量99毫米,浏河闸内水位3.44米。新湖敬老院损坏房屋5间,全市17200公顷小麦、8666.67公顷油菜受灾,直接经济损失2151万元。

1996年7月4日至6日,遭暴雨袭击,平均降雨量106.5毫米,浏河闸内水位3.75米。造成直接经济损失82.37万元。其中损坏房屋39间,倒塌28间,1666.67公顷水稻、293.33公顷棉花、4公顷蔬菜、180公顷西瓜、6.67公顷鱼塘受淹,损坏农桥2座。

1999年6月26日至30日,遭暴雨袭击,降雨量366.2毫米,特别是29日8时至30日20时,降雨量195.5毫米。18个镇300个村受灾,9060户民宅进水,40间棚舍倒塌;21100公顷农田受淹,其中粮食作物5806.67公顷,经济作物15293.33公顷,粮食减产2176.5吨;60公顷林果苗木受损,淡水养殖损失

813.33 公顷；损坏桥涵 68 座、机电泵站 191 座 1805 千瓦。直接经济损失 2.24 亿元，其中农业损失 1.5 亿元，工业交通运输业损失 6080 万元，水利设施损失 450 万元，其他损失 870 万元。

【干　旱】

1988 年 7 月 12 日至 21 日，连续高温干旱 10 天，造成东、中部地区水稻、棉花受旱。

1994 年，连续高温干旱，6666.67 公顷棉花，有 30%高坑龟背田损害大，生长萎缩，花铃脱落，损失皮棉 825 吨，造成经济损失 825 万元。

【龙卷风】

1986 年 7 月 23 日下午 1 时起，新毛、板桥、浏河、浮桥等乡镇共 18 个村遭遇龙卷风、冰雹袭击，造成 1 死 3 伤，损坏房屋 238 间，刮倒电线杆 134 根。

1988 年 7 月 14 日夜，南郊、鹿河 2 个乡镇部分地区遭龙卷风袭击，吹倒房屋 20 多间、平房屋脊 100 多间、围墙 500 米，333.33 公顷棉花、66.67 公顷麻倒伏，经济损失 45 万元。

1995 年 6 月 27 日 15 时 30 分左右，浮桥镇仪桥、日新村部分地方遭龙卷风袭击，损坏房屋 46 间，其中严重损坏 15 间，倒塌围墙 14 米，直接经济损失 5 万元。

1996 年 7 月 18 日，沙溪镇、新毛镇的部分村遭龙卷风袭击，造成经济损失 1200 万元。

【雷雨冰雹】

1990 年 7 月 25 日和 8 月 14 日两次遭雷雨冰雹袭击，造成 7333.33 公顷棉花受损，5333.33 公顷早熟水稻严重受损，20 公顷蔬菜受淹；西部圩堤滑坡 2000 米，冲毁海塘 9 处 1055 米；9439 间民房受损，其中 307 间倒塌，631 间畜棚及蘑菇棚倒塌，286 个乡村企事业单位 469 间房屋受损；跌死 1 人，重伤 7 人。直接经济损失 4449 万元。

1995 年 8 月 7 日 15 时 30 分左右，新湖镇、双凤镇的 12 个村遭雷雨冰雹袭击，损坏房屋 30 间、低压电线杆 7 根，254 公顷粮食作物、28 公顷经济作物、8 公顷林果受灾，1 人受轻伤，直接经济损失 150 万元。

1996 年 8 月 21 日，直塘镇、归庄镇、璜泾镇的 3 个村遭雷击，损坏房屋 8 间，倒塌 2 间，击坏直塘镇 2 个电站线路控制柜、归庄镇中南服装厂配电盘，经济损失 5 万元。9 月 12 日，浮桥镇 6 个村，遭雷雨冰雹袭击，经济损失 280 万元。

地质灾害

太仓受扬州—铜陵地震带影响，属少震、弱震地区。1986 ～ 2005 年，境内仅发生 1 次有感（3 级以上）地震并造成灾害损失。

【地　震】

1990 年 2 月 10 日 1 时 57 分，沙溪乡与常熟市支塘镇交界处发生地震。震中：北纬 31°35′，东经 121°04′，震中烈度 6 度。震源深度 15 千米，震级 5.1 级。造成 15 人伤亡，其中间接死亡 1 人、重伤 2 人、轻伤 6 人，直接轻伤 6 人，部分房屋倒塌，直接经济损失 1.34 亿元。

1990 年 2 月 10 日太仓县地震中各类房屋损害情况表

表 13

房屋类型	单位	损害程度					合计
		局部倒塌	严重倒塌	较严重倒塌	一般破坏	轻微破坏	
农村民房	间数	154	1472	6279	17620	35306	60831
	%	0.25	2.42	10.32	28.97	58.04	
城镇民房	平方米	—	8244	7869	55495	43742	115350
	%	—	7.15	6.82	48.11	37.92	
企业厂房	平方米	—	38996	30514	94360	100188	264058
	%	—	14.77	11.56	35.73	37.94	
学校校舍	平方米	—	6760	10367	4214	—	21341
	%	—	31.68	48.58	19.74	—	

环境保护

卷 三

HUAN JING BAO HU

1979 年 4 月，设太仓县环境保护办公室。1982 年 2 月，改称太仓县环境保护局（简称环保局）。各乡镇随之成立环境保护办公室，为政府职能部门。重点污染企业配专（兼）职环保员。90 年代，制定规划，增加投资，开展监测，加强监督，加速治理老污染，控制新污染，境内的环境质量不断改善。1997 年，太仓市环境保护委员会成立，由 30 个部门组成，市长任主任。1998 年，在全省率先实现太湖流域水污染源达标排放。1999 年，提前完成国务院环境保护“一控双达标”（控制排污总量，所有工业污染企业达到国家规定的排放标准，全国重点城市、重点区域环境质量达到国家规定相应的排放标准）任务。2000 年年初，在创建国家卫生城市取得突破性进展的基础上，市委、市政府提出创建国家环境保护模范城市工作目标，次年 8 月，通过考核验收。之后，确立“以环境促开放、以开放促发展、以发展保环境”的可持续发展理念，将巩固国家环境保护模范城市成果和争创全国生态示范区作为推进经济社会发展的重要手段，推进环境保护工作。2004 年 12 月，太仓市被授予第三批全国生态示范区称号。

一、环境质量

大气环境

【大气质量】

80 年代，全县大气污染基本上属于煤烟型污染，总悬浮颗粒物污染负荷大。1987 年起，城区实行大气监测，二氧化硫、氮氧化物、总悬浮颗粒物年日均值均达国家大气环境质量二级标准。1995 年，随着市区烟控区建设的深入，集中供热面积不断扩大，工业烟尘及粉尘的排放大幅下降，大气环境质量明显改善。1996 ～ 2000 年，二氧化硫、氮氧化物污染均呈逐年下降趋势，分别由每立方米 0.03 毫克降至每立方米 0.017 毫克和每立方米 0.036 毫克降至每立方米 0.022 毫克。2001 ～ 2005 年，二氧化氮、可吸入颗粒物污染趋于稳定下降，分别由每立方米 0.027 毫克降至每立方米 0.024 毫克和每立方米 0.098 毫克降至每立方米 0.085 毫克；二氧化硫由于境内东北部沿江地区的 3 个燃煤电厂的相继建成投产，污染负荷逐年上升。

1996 ～ 2005 年太仓市大气监测统计表

表 14　　单位：毫克 / 立方米

年份	二氧化硫年日均值	氮氧化物年日均值	二氧化氮年日均值	总悬浮颗粒物年日均值	可吸入颗粒物年日均值
1996	0.030	0.036	—	0.187	—
1997	0.027	0.030	—	0.276	—
1998	0.020	0.034	—	0.113	—
1999	0.017	0.038	—	0.173	—
2000	0.017	0.022	—	0.139	—
平均值	0.022	0.032	—	0.178	—
2001	0.027	—	0.027	—	0.098
2002	0.028	—	0.026	—	0.097
2003	0.029	—	0.026	—	0.092
2004	0.038	—	0.025	—	0.093
2005	0.051	—	0.024	—	0.085
平均值	0.035	—	0.026	—	0.093

1996 ～ 2005 年太仓市大气监测评价统计表

表 15　　单位：毫克 / 立方米

年份	污染物指数					综合指数
	二氧化硫	氮氧化物	二氧化氮	总悬浮颗粒物	可吸入颗粒物	
1996	0.50	0.36	—	0.62	—	1.48
1997	0.45	0.62	—	1.38	—	2.45
1998	0.33	0.68	—	0.66	—	1.67
1999	0.28	0.76	—	0.87	—	1.91
2000	0.25	0.50	—	0.45	—	1.20
5年平均	0.36	0.58	—	0.80	—	1.74
2001	0.45	—	0.65	—	0.98	2.08
2002	0.47	—	0.65	—	0.97	2.09
2003	0.48	—	0.65	—	0.92	2.05
2004	0.63	—	0.62	—	0.93	2.18
2005	0.85	—	0.60	—	0.85	2.30
5年平均	0.58	—	0.63	—	0.93	2.14

【酸　雨】

1986 ～ 1988 年，采集降水样品分别为 51 个、34 个、29 个，酸雨频率分别为 8%、5.9%、3.4%。1996 ～ 2005 年，采集降水样品 656 个，酸雨频率平均为 21.45%。

1996 ～ 2005 年太仓市降水监测统计表

表 16

项目	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
样本个数	46	47	50	52	64	58	55	113	99	72
pH值平均值	6.40	6.65	5.12	6.14	6.86	7.06	7.16	6.82	5.64	5.78
酸雨频率(%)	21.7	8.5	64.0	19.2	18.0	17.2	0	4.4	28.3	33.2

水环境

【饮用水质量】

1986 年，城区自来水厂取水口设在浏河塘城区段，因受上游和城区水体污染的影响，水质劣于国家Ⅱ类水标准。1996 年下半年停止供水，改取地下水，保障市区供水。1999 年 8 月，太仓第二水厂建成供水，饮用水水质状况较好，达《地表水环境质量标准》（GB3838－2002）Ⅲ类水标准，符合城镇饮用水源的水质要求。（详见卷六基础设施城市饮水工程条目）

【地表水质量】

1986 年，浏河塘作为水源保护区受到较重污染，所监测的断面中Ⅲ类水与Ⅳ类水各占 50%。七浦塘和城区河道以有机污染为主；钱泾、浪港水质状况良好；杨林塘水质较好，污染趋势由西向东明显可见。1996 ～ 2000 年，各主要河道的水质污染以有机污染为主，污染程度最重的是七浦塘，水质处于地面水 GB3838－88 Ⅳ类－Ⅴ类标准之间；其次是盐铁塘，水质在Ⅳ－Ⅴ类水附近波动；再次是城河，水质在Ⅳ－Ⅴ类水标准之间；水质较好的是杨林塘和浏河塘，水质分别在Ⅲ类水附近波动、Ⅲ－Ⅳ类之间。2001 ～ 2005 年，杨林塘首要污染物为石油类，按《地表水环境

质量标准》(GB3838—2002)Ⅲ类水标准评价,5年综合污染指数平均值为10.97,其他各河道首要污染物为氨氮。按《地表水环境质量标准》(GB3838—2002)Ⅳ类水标准评价,13项主要污染物5年综合污染指数平均值分别为:城区河道7.52、浪港4.98、浏河塘5.7、七浦塘6.59、钱泾5.86、盐铁塘5.64。由此可见,除杨林塘外,其他各主要河道水质由差到好依次为:城区河道、七浦塘、钱泾、浏河塘、盐铁塘、浪港。综合污染指数均呈逐年不明显下降趋势,水质总体呈好转趋势。

声环境

【功能区声环境】

1999年10月,太仓将市区划分为Ⅰ、Ⅱ和Ⅳ3类噪声功能区,并实施监测。至2005年,市区各功能区昼夜噪声等效声级的平均值均达《城市区域环境噪声标准》相应标准。

1999～2005年太仓市噪声功能区声环境年均值监测统计表

表17　　单位:分贝

年份	Ⅰ类区		Ⅱ类区		Ⅳ类区	
	昼间等效连续A声级	夜间等效连续A声级	昼间等效连续A声级	夜间等效连续A声级	昼间等效连续A声级	夜间等效连续A声级
1999	53.1	40.2	51.5	40.3	66.7	50.5
2000	51.4	39.0	52.5	40.2	65.1	48.9
2001	40.6	33.3	45.8	35.7	53.3	41.3
2002	42.1	35.4	53.8	42.4	59.5	46.9
2003	44.3	37.7	51.2	41.1	58.7	46.1
2004	47.4	38.4	54.7	43.7	58.1	49.3
2005	49.4	42.9	53.8	45.2	64.5	49.8
声环境标准	55.0	45.0	60.0	50.0	70.0	55.0

【区域声环境】

1986年,城区设区域监测点38个,面积2.5平方千米。1996～1998年,市区设区域监测点102个,网格覆盖人口4.5万人,网格中的人口密度为每平方千米

1.1 万人。1999 年，监测点（网格数）增至 107 个，覆盖面积 4.5 平方千米，人口密度每平方千米 2.5 万人。2001 ～ 2005 年，市区区域环境噪声年度等效声级基本保持稳定，区域环境噪声等效声级 5 年平均值 52.96 分贝，比 2000 年年末的 54.1 分贝略有下降。

1996 ～ 2005 年太仓市区域声环境监测统计表

表 18

年份	网格大小		网格总数（个）	噪声监测（分贝）			
	长（米）	宽（米）		Leq	L_{10}	L_{50}	L_{90}
1996	200	200	102	55.7	59.6	54.1	51.3
1997	200	200	102	55.3	61.1	51.4	46.5
1998	200	200	102	55.0	59.8	51.2	46.6
1999	200	200	107	54.3	60.7	51.5	45.7
2000	200	200	107	54.1	59.9	50.6	46.6
2001	200	200	107	53.7	65.2	55.2	51.5
2002	200	200	107	52.8	54.9	50.0	45.3
2003	200	200	107	52.7	54.1	51.4	50.1
2004	200	200	107	52.9	54.9	51.4	50.1
2005	200	200	107	52.7	54.9	51.9	50.1

【交通道路声环境】

1996 ～ 2005 年，市区交通干线共设置 12 个交通噪声监测点，各年度主要道路干线交通噪声等效声级年平均值均小于 70 分贝，达国家《城市区域环境噪声标准》的Ⅳ类标准昼间限值要求。

二、环境污染

水污染

80 年代起，随着工业的发展，污染物排放量不断增加，水环境污染日益严重，直接影响社会发展和人民日常生活。1986 年，全县工业废水排放总量 3761 万吨。

废水排放量由大到小按行业分,依次为化学原料及化学制品制造业、纺织业、化学纤维制造业、电力蒸汽热水生产和供应业、造纸及纸制品业、饮料制造业。90 年代起,逐渐控制主要污染物的排放量。1996 年,全市工业废水排放总量 2042 万吨,达标排放量 966 万吨,达标率 47.31%,排放废水中主要污染因子化学需氧量(COD)11461 吨。1999 年起,工业废水排放达标率 100%。

1996 ～ 2005 年太仓市工业用水及工业废水排放情况表

表 19

年份	工业用水量(万吨)	新鲜用水量(万吨)	重复用水量(万吨)	工业废水排放量(万吨)	达标排放量(万吨)	达标率(%)
1996	8685.0	7262.0	1423.0	2042.0	966.0	47.31
1997	8972.0	7355.0	1437.0	2230.0	1076.0	48.25
1998	8639.0	7198.0	1441.0	1400.0	1082.0	77.29
1999	8552.0	7212.0	1340.0	1787.0	1787.0	100.00
2000	8400.0	6508.0	1892.0	1850.0	1850.0	100.00
2001	10535.9	5420.7	5115.2	1630.1	1630.1	100.00
2002	14387.1	8056.5	6330.6	3782.1	3782.1	100.00
2003	12984.7	8561.4	4723.3	2970.7	2970.7	100.00
2004	17451.3	8725.0	8726.3	3459.3	3459.3	100.00
2005	21523.5	9256.1	12267.4	3954.0	3954.0	100.00

1996 ～ 2005 年太仓市工业废水污染物排放情况表

表 20　　单位:吨

年份	化学需氧量	挥发酚	石油类	氨氮	六价铬	氰化物
1996	11461.0	1.860	73.34	433.6	0.530	1.060
1997	12523.0	1.320	62.37	754.2	1.267	0.800
1998	10850.0	0.710	43.57	519.3	0.415	0.269
1999	1957.0	0.651	25.10	109.0	0.277	0.215
2000	2400.0	0.583	23.70	98.0	0.100	0.205
2001	2096.5	0.150	23.00	106.4	0.110	0.200

续表 20

年份	化学需氧量	挥发酚	石油类	氨氮	六价铬	氰化物
2002	4821.4	0.130	22.00	124.1	0.120	0.220
2003	2788.4	0.130	21.30	128.5	0.120	0.200
2004	3860.0	0.130	21.30	152.1	0.130	0.150
2005	4216.8	0.130	21.40	148.2	0.140	0.150

2000 年，境内江苏金龙集团、太仓啤酒厂、苏州恒光化纤有限公司、苏州胜宏纸业有限公司、苏州百科化工有限公司等 8 家重点水污染的年废水排放总量 1009.2 万吨，占全市总量的 54.55%；化学需氧量 1740.46 吨，占全市总量 72.52%。

2000 年太仓市重点水污染源排污情况表

表 21

企业名称	废水排放量（万吨）	化学需氧量（吨）
江苏金龙集团	519.2	752.90
太仓啤酒厂	27.7	221.60
苏州恒光化纤有限公司	148.5	220.08
苏州胜宏纸业有限公司	78.0	140.40
太仓市农药厂	66.0	132.00
苏州百科化工有限公司	42.0	104.10
太仓市茜泾化工厂	37.8	94.50
太仓塑料助剂厂	90.0	74.88
合计	1009.2	1740.46

2001 年起，通过调整产业结构、技术改造、清洁生产等举措，情况逐年好转。至 2005 年，8 家重点污染源除太仓啤酒厂停产，其余 7 家年废水排放量降到 470.5 万吨，减少 538.7 万吨，占全市工业废水排放总量的比例降至 11.9%；化学需氧量降至 757.5 吨，减少 982.96 吨，削减率 56.48%。年末，随着新兴工业的进驻，重点污染源发生变化，全市废水排放量大的企业有 30 家。

2001 ～ 2005 年太仓市重点污染源工业废水排放情况表

表 22

单位名称	2001年		2002年		2003年		2004年		2005年	
	排放量(万吨)	占总量(%)	排放量(万吨)	占总量(%)	排放量(万吨)	占总量(%)	排放量(万吨)	占总量(%)	排放量(万吨)	占总量(%)
太仓金龙集团公司	415	25.5	130	3.4	130	4.4	130	3.8	129.0	3.30
苏州恒光化纤有限公司	260	15.9	260	6.9	140	4.7	140	4.0	120.0	3.00
苏州胜宏纸业有限公司	120	7.4	75	2.0	75	2.5	73	2.1	76.0	1.90
太仓市农药厂有限公司	70	4.3	99	2.6	92	3.1	90	2.6	60.0	1.50
苏州百科化工有限公司	42	2.6	47	1.2	36	1.2	34	1.0	34.0	0.90
太仓塑料助剂厂有限公司	90	5.5	88	2.3	52	1.8	50	1.4	50.0	1.30
太仓市茜泾化工厂	23	1.4	7	0.2	11	0.4	9	0.3	1.5	0.04
重点源合计量	1020	62.6	706	18.6	536	18.1	526	15.2	470.5	11.94

2001 ～ 2005 年太仓市重点污染源化学需氧量排放情况表

表 23　　单位：吨

单位名称	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
太仓金龙集团公司	636.00	192.00	192.00	192.00	191.00
苏州恒光化纤有限公司	370.00	364.00	345.00	342.00	175.00
苏州胜宏纸业有限公司	122.00	113.00	70.00	68.00	70.00
太仓市农药厂有限公司	126.00	158.00	120.00	260.00	150.00
苏州百科化工有限公司（太仓新太酒精有限公司）	82.00	137.00	120.00	117.00	120.00
太仓塑料助剂厂有限公司	75.00	88.00	50.00	48.00	50.00
太仓市茜泾化工厂	33.00	12.00	7.00	7.00	1.50
重点源合计量	1444.00	1064.00	904.00	1034.00	757.50

续表 23

单位名称	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
全市排放总量	2096.50	4821.40	2788.40	3860.00	4216.80
占全市总量比例（%）	68.88	22.07	32.42	26.79	17.96

2005 年太仓市重点污染源废水排放情况表

表 24

企业名称	新鲜水量（万吨）	废水排放量（万吨）	化学需氧量（吨）
太仓金龙集团公司	1200.00	1200.00	191.00
玖龙纸业（太仓）有限公司	820.00	820.00	820.00
太仓绿宝化工实业有限公司	129.97	129.97	191.80
苏州恒光化纤有限公司	290.00	120.00	175.00
苏州胜宏纸业有限公司	88.00	75.00	70.00
太仓市虹盛漂染厂	75.00	75.00	75.00
太仓市农药厂有限公司	165.00	60.00	150.00
太仓塑料助剂厂有限公司	50.00	50.00	50.00
海名斯（太仓）颜料化工有限公司	46.00	46.00	46.00
太仓宏达热电有限公司	4197.00	45.00	36.00
苏州铃兰卫生用品有限公司	50.90	43.00	35.00
太仓市耀华漂染厂	42.00	42.00	42.00
太仓市国峰纺织印染有限责任公司	40.00	40.00	40.00
苏州华苏塑料有限公司	56.00	36.25	50.40
太仓市光明针织厂	35.00	35.00	35.00
太仓市金佳漂染厂	35.00	35.00	35.00
太仓新太酒精有限公司	131.00	33.50	120.00
太仓针织总厂	40.00	25.00	40.00
太仓振辉化纤有限公司	31.60	21.50	21.50
太仓市第三印染厂	20.00	20.00	12.00
美固龙金属制品(中国)有限公司	18.00	18.00	9.00
苏州仓庆金属制品有限公司	21.00	18.00	14.56

续表 24

企业名称	新鲜水量（万吨）	废水排放量（万吨）	化学需氧量（吨）
太仓市沙溪杨桥针织染色厂	18.00	18.00	18.00
苏州上好佳食品有限公司	18.00	18.00	18.00
苏州港荣纺织品有限公司	18.00	18.00	72.00
江阴模塑集团太仓施美电镀有限公司	20.00	17.00	11.05
宣特金属制品（苏州）有限公司	16.60	16.60	16.60
太仓市锦达印染有限公司	15.00	15.00	9.00
太仓市金鹿电镀有限公司	15.00	14.80	5.00
江苏申久化纤有限公司	14.00	14.00	14.00

大气污染

80 年代，全县工业能源消耗有原煤、燃料油、焦炭、电、煤气等 5 种。原煤燃烧产生的烟尘和二氧化硫（SO_2）是全县大气污染的主要因素。1986 年，全县工业废气排放总量 78.2 亿标立方米。90 年代起，境内工业企业，自备锅炉配备除尘设备、建立控烟区和淘汰部分燃煤锅炉，大气污染状况逐渐好转。1996 年，全市工业燃煤总量 41.27 万吨，废气排放 39.43 亿标立方米，二氧化硫排放 1.32 万吨，烟尘排放 5040 吨，达标排放 24.65 亿标立方米，达标率 62.5%。2000 年，全市年燃煤总量 57.03 万吨。2001 年起，华能（苏州工业园区）发电有限责任公司、太仓港环保发电有限公司、玖龙纸业（太仓）有限公司等大型企业相继投产，燃煤量逐年递增。2005 年年末，全市年燃煤总量 654.39 万吨，是 2000 年的 11.47 倍，工业废气排放量及废气污染物排放量相应增加。废气排放量由大到小按行业分，依次为电力蒸汽、热水的生产和供应业、化学原料及化学制品制造业、纺织业、饮料制造业、非金属矿物物品业、金属制品业、黑色金属冶炼及压延加工业。华能（苏州工业园区）发电有限责任公司、太仓港环保发电有限公司、玖龙纸业（太仓）有限公司、太仓新海康协鑫热电有限公司、太仓宏达热电有限公司、太仓绿宝化工实业有限公司、太仓新太酒精有限公司、太仓调峰电力有限公司等 10 家企业的工业废气排放总量 534.5 亿标立方米，占全市工业废气排放量的 90.75%；二氧化硫排放总量 19825.2 吨，占全市 89.9%；烟尘排放总量 4035 吨，占全市 85.6%。

2005 年太仓重点工业企业废气污染物排放情况表

表 25

企业名称	工业废气排放量(万标立方米)	二氧化硫排放量(吨)	烟尘排放量(吨)
华能（苏州工业园区）发电有限责任公司	1100000	10204.00	1600.00
太仓港环保发电有限公司	3519000	3614.00	1207.00
玖龙纸业（太仓）有限公司	422475	2675.00	353.00
太仓新海康协鑫热电有限公司	111066	1500.00	250.00
太仓宏达热电有限公司	92766	630.00	165.00
太仓绿宝化工实业有限公司	27000	411.20	133.00
太仓新太酒精有限公司	27000	384.00	225.00
太仓调峰电力有限公司	11285	150.00	0
江苏申久化纤有限公司	19427	138.00	80.00
太仓振辉化纤有限公司	15422	119.00	22.00
苏州恒光化纤有限公司	120210	110.00	23.20
太仓市金佳漂染厂	6000	108.00	20.27
太仓市农药厂有限公司	5400	67.00	14.00
苏州胜宏纸业有限公司	7500	59.66	12.35
太仓市泾海精细化工厂	2700	42.50	10.00
太仓市虹盛漂染厂	2700	36.00	8.00
苏州勤益化纤纺有限公司	5400	35.00	12.00
太仓市国盛化工有限公司	2160	30.00	18.00
太仓市沙溪杨桥针织染色厂	1300	28.90	7.04
怡球金属（太仓）有限公司	75000	26.40	0
苏州嘉益玻璃器皿有限公司	2700	20.00	10.00
太仓市汇湖电镀有限公司	810	17.30	4.50
太仓针织总厂	2500	15.30	3.73
太仓市国峰纺织印染有限责任公司	1000	15.00	9.00
上海三维制药公司太仓岳王药物原料厂	1440	15.00	3.10
太仓市弇西树脂化工厂	1125	13.00	2.00

续表 25

企业名称	工业废气排放量(万标立方米)	二氧化硫排放量(吨)	烟尘排放量(吨)
太仓市振发纺染有限公司	900	13.00	3.00
太仓德丰五金制品有限公司	970	13.00	4.32
太仓市华源染整厂	1350	12.00	2.70
苏州铃兰卫生用品有限公司	2400	10.00	0

三、污染治理

水污染治理

80 年代中后期始，全县进行污染源调查，依法加强污染治理，制定环境保护规划，实施建设项目同时设计、同时施工、同时投运的环保“三同时”制度，县政府每年与各乡镇及有关部门签订环境保护责任制，并纳入经济考核，对重点污染单位强化执法，严肃查处环境保护违法行为。1989 年，10 家企业废水治理项目被列入县长责任书，投资 169.2 万元，新增 10 个废水治理项目，日处理能力 2500 吨。1995 年，投资 1783 万元，完善和新增日废水处理能力 10060 吨的废水治理项目。1997 年，太仓市成立太湖流域限期治理工作领导小组，编制《工业污染源达标排放工作方案》，将治理水污染任务以签订年度目标责任制形式落实到各乡镇及有关部门，年终组织考核。同时对全市工业污染情况进行调查摸底，确定分阶段治理目标(1998 年年底前主要工业污染源实现达标排放，2000 年年底前实现所有污染源达标排放)。1998 年列入限期治理企业 69 家，投资 4500 万元，新增和完善日废水处理能力 2.4 万吨，年消减化学需氧量 1 万余吨；验收“三同时”项目 11 家，投资 2043 万元，新增日废水处理能力 2520 吨。同年，对市区华联精细化工厂、娄江化工厂、轻工助剂厂、新太酒精厂、太仓啤酒厂和太仓化建总厂等污染严重的企业实施搬迁改造。1999 年 5 月 8 日，市区污水处理厂日处理能力 1 万吨生活污水的一期工程投运。2000 年，投资 8000 万元，对全市三级主要河道进行清淤，共清淤 705 万立方米；严格控制化肥、农药的用量，做到科学合理施肥用药，减少化肥、农药对

2005 年，全市化工行业开展污水治理

河道水质的污染；关闭太仓化学药物厂、城厢镇兴兴化工厂等污染严重的企业。2001 年，市区污水处理厂一期续建日处理能力 1 万吨的工程完工，市区生活污水截污管网覆盖率不断增加。2003 年，投资 7790 万元、日处理能力 2 万吨的新区污水处理厂和日处理能力 1 万吨的港区污水处理厂建成投运；投资 600 万元、日处理能力 3000 吨的太仓港再生资源加工区污水处理工程建成投运；沙溪镇工业小区污水集中治理一期工程日处理能力 1000 吨，完成土建工程。同年，明确所有工业项目必须进入工业开发区，基础设施统一规划建设，污染集中治理；将分散在浏家港、牌楼的印染厂搬迁，集中建到新港印染小区，依托港区污水处理厂进行集中处理；同时对污染比较严重的太仓新太酒精有限公司等企业实施清洁生产，对畜禽养殖业污水进行治理，减少水污染物排放量；市环保局和市农林局开展农田示范区建设和有机肥料的推广使用，减少农村化肥、农药面源对河道水质的污染。2005 年，开展市区水环境综合整治工程，实施河道清淤和河岸绿化工程，加大城市污水处理厂的建设力度，完成市区污水处理厂续建工程、新区污水处理厂工程，新增日废水处理能力 3 万吨，并结合市区改造，配套建污水截污管网，使市区生活废水处理率提高至 75%，有效地控制生活废水的污染。

大气污染治理

80 年代，境内大气污染源主要是各类工业企业自备锅炉燃煤时排放的烟尘和二氧化硫。1986 年始，逐步对大气污染进行治理。1991 年，完成沙溪、双凤、直塘、牌楼、浮桥 5 个乡（镇）集镇所在地 1 蒸吨以上锅炉的烟尘治理。1992 年，完成城区的西门、梅园 2 个面积 0.9 平方千米的“烟尘、固定噪声源双控制”居民小区建

设,14 台锅炉全部配备除尘设施。1993 年,沙溪镇投资 66.42 万元开展集中供热,淘汰锅炉 4 台,减少新增锅炉 3 台。1995 年,完成市区 8.61 平方千米的烟控区建设,并通过苏州市验收。1997 年,完成市区太仓化建总厂搬迁改造工程,每年减少对市区排放工业粉尘 150 吨。1998 年,完成 17 个镇区和境内 204 国道两侧 3 千米范围内的烟尘控制区建设;新区实施集中供热,至 1999 年年末,投资 5000 万元,建成 8 千米供热主管道,12 千米支管道,接通 24 家使用蒸汽单位。至 2000 年年末,烟尘控制区内淘汰燃煤锅炉 28 台。2005 年,以协鑫电厂为热源,供热管网进一步延伸,92 家企业接通、使用蒸气,有效削减烟尘和二氧化硫的排放。烟尘控制区范围扩至 21.7 平方千米,覆盖整个城市建成区,大气环境质量达二类区二级标准。

噪声治理

1989 年 9 月 26 日起,太仓对噪声污染单位采取“隔、堵、搬”进行治理。1992 年,在城区建成 0.9 平方千米噪声源控制小区,对噪声源采取隔声措施,减少噪声扰民。1996 年,建成 1.81 平方千米噪声达标区,1997 年扩至 4.5 平方千米,覆盖市区的建成区。同时加强夜间施工的审批,有效控制市区噪声污染。1998 年,17 个乡镇镇区建成噪声达标区。2005 年,太仓市区噪声达标区范围 21.7 平方千米。

固体废物处置

1986 年,全县的生活垃圾采用简易集中堆放形式,无规范的生活垃圾填埋场。随着城市化进程的加快和集镇人口的增加,生活垃圾产生量迅速增大。1997 年,全市建成较规范的城镇生活垃圾填埋场 2 个。1999 年,苏州太仓建民化纤有限公司副产品 6000 吨芒硝被综合利用。2000 年,12 家进口废物利用单位通过审核,有效控制进口废物的利用处置。同年,太仓市柯林固废处置有限公司固体废物焚烧炉建成,处置全市工业企业产生的部分不可利用固体废物、危险废物、医疗废弃物。2001 年,建成年利用 3000 吨鸡粪的复合有机肥料加工厂,至 2003 年,年利用生鸡粪的加工能力达 1 万吨。2004 年,新建 1 家年利用 3 万吨畜禽粪便的有机肥厂,

进一步提高畜禽粪便的深度利用。2005 年，太仓市柯林固废处置有限公司处理固废能力达每年 6000 吨。同年，在双凤垃圾填埋场建设年焚烧能力 15 万吨的垃圾焚烧发电厂，全市生活垃圾得到有效的处置，减少生活垃圾对环境的污染。

四、环境监测

监测设备

1979 年 4 月 24 日，太仓县环境监测站成立，承担全县工业废水、废气、工业噪声等方面的监测工作。1986 年，有 ND2 型精密声级计、DDS-11A 型电导率仪、721 型分光光度计、53Wb 紫外分光光度计、TG328A 型分析天平各 1 台，能承担的监测项目较少。1990 年起，先后购置 7230 型分光光度计、TG328B 型分析天平、752C 型紫外可见分光光度计、F732-G 数字显示测汞仪、LRH-250A 型生化培养箱、YSI 型溶解氧自动测定仪、3500 系列原子吸收仪、OCMA-350 非分散红外测油仪、HP-6890 气相色谱仪、空气自动监测站等。至 2005 年年末，拥有各种仪器设备 72 台，形成对水和废水、空气与废气、土壤与底质、噪声、汽车尾气监测 5 个大类共 118 个项目的监测能力。

大气监测

1987 年起，对城区大气中的二氧化硫、氮氧化物、总悬浮颗粒物实施监测。设公园（清洁区）、监测站（混和区）、阀门厂（工业区）3 个测点，每年 4 期，每期 5 天采样监测。1999 年 8 月，购置 1 套空气自动监测站（监测站测点）。2000 年 8 月，购置 1 套空气自动监测站（中学站测点），由手工采样改为 24 小时连续自动采样，监测结果定时发布空气质量公报。

2005 年工厂烟尘监测

工业废水监测

1986年,对全县工业废水中的酸碱度pH、化学需氧量、铜、镍、六价铬、氰化物、氨氮、挥发酚、石油类等项目进行监测,全年获废水监测数据1254个。1997年,增加苯系物等项目监测,全年获废水监测数据2810个。2000年,全年获废水监测数据3950个。2005年,全年获废水监测数据6500个。

工业废气监测

工业废气主要监测二氧化硫、烟尘、林格曼黑度3个项目。1995年,境内建成8.61平方千米的烟尘控制区,对25台锅炉、窑炉进行烟尘排放浓度测试。2000年,对市区18台锅炉、窑炉进行烟尘排放浓度测试,工业锅炉、窑炉烟尘排放浓度达标率100%。2005年,烟控区面积扩至21.7平方千米,监测锅炉、窑炉36台,烟尘排放浓度的达标率100%。

地表水监测

1986年,在浏河塘、七浦塘、浪港、钱泾、吴塘、杨林塘、城区河道,共设置20个监测断面。监测频次分平水(5月)、丰水(8月)和枯水(12月)3期。1987年,监测频次改为水质普查,太仓控断面监测1年4次,省控断面监测1年6次。1996年,监测断面增至24个,省控断面监测每个水期2次,全年6次;太仓控断面监测每个水期1次,全年3次。分

2005年饮用水采样监测

析项目为电导率、溶解氧、高锰酸盐指数、五日生化需氧量、挥发酚、石油类、氨氮等19项。2000～2005年，分析项目为25项。

噪声监测

1986年，区域噪声网格按205×250米划分，设监测点38个，面积2.5平方千米，主要对厂界噪声、交通噪声、区域噪声等方面进行监测。1996年，建成1.81平方千米噪声达标区，在网格区内设102个监测点，城区交通干线设12个交通噪声监测点，共获噪声监测数据245个。1997年，噪声达标区扩至4.5平方千米。1999年，网格数增至107个，共获噪声监测数据387个。2000年，噪声达标区扩至6.63平方千米。2004年，噪声达标区21平方千米，设监测点523个，共获噪声监测数据1646个。2005年，全市噪声达标区均通过上级有关部门的复查验收。

五、环境管理

宣传教育

1986年始，每年围绕本年度环境保护重点工作，大力宣传环境保护法律法规，围绕“六·五”世界环境日、科普宣传周等主题，开展市（县）长讲话、广场咨询、征文摄影、图片展览、书法比赛、演讲比赛、文艺汇演、执法检查等系列宣传教育活动，在电视台播放公益广告、《太仓日报》刊出宣传专版、广播电台播放专题新闻稿等，在全市（县）营造浓厚的宣传氛围，提高群众的环境保护意识。同时，组织党政领导、企业法人、在职职工、学校教师、镇村干部参加环保知识、生态理念和法律法规培训。每年组织企业环境保护治理设备操作人员上岗培训。2000年起，开展环境保护“四进”工作，环境保护进企业，创环境友好企业；进乡镇，创环境优美乡镇、生态村；进社区，创绿色社区；进学校，创绿色学校。2002年，开始环境行为信息公开活动，根据企业1年的环境行为将其评定为绿色、蓝色、黄色、红色、黑色5个等次。同年，参评企业48家，并将结果公示在《太仓日报》及电子显示屏上，接受群

2005年世界环境日宣传活动

众监督。同时,积极推进全市各镇政府环境行为信息公开,鼓励和督促政府依法行政,企业守法经营。

至2005年,累计发放各类宣传资料10万余份,出宣传画廊、橱窗200多期,黑板报550期,横幅标语近1000条,举办各类培训班100余期,参训人员1万余人次,200人次分别获得治理设施操作工初级和中级证书。全市环境信息公开参评企业202家,创环境友好企业15家,创环境优美乡镇7个,创生态村38个,创绿色社区59个,创绿色学校56所。环境保护理念渗透到社会各个阶层。

排污费征收

1985年,太仓县环境保护监测站配备3名排污收费人员,对相关单位按照其排放污染物的数量、浓度和总量收取排污费,纳入财政预算,作为环境保护补助资金。1986年,共征收排污费146万元。1992年,排污资金管理站成立,此后排污费每年以约10%的增幅递增。1998年,太仓市环境监理大队成立,负责全市排污费征收工作。2000年,征收排污费563万元。2001年,征收排污费790万元。2005年,征收排污费1838万元。排污费实施收支两条线管理,全部纳入财政预算。

国土资源

卷 四

GUO TU ZI YUAN

1987 ~ 2005 年，太仓市（县）土地管理部门依法进行城乡土地统一管理，制定土地利用规划，加强耕地保护，管理建设用地，推进土地使用制度改革和保障土地使用者合法权益。1989 ~ 2005 年，全市（县）完成土地复垦总面积 9066.93 公顷。至 2005 年年末，全市内陆土地面积 64901.65 公顷；土地资源进入市场化配置，土地资产价值进一步显化；共发放商品房国有土地使用证 18637 本，二手房交易变更登记发证 10502 本。

太仓紧邻长江，过境水量丰富。2005 年年末，境内水资源蕴藏总量为 45354.6 万立方米；境内河流水质较 80 年代变差。

一、土地资源与利用

1986 年 6 月，设太仓县土地管理办公室。1987 年 10 月，太仓县土地管理局成立。开始依法进行城乡土地统一管理，制定土地利用规划，加强耕地保护，管理建设用地，推进土地使用制度改革和保障土地使用者合法权益。1989 年，县、镇、村三级土地执法监察网络建立。同年，全县国有土地实施有偿划拨。1991 年，国有土地实施有偿、有限期、有流动的协议出让供地。此后进行乡镇和市级土地利用总体规划的编制，划定基本农田保护区和建设用地预留区。1994 年，全市开展土地利用现状调查，查清全市内陆面积 64901.65 公顷，其中耕地面积 38340.3 公顷。1997 年 2 月，市土地管理局更名为市国土管理局。1998 年，全市镇区地籍调查工作结束，统一颁发国家监制的土地证。此后及时对商品房出售和二手房交易开展土地过户登记，发放土地证书。2000 年始，全市经营性用地停止协议出让，实施公开招标、拍卖、挂牌出让供地。2001 年，集体建设用地参照国有土地出让办法，采取流转方式转让土地使用权。同年 10 月，市国土管理局更名为市国土资源局。2003 年年末，市国土资源局实行垂直管理。至 2005 年，全市投入土地复垦整理配套资金 8094.59 万元，复垦整理土地 9066.93 公顷。市国土资源局多次被江苏省人事厅、省国土资源厅、省精神文明指导委员会等单位授予省先进集体、先进行业等荣誉称号。

调查测定

1982年,土地调查测定全县总面积815.14平方千米,其中内陆面积644.97平方千米(含耕地面积44796.3公顷,占内陆面积69.45%),长江水域面积170.17平方千米。

1994年,开展土地利用现状调查,查清全市总面积822.91平方千米,比1982年多7.77平方千米,其中,内陆面积649.0165平方千米,多4.05平方千米;长江水域面积173.89平方千米,多3.72平方千米。内陆土地按利用结构分为:农用地45627.13公顷,建设用地12559.66公顷,未利用地6714.86公顷。

1994年太仓市土地利用结构表

表26

分类		面积(公顷)	占总面积(%)
农用地	小计	45627.13	70.30
	耕地	38340.30	59.07
	园地	717.38	1.11
	林地	390.23	0.60
	牧草地	0.49	0
	其他农用地	6178.73	9.52
建设用地	小计	12559.66	19.35
	居民点及工矿用地	11568.61	17.82
	交通用地	759.53	1.17
	水利设施用地	231.52	0.36
未利用地	小计	6714.86	10.35
	未利用土地	28.81	0.04
	其他土地(水域)	6686.05	10.30
内陆总面积		64901.65	100.00

2005年年末,全市内陆土地面积64901.65公顷,土地利用结构分为:农用

地 42549.24 公顷，占 65.56%；建设用地 15843.41 公顷，占 24.41%；未利用土地 6509 公顷，占 10.03%。

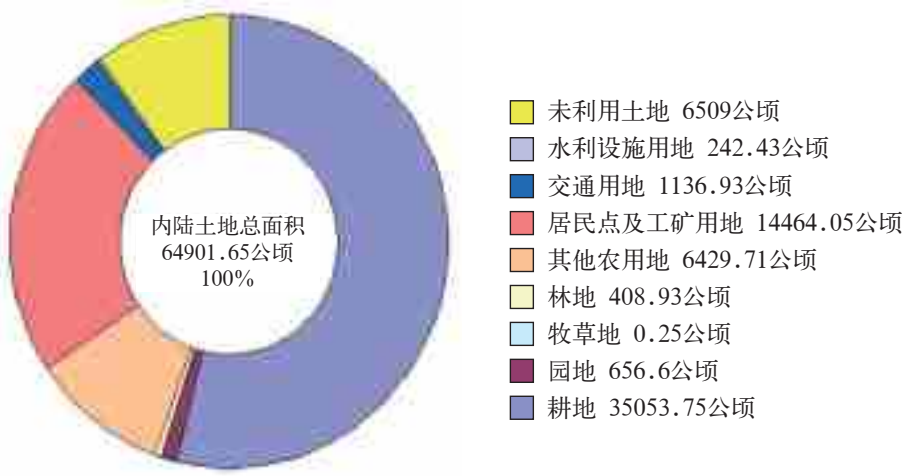


图 7　2005 年太仓市土地利用结构图

现状变更

1994 年，太仓市建立土地利用现状变更调查制度。各乡镇建立土地统计台账、统计簿、变更表，配 1 名专职土地管理员，及时记载新增建设用地占用耕地、土地复垦开发与土地整理新增耕地的位置、面积及各地类变化数据，每年 10 月 31 日前，上报市国土资源局汇总。至 2005 年年末，土地利用变更调查显示，农用地比 1994 年减少 3077.89 公顷，建设用地增加 3283.75 公顷，未利用地减少 205.86 公顷。

1994 ～ 2005 年太仓市土地利用现状农用地变更情况表

表 27　　单位：公顷

年份	农用地					
	小计	耕地	园地	林地	牧草地	其他农用地
1994	45627.13	38340.30	717.38	390.23	0.49	6178.73
1995	45591.15	38216.97	714.77	389.91	0.49	6269.01
1996	45436.79	38133.15	713.01	389.62	0.49	6200.52
1997	45150.78	37881.56	707.68	398.52	0	6163.02

续表 27

年份	农用地					
	小计	耕地	园地	林地	牧草地	其他农用地
1998	44596.90	37378.83	700.45	394.95	0	6122.67
1999	44465.41	37034.61	686.40	394.67	0	6349.73
2000	44369.02	37190.39	689.11	416.81	0	6072.71
2001	44225.54	37053.43	688.83	416.68	0.25	6066.35
2002	44178.88	37031.25	685.58	415.89	0.25	6045.91
2003	43658.50	36557.74	670.97	413.02	0.25	6016.52
2004	43063.42	36001.79	666.91	410.93	0.25	5983.54
2005	42549.24	35053.75	656.60	408.93	0.25	6429.71

注：土地利用现状分类按国土资源部 2002 年制定《〈全国土地分类〉(过渡期间适用)实施方案》要求汇总

1994 ～ 2005 年太仓市土地利用现状建设用地、未利用地变更情况表

表 28　　单位：公顷

年份	建设用地				未利用地		
	小计	居民点及工矿用地	交通用地	水利设施用地	小计	未利用土地	其他土地
1994	12559.66	11568.61	759.53	231.52	6714.86	28.81	6686.05
1995	12602.85	11615.04	756.82	230.99	6707.65	25.36	6682.29
1996	12757.77	11672.52	854.26	230.99	6707.09	25.36	6681.73
1997	13084.10	11983.73	870.71	229.66	6666.77	21.98	6644.79
1998	13667.88	12340.13	1086.76	240.99	6636.87	21.98	6614.89
1999	13813.74	12475.29	1094.86	243.59	6622.50	20.75	6601.75
2000	13920.27	12554.77	1121.91	243.59	6612.36	20.56	6591.80
2001	14070.51	12689.69	1137.23	243.59	6605.60	19.03	6586.57
2002	14127.21	12748.68	1134.97	243.56	6595.56	19.03	6576.53
2003	14680.55	13298.15	1138.84	243.56	6562.60	19.03	6543.57
2004	15329.22	13947.25	1138.84	243.13	6509.01	18.96	6490.05
2005	15843.41	14464.05	1136.93	242.43	6509.00	18.95	6490.05

注：土地利用现状分类按国土资源部 2002 年制定《〈全国土地分类〉(过渡期间适用)实施方案》要求汇总

二、土地管理

总体规划

土地利用总体规划的编制，按照上一级政府确定的建设用地总量和耕地保有量控制指标，本级政府依据国民经济和社会发展规划、国土整治和资源环境保护的要求，土地供给能力和各项建设对土地的要求，把各项控制指标分解到乡镇，再由乡镇规划落实到地块。市级规划宏观控制用地，乡镇规划审批用地依据。

【乡镇规划】

1991 年 3 月，编制 1991 ～ 2000 年乡镇土地利用总体规划，规划以划定基本农田保护区为主。按照苏州市政府下达的规划控制指标：基本农田保护区 34666.67 公顷，建设用地预留区 1486.67 公顷。全县 24 个乡（镇）划定一级基本农田保护区 3472 块，面积 34700 公顷，保护率 88.16%；二级农田保护区 1910 块，面积 2789.47 公顷；三级建设用地预留区 4779 块，面积 1489 公顷。各乡镇绘制土地利用总体规划图，标清基本农田、建设预留地位置和面积。

1995 年，基本农田保护区指标调整为 30666.67 公顷，建设用地预留区（1994 ～ 2000 年）调整为 4213.33 公顷。次年，建设用地预留区指标又调整为 1600 公顷。各乡镇按照市分配指标再次定位、定界。

1998 年，在开展 1997 ～ 2010 年市级土地利用总体规划编制的同时，乡镇规划进行修编。规划期限与市级规划一致。控制指标安排上，除建设占用耕地、基本农田指标保持不变外，增加了土地置换、补充耕地、净增耕地指标。修编规划重点落实耕地占补平衡。各乡镇按照市政府下达的建设占用耕地、存量土地置换、补充耕地、基本农田等指标规划，落实到具体地块。同年 8 月完成。2000 年 4 月，获江苏省国土管理局批准实施。

2002 年 3 月，调整完善规划。建设用地总量由 1998 年规划的 3160 公顷，调整到 6200.33 公顷，增加 3040.33 公顷。调整耕地占补平衡方案，规划落实新增耕地 6228.52 公顷，其中土地复垦 523.64 公顷，土地整理 1983.49 公顷，建设用地复垦 2973.26 公顷，滩涂开发 748.13 公顷。比规划期建设占用耕地净增 28.19 公顷。基

本农田保护区 30666.67 公顷不变,仅调整 733.33 公顷保护区位置。同年 11 月完成。

2002 年乡镇规划调整完善后到规划期末,全市内陆总面积 64901.65 公顷。农业用地区面积 42764.72 公顷,其中耕地 37414.82 公顷,园林地 1103.13 公顷,其他农用地 4246.77 公顷;建设用地区面积 15992.86 公顷,其中居民点及工矿用地 13804.07 公顷,交通用地 1912.05 公顷,水利设施用地 276.74 公顷;未利用地区面积 6144.07 公顷。

【市级规划】

1998 年,编制 1997 ～ 2010 年市级土地利用总体规划。确定规划目标:耕地保持动态平衡,规划期末全市耕地总量 38159.82 公顷,比规划基期年(1996 年)净增 26.67 公顷;基本农田保护区面积 30666.67 公顷,保护率 80.36%;建设用地预留区总量 3160 公顷,其中占用耕地 1586.67 公顷,土地置换 1573.33 公顷;土地整理及复垦开发增加耕地 1613.33 公顷,其中土地整理增加 1117.33 公顷,复垦开发增加 496 公顷。围绕目标,分别开展土地利用现状分析、耕地总量动态平衡研究、非农业建设用地需求量预测、土地整理、复垦开发规划、基本农田保护区规划等专题研究和专项规划编制。本轮规划中,对沿江高速公路,常溧公路(沪浮璜公路)、镇南铁路、长江防洪堤及华能电厂一、二期工程等省以上重点项目用地都作了具体落实。规划成果:图件采用江苏省“土地利用与规划管理信息系统”软件制作;规划数据存储土地利用数据库。同年 10 月完成,12 月 11 日通过苏州市评审,2000 年 1 月,获江苏省政府批准。

1998 年至规划期末全市内陆面积 64901.65 公顷。农业用地区面积 44392.69 公顷,其中耕地 38159.82 公顷(含基本农田保护区面积 30666.67 公顷),园林地 1077.37 公顷,其他农用地 5155.5 公顷;建设用地区面积 13827.23 公顷,其中居民点及工矿用地 12022.98 公顷,交通用地 1502.26 公顷,水利设施用地 301.99 公顷;未利用地区面积 6681.73 公顷。

耕地保护

【基本农田保护】

1991 年,划定基本农田保护区 3472 块,面积 34700 公顷。1995 年,调整规划,

划定基本农田保护区 1995 块，面积 30667 公顷。同时，建立基本农田保护规划审核制度。建设单位或个人在申请用地前，进行规划审核，符合土地利用总体规划，才能办理建设用地报批手续。建设项目确需占用基本农田的，必须调整基本农田规划位置，调整方案报市政府批准。符合规划后，再按照“占一补一”“先补后占”的原则，办理补充耕地手续。1999 年，占用基本农田必须报国务院批准，调整基本农田规划位置的，调整方案报省国土局批准后，占用单位再按照“占多少，垦多少”原则，负责开垦与所占用耕地数量和质量相当的耕地。对划定的基本农田落实相应的保护措施。市、镇、村逐级签订责任书，落实责任人，明确保护范围、职责。主要交通路口设立保护标志牌（标有田块面积、四至、责任人及“七个不准”），接受群众和社会各界监督。明确由市土地管理部门和农业部门分别负责基本农田的数量和质量保护，纳入市政府目标责任制考核内容。

2003 年，全市规范基本农田保护台账制度，每年开展一次基本农田执法检查。对划入基本农田保护区内的地块，以土地详查图的地类、位置、面积，按村登记上册、上图，跟踪变化，确保长期稳定。2005 年，省国土资源厅同意核减基本农田保护面积 1666.67 公顷，调整后面积 29000 公顷，实际划定 587 块，面积 29000.04 公顷。

1991 ～ 2005 年太仓市（县）基本农田保护区划定情况表

表 29　　单位：公顷

<table>
<tr><th rowspan="2">乡镇（区）</th><th colspan="6">面积</th></tr>
<tr><th>1991年</th><th>1995年</th><th>1998年</th><th>2002年</th><th>2003年</th><th>2005年</th></tr>
<tr><td>合计</td><td>34700.00</td><td>30667.00</td><td>30666.67</td><td>30666.67</td><td>30666.67</td><td>29000.04</td></tr>
<tr><td>陆渡</td><td>1302.67</td><td>1176.60</td><td>1176.60</td><td>1109.93</td><td>1024.55</td><td>917.86</td></tr>
<tr><td>浮桥</td><td>2373.33</td><td>1942.53</td><td>1955.80</td><td>1489.14</td><td>1140.88</td><td rowspan="7">5830.40</td></tr>
<tr><td>浏家港</td><td>1578.80</td><td>796.87</td><td>796.87</td><td rowspan="2">2075.74</td><td rowspan="2">2074.59</td></tr>
<tr><td>牌楼</td><td>1284.27</td><td>1178.87</td><td>1212.20</td></tr>
<tr><td>金浪</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td rowspan="4">2625.27</td><td rowspan="4">2961.44</td></tr>
<tr><td>九曲</td><td>1072.67</td><td>978.33</td><td>958.27</td></tr>
<tr><td>时思</td><td>1162.47</td><td>885.20</td><td>885.20</td></tr>
<tr><td>老闸</td><td>1090.87</td><td>868.47</td><td>781.80</td></tr>
<tr><td>璜泾</td><td>1895.87</td><td>1654.87</td><td>1681.53</td><td rowspan="2">3124.67</td><td rowspan="2">2767.86</td><td rowspan="3">3894.52</td></tr>
<tr><td>王秀</td><td>1296.67</td><td>1163.13</td><td>1209.80</td></tr>
<tr><td>鹿河</td><td>1272.93</td><td>1258.13</td><td>1258.13</td><td>1291.46</td><td>1251.86</td></tr>
</table>

续表 29

乡镇（区）	面积					
	1991年	1995年	1998年	2002年	2003年	2005年
沙溪	2310.13	2129.20	2129.20	3558.27	3383.74	6643.19
直塘	1495.00	1402.40	1402.40			
岳王	1778.00	1750.93	1764.27	1797.60	1827.44	
归庄	1737.00	1597.07	1597.07	1630.40	1552.02	
双凤	1702.00	1536.47	1543.07	3283.40	3942.23	3816.76
新湖	1623.51	1567.00	1567.00			
城厢	—	632.00	754.53	3491.37	3459.33	3066.57
娄东	1496.87	—	—			
板桥	1505.07	1452.87	1386.13			
新毛	1346.67	1437.60	1450.93			
南郊	1888.00	1878.47	1898.47			
浏河	1968.00	1841.13	1841.13	3357.40	3626.83	3513.50
新塘	1519.20	1416.33	1416.27			
经济开发区	—	122.53	—	1832.02	1653.90	1317.24

【土地复垦整理】

1989 年起，开展可复垦土地资源调查，土地复垦以零星废弃地为主，查出可复垦土地 683.33 公顷，制定分年实施规划，按照“谁破坏、谁复垦”“谁复垦、谁使用”原则，每年下达复垦计划，乡镇立项落实任务，按期完成。并根据列项级别、复垦规模和质量，分别给予适当资金补助。至 1992 年，完成零星废弃地复垦项目 27 个，面积 378.38 公顷，国家投资 154 万元。

1993 年起，以低产田整理、整治为主。将划定的基本农田保护区内的低产田，通过水系改造、填塞浜塘、平整土地、格田成方，改造成田、林、路、渠、沟配套的稳产高产农田。至 2000 年，完成土地复垦整理 4907.7 公顷，其中零星废弃地复垦 659.74 公顷，高低田平整 735.04 公顷，低产田改造 634.47 公顷，建千亩以上稳产高产示范方 27 个，面积 2644.52 公顷。国家投资 1556.29 万元。

2001 年起，以大规模基本农田综合整治为主，建立耕地占补平衡项目库。把每年土地复垦整理中新增耕地数（须经省国土资源厅验收确认）储备起来，实施建设用地“占一补一”。同年，沙溪镇的万亩土地整理项目（面积 620.25 公顷），被列

入国土资源部项目。2004 年，城厢镇“太仓市土地整理项目”（面积 673.9 公顷）和沙溪镇“太仓市万亩土地开发项目”（面积 894.9 公顷），被列入国土资源部项目。至 2005 年，完成土地复垦整理项目 58 个，面积 3780.85 公顷，新增耕地入库面积 652.16 公顷，国家投资 6384.3 万元。

1989 ～ 2005 年，全市（县）完成土地复垦整理项目 256 个，总面积 9066.93 公顷，国家投资 8094.59 万元。

1989 ～ 2005 年太仓市（县）土地复垦整理统计表

表 30

年份	立项数（个）					土地复垦整理面积（公顷）	其中		国家投入资金（万元）				
	合计	部	省	苏州市	太仓市（县）		废弃地复垦面积（公顷）	占补平衡项目库面积（公顷）	合计	部	省	苏州市	太仓市（县）
1989	4	—	—	4	—	66.56	66.56	—	36.00	—	—	14	22.00
1990	5	—	1	1	3	95.37	95.37	—	42.00	—	5	17	20.00
1991	1	—	—	1	—	100.00	100.00	—	36.00	—	—	16	20.00
1992	17	—	1	—	16	116.45	116.45	—	40.00	—	8	10	22.00
1993	16	—	2	—	14	389.50	97.56	—	70.00	—	14	16	40.00
1994	20	—	—	2	18	286.02	75.74	—	76.00	—	—	18	58.00
1995	14	—	1	1	12	487.42	41.86	—	89.00	—	15	22	52.00
1996	12	—	—	3	9	515.84	93.59	—	161.87	—	—	60	101.87
1997	19	—	1	2	16	997.97	81.23	—	319.42	—	30	57	232.42
1998	26	—	—	3	23	1004.21	126.47	—	420.00	—	—	70	350.00
1999	29	—	—	2	27	566.14	79.83	—	245.00	—	—	45	200.00
2000	35	—	—	3	32	660.60	63.46	—	175.00	—	—	55	120.00
2001	14	1	1	2	10	902.02	—	115.67	1511.00	1271	40	50	150.00
2002	16	—	1	1	14	393.53	—	84.50	750.00	—	400	50	300.00
2003	11	—	—	3	8	741.21	—	98.64	394.00	—	—	55	339.00
2004	9	2	—	2	5	1684.66	—	299.12	3455.00	3045	—	60	350.00
2005	8	—	—	2	6	59.43	—	54.23	274.30	—	—	65	209.30
合计	256	3	8	32	213	9066.93	1038.12	652.16	8094.59	4316	512	680	2586.59

注：表中数据为历年批准文件汇总

建设用地管理

【用地审批】

征用土地 1986年,全县建设用地征(拨)用土地面积57.4公顷。1987年1月,按土地管理法规定,国家建设征用耕地0.2公顷以下、其他土地0.67公顷以下的,由县政府批准。建设单位凭项目批准文件向县土地管理部门申请用地计划指标,凭用地计划通知书到当地土地管理和规划部门选址定点,然后和被征地单位拟定征地方案和补偿、安置协议,报县级以上人民政府批准后,办理征地有关手续,划拨土地。至1998年,全市建设用地征(拨)用土地面积3432.97公顷,其中占用耕地2919.65公顷。

1986～1998年太仓市(县)征(拨)用土地统计表

表31 单位:公顷

年份	面积	其中耕地
1986	57.40	—
1987	103.91	86.57
1988	35.75	26.84
1989	33.18	29.92
1990	39.46	34.55
1991	161.76	153.83
1992	473.80	402.78
1993	215.90	172.95
1994	394.04	318.80
1995	307.81	273.58
1996	472.18	427.48
1997	389.32	340.79
1998	748.46	651.56
合计	3432.97	2919.65

注:统计数据摘自土地局统计年报

1999 年 1 月，按修订的“土地管理法”和《苏州市征用土地暂行办法》规定，建设用地实行统一征地。由市土地管理部门代表市政府，根据经济社会发展需要，按照土地利用总体规划和土地利用年度计划，统一拟订征地方案、统一报批、统一组织实施、统一负责补偿安置。征地方式采用分批次征地或按项目征地。建设占用土地涉及农用地的，办理农用地转用审批，同时办理征地审批，两项审批均报省政府批准。至 2005 年，全市分批次和项目征地面积 3634.26 公顷，其中占用耕地 2839.35 公顷。

1999 ～ 2005 年太仓市征用土地统计表

表 32

年份	批准征用							
	合计（公顷）	其中耕地（公顷）	分批次			项目		
			批次	面积（公顷）	其中耕地（公顷）	数量（个）	面积（公顷）	其中耕地（公顷）
1999	5.34	5.29	1	5.34	5.29	—	—	—
2000	95.75	85.41	9	76.24	68.97	4	19.51	16.44
2001	51.60	47.40	8	51.60	47.40	—	—	—
2002	425.41	359.73	23	243.47	196.12	1	181.94	163.61
2003	1956.13	1496.59	68	1956.13	1496.59	—	—	—
2004	723.79	552.68	14	469.95	347.14	2	253.84	205.54
2005	376.24	292.25	11	376.24	292.25	—	—	—
合计	3634.26	2839.35	134	3178.97	2453.76	7	455.29	385.59

注：分批次及项目征地面积均为省政府当年文件批准数

乡（镇）村集体建设使用土地　1986 年，全县乡（镇）村集体建设使用土地面积 2.8 公顷。1987 年 1 月，乡（镇）村办企业、公共设施、公益事业等乡（镇）村建设使用集体所有的土地，按“土地管理法”规定，参照国家建设征用土地审批权限、程序办理使用土地审批手续。1990 年，全县乡（镇）村集体建设使用土地面积 8.6 公顷，其中占用耕地 5.56 公顷。1996 年，全市乡（镇）村集体建设使用土地面积 6.41 公顷，其中占用耕地 4.66 公顷。至 1998 年，全市乡（镇）村集体建设使用土地 1146.22 公顷，其中占用耕地 934.6 公顷。

1986 ～ 1998 年太仓市(县)乡(镇)村集体建设使用土地统计表

表 33　　单位：公顷

年份	面积	其中耕地
1986	2.80	—
1987	910.38	822.45
1988	18.23	11.39
1989	7.04	5.23
1990	8.60	5.56
1991	26.06	19.04
1992	79.61	32.55
1993	22.23	5.93
1994	8.26	0.96
1995	10.96	2.01
1996	6.41	4.66
1997	17.15	12.94
1998	28.49	11.88
合计	1146.22	934.60

注：统计数据摘自土地局统计年报

1999 年，乡(镇)村集体建设使用土地，参照征用土地报批手续，上报省政府审批。至 2005 年，共批准使用土地面积 58.56 公顷，其中占用耕地 55.81 公顷。

1999 ～ 2005 年太仓市乡(镇)村集体建设使用土地统计表

表 34

年份	批准使用							
	合计(公顷)	其中耕地(公顷)	分批次			项目		
			数量(次)	面积(公顷)	其中耕地(公顷)	数量(个)	面积(公顷)	其中耕地(公顷)
1999	—	—	—	—	—	—	—	—
2000	12.65	12.13	2	6.80	6.28	1	5.85	5.85
2001	—	—	—	—	—	—	—	—
2002	27.17	25.79	4	27.17	25.79	—	—	—
2003	10.91	10.06	1	10.91	10.06	—	—	—

续表 34

年份	批准使用							
	合计（公顷）	其中耕地（公顷）	分批次			项目		
			数量（次）	面积（公顷）	其中耕地（公顷）	数量（个）	面积（公顷）	其中耕地（公顷）
2004	7.83	7.83	—	7.83	7.83	—	—	—
2005	—	—	—	—	—	—	—	—
合计	58.56	55.81	7	52.71	49.96	1	5.85	5.85

注：乡镇集体建设使用土地面积为省政府文件批准数

农民建房用地　1986 年，全县农民建房用地 62.53 公顷。1987 年，“土地管理法”颁布。针对农村宅基地界限不清，权属混淆，户均宅基地面积大的现状，1988 年 10 月，县政府规定，批准使用的农民宅基地只有使用权，没有所有权；每户农民只能有 1 处宅基地；以常住户口 4 人及村民小组人均占有耕地情况，确定用地标准。人均耕地 0.067 公顷以下的，每户宅基地 160 平方米，多 1 人，增加 15 平方米，最多不超过 200 平方米；人均耕地 0.067 公顷以上的，每户宅基地 180 平方米，多 1 人，增加 20 平方米，最多不超过 220 平方米；市镇队宅基地每户不超过 160 平方米；住房建筑占地控制在宅基地面积 65% ～ 70%；需要翻、建房的农户均由户主申请，村委会审核，原宅翻建、扩宅翻建需占用集体土地 0.007 公顷以下的，由乡镇政府批准；扩宅 0.007 公顷以上的，由乡镇政府审核，报县政府批准；出宅建造的，一律由县政府批准。同年，全县农民建房用地 32.93 公顷，其中占用耕地 30.53 公顷。

1996 年 8 月，市政府调整农民建房用地标准。镇村人均耕地 0.067 公顷以上的，每户宅基地 180 平方米，常住人口超过 4 人的，最多不超过 200 平方米；城镇郊区和人均耕地 0.067 公顷以下、0.033 公顷以上的，每户宅基地 150 平方米，最多不超过 160 平方米；人均耕地低于 0.033 公顷的，暂不具备建造农民公寓房条件，需要安排宅基地的，由镇政府审核，报市土地管理部门审批。住房和附属建筑物占地面积不得超过宅基地的 65%。老宅翻建由镇政府审批，老宅扩建和出宅新建需使用耕地或国有土地的，一律由镇政府审核，报市土地管理部门批准。同年，全市农民建房用地 7.86 公顷，其中占用耕地 1.8 公顷。1998 年起，农村宅基地实施存量土地置换政策，经批准的农户出宅建房，必须将原宅基复垦为耕地，再安置

新宅。同年,全市农民建房用地 11.72 公顷,未占用耕地。

2002 年 4 月,市政府 43 号文件规定,农村建房用地需要使用耕地或农用地的,必须先办理农用地转用手续,或通过宅基地复垦置换解决。建房户无论出宅、翻建、扩宅,均需报市国土资源局批准。同年,全市农民建房用地 9.27 公顷,未占用耕地。2005 年,全市农民建房用地 5.54 公顷,未占用耕地。1986 ～ 2005 年,全市(县)农民建房累计用地 427.75 公顷,其中占用耕地 152.05 公顷。

1986 ～ 2005 年太仓市(县)农民建房(使用)土地统计表

表 35　　单位:公顷

年份	面积	其中耕地	年份	面积	其中耕地
1986	62.53	—	1996	7.86	1.80
1987	52.19	42.53	1997	14.93	0.40
1988	32.93	30.53	1998	11.72	0
1989	22.06	19.53	1999	19.95	0
1990	27.69	22.39	2000	11.86	0
1991	16.96	14.88	2001	13.53	0
1992	17.43	15.19	2002	9.27	0
1993	15.13	1.33	2003	49.06	0
1994	13.20	2.32	2004	9.14	0
1995	14.77	1.15	2005	5.54	0

注:统计数据摘自土地局统计年报

临时用地　1990 年 3 月,县政府规定,单位或个人因建设项目施工需要临时使用国有土地,须持有关批准文件,向土地管理部门办理临时用地报批手续。临时用地在 20 平方米以下(含 20 平方米),由乡(镇)政府审核批准,报县土地管理部门备案。超过 20 平方米,由县土地管理部门审批,使用期限一般为 1 年,最长为 2 年。

1996 年,市政府明确农村养殖、种植户等需要的生产性房屋用地,20 平方米以内(2002 年 4 月调整为 30 平方米以内),可办理临时用地手续,规模经营种粮大户需要的生产性用房,凭承包合同书等文件,按农业建设用地有关规定,向市土地

管理部门办理报批手续。

2001 年，市政府办公室规定，城市规划区内一般不允许搭建临时建筑。城乡结合部确因建设和发展经济需要搭建临时建筑，按城市规划和土地管理有关规定办理报批手续。

存量土地置换　1998 年，全市试行存量土地置换（通过存量非农业建设用地复垦，恢复成耕地，与新增建设用地占用耕地实行等面积交换）政策。非农业建设用地恢复耕地后，2 公顷以下由市国土部门组织验收，核定土地置换指标，市政府审批。建设项目需要使用土地置换指标时，由用地单位向乡镇土地管理部门提出置换用地申请，1.33 公顷以下的，市政府审批。至 2005 年年末，全市实施土地置换用地 6084 宗，面积 679.97 公顷。

【征地补偿安置】

征地补偿　1984 年，征地补偿按县政府 14 号文件规定，土地补偿、青苗补偿标准均按种植作物的类别确定。1989 年 12 月起，土地补偿标准根据征用土地的地类，按耕地前 3 年平均产值的相应倍数确定，征用耕地的补偿费按 6 倍计算，2001 年 1 月起调整为 10 倍。耕地前 3 年平均年产值，随农作物产值变化进行调整。1990 年 3 月，县物价局核定每亩 580 元；1995 年 12 月，调整为 1150 元；2000 年 7 月，苏州市政府统一为 1200 元；2004 年 5 月，调整为 1800 元。青苗补偿标准，1 年生作物每亩按耕地前 3 年平均年产值计算，1 年生两季作物以上的，按耕地前 3 年平均年产值的 50% 计算。（见表 36）

征地安置　1984 年，征地安置按县政府 14 号文件规定，征地单位支付被征地单位安置补助费，标准按所征耕地的类别和被征地单位人均耕地数确定。同时，安置被征地单位的剩余劳动力。人均耕地在 0.033 公顷以下，男 16 ～ 50 周岁，女 16 ～ 40 周岁人员由用地单位或县劳动部门负责安置。耕地全部被征用或征地后人均耕地在 0.007 公顷以下的生产队（组），撤销建制，户口转为城镇户口，人员安置分男 16 ～ 50 周岁、女 16 ～ 40 周岁，男 51 ～ 60 周岁、女 41 ～ 60 周岁，男 60 周岁以上、女 50 周岁以上及残疾人员 3 个年龄段，采取剩余劳力安置、临时工、保养等办法安置。

1989 年 12 月至 2000 年 12 月，征地安置按照苏州市政府《关于国家建设征用土地补偿、安置等问题的调整意见》执行。调整安置补助费计算方法和补助标

准,每征用0.067公顷耕地按两个多余农业人口计算,每人安置补助费为耕地前3年平均年产值的3倍,每个剩余劳动力安置补助费,按耕地前3年平均年产值的6倍计算。两项安置补助费不能重复计收。剩余劳动力安置对象年龄调整为男16～45周岁,女16～35周岁,安置的剩余劳动力实行劳动合同制,签订长期合同。1998年起,剩余劳动力,征地单位能安置的由征地单位安置,难安置的,采用政府协调安置、劳动力市场招聘和自谋职业相结合的办法安置。人均耕地在0.007公顷以下的生产队(组)撤销建制后,对男46周岁、女36周岁以上未到退养年龄的人员,除安置就业外,用地单位还需支付剩余劳动力安置补助费和一次性补交养老保险金或老年人保养补助金。对男60周岁、女50周岁以上及残疾人员发放保养补助金。1998年后,人均耕地在0.033公顷以下的组(包括未达撤组条件的),市政府也实行养老保险金办法,凡男45周岁、女35周岁以上及16周岁以上残疾人员,用地单位交纳每人2万元养老保险金投保,按月到保险机构领取保险补助金或养老保险金。(见表37)

2001年1月至2004年4月,按照《苏州市征用土地暂行办法》规定,实行货币安置。凡征用耕地的都要安置农业人口,支付安置补助费。补助费按耕地前3年平均年产值的6～15倍计算(7200～18000元),分16周岁以下,男16～45周岁、女16～35周岁,男46周岁以上、女36周岁以上及残疾人员3个年龄段,确定被抚养人、剩余劳动力、保养人员等3种对象,分别采取货币补偿、货币安置和投保(发放保养金)等3种安置方式。符合撤组条件的,也采用该办法安置。

2004年5月以后,实施“土地换保障”办法安置。市政府制定并下发《太仓市征地补偿和被征地农民基本生活保障实施办法》,对被征地农民的安置补偿作出规定,征用耕地的安置补偿费按照需要安置的被征地农民人数计算,16周岁以下每人6000元,16周岁以上每人2万元,由土地行政主管部门负责收取。市政府用收取的土地补偿费的70%和全部安置补偿费,建立被征地农民基本生活保障基金。被征地农民分16周岁以下,男16～45周岁、女16～35周岁,男46～59周岁、女36～49周岁,男60周岁以上、女50周岁以上4个年龄段安置,除16周岁以下人员一次性计发生活补助费外,其余3个年龄段为基本生活保障人员,实施置换社会保障,并分别发放失业补助金、生活补助费和养老金。(见表38)

1984 ～ 2005 年太仓市（县）土地征用补偿办法一览表

表 36

执行时间	依据（文号）	前三年耕地年均产值元/亩	土地补偿										青苗补偿（元/亩）		
			耕地		鱼塘、果园、竹园、林地		滩涂、水塘、苇塘、水面、有效益非耕地		宅基地、乡村道路可复耕非耕地		无收益水面滩涂、非耕地		一年生作物	一年两季作物以上	多年生林木、果园、树、鱼塘等
			类别及年均产值倍数	元/亩	年均产值倍数	元/亩	年均产值倍数	元/亩	年均产值倍数	元/亩	年均产值倍数	元/亩			
1984—02～1989—11	太政发〔1984〕14号	—	粮田	1200	果园、多年生经济作物	参照耕地	—	360	—	—	—	不予补偿	粮田、旱田150	—	合理补偿
			旱田	1000	人工放养鱼塘	150～250							棉花田160	—	
			棉花田	1400	人工精养鱼塘	500									
			水旱田	1300									蔬菜田200	—	
			蔬菜田	2000											
1989—12～1995—12	苏府〔1989〕79号 太地〔1990〕6号	580	6	3480	5	2900	3	1740	3	1740	—	同上	580	290	协商补偿或按当年实际损失补偿

续表 36

执行时间	依据（文号）	前三年耕地年均产值元/亩	土地补偿										青苗补偿（元/亩）		
			耕地		鱼塘、果园、竹园、林地		滩涂、水塘、苇塘、水面、有效益非耕地		宅基地、乡村道路可复耕非耕地		无收益水面滩涂、非耕地		一年生作物	一年两季作物以上	多年生林木、果园、树、鱼塘等
			类别及年均产值倍数	元/亩	年均产值倍数	元/亩	年均产值倍数	元/亩	年均产值倍数	元/亩	年均产值倍数	元/亩			
1996-01～2000-12	苏府〔1989〕79号 太价管〔1995〕75号	1150	6	6900	5	5750	3	3450	3	3450	—	同上	1150	575	同上
2001-01～2004-04	苏府〔2000〕41号	1200	10	12000	5	6000	3	3600	5	6000	3	3600	1200	600	同上
					果园10	12000									
2004-05～2005	太政发〔2004〕36号	1800	10	18000	精养鱼塘10～12	18000～21600	养殖水面4～8	7200～14400	非农业建设用地6～10	10800～18000	未利用地3～5	5400～9000	1800	900	同上
					果园、经济林地8～12	14400～21600	其他农用地6～10	10800～18000							

1984 ～ 2000 年太仓市（县）土地征用安置办法一览表

表 37

执行时间	依据（文号）	安置补助费						剩余劳动力安置（人均耕地＜0.033公顷）		撤队（组）安置（人均耕地＜0.007公顷）		养老保险（人均耕地＜0.033公顷）	
		人均耕地分级计算		多余农业人口		剩余劳动力		办法	安置费	年龄段	安置办法	年龄段	安置办法
		类别	元/亩	计算方法	元/人	计算方法	元/亩						
1984—02～1989—11	太政发〔1984〕14号	粮田	480～2400	—	—	征用耕地数÷征地前被征地单位人均劳力占有耕地数	—	男16～50周岁、女16～40周岁征地单位主管部门或劳动部门安置	—	男16～50周岁女16～40周岁	按剩余劳动力安置办法安置	—	—
		旱田	400～2000							男51～60周岁女41～60周岁	安排临时工，到保养年龄按有关规定安置		
		菜田	800～4000							男60周岁以上女50周岁以上及残疾人员	予以保养保养金3600元/人		
		棉田	560～2800										
1989—12～1998—02	苏府〔1989〕79号	—	—	2人/亩耕地	1740（1996年1月后为3450）	同上	3480（1996年1月后为5000）	男16～50周岁、女16～40周岁用地单位或劳动部门安置，实行劳动合同制	用地单位自行安置的免交剩余劳动力安置费	男16～45周岁女16～35周岁	按剩余劳动力安置办法安置	—	—
				两项补助费不能重复计收						男46～50周岁女36～40周岁	实行劳动合同制		
										男51～60周岁女41～50周岁	安排临时工到退休年龄退养		
										男60周岁以上女50周岁以上及残疾人员	保养补助金9600元/人		

续表 37

执行时间	依据（文号）	安置补助费						剩余劳动力安置（人均耕地＜0.033公顷）		撤队（组）安置（人均耕地＜0.007公顷）		养老保险（人均耕地＜0.033公顷）	
		人均耕地分级计算		多余农业人口		剩余劳动力		办法	安置费	年龄段	安置办法	年龄段	安置办法
		类别	元/亩	计算方法	元/人	计算方法	元/亩						
1998—03～2000—12	太政发〔1998〕10号	—	—	—	—	同上	8000	男16～45周岁、女16～35周岁		—	—	预缴征土养老保险金2万元/人投保	
								征地单位接收签5年以上合同	支付接收单位6500元/人	—	—	男45～60周岁、女35～50周岁、16周岁以上及残疾	领取保险补助金120元/人·月
								自谋职业	一次性发给8000元/人				
								待业	两年内发放生活补助金80～100元/人·月，两年后一次性发给7000元/人			男60周岁以上、女50周岁以上	领取养老金120元/人·月医疗费报销不超过3000元/人·年

2001 ～ 2005 年太仓市土地征用安置办法一览表

表 38

执行时间	依据（文号）	安置补助费				安置办法			附注	
		需要安置农业人口		被征地农民		年龄段	安置对象	安置方法	安置费	—
		计算方法	元／人	计算方法	元／人					
2001—01 ～ 2004—04	苏府〔2000〕41 号	征用耕地数 ÷ 征地前被征单位在册人均耕地数	7200 ～ 18000	—	—	16 周岁以下	被抚养人	—	5000 元／人	—
						女 16 ～ 35 周岁 男 16 ～ 45 周岁	剩余劳动力	货币安置	1 万元／人	其中女 30 ～ 35 周岁，男 40 ～ 45 周岁，实行医疗保险投保到 60 周岁
						女 36 周岁以上 男 46 周岁以上及残疾人员	保养人员	每人不超过 3 万元实行投保	领取保养金 160 元／人·月，给予约定医疗保险费用	保养后，不再支付安置补助费
2004—05 ～ 2005	太政发〔2004〕36 号	—	—	征用耕地数 ÷ 征地前被征集体经济组织人均占有耕地数	16 周岁以下每人 6000 元，16 周岁以上每人 2 万元	16 周岁以下	—	一次性计发生活补助费	6000 元／人	不纳入基本生活保障范围
						女 16 ～ 35 周岁 男 16 ～ 45 周岁	—	养老保险置换，到退休年龄按城镇职工养老保险规定享受相关待遇	领取失业补助费 175 元／月，期限 2 年	—
						女 36 ～ 49 周岁 男 46 ～ 59 周岁	—	置换养老保险 置换医疗保险 到退休年龄按城镇职工养老保险规定享受相关待遇	从征地当日起至退休年龄领取生活补助费 175 元／月	实行基本医疗保障
						女 50 周岁以上 男 60 周岁以上	—	按城镇职工养老保险规定计发养老金	—	

【建设用地清理】

非农业用地清理 1986～1987年,对“土地管理法”颁布前国家建设征用土地和乡、镇、村企事业单位建设使用土地情况开展清查。查处全县违法用地单位1650家,面积925.23公顷。其中全民、大集体企事业单位156家,面积37.09公顷;乡、镇、村企事业单位1494家,面积888.14公顷。按规定补办用地手续,全民、大集体单位补办征(拨)用地面积51.77公顷,乡镇集体建设用地补办使用土地面积873.46公顷。

1992年2月,全县清理临时用地1208宗,面积9.38公顷,未办手续的限期申报,使临时用地纳入依法管理。1997年4月,清查非农业建设用地。经查从1991年至1997年4月10日,全市(县)各类非农业建设用地6963宗,面积2742.4公顷。其中未批用地187宗,面积117.96公顷(含耕地105.44公顷)。按规定补办用地手续181宗,面积117.2公顷。拆除公路两侧违法用地的临时建筑和路边店,退耕还田9.45公顷。

土地市场清理整顿 1996年,清理整顿土地市场。至年末,全市清出原行政划拨国有土地使用权改变用途0.53公顷、出租2.98公顷、临时经营性用地0.24公顷;集体土地使用权改变用途3.13公顷、出租5.61公顷、临时经营性用地6.98公顷。上述用地,均按规定实施有偿使用。同时对27宗国有土地,面积16.58公顷,按照城市房地产法规定,补办出让手续。

1998年8月,开展清理非法转让土地的工作。至年末,全市清出历年非法转让土地211宗,面积27.72公顷;擅自改变用途84宗,面积12.75公顷;擅自出租221宗,面积55.22公顷;擅自作价入股13宗,面积26.35公顷;未办理登记的抵押土地17宗,面积11.77公顷;其他非法转让土地84宗,面积40.75公顷。合计清理非法交易土地630宗,面积174.56公顷,按省政府有关政策进行处理。其中补办土地出让332宗,面积53.39公顷;补办土地租赁221宗,面积55.22公顷。

2001年8月,专项治理土地批租,经查1999年1月1日至2001年6月30日,全市共出让国有土地使用权551宗,面积319.53公顷,其中协议出让533宗,面积318.87公顷;招标拍卖18宗,面积0.66公顷,均未发现问题。同时对以往遗留问题进行整改,补办土地出让38宗,面积10.72公顷。

2003年7月,清理经营性用地。经查2001年7月至2003年6月,全市经营性用地实施招标、拍卖、挂牌出让供地42宗,面积182.66公顷,未发现违规操作。

同期，对原行政划拨经营性用地进行清理，在符合城市规划和土地利用总体规划前提下，补办土地出让 362 宗，面积 168.2 公顷。

2004 年，治理整顿土地市场。经查 2001 ～ 2003 年，全市招标、拍卖、挂牌公开出让土地 60 宗，面积 351.32 公顷，出让金 183059 万元，未发现违规操作；2002 ～ 2003 年，新批项目用地 2341.2 公顷，未发现超规划、超计划、越权审批等现象，对少量边批边用单位，立即停建，限期整改；1999 ～ 2003 年年末，征地补偿安置费 98512.17 万元，实际到位 94760.84 万元，到位率 96.19%。

土地使用制度

1988 年前，建设用地单位或个人征、使用土地都是采取无偿、无限期、无流动（不得转让、出租、抵押）的行政划拨供地方式取得土地使用权。1989 年起实施土地使用制度改革，当年国有土地使用权实施有偿划拨。1991 年，实施有偿协议出让。1994 年，对原行政划拨经营性用地实施补办出让。1996 年，对原行政划拨土地出租、改变用途、临时经营性用地实施有偿使用。2000 年，对经营性用地停止协议出让，实施公开招标、拍卖、挂牌出让或租赁方式供地。同时，实施集体建设用地使用权流转，完善改制企业土地资产处置，使土地资源进入市场化配置，土地资产价值进一步显化。

【国有土地使用权】

有偿划拨　1989 年 2 月，县政府规定凡划拨使用的国有土地都要收取补偿费，暂定国有土地划拨费每平方米 10 ～ 20 元，临时用地每年每平方米 5 ～ 10 元。1990 年，明确收费标准，凡划拨使用属撤销生产队建制的剩余土地或国营场圃在耕的国有土地，每平方米 25 元；其他类型的国有土地，经营区每平方米 20 元，非经营区每平方米 15 元；国有河道、水面每平方米 10 元；居民建房使用国有土地的，每平方米 5 ～ 5.7 元。

1996 年 1 月起，执行省规定的收费标准，城镇国有土地每平方米 15 ～ 30 元；城镇以外的其他国有土地每平方米 15 元；撤销村、组建制的剩余国有土地每平方米 15 元；党、政、军机关和非经营性单位办公房、职工住房用地暂时免交。

协议出让　1991 年 10 月 15 日，县政府在陆渡乡推出第一幅工业用地，协议

出让给香港美益企业有限公司,面积6000平方米,使用期50年,合同出让金60万元。1992年,为外来投资企业、商品房开发以及旅游、商业、工业等经营性用地有偿出让土地21幅,面积47.93万平方米。

1993年5月,市政府规定土地出让价格,工业用地每平方米20～25美元;旅游、商业、娱乐、居住等用地为工业用地的1～2倍。

1997年2月,市政府规范国有土地使用权出让行为,明确土地一级市场由政府垄断,市国土局代表政府统一负责土地使用权出让工作。明确"除国家机关、军事用地、城市基础设施和公益事业用地,国家重点扶持的能源、交通、水利等项目用地,以及法律、行政法规规定的其他用地,可采取划拨方式供地外,其他各类用地均实行出让方式供地"。并按不同地域位置、土地级别、土地开发程度、土地用途等,制定国有土地使用权出让保护地价。

1997年太仓市国有土地使用权出让保护地价表

表39　　单位:元/平方米

类别	用途	城厢镇、新区	港区、沙溪、浏河	其他镇区	其余地区
基准地价	商业	650～2000	450～650	—	—
	住宅	450～900	400～500	—	—
	工业	400～550	350～400	—	—
毛地出让价	商业	430～1300	280～430	280～320	240～280
	住宅	330～600	250～330	250～280	220～250
	工业	250～350	150～250	150～200	120～150
补办出让价	商业	230～700	140～230	140～160	120～140
	住宅	160～300	120～160	120～140	100～120
	工业	100～150	80～100	80～90	60～80

注:1. 划拨土地使用权补办出让地价,以不低于同类别保护地价的40%确定
2. 居住用地用于建别墅的,按照同类地价增加15%计价;无建筑物的农副业生产用地可优惠按同类工业地价的50%～60%计价
3. 本表摘自太政发〔1997〕13号文件,自1997年3月1日起实施

2002年,太仓市调整国有土地使用权出让最低价,城厢镇每平方米155元,新区140元,港区和其他镇130元。至2005年年末,全市国有土地协议出让1177幅,

面积 5821.81 万平方米，合同出让金 587299.55 万元。

1991 ～ 2005 年太仓市（县）国有土地使用权协议出让情况表

表 40

年份	数量（幅）	面积（平方米）	合同出让金（万元）	年份	数量（幅）	面积（平方米）	合同出让金（万元）
1991	1	6000	60.00	1999	8	174800	2620.64
1992	21	479333	2350.60	2000	28	421060	6646.31
1993	53	1931580	18056.58	2001	79	1995586	23085.14
1994	71	1197593	9233.26	2002	129	9564963	104420.80
1995	63	1145260	6212.67	2003	233	14091402	175049.70
1996	59	623040	4417.35	2004	194	14662463	127819.40
1997	49	3428733	22578.60	2005	140	7584813	67261.70
1998	49	911513	17486.80	合计	1177	58218139	587299.55

补办出让　1994 年起，对原行政划拨国有土地使用权转让、出租、抵押和房地产开发用地实施补办出让，依法进入市场流通。全年补办土地出让 7 幅，面积 2.98 万平方米，合同出让金 158.42 万元。1995 年，贯彻《中华人民共和国城市房地产管理法》，对原行政划拨国有土地补办出让的范围、价格和操作程序作出规定：凡举办独资企业、房地产开发用地；从事商业、金融业以及改变用途为经营性用地；土地使用权转让、出租、抵押等用地，都要补办出让，补交出让金。标准：属房地产开发用地，城厢镇、新区在 1994 年年底前发生的，每平方米 60 ～ 100 元；1995 年后发生的，每平方米 100 ～ 200 元。沙溪、浏河镇参照下限标准执行。属商业、金融业用地每平方米 150 ～ 250 元。1997 年，市政府规定补办土地出让价格不得低于同类别保护地价的 40%。

2001 年 5 月，市政府明确原行政划拨的国有土地使用权补办出让范围：金融、保险、证券、烟草、供电、电信等行业的办公经营性用地；企业改制、清偿债务涉及地上物转移、土地资产未连同处置的；出售、出租转移房产、改变用途的，都必须补办出让手续，缴清出让金后，方可转让、出租或改变用途。至 2005 年年末，全市国有土地使用权补办出让 2288 幅，面积 1271.85 万平方米，合同出让金 101050.32 万元。

1994 ～ 2005 年太仓市国有土地使用权补办出让情况表

表 41

年份	数量（幅）	面积（平方米）	合同出让金（万元）	年份	数量（幅）	面积（平方米）	合同出让金（万元）
1994	7	29803	158.42	2001	277	1552143	13353.35
1995	30	452271	2239.58	2002	360	1799876	16385.77
1996	27	165761	499.52	2003	362	1682032	12551.38
1997	39	343684	1542.80	2004	241	2192274	16039.15
1998	306	1354069	7959.09	2005	176	1039791	13153.52
1999	199	586537	3590.66	—	—	—	—
2000	264	1520221	13577.08	合计	2288	12718462	101050.32

【建设用地有偿使用】

1992 年 3 月，经批准的非农业建设用地实施有偿使用。收费标准：使用国有土地每年每平方米 0.2 元；使用集体土地每年每平方米 0.15 元；农村宅基地在合法使用范围内每年每平方米 0.1 元（1994 年按国务院规定取消）；临时使用合法批准的集体土地，每年每平方米不低于 0.1 元。同年，因国家开征城镇土地使用税，凡已交纳城镇土地使用税的单位和个人，不再交纳土地使用费。

1996 年 1 月起，对由行政划拨取得土地使用权出租、改变用途和临时经营性用地实施有偿使用。收费标准：属土地使用权出租，城厢镇、新区、港区每年每平方米 3.5 ～ 19 元，沙溪、浏河、南郊镇 2.4 ～ 9 元，其他镇 1 ～ 6 元。属改变用途，城厢镇、新区、港区每年每平方米 9.9 元，沙溪、浏河、南郊镇 6.7 元，其他镇 4.6 元。属临时经营性用地，参照改变用途收费标准收取。

2000 年 9 月，对行政划拨土地使用权的公寓式住房，凡房产出售、交换或转让的，转让人均向政府交纳土地收益补偿金。收费标准：城厢镇、新区规划区（不含南郊、板桥、新毛管理区）每平方米 10 元；沙溪（不含直塘、新塘管理区）每、浏河镇规划区平方米 8 元；其余镇区及镇的管理区，每平方米 6 元。转让后房产的土地使用性质仍为行政划拨用地。

【经营性用地公开出让】

拍卖出让　2000 年 7 月 9 日，太仓市首幅国有土地使用权在市土地市场公开

拍卖。该幅土地为南郊桔园小区10宗住宅用地，面积3924平方米，成交出让金156.3万元，平均地价每平方米398.32元。2001年7月，市政府规定，除工业用地可采取协议出让外，商业、旅游、娱乐和房地产开发建设用地，一律在土地市场公开招标、拍卖出让。至2005年年末，全市公开拍卖出让土地24幅，面积996846平方米，成交出让金136254.9万元，平均地价每平方米1366.86元。其中2004年推出的城区府南地块，商业、居住用地，面积98613.2平方米，成交出让金4.29亿元，平均地价每平方米4350.33元，创全市拍卖出让平均地价最高。

2000年7月9日，太仓市首幅国有土地使用权在市土地市场公开竞拍成交

招标出让　在经营性用地出让中，对具有其他综合目标或指定为社会、公益建设条件的，土地用途受严格限制，仅少数单位或个人可能有受让意向的土地，采取土地招标出让供地。2001年3月，位于南郊桔园小区一幅居住用地，首次以公开招标出让方式供地。该幅土地面积3059.8平方米，成交出让金120.5万元，平均地价每平方米393.82元。同年8月，城厢镇原制塑厂地块，居住用地，面积12116.01平方米，成交出让金901.8万元，平均地价每平方米744.3元，为全市招标出让平均地价最高。至2005年年末，全市公开招标出让土地4幅，面积16607平方米，成交出让金1075.85万元，平均地价每平方米647.83元。

挂牌出让　2002年，推出挂牌出让。至2005年年末，全市公开挂牌出让土地91幅，面积4469148平方米，成交出让金229279.5万元，平均地价每平方米513.03元。其中2003年挂牌出让市原第二招待所地块，商业用地，面积27651平方米，成交出让金9500万元，平均地价每平方米3435.68元，为挂牌出让平均地价最高。

2000～2005年，全市经营性用地公开出让（拍卖、招标、挂牌）总计119幅，面积5482601平方米，成交出让金366610.25万元，平均地价每平方米668.68元。

2000 ～ 2005 年太仓市经营性用地公开出让情况表

表 42

年份	合计				一、招标				二、拍卖				三、挂牌			
	幅	面积(平方米)	合同出让金(万元)	均价(元/平方米)	幅	面积(平方米)	合同出让金(万元)	均价(元/平方米)	幅	面积(平方米)	合同出让金(万元)	均价(元/平方米)	幅	面积(平方米)	合同出让金(万元)	均价(元/平方米)
2000	1	3924	156.30	398.32	—	—	—	—	1	3924	156.30	398.32	—	—	—	—
2001	8	37942	3394.45	894.64	4	16607	1075.85	647.83	4	21335	2318.60	1086.75	—	—	—	—
2002	18	426638	15840.00	371.28	—	—	—	—	3	349488	11116.00	318.07	15	77150	4724.00	612.31
2003	35	3044477	163869.00	538.25	—	—	—	—	7	394919	65470.00	1657.81	28	2649558	98399.00	371.38
2004	31	990060	120672.50	1218.84	—	—	—	—	6	219531	55437.00	2525.25	25	770529	65235.50	846.63
2005	26	979560	62678.00	639.86	—	—	—	—	3	7649	1757.00	2296.97	23	971911	60921.00	626.82
合计	119	5482601	366610.25	668.68	4	16607	1075.85	647.83	24	996846	136254.90	1366.86	91	4469148	229279.50	513.03

【农村集体建设用地使用权流转】

2001 年起，对依法办理使用手续的农村集体建设用地，实行使用权有偿、有限期转让、出租等方式，转移土地使用权。允许农村集体建设用地采取使用权流转办法，举办外商投资企业或内资联营、组建企业集团公司、股份合作公司。土地使用权流转审批权限、程序、使用期限参照国有土地使用权出让办法报批。属转让的地价不低于每平方米 100 元；属出租的年租金不低于每平方米 8 元。至 2005 年年末，全市农村集体建设用地使用权流转 144 宗，面积 142.19 万平方米。

【土地税费】

1984 年，开征土地管理费。1987 年后，建设单位、个人征用土地除按国家土地管理法规定，向被征地单位支付土地补偿、安置补助费外，还需按有关规定缴纳土地税费。

1987 ～ 2005 年太仓市（县）土地税费执行标准一览表

表 43

项目	计量单位	范围	标准	依据	执行时间
土地管理费	—	非农业建设单位、个人征（拨）使用土地	用地总费用的3%	苏政发〔1984〕160号 苏价涉字〔1991〕195号	1984
耕地占用税	元/平方米	占用耕地建房单位、个人	单位7.5元； 农村居民建房3.75元，经营性7.5元	国发〔1987〕127号	1987−04
粮食开发基金	元/平方米	同上	单位4.5元； 个人2.25元	苏府〔1989〕51号	1989−07（2000年停止执行）
用途变更费	元/平方米	集体土地变为国有土地，农业用地变为建设用地及地上建筑物转移引起土地使用权变更	城厢、港区、新区2元；其他乡镇1元	苏价涉字〔1991〕195号 苏政综〔1991〕137号	1991−11
农业重点开发建设资金	元/亩	征（拨）用占用土地（含非耕地）	1200元（1995年7月增至2400元）	苏土计〔1992〕4号 苏计经农〔1992〕275号	1992−01

续表 43

项目	计量单位	范围	标准	依据	执行时间
新增建设用地土地有偿使用费	元/平方米	新增建设用地	17元	财综字〔1999〕117号	1999-01
耕地开垦费	元/平方米	占用耕地单位	9元	苏政办〔1999〕87号	1999-01

地籍管理

【地籍调查】

1992 年 4 月，城厢地区开展地籍调查。范围：东至半泾河，南至新浏河，西至 204 国道，北至古塘河、程泾河、城河。涉及城厢镇区及娄东乡 7 个行政村，面积 9.3 平方千米。县土地局组织力量负责确权，聘请中国人民解放军 83404 部队负责地籍测绘，对 105 个街坊，1918 宗地进行外业权属调查和地籍测量，内业计算机汇总。查清各地类、宗地的权属、界址、面积，绘制 1:500 地籍图 219 幅。

1996 年，全市实施各乡镇地籍调查，聘请云南地矿测绘院、陕西工程院、南京地质学校、化工部第一勘察设计院等专业队伍负责。至 1998 年，先后完成 21 个镇区，面积 42.75 平方千米的调查。查清 583 个街坊，16329 宗地的权属、界址、面积，绘制 1:500 地籍图 931 幅。

2002 年，城厢地区开展地籍更新调查。范围：向东延伸至东亭路，北至外环一级公路，西、南方向界址不变，面积 14.53 平方千米。查清 123 个街坊，6047 宗地的权属、界址、面积，绘制 1:500 地籍图 269 幅。地籍调查数据、图件进入数据库，为土地管理实现“以图管地、以证管地”奠定基础。

【登记发证】

1986 年，“土地管理法”规定农民集体所有的土地、单位和个人依法使用的国有土地、集体土地由县政府登记造册，核发证书，确认使用权。依法登记的土地所有权和使用权受法律保护。1988 年 9 月，开始国有土地、集体建设用地和农村居民宅基地使用权登记发证。建设用地单位或个人，按宗地为基本单元，进行土地

申报登记(初始登记),对符合“权属合法、界址清楚、面积准确”的土地使用者,发放土地使用权登记证明。农村居民宅基地凡1982年年底之前宅基地超过333.33平方米的,按333.33平方米进行申报登记;1983年1月1日至土地管理法实施,宅基地超过233.33平方米的,按233.33平方米申报登记;土地管理法实施后,宅基地超过220平方米的,按220平方米申报登记。至1995年5月,全市发放国有土地使用权登记证明6051本,面积6563122平方米;集体土地使用权登记证明2436本,面积11339118平方米。其中城厢、沙溪、浏河3个镇发放国有土地使用权登记证明4522本,面积3910159平方米,集体土地使用权登记证明185本,面积2738947平方米。发放农村宅基地使用权证书8.37万本。

1997年5月,房改房登记发证。对1993年住房制度改革中出售的单位公有住房,由房改单位按出售房屋的土地分摊面积,办理土地过户登记手续,确认给购房者。全年为198家单位,核发国有土地使用证8344本。

1998年,对符合“权属合法、界址清楚、面积准确”的土地使用者,换发国家统一监制的国有土地使用证和集体土地使用证,共制证18247本。同年起,对新批准的建设用地,竣工验收合格,符合发证条件的,建设单位或个人按批准面积,申报登记土地使用权,分别颁发国有、集体土地使用证。国有、集体土地使用权、他项权利及土地的用途发生变更的,办理变更登记手续,换发国有、集体土地证。抵押国有土地使用权的办理土地抵押登记手续。

2000年,商品房登记发证。由房产开发公司按出售的商品房土地分摊面积,办理商品房过户土地登记手续,全年核发国有土地使用证8012本。2003年,房改房发证结束,共核发国有土地使用证14182本。

2004年,农村集体土地所有权登记发证,以村为单位进行登记,共发放集体土地所有权证306本,面积45583.6公顷。

至2005年年末,共核发商品房国有土地使用证18637本,二手房交易变更登记发证10502本。

【定级估价】

市区土地定级估价 1995年,对市区东至大半泾河、南至新浏河、西至吴塘河、北至204国道改道线,面积13.75平方千米,进行商服繁华度、交通条件、公共基础设施、环境质量、文体设施调查和商服、工业、房地产等企业效益调查,测定市

区土地分4个级别和各类用地级别的基准地价,综合评估商业用地的级别基准地价和路线价、工业用地的级别基准地价、住宅用地的区位价。

1995年太仓市市区各类用地级别基准地价表

表44　　单位:元

土地级别		一	二	三	四
级别面积(公顷)		59.076	134.061	470.894	591.692
每平方米基准地价	商业用地	2000～3600	1200～2200	650～1250	450～700
	住宅用地	900～1200	650～950	500～700	400～550
	工业用地	650～950	500～650	380～500	300～400
	综合	2600	1100	550	380

2002～2003年,市区土地定级和基准地价更新,范围:东至十八港,南至老浏河,西至吴塘河,北至湖川塘,面积43.22平方千米。聘请专业机构参与,按照规程进行外业调查,内业计算机汇总。确定市区综合定级为5个土地级,分别测得住宅、工业、商业用地级别基准地价和商业路线基准地价,住宅、工业用地区片基准地价。

2003年太仓市市区各类用地级别基准地价表

表45　　单位:元

土地级别		一	二	三	四	五
级别面积(公顷)		68.65	200.75	454.78	803.13	2227.38
每平方米基准地价	商业用地	3200～5600	2000～3600	1100～2100	850～1450	630～1070
	住宅用地	1600～2200	1200～1800	1100～1500	700～1200	400～800
	工业用地	—	330～470	290～410	250～350	210～290

2003年太仓市市区商业路线基准地价表

表46　　单位:元

路段	土地级别	每平方米路线价	路段	土地级别	每平方米路线价
人民路南段	一	10000	城北西路	二	3900
桃园路	二	2500	新东街	二	4300

续表 46

路段	土地级别	每平方米路线价	路段	土地级别	每平方米路线价
人民路中段	一	6100	太平路	二	5000
人民南路	一	6500	惠阳路西段	二	2900
人民路北段	一	5200	惠阳路东段	三	2000
西门街	一	6200	长埭路	二	3000
北门街	一	6100	北门街北段	二	4000
武陵街	一	6200			

2003 年太仓市市区住宅用地区片基准地价表

表 47　　单位：元

名称	土地级别	每平方米平均地价	名称	土地级别	每平方米平均地价
府南街区片	一	2050	太平区片	三	1440
娄东区片	一	2100	花园区片	三	1510
向阳南区片	二	1710	惠阳东区片	三	1430
惠阳西区片	二	1680	锦州区片	二	1730
南园区片	二	1600	世纪苑区片	三	1450
梅园区片	三	1530	北郊南区片	三	1390
康乐区片	三	1390	北郊北区片	四	1100
桃园区片	三	1470	向阳北区片	三	1490

2003 年太仓市市区工业用地区片基准地价表

表 48　　单位：元

名称	级别	每平方米平均地价
弇山路工业区片	四	315
洛阳路西工业区片	四	320
洛阳路东工业区片	五	280
郑和路工业区片	四	320
立交桥工业区片	五	280

镇区土地定级估价 1998 年 8 月,21 个建制镇土地分等定级估价。根据各镇规模、经济发展水平、交通区位条件、商服繁华程度、基础设施情况,确定沙溪、浏河为一等镇,土地综合定级,分 3 个土地级别;浏家港、陆渡、璜泾、板桥、归庄、岳王、双凤、鹿河、浮桥 9 个镇为二等镇,因建成区面积均超过 2 平方千米,镇区商服繁华条件区域差异较明显,其他土地条件区域差异不明显,进行商业用途定级,分 2 个土地级;其余 10 个镇为三等镇,因建成区面积均在 2 平方千米以下,土地不定级。土地估价采用土地等次间级差收益、镇区内级差收益和土地市场测算等方法,确定各镇商业、住宅、工业用地的基准地价。同时对一、二等镇评定商业用地路线价。

1998 年建制镇镇区基准地价表

表 49　　单位:元/平方米

土地等别	镇名	级别	商业用地	住宅用地	工业用地
一等	沙溪	一	950～1850	360～460	600～900
		二	660～1200	240～360	450～700
		三	380～840	200～280	320～520
	浏河	一	950～1750	360～440	620～900
		二	620～1320	220～360	440～680
		三	400～850	200～260	300～500
二等	浏家港	一	680～1100	260～550	180～340
		二	420～680		
	陆渡	一	650～1100		
		二	400～740		
	璜泾	一	630～1000		
		二	400～680		
	板桥	一	620～980		
		二	380～620		
	归庄	一	570～890		
		二	340～560		
	双凤	一	580～860		
		二	340～580		
	岳王	一	500～800		
		二	320～540		

续表 49

土地等别	镇名	级别	商业用地	住宅用地	工业用地
二等	鹿河	一	540～830	260～550	180～340
		二	320～540		
	浮桥	一	560～840		
		二	340～580		
三等	南郊	—	380～830	200～380	120～220
	直塘	—	320～840		
	新毛	—	310～730		
	新塘	—	320～730		
	牌楼	—	310～730		
	时思	—	310～710		
	新湖	—	310～620		
	王秀	—	300～620		
	九曲	—	300～600		
	老闸	—	300～540		

农用地定级估价　2001 年 8 月，太仓市率先在全省开展农用地定级估价试点。市国土局聘请江苏省苏地房地产咨询评估有限责任公司专业人员参与，对 39873.3 公顷耕地定级估价。按照国家制定的规程，根据土地的自然质量条件、土地利用水平、社会经济水平差异对生产水平的影响等因素，采用多因素综合分析法，确定全市农用地分 4 个级别，利用投入产出、土地开发复垦样点资料和土地市场交易资料测定 4 个级别的基准地价。

2001 年太仓市农用地基准地价表

表 50

土地级别	基准地价（元/平方米）		面积（公顷）	所占比例（%）	主要分布镇、区
	无限年期	30年期			
一	20.3	14.0	9808.8	24.6	璜泾镇王秀片、归庄镇、沙溪镇、沙溪镇直塘片、城厢镇新毛片和板桥片、陆渡镇、新区
二	18.3	12.7	15949.3	40.0	鹿河镇、璜泾镇王秀片、岳王镇、浏家港镇、金浪镇、浏河镇

续表 50

土地级别	基准地价（元/平方米）		面积（公顷）	所占比例（%）	主要分布镇、区
	无限年期	30年期			
三	16.9	11.7	10247.5	25.7	鹿河镇、璜泾镇璜泾片、浮桥镇、浏家港镇、双凤镇新湖片、金浪镇
四	15.3	10.6	3867.7	9.7	双凤镇新湖片、城厢镇南郊片、浏家港镇牌楼片
合计			39873.3	100.0	

执法监察

【监察网络】

1988 年，太仓县土地局内设监察科（后更名法规监察科）。1989 年，各乡镇建立土地管理所，设专（兼）职土地监察员 1 ～ 2 名。各村设土地监察信息员 1 名。2001 年 8 月，太仓市国土局土地执法监察大队成立。至 2005 年年末，全市专（兼）职土地监察员 57 名，村土地监察信息员 140 名，形成市、镇、村三级土地行政执法监察网络。

【法制宣传】

1987 ～ 1990 年，广泛宣传国家土地管理法和中共中央、国务院《关于加强土地管理、制止乱占耕地的通知》，采用印发宣传材料、开设电台专题讲座和举办土地法律法规培训班等多种形式，增强全民珍惜土地、依法用地意识，推动全面清理非农业建设用地和加强农民宅基地管理等工作的顺利进行。

1991 年，国务院确定每年 6 月 25 日为全国“土地日”。此后，太仓每年开展一次“6·25”土地日宣传周活动。宣传周期间，市、镇联动，围绕宣传主题，宣传土地管理法律、政策，开展形式多样、内容贴近实际的宣传活动。至 2005 年，15 个“土地日”宣传活动中，全市共举办各种宣讲会、培训班 28 次，接受教育 4.56 万人次；街头设摊，开展土地法规咨询 21 场次，发放各类宣传资料 1.85 万份；举办土地法规知识竞赛 5 次，文艺宣传演出 8 场；开展以土地为内容的书画、摄影展览和有奖猜谜、征文、答题等活动 17 次。

【执法检查】

80年代后期，全县分年度实施土地管理执法检查。1987～1988年，全县开展非农业建设用地清理，查处、补办建设用地单位336家，其中依法用地单位290家，占86.31%；违法用地单位35家，占10.42%，超占面积9.41公顷；批而不用单位11家，占3.27%，面积2.49公顷。并分别处以罚款，补办用地手续；拆除违法建筑，退出超占面积；批而不用的，退田还耕。

1990年，清理干部建私房中的违法问题。全县列入1987年以后建私房的干部（清理对象）共959人，发现违法占地343人，占清理对象的35.77%，超占面积15020.1平方米。清理中，拆除超占面积7425.29平方米，补缴超占土地补偿费48238.17元。1995年起，建立土地执法定期检查制度，发现问题及时处置。

至2005年年末，全市执法检查共查出各类违法违规用地1811件，面积1251.3公顷，均得到及时处理。其中立案179件，面积1.79公顷，拆除违章建筑面积9425.26平方米，罚款63.03万元。

【信访受理】

80年代，来信来访工作由县土地局监察科负责。1988年，受理来信来访120件（次），其中来信80件，来访40人次，检举单位和个人违法用地53件，占44.17%。按照“分级负责，归口处理”的原则，转有关部门处理8件，自行办理112件。1989～1990年，受理信访644件（次），主要反映违章用地、宅基地问题。1991年起，信访逐渐减少。1995年，受理信访27件（次）。

至2005年年末，累计受理信访1830件（次），其中来信1050件，来访780件、830人次。反映单位违法用地647件，占35.36%；涉及农民宅基地纠纷432件，占23.61%；反映征地补偿安置169件，占9.23%；土地政策咨询375件，占20.49%；其他类207件，占11.31%。查结率100%。

【创建活动】

1991年，在王秀乡开展创建土地管理“三无乡镇”（无违法批地、无违法管地、无违法用地）试点工作。制定创建目标、要求，列入乡镇年度百分考核内容。1992年，创建活动在全县展开。当年有王秀、沙溪、双凤、直塘、陆渡、时思、新毛、牌楼、

南郊等9个乡镇达标,占37.5%。有效遏制了违法用地。1993～1994年,全市有18个乡镇达标,占81.81%。1995年年末,全市有17个乡镇达标,占77.27%。其中,连续4年保持“三无”乡镇的8个,3年的6个,2年的1个,1年的2个。王秀镇获省国土管理局表彰。王秀、沙溪、浏家港等18个乡镇获苏州市国土部门表彰。

2000年,首次开展创建“土地执法模范市(镇、区)”活动。市创建土地执法模范市工作领导小组成立,并与各镇(区)签订创建土地执法模范镇(区)责任制。至2001年,除港区外,其他13个镇(区)均通过太仓市级验收,其中陆渡、浏河、城厢、浮桥、璜泾通过苏州市验收。2002年,太仓市被确定为江苏省创建示范区。2003年,全市9个镇(区)全部评为省土地执法模范镇(区)。

三、水资源

水资源量

太仓紧邻长江,长江水域面积173.89平方千米,过境水量丰富,通过沿江闸站调度,可满足境内居民生活及工农业生产的用水量。2005年,太仓开始需水量预测工作,预计2010年需水68098万立方米,2020年需水78955万立方米,2030年需水91129万立方米。火力发电用水按照实际取水量的40%测算。2005年年末,境内水资源蕴藏总量为45354.6万立方米,其中地下水蕴藏量11686.5万立方米,地表水蕴藏量33668.1万立方米。

水质评价

90年代以前,太仓地表水水质尚可,新浏河作为饮用水源为城区地面水厂供水。随着经济的快速发展,企业数量增多,排污量增大,河水的污染越来越严重,1994年5月,新浏河水质降至Ⅳ类水以下,已无法为水厂提供安全的水源。至2005年1月,境内河流水质普遍较差,12个水功能区的水质有长江太仓鹿河保留区、长江太仓饮用水水源及工业用水区、长江太仓杨林塘饮用水水源及工业用水区、长江苏沪缓冲区4个达标。

2005 年 1 月太仓市水功能区水质评价表

表 51

水功能区名称	河流（湖、库）	起始位置	终止位置	长度(千米)/面积（平方千米）	2010年水质目标	现状水质	断面是否达标	功能区是否达标
长江太仓鹿河保留区	长江干流	常熟市白茆口	太仓新泾闸	5.5	III	III	达标	达标
杨林塘饮用水水源区	杨林塘	阳澄湖口	杨林闸	44.2	III	>V	不达标	不达标
长江太仓饮用水水源、工业用水区	长江	太仓新泾闸	太仓浪港	10.6	III	III	达标	达标
长江太仓杨林塘饮用水水源、工业用水区	长江	太仓七浦塘	太仓杨林塘下游100米	3.4	III	III	达标	达标
浏河苏沪边界缓冲区	浏河	太仓姜家村	江苏浏河镇许家河交叉口	3.0	III	III	达标	不达标
盐铁塘苏沪边界缓冲区	盐铁塘	太仓南郊新星桥	上海嘉定池桥	6.0	III	>V	不达标	不达标
长江苏沪缓冲区	长江干流	太仓浏河口	省界	2.1	III	>V	不达标	达标
浏河太仓景观娱乐工业用水	浏河	204国道桥	姜家村	3.4	III	III	达标	不达标
浏河太仓工业、农业用水区	浏河	许家河交界处	浏河闸	12.0	IV	>V	不达标	不达标
七浦塘苏州工业、农业用水区	七浦塘	昆山张家港交叉口	七浦闸	38.6	IV	>V	不达标	不达标
盐铁塘太仓景观娱乐、工业用水区	盐铁塘	太仓南郊新星桥	沪嘉高速公路延伸段桥	8.3	IV	>V	不达标	不达标

续表 51

水功能区名称	河流(湖、库)	起始位置	终止位置	长度(千米)/面积(平方千米)	2010年水质目标	现状水质	断面是否达标	功能区是否达标
石头塘太仓工业、农业用水区	石头塘	浏河/苏沪交界	钱泾	24.3	IV	>V	不达标	不达标

四、水资源保护

河流水污染控制

太仓境内分属长江流域的太湖区。境内河网稠密,水域宽广,河道纵横。入长江水道有浏河、杨林、七浦三大塘横穿东西全境。80 年代中后期,随着经济与城乡建设的发展,污染物排放量不断增加,全县大小河流均受到不同程度的污染,水污染呈上升趋势。90 年代中期至 2005 年,相继建成一批城市生活污水和工业废水处理厂,形成化工、五金电镀、印染等工业小区。全市大小河流被污染逐年改善。(详见卷三环境保护水污染治理子目)

地下水超采控制

2000 年,根据省人大常委会颁布《关于在苏锡常地区限期禁止开采地下水的决定》,太仓市开展地下水源井封填的调查、研究、登记规划等前期工作。同时,根据省下达的 2000 年度太仓市地下水开采量不超过 3750 万立方米的指标,市政府将计划下达至全市各镇及用水大户,作出超采将加征水资源费的规定,全市全年地下水实际开采为 3530 万立方米。2001 年,省下达太仓市开采量为 2800 万立方米,实际开采 2760 万立方米。同年起,太仓采用封填地下水源井的办法,控制地下水开采,全市封填地下水源井 139 眼。2003 年,封填地下水源井 100 眼。至 2005 年年末,累计封填地下水源井 443 眼,控制了地下水开采,地下水位基本控制在 20 米以内,有效地防止地面沉降等地质灾害的发生。

人　口

卷 五

REN KOU

1986 年，全县户籍总人口 438538 人，人口自然增长率 5.89‰。太仓计划生育工作始终坚持执行国家计划生育基本国策，严格控制人口增长，人口自然增长率逐年下降。1994 年起，全市人口出现负自然增长。同期，外来流动人口逐渐增多。2005 年 10 月，中国生殖健康家庭保健培训中心落户太仓。同年，全市户籍总人口 457648 人，登记的外来流动人口 244900 人。1986 ～ 2005 年，人口逐步向集镇与市区转移，城镇中非农居民增加，就业人口中高中学历以上的人员逐年增加。

一、人口总量

数　量

1986 年，全县户籍总人口 438538 人，比上年的 435359 人增加 3179 人；其中城镇人口（原非农业人口）66734 人，比上年的 61355 人增加 5379 人，占总人口的 15.22%。1990 年后，城镇人口不断增多。1995 年，全市户籍总人口 448866 人，年均增加 1148 人，年均递增率 2.62‰；其中城镇人口 101948 人，比 1986 年增加 35214 人，占总人口的 22.71%。

2005 年年末，全市户籍总人口 457648 人，年均增加 878 人，年均递增率 1.96‰；其中城镇人口 197854 人，比 1986 年增加 131120 人，占总人口的 43.23%。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）户籍人口统计表

表 52　　单位：人

年份	总户数	总人口	其中城镇人口（原非农业人口）
1986	130997	438538	66734
1987	131405	441168	69397
1988	133249	443231	76642
1989	133339	444781	79007
1990	132849	446222	80659
1991	132586	447539	82202

续表 52

年份	总户数	总人口	其中城镇人口（原非农业人口）
1992	135680	448458	87682
1993	138086	449110	92938
1994	138906	449095	97959
1995	143172	448866	101948
1996	143408	449344	107674
1997	140645	449740	113412
1998	140446	449453	119862
1999	145579	449253	151675
2000	149546	449406	170201
2001	151290	448914	178035
2002	152736	449319	184438
2003	153236	451116	192731
2004	152560	454554	196363
2005	151690	457648	197854

分　布

80 年代起，人口分布发生变化，由于区位优势的差异，北部、边缘地区的人口逐步向南部临沪地区移动，形成南部地区人口比较密集；人户分离现象明显，农村人口向集镇与县城转移，城镇中非农居民大量增加。据 1986 年统计，位于县境南部的城厢、娄东、南郊、新毛、板桥、浏河、新塘和陆渡 8 个乡镇共有人口 167690 人，占全县总人口的 38.24%；北部璜泾、王秀、鹿河 3 个乡共有人口 53849 人，占总人口的 12.28%；东部的浮桥、时思、九曲、老闸、茜泾和牌楼 6 个乡镇共有人口 87647 人，占总人口的 19.99%；西部的双凤、新湖 2 个乡共有人口 36359 人，占总人口的 8.29%；中部的沙溪镇、沙溪乡、直塘、归庄、岳王 5 个乡镇共有人口 92993 人，占总人口的 21.21%。2005 年年末，城厢、浏河、陆渡 3 个镇共有人口 210444 人，比 1986 年增加 42754 人，占全市总人口的 45.98%，增加 7.74 个百分点；璜泾镇共有人口 49822 人，比 1986 年减少 4027 人，占总人口的 10.89%，减少 1.39 个百分点；浮桥镇共有人口 77738 人，比 1986 年减少 9909 人，占总人口的 16.99%，

减少 3 个百分点；双凤镇共有人口 32491 人，比 1986 年减少 3868 人，占总人口的 7.1%，减少 1.19 个百分点；沙溪镇共有人口 87153 人，比 1986 年减少 5840 人，占总人口的 19.04%，减少 2.17 个百分点。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）各乡镇户籍人口分布情况表

表 53　　单位：人

<table>
<tr><th colspan="3">镇（乡）</th><th>1986年</th><th>1999年</th><th>2001年</th><th>2005年</th></tr>
<tr><td rowspan="5">城厢镇</td><td colspan="2">城厢镇</td><td>29260</td><td rowspan="2">81327</td><td rowspan="5">134206</td><td rowspan="5">146866</td></tr>
<tr><td colspan="2">娄东乡</td><td>21162</td></tr>
<tr><td colspan="2">南郊镇</td><td>22252</td><td>20486</td></tr>
<tr><td colspan="2">新毛镇(乡)</td><td>15912</td><td>14176</td></tr>
<tr><td colspan="2">板桥镇(乡)</td><td>13749</td><td>12650</td></tr>
<tr><td rowspan="5">沙溪镇</td><td colspan="2">沙溪镇</td><td>14065</td><td rowspan="2">40630</td><td rowspan="3">57210</td><td rowspan="5">87153</td></tr>
<tr><td colspan="2">沙溪乡</td><td>22859</td></tr>
<tr><td colspan="2">直塘镇(乡)</td><td>18332</td><td>16802</td></tr>
<tr><td colspan="2">归庄镇(乡)</td><td>18569</td><td>17067</td><td>16738</td></tr>
<tr><td colspan="2">岳王镇</td><td>19168</td><td>17483</td><td>17080</td></tr>
<tr><td rowspan="2">浏河镇</td><td colspan="2">浏河镇</td><td>35966</td><td>36872</td><td rowspan="2">50413</td><td rowspan="2">50434</td></tr>
<tr><td colspan="2">新塘镇(乡)</td><td>15555</td><td>14216</td></tr>
<tr><td rowspan="6">浮桥镇</td><td colspan="2">浮桥镇</td><td>25585</td><td>23476</td><td>22897</td><td rowspan="6">77738</td></tr>
<tr><td rowspan="3">金浪镇</td><td>时思镇(乡)</td><td>11544</td><td rowspan="3">29299</td><td rowspan="3">28164</td></tr>
<tr><td>九曲镇(乡)</td><td>11393</td></tr>
<tr><td>老闸镇(乡)</td><td>10095</td></tr>
<tr><td rowspan="2">浏家港镇</td><td>浏家港镇(乡)</td><td>15811</td><td rowspan="2">26811</td><td rowspan="2">26340</td></tr>
<tr><td>牌楼镇(乡)</td><td>13219</td></tr>
<tr><td rowspan="3">璜泾镇</td><td colspan="2">璜泾镇(乡)</td><td>21112</td><td rowspan="2">35401</td><td rowspan="2">34755</td><td rowspan="3">49822</td></tr>
<tr><td colspan="2">王秀镇(乡)</td><td>16074</td></tr>
<tr><td colspan="2">鹿河镇(乡)</td><td>16663</td><td>16172</td><td>15886</td></tr>
<tr><td rowspan="2">双凤镇</td><td colspan="2">双凤镇(乡)</td><td>18443</td><td>16704</td><td rowspan="2">32625</td><td rowspan="2">32491</td></tr>
<tr><td colspan="2">新湖镇(乡)</td><td>17916</td><td>16926</td></tr>
<tr><td colspan="3">陆渡镇(乡)</td><td>13834</td><td>12755</td><td>12600</td><td>13144</td></tr>
</table>

密　度

全市(县)人口密度,按内陆土地面积649.01平方千米计算,1986年,每平方千米676人。1996年,每平方千米692人。2005年,每平方千米705人,比1986年增加29人。其中城厢镇(含新区)人口密度最高,每平方千米1159人,其次是浏河镇736人,双凤镇最低,每平方千米519人。

1986～2005年太仓市(县)各乡镇人口密度情况表

表54　　单位:人/平方千米

镇(乡)			1986	1999	2001	2005
城厢镇(市区)	城厢镇		6502	2032	1059	1159
	娄东乡		596			
	南郊镇		658	606		
	新毛镇(乡)		612	545		
	板桥镇(乡)		511	470		
沙溪镇	沙溪镇		4952	955	832	658
	沙溪乡		576			
	直塘镇(乡)		698	640		
	归庄镇(乡)		620	569	559	
	岳王镇		569	519	507	
浏河镇	浏河镇		910	933	735	736
	新塘镇(乡)		536	490		
浮桥镇	浮桥镇		621	570	555	538
	金浪镇	时思镇(乡)	537	482	465	
		九曲镇(乡)	558			
		老闸镇(乡)	542			
	浏家港镇	浏家港镇(乡)	669	628	626	
		牌楼镇(乡)	693			
璜泾镇	璜泾镇(乡)		598	601	590	597
	王秀镇(乡)		684			
	鹿河镇(乡)		680	660	648	

续表 54

镇（乡）		1986	1999	2001	2005
双凤镇	双凤镇(乡)	617	558	521	519
	新湖镇(乡)	549	518		
陆渡镇(乡)		553	510	503	525

二、人口结构

性　别

【户籍人口性别构成】

1986 年，男性 216081 人，占全县总人口的 49.27%，女性 222457 人，占 50.73%；男女性别比（以女性为 100，下同）为 97.13，是 20 年中男性人口比例最高的年份。2004 年，男性 221295 人，占总人口的 48.68%，女性 233259 人，占 51.32%；男女性别比为 94.87，是 20 年中男性人口比例最低的年份。2005 年，男性 222911 人，占总人口的 48.71%，女性 234737 人，占 51.29%；男性人口比例略有上升。1986 ～ 2005 年，全市（县）户籍人口中，男性一直少于女性，男性平均为女性的 96.07。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）户籍人口性别情况表

表 55

年份	人数（人）		性别比（女=100）
	男	女	
1986	216081	222457	97.13
1987	217229	223939	97.00
1988	218095	225136	96.87
1989	218927	225854	96.93
1990	219583	226639	96.89
1991	220080	227459	96.76
1992	220493	227965	96.72
1993	220824	228286	96.73
1994	220566	228529	96.52

续表 55

年份	人数（人）		性别比（女=100）
	男	女	
1995	220115	228751	96.22
1996	219945	229399	95.88
1997	219922	229818	95.69
1998	219715	229738	95.64
1999	219547	229706	95.58
2000	219492	229914	95.47
2001	219104	229810	95.34
2002	219031	230288	95.11
2003	219778	231338	95.00
2004	221295	233259	94.87
2005	222911	234737	94.96

【分年龄段性别构成】

全国第四、五次人口普查资料显示，全市（县）0～4 周岁的婴幼儿和 5～14 周岁的少儿，男性多于女性，并呈上升趋势；15～24 周岁的青年，由于外出读书、就业和服兵役等，男性少于女性，减幅较大；25～44 周岁的中青年，除外出读书毕业和服兵役退伍回乡外，主要是经济发展，吸纳大量外来男劳动力，男性人口略有回升、多于女性；45～59 周岁的壮年，男性略高于女性；60 周岁以上的老人，男性明显少于女性。

1990 年、2000 年太仓市（县）人口普查分年龄段性别情况表

表 56

年龄分段（周岁）	1990年			2000年		
	人数（人）		性别比（女=100）	人数（人）		性别比（女=100）
	男	女		男	女	
0～4	13333	12970	102.80	9399	9141	102.82
5～14	23265	22968	101.29	24861	24047	103.39
15～24	35446	35924	98.67	27793	38413	72.35
25～44	82863	80935	102.38	92724	89223	103.92

续表 56

年龄分段（周岁）	1990年			2000年		
	人数（人）		性别比（女=100）	人数（人）		性别比（女=100）
	男	女		男	女	
45～59	38141	37007	103.06	58115	57181	101.63
60及以上	29814	38931	76.58	37896	46262	81.92

【城镇人口性别构成】

城镇户籍人口中男性多于女性，改革开放后三产服务业的发展，吸收了大批女性，家庭生活中又有不少来自农村妇女操持家务，城镇户籍人口中逐步转为男女性别均衡发展。1990 年，全县城镇男性 87408 人，女性 87003 人，男性为女性的 100.47%。2000 年，全市城镇男性 107592 人，女性 111166 人，男性为女性的 96.78%。

年　龄

2000 年全国第五次人口普查，全市普查总人口为 515063 人（包括外来人口），其中 17 周岁以下人口占总人口 16.35%，比 1990 年全国第四次人口普查时下降 3.87 个百分点；18 ～ 59 周岁人口，占 67.31%，比 1990 年上升 2.76 个百分点；60 周岁以上人口，占 16.34%，比 1990 年增加 1.11 个百分点。其中 80 周岁以上老人总数 10515 人，比 1990 年增加 3261 人，人口老龄化趋势加剧。

2005 年年末，全市户籍人口中，17 周岁以下少年儿童 63297 人，占总人口的 13.83%；18 ～ 35 周岁的 94565 人，占总人口的 20.66%；36 ～ 59 周岁的 203241 人，占总人口的 44.41%；60 周岁以上老人 96545 人，占总人口的 21.1%；其中 100 周岁以上寿星 22 人，最高女寿星江素 106 周岁。

1990 年、2000 年太仓市（县）人口普查分年龄段情况表

表 57

年龄组合	1990年（第四次人口普查）		2000年（第五次人口普查）	
	人口数（人）	占全县总人口（%）	人口数（人）	占全县总人口（%）
总人口	451419	—	515063	—
少年儿童（17周岁以下）	91265	20.22	84201	16.35

续表 57

年龄组合		1990年（第四次人口普查）		2000年（第五次人口普查）	
		人口数（人）	占全县总人口（%）	人口数（人）	占全县总人口（%）
其中	1周岁以下	4480	0.99	3405	0.66
	1～5周岁	24937	5.52	19481	3.78
	6～14周岁	43119	9.55	44562	8.65
	15～17周岁	18729	4.15	16753	3.25
青壮年（18～59周岁）		291407	64.55	346696	67.31
其中	18～24周岁	52641	11.66	49453	9.60
	25～44周岁	163618	36.25	181947	35.33
	45～59周岁	75148	16.65	115296	22.38
老年（60周岁以上）		68747	15.23	84166	16.34
其中	60～69周岁	39917	8.84	43061	8.36
	70～79周岁	21576	4.78	30590	5.94
	80～89周岁	6839	1.52	9620	1.87
	90～99周岁	413	0.09	887	0.17
	百岁以上寿星	2	—	8	—

2005 年太仓市 100 周岁以上寿星名表

表 58

姓名	性别	出生年月	家庭住址
季月英	女	1905–10	城厢镇果园一村
李小其	男	1905–12	城厢镇长春村梅园组
陆小妹	女	1901–04	沙溪镇塘桥村5组
李如妹	女	1905–10	沙溪镇高泾村
沈招弟	女	1904–02	浏河镇新闸村7组
庄桂娣	女	1904–04	浏河镇新塘居委会东塘街
钱王氏	女	1905–02	浏河镇万安村4组
江　素	女	1899–09	璜泾镇王秀村2组
王阿荣	女	1905–04	璜泾镇王秀村14组

续表 58

姓名	性别	出生年月	家庭住址
何新宝	女	1905–04	璜泾镇广新村21组
袁范氏	女	1905–10	璜泾镇东影村15组
陈杨氏	女	1905–12	璜泾镇华南村5组
冯小妹	女	1903–11	陆渡镇陆渡村
沈培芳	女	1904–11	浮桥镇赵阳村22组5号
高慧芳	女	1904–01	浮桥镇新亚村5组
俞　生	男	1904–06	浮桥镇立新村3组
张杏宝	女	1905–07	浮桥镇浪港村3组
顾阿大	女	1905–11	浮桥镇和平村20组14号
王妹娣	女	1904–02	新区新乐村
周老太	女	1900–04	新区东风村
顾惠成	男	1903–09	双凤镇庆丰村4组
陆维芳	女	1903–05	太仓市社会福利院

民　族

1990 年，全县普查总人口 451419 人，其中少数民族 12 个 140 人，占普查总人口的 0.03%，汉族 451279 人，占 99.97%。随着人口的迁徙流动，招商引资和人口引进，少数民族、人口不断增多。2000 年，汉族 514062 人，占普查人口的 99.81%，少数民族增至 22 个 1001 人，占 0.19%，比 1990 年增加少数民族 10 个 861 人，上升 0.16 个百分点。

2005 年，全市户籍人口中，有汉族 456959 人，占总人口的 99.85%；少数民族 32 个 689 人，占 0.15%。其中回族 174 人，满族 114 人，土家族 90 人，壮族和朝鲜族各 44 人，蒙古族 40 人，侗族 34 人，苗族 32 人，彝族 22 人，锡伯族 16 人，布依族 15 人，黎族和哈尼族各 12 人，白族和仡佬族各 4 人，瑶族、羌族、达斡尔族和鄂伦春族各 3 人，藏族、傣族、傈僳族、畲族、水族、纳西族和俄罗斯族各 2 人，维吾尔族、佤族、东乡族、仫佬族、布朗族和赫哲族各 1 人。分布在全市各镇，其中城厢镇有少数民族 23 个 233 人。

1990 年、2000 年太仓市(县)人口普查民族情况表

表 59

民族	1990年		2000年	
	人口数（人）	占全县总人口(%)	人口数（人）	占全市总人口(%)
总人数	451419	—	515063	—
汉族	451279	99.97	514062	99.81
回族	84	0.02	158	0.03
满族	24	—	39	0.01
苗族	7	—	53	0.01
蒙古族	5	—	17	—
壮族	5	—	28	—
侗族	5	—	24	—
土家族	3	—	535	0.10
布依族	3	—	33	0.01
藏族	1	—	9	—
傣族	1	—	1	—
纳西族	1	—	1	—
赫哲族	1	—	—	—
白族	—	—	2	—
朝鲜族	—	—	44	0.01
瑶族	—	—	12	—
土族	—	—	11	—
维吾尔族	—	—	7	—
哈尼族	—	—	7	—
仡佬族	—	—	7	—
彝族	—	—	6	—
畲族	—	—	5	—
佤族	—	—	1	—
羌族	—	—	1	—

文 化

全国第四、五次人口普查资料显示，全市（县）小学以上文化程度的人口呈上升趋势，1990 年 327298 人，占 6 周岁以上人口的 77.56%，2000 年 447892 人，占 91%，上升 13.44 个百分点；文化初识人口呈下降趋势，1990 年 94704 人，占 6 周岁以上人口的 22.44%，2000 年 44286 人，占 9%，下降 13.44 个百分点。

在小学以上文化程度的人口中，大学（包括大专、本科和研究生，下同）、高中（包括中专，下同）和初中文化程度的人口不断增多，1990 年，每 1000 人中拥有大学文化程度 11 人，高中文化程度 93 人，初中文化程度 278 人，2000 年，每 1000 人中拥有大学文化程度 32 人，高中文化程度 130 人，初中文化程度 388 人，比 1990 年分别增加 21 人、37 人和 110 人；小学文化程度的人口减少，1990 年，每 1000 人中拥有小学文化程度 343 人，2000 年 320 人，比 1990 年减少 23 人。

2004 年 12 月，全市第一次经济普查公布的第二、三产业 250016 名就业人员中：初中及以下学历的 156905 人，占就业人员总数的 62.76%；高中学历 66869 人，占 26.75%；大学专科学历 18949 人，占 7.58%；大学本科以上学历 7748 人，占 3.1%。

1990 年、2000 年太仓市（县）人口普查文化程度情况表

表 60

文化程度		1990年		2000年	
		人口数（人）	所占比重(%)	人口数（人）	所占比重(%)
6周岁及以上人口		422002	—	492178	—
初识		94704	22.44	44286	9.00
小学		154928	36.71	164829	33.49
初中		125611	29.77	199675	40.57
高中		34950	8.28	50581	10.28
中专		6939	1.64	16149	3.28
大学		4870	1.15	16559	3.36
其中	大专	3460	0.82	12475	2.53
	本科	1410	0.33	4084	0.83
研究生		—	—	99	0.02

职　业

2000年全国第五次人口普查(苏州市人口普查抽样登记资料),全市职业总人口34426人,其中从事第一产业11257人,占职业总人口数32.7%,比1990年全国第四次人口普查时下降7.62个百分点;从事第二产业16513人、第三产业6656人,分别占47.97%、19.33%,比1990年分别增加1.62个百分点、6个百分点。

1990年、2000年太仓市(县)人口普查职业情况表

表61

职业类别	1990年		2000年	
	人口数	占职业人口(%)	人口数	占职业人口(%)
职业人口总数	322783	—	34426	—
第一产业	130147	40.32	11257	32.70
农、林、牧、渔业	130147	40.32	11257	32.70
第二产业	149598	46.35	16513	47.97
制造业	143853	44.57	14667	42.60
电力、煤气、自来水、生产供应业	680	0.21	264	0.77
建筑业	5065	1.57	1549	4.50
地质勘探、水利管理业	—	—	33	0.10
第三产业	43038	13.33	6656	19.33
交通运输、邮电通信业	5590	1.73	994	2.89
贸易、餐饮业	18728	5.80	2669	7.75
金融、保险业	1160	0.36	216	0.63
房地产管理和社会服务业	3966	1.23	949	2.75
卫生、体育、社会福利业	2347	0.73	334	0.97
教育、文化、艺术、广播业	5666	1.75	613	1.78
科学研究、技术服务业	43	0.01	48	0.14
国家机关、党政团体	5538	1.72	713	2.07
其他职业	—	—	120	0.35

注:2000年职业人口数系自苏州市人口普查抽样登记资料统计

2004 年 12 月，全市首次经济普查，对第二、三产业法人单位和个体工商户的普查资料显示，全市共有职业人口 313166 人，其中法人单位人口 250016 人，占职业人口的 79.83%；个体工商户人口 63150 人，占 20.17%。上述职业人口中，有高级技术职称的 1355 人，中级职称 6272 人，初级职称 11157 人；有技术等级证书的高级技师 207 人，技师 687 人，高级工 1725 人，中级工 6309 人。

2004 年太仓市首次经济普查第二、三产业职业人口情况表

表 62

职业分类	合计		其中	
	人口数（人）	占职业人口（%）	法人单位人口（人）	个体工商户人口（人）
职业人口总数	313166	—	250016	63150
第二产业	240232	76.71	215667	24565
制造业	225825	72.11	203174	22651
电力、燃气、自来水生产和供应业	1874	0.60	1874	—
建筑业	12533	4.00	10619	1914
第三产业	72934	23.29	34349	38585
交通运输、仓储和邮电业	6302	2.01	1967	4335
科学研究、信息传输和技术服务	1142	0.36	1142	—
商贸、餐饮和服务业	37593	12.00	11776	25817
金融业	404	0.13	404	—
房地产业	1645	0.53	1571	74
水利、环境和公共设施管理业	1142	0.37	1142	—
社会服务业	8487	2.71	1131	7356
教育	4909	1.57	4909	—
卫生、社会保障和社会福利业	3124	1.00	2656	468
文化、体育和娱乐业	1107	0.35	572	535
公共管理和社会组织	7079	2.26	7079	—

姓　氏

据《太仓县志》记载,1985 年年末,全县户籍人口的姓氏共有 447 个,其中单姓 441 个,复姓 6 个。1986 年后,随着人口的流动,姓氏增多。至 2004 年年末,全市户籍人口中有姓氏 588 个,其中单姓 581 个,复姓 7 个。比 1985 年新增姓氏 199 个,分别为:乙、刀、义、也、亿、凡、山、门、云、井、仁、从、公、勾、天、开、户、木、欠、丘、付、仝、圣、布、未、玉、记、亦、仰、伏、伦、农、刑、危、同、夷、宇、巩、师、庆、戎、扬、闫、问、阳、丽、位、佐、佟、况、别、呙、局、忻、把、沐、灵、犹、疗、芈、补、豆、远、闰、佴、侠、冼、凯、卑、呼、宓、帖、幸、房、拓、招、昊、昕、松、泥、泮、玥、竺、绍、肃、苑、苟、英、诛、郄、郇、郓、雨、信、勇、咸、哈、将、庭、恽、柔、柘、洑、禹、茜、茌、荚、贲、郗、钦、闾、候、卿、哲、埃、姬、容、恩、晁、栗、校、桃、海、涂、润、益、荷、莊、莳、铁、隽、副、寇、尉、庾、扈、接、晨、淡、渠、盖、盘、绳、脱、菅、菊、萧、谌、鄂、隆、随、掌、敬、斯、普、渣、琚、褚、粟、蕢、辜、释、锁、慈、槐、满、福、筱、简、梁、腾、蒙、蒲、蒿、訾、鄢、雍、骞、嘉、漆、瑭、蔚、蔺、雒、鲜、潭、潮、璋、踪、镇、操、缴、檀、蹇、藤、藩、簿、酆、诸葛。消失姓氏 58 个,分别为:乃、千、友、历、殳、长、卡、汉、邦、朴、贞、迁、年、各、闯、汝、劳、杏、伯、俭、饮、系、舍、庙、庚、宠、拥、宜、南、哉、厚、面、点、修、剑、哀、皇、欲、冠、泰、盏、晕、雪、营、银、葑、紫、集、善、富、瑞、睦、廉、僮、摩、禤、黛、曙。

2004 年,全市户籍人口中,王姓人数最多,33487 人;张、陆、顾、陈 4 个姓氏均逾 2 万人;周、朱、徐、杨、沈、吴、李 7 个姓氏均逾 1 万人;泥、郓、桃等 124 个姓氏每姓仅 1 人。

2004 年太仓市户籍人口姓氏表

表 63

姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数
王	33487	张	28441	陆	24852	顾	24563	陈	22784	周	18149
朱	16719	徐	16218	杨	14133	沈	13380	吴	13031	李	12944
钱	8453	黄	8407	孙	6468	高	5816	曹	5704	龚	5616
金	5454	刘	5391	赵	4853	马	4519	冯	4347	唐	3966
倪	3903	胡	3753	施	3447	何	3417	严	3401	蔡	3381

续表 63

姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数
许	3368	蒋	3249	毛	3140	潘	3078	浦	2970	姚	2842
陶	2827	丁	2696	俞	2674	夏	2645	邵	2542	范	2520
苏	2423	薛	2371	戴	2182	袁	2060	闵	1947	闻	1880
盛	1812	叶	1791	谢	1587	郁	1583	凌	1527	宋	1507
汪	1486	郑	1480	方	1425	肖	1377	汤	1376	费	1371
季	1351	姜	1351	杜	1335	董	1290	韩	1219	瞿	1198
邹	1160	吕	1138	包	1113	罗	1103	秦	1090	殷	1038
林	996	管	986	奚	924	程	917	石	879	邱	871
梁	870	邢	836	章	803	郭	783	屠	748	庄	743
时	697	江	672	侯	672	史	667	万	625	霍	598
曾	586	洪	580	崔	576	单	559	田	548	任	548
项	532	支	532	彭	529	尹	510	谭	493	华	490
魏	471	傅	464	熊	448	居	447	葛	433	薄	430
戈	425	吉	413	沙	412	景	407	梅	394	全	392
邓	381	庞	376	仇	372	孟	359	虞	355	卢	343
柏	333	樊	331	孔	325	余	324	祝	312	仲	310
查	310	成	308	童	270	钟	266	邬	266	翁	258
宣	257	颜	256	缪	247	尤	245	须	243	于	237
武	235	茅	224	狄	221	褚	219	展	218	宗	216
贾	214	柳	211	翟	211	韦	207	诸	203	谈	192
屈	188	戚	180	欧	171	偶	170	付	162	卞	159
纪	154	耿	151	滕	148	乔	147	嵇	141	郑	140
楼	137	鲍	134	焦	133	后	131	柴	130	阮	130
桂	129	卫	122	印	116	归	114	祁	112	骆	112
濮	111	荣	111	席	110	穆	106	段	104	鲁	104
柯	101	莫	98	常	98	茹	97	阚	97	郎	97
左	94	政	86	计	85	乐	80	廖	78	卜	78
杭	74	强	73	艾	70	向	69	应	68	申	66
桑	66	郝	66	白	63	房	60	毕	58	齐	56
岳	56	糜	55	储	53	贺	49	雷	49	甘	48

续表 63

姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数
易	46	钮	46	欧阳	44	谷	43	池	43	解	42
温	40	束	40	花	39	平	39	黎	38	文	37
步	37	伍	36	窦	35	路	35	詹	35	丰	35
树	34	候	34	牛	33	车	33	代	33	贝	33
宫	33	商	32	舒	32	臧	32	康	32	裴	31
冷	31	符	30	裘	30	辛	29	宁	28	聂	28
寿	28	滑	27	和	27	鱼	26	芮	26	闫	26
栾	25	胥	25	衡	24	封	24	萧	24	喻	23
过	23	古	23	尚	22	龙	22	乘	22	赖	22
崇	22	苗	22	安	22	芦	21	牟	21	智	21
游	21	干	20	涂	20	班	19	刁	19	甄	19
司	19	祖	19	皮	19	敖	18	端木	18	卓	18
仓	18	边	18	娄	18	雍	18	未	18	邰	17
迟	17	沐	17	明	17	鞠	17	匡	17	阙	16
燕	16	佘	16	邝	16	惠	15	荀	15	晏	15
承	15	苟	15	米	14	凡	14	曲	14	征	14
丛	14	密	13	麻	13	晋	12	於	12	索	12
东	12	远	12	业	12	巫	11	宓	10	练	10
岑	10	蒯	10	皋	10	道	10	厉	10	冉	10
巢	9	仝	9	云	9	笪	9	兰	9	靳	9
阳	9	腾	9	鄢	8	阎	8	井	8	鹿	8
贡	8	茆	8	覃	8	淡	8	郦	8	开	7
羊	7	上官	7	初	7	莳	7	饶	7	简	7
官	7	占	7	冒	7	府	7	巴	7	端	7
雒	7	相	6	户	6	宦	6	渠	6	布	6
海	6	壮	6	皇甫	6	关	6	师	6	蒙	6
蒲	6	司马	6	公	6	伏	6	酆	6	姬	6
潭	6	习	5	释	5	冀	5	帅	5	楚	5
别	5	眭	5	梁	5	仰	5	鲜	5	还	4
忻	4	戎	4	郗	4	敬	4	伊	4	山	4

续表 63

姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数
韶	4	博	4	晁	3	苑	3	操	3	衣	3
筱	3	郜	3	恽	3	把	3	蒿	3	柘	3
英	3	洑	3	怀	3	莊	3	訾	3	谌	3
招	3	扬	3	吾	3	羌	3	沃	3	连	3
庭	3	伟	3	侍	3	佟	3	天	3	隆	3
斯	3	义	2	藏	2	普	2	呙	2	慎	2
元	2	生	2	脱	2	圣	2	巩	2	栗	2
隋	2	裔	2	都	2	昝	2	益	2	司徒	2
锁	2	禹	2	藕	2	蔺	2	佴	2	藤	2
水	2	迮	2	夷	2	经	2	咸	2	佐	2
菅	2	权	2	郄	2	回	2	矫	2	郇	2
辜	2	槐	2	刑	2	贲	2	问	2	蔚	2
茜	2	赫	2	达	1	秋	1	褚	1	柔	1
泥	1	传	1	慈	1	从	1	木	1	诛	1
郓	1	闰	1	容	1	绍	1	补	1	仁	1
玥	1	松	1	簿	1	芈	1	埃	1	骞	1
桃	1	亦	1	党	1	刀	1	漆	1	晨	1
雨	1	竺	1	肃	1	骈	1	钦	1	潮	1
薛	1	昌	1	润	1	绳	1	泮	1	踪	1
掌	1	丘	1	盘	1	卑	1	璋	1	庆	1
欠	1	镇	1	是	1	渣	1	农	1	哲	1
诸葛	1	卿	1	哈	1	危	1	荷	1	隽	1
昊	1	凯	1	坎	1	菊	1	位	1	局	1
寇	1	国	1	况	1	蒉	1	来	1	也	1
藩	1	尉	1	缴	1	冼	1	荚	1	记	1
蹇	1	侠	1	将	1	言	1	昕	1	拓	1
接	1	信	1	扈	1	荆	1	幸	1	呼	1
琚	1	茫	1	满	1	蓝	1	闾	1	宇	1
嘉	1	伦	1	校	1	瑭	1	鄂	1	犹	1
庾	1	玉	1	豆	1	随	1	门	1	迪	1

续表 63

姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数	姓氏	人数
原	1	恩	1	盖	1	同	1	勾	1	丽	1
乙	1	亿	1	疗	1	檀	1	帖	1	粟	1
副	1	灵	1	福	1	铁	1	凤	1	勇	1

注：此表由太仓市公安局户政科提供

三、人口变动

自然增减

1986 年，全县出生 6054 人，死亡 3470 人。至 1993 年，人口自然增减均呈增长趋势。1994 ～ 2005 年，除 1997 年，其余年份均呈负增长。1986 ～ 2005 年，全市（县）户籍人口中，共出生 75170 人，年均出生 3759 人，出生率 8.4‰；共死亡 73162 人，年均死亡 3658 人，死亡率 8.16‰，年均净增 101 人，递增率 0.24‰。其中 9 年人口增长，11 年负增长。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）户籍人口自然增减统计表

表 64

年份	出生率		死亡率		自然增减	
	人数(人)	出生率(‰)	人数(人)	死亡率(‰)	人数(人)	增减率(‰)
1986	6054	13.80	3470	7.91	2584	5.89
1987	5489	12.44	3535	8.01	1954	4.43
1988	4675	10.55	3418	7.71	1257	2.84
1989	4358	9.80	3383	7.61	975	2.19
1990	4291	9.62	3446	7.72	845	1.90
1991	4154	9.28	3569	7.97	585	1.31
1992	4118	9.18	3821	8.52	297	0.66
1993	3877	8.63	3575	7.96	302	0.67
1994	3663	8.16	3667	8.17	−4	−0.01
1995	3410	7.60	3766	8.39	−356	−0.79

续表 64

年份	出生率		死亡率		自然增减	
	人数(人)	出生率(‰)	人数(人)	死亡率(‰)	人数(人)	增减率(‰)
1996	3635	8.09	3894	8.67	−259	−0.58
1997	3678	8.18	3674	8.17	4	0.01
1998	3098	6.89	3874	8.62	−776	−1.73
1999	2855	6.35	3607	8.03	−752	−1.67
2000	3227	7.18	3729	8.30	−502	−1.12
2001	2976	6.63	3680	8.20	−704	−1.57
2002	2893	6.44	3726	8.29	−833	−1.85
2003	2791	6.19	3944	8.74	−1153	−2.56
2004	2993	6.58	3631	7.99	−638	−1.40
2005	2935	6.41	3753	8.20	−818	−1.79

注：此表由太仓市公安局提供

迁徙流动

1986 年，全县迁入 5443 人，迁出 4798 人。1991 年始，户籍制度改革，加大人才引进，人口迁入相对增多。1992 ～ 1996 年，共迁入 34545 人，年均迁入 6909 人，比 20 年年均迁入多 1666 人；2002 ～ 2005 年，经济发展加快，人民生活改善较大，人口迁出明显减少，4 年中共迁出 8874 人，年均迁出 2219 人，比 20 年年均迁出少 1969 人。1986 ～ 2005 年，全市（县）户籍人口中，共迁入 104858 人，年均迁入 5243 人；共迁出 83767 人，年均迁出 4188 人，年均增加 1055 人，递增率 1.19‰。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）户籍人口迁徙流动统计表

表 65

年份	迁入人口数(人)	迁出人口数(人)	迁徙增减	
			人口数(人)	增减率（‰）
1986	5443	4798	645	1.47
1987	4851	4167	684	1.55
1988	5127	4331	796	1.80

续表 65

年份	迁入人口数(人)	迁出人口数(人)	迁徙增减	
			人口数(人)	增减率（‰）
1989	5751	5186	565	1.27
1990	4563	4016	547	1.23
1991	4577	3849	728	1.63
1992	7180	6551	629	1.40
1993	6414	6097	317	0.71
1994	5384	5432	−48	−0.11
1995	6789	6319	470	1.05
1996	8778	7962	816	1.82
1997	3171	2785	386	0.86
1998	3548	2798	750	1.67
1999	3694	2876	818	1.82
2000	3927	3351	576	1.28
2001	4596	4375	221	0.49
2002	4867	3607	1260	2.81
2003	4856	1893	2963	6.57
2004	5871	1831	4040	8.89
2005	5471	1543	3928	8.58

外来人口

1986 年，全县登记的外来流动人口 12765 人。随着经济建设的持续发展，特别是港区和新区的开发建设，外来流动人口不断增多。1995 年 26483 人，比 1986 年增加 1.07 倍。其中居住 1 年以上的 15596 人，占外来流动人口的 58.89%。至 2005 年年末，全市登记的外来流动人口 244900 人，比 1995 年增加 8.25 倍。其中务工的 184186 人，占外来流动人口的 75.21%；务农的 1937 人，占 0.79%；建筑安装的 23945 人，占 9.78%；经商服务的 22158 人，占 9.05%；借读培训和投亲靠友的 12674 人，占 5.18%。上述外来流动人口中，分布在新区的 59129 人，占外来流动人口的 24.14%；城厢镇 32038 人，占 13.08%；沙溪镇 38415 人，

占 15.69%；浏河镇 14523 人，占 5.93%；浮桥镇 39463 人，占 16.11%；璜泾镇 21914 人，占 8.95%；双凤镇 11436 人，占 4.67%；陆渡镇 27982 人，占 11.43%。其中新区和陆渡镇的外来流动人口超过户籍人口，分别是户籍人口的 1.12 倍和 2.13 倍。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）外来流动人口统计表

表 66　　单位：人

年份	人口数		职业				
	总数	已发暂住证	务工	务农	建筑安装	经商服务	借读培训投亲靠友
1986	12765	6972	—	—	—	—	—
1987	9009	930	—	—	—	—	—
1988	11352	9865	—	—	—	—	—
1989	10987	8379	—	—	—	—	—
1990	12794	8513	—	—	—	—	—
1991	14431	10086	—	—	—	—	—
1992	24622	17966	—	—	—	—	—
1993	27987	25514	17402	174	6386	3107	918
1994	26227	24915	14596	186	7494	3109	842
1995	26483	25159	13837	192	7658	4191	605
1996	30803	29263	18117	242	6176	5643	625
1997	27271	25907	12288	384	8153	5907	539
1998	25250	23987	15283	256	5226	4054	431
1999	33519	33163	17285	412	9620	5308	894
2000	42391	40486	25602	582	8749	6461	997
2001	64698	61463	46517	712	9238	7083	1148
2002	92626	88279	70874	845	9471	9762	1674
2003	154352	137620	129299	1024	9908	11329	2792
2004	194865	185110	147946	2150	12349	21972	10448
2005	244900	231195	184186	1937	23945	22158	12674

注：1986 ～ 1992 年外来流动人口职业无统计记录

四、人口控制

1984年,太仓实施国际计划、妇幼保健、寄生虫控制三结合项目,推动人口和计划生育基础知识教育、优质服务、保健活动以及中学、小学高年级的青春期教育。1986年起,条件许可的乡镇设1名计划生育助理员。总人口超3万人的乡镇设2名助理员,协助乡、镇长管理计划生育。1992年,建立县育龄妇女信息微机管理系统。1993年,国家计生委在太仓建立“太仓计划生育结合项目培训中心”。1994年,太仓开展家庭保健服务,与育龄妇女微机管理软件形成规范的工作机制,均开创全国先例,为各地借鉴。至1996年,全市完成乡镇配备计划生育助理员工作。2002年,各镇建立计划生育办公室。村(居)委会、村(居)民小组设计划生育专(兼)职人员。2005年10月,“中国生殖健康家庭保健培训中心”落户太仓,成为计划生育对外宣传的窗口、国际交流和学习国外先进经验的平台。至年末,全市人口自然增长率有11年进入负增长时期;建有计划生育协会340个,会员3.6万人;太仓市(县)先后被国务院、省政府授予全国、省“计划生育先进单位”称号。

宣传教育

【媒体宣传】

1986年,编写《愿更多的人按科学生儿育女》等12讲广播教材,供县、乡广播站使用。同年起,县有线广播站每月举办1期计划生育知识讲座,鹿河、板桥乡广播站每周办1期计划生育专题节目。1987年,编写《“五十亿人口日”人口知识讲座》和《计划生育科普广播讲座》各6讲及《实行计划生育,促进经济发展》《太仓县的人口历史和现状》2篇广播讲话。同年7月11日,县广播电台举办“‘五十亿人口日’人口知识讲座”。1990年,编写人口理论教材5种。1992年6月,举办乡镇广播站自办“计划生育”专题节目展播评奖和“人口杯·心系国策”征文比赛活动。浏河镇广播站获自办节目展播一等奖,沙溪乡获二等奖,城厢镇、璜泾镇获三等奖。1995年起,广播电台和电视台同时开辟《人口纵横》栏目。广播电台每周1期,2次播出;电视台每月1期,每期10分钟。1998年,市电视台专题片《玫瑰卡》获省人口与计划生育电视栏目和广播专题节目一等奖。2003年1月,计划生

育公众网络建立。同年，广播节目《晚晴》获省人口与计划生育电视栏目和广播专题节目二等奖。2005 年，建立生殖健康在线服务体系，开展政策法规、办事指南、统计信息、计生动态、宣传教育、计生服务、信访和生殖健康、家庭保健等咨询服务，共接受咨询 349 人次，点击 10.8 万人次。至年末，市（县）广播电台共编播专题节目 624 期，市（县）电视台播出专栏 144 期，《太仓日报》刊登生殖健康科普知识 48 期、专刊 16 期。其中《希望之星》获全国人口与计划生育电视栏目和广播专题节目三等奖，省二等奖。

【文化宣传】

1986 年 4 月，计划生育电视片《新的起点》摄制完工，免费在各乡镇放映。次年，县计生委赠送录像机 26 台，供乡镇播放计划生育科教片使用。1989 年 1 月 22 日，《人民日报》头版以《计划生育在太仓》为题，报道太仓计划生育工作的经验。1991 年 4 月，全国基层优生工作经验交流会在北京召开，太仓在会上作“依靠知识普及及开展系列化服务促进优生工作”的发言。会后太仓受国家计生委宣传教育司委托，以太仓的做法为基础，吸取各地先进经验，编辑全国的《计划生育宣传教育指南》。同年 6 月，国家计生委在太仓召开《计划生育宣传教育指南》研讨会，邀请国内 20 多名计划生育宣传行家参加研讨。经过研讨、修改，印发全国各地参照执行。1993 年 2 月，举办“人类与性”展览会，展出 10 场次，观众 6000 人。1995 年，举办“人口·家庭·社会”征文比赛，直塘镇的《川妹子》和璜泾镇的《用“养老保险”代替“养儿防老”》均获一等奖。1999 年，举办“幸福家庭摄影大奖赛”，23 幅获奖作品由市摄影家协会办专栏在市区展出，同时在《太仓日报》陆续刊出。2002 年 9 月，在中心广场组织人口与计划生育文艺专场演出 6 场，观众 6000 余人次。2004 年 5 月，举办计划生育文化节专场演出。同年 9 月，邀请苏州市滑稽剧团进行温馨家园戏剧小品专场演出 3 场，观众 2500 人次。至 2005 年年末，累计制作和发行各类宣传品 395056 套。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）制作和发行的宣传品一览表

表 67

年份	名称	类别	数量（套）
1986	计划生育系列卡片	知识卡片	30000

续表 67

年份	名称	类别	数量（套）
1997	玫瑰卡（第一版）	知识卡片	20000
1999	计划生育基础知识丛书	丛书	50000
2000	避孕节育知情选择	展板	56
2002	玫瑰卡（第二版）	知识卡片	40000
2003	婚育新风进万家系列折页	知识卡片	100000
2003	阳光卡	知识卡片	40000
2003	生育须知	知识卡片	10000
2004	关注新太仓人权益服务新太仓人健康	知识卡片	40000
2004	玫瑰卡（第三版）	知识卡片	40000
2005	企业计划生育服务指南	知识卡片	10000
2005	婚育直通车	碟片	15000

【《公开信》纪念活动】

1980 年 9 月 25 日，《中共中央就控制人口增长给全体共产党员和共青团员的公开信》（简称《公开信》）发表。之后，每年 9 月中、下旬和国庆节期间太仓都要组织《公开信》发表纪念活动，装饰宣传彩车下乡，在公共场合和人流集聚地组织咨询活动，县和乡镇党政领导发表广播讲话，共产党员和共青团员均以支部为单位过 1 次组织生活等。

1986 年 9 月，开展最早落实避孕措施者的评选活动，评选出于 1956 年即采取绝育措施的夫妇 56 对。1990 年，城厢镇党委书记张继铭赴北京参加全国纪念《公开信》发表 10 周年座谈会，在会上发言并受到中共中央、国务院领导人的接见。1995 年，开展母婴保健法和节育避孕知识竞赛及中小学生与家长共同参加答卷的优生优育、优教知识竞赛。1997 年，给全市合资、独资、私营、股份制企业经理发公开信，并组织企业经理学习《江苏省计划生育条例》和《太仓市计划生育办法》。1999 年，开展万份试卷有奖竞答活动，向各级领导干部、计划生育干部和广大育龄群众发试卷 1.32 万份。2000 年 9 月 22 日，鹿河镇王耀球赴北京参加全国《公开信》发表 20 周年纪念活动，受到李岚清等中央领导接见。2002 年，举办全市少年儿童书画比赛和人口计划生育知识竞赛。2004 年，开展婚育新风进外企、人口知识进校园的“双进”活动。2005 年，宣传《中华人民共和国人口与计划生育法》和

《江苏省人口与计划生育条例》。

【骨干培训】

1987 年 5 月 20 日至 24 日，举办乡镇和县属大厂分管计划生育工作的领导干部培训班，60 人受训。1989 年 4 月 13 日至 25 日，全县分 3 期，每期 3 天，培训村级计划生育专（兼）职干部 319 人。1993 年 3 月，太仓市计划生育结合项目培训中心成立，太仓市人口学校同时运行，培训工作逐步规范。同年 10 月 8 日和次年 2 月 28 日，全市乡镇计划生育助理员 30 人分两批参加苏州市计划生育系统干部岗位培训 12 天。1995 年 5 月 10 日至 13 日，举办各镇计划生育干部培训班。同年 6 月 26 日，举办各市属大厂，部、省驻太仓单位，市级机关有关单位计划生育专（兼）职干部培训班。1996 年 5 月 20 日，全市分 3 期，每期 3 天，培训村（居）委会计划生育干部 333 人。同年，建立每两年培训 1 次村级和市属大厂，部、省驻太仓单位，市级机关有关单位计划生育专（兼）职人员的制度。2000 年 5 月 21 日，各镇计划生育助理员 20 人，分 3 批参加苏州市国家公务员业务知识培训。至年末，全市共办培训班 202 期，受训 1.8 万人次。2002 年 2 月 22 日至 23 日，举办全市计划生育助理员培训班。全年派出 33 人次参加苏州、南京、上海 3 个市举办的管理人员和技术人员培训班。2003 年 8 月 4 日至 5 日，举办城镇社区计划生育指导员培训班，33 人受训。2004 年，派出 18 人次分 3 批参加苏州市举办的培训班。

技术服务

【避孕节育】

绝育避孕　1986 年，全县育龄妇女 9.68 万人，已落实节育措施 8.55 万人。同年，建立育龄夫妻按不同避孕措施分类指导制度，除介绍知识外，还把新婚须知、育儿知识、哺乳期避孕等知识卡片送到育龄群众手里。对新生育夫妻，坚持在生育孩子的 1 个月内，由计划生育干部或乡村医生上门家访，指导和帮助在哺乳期落实好避孕措施。1994 年起，全市实行避孕节育保健全程优质服务，开展争创计划生育合格村（居）委会活动。逐步把知情选择纳入避孕节育保健全程优质服务，在普及知识的前提下，让育龄群众在掌握多种避孕节育知识的基础上，自己选择适合自己的最佳避孕措施。至 2005 年年末，知情选择率 98.96%。

1986 ～ 2005 年太仓市(县)育龄夫妇落实节育措施一览表

表 68

年份	已婚育龄妇女总数(人)	落实措施人数(人)	男扎(人)	女扎(人)	上环(人)	服药(人)	避孕套(人)	其他(人)	节育率(%)
1986	96804	85472	2250	14032	49105	15984	3458	643	88.29
1987	100178	91202	2095	13938	54631	16310	3641	587	91.04
1988	102521	94656	1905	13803	59040	15656	3767	485	92.33
1989	104373	96428	1589	13303	62221	15165	3907	243	92.39
1990	106491	98732	1338	12955	65067	14915	4214	243	92.71
1991	108040	100447	1135	12666	67975	14123	4352	196	92.97
1992	105576	97065	794	11527	67845	12380	3805	714	91.94
1993	108404	99882	669	11176	70056	12255	5020	706	92.14
1994	108865	100478	537	10473	70751	12053	5999	665	92.30
1995	109459	100333	433	9753	71066	11596	6807	678	91.66
1996	109284	99136	344	8789	70087	11157	8077	682	90.71
1997	108876	99364	264	7946	69951	10492	10079	632	91.26
1998	107978	98857	205	7034	69241	10045	11707	625	91.55
1999	108165	98518	162	6217	68594	9441	13452	652	91.08
2000	107572	96842	126	5163	66963	9097	15148	345	90.03
2001	105520	94271	89	4199	64458	8515	16686	324	89.34
2002	102352	91066	61	3216	60990	7710	18787	302	88.97
2003	98032	87382	37	2553	58406	7080	19029	277	89.14
2004	98234	86140	26	2313	54170	6367	23011	253	87.69
2005	95828	84207	20	2073	51257	5748	24886	223	87.87

并发症处理　1982 ～ 1996 年,对节育手术过程中出现的并发症者,由各乡镇负责,有一定劳动能力的安排在社队企业就业,无劳动能力的落实救助办法。1997 年,开展节育手术并发症调查鉴定工作,确诊并发症患者 24 人,自 1998 年起由市实行统管。根据并发症患者身体、家庭经济情况,镇政府给予每人每年 200 ～ 500 元生活补贴。2001 年起,市财政负担每人每年 200 ～ 500 元就医经费,至 2005 年年末,累计负担就医经费 7.01 万元。

【家庭保健】

优生和育龄妇女保健　1981 年，首次把优生列为计划生育工作基本要求之一。1982 年起，全县推行婚前体检。1984 年，首先在娄东、板桥、新毛、陆渡、双凤、新湖、南郊 7 个乡推行母子保健手册和母子系统管理。1986 年，7 个乡孕产妇系统管理率 74.8%，围产儿、新生儿、婴儿死亡率分别从 1983 年的 30.2‰、21.3‰、31.6‰降至 19.6‰、11‰、13.5‰。次年，上述做法向全县推广。1992 年起，县计划生育指导站深入乡镇村，用 B 超仪为育龄妇女作健康检查。1993 年 9 月，国家计生委在太仓召开“县级育龄妇女管理信息系统鉴定会”，县级育龄妇女信息管理系统在太仓首先运行。1994 年 4 月，太仓市家庭保健服务中心成立，不孕门诊开放，对婚后 2 年以上未孕夫妻进行筛查，对符合对象进行走访并发放慰问信，对确认为不孕不育夫妻愿意治疗者统一建档，帮助治疗。1998 年 3 月 1 日起，婚前体检由太仓市妇幼保健所承担。按规定男女青年登记结婚前，均要参加婚前体检，同时，进行婚前教育和咨询。1999 年 5 月 29 日，上海著名内、儿、妇科和不孕症专家到太仓进行义诊，210 人接受诊疗和咨询。2000 年 3 月，启动“出生缺陷干预工程”。动员准备怀孕或怀孕者早期服用营养软胶囊“福施福”。2003 年，新婚姻登记法实施，婚前体检率降至 5% 以下，人口出生缺陷率呈上升趋势。据此，太仓制定实施了免费婚检政府买单、赠送“优生优育疾病保险”等一系列导向政策。2005 年 6 月，举办“关注女性健康，提高生活质量”知识讲座 10 场，700 人次听讲。至年末，共查治婚后多年不孕的夫妻 816 对，其中 310 对已生育。婚前体检率 80% 以上。

1993 年 9 月，国家计生委《县级育龄妇女管理信息系统》鉴定会在太仓召开

青少年保健服务　1984 年，部分学校开展肠道寄生虫查治、青春期保健和性教育活动。1986 年，肠道寄生虫感染率为 49.26%。1987 年起，全县中、小学生普服驱虫药。同年 10 月 23 日至 25 日，中国计划生育协会副会长吴阶平在太仓召开和主持中国性教育研讨会，全国医学界、教育界 51 人参加研讨并考察了太仓青少

年性教育活动。1989 年,青春期和性教育活动在全县各中学推开。1994 年 4 月,全市小学和初中学生进行肠道寄生虫检查,感染率 13.68%。1995 年下半年,太仓市第一中学和浏河明德中学试点推广使用记录少女月经用的玫瑰卡卡片,帮助女学生掌握生理科学规律,克服经期烦恼,安全度过青春期。次年,在全市中学推开,同时被省内外部分县(市)采用。1998 年,全市开展高、初中女学生“我与玫瑰卡”征文比赛。至 2002 年年末,肠道寄生虫检查累计 24.1 万人次,阳性者均得到治疗,感染率降至 0.42%。2003 年,此项活动停止。同年,多种式样的阳光卡在中学的男生中推广,至 2005 年,全市普及。

1994 ～ 2002 年太仓市中、小学生肠道寄生虫感染率统计表

表 69

年份	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
感染率(%)	13.68	7.29	3.40	1.91	2.60	1.19	0.54	0.65	0.42

中老年保健服务　1988 年,板桥乡把计划生育服务对象扩至更年期妇女。1989 年 7 月,各乡镇以村为单位,开展指导更年期妇女落实避孕措施和普及保健知识工作。1992 年,服务对象扩至老年妇女。1994 年 4 月,太仓市家庭保健服务中心中老年保健门诊向社会开放。同年 5 月 7 日,举办首期中老年保健讲座“预防癌症保健知识”,有关单位的工会干部、村老年协会会长、居委会主任等 110 人听课。1997 年 4 月,日本家族计划国际协力财团和日本茨城县综合健诊协会,赠送给市家庭保健服务中心 X 光胸部检诊车 1 辆,并帮助培训 3 名摄片、洗片技术人员。同年 5 月起,X 光胸部检诊车深入各村为中老年健康普查。1998 年 11 月 25 日,上海计划生育宣教中心专家妇产科主任医师陆曙民到太仓作“更年期保健和知情选择避孕方法”讲座。2001 年 5 月 13 日,陆曙民和上海市国际和平妇幼保健院副主任医师杨秀兰做客太仓电视台,分别作“男性更年期、中老年妇女骨质疏松症”“紧急避孕和妇女病防治”专题讲座。同年 6 月 29 日,上海市第六人民医院骨质疏松咨询部主任黄其伦为全市退休教师和退休干部作“老年人骨质疏松症防治”专题讲座。2003 年 9 月,陆曙民到太仓作“男性健康保健”知识讲座。2004 年 5 月,太仓市中医院谢嗣丰作“中老年健康”知识讲座。至 2005 年年末,市家庭保健服务中心老年保健门诊累计接待治疗 1.18 万人次,咨询 2.37 万人次,健康普查 4.64 万人次。

生育政策

【晚婚晚育规定】

70 年代起，太仓明确以法定婚龄推迟 3 年以上结婚为晚婚，妇女 24 周岁以上初次生育为晚育。1982 年 10 月 25 日起，符合晚婚者增加 7 天婚假，符合晚育者增加 14 天产假。1989 年 8 月 26 日起，符合晚婚者婚假增加 12 天，符合晚育的初产妇女、落实节育措施并领取“独生子女证”者增加 30 天产假。由于 1980 年起太仓已进入低生育水平阶段，晚婚晚育的政策和鼓励晚婚晚育的做法没有强调执行。

【少生及奖励规定】

少　生　自 1979 年起，太仓坚持推行、鼓励一对夫妻只生育 1 个孩子，少数特殊困难的家庭经过批准可再生育 1 个孩子的政策。每年照顾再生育 1 个孩子的数量，不到出生总人数的 10%。1986 年为 5.13%，1994 年最低为 3.19%，2005 年最高为 8.55%。

奖　励　1982 年，太仓规定，凡生育 1 个孩子，放弃生育第二个孩子的育龄夫妻，申请领取“独生子女证”后，可享受从领证起至 14 周岁止，每年获儿童保健费 40 元（1996 年改为不低于 40 元的独生子女父母奖励金）；独生子女在入托、入园、入学、招工、分房、安排宅基地方面享受优惠和照顾；独生子女父母职工退休时增发 5% 退休金；农民年老丧失劳动力时，增发适当的生活费。1989 年，调整为干部、职工退休增加 5% 退休金。终生无子女者（包括领证后子女夭折未再生育并未领养小孩或无继子女、终生不婚、不育者）享受 100% 退休金；农民年老时优先安排进敬老院。1998 年，取消终生无子女者享受 100% 退休金和企业职工增加 5% 退休金的规定，改为一次性奖励 3600 元。2005 年，新增农村计划生育家庭和未享受城镇职工退休待遇的居民奖励：农村中凡已领“独生子女证”且年满 60 周岁的农民、年满 50 周岁只生育 1 个孩子且已经死亡未再生育和收养子女的农民、年满 60 周岁未育且未收养子女的农民夫妻，每人每月发 50 元奖励金，直到奖励对象亡故为止；未享受城镇职工退休待遇的居民，参照农村奖励办法执行。全年奖励 2437 人，发放奖金 145.85 万元。

救　助　2004 年，太仓设立人口与计划生育公益金，对未婚的独生子女发生

2004年,太仓市人口与计划生育公益金募捐暨首批发放仪式

意外死亡或严重伤残、严重疾病,独生子女父母死亡的孤儿或单亲家庭,根据情况给予一次性的特困补助1000～3000元。全市有247户独生子女特困家庭享受到总金额41.6万元的救助,同时有326户独生子女低保家庭生活费标准提高20%。同年11月27日,在中心广场举办人口与计划生育公益金募捐暨首批发放仪式,现场募集34.64万元,有7户特困家庭得到救助。2005年,为313户特困家庭发放救助金39.45万元,445户低保家庭生活费提高20%。

1986～2005年太仓市(县)计划生育一览表

表70

年份	计划生育率（%）	一胎率（%）	多胎率（%）	一个孩子夫妇对数（对）	领独生子女证夫妇数（对）
1986	99.95	94.63	0.06	46947	46291
1987	99.89	92.02	0.28	52099	51429
1988	99.96	94.74	0.04	56411	55497
1989	99.86	94.95	0.09	59515	52650
1990	99.86	94.56	0.02	62939	55792
1991	99.90	94.71	0.10	67118	57922
1992	99.95	95.80	0.05	69707	56770
1993	99.95	95.87	0.03	73975	52240
1994	99.89	96.78	0.03	77138	51821
1995	99.91	95.77	0.03	79286	51635
1996	99.82	93.66	0.03	82295	48387
1997	99.88	94.28	0.09	83805	44184
1998	99.84	93.99	0.03	85600	42891
1999	99.83	94.38	0.03	88775	42517

续表 70

年份	计划生育率（%）	一胎率（%）	多胎率（%）	一个孩子夫妇对数（对）	领独生子女证夫妇数（对）
2000	99.81	95.17	0	90512	38490
2001	99.75	94.02	0	90668	33868
2002	99.39	93.30	0	89897	29862
2003	99.74	91.94	0	86956	26054
2004	99.60	91.60	0.06	87279	23681
2005	99.81	91.41	0.04	85497	22343

【照顾再生一个孩子的规定】

1985 年起，在提倡和推行 1 对夫妻只生 1 个孩子的同时，对确有困难需要照顾再生育 1 个孩子的家庭开展调查摸底，逐步安排生育。1999 年，照顾再生育一个孩子夫妇 178 对。至 2002 年，太仓明确可照顾再生 1 个孩子的对象 14 种：只有 1 个孩子，病残儿经医学机构鉴定为非严重遗传性疾病，目前无法治疗或系统治疗仍不能成为正常劳动力或严重影响婚配的；一方为二等乙级以上因公致残的军人、武装警察、公安民警、见义勇为人员，或一方为烈士的独生子女，只有 1 个孩子的；一方丧偶，另一方未生育的；一方离婚且只有 1 个孩子或依法生育过 2 个孩子，另一方未生育的；双方均未生育，依法收养后，又怀孕的；一方为两代独生子女或夫妻均为独生子女，只有 1 个孩子的；一方从事井下作业连续 5 年以上，现仍从事井下作业，只有 1 个女孩的；农村人口一方为独生子女，只有 1 个孩子的；农村人口只生育 1 个孩子，男方其他兄弟均无生育条件的；农村男方到无兄弟的女方落户并赡养女方父母，只有 1 个女孩的；农村中男方无兄弟且只有 1 个姐姐或妹妹，只有 1 个女孩的；女方定居在人均土地 0.33 公顷以上（以村计算）的沿海垦区，只有 1 个女孩的；农村中一方以海洋捕捞为业 5 年以上，现仍从事海洋捕捞业，只有 1 个女孩的；双方均为归侨或中国香港、中国澳门特别行政区及中国台湾地区居民，回内地定居不满 6 年且只有 1 个孩子，或双方所生育的孩子均不在内地定居的。凡符合以上条件规定，要求生育的，由夫妻双方申请，经市计生委审查，纳入市生育计划。1999 ～ 2005 年，累计批准再生 1 个孩子的夫妇 1408 对，年均 201 对。

1999 ～ 2005 年太仓市批准再生一个孩子的夫妇统计表

表 71　　单位：对

年份	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
数量	178	191	225	177	168	179	290

流动人口

【管　理】

1985 年年初，对外出或外来人员的计划生育管理，实行凡离乡在太仓境内的，由户口所在乡镇把外出人员的生育和采取避孕措施的情况通报现所在地，现所在地接到通报后，与当地人员同样管理；凡离开太仓县的，户口所在地在人员出去前，进行计划生育教育和避孕指导，建立联系制度，把情况转达现住地；对外来人员，由现住地与其签订计划生育合同并及时向原籍传递信息。1986 年春节，各乡镇召开以村为单位外出回乡人员座谈会，沟通计划生育信息。1991 年 9 月，浏河镇率先建立个体劳动者计划生育协会并按行业建协会小组，流动人员中的小商贩、个体经营户开始实行自我管理和服务，次年在全县推开。1992 年，县、乡镇两级建立流动人口管理办公室，对流动人口实行现住地和原户籍地共同管理。乡镇流动人口管理办公室，对辖区暂住人员逐一登记，并查验户籍所在地出具的婚育状况和计划生育证明。1999 ～ 2005 年，坚持现住地管理为主的办法，实行与当地人一样管理。

【服　务】

1986 年，对外来人员没有提供系统的服务。90 年代中期，对外来人员计划生育服务和指导工作逐步重视。2001 年起，凡外来的已婚育龄妇女，凭户籍地县级计生部门或者乡镇人民政府、街道办事处出具的生育证明材料，可申请办理“太仓市流动人口生育联系卡”。凭卡怀孕生育子女，境内所有医院均承担住院接产任务。对少数因特殊情况没有卡的，各医院及时接待并做好服务工作，在产妇住院的 24 小时内接产医院向市计生委流动人口管理科报告生育者的姓名、住院床位、户籍地、现居住地等情况，接报后即通知所属镇负责核查，限 2 天内反馈核查结果。2004 年下半年起，对外来人口提供免费服务。凡依法办理“太仓市流动人口

生育联系卡”的，凭卡享受当地人同样的生育保健服务；凡依法办理“流动人口婚育证明”并及时交验，验证后在太仓居住满半年、有固定居住地址和有效联系方法的，避孕药具免费，并提供免费随访服务；同样享受国家规定的基本项目计划生育免费技术服务；计划生育手术并发症经规定部门鉴定确诊后，诊疗费按医疗保险及有关规定给予报销。至 2005 年，累计有 2567 人办理“太仓市流动人口生育联系卡”。

专　记

中国生殖健康家庭保健培训中心

中国生殖健康家庭保健培训中心，是国家人口计生委为推进国际计划生育结合项目在中国的不断发展，在原“太仓计划生育结合项目培训中心”基础上建立起来的一个功能完备、手段先进、师资力量雄厚，具有相当规模的培训机构。是中国和日本政府合作建设项目，由国家人口计生委、日本国际协力机构和太仓市政府共同组织实施。

“结合项目”的起始　1983 年，太仓确定计划生育工作对外开放。同年，太仓被中国计划生育协会和国家计划生育委员会确定为国际计划生育结合项目试点地区。1984 年，根据国际计划生育联合会、日本家族计划国家协力财团、中国计划生育协会的共同协议，由国际计划生育联合会和日本家族计划国际协力财团资助，在中国江苏太仓、山东泰安实施为期 3 年的“计划生育、妇幼保健、寄生虫控制三结合项目”（简称结合项目）。太仓城厢镇作为第一周期试点区，涉及人口 12 万人。至 1986 年，试点区的妇幼保健水平尤其是出生婴儿的健康水平明显提高，围产儿、新生儿、婴儿的死亡率从 1984 年前的 30‰左右降至 10‰左右，达到国内大城市和接近发达国家的水平。同年，县委、县政府决定，以自力更生的原则在全县推开结合项目。同年年末，由联合国人口基金、国际计划生育联合会、日本外交部、日本家族计划国际协力财团四方组成的评估团经过考核评估，认为太仓结合项目堪称世界上的典范。1987 年，全县推开结合项目，广大群众自觉参与，政府、民间团体和专业技术人员组成最广泛的管理和技术服务队伍，提供最广泛和最好的服务，满足广大群众的保健需求。

设立“中心” 1992年10月,纪念结合项目工作10年,中国计划生育协会和国家计生委领导在太仓主持召开座谈会。30多位参会者一致肯定太仓结合项目的重大成果,国家计生委副主任彭玉等希望把太仓的经验和做法向国内其他地区推广,并把太仓作为对外计划生育宣传的窗口,提出建立计划生育培训中心的建议。同年10月17日,国家计生委批准成立“太仓计划生育结合项目培训中心”(简称中心)。中心归太仓县政府领导,编制、经费、设备由该县自行解决,并在江苏省和苏州市计划生育委员会指导下,接受国家计生委下达的各结合项目试点地区管理人员和技术人员的培训任务,实行有偿服务。1993年6月,日本家族计划国际协力财团理事长国井长次郎和国家计生委副主任彭玉为中心揭牌,中心开始正式运行。依靠太仓市计划生育委员会的人力和设施,承担了当地计划生育方面的有关领导、专兼职人员、技术人员的培训,同时每年接受国内结合项目试点地区管理人员和技术人员的2～3次培训。先后为30个省(市、区)的40多个县(市、区)培训了一大批计划生育结合项目的管理者和技术员。培训经费一般由国家计生委、日本家族计划国际协力财团或受训地区承担,教员或由当地安排,或由全国计划生育结合项目指导委员会专家组承担,或由日本家族计划国际协力财团委派。

建立“家保中心” 1993年起,计划生育技术服务的主要内容从避孕节育拓至生殖保健、提高居民的健康水平和生活质量。关注的人群从已婚育龄妇女扩至其配偶及未婚男女青年,甚至已经退出生育期的老龄人口在内的整个家庭。随着中心的运行,群众的保健意识越来越高,生殖健康得到广泛关注,全市家庭保健服务活动逐步兴起。同年,太仓市决定以家庭保健服务的形式代替计划生育服务,逐步扩大服务范围、拓展服务领域,抓紧时间筹建家庭保健服务中心。1994年3月末,依托市计划生育指导站的基础,太仓市家庭保健服务中心(简称家保中心)正式营业。各镇相继依托卫生院建立家庭保健服务所,承担其辖区内的相关服务工作。此做法得到日本家族计划国际协力财团的大力支持,先后2次派专家专程到太仓培训技术人员,4次邀请太仓的管理人员和技术人员专程赴日本考察、培训,并争取到日本邮政省国际志愿者贮金的资助,分别为两个中心添置了培训设备和医疗器材。同时在福建邵武、海南琼海等地和苏州市所辖县(市)开始全面推广。1995年7月14日,国家计生委常务副主任张维庆到太仓考察,为家庭保健服务和家庭保健服务阵地题词“希望之星”。

创立“CTC” 1997年,中国、日本双方开始新一轮合作的商讨。日本家族计

2005 年 9 月 30 日，加强中国中西部地区生殖健康家庭保健服务能力建设项目签字仪式

划国际协力财团理事长泽木正男提出争取将生殖健康家庭保健培训列入日本政府对华无偿援助的设想。2002 年年末，国家计生委正式向商务部提交项目文本。2004 年 7 月 6 日，中国、日本政府合作建设中国生殖健康家庭保健培训中心（简称“CTC”）的协议正式确立。同年 10 月，“CTC”破土动工，由太仓市政府投资并负责基本建设。占地面积 1.59 万平方米，建筑总面积 1.85 万平方米，基本建设投资 8600 万元，日本政府无偿援助价值 3 亿日元的培训设备和医疗保健器材。

“CTC”是非营利性的、公益性的，以推进人口生殖健康家庭保健为宗旨的事业单位，其主要任务是在国家人口计生委的指导下，有针对性地开展计划生育、生殖健康和家庭保健培训，提高服务人员的职业技能；推广计划生育、生殖健康和家庭保健适用技术和新产品，为知情选择提供技术支撑；开展与发展中国家、人口与发展南南合作伙伴组织成员国，以及发达国家的生殖健康家庭保健的技术合作，促进交流。资产归属太仓市政府，国家人口计生委在中心建设和发展中发挥指导、监督和扶持作用。目标是形成全国生殖健康家庭保健技术培训平台、技术和网络对接平台和发展中国家以至发达国家的生殖健康家庭保健技术交流平台。

2005 年 10 月 28 日，中国生殖健康家庭保健培训中心落成典礼

2005 年 10 月 28 日，“CTC”举行落成典礼。国家人口计生委主任张维庆、副主任赵白鸽，江苏省副省长王湛，科摩罗副总统卡比·埃尔亚克鲁图·穆罕默德，日

2005年10月,科摩罗副总统卡比·埃尔亚克鲁图·穆罕默德(右二)参观沙溪镇香塘社区

本家族计划国际协力财团理事长近泰男,人口与发展南南合作伙伴组织执行主任甘达豪,日本国际协力机构中国事务所所长木村信雄,以及来自20多个国家和有关国际组织的60多名高级官员,苏州市副市长谭颖,太仓市委书记程惠明、市长浦荣皋出席了落成典礼。

落成典礼结束,国际人口发展高级官员研修班随之开班。这是由中国政府首次举办的人口与发展领域的研修班,科摩罗副总统卡比·埃尔亚克鲁图·穆罕默德,刚果、肯尼亚、贝宁等来自非洲地区19个国家的部长、国会议员等卫生决策官员以及非洲联盟、人口与发展南南合作伙伴组织、国际计划生育联合会、日本家族计划国际协力财团的高级官员参加了开班仪式和研修班。研修班邀请国际著名专家、国际组织的代表以及中国政府官员为学员授课。江苏省委书记李源潮应邀作题为《构建和谐社会在江苏》的专题演讲。学员先后考察参观了沙溪镇香塘社区和太仓市青少年活动中心。

之后,伊恩·唐纳德妇产科超声培训学校落户“CTC”;中日技术合作“加强中国中西部地区生殖健康保健服务能力建设项目”确立,该项目是通过“CTC”为中西部19个省(市、区)项目地区的计划生育服务及相关人员开展培训,并通过项目确定的8个示范区,集中开展生殖健康家庭保健服务能力建设的各项活动,为中西部地区发挥示范作用;人口与发展南南合作伙伴组织亚洲办事处落户太仓,主要在于国际有关组织及国家人口计生委的领导希望利用“CTC”优势为世界特别是发展中国家的人口控制和计划生育工作更好地作贡献和尽义务,更好地向世界推介中国和太仓的计划生育工作。

基础设施

卷 六

JI CHU SHE SHI

1986 ~ 2005 年，太仓城市规模不断扩大，城区面积从 4.69 平方千米扩至 16.1 平方千米。城乡基础设施建设成效显著，相继建成了沿江高速、苏昆太高速、锡太一级公路等高等级公路。完成了城市饮水、城区污水处理、长江引水“镇镇通”、新浏河生态绿化带、农村电网改造等一批重点工程。城乡环境整治力度加大，绿化、美化、亮化、净化等工程先后完成。邮政、电信、移动通讯等设施发展迅猛。至 2005 年，境内已建成公路 851.18 千米、航道 373.22 千米；太仓港开发利用建港岸线 5556 千米，建成投运大小码头泊位 29 个和锚地 2 个；建成 35 千伏及以上变电站 53 座，架空输电线路 660.22 千米的太仓电网；邮政投递邮路总里程 2455 千米，有电信营业网点 23 个，数字移动通讯基站超过 100 个；水利设施建设加强，完成一批农田水利、河道治理、防洪排涝等工程，其中 1999 年完成主海塘达标工程，2004 年完成通江河道配套整治工程；太仓变成具有现代气息的中小城市。

一、城市建设

1986 年，城区总面积 4.69 平方千米，主要街道呈四横两纵格局。有人民、太平、梅园、府南、向阳、布厂新村等居民住宅区，总面积 57.82 万平方米，人均居住面积 9.81 平方米。公共建筑大部分 4 层左右。2005 年年末，市区总面积 16.1 平方千米，是 1986 年的 3.43 倍。主干道呈六纵六横格局，道路绿化率 100%。有桃园、昌平、富豪、果园、江南花园、名都花苑、彩虹花苑等 44 个居民住宅小区，总面积 200 多万平方米，人均居住面积 58 平方米，是 1986 年的 5.91 倍，大大超过小康目标。新区管委会、公安、商检、电信、银行等办公大楼及市医院、花园酒店等高楼大厦星罗棋布。太仓由一个典型的江南小城镇变成具有现代气息的中小城市、国家级卫生城市。

21 世纪初 204 国道夜景

城市规划

【总体规划】

1995年8月18日,由江苏省城乡规划设计研究院完成《太仓城市总体规划(1994～2010年)》编制,同年12月7日,经江苏省政府批准实施,为太仓市第一次城市总体规划。规划分近期(1994～2000年),远期(2000～2010年),远景展望(至21世纪中叶)3个阶段。将太仓市市区的性质定为"全市的政治、文化、商贸中心";市区界限为东、北至沪嘉高速公路太仓延伸段,南至新浏河,西至324省道改线段。总面积75平方千米,包括城厢镇全部,陆渡、板桥、南郊镇部分范围。城市人口规模,近期10万人,远期14万人,远景21万人左右。规划对工业、仓储、居地、商业、交通、城市道路及广场、公共设施、绿化等用地作出具体布局,对市区的交通、绿地、给水、排水、供电、电信、防洪、抗震防灾、消防、环境保护、环卫设施、郊区建设等项目作出详细规划。

2002年,制定太仓市第二次城市总体规划(2001～2020年)。同年8月由江苏省城乡规划设计研究院编制完成。2004年5月18日,经江苏省政府批准实施。规划分近期(2005年),中期(2010年),远期(2020年)。将城市性质定为"苏沪接壤地带现代化的港口、工业城市"。人口规模,近期为19.5万人,中期为22.5万人,远期为26.88万人。用地规模,近期为1892公顷,中期2251公顷,远期2734公顷。用地总体布局,以太平路为界,西至204国道,北至外环路,南至新浏河之间为老城区,用地以内部调整改造为主;太平路以东,北外环路以北,南郊、板桥为新城区,用地考虑各项配套的合理性。城市中心呈"L"形布局,商业中心位于县府街与人民路交叉口一带,行政办公和商务用地以及金融、信息、咨询等新兴服务业布置在新区的上海路两侧。居住用地形成旧城、南郊、城北、新区和板桥5个居住片区;老城区用地重点在配置绿化、提高设施水平;南郊、板桥需要在现状建制镇建设水准的基础上进行改造,并提高各项配套设施水平。控制204国道以西、南郊片区工业的发展;老城区的工业用地逐步迁移集中至工业园内;新区南部工业用地在规划期限内保留,远景条件许可时,改造为生活用地;新区东北角的工业用地内部调整,扩大规模;环城路北侧为市区工业的主要发展用地。城市绿地以新浏河、致和塘、盐铁塘、半泾河等主要河流以及郑和路、县府街、上海路、太平路、东仓路等

主要道路为主骨架，构建市区的绿地网络。

城市化发展的总体思路，以增强城市综合竞争力为中心，进一步做好“以港强市”和“接轨上海”两篇文章，不断强化中心城区、港区和特色片区的作用，加快形成以城区为龙头、港区为重点，沿江工业带和沿沪产业链为连接，沙溪片区支撑的哑铃形现代港口城市。把太仓市建成上海的产业园、创业园和后花园，最适宜于人居和创业的城市。

【规划管理】

1990 年起，宣传贯彻实施城市规划法，坚持“管理一个口、规划一张图、审批一支笔、建设一盘棋”的工作原则。同年，全县有 187 个建设项目办理规划审批手续，建筑总面积 13.3 万平方米。1991 年，沙溪、浏河、城厢 3 个镇办理建设项目 238 个，建筑面积 20 万平方米。1992 年起，全县实施核发规划用地许可证和建设工程规划许可证制度，全年办理规划用地许可证 351 份，建设工程规划许可证 108 份。1993 ～ 2005 年，全市共办理规划用地许可证 3625 份，面积 8025.79 万平方米；建设工程规划许可证 3201 份，面积 1306.17 万平方米。其中 2003 年，办理两证最多，规划用地许可证 589 份，面积 2369.33 万平方米；建设工程规划许可证 539 份，面积 198.3 万平方米。1999 年，办理规划用地许可证最少，131 份，面积 82.6 万平方米。2000 年，办理建设工程规划许可证最少，80 份，面积 10.9 万平方米。

1993 ～ 2005 年太仓市两证办理统计表

表 72

年份	规划用地许可证		建设工程规划许可证	
	办证数(份)	面积(万平方米)	办证数(份)	面积(万平方米)
1993	263	68.00	136	37.00
1994	208	41.70	135	34.70
1995	210	90.71	208	50.63
1996	178	11.70	183	39.39
1997	264	318.00	167	36.80
1998	219	216.98	191	67.90

续表 72

年份	规划用地许可证		建设工程规划许可证	
	办证数(份)	面积(万平方米)	办证数(份)	面积(万平方米)
1999	131	82.60	123	27.70
2000	179	99.30	80	10.90
2001	139	112.88	304	76.54
2002	404	327.87	334	111.57
2003	589	2369.33	539	198.30
2004	444	2657.13	429	342.34
2005	397	1629.59	372	272.40
合计	3625	8025.79	3201	1306.17

旧城改造

1992 年，太仓城区房屋拆迁管理办公室成立，抽调人员，对老城区开展摸底调查，在妨碍交通、影响市容的破旧建筑物墙上用红笔写上“拆”字。1994 年，市旧城改造指挥部成立。1996 年，改造建设 204 国道西门路段，拆除破旧房屋 2 万平方米，铺设彩色道板 1 万平方米、路侧石 200 米、下水道 1000 多米。

1997 年 4 月 15 日起，老城区中部的新东街、西部的西门街、致和塘南岸、吊桥西北堍、窦祠堂街等地块实施改造。先后拆迁 507 户，涉及 1602 人、180 多家企事业单位，拆迁房屋面积 51533.01 平方米，其中私房 21730.08 平方米，公房 12434.76 平方米，单位房 17368.17 平方米。签订补偿安置协议 502 份，其中私房 195 份，直管公房 238 份，单位房 69 份。新东街改造，路南以公共绿地为主，增加绿地 2 万平方米，路北建商业用房 2.5 万平方米，道路拓宽至 20 米；西门街路南绿化，道路拓宽至 20 米；致和塘南地块建住宅楼，沿塘驳岸边建 3 ～ 4 米宽的绿化带，绿化带南侧建 6 米宽的道路；吊桥西北堍两侧建桥头绿地。

1998 年起，启动旧城“三线三点”（三线：致和塘、盐铁塘和长春路贯通郑和路，三点：中心菜场、武陵街和北壕弄地块）改造，范围盐铁塘以西、上海路以北、长春路以东、郑和路以南，面积 1.8 平方千米，为老城区的中心繁华地段。武陵街地块用地 4.67 公顷，拆除旧房 3.43 万平方米；致和塘沿线，西起皋桥，东至新华大酒店，长 700 米，改造用地 3.8 公顷，拆除旧房 3.79 万平方米；盐铁塘沿线，南起

上海路，北至郑和路，长 1361 米，改造用地 4.07 公顷，拆除旧房 2.72 万平方米；北门街地块占地 10.47 公顷，拆迁面积 7.5 万平方米；长春北路地块占地 3.93 公顷，拆迁面积 2.37 万平方米；公园弄地块占地 1.8 公顷，拆迁面积 1.16 万平方米；影剧弄地块占地 1.87 公顷，拆迁面积 1.8 万平方米；长埭路西侧拆迁旧房 5788.5 平方米；中心菜场翻建房屋 1.9 万平方米；致和塘南岸翻建房屋 2 万平方米。工程共拆迁 1712 户，其中私房 578 户，公房 908 户，单位房 226 户。新建武陵街、长埭路、北门街、公园弄、长春北路、县府西路等街道，修复、改造包装、新建旅游文化景点 10 个，新增公共绿地 1.3 万平方米，建成武陵街、长埭路、北门街 3 条商业街，2 条风景带，4 个市民广场花园、3 个组团式居民小区。至此，旧城区 25% 面积改造完成。至 1999 年，1 万平方米的中心菜场竣工，并投入使用；新华西路拆迁房屋 143 户，面积 2.4 万平方米；疏浚致和塘并翻建石驳岸，沿河建绿地，供市民休闲散步。2002 年，西门地段拆迁 12 万平方米，涉及单位 160 家，居民 300 户。总投资 1.8 亿元。2003 年，西门地段 31.33 公顷改造，拆迁 12 万平方米，涉及拆迁户 600 户，新建筑面积 27 万平方米，其中市二中 2 万平方米；总投资 7.36 亿元，其中建市二中 2300 万元。2004 年，府南地块改造重建，东起市一中，西至人民南路，北起新华东路，南至上海西路，拆迁总面积 12 万平方米，涉及居民 910 户和 9 家单位、22 户商铺。2005 年，拆迁人民南路地段的太仓布厂、太仓经编厂，拓宽人民南路。对旧城区内的工厂企业，实行“退二进三”，搬迁至工业开发区，以地换地，退出的土地改建居民住宅小区，至年末，已建成阳光花苑、金色江南、果园新村等居民住宅小区。

市政设施

【街　道】

1986 年，城区主干道有新华路、人民路、体育路（上海路）、县府街。1988 年修筑太平路，主次干道总长 6.79 千米。1992 年，修筑长春路、东仓南路和南园西路、郑和路，基本形成三纵三横的格局。1993 年起，太平路以东开发区，逐步修筑的南北向主干道有东仓路、东亭路、娄江路、常胜路等，东西向的有南京路、弇山路、朝阳路等，至 2005 年年末，市区有主次干道 51 条，总长 61.76 千米，形成六纵六横主次干道的交通网络。

2005 年太仓市市区主要纵向街道一览表

表 73　　单位：米

路名	北起南至	长	宽
长春南路	新华西路至南园西路	1419	20
长春北路	弇山路至新华西路	1329	20
古塘街	弇山路至郑和西路	635	11
北门街	郑和西路至新华西路	715	18
武陵街	新华西路至上海西路	542	16
人民北路	弇山路至郑和路	583	34
	郑和路至新华东路	790	22
人民南路	新华路至南园路	1380	19
南门街	武陵街至滨河路	963	9
桃园路	北城河至郑和东路	900	11
小北门街	郑和东路至县府东街	621	11
太平北路	北城河至县府东街	1361	34
太平南路	县府东街至滨河路	1155	34
体育弄路	上海西路至南园路	355	12
长埭路	新华西路至上海西路	521	18
东港路	县府东街至新华东路	234	20
古松弄	县府东街至新华东路	271	9
公园弄	县府西街至新华西路	120	10
柳州路	上海东路至滨河路	1200	24
锦州路	上海东路至滨河路	1100	24
东仓路	南京路至滨河路	3200	40
扬州路	职教中心至朝阳路	600	24
东亭路	南京路至滨河路	3400	40
娄江路	南京路至滨河路	3300	34
常胜路	外环路至滨河路	3200	34
柳园路	北城河至郑和西路	738	16
实小弄	向阳路至县府街	272	9
太平弄	向阳路至县府街	280	9
万泾路	上海西路至康福路	234	12

2005 年太仓市市区主要横向街道一览表

表 74　　单位：米

路名	西起东至	长	宽
弇山路	204国道至娄江路	880	40
昆太路	吴塘桥至204国道	1320	32
郑和西路	204国道至人民北路	1003	30
郑和东路	人民北路至太平北路	1121	30
向阳路	小北门街至东仓路	1229	13
县府西街	204国道至人民北路	1000	22
县府街	人民北路至太平北路	676	15
新华西路	204国道至卖秧桥	997	24
	卖秧桥至人民北路	217	15
新华东路	人民北路至太平南路	808	20
上海西路	204国道至人民南路	1168	22
	人民南路至太平南路	752	26
南园西路	204国道至长春河桥	298	15
	长春河桥至南门街	547	20
南园东路	南门街至太平南路	695	16
铁锚弄	长埭路至武陵街	138	14
中心广场路	人民北路至府南街	160	15
武家桥路	南门街至太平南路	205	12
洛阳路	人民北路至太平北路	935	15
	太平路至常胜路	3100	24
郑和东路	太平路至娄江路	2600	34
朝阳路	太平路至常胜路	3100	34
上海东路	太平路至常胜路	2600	40
岳阳路	太平路至东仓路	1000	24
滨河路	太平路至常胜路	3050	34
庆阳路	太平北路至东仓路	600	20
康福路	万泾路至太平路	234	12

【城区跨河桥梁】

1985年年末,城区共有大小桥梁43座。随着城市道路建设迅速发展,桥梁逐年翻建、增建,至2005年年末,市区共有大小桥梁56座(不含住宅旁边的小桥)。另有城南新浏河上计划建造的新浏河、城南、南珠3座跨河大桥,其中城南大桥已完成主体工程。

盐铁塘　自北向南穿城而过,流入新浏河。城区沿河两岸建成石驳岸,跨河桥梁8座,由南向北为南门桥、南园桥、武家桥、弇山桥、卖秧桥、四(泗)安桥、盐铁塘桥、弇山路盐铁塘桥。

致和塘　又称太仓塘,自西向东穿城而过,与盐铁塘交叉成"十"字形。1997年、1999年两次疏浚,沿河两岸翻建石驳岸,河水干净,绿树成荫,为游人欣赏的风景区。跨塘桥梁19座,自东向西为周泾桥、太安桥、长安桥、普宁桥、州桥、新州桥、致和桥、海仓桥、四和桥、新仓桥、武陵桥、北濠桥、利济桥、海泉桥、皋桥、康乐桥、西长安桥、西水关桥、池塘桥。

城　河　环城区四周,1992年开挖西城河,南城河有2段(长300米、宽16米和长400米、宽16米)1996年被填埋。跨河桥梁17座,自大西门起,顺时方向为西门桥、县府西桥、马家地园桥、德兴桥、永红桥、人民桥、小北门桥、城北桥、向阳桥、弇东桥、惠阳桥、东城河桥、柳州路桥、锦州路桥、李家港桥、西城河桥、城西桥。

朝阳河　位于东城河西侧约300米,原名团结河。1978年开挖,自致和塘陶家桥至新浏河,城区内长890米,跨河桥梁6座,自南向北为滨河路桥、岳阳路桥、朝阳路桥、上海路桥、惠阳路桥、陶家桥。

南长春河　位于上海西路南,南园路北,东起梅园新村南侧,西通城河,全长600米,宽11米。跨河桥梁3座,自东向西为南长春河桥、长春南路桥、黄家桥。

东长春河　东起樊村泾,西通盐铁塘,1977年开挖,全长710米,宽9.3米。跨河桥梁2座,自东向西为体育弄路桥、长春桥。

樊村泾　俗称樊千泾,南通东长春河,北段已填塞。跨泾桥梁樊泾桥,位于上海西路与樊村泾交汇处,原名樊村泾桥,俗称崔官人桥,1995年1月重建,桥跨径6.4米。

【污水处理】

1986～1996年,全市(县)的生活、生产污水基本是直排直放,无污水处理设

施。1997 年，开始筹建污水处理厂。采用国内技术较稳定的 A2 氧化沟处理，除磷脱氮。接纳南至南园路、北至一级公路、东至太平桥、西至 204 国道及城厢镇西城区范围内的生活污水，尾水排放口设在厂区顾港河。规划总投资 16682 万元，日处理能力 4 万吨。工程分两期实施，一期工程，日处理能力 2 万吨，工程分期实施，分别于 1997 年 3 月和 2001 年动工。1998 年，二期配套工程污水管道动工建设。1999 年 5 月和 2002 年 9 月一期工程建成投运，2003 年 4 月通过苏州市环境保护局验收。2005 年 12 月，二期工程动工，日处理能力 2 万吨，次年年末竣工。至 2005 年年末，完成污水管道 2.65 万米，污水管网覆盖全市区。

1999 ～ 2005 年太仓市污水处理情况一览表

表 75

年份	进水总量（万吨）	化学需氧量（毫克/升）		生物需氧量（毫克/升）		固体悬浮物浓度（毫克/升）		最高日进水量（吨）	污泥处理量（吨）
		平均进水	平均出水	平均进水	平均出水	平均进水	平均出水		
1999	225	545	90	260	26	137	22	8931	—
2000	340	390	70	165	14	110	14	11308	—
2001	355	336	71	145	18	103	17	10652	—
2002	432	242	57	113	17	102	15	18642	804
2003	556	250	49	127	17	123	17	25436	534
2004	666	246	50	130	18	135	19	32193	654
2005	733	245	49	132	18	135	18	29365	380

注：2005 年污泥处理量中不含用于厂区绿化的污泥

公用事业

【公共交通】

1985 年 8 月，城区公交开通，有 45 座大客车 1 辆，专营环城线路。线路走向：联营公司车站—204 国道（原沪宜路）—新华路（由原西门街、新仓街、新华街 3 段组成）—人民北路—郑和西路（原浏太路）—204 国道—县长途站—联营公司车站。1995 年，环城线路定名为 1 路。同时，投放 19 座小公共汽车 1 辆，开通 2 路环城线路。线路走向：市汽车站—郑和西路—人民北路—县府东路—太平南路—上海

路—长春南路—新华西路—204 国道—市汽车站,总长 4.2 千米。1996 年,先后开通 101、102 路。101 路走向:市汽车站—204 国道—新华路—长春南路—上海西路—上海东路—太平北路—郑和路—板桥镇—新毛镇—新湖镇—204 国道—市汽车站,总长 26 千米。102 路走向:市汽车站—204 国道—新湖镇—新毛镇—板桥镇—郑和路—太平路—上海西路—长春路—新华西路—204 国道—市汽车站,总长 32 千米。1997 年,开通 103 路,走向:市汽车站—郑和西路—长春北路—新华西路—人民北路—县府西路—县府东路—东仓路,总长 4.6 千米。1998 年,市区公交线路统一为 1 开头的 3 位数(100 ～ 199)编号,1 路、2 路分别更名为 102 路、108 路。

2001 年 4 月,108 路调整线路走向:市汽车站—郑和西路—人民北路—洛阳路—太平北路—太平南路—南园路—人民南路—人民北路—郑和西路—市汽车站。同年 8 月,开通 105 路,走向:市汽车站—郑和西路—北门街—新华西路—人民南路—南园东路—太平南路—南珠大桥,总长 4.4 千米。2003 年 8 月,开通 109 路。2004 年 1 月至 2 月,分别开通 106、107、111、112、113 路,经市区主要道路后,分别向牌楼、板桥、陆渡、双凤、南郊、沙溪等地辐射。至 2005 年年末,市区有公交线路 101、102、103、105、106、107、108、109、111、112、113 路 11 条,总长 136.4 千米,投放班车 25 辆。

【供　水】

1985 年,城区的生活用水由自来水厂抽深井水供应。1986 年 5 月,建地面水厂供水。1995 年 6 月至 1999 年 8 月,改深井供水。1999 年 8 月 8 日,第二水厂建成,日供长江水 30 万立方米。(详见本卷城市饮水工程条目)

【供　气】

1988 年,太仓县振太液化气有限公司成立,最大储量 250 立方米。1992 年 11 月 7 日,太仓苏创液化气有限公司成立,最大储量 2426 立方米。1995 年 7 月 6 日,中国首座冷冻液化气终端站——苏州碧辟液化气石油气有限公司成立,建有 2 座 3.1 万立方米的冷冻液化气罐及容量 6200 立方米的压力罐和 11 个槽车泊车位。1999 年 3 月 11 日,太仓市万源液化石油气有限公司成立,最大储量 60 立方米。2005 年 12 月,天然气开通,闸门安装在城厢镇花墙村,铺设管道 33.9 千米。同时

铺设液化气管道 30 千米。（详见卷十工业燃气供应子目）

【路　灯】

1986 年，城区有路灯 326 盏（氖灯、白炽灯），采用钟控，主要分布在城区中心街道。1996 年 9 月，太仓市路灯管理所成立，隶属太仓市城乡建设局。路灯增至 3000 多盏，式样多是较陈旧的刀臂灯，采用经纬度呼灯控制器控制路灯开关时间。2001 年 10 月，路灯管理所划归太仓市城市管理局，先后对市区“四纵”（人民路、太平路、东仓路、北门街）“四横”（郑和路、县府街、新华路、上海路）主干道，各游园、沿街建筑物实施亮化美化工程，安装投光灯 9078 套。2004 年，安装三遥控制系统，实施电脑远程监控，随时调节路灯开关时间；形成路灯控制终端发生故障及时报警，方便及时修复。同年投资 380 万元，在市区亮化控制点安装首批智能节电器。2005 年 10 月，投资 700 万元在全市安装路灯控制智能节电器，每年可节约电费 160 万元。至年末，路灯控制范围由市区扩至港区，有路灯 1.7 万盏，冷阴极管和型号为 LED 灯带 2.1 万米，霓虹灯 7500 余组，型号为 PAR 投光灯 1000 余套，日光灯 1500 套，总功率 6400 千瓦。路灯和亮化控制箱 232 台，路灯光源为金卤灯、钠灯和汞灯，分布在老城区、新区、港区、园区等近 100 条道路和数 10 个小区，路灯输电线路长 389 千米。

园林绿化

【公　园】

弇山园　位于县府西街公园弄交叉点的北侧，建于民国初年（1912 年），原名游息山庄，沿称太仓公园、人民公园、弇山园。旧址海宁寺，园内有望海峰、大铁釜、通海泉、墨妙亭、郏亶墓和弇山堂六宝。

1988 年起，园内陆续修整，铺设道路 667 平方米，筑假山石驳岸 55 米，砌筑古典式围墙 90 米。1990 年，翻建九曲桥 1 座，新建猴棚 1 座，添置划船 4 条，同时新建画廊，修筑黄石假山驳岸，疏浚河道，整修园内道路。1991 ～ 1997 年，先后投资 182 万元，改造公园设施，其中投资 2 万元，新建儿童游乐场；投资 45 万元，完成公园一期改建；投资 120 万元，完善公园设施，增添娱乐器具；投资 15 万元，铺设草坪 1.5 万平方米。新栽树苗 3100 株，绿化覆盖率 98%。开凿土山 500 立方米，新

辟月季园、牡丹园、钓鱼场等游览项目。2002年3月始,借鉴太仓历史名园“弇山园”的创作构思,以传统与自然风格为基调,拓展改造公园,先后投资2300万元,把公园改建成3个部分。至2003年5月,公园南部建成历史文化游览区,重建弇山堂,增添嘉树亭、点头石、分胜亭、小飞虹、九曲桥、红枫谷瀑布、小溪玉等景点;东北部建成自然式景观区,新建盆景园、四季林区、留英涧、若香泾、振衣渡等景点;西北部建成游憩管理区,增添琅琊别墅入口、砖雕门楼、竹林清音、西归津等景点。面积由4.4万平方米增至6.67万平方米,重现昔日古园风光。

南　园　位于南园路,明万历年间始建,后毁于战火。1998年8月,开始重建修复南园,按原照片、原图形设计定位,占地面积3.33公顷。将街坊改造中有历史价值的10余栋古建筑的木料迁至南园,不足部分去外地采购,逐步恢复。至2005年10月,已恢复门楼、绣雪堂、香涛阁、大还阁、鹤梅仙馆、寒碧航、潭影轩和长廊等18处景点,整个南园充满古色风韵。

【中心广场】

位于县府街南,府南街与人民路之间,呈长方形,占地面积1.6万平方米。2001年动工,2002年年初建成。广场东西两头均为不规则的草坪,用仿花岗石石栏护之,并有多个花坛,坛中植有杜鹃、山茶、金叶冬青、红榉木等。另配有木架花廊,上爬凌霄、紫藤等,下有水泥木条凳供人休憩。中间大广场南侧,建长方形音乐喷泉。喷泉前为文艺表演区,后有郑和下西洋图案的青铜浮雕,左上方竖有40平方米的大型电视屏幕,供市民与游人观看新闻与文艺节目。大广场西侧有一小广场,建有圆形音乐喷泉。整个广场均用彩色花岗石铺地,场内有2根高12米的广场灯,26根彩色柱灯,其中14根能变换五色灯光,以及60余盏地灯。栽植植物以银杏、香樟、广玉兰、桂花为主,另有水杉、红枫、雪松、榉树等乔木100多棵。

【沿河风景线】

致和绿浪　致和塘是城区的一条古河。1998年,塘两岸砌起石驳岸,拆去旧房的基地变绿地,种植绿色的乔木,两岸建别致的小园多处,串成长长绿色林带,叠山石、筑翼亭、建绿地、辟幽径、立雕塑,古今融合、风情万般。至2005年年末,从西向东,两岸有元代皋桥、张溥故居、张溥塑像及张溥故居的牌楼,与盐铁塘交汇处的东侧有戚继光、李时珍莅临太仓上岸的双碑纪念亭,往东有元代州桥、明代大学士

王锡爵故居(太师门第)、明末清初的思想家“陆世仪读书处”与“桴亭月色”碑、元代周泾桥(海门第一桥),周泾桥北侧的东园是市区一处重要的街头园林式绿化小区。东园最大特点是江南园林的石抱山,太湖石近1000吨,绿色的树林,一处连一处,波涛起伏,组成致和绿浪。

新浏河风光带 位于市区南部新浏河两侧,全长3.3千米,占地面积83公顷,其中北岸占地面积50公顷,南岸占地面积33公顷。整个工程分3期进行,至2003年,东段一期工程竣工,长1200米,平均宽100米,总投资3000多万元,建有休闲广场、临水建筑、喷泉等景观,形成“水”为主题的景观广场区,并种植香樟、榉树、桂花、红枫、广玉兰等乔木。2005年,完成中段二期工程,长1100米,平均宽100米,总投资4500多万元,以生态景观为主,形成林木、水岸沼泽与都市商务景区、自然森林景区以及景观湖泊景区相结合的特色。初步建成后的新浏河风光带是周边地块最大的城市景观,集文化、娱乐、休闲为一体,夹新浏河而建,气势恢宏、风格独特,为市民休闲娱乐的好去处。

盐铁塘烟柳 1999年,启动盐铁塘风景线的建造,至年末,穿过市区的塘两岸均建有花岗石驳岸和白色的水泥栏杆,岸边遍植垂柳,沿河道路相通,四安桥头建有绿地,两岸相继建造多座亭阁,种植花草,修建小桥,塘两岸逐渐变得美丽多彩。夜晚,亭阁上的彩灯五颜六色,与岸边的灯光交汇在一起,更是美丽。

环境卫生

1986年,城区的环境卫生工作,由城厢镇环境卫生所负责。1997年,城厢镇环境卫生所更名为太仓市环境卫生管理所(简称市环卫所),隶属太仓市城乡建设局。2001年10月划归太仓市城市管理局。负责市区主次干道,部分国、省道和居民小区的保洁工作。

【城区保洁】

1986年,城区96名环卫工人,负责东门街、新东街、新华街、新仓街、西门街、县府东街、县府街、城北路、体育场路、人民路、太平路等路宽9米以上的沥青路或混凝土路面共11万平方米的街道清扫,及人民、太平、梅园、向阳、布厂新村等居民住宅区的保洁,日运垃圾30吨。1993年,老城区改造,住宅小区增多,市区人口增

加,道路拓宽延伸,沿河沿路风光带建立,市区地域逐步扩大,保洁面增大、保洁量增加。2000 年,保洁范围扩至新区。至 2005 年年末,环卫工人增至 323 人,其中事业编制 67 人,企业工人 12 人,临时工 244 人。负责 204 国道 52 千米、浏太路 11.5 千米及市区其他主次干道的全天候清扫保洁。市区主干道 24 小时昼夜保洁,保洁面积 210 万平方米;居民小区全方位保洁,保洁面积 45 万平方米。日运垃圾 300 吨,日产日清。同时,为 335 家单位提供卫生服务。

【环卫设施】

车　辆　1986 年,环卫所有车辆 5 辆,其中大粪罐车 2 辆,小粪罐车、垃圾自卸车、卡车各 1 辆。1990 年增至 10 辆。1995 年增至 16 辆。2000 年增至 36 辆。至 2005 年年末,有粪车、大小扫路车、洒水车、垃圾自卸车、装载车及挖掘机、推土机等各种类型车辆 54 辆。

垃圾中转站　1986 年,城区有垃圾中转站 2 座(中心菜场箱式中转站、古松弄菜场中转站)。1990 年,古松弄菜场中转站改建成箱式中转站。1996 年,投资 100 万元,新建箱式中转站 4 座。至 2005 年年末,市区共有箱式中转站 6 座,其中:上海路 2 座,惠阳路、长春北路、桃园路、中心菜场各 1 座。

垃圾填埋场　1986 年,城区垃圾主要堆放在北门和东门两个大粪站边上,以生活垃圾为主,农民用船装运回去改良土地。1992 年,运到毛太路和东新村两地堆放,作简单填埋处理。1996 年,在新湖镇新卫村征地 1.67 公顷,投资 350 万元,建垃圾填埋场。2003 年,投资 10 万元,用土 1 万立方米,提高填埋场四周坝堤。2004 年,投资 24 万元,用土 2.4 万立方米,再次提高填埋场四周坝堤,增加填埋场库容量。2005 年,规划在填埋场北侧征地 2.67 公顷,建新填埋场。

垃圾焚烧发电厂　垃圾集中填埋是城市处理垃圾的一种途径,但对周围环境和地下水有影响。2003 年 8 月,市政府邀请上海、北京、长沙等地区专家到太仓共同探讨垃圾处理办法并对处理方案进行评选。次年,市政府决定采用垃圾焚烧发电的环保型垃圾处理办法,以城市的生活垃圾和无毒害的工业垃圾为主要原料,通过先进的生产工艺和技术设备处理垃圾,利用垃圾焚烧的热能供热和发电,变废为宝,实现城市生活垃圾处理“无害化、减量化、资源化”。2005 年,由香港协鑫(集团)控股有限公司采用 BOO(协鑫集团提供资金、设备,市政府提供土地,支付垃圾处理费)形式,在双凤镇新卫村填埋厂的西侧,建垃圾焚烧发电厂,一期工程日处理垃圾 400 吨。

公　厕　1986 年，城区有公厕 44 座，多为旱厕，最小的公厕面积 6 平方米，分布在各大街小巷。1990 年起，先后对城区的公厕进行扩建改造。至 2005 年年末，市区的 33 座公厕，全部改为水冲式，由专人负责冲洗，每座公厕相应扩大蹲位，最大的公厕面积 78.2 平方米。

2005 年太仓市市区公厕分布情况表

表 76　　单位：座

位置	数量	位置	数量
西门街	3	上海路	2
老东门街	3	南门街	1
新东街	1	长埭弄	1
新民街	1	长春路	2
新华街	1	古松弄	1
人民南路	1	小北门	1
人民北路	1	梅园	1
县府路	2	南园路	1
太平路	2	中心广场	1
向阳东路	1	桃园路	1
向阳西路	1	洋沙	1
武陵街	1	北门街	2

城市管理

2001 年 10 月，太仓市城市管理局（简称市城管局）成立。职能是对城市管理实施综合执法，负责市容、环卫、路灯和市政设施管理。2003 年 11 月，太仓市城市管理行政执法局成立，与城管局合署办公，一套班子、两块牌子，在市区范围开展相对集中行政处罚工作。内设办公室、计划财务科、法制科、市容管理科、综合管理科。直属单位有城市管理执法大队、环境卫生管理所、路灯管理所、市政设施管理处。

【市容管理】

1986 年，市容管理处于非正规、非经常性状态。1989 年 3 月 16 日，城厢地

区市容监察队成立,由城厢镇政府和县城乡建设局双重领导,负责环境卫生管理工作。1994年5月30日,太仓城建管理监察大队成立,隶属太仓市城乡建设局。2000年,太仓城市监察执法大队成立,隶属太仓市城乡建设局城市管理办公室,主要负责市容市貌、拆除违章建筑、配合老城区改造等工作。2001年,就市容市貌、环境卫生等方面管理中存在的问题,进行综合整治。对主次干道实施“三拆四建”(拆破旧建筑、封闭围墙、杂乱广告,建规范店面、透景围墙、绿地花坛、广告灯饰);对住宅小区实施“四补一整治”(补道路、路灯、绿地、卫生基础设施,整治违章建筑);对农夹居结合部,以创建卫生村为载体,抓好道路硬化、绿化建设,改水改厕。同年11、12两个月现场纠违1200起,查处违章2300处,结案率100%。12月20日,城市监察执法大队划归市城管局。2002年,人民路、太平路、新华路、县府街、中心菜场、新城弄、古松弄路段和地块作为市容管理的重点地段,实行严格管理,建立严管街和示范地段,分别与69位路段长单位签署责任书,通过专项整治和长效管理、专职队员和协管员、职能部门与路段相结合的办法,上述地区的市容环境和秩序明显好转。之后,严管地段延伸至郑和路、武陵街、北门街及桃园菜场等路段。全年现场纠违3.6万起,查处违章1.76万处,结案率100%。2003年起,实施对户外广告、各类摊点、违章建筑、车辆乱停乱放的整治。至2005年年末,3年共现场纠违12.68万起,查处违章5.28万处,结案率99.33%,办案准确率100%。取缔流动广告牌4028块,拆除遮阳棚605个,清除乱张贴24.32万张,没收宣传单9.17万张,清除乱涂乱写6万多处。取缔流动摊点、夜排档46.31万处(次),纠正占道经营5.45万起,为40家早点摊、31家小修理摊审核发证,推出25家健康早餐。查处违章建筑879处,拆除415处,面积3.23万平方米。在城北村征地1.73公顷,投资300万元建成城北大型货车停车场,严禁乡镇的“五小”(轻便摩托车、摩托车、三轮农用机动车、小四轮农用机动车、四轮农用机动车)车辆进入市区。市区22个停车场(点),严格车辆停放,摩托车、自行车分区停放,头尾一致。

【市政设施管理】

1986年,市政设施的管理由太仓县城乡建设局和城厢镇政府共同负责,城厢镇政府具体实施。2002年,太仓市政设施管理处成立,负责市区82万平方米道路路面(包括沥青路面、混凝土路面、人行道板),5.3万米的下水道,47座桥梁及河道驳岸、栏杆的保养、维修。至2005年年末,累计保养、维修道路路面、人行道及道

板 2.17 万平方米，疏通下水道 15.08 万米，清理、更换窨井盖 9525 只。

2002 ～ 2005 年太仓市市政设施维护情况表

表 77

年份	路面（平方米）	人行道及道板（平方米）	疏通下水道(米)	清理窨井盖(只)	更换窨井盖(只)	各种护栏（米）	积水点（个）	驳岸（米）
2002	1325	1208	39200	2285	87	246	3	—
2003	4384	4980	14390	985	200	2234	18	—
2004	5040	1500	65000	3160	176	4984	4	—
2005	962	2322	32200	2500	132	632	4	35
合计	11711	10010	150790	8930	595	8096	29	35

二、交　通

公　路

太仓素为交通要隘，历史上以水运为主。中华人民共和国成立后，公路建设高潮迭起，从初级向次高级、高级发展。1985 年，境内有公路 142.704 千米。其中国道 24.201 千米，省道 20.804 千米，县道 97.699 千米。国道、省道均为沥青路面，二级公路，混合车道，县道为泥结碎石路面，混合车道。1987 年，太仓县黑色化路面建设指挥部成立，将境内砂石公路路面拓宽改建为沥青路面，至 1991 年，境内县乡公路全部黑色化。

1993 年，太仓市交通建设指挥部成立，将境内公路按等级公路拓宽改建。相继拓宽改建公路 164.52 千米，改道、新建公路 117.425 千米。至 2005 年年末，境内有公路 851.18 千米。其中国道 24.136 千米，省道 99.212 千米（含沿江高速公路），县道 154.287 千米（含苏昆太高速公路），乡（镇）道 350.88 千米，村道 177.849 千米，专用公路 44.816 千米。境内 7 镇 2 区和 125 个建制村（不含市镇、城建部门责任范围内的建制村）全部实现通等级公路。公路密度每平方千米 1.302 千米（不含长江水域），连通度 2.4（不含长江水域）。形成“三纵”（204 国道、沿江高速公路、338 省道）“四横”（339 省道、苏昆太高速公路、浏新线、224 省道）“四连接”（岳鹿线、太海线、新澄线、太蓬线）的公路网。

1995 ～ 2005 年太仓市境内公路调查情况对比表

表 78　　单位：千米

项目		1995年	2002年	2005年
总里程		640.0	672.473	851.18
按路网地位分	国道	24.0	24.196	24.136
	省道	20.9	59.998	99.212
	其中高速公路	—	0	21.842
	县道	91.4	128.469	154.287
	其中高速公路	—	0	20.312
	乡道	497.6	384.064	350.880
	村道		75.746	177.849
	专用公路	6.1	0	44.816
按技术等级分	高速公路	—	0	42.154
	一级公路	—	96.550	137.411
	二级公路	76.3	90.196	168.240
	三级公路	133.3	108.787	122.691
	四级公路	37.7	371.500	380.684
	等外公路	392.7	5.440	0
按路面技术状况分	沥青混凝土路面	193.1	158.676	357.015
	水泥混凝土路面	47.3	262.830	454.014
	简易铺装路面	355.0	116.181	2.824
	砂石路面	44.6	134.786	37.327
密度(不含长江水域)千米/平方千米		—	0.919	1.302
连通度(不含长江水域)		—	1.300	2.400

注：表中省道里程数由省交通厅道路养护 GPS 测定

【高速公路】

沿江高速公路太仓段　北起沙溪镇项桥村与常熟市交界处，南至嘉浏大桥，与上海嘉浏高速公路连接，全长 21.842 千米，路基宽 35 米，双向 6 车道，中间隔离带宽 4.5 米。与通港线交叉处、339 省道交叉处各建互通式立交桥 1 座，在城厢、

沙溪下匝道口各设收费站1个，在高速公路沙溪北两侧各设服务区1个。拆迁单位和农户328户，动迁房屋12.5万平方米，征地取土用地补偿费和动迁费9284万元。2001年2月工程启动，2004年8月竣工通车。总投资12亿元。

苏昆太高速公路太仓段　西自双凤镇新乐村与昆山市交界处起，东至浏河镇斑竹村338省道止，全长20.312千米。与204国道相交处的双凤镇维新村建互通式立交桥1座；与沿江高速公路在岳王双桥设置立交枢纽，以西路基宽35米，双向6车道，以东路基宽28米，双向4车道，中间隔离带宽均为4.5米；在岳王、双凤下匝道口各设收费站1个。拆迁单位和农户417户，动迁房屋15万平方米，征用土地241.47公顷，取土用地165.6公顷，征地取土用地补偿费和动迁费12344万元。2003年5月动工，2005年11月竣工通车。总投资14亿元。

2005年11月竣工通车的苏昆太高速公路太仓段

【国　道】

204国道太仓段　原称沪宜公路太仓段。北自沙溪镇泥桥村与常熟市交界处起，南至南郊新农村与上海葛隆镇交界处止，全长24.136千米。1992年起，历时两年左右，全线拓宽改建为超二级公路，并在六里庙处建太仓收费站。1998年，收费站迁至南郊与上海交界处。2005年始，拓宽改建为一级公路，设计速度每小时100千米，路基宽35.5米，双向6车道，中间隔离带宽2米。工程分三期进行。一期工程北自苏昆太高速公路与204国道互通立交桥起，南至204国道弇山路口止，长4.3千米，并新建204国道至苏昆太高速公路互通公路1.3千米；二期工程北自204国道弇山路口起，南至上海嘉定葛隆交界处止，长7.804千米；三期工程北自沙溪镇泥桥村与常熟市交界处起，南至苏昆太高速公路与204国道立交桥止，长12.032千米。同年3月一期工程动工，年末建成通车。完成投资1.7亿元。

【省　道】

339 省道太仓段　原称锡苏浏公路太仓段。西自城厢镇太丰社区与昆山市交界处起,东至浏河镇新闸村浮浏线止,全长 21.853 千米。1993 年始,投资 1330 万元,对 339 省道太昆交界处至 204 国道 3.12 千米路段,按二级公路标准拓宽改建,路基宽 30 米,主车道宽 15 米,两边慢车道宽各 4 米,两边人行道宽各 3.5 米。至 1995 年竣工。1995 ～ 1996 年,按二级公路标准拓宽改建 339 省道城区段(204 国道至横沥桥) 6.295 千米。1996 年,投资 5500 万元,对浏河镇至横沥桥 11 千米的路段,按一级公路标准拓宽改建,路基宽 34 米,行车道宽 24 米,双向 6 车道,中间隔离带宽 1.5 米。当年竣工。2003 年 3 月起,投资 1390 万元,对浏河镇东仓村顾家宅至浏浮公路 1.438 千米的路段,按一级公路标准改建,路基宽 26 米,行车道宽 20 米,双向 4 车道,中间隔离带宽 2 米。2005 年年末竣工通车。

339 省道太仓段(改线段)　西自双凤镇新闯村与昆山市交界处,东至浏河镇万安村 338 省道,全长 21.98 千米,路基宽 38 米,行车道宽 24 米,双向 6 车道,主路面两侧隔离带宽各 2 米,沥青混凝土路面,设计速度每小时 100 千米。拆迁房屋 1.5 万平方米,三线(电力电线、电缆光缆、广播线)迁移 109 条,拆迁及三线迁移补偿费 2500 万元。征用土地 31.81 公顷,征地取土补偿费 3700 万元。2004 年 2 月动工,2005 年年末完成新闯村至盐铁塘桥 6.3 千米路段。

338 省道太仓段　北自璜泾镇长新村与常熟市东张镇交界处起,南至浏河镇新镇村与上海洋桥交界处,与沪太一级公路相连接,全长 35.3 千米,与 339 省道相交于浏河镇东仓村大转盘。

大转盘至上海界 5.386 千米路段,按一级公路标准拓宽改建,设计速度每小时 100 千米,路基宽 28 米,双向 4 车道,中间隔离带宽 1.5 米,两侧慢车道宽各 3.5 米。其中大转盘至浏家港大桥 1.736 千米路段为拓宽改建,1995 年动工,次年竣工;浏家港大桥至上海界 3.65 千米路段为改道建设,1997 年动工,次年竣工,投资 2195 万元。

沪浮璜段,南起浏河大转盘,北至璜泾镇友谊桥止,长 24.7 千米,设计速度每小时 100 千米,路基宽 24.5 米,双向 4 车道,中间隔离带宽 1.5 米。1998 年 4 月动工,次年 9 月竣工通车,投资 2.47 亿元。新建延伸段,从璜泾镇友谊桥起至常熟市东张镇交界处,长 5.214 千米,2005 年 12 月动工,次年 10 月竣工通车。

224 省道太仓段　东自九曲新仓村 338 省道起,西至沙溪镇泥桥村与常熟市

交界处止，全长 19.131 千米，2003 年定为省道。全路段一级公路标准，沥青混凝土路面，设计速度每小时 100 千米，路基宽 30 米，双向 4 车道，中间隔离带宽 1.5 米，与 204 国道相交处建互通立交桥 1 座。分 3 段建设。其中东段九曲新仓村 338 省道至沙溪镇百花村沙鹿公路段 8.1 千米，由原沙九时公路部分路段拓宽改建，投资 6000 万元，1997 年开工，次年竣工通车；西段沙溪镇百花村至直塘区 204 国道段 8.253 千米，属新建公路，投资 7500 万元，2002 年开工，2003 年 8 月建成通车；204 国道以西 2.778 千米（又称锡太一级公路太仓段），路基宽 26.5 米，双向 4 车道，中间隔离带宽 2 米。该路段为省交通厅实施的建设项目，太仓市政府负责境内路段的拆迁工作。拆迁单位与农户 76 户，拆迁楼房 1073 平方米，平房 4137 平方米，厂房 6666 平方米，拆迁补偿费 2153 万元。投资 8000 万元，2003 年 11 月开工新建，2005 年 11 月竣工通车。

【县（市）道】

204 国道复线段　西自 204 国道城厢镇伟阳社区起，东南至与上海交界的嘉浏桥止，全长 7.185 千米，一级公路标准，路基宽 30 米，双向 4 车道，中间隔离带宽 1.5 米，与 339 省道交接处建互通立交桥 1 座。1994 年动工，1996 年 10 月竣工通车。总投资 1.2 亿元。

通港公路港区段　东自太仓港区中远码头起，西至浮桥镇新仓村 338 省道止，全长 5.555 千米，一级公路标准，路基宽 30 米，双向 4 车道，中间隔离带宽 1.5 米。1997 年动工，次年 10 月竣工通车。由苏州远太国际城开发有限公司投资建设。

浮浏线　原称沪浏浮公路。北自浮桥镇浪港水闸桥起，南至 338 省道浏河镇农场村止，全长 22.009 千米。其中浮桥至浪港段为原浮璜公路浮浪段。1993 年，投资 1300 万元，对浮浏线浏河至茜泾 5.697 千米路段，改建为二级公路，路基宽 26 米，双向 4 车道，主车道宽 15 米，两侧慢车道宽各 4 米。1995 年竣工通车。2004 年，对茜泾至仪桥 5 千米路段改建为二级公路，路基宽 28 米，双向 4 车道，主车道宽 15 米，两侧各 2.5 米宽隔离带和 4 米宽慢车道，至 2005 年年末，完成 2 千米。其余 11.312 千米路段，除部分市镇段随市镇建设改建外，均为三级公路，路基宽 7 ～ 9 米，混合车道。

太璜线　又名太海汽渡码头配套公路。自原太海汽渡码头至璜泾镇，全长 4.989 千米，路基宽 20 米，双向 4 车道，主车道宽 15 米。1995 年动工，年末竣工通

车。由苏州太海汽车轮渡有限公司投资1423.6万元建设。

鹿岳线 北自鹿河管理区起,南至岳王管理区止,全长26.412千米。1992年,投资610万元,按二级公路标准,拓宽改建鹿河管理区以南1.7千米路段,次年竣工。1996年,投资4800万元,按二级公路标准,拓宽改建鹿河管理区至沙溪涂松16.249千米路段(原沙鹿公路),路基宽18米,双向4车道。次年竣工通车。沙溪至岳王8.463千米路段,为三级公路,路基宽7～9米,混合车道。

新澄线太仓段 东自双凤镇维新村204国道起,西至维新村与昆山市交界处周湖桥止,全长5.738千米。1992年4月,新湖大桥至太昆交界处3.156千米路段,投资90万元,征地10.26公顷,按三级公路标准拓宽改建,路基宽8.5米,混合车道,沥青混凝土路面,次年竣工。1995年,东起204国道,西至新湖大桥(原新湖公路)2.582千米路段,投资250万元,按二级公路标准拓宽改建,路基宽24米,双向4车道,沥青混凝土路面,次年竣工。

牌新长线 北自牌楼浏新线起,向南横穿新塘至陆渡镇339省道长桥止,为S形走向,全长10.317千米。1991年,投资1150万元,按二级公路标准动工改建新塘乡境内6.514千米路段,路基宽16.5米,双向4车道,次年竣工。1997年,投资800万元,按三级公路标准动工改建米长河至长桥路段3.803千米,路基宽10米,混合车道,于次年竣工。1999年,实施新塘路段沥青罩面。

浏新线 又称新港公路。西自双凤镇维新村204国道起,东至浏家港镇338省道止,全长20.588千米,其中新建路段5.99千米,拓宽改建14.598千米。二级公路标准,沥青混凝土路面,总投资1.7亿元。1998年8月,拓宽改建204国道至新毛段(原新毛公路)2.8千米,2000年11月竣工。其余17.788千米,2000年5月动工,2002年10月全线竣工通车。浏新线牌楼以西15.3千米,路基宽24米,双向4车道,牌楼以东5.288千米,路基宽28米,双向6车道。

任周线太仓段 起于双凤镇勤力村,终点在勤力村与常熟市任阳交界处,全长0.219千米。2003年,按三级公路标准动工拓宽改建,路基宽9米,混合车道,水泥混凝土路面,当年竣工。

沙板线 又称陆板线。北自新毛徐泾村浏新线起,南至339省道横沥桥交叉口止,全长6.369千米。其中原板桥公路3.615千米路段改建成二级公路,路基宽24米,双向4车道,其余2.754千米路段建成三级公路,路基宽10米,混合车道。1996年动工,次年竣工。全路段均是沥青混凝土路面。

归何线　南自归庄鹿岳线起，北至归北村与常熟市交界处止，全长 1.382 千米。1996 年建成三级公路，路基宽 6 米，混合车道。

陆嘉线　又称飞沪路。北自陆渡镇区北 339 省道起，南至上海嘉定娄塘收费站止，全长 1.032 千米。1999 年改建为三级公路。路基宽 14 米，双向 4 车道。

双周线　东自 204 国道双凤镇入口处起，西至双凤镇勤力村与昆山市交界处止，全长 4.941 千米。1991 年，投资 600 万元，按三级公路标准建设，路基宽 10.5 米，混合车道。1994 年竣工通车。2002 年，按二级公路标准拓宽改建 0.809 千米市镇路段，路基宽 16 米，双向 4 车道。当年竣工通车。

浏华线　原称华浏公路。北起浏河镇橹漕河桥，南至浏河镇浏南村与上海华亭交界处，全长 1.009 千米，其中二级公路 0.481 千米，路基宽 16.5 米，双向 4 车道；三级公路 0.528 千米，路基宽 8.5 米，混合车道。1989 年动工拓宽改建，当年竣工通车。总投资 132 万元。

沙南线　东自沙溪镇松南村鹿岳线起，西至直塘镇 204 国道止，全长 8.221 千米。按三级公路标准，路基宽 10.5 米，混合车道，沥青混凝土路面，1993 年动工新建，当年竣工。总投资 1020 万元。1998 年扩建该路镇区路段，当年竣工。沙南线通车后，原茜直公路直塘至沙溪镇涂松村路段，功能逐步转变为镇区道路。

太蓬公路太仓段　东自城厢镇群星社区 204 国道起，西至城厢镇永丰村与昆山市蓬朗镇交界处止，全长 3.788 千米。为一级公路，路基宽 48 米，双向 6 车道，主车道两侧隔离带宽各 5 米。2003 年 11 月动工，次年 10 月竣工通车。总投资 8963 万元。

岳新线　南自新塘管理区牌新长公路大转盘起，北至岳王管理区浏新线止，全长 4.221 千米。2004 年，按二级公路标准动工拓宽改建，沥青混凝土路面，路基宽 25.5 米，主车道宽 16 米，双向 4 车道。次年年末竣工通车。总投资 2777 万元。

【专用公路】

1995 年，全市公路调查，查清专用公路 3 条，均在浏家港镇境内，为二级公路，总长 6.1 千米。其中华苏路 2 千米，滨江路 1.8 千米，石化路 2.3 千米。

1998 年，市水利部门投资 2600 万元，以原长江南北两段主江堤为路基，按四级公路标准，动工新建和改建主江堤路，行车道宽 7 米；以防洪防汛为主要功能，平时禁止大中型客货车辆通行，总长 44.816 千米。其中北段北自璜泾镇与常熟市

交界处起,南至苏浏线左港堤止,长 39.482 千米;南段东自浏河南岸青龙港码头起,西南至浏河镇与上海市交界处止,长 5.334 千米。2003 年竣工。2005 年,公路调查时,该公路定为专用公路,同时把华苏路、滨江路、石化路 3 条专用公路归入太仓港港区道路。

【乡(镇)、村道】

1984 年,境内 3 米以上非公路等级机耕路中有 382.11 千米可通汽车和轮式拖拉机。1995 年,境内达公路技术等级的乡村道路有 199 条 497.6 千米。2002 年,乡村道路为 172 条 459.81 千米。2005 年年末,乡村道路共 257 条 528.729 千米。其中乡(镇)道 145 条 350.88 千米,村道 112 条 177.849 千米。实现全境通等级公路。

2005 年年末太仓市乡(镇)道和村道情况表

表 79　　单位:千米

镇(区)名	行政等级	路名	长度	路名	长度	路名	长度	路名	长度	路名	长度
城厢镇	乡道	横港路	2.705	毛盐路	1.185	毛柴路	1.420	毛太路	4.761	沼泾村环路	2.621
		东林路	2.302	南丰路	4.182	永胜路	3.792	—	—	—	—
	村道	沼泾路	4.274	—	—	—	—	—	—	—	—
沙溪镇	乡道	高三路	5.234	三沙路	5.357	新茜路	5.155	茜国线	3.105	张虹线	0.891
		直泾线	2.526	金叶路	2.214	郁茜路	2.734	沙徐线	7.165	西新线	7.024
		未中中心路	1.371	半泾路	0.322	岳太线	2.913	新建路	1.148	横岳线	2.223
		新双线	1.234	邢巷路	2.785	唐桥中心路	2.141	管沙线	1.379	香归线	3.056
		归项线	5.959	香山线	2.718	归未线	0.520	陈沙路	1.265	沙直线	8.888
		岳杨线	1.653	沙北线	2.092	白云公路	3.894	—	—	—	—
	村道	光耀路	1.600	老岳星路	1.599	帆陈路	1.978	葛桥路	0.628	庄未路	0.944
		项新路	1.485	香凡路	1.209	双庆河路	0.622	洞星路	2.000	陶湾路	0.529
		开发区中心路	1.743	双浮线	1.537	—	—	—	—	—	—

续表 79

镇(区)名	行政等级	路名	长度	路名	长度	路名	长度	路名	长度	路名	长度
浏河镇	乡道	车闸路	2.134	三井路	2.894	六里路	2.263	常青横路	0.391	陆长路	2.858
		新浏路	4.600	东仓路	1.311	浏南路	0.338	新镇路	1.136	新青路	1.774
		新东路	0.576	郑和北路	1.413	新墙路	5.738	天浜路	2.154	高桥路	0.794
		新塘路	0.540	斑竹路	1.062	渔港路	2.757	浏家港政线路	1.855	江堤专用公路	3.635
		桃源公路	0.390	—	—	—	—	—	—	—	—
	村道	梅家路	0.251	嘉益路	0.170	石桥路	1.297	朱星路	1.332	江沿路	0.613
		凤洲路	2.089	新村路	0.540	中心路	1.600	张桥路	1.541	楼新路	1.455
		墙石路	2.007	新安路	1.230	天安1路	0.212	老桃源路	0.788	A路	1.371
浮桥镇	乡道	三寿路	2.238	陆塔路	0.495	中燕路	0.586	茜泾路	0.312	江征路	2.417
		健心路	1.246	浮宅路	2.772	七和路	1.358	七仪路	1.822	A新路	1.084
		石孔路	1.026	新桥路	2.009	荷池路	0.430	三新路	1.343	立新路	1.433
		陆六路	1.632	鸦浮路	2.259	庵浮线	2.439	华能路	1.485	金埝路	0.520
		通火线	0.841	鹿浮线	0.808	时沪线	1.623	浪锋线	2.053	老岳线	6.872
		老茜路	2.446	河道线	1.395	广金线	1.590	港新路	0.510	新通路	1.744
		时新路	1.388	时九线	5.241	九牌线	9.214	—	—	—	—
	村道	凤星路	0.931	中心路	0.974	新生路	0.526	茜燕路	1.817	荷池中心路	1.405
		和平路	1.098	和平中心路	1.158	茜泾河路	0.767	窑厂路	0.934	常家路	0.916
		江童路	1.574	大宅路	0.483	通西路	0.834	柳红路	0.928	茜泾河路	0.524
		万浪路	0.341	丰产量路	1.647	永新横路	1.074	方红路	0.707	火卫路	0.547
		红星路	0.718	先大路	1.241	先红路	1.250	新仓小区1号路	0.261	新仓小区2号路	0.392
		西赵桥路	2.404	方桥路	1.165	—	—	—	—	—	—

续表 79

镇(区)名	行政等级	路名	长度	路名	长度	路名	长度	路名	长度	路名	长度
璜泾镇	乡道	三高公路	1.870	建包线	2.626	建王线	3.331	草王线	5.477	建南线	1.530
		永乐路	1.848	璜广线	3.362	海璜线	3.047	荡茜路	0.329	长王线	0.749
		包璜路	2.928	新联路	1.627	明海路	3.359	江长线	1.231	鹿长线	2.853
		鹿明线	0.837	雅沙线	1.691	雅飞线	3.533	内江堤	2.472	林场线	2.790
		王秀线	1.564	浮璜线	9.875	太海公路	3.737	—	—	—	—
	村道	白荡路	0.831	杨何路	0.842	建民路	0.291	华广路	1.991	利华路	1.103
		荷花路	0.770	璜乐路	0.935	林海线	1.106	万新路	1.129	泗洲路	0.925
		滨海路	1.545	玉影路	1.281	伍鹿路	2.235	鹿南路	1.279	鹿茸玉路	1.236
		老浮璜线	1.374	—	—	—	—	—	—	—	—
双凤镇	乡道	新红路	2.165	凤新线	1.389	双同线	0.961	塘东线	1.797	上南线	2.010
		沿塘线	3.116	黄桥线	1.817	严家线	3.168	湖乐线	2.713	维新线	0.521
		新卫线	4.026	八共路	4.286	—	—	—	—	—	—
	村道	新立路	1.940	缪泾路	1.471	庆丰路	2.115	南转路	1.188	新杨路	0.847
		新闯公路	2.933	新闯公路支线	2.361	—	—	—	—	—	—
陆渡镇	乡道	新三港路	0.380	桃园路	0.633	洙泾纵路	0.677	洙泾横路	3.167	红新西湾路	0.954
		红新路	1.577	老三港路	0.351	东方路	0.891	红庙路	4.738	—	—
	村道	红庙1路	0.511	富达路	1.415	夏家桥路	0.784	江南路	3.473	中市路	1.365
		中市西路	3.137	飞沪北路	3.063	—	—	—	—	—	—
新区	乡道	四通路	1.670	窑水路	0.646	发达路	2.782	禅寺路	1.791	红毛路	1.586
		风桥路	1.605	小桥路	3.362	太平路	3.369	岳南线	0.862	—	—
	村道	太平北路	2.728	北京路	4.646	常胜路	4.059	娄江路	2.799	宁波路	3.850
		南京路	4.055	苏州路	3.530	东亭路	1.769	东仓北路	2.726	—	—

续表 79

镇(区)名	行政等级	路名	长度	路名	长度	路名	长度	路名	长度	路名	长度
港区	乡道	南环路	5.254	宾江路	8.772	—	—	—	—	—	—
	村道	向阳路	0.675	飞马路	1.069	滨泽路	1.776	协鑫路	3.336	华苏路	3.362
		东方路	2.844	石化路	2.250	滨洲路	1.274	滨江南路	1.776	滨海路	2.466
		经一路	2.888	经二路	2.720	纬三路	1.161	纬二路	1.369	纬一路	1.534
		北环路	4.902	玖龙大道	1.695	吴淞路	1.854	—	—	—	—

水　路

太仓自古有“沧海东濒”“娄江南绕”“七里纵一浦、十里横一塘”之说。境内塘浦纵横，河网交错，航道四通八达。80 年代至 90 年代，航道是市（县）内和外埠城乡物资运输的主要通道。市（县）内农用物资及农产品的运输，主要依靠航道。通往外埠的水路运输航线，由盐铁塘可通往上海、宝山、嘉定、常熟、江阴等地，由苏浏线可通往上海市、浙江省、苏南各地。至 90 年代末，市内等级航道仍承担建材、煤炭等大宗物资的运输，等外级航道发挥的作用甚微。2005 年年末，境内有航道 40 条，总长 373.22 千米。形成以两纵三横为主干航道，与 34 条支线航道相连接的水上运输网。

【航　道】

1985 年，境内有航道 50 条，总长 384.31 千米。其中六级航道 1 条，长 22.6 千米；七级航道 3 条，计 78.29 千米；等外级（八、九级）航道 46 条，计 283.42 千米。1992 年，经江苏省交通厅批准，苏浏线由六级航道核定为五级航道；盐铁塘、南石头塘分别由七级、九级航道核定为六级、七级航道。1993 年 3 月，航道普查，查清境内有航道 48 条，总长 377.46 千米。其中五级、六级航道各 1 条，分别长 22.6 千米、25.01 千米；七级航道 3 条，计 68.9 千米；等外级航道 43 条，计 260.96 千米。2003 年 4 月，航道普查，此次普查全程由苏州市航道处 GPS 系统测量，查清境内航道 40 条，总长 377.22 千米。其中等级航道 6 条，等外级航道 34

条；新增航道 2 条（蒲华塘、新开河），取消航道 1 条（致河塘），调整起讫点重新组合航道 7 条（六尺塘、三漫塘、向阳河、新陆塘、十八港、新时线、归窑线）；更名 2 条（新泾河、太蓬线）；比 1993 年减少 8 条。同年，江苏省航道管理局、苏州市航道管理处与上海市航务管理局共同为苏浏线、蒲华塘两条航道的航政管理权属事宜进行协调，依照航道所处的地理位置，按属地管理进行划分，明确蒲华塘（七级航道）归属江苏省；苏浏线（吴塘口至浏河口）22.14 千米划分为 5 个航段，其中 3 个航段 14.25 千米归属江苏省，2 个航段 7.89 千米（上海嘉定区陈家栅段 6 千米、全家村段 1.89 千米）归属上海市。2005 年年末，境内航道 40 条，总长 373.22 千米，其中等级航道 6 条，计 111.48 千米；等外级航道 34 条，计 261.74 千米。等级航道东西走向的有苏浏线、杨林塘、七浦塘，南北走向的有盐铁塘、南石头塘、蒲华塘。苏浏线是境内最大的通江河流，杨林塘是阳澄湖水系东泄长江的三大水道之一。等外级航道遍布各乡镇。

2005 年太仓市等级航道情况表

表 80

名称	起讫地点		等级	里程（千米）	技术尺寸（米）			通航能力（吨级）
	起	讫			面宽	底宽	水深	
苏浏线	浏河口	吴塘口	五	22.14	120～150	80～100	3.3～4.0	1000
盐铁塘	葛隆	窑镇	六	25.01	30～50	6～15	1.2～2.0	200
七浦塘	七丫口	吴塘口	七	26.06	30～40	10～18	1.5～2.0	200
杨林塘	杨林口	三千湾	七	27.60	40～50	10～16	1.5～2.0	200
南石头塘	苏浏线	七浦塘	七	15.76	30	12	1.4～2.0	150
蒲华塘	浏河口	洋桥（宝山）	七	2.80	35	18	2.2	500

注：苏浏线里程包括上海嘉定段 7.89 千米

2005 年太仓市等外级航道情况表

表 81　　单位：千米

航道名称	起讫地点		里程	航道名称	起讫地点		里程
	起点	讫点			起点	讫点	
吴塘	葛隆	七浦塘	26.20	湖川塘	南石头塘	周市金鸡湖	21.30
太蓬线	太仓南郊	昆山蓬朗	7.15	斜塘	盐铁塘	三千湾	5.70

续表 81

航道名称	起讫地点		里程	航道名称	起讫地点		里程
	起点	讫点			起点	讫点	
环城河	新开河	苏浏线	8.20	洙泾	南米场	十八港	9.00
半泾	新开河	七浦塘	12.08	十八港	苏浏线	七浦塘	15.30
新泾河	华亭新泾水闸	浏河龙王湾	4.00	江申泾	苏浏线	洙泾	2.90
新开河	苏浏线	盐铁塘（沽塘）	6.56	向阳河	老浏河	杨林塘	9.72
六里塘	新陆塘	仪桥	3.29	新陆塘	马桥口	南石头塘	9.99
葑涨塘	浪港	王秀镇	4.76	米场河	洙泾	杨林塘	6.66
千步泾	湖川塘	杨林塘	3.20	归何塘	归庄	何市陈泾	1.00
茜泾河	方家桥	石头塘	2.70	北石头塘	七浦塘	钱泾	8.73
六尺塘	杨林塘	浪港闸	7.68	归窑线	葑涨塘	窑镇	8.71
鹿鸣泾	鹿鸣泾口	时思	4.73	新时线	杨林塘	荡茜泾	11.06
浪港	浪港口	三里桥	12.93	陈大港	浪港	璜泾镇	3.95
涂璜线	涂松	璜泾西市稍	12.86	荡茜泾	荡茜口	璜泾西市稍	6.25
外家泾	归窑线	项桥	1.47	三漫塘	涂璜线	鹿河	5.10
钱泾	钱泾口	王秀	8.90	杨叶泾	湘里泾	王秀	1.70
新泾塘	新泾口	三漫塘	3.00	横沥泾	三里桥	四清河桥	4.96

【航道疏浚整治】

1986 ～ 2005 年，航道的疏浚整治，与排涝泄洪、农田灌溉等水利工程相结合，进行航道拓浚、截弯取直等工程，改善通航条件。

盐铁塘　1995 年 7 月，投资 110 万元，对双凤镇璜泾草场段 0.5 千米航道动工实施截弯取直工程，年末竣工，完成疏浚土方 8.3 万立方米，新建护岸 400 米。改善盐铁塘与杨林塘交汇处三大弯道通航环境。

1996 年，实施盐铁塘杜家桥航段裁弯切角取直工程。工程分三期施工。一期工程地处城厢镇东港村（俗称杜家桥）航段，此段 0.6 千米航道转弯半径小，弯道夹角小于 90 度。同年 6 月动工，投资 130 万元，实施截弯切角取直，11 月竣工，完成疏浚土方 5.8 万立方米，新建护岸 600 米。二期工程地处盐铁塘、湖川塘交汇段（俗称青墩口），即新湖、新毛交界处 0.5 千米航段实施裁弯切角取直。1997

年3月动工,投资133万元,同年11月竣工,完成疏浚土方6万立方米,新建护岸480米。既改善通航环境,同时使新湖煤场码头成为港池式专用码头。三期工程地处一期工程南端0.36千米航段,该段为“S”形航段,于1998年6月,投资118万元,实施截弯取直工程,同年9月竣工,完成疏浚土方2.8万立方米,新建护岸340米。

1999年6月,投资118万元,在弇北桥0.63千米航段动工实施疏浚工程,完成疏浚土方4.4万立方米,建造护岸400米,同年11月竣工。2004～2005年,投资230万元,在弇山路桥0.55千米航段,建造护岸550米,完成疏浚土方3.2万立方米。

南石头塘　1986年,南石头塘属等外级航道,底宽4～6米,面宽小于20米,水深0.6～1米,可通航10吨级以下船舶。1988年,按照底宽12米,面宽34米,河底高程吴淞正负0米的技术要求,实施拓宽疏浚、延伸、新建改建桥梁等整治工程。1989年,对岳王(杨林塘)至陆渡洙泾6.7千米河道,进行拓宽疏浚,完成土方40.2万立方米,改建桥梁11座。同时从陆渡洙泾向南至陆渡三港,开挖3.46千米河道与苏浏线交接,共挖土方34.6万立方米,新建、改建桥梁6座,新建三港套闸1座。1990年,对老闸(七浦塘)至岳王段5.6千米河道实施拓宽疏浚,完成土方33.6万立方米,改建桥梁9座。2004年,疏浚三港闸与苏浏线的交接段0.4千米航段,完成土方3000立方米。

新开河　全长6.56千米。1996年,投资1500万元,西起盐铁塘,东至梅园半泾,长2.5千米,开挖建设新开河北段(俗称城北河),面宽35米,底宽13米,河底高程吴淞正负0～0.5米,两岸新建水泥楼板护岸5000米,护岸顶标高吴淞4.3米,新建桥梁2座,开挖土方27万立方米。解决太仓协鑫电厂的燃料建筑材料运输、码头装卸、船舶待泊问题。

新开河南段从梅园半泾至苏浏线半泾湾,原为半泾河的一段,长4.06千米,属等外10吨级,河道底宽6米,面宽15米,水深1米。1998年,为改善区域排涝泄洪和水域环境,对致和塘东郊段至苏浏线半泾湾2.5千米河道,按城北河的技术标准进行拓宽、疏深,完成疏浚土方15万立方米,新建桥梁4座。致和塘东郊段至梅园半泾河段1.56千米,因流经东郊镇区,两岸工厂企业和居民住宅建筑众多而未予拓宽,成为该航道的碍航段。2003年,航道普查将此两段河道合并改称为新开河,定为等外30吨级航道。

【渡　口】

乡镇渡口　1985 年，境内有乡镇固定渡口 11 处，临时渡口 1 处。其中农村渡口 7 处，企业专用渡口 5 处。分别设在苏浏线、盐铁塘、杨林塘和七浦塘等干线航道上。1986 年，位于娄东、新毛交界处的杜家桥渡口和新湖、双凤交界处的杨林二号桥临时渡口，因渡运村民稀少撤渡。

1987 年 7 月，县、乡两级政府投资 7.5 万元，建造桩基结构混凝土码头 19 座，候船室（风雨亭）19 间，新建钢质渡船 9 艘，木质船和水泥船全部淘汰。同年，位于省海洋渔业公司内的东海渡口因浏河口外渡运环境恶劣，强制撤渡。1989 年 8 月，全县渡口达到“五定（定渡口、码头、渡工、客位、制度）、四化（渡船钢质化、候船站埠化、码头阶梯化、管理制度化）、三统一（统一渡船编号、渡船颜色、安全设备）”的要求，确保渡运安全无事故。

随着公路桥梁建设的发展，农村交通日益方便，乡镇渡口相继撤渡。1988 ～ 1991 年，位于苏浏线的浏河第二砖瓦厂渡口、七浦塘闸东的浮桥炼油厂渡口、牌楼杨林塘的牌楼第一砖瓦厂渡口、七浦塘的浮桥第二砖瓦厂渡口，因工厂关闭，无工人渡运先后撤渡。1992 ～ 1997 年，位于盐铁塘、杨林塘交汇处的横泾草场渡口（原称王泾仓场渡口）、苏浏线陆渡向东村的向东渡口、苏浏线城厢太胜村的新木桥渡口、苏浏线城厢朝阳村的朝阳渡口，因新桥建成，无村民渡运先后撤渡。2000 年 6 月，最后 1 处位于苏浏线城厢太胜村的袁家渡口，亦因大桥建成撤渡。至此，太仓成为苏州市首个无乡镇渡口的县级市。

太海汽渡　经航道、水利、港口等部门批准，同意在太仓、海门两地长江沿岸各自建设码头等水工建筑，用于太仓至海门汽车轮渡的渡运。由苏州太海汽车轮渡有限公司投资，在璜泾镇钱泾河口下游 350 米处，占用岸线长 300 米，建造码头和有关的配套设施。1995 年 2 月 16 日工程动工，同年 12 月 26 日竣工。码头工程投资 3461.7 万元，由引堤、斜坡式码头和防波堤组成。配套设施投资 375.46 万元，建有指挥中心楼、售票房、旅客待渡区、办公楼等经营性用房 1440.9 平方米；宿舍楼、食堂、商业房、材料仓库、汽车库等辅助用房 3182.28 平方米；油库房 22 平方米，110 吨油罐 3 个。建配套公路 1 条，投资 1423.6 万元，南接沪浮璜公路，北起码头引堤南端，全长 4.44 千米，路基宽 20 米，主路面宽 15 米，两侧各 2.5 米土路肩，水泥混凝土路面，荷载等级为汽 −20 挂 100。建成投运后，缓解苏北东部与苏南及上海地区交通流量日益增大造成汽车过江难的矛盾，促进长江两岸的沟

通与经济发展。

太海汽渡码头航线12.2千米,渡航时间超过45分钟,按照交通部“关于加强长江干线汽车轮渡安全管理的通知”规定,渡航时间超过30分钟的航线必须进行整改。2004年4月28日,太海汽渡实施码头搬迁整改工程。新码头由原址向上游迁至白茆河与新泾河之间,距白茆河口2069米,新泾河口2953米,占用岸线长250米,由太仓市汽车轮渡有限公司投资建设。工程包括码头、配套设施和配套公路3部分。

码头工程投资5834.2万元,包括引堤、防波堤、斜坡式码头等。其中引堤长674.7米,堤顶标高吴淞零6米,堤顶宽70米;东、西防波堤分别长180米、160米,堤顶宽3米,堤顶标高4.5米,堤头位于负2.5米等深线,有50米范围抛石护岸;斜坡码头引道长64.6米,坡度为1:10;设置刚性靠船墩和柔性靠船墩各6个,可同时停靠6艘“太海10号”船型渡船,设计日渡运能力6000～6500辆。2004年4月28日动工,次年8月31日竣工。

配套设施投资1735.78万元,建有售票楼、检票楼、候船长廊、办公楼等经营性用房5843.63平方米;宿舍楼、商业房、海事楼、公安楼、配电房、车库等辅助用房4337.26平方米;油库房77.82平方米,200吨油罐4个。

配套公路(太海公路)分A线和B线。A线北起新码头引堤南端,南接璜泾镇鹿河管理区岳鹿公路交叉处,全长3.678千米,为二级公路,路基宽20米,车速每小时60千米,荷载等级为汽－超20挂－120。全线建有桥梁1座(单孔13米),箱涵5道,管涵12道。2004年12月动工,次年9月竣工。投资3191.1万元。B线(待建)接沪浮璜公路延伸段,按一级公路标准设计,路基宽25.5米,车速每小时80千米,荷载等级为汽－超20挂－120。

2005年建成的太海汽渡

2005年年末,太仓市汽车轮渡有限公司共有载货定额为28辆东风标准车、载客定额为500人的钢质客货渡船5艘,资产3091.4万元。

2005 年太仓市汽车轮渡有限公司渡船情况表

表 82

船 名	船舶类型	主机功率（千瓦）	建成日期	建造地点	船舶总吨
太海渡2号	钢质客货渡船	2台440	1995-10-01	扬州	740
太海渡4号	钢质客货渡船	2台440	1995-09-26	扬州	708
太海渡6号	钢质客货渡船	2台440	1996-03-28	太仓鹿河	889
太海渡8号	钢质客货渡船	2台440	1996-10-01	扬州	777
太海渡10号	钢质客货渡船	2台440	2003-12-23	扬州	811

【内河港口】

1986 年，境内有城厢、浏河、沙溪、娄东 4 个内河港口。90 年代，建璜泾港，娄东港并入城厢港。2005 年年末，境内有城厢、浏河、沙溪、璜泾、浮桥 5 个内河港口，总面积 26.52 万平方米，其中堆场面积 23.87 万平方米。码头泊位 138 个，占用岸线长 3643 米。起重机械 152 台，核定负载 492.5 吨。年吞吐量 608.82 万吨。

城厢港 位于境内西南部，浏河塘、吴塘、盐铁塘和半泾河环抱城区。城厢镇是市（县）政府所在地，经济总量大，城市建设步伐快，带动了港口发展。1995 年，在浏河塘北岸地段，港机林立，货场相连，每天的货物吞吐量 1 万吨以上。同时造成浏河塘水域及其北岸地区环境的严重污染。1998 年，在创建全国卫生城市的过程中，市政府决定东起半泾河，西至盐铁塘，沿浏河塘北岸兴建浏河塘风光带，整治污染，美化环境，搬迁此地段 12 个码头、10 个货场、16 台吊机。2005 年，港口面积 13.04 万平方米，其中堆场面积 11.74 万平方米。码头泊位 71 个，占用岸线长 1210 米，最大可停靠 300 吨级船舶。起重机械 81 台，核定负载 263.5 吨。年吞吐量 335.9 万吨。

浏河港 位于境内东南部。浏河塘东西向横贯于浏河镇南部，大宗货物由此水运，向东入长江可达沿江各省、市，向西可达昆山、苏州等地，是境内重要的内河港口。1986 年，浏河港有 28 个码头泊位，占用岸线长 283 米，港区面积 4800 平方米，堆场面积 3500 平方米。年吞吐量 20.56 万吨。2005 年，港口面积 7.34 万平方米，其中堆场面积 6.61 万平方米。码头泊位 33 个，占用岸线长 1601 米，最大可停靠 300 吨级船舶。起重机械 36 台，核定负载 125 吨。年吞吐量 134.62 万吨。

沙溪港 位于境内中部偏西。七浦塘流经沙溪镇南，向东可达长江，向西与盐

铁塘相连,与周边县(市)贸易发达。80年代至90年代初,利泰棉纺厂、化肥厂、发电厂、油厂、面粉厂、轧花厂等均在港区内设置自备码头。各种生产原料、燃料、工业产品及建筑材料等经港口装卸,分流转运。港口作业繁忙。1995年始,调整产业结构,深化经济体制改革,企业自备码头逐步停止使用。2005年,港口面积1万平方米,其中堆场面积9000平方米。码头泊位8个,占用岸线长210米,最大可停靠150吨级船舶。起重机械9台,核定负载28吨。年吞吐量43万吨。

浮桥港　位于境内东部。七浦塘和杨林塘东西贯穿浮桥镇中部和南部,向东均可入长江,向西均与盐铁塘相通。浮桥镇是太仓港港区所在地,随着太仓港码头泊位的发展,航线拓展增开,疏港物质逐年增加,内河港口码头泊位和货物吞吐量随之增加。2005年,港口面积4.24万平方米,其中堆场面积3.82万平方米。码头泊位19个,占用岸线长382米,最大可停靠150吨级船舶。起重机械19台,核定负载58吨。年吞吐量64.12万吨。

璜泾港　位于境内西北部,荡茜泾、蒋泾、钱泾流经璜泾镇辖区。璜泾镇是太仓高速纺生产基地,民营企业发展快,通过水运的原材料、辅助物资、基建材料需求量不断增加,港口装卸业随之发展。1996年,成为境内西北部的重要内河港口。2005年,港口面积9000平方米,其中堆场面积8000平方米。码头泊位7个,占用岸线长240米,最大可停靠50吨级船舶。起重机械7台,核定负载18吨。年吞吐量31.18万吨。

桥　梁

太仓境内河流密布,桥梁甚多。1985年,有公路桥梁173座,共3621.78米。其中204国道(沪宜公路)桥梁39座,计744.23米;339省道(锡苏浏公路)桥梁18座,计380.18米。跨航道桥梁442座,其中主要航道上85座。

随着公路建设的发展和航道等级的提升,跨河桥梁也随之改建或重建,不仅结构变化,而且技术标准也相应提高。采用桩柱空心板梁,桩柱PC空心板梁,桩柱组合连续箱梁等多种结构类型的桥梁,淘汰平板桥、双曲拱桥、桁架拱桥、砖拱桥。1995年,桥梁普查,查明与公路不配套桥梁有85座,并在其后公路改、扩建工程中逐步解决。1996年10月,境内首座太浏立交桥竣工通车,标志着公路交通向立体道路交通发展。2001年2月,境内首条沿江高速公路开始建设,除了建设高标准

的跨河桥梁，同时建设跨越地面道路的立交桥和高速公路的上跨桥。桥梁承载负荷达到汽－超20－挂120公路Ⅰ级荷载标准。2005年11月，完成苏昆太高速公路与沿江高速公路互通立交枢纽。至2005年年末，境内有公路桥梁780座，总长27143.74米（不含市政、城建部门责任范围内的建制村道路桥梁）。其中高速公路桥梁36座，国道桥梁32座，省道桥梁59座，县（市）道桥梁120座，镇（区）村道桥梁526座，专用公路桥梁7座。按桥梁跨径长度（延米）分类，特大桥3座、大桥21座、中桥211座、小桥545座。跨航道桥梁494座，总长17981.84米。其中等级航道上桥梁104座计7785.84米（含同时为公路桥梁的60座计5707.94米），等外级航道桥梁390座计10196米（含同时为公路桥梁的88座计4159米）。

【公路桥梁】

沿江高速公路（太仓段）桥梁 2003年建成，全线桥梁承载负荷：汽－超20挂－120。2005年共计24座3401.2米。

2005年沿江高速公路（太仓段）桥梁一览表

表83　　单位：米

桥名	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构
张泾中桥	35	53.54	16.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
茆漕中桥	35	53.54	16.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
归虹公路分离式立交	35	117.52	16.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
葛家中桥	35	44.56	13.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
米泾中桥	35	53.52	16.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
涂松村中桥	35	53.54	16.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
沙北公路分离式立交	35	66.16	16.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
七浦塘中桥	35	82.40	25.0	PC组合梁	桩柱式墩台
沙南公路分离式立交	35	386.60	20.0	PC连续箱梁	桩柱式墩台
胜利村中桥	35	44.58	13.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
三仓村中桥	35	44.58	16.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
三仓河中桥	35	44.57	13.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
楼中浜小桥	35	34.12	10.0	PC空心板梁	桩柱式墩台

续表 83

桥名	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构
楼巷村中桥	35	85.64	16.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
大柴塘中桥	35	44.53	13.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
杨林塘大桥	35	602.40	50.0	组合连续箱梁	桩柱式墩台
湖川塘中桥	35	53.58	16.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
陈子河中桥	35	53.62	16.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
东风村中桥	35	53.62	16.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
板新中桥	35	50.62	16.0	箱形梁	桩柱式墩台
禅寺路中桥	35	66.25	20.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
朱泾中桥	35	56.63	16.0	PC空心板梁	桩柱式墩台
太仓互通	35	1220.96	35.1	组合连续箱梁	桩柱式墩台
太胜村小桥	35	34.12	10.0	PC空心板梁	桩柱式墩台

苏昆太高速公路(太仓段)桥梁 共计 12 座 4834.75 米,2005 年建成。上、下部结构分别为 PC 空心板梁、桩柱式墩台,全线桥梁承载负荷:汽－超 20 挂－120。

2005 年苏昆太高速公路(太仓段)桥梁一览表

表 84　　单位:米

桥名	宽	长	最大跨径	桥名	宽	长	最大跨径
杨林塘特大桥	35	765.85	85.00	板桥路分离式立交	35	440.00	22.00
新乐村中桥	35	57.50	13.00	牛七泾中桥	35	53.50	16.00
吴塘河大桥	35	458.20	25.00	主线桥	35	1030.50	26.00
204互通主线桥	35	824.50	30.15	千步泾中桥	28	85.50	16.00
东仓路分离式立交	35	550.90	16.00	南石头塘桥	28	107.70	25.08
中桥	35	53.50	16.00	米场河大桥	28	407.10	25.09

204 国道(太仓段)桥梁 1985 年有 39 座。1991 年 9 月至 1993 年 10 月,东株里泾、新胜、蒋家港、古塘、陈庄泾、白泾、燕头泾、棋泾 8 座桥梁先后改建为涵洞。2005 年,共有桥梁 32 座 1720.32 米。其中新建锡太上跨桥 1 座。

2005 年 204 国道（太仓段）桥梁一览表

表 85　　单位：米

桥名	建成时间	长	宽	最大跨径	上部结构	下部结构	承载负荷
杨林桥	1991–09	42.80	20.0	14.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
新浏河桥	1991–10	165.70	17.0	25.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
西埠桥	1991–10	33.80	26.5	11.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
池塘桥	1992–06	41.30	23.2	14.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
双凤桥	1992–06	38.80	22.6	10.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
毛观堂桥	1992–06	20.80	27.5	10.0	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
东湖川堂桥	1992–06	42.80	35.0	16.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
杜柴塘桥	1992–06	19.50	20.0	7.1	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
野张泾桥	1992–08	17.40	20.0	10.0	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
斗门泾桥	1992–09	14.70	20.0	8.0	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
李庄泾桥	1992–09	22.10	20.0	10.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
武庄泾桥	1992–09	45.40	20.0	8.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
缸浜桥	1992–09	21.20	20.0	8.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
薛家泾桥	1992–09	19.00	20.0	13.0	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
杨泾桥	1992–10	24.04	20.0	16.0	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
黄古塘桥	1992–10	24.30	20.0	16.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
戴泾桥	1992–11	37.20	20.0	17.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
谢泾桥	1993–08	19.10	20.0	10.1	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
夏家泾桥	1993–08	13.60	20.0	6.1	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
缪泾桥	1993–09	13.20	20.0	9.2	实心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
曹泾桥	1993–09	21.10	20.0	10.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
秦江门桥	1993–09	16.80	20.0	10.3	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
泥桥泾桥	1993–10	23.00	20.0	13.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
直塘桥	1993–10	50.80	22.6	16.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
南转街桥	1993–10	13.80	20.0	7.1	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100

续表 85

桥名	建成时间	长	宽	最大跨径	上部结构	下部结构	承载负荷
岳堤桥	2005-09	20.00	32.0	20.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
泥泾桥	2005-09	20.00	32.0	20.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
郭家泾桥	2005-09	16.00	32.0	16.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
新开河桥	2005-09	16.00	32.0	16.0	实心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
紫藤门江桥	2005-09	16.00	32.0	16.0	实心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
锡太上跨桥	2005-11	814.08	26.0	22.5	空心板梁	桩柱式墩台	汽-超20挂-120
肖家泾桥	2005-11	16.00	32.0	16.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100

338省道(沪浮璜公路段)桥梁 共计22座685.35米。其中浏家港大桥1992年建成,1996年10月完成拓宽改建。1998年4月动工建其余21座桥梁,次年7月至9月间相继竣工。浏家港大桥因桥下过往船只的冲撞和桥上车辆的碾压,2005年春运期间,经专家鉴定,被列为危桥,同年2月8日实施封桥抢修,更换整桥桥面,加固桥墩立柱,年末竣工通车。全线桥梁承载负荷:汽-20挂-100。

2005年338省道(沪浮璜公路段)桥梁一览表

表 86　　单位:米

桥名	建成时间	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构
浏家港大桥	1992-12	24	166.00	40	I形梁	桩柱式墩台
新泾桥	1998-07	28	8.60	8	空心板梁	重力式桥台
橹漕南桥	1998-07	28	20.60	20	空心板梁	重力式桥台
老浏河南桥	1998-07	28	46.60	20	空心板梁	桩柱式墩台
六尺塘桥	1998-07	25	10.78	10	空心板梁	重力式桥台
九曲北桥	1998-07	25	62.00	20	空心板梁	桩柱式墩台
浪港桥	1998-07	25	32.00	16	空心板梁	桩柱式墩台
太浦塘桥	1998-07	25	10.60	10	空心板梁	重力式桥台
荡茜泾桥	1998-07	25	22.00	13	空心板梁	重力式桥台
蒋泾塘桥	1998-07	25	20.00	20	空心板梁	桩柱式墩台

续表 86

桥名	建成时间	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构
界泾桥	1999–08	25	10.73	10	空心板梁	重力式桥台
夜未泾桥	1999–08	25	6.56	6	空心板梁	重力式桥台
荷池桥	1999–08	25	10.78	10	空心板梁	重力式桥台
吴淞浜桥	1999–08	25	8.46	8	空心板梁	重力式桥台
沙沟塘桥	1999–08	25	6.62	6	空心板梁	重力式桥台
六窑塘桥	1999–08	25	10.60	10	空心板梁	重力式桥台
塘泾河桥	1999–08	25	10.70	10	空心板梁	重力式桥台
横梳河桥	1999–08	25	6.56	6	空心板梁	重力式桥台
杨林塘大桥	1999–08	25	145.00	45	空心板梁	桩柱式墩台
钱泾河桥	1999–09	25	6.56	6	空心板梁	重力式桥台
大浜河桥	1999–09	25	6.60	6	空心板梁	重力式桥台
七浦塘桥	1999–09	25	57.00	25	空心板梁	桩柱式墩台

339 省道(太仓段)桥梁 1995 年,开始拓宽改建桥梁。同年,清福泾桥、坚头港桥、庞家桥 3 座桥梁改建为涵洞。次年小塘子(何家桥)改建为涵洞。2002 年,339 省道调整起讫点,橹漕河桥归入。2003 年 10 月,新建娄江河桥。2005 年,共计 16 座 398.5 米。全线桥梁承载负荷:汽 –20 挂 –100。

2005 年 339 省道(太仓段)公路桥梁一览表

表 87 单位:米

桥名	建成时间	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构
橹漕河桥	1994–10	30.5	14.6	6.0	空心板梁	重力式桥台
杨家浜桥	1994–10	26.3	12.4	12.4	空心板梁	重力式桥台
狄家桥	1995–09	24.5	18.9	10.0	空心板梁	重力式墩台
大半泾桥	1995–09	24.6	24.7	10.0	空心板梁	重力式墩台
黄家河桥	1995–09	24.6	16.4	13.0	空心板梁	重力式墩台
盐铁塘桥	1995–09	22.4	45.9	25.0	桁架拱	重力式墩台
吴塘桥	1995–09	26.5	52.0	16.0	空心板梁	桩柱式墩台
王千泾桥	1995–09	26.8	19.0	10.0	空心板梁	重力式墩台
长桥	1996–08	34.0	44.6	14.0	空心板梁	桩柱式墩台

续表 87

桥名	建成时间	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构
倪家桥	1996–08	34.0	18.0	8.0	空心板梁	桩柱式墩台
腰泾桥	1996–08	36.0	18.0	8.0	空心板梁	桩柱式墩台
陆渡桥	1996–08	36.0	34.0	12.0	空心板梁	桩柱式墩台
界泾桥	1996–08	34.0	20.0	10.0	空心板梁	桩柱式墩台
横沥桥	1996–08	34.0	20.0	10.0	空心板梁	桩柱式墩台
农泾桥	1996–09	34.0	20.0	10.0	空心板梁	桩柱式墩台
娄江河桥	2003–10	24.5	20.0	10.0	空心板梁	重力式墩台

339 省道改线(太仓段)桥梁 共计 2 座,分别为黄泥泾桥、吴塘河桥。其中黄泥泾桥长 34.04 米、宽 38 米,最大跨径 10 米;吴塘河桥长 157.5 米、宽 38 米,最大跨径 30 米。2005 年 11 月建成,全线桥梁承载负荷:汽 –20 挂 –120。

224 省道(太仓段)桥梁 2005 年,共计 19 座 949.28 米。其中通港公路桥梁 16 座 826.3 米,锡太一级公路桥梁 3 座 122.98 米。

2005 年 224 省道(太仓段)桥梁一览表

表 88 单位:米

桥名	建成时间	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构	承载负荷
百花桥	1997–07	24.5	29.00	12.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
石家泾桥	1997–09	24.5	32.50	13.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
芦沟河桥	1997–09	24.5	11.20	10.0	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
绿化桥	1997–09	24.5	11.20	10.0	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
中沟桥	1997–09	24.5	6.00	5.0	板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
东洋泾桥	1997–09	24.5	7.20	6.0	板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
西洋泾桥	1997–09	24.5	9.20	8.0	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
东沟桥	1997–09	24.5	9.20	8.0	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
北闸桥	1997–09	24.5	47.20	20.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
漕头塘桥	1997–09	24.5	14.20	13.0	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
踏累桥	1997–09	24.5	9.80	8.6	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
新泾河桥	1998–07	24.5	9.20	8.0	空心板梁	重力式墩台	汽–20挂–100
沿江高速上跨桥	2003–07	24.5	507.70	23.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–超20挂–120
沙洪桥	2003–07	24.5	43.00	13.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100

续表 88

桥名	建成时间	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构	承载负荷
泰洪桥	2003–07	24.5	20.70	13.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
泥中桥	2003–07	24.5	59.00	26.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
芦泾中桥	2005–11	26.0	44.46	13.0	PC空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
吴塘小桥	2005–11	26.0	34.06	10.0	PC空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
新建河中桥	2005–11	26.0	44.46	13.0	PC空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100

市(县)道公路桥梁 2005 年,共计 120 座 3812.7 米。

2005 年太仓市(县)道公路桥梁一览表

表 89 单位:米

路名	桥名	建成时间	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构	承载负荷
204复线	通城河桥	1996–10	26.5	23.9	13.1	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
	大半泾桥	1996–10	26.5	37.2	33.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
	千泾河桥	1996–10	26.5	16.4	8.0	板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
	神堂河桥	1996–10	26.5	22.8	13.8	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
	龙泾河桥	1996–10	26.5	15.6	8.0	板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
	常胜桥	1996–10	26.5	17.4	10.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
	孙家宅桥	1996–10	26.5	18.8	10.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
	刘家宅桥	1996–10	26.5	16.3	6.0	板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
	太浏立交桥	1996–10	26.5	49.2	16.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
	界河沿桥	1996–10	26.5	27.5	13.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
通港港区线	通港东1号桥	1998–10	21.0	20.7	20.0	板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	通港东2号桥	1998–10	40.6	20.8	20.0	板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	通港东3号桥	1998–10	40.6	10.5	10.0	板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	通港东4号桥	1998–10	40.6	20.4	20.0	板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	通港东5号桥	1998–10	35.0	35.2	20.0	板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
浮浏线	浏河水闸桥	1972–10	8.7	145.0	8.1	T形梁	重力式桥台	汽–10
	浪港水闸桥	1982–07	5.3	7.7	6.7	板梁	重力式桥台	汽–15挂–80
	江海桥	1982–07	7.5	22.3	15.0	桁架拱	U形桥台	汽–15挂–80
	陆浜闸桥	1982–07	7.6	13.2	5.5	板梁	重力式桥台	汽–15挂–80
	七浦塘闸桥	1982–07	9.8	38.1	7.0	板梁	重力式桥台	汽–10

续表 89

路名	桥名	建成时间	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构	承载负荷
浮浏线	新浮桥	1982—07	6.8	19.8	12.8	板梁	重力式桥台	汽—10
	莫西泾桥	1982—07	6.8	13.0	6.0	石拱	重力式桥台	汽—10
	石孔泾桥	1982—07	6.8	13.0	6.0	石拱	重力式桥台	汽—10
	茜泾河桥	1982—07	8.4	13.2	10.0	板梁	重力式桥台	汽—10
	花蒲套闸桥	1982—07	6.3	18.0	6.0	板梁	重力式桥台	汽—10挂—50
	仪桥	1982—07	7.5	61.4	16.0	T形梁	桩柱式墩台	汽—13挂—60
	茜泾北桥	1985—05	23.7	20.7	14.0	空心板梁	重力式桥台	汽—20挂—100
	茜泾南桥	1985—05	23.5	15.2	5.8	T形梁	重力式桥台	汽—20挂—100
	龙王湾大桥	1987—12	25.0	71.0	51.0	桁架拱	重力式桥台	汽—20挂—100
	钱泾河桥	1994—08	23.6	21.0	12.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽—20挂—100
	新泾桥	1996—10	28.0	10.0	6.0	板梁	重力式桥台	汽—20挂—100
	浏河套闸桥	1999—10	9.0	126.5	7.5	T形梁	桩柱式墩台	汽—20挂—100
鹿岳线	松南桥	1987—10	10.5	31.5	12.0	板梁	重力式桥台	汽—13挂—60
	墩浜桥	1987—10	12.0	18.9	12.0	空心板梁	重力式桥台	汽—13挂—60
	千步泾桥	1987—10	12.0	18.9	10.9	空心板梁	重力式桥台	汽—13挂—60
	陈家湾桥	1997—09	19.9	16.5	5.0	板梁	重力式桥台	汽—20挂—100
	东泾桥	1997—09	19.9	16.2	5.0	板梁	重力式桥台	汽—20挂—100
	友谊桥	1997—09	18.0	38.0	13.0	板梁	桩柱式墩台	汽—20挂—100
	施家桥	1997—09	18.0	8.4	5.0	板梁	重力式桥台	汽—20挂—100
	李家埝桥	1997—09	18.0	11.9	5.0	板梁	重力式桥台	汽—20挂—100
	新华桥	1997—09	24.0	35.0	13.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽—20挂—100
	南贤泾桥	1997—09	18.0	16.0	6.0	板梁	重力式桥台	汽—20挂—100
	石头塘桥	1997—09	18.0	42.6	14.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽—20挂—100
	湘里泾桥	1997—09	18.0	28.8	16.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽—20挂—100
	管泾桥	1997—09	18.0	28.2	16.0	空心板梁	重力式桥台	汽—20挂—100
	进贤泾桥	1997—09	24.0	16.0	6.0	板梁	重力式桥台	汽—20挂—100
	东沟稍桥	1997—09	24.0	27.0	16.0	空心板梁	重力式桥台	汽—20挂—100
	三里桥	1997—09	18.0	32.0	16.0	空心板梁	重力式桥台	汽—20挂—100
	和尚滨桥	1997—09	18.0	17.0	6.0	板梁	重力式桥台	汽—20挂—100

续表 89

路名	桥名	建成时间	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构	承载负荷
鹿岳线	陈泾桥	1997–09	18.0	16.6	6.0	板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	金泾桥	1997–09	18.0	15.4	6.0	板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	黄泥泾桥	1997–09	18.0	18.0	6.5	板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	司马泾桥	1997–09	18.0	18.0	6.0	板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	涂松桥	1997–09	18.5	54.0	20.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
	家泾桥	1997–09	18.6	15.0	5.0	板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	杨林桥	1997–10	11.0	45.2	10.0	T形梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
	岳王石头塘桥	1997–10	11.0	40.0	16.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–20挂–100
太璜线	1号桥	1995–10	6.9	18.9	6.0	空心板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
新澄线	南翁泾桥	1988–10	7.5	24.0	16.0	板梁	重力式桥台	汽–15挂–80
	宋家浜桥	1988–10	7.5	16.8	10.0	空心板梁	重力式桥台	汽–15挂–80
	新跃桥	1988–10	7.5	19.0	18.0	桁架拱	U形桥台	汽–15挂–80
	李家宅桥	1995–10	21.5	12.2	5.0	空心板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	新湖大桥	1995–10	14.6	36.0	10.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽–15挂–80
牌新长线	塘泾桥	1988–08	7.5	16.7	10.0	空心板梁	重力式桥台	汽–15挂–80
	北洞桥	1988–08	9.5	9.9	5.0	板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	洋槽桥	1988–08	9.5	11.4	6.0	板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	新谊桥	1988–08	9.5	50.0	18.0	空心板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	马路泾桥	1995–08	27.0	16.1	6.0	空心板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	界泾桥	1995–08	27.0	13.5	8.0	空心板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	张家桥	1995–08	16.5	42.6	14.0	空心板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	张浜桥	1995–08	15.5	19.6	12.5	空心板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	中心河桥	1995–08	15.5	13.1	5.0	空心板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	洙泾桥	1995–08	15.5	36.9	16.0	空心板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	肖家泾桥	1995–08	15.5	22.8	15.0	空心板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	种田桥	1995–08	15.5	26.0	16.0	空心板梁	重力式桥台	汽–20挂–100
	丰收桥	1995–08	15.5	16.5	8.0	空心板梁	重力式桥台	汽–20挂–100

续表 89

路名	桥名	建成时间	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构	承载负荷
浏新线	向阳桥	2000-09	28.0	29.0	13.0	板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	花圃桥	2000-09	28.0	26.0	10.0	板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	米场河桥	2000-09	24.0	22.5	16.0	板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
	岳石桥	2000-10	24.0	61.5	22.0	板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
	岳千桥	2000-10	24.0	26.0	20.0	板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	丁古桥	2000-09	24.0	47.0	16.0	板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
	学日河桥	2000-09	24.0	6.4	6.0	板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	石浦塘桥	2000-09	24.5	8.4	8.0	板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	王家桥	2000-09	24.0	21.0	16.0	板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	杨安桥	2000-09	24.5	6.5	6.0	板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	新毛桥	2000-09	24.0	43.5	16.0	板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
	唐家桥	2000-10	25.0	23.2	10.0	空心板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	毛观塘桥	2000-10	24.0	53.6	22.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
	沿江高速上跨桥	2003-08	24.0	308.5	23.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽-超20挂-120
沙板线	墅家桥	1992-09	7.5	33.1	25.0	桁架拱	重力式桥台	汽-15挂-80
	荒长泾桥	1992-09	7.5	21.5	15.0	桁架拱	重力式桥台	汽-15挂-80
	凤凰泾桥	1992-09	7.5	21.5	15.0	桁架拱	重力式桥台	汽-15挂-80
	庙龙泾桥	1994-10	16.0	15.6	7.0	桁架拱空心板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	宣公桥	1994-10	15.2	14.0	7.0	空心板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	小十八港桥	2000-09	16.0	26.9	20.0	桁架拱	重力式桥台	汽-15挂-80
陆嘉线	向阳河桥	1999-11	12.0	34.0	13.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
双周线	同心闸桥	1992-08	7.5	14.0	10.0	板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	新开湖桥	1992-08	7.5	22.0	10.0	空心板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	蔡泾桥	1992-08	7.5	22.0	10.0	空心板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	勤力桥	1992-08	7.5	25.5	14.0	空心板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	渭龙桥	1997-08	9.6	36.0	13.0	空心板梁	重力式墩台	汽-20挂-100

续表 89

路名	桥名	建成时间	宽	长	最大跨径	上部结构	下部结构	承载负荷
浏华线	环龙桥	1989-09	7.5	23.0	14.0	板梁	重力式墩台	汽-15挂-80
沙南线	孔新泾桥	1992-09	9.5	32.9	11.7	空心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
	高家楼桥	1992-09	9.5	22.1	10.0	空心板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	横沥河桥	1992-09	9.5	22.1	10.0	空心板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	大半泾桥	1992-09	9.5	50.7	11.9	空心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
	横蔡泾桥	1992-09	9.5	22.0	10.0	空心板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	落马泾桥	1992-09	9.5	29.9	14.0	空心板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	中泾桥	1992-09	9.5	18.0	18.0	桁架拱	重力式桥台	汽-20挂-100
	青秧桥	1992-09	9.5	23.3	16.0	桁架拱	重力式桥台	汽-20挂-100
	凌家桥	1992-09	9.5	49.4	36.0	桁架拱	重力式桥台	汽-20挂-100
	庙泾桥	1996-10	26.5	15.0	5.0	板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
太蓬线	向阳河桥	2004-09	24.0	39.8	13.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
	吴塘河桥	2004-09	24.0	48.8	16.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
	西张河桥	2004-09	24.0	60.8	20.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
岳新线	杜泾桥	2004-10	25.0	22.0	8.3	空心板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
	苏昆太高速上跨桥	2004-10	25.0	290.0	25.0	空心板梁	桩柱式墩台	汽-20挂-100
	周基桥	2005-12	25.0	16.8	16.0	空心板梁	重力式桥台	汽-20挂-100
归何线	东庄桥	1984-09	4.0	28.0	24.0	桁架拱	重力式墩台	汽-8

专用公路桥梁　1995 年，全市 3 条专用公路有桥梁 8 座 164.5 米。2005 年，3 条专用公路归入太仓港港区道路。同年，公路普查时将江堤公路定为专用公路，有桥梁 7 座 189 米。

镇（区）、村道桥梁　2005 年，共计 526 座 10961.1 米。其中镇（区）道桥梁 373 座 7793 米，按跨泾长度（延米）分类，中桥 85 座，小桥 288 座；村道桥梁 153 座 3168.1 米，按跨泾长度（延米）分类，大桥 1 座，中桥 29 座，小桥 123 座。

2005 年太仓市镇(区)、村道桥梁汇总表

表 90

镇(区)名称	镇（区）道桥梁		村道桥梁	
	数量（座）	长（米）	数量（座）	长度（米）
城厢镇	34	732.4	3	40.0
沙溪镇	103	2207.3	20	691.5
浏河镇	30	735.9	13	144.8
浮桥镇	74	1488.3	24	319.5
璜泾镇	59	1220.6	17	285.5
双凤镇	38	729.4	17	289.0
陆渡镇	15	189.5	11	214.8
新　区	17	346.6	21	756.0
港　区	3	143.0	27	427.0

【航道桥梁】

等级航道桥梁　2005 年，共计 104 座 7785.84 米。其中苏浏线 4 座 672 米，盐铁塘 32 座 2321.73 米，杨林塘 18 座 2460.45 米，七浦塘 21 座 1082 米，南石头塘 27 座 1145.66 米，蒲华塘 2 座 104 米。

2005 年太仓市等级航道桥梁一览表

表 91

航道名称	桥名	地点	建成时间	桥型		规格(米)		孔数(孔)	通航净孔(米)	
				种类	结构	长	宽		净跨	净高
苏浏线	新浏河桥	城厢镇	1991—10	公路	梁	165.0	17.0	7	22.5	4.6
	浏家港大桥	浏河镇	1996—10	公路	梁	166.0	24.2	7	30.6	3.6
	南珠大桥	城厢镇	1998—09	公路	梁	165.0	40.0	6	40.6	4.8
	城南桥	城厢镇	2004—09	公路	梁	176.0	28.0	3	45.0	4.8
盐铁塘	红星桥	城厢镇南郊	1989—09	公路	拱	43.4	8.5	1	18.0	3.6
	徐家桥	城厢镇南郊	1989—09	机耕	拱	40.0	4.4	1	18.0	3.6
	关帝庙桥	城厢镇南郊	1989—10	机耕	拱	42.0	4.4	1	18.0	2.4
	柴家桥	城厢镇南郊	1990—10	机耕	拱	40.0	3.3	1	18.0	3.5

续表 91

航道名称	桥名	地点	建成时间	桥型		规格(米)		孔数(孔)	通航净孔(米)	
				种类	结构	长	宽		净跨	净高
盐铁塘	圣学堂桥	城厢镇南郊	1990—10	机耕	拱	40.0	4.4	1	18.0	3.2
	马家桥	城厢镇南郊	1991—10	机耕	拱	40.0	4.4	1	18.0	3.2
	东乐桥	城厢镇南郊	1991—10	机耕	拱	40.0	3.0	1	18.0	2.8
	北仓桥	城厢镇南郊	1992—09	公路	梁	31.4	9.8	3	16.0	3.3
	新园大桥	城厢镇南郊	1995—10	公路	拱	30.0	20.0	1	18.0	3.8
	卖秧桥	城厢镇	1976—10	公路	拱	27.7	16.5	1	18.0	2.2
	武家桥	城厢镇	1983—09	机耕	拱	55.7	4.5	1	18.0	2.8
	上海路桥	城厢镇	1987—08	公路	拱	52.2	15.5	1	18.0	2.8
	种畜场桥	城厢镇	1994—09	公路	拱	48.0	4.5	1	18.0	3.8
	盐铁塘桥	城厢镇	1995—09	公路	拱	45.9	22.4	1	18.0	3.7
	弇北桥	城厢镇	1995—10	公路	梁	60.0	34.0	3	18.6	3.5
	南门桥	城厢镇	1999—09	公路	梁	52.0	9.0	3	18.0	3.9
	四安桥	城厢镇	1999—09	公路	梁	68.0	20.0	3	16.4	3.8
	南园路桥	城厢镇	2000—10	公路	梁	68.0	18.0	3	18.4	4.5
	弇山路桥	城厢镇	2004—09	公路	梁	60.0	30.0	3	18.0	4.5
	毛观堂桥	城厢镇新毛	2000—10	公路	梁	90.0	24.0	3	20.6	4.5
	204互通主线桥	城厢镇新毛	2005—11	公路	梁	824.5	35.0	27	28.5	5.7
	上岗桥	双凤镇	1984—10	机耕	拱	60.0	4.2	1	18.0	3.0
	起凤桥	双凤镇	1984—10	机耕	拱	59.0	5.0	1	18.0	2.8
	飞凤桥	双凤镇	1990—10	公路	梁	52.5	7.5	3	13.0	3.7
	双凤寺桥	双凤镇	2003—09	公路	拱	62.0	12.0	1	18.0	4.0
	东角桥	沙溪镇直塘	1968—10	公路	拱	29.5	7.2	1	10.0	1.6
	直虹旧桥	沙溪镇直塘	1982—09	机耕	拱	45.0	4.5	1	18.0	2.3
	大虹桥	沙溪镇直塘	1987—09	人行	拱	29.5	2.3	1	10.0	1.8

续表 91

航道名称	桥名	地点	建成时间	桥型		规格(米)		孔数(孔)	通航净孔(米)	
				种类	结构	长	宽		净跨	净高
盐铁塘	凌家桥	沙溪镇直塘	1992—09	公路	梁	49.4	9.5	1	18.0	3.2
	太南桥	沙溪镇直塘	1996—09	人行	梁	32.0	2.2	1	16.0	2.6
	泥中桥	沙溪镇直塘	2003—07	公路	梁	59.0	24.5	3	20.8	4.7
	直虹桥	沙溪镇直塘	2003—10	公路	拱	45.0	7.5	1	18.0	4.2
杨林塘	仪桥	港区	1982—07	公路	梁	61.4	7.5	3	14.8	3.0
	玖龙大桥	港区	2005—10	公路	杆拱	144.0	34.0	3	69.0	5.2
	赵家桥	浮桥镇	1984—08	机耕	拱	55.0	5.2	1	22.0	4.6
	杨林塘大桥	浮桥镇	1999—08	公路	梁	145.0	25.5	5	43.2	5.2
	米场桥	浮桥镇牌楼	1962—07	人行	梁	50.0	3.0	5	9.5	3.2
	杨林桥	浮桥镇牌楼	1993—10	公路	梁	42.0	7.5	3	12.7	3.3
	邵家桥	浮桥镇浏家港	1962—07	人行	梁	54.0	3.7	5	10.3	3.3
	蔡家湾桥	沙溪镇岳王	1962—07	人行	梁	50.0	2.6	5	10.4	2.9
	岳杨桥	沙溪镇岳王	1980—07	公路	拱	60.0	9.5	1	18.0	2.8
	岳王杨林桥	沙溪镇岳王	1983—10	公路	梁	57.0	6.5	5	8.5	2.8
	岳王大桥	沙溪镇岳王	1986—10	公路	拱	55.2	10.0	1	18.0	3.2
	岳丰桥	沙溪镇岳王	1989—09	公路	拱	60.0	4.5	1	18.0	3.2
	杨林大桥(沿江高速)	沙溪镇岳王	2003—07	公路	梁	602.4	35.0	3	47.5	5.6
	谈家桥	城厢镇新毛	1983—08	机耕	拱	75.0	4.5	1	18.0	3.2
	王梁浦桥	城厢镇新毛	1985—10	机耕	拱	64.0	4.5	1	18.0	3.6
	王泾桥	双凤镇	1986—07	机耕	拱	60.0	4.5	1	18.0	3.6
	杨林桥(204国道)	双凤镇	1991—09	公路	梁	42.8	20.0	3	11.5	3.3

续表 91

航道名称	桥名	地点	建成时间	桥型		规格(米)		孔数(孔)	通航净孔(米)	
				种类	结构	长	宽		净跨	净高
杨林塘	苏昆太高速杨林塘特大桥	双凤镇	2005—11	公路	梁	782.6	35.0	3	50.0	6.1
七浦塘	田家桥	浮桥镇	1984—10	机耕	拱	49.8	5.1	1	20.0	4.5
	新仓桥	浮桥镇	1993—09	公路	梁	48.0	9.5	3	12.8	3.4
	七浦塘桥	浮桥镇	1999—09	公路	梁	57.0	25.0	3	23.6	4.5
	港区大道桥	浮桥镇	2004—09	公路	梁	86.0	34.0	5	21.0	4.3
	新仓大桥	浮桥镇金浪	1969—07	机耕	拱	52.0	4.8	1	18.0	4.8
	老闸大桥	浮桥镇金浪	1990—09	公路	拱	44.0	6.0	1	18.0	4.2
	沙东桥	沙溪镇	1974—08	公路	拱	50.0	7.5	1	18.0	3.6
	利太桥	沙溪镇	1981—07	机耕	拱	45.0	4.0	1	18.0	3.6
	涂松桥	沙溪镇	1983—08	机耕	拱	55.0	4.0	1	18.0	3.4
	化肥厂桥	沙溪镇	1986—07	公路	拱	40.0	4.0	1	18.0	3.3
	沙小桥	沙溪镇	1986—07	公路	拱	50.0	7.2	1	18.0	3.5
	醒狮桥	沙溪镇	1987—09	公路	拱	45.0	6.0	1	18.0	3.3
	西市桥	沙溪镇	1990—09	公路	拱	50.0	7.0	1	18.0	3.5
	南弄桥	沙溪镇	1992—09	公路	拱	50.0	7.0	1	18.0	3.5
	白云路桥	沙溪镇	1994—09	公路	拱	50.0	15.0	1	18.0	3.5
	涂松桥(鹿岳线)	沙溪镇	1997—09	公路	梁	54.0	18.5	3	18.5	4.5
	七浦塘中桥	沙溪镇	2002—01	公路	梁	82.4	31.0	3	23.0	3.9
	工农桥	沙溪镇直塘	1979—07	公路	拱	55.0	5.0	1	18.0	3.2
	直塘桥	沙溪镇直塘	1993—10	公路	梁	50.8	22.6	3	14.8	3.1
	大石桥	沙溪镇直塘	2003—09	机耕	梁	28.0	4.0	3	12.8	4.2
	陌巷桥	沙溪镇直塘	2005—10	公路	拱	40.0	7.4	1	18.0	2.4
南石头塘	腊家桥	陆渡镇	1990—09	机耕	拱	40.3	4.5	1	18.0	2.2
	潘家桥	陆渡镇	1990—09	机耕	拱	39.0	4.0	1	18.0	2.2
	邵阳桥	陆渡镇	1990—09	机耕	拱	39.0	4.0	1	18.0	2.2

续表 91

航道名称	桥名	地点	建成时间	桥型		规格(米)		孔数(孔)	通航净孔(米)	
				种类	结构	长	宽		净跨	净高
南石头塘	蒋泾桥	陆渡镇	1990—09	机耕	拱	39.0	4.0	1	18.0	2.0
	毛泾桥	陆渡镇	1990—09	机耕	拱	39.0	4.0	1	18.0	2.2
	新民桥	浏河镇新塘	1990—09	机耕	拱	40.0	4.4	1	18.0	2.2
	长桥	陆渡镇	1996—08	公路	梁	44.6	34.0	3	13.0	3.0
	张家南桥	浏河镇新塘	1990—09	公路	拱	42.0	5.6	1	18.0	2.5
	娄新桥	浏河镇新塘	1990—09	机耕	拱	40.0	4.4	1	18.0	2.2
	陈石桥	浏河镇新塘	1990—09	机耕	拱	39.0	4.0	1	18.0	2.2
	天浜桥	浏河镇新塘	1990—09	机耕	拱	39.0	4.0	1	18.0	2.2
	张家桥	浏河镇新塘	1995—08	公路	梁	42.5	16.5	3	13.0	3.2
	南石头塘桥(苏昆太高速)	浏河镇新塘	2005—11	公路	梁	107.7	28.0	5	23.5	4.0
	文昌桥	沙溪镇岳王	1990—09	机耕	拱	40.0	4.0	1	18.0	2.2
	长泾桥	沙溪镇岳王	1990—09	机耕	拱	40.0	4.0	1	18.0	2.2
	沙家桥	沙溪镇岳王	1990—09	机耕	拱	40.0	4.0	1	18.0	2.2
	新石桥	沙溪镇岳王	1990—09	公路	拱	40.0	4.0	1	18.0	2.6
	马家宅桥	沙溪镇岳王	1990—09	机耕	拱	38.0	4.0	1	18.0	2.6
	民众桥	沙溪镇岳王	1990—09	机耕	拱	38.0	4.0	1	18.0	2.6
	石头塘桥	沙溪镇岳王	1993—08	公路	梁	20.0	12.0	3	9.5	2.9
	岳石桥	沙溪镇岳王	2000—10	公路	梁	61.5	24.0	3	21.0	3.2
	杨湾桥	浮桥镇金浪	1990—09	机耕	拱	38.0	4.0	1	18.0	2.6
	建杨桥	浮桥镇金浪	1990—09	机耕	拱	40.0	4.4	1	18.0	2.6

续表 91

航道名称	桥名	地点	建成时间	桥型		规格(米)		孔数(孔)	通航净孔(米)	
				种类	结构	长	宽		净跨	净高
南石头塘	西闸桥	浮桥镇金浪	1990—09	机耕	拱	39.0	4.0	1	18.0	2.6
	北桥	浮桥镇金浪	1990—09	机耕	拱	40.0	4.0	1	18.0	2.6
	潘家浜桥	浮桥镇金浪	1990—09	机耕	拱	40.0	4.4	1	18.0	2.6
	荷花桥	浮桥镇金浪	1990—09	机耕	拱	40.0	4.4	1	18.0	2.6
蒲华塘	1号桥	浏河镇	1994—10	公路	梁	52.0	5.5	4	13.0	3.0
	2号桥	浏河镇	1994—10	公路	梁	52.0	5.5	4	13.0	3.0

等外级航道桥梁　2005 年，共计 390 座。其中十八港、新时线各 29 座，新陆塘 23 座，向阳河 18 座，吴塘、湖川塘、环城河各 17 座，六尺塘 16 座，北石头塘、浪港各 14 座，洙泾、半泾、三漫塘各 13 座，涂璜线、钱泾各 12 座，新开河、米场河、归窑线、荡茜泾各 11 座，鹿鸣泾 10 座，六里塘、葑涨塘各 9 座，斜塘、陈大港、横沥泾各 8 座，千步泾 7 座，江申泾、新泾河各 6 座，茜泾河 5 座，太蓬线、外家泾、杨叶泾、新泾塘各 3 座，归何塘 1 座。

【农村桥梁】

1975 年桥梁普查时，查清境内共有农村桥梁 5341 座。其中中型拖拉机桥 595 座，手扶拖拉机桥 1609 座，人行桥 3137 座。随着农业生产的机械化和村办工厂的快速发展，低标准的农桥，长期超荷载行驶下，出现桥脚倾斜、断裂、桥台下沉，桥面裂缝等损坏现象，影响行人和车辆安全。按照农村桥梁“民需民办，民办公助”原则，1986 年始，县财政每年拨款 20 万元补助农村桥梁的维修加固和改建。1989 年，抢修加固危桥 9 座。1990 年 2 月，抢修加固危桥 37 座。至 2001 年，市（县）财政、交通局共拨付农桥补助经费 330 万元，维修改建桥梁 404 座。其中新建改建桥梁 267 座，维修加固 137 座。2002 年始，农村桥梁的管理职能划归太仓市水利水务局。至 2005 年年末，全市维修改建桥梁 387 座，总投资 2543.1 万元（不含 2005 年）。

三、港　口

太仓港

太仓港，古称刘家港。地处长江入海口南侧，市区东部。港口位于长江白茆沙南水道，上至白茆河口，下至浏黑屋，中心位置七丫口，即北纬31°37′，东经121°14′。长江岸线38.8千米，其中深水岸线25.33千米。距吴淞口13海里，是距长江入海口最近的港口。岸线平直，深水近岸，终年不冻不淤，深水区开阔、稳定，能满足5万吨级船舶回转水域的要求，是长江下游地区最佳港址之一。90年代初，为呼应上海浦东的开发开放和长江三角洲及沿江地区经济带的建设，太仓县委、县政府决定开发建设浏家港，实施“以港兴县”的发展战略，充分利用长江岸线资源优势，建设新港，带动太仓地方经济发展。至2005年年末，太仓港开发利用建港岸线5556米，建成投运大小码头泊位29个，其中万吨级以上泊位12个，1000～5000吨级泊位10个，200～800吨级泊位7个。按货种划分：石油化工泊位11个，集装箱、多用途泊位4个，煤炭泊位5个，工作船和重件泊位3个，汽车轮渡泊位6个。建锚地2个，总面积368万平方米，临时停泊区2个，总面积585万平方米。拥有各类生产装卸机械150多台(套)。有堆场、仓库83.7万平方米，各类储罐159个。货场吞吐量突破1500万吨，达到1510.56万吨。其中外贸货物吞吐量465.66万吨，集装箱吞吐量25.12万标箱(TEU)。

【码头泊位】

长江石化码头　1992年10月28日，兴建浏家港第一座1.5万吨级石油化工码头。1993年8月码头水工工程竣工。至1995年，完成码头安装工程和储罐建设。同年5月25日，迎来第一艘国轮“胜利4号”，装载3000吨汽油抵港卸货，太仓港正式投运。1997年7月，完成码头泊位扩建改造，外档由1.5万吨级泊位提升至3万吨级，内档新建两个3000吨级泊位，沿岸增建1个300吨级泊位。2002年，在码头北侧动工新建1个5万吨级的石化泊位及内档为5000吨级和300吨级的石化泊位。2003年7月建成投运。2005年年末，共有大小码头泊位7个，货物吞吐量由1995年的3.5万吨增至243.39万吨，增长68.54倍。

美孚石油码头　1996 年 4 月 1 日，动工建设 2.5 万吨级的石油化工码头，总投资 2980 万美元。1997 年 3 月竣工，同年 6 月正式投运。码头共有 4 个泊位（外档 2.5 万吨级，内档 5000 吨级和栈桥中段 2 个 300 ～ 500 吨级）。2005 年年末，码头货物吞吐量 13.55 万吨。

远太国际城码头　1997 年 10 月 27 日，动工建设第一座 2.5 万吨级的多用途码头泊位。1998 年 12 月 18 日建成投运，同年投运的还有 1000 吨级的工作船泊位。第二座 2.5 万吨级全集装箱码头泊位于 1998 年 7 月 8 日动工建设，总投资 1.1 亿元。码头全长 270 米 ×50 米，设引桥 1 座 170 米 ×18 米，年通过能力为 20 万标箱。1999 年 8 月 18 日竣工，2000 年正式投运。全年实现集装箱吞吐量 3.6 万标箱，件杂货吞吐量 13 万吨，分别比上年增长 135% 和 251%。2002 年 9 月 10 日，2 个 2.5 万（兼顾 5 万）吨级集装箱泊位动工建设，设计年吞吐能力为集装箱 20 万标箱和件杂货 80 万吨。2004 年 11 月正式投运。2005 年年末，共有大小码头泊位 5 个，货物吞吐量 481.33 万吨，其中集装箱吞吐量 25.12 万标箱。

华能电厂码头　1998 年 5 月 6 日，第一座 3.5 万吨级的煤炭码头泊位和 3000 吨级重件码头泊位动工建设，至 1999 年 10 月，先后建成投运。2004 年，第二座 3.5 万（兼顾 5 万）吨级煤炭码头泊位动工建设。码头引桥长 1027 米，桥面长 244 米，宽 27.6 米，设计吞吐能力 260 万吨。次年建成投运。2005 年年末，共有大小码头泊位 3 个，货物吞吐量 174.4 万吨。

环保电厂码头　2002 年 6 月 8 日，第一座 3.5 万（兼顾 5 万）吨级的煤炭码头泊位及 1 个 800 吨级的重件泊位动工建设。2003 年建成投运。同年 6 月，第二座 3.5 万（兼顾 5 万）吨级的煤炭码头泊位动工建设。2004 年 10 月 18 日举行开港仪式。2005 年年末，共有大小码头泊位 3 个，货物吞吐量 424 万吨。

轮渡公司码头　1995 年 2 月 16 日，苏州太海汽车轮渡有限公司投资兴建的太仓至海门的长江汽车轮渡（简称太海汽渡）码头 2 个泊位动工建设，同年 12 月 22 日建成投运，沟通了南北交通。2000 年 10 月，4 个 1000 吨级的斜坡式汽渡泊位建成投运。2005 年年末，共有汽渡码头泊位 6 个。

玖龙纸业码头　2004 年 10 月，动工建设 3.5 万（兼顾 5 万）吨级的煤炭码头泊位。次年 10 月建成投运。至 2005 年年末，有码头泊位 1 个，货物吞吐量 15.11 万吨。

2005 年年末太仓港建成码头泊位一览表

表 92

建成单位	利用岸线（米）	泊位数量（个）	货种	泊位等级（吨）	投运年月
江苏长江石油化工有限公司（简称长江石化）	693	7	石油化工	30000	1995–05
				50000	2003–07
				3000（2个）	1997–07
				5000	2003–07
				300（2个）	1997、2003
埃克森美孚（太仓）石油化工有限公司（简称美孚石油）	725	4	石油化工	25000	1997–06
				5000	
				300～500（2个）	
远太国际城开发建设有限公司（简称远太国际城）	960	5	多用途	25000	1998–12
			集装箱	25000	2000
				25000（兼顾50000，2个）	2004–11
			工作船	1000	1998–12
华能（苏州工业园区）发电有限责任公司（简称华能电厂）	1398	3	煤炭	35000	1999–10
			重件	3000	1998–08
			煤炭	35000（兼顾50000）	2005–12
太仓港环保发电有限公司（简称环保电厂）	740	3	煤炭	35000（兼顾50000）	2003–07
			重件	800	
			煤炭	35000（兼顾50000）	2004–11
太仓市汽车轮渡有限公司（简称轮渡公司）	400	6	汽渡	28车渡船（2个）	1995–12
				1000（4个）	2000–10
玖龙纸业（太仓）有限公司（简称玖龙纸业）	640	1	煤炭	35000（兼顾50000）	2005–10

【锚　地】

太仓港海轮锚地　位于浏河水道 6 号至 7 号黑浮北侧，长 3000 米，宽 800 米，面积 240 万平方米，锚地水深负 17 米至负 11 米，为散杂货船舶锚地。2002 年动工建设，同年 11 月 8 日，经有关部门验收合格，并经江苏海事局批准正式对外使用。

太仓港危险品锚地　位于浏河水道1号至2号黑浮北侧，长1600米，宽800米，面积128万平方米，锚地水深负17米至负12米，能满足5万吨级和1万吨级船舶同时锚泊。2003年动工建设，2004年9月3日，通过通航验收，正式投入使用。结束了进出太仓港的危险品船舶无处抛锚的历史。

【仓储堆场】

1995年5月，太仓港第一座石化码头建成投运，配建储罐4.1万立方米。1996年4月20日，江苏华油长江液化气有限公司建成太仓港液化气贮配站，库容量6000立方米，总投资6000万元。1997年5月31日，华能阿莫科清洁能源有限公司建成全国首家全冷冻液化石油气（LPG）储库，库容量6.2万立方米，年周转量50万吨，总投资2950万美元。1999年4月28日，美孚石油投资1100多万美元，建成美孚（太仓）液化气储库，主要建有8000立方米球罐和1个自动化灌瓶站及相应配套设备等。21世纪起，随着太仓港数座码头泊位的建成投运，仓储堆场及主要配套设施不断增建扩建。至2002年年末，长江石化建成各类储罐54个，总容量19.5万立方米，成为长江口主要的石化原料仓储中转基地。2004年，远太国际城码头配有40吨桥吊2台，35吨门机4台。陆域纵深800米，堆场面积2.2万多平方米，拆装箱库面积3500平方米，配有场地龙门吊、正面吊及堆高机、重型叉车、拖头及集装箱、件杂货挂车等。集装箱年吞吐能力45万标箱以上，件杂货年处理能力超过250万吨。同年7月9日，长江石化6万立方米储罐竣工投入使用。至此，该公司液体化工品、成品的储存能力25.5万立方米，成为华东地区最大的石化储库之一。

2005年年末，太仓港共建有各类储罐159个，总容量83万立方米，堆场面积80多万平方米，堆存能力375万吨，仓库3.7万平方米，堆存能力30万吨。配备各类生产装卸机械150多台（套），其中集装箱桥吊11台，场地龙门吊31台。

浏河渔港

浏河渔港由北宋时滨海渔村发展而来。元明时成为国内著名渔港，位于老浏河陈家湾至龙王湾水域。1958年，取直开挖新浏河，渔港面貌焕然一新。从河口处至闸口，全长3千米，水域宽180～250米，深度为吴淞海面基准点负2米。整

个港区南北河堤均用防浪石驳岸,渔港设施集中于北岸一侧。80年代中后期分属江苏省海洋渔业公司、太仓县浏河港幸福渔业社、浏河镇前进渔业社3家。至2000年,浏河镇前进渔业社、太仓市幸福海洋渔业公司先后转制停产。2002年6月,江苏省海洋渔业总公司转制,更名为苏州海发渔业有限公司。2005年年末,渔港陆域面积60万平方米,水域面积约40万平方米;有卸鱼浮码头6个,加油浮码头1个;港内经销海水产品的冷库企业20多家,总冷藏量1.2万吨,制冷能力每日400吨,速冻能力每日800吨;水产品加工场所总面积3000平方米;油库4座,总储油量1.45万立方米;油轮修造厂2家,具有渔船设计C级资格,能修造长小于45米渔船。同年,浏河渔港申报农业部一级渔港建设项目,并获批准立项。

【苏州海发渔业有限公司】

位于入江口至陈家湾,渔港东部。原名江苏省海洋渔业公司,系省属全民企业。80年代初,公司在港内有码头泊位11个,吊机3台,容积2550立方米的油库1座,各类渔轮86艘,年产鱼货3.7万吨,销售收入2564万元,各类机动车33辆,固定资产8128万元,总产值3392万元,职工3867人。1985年,有各类渔轮81艘,年产鱼货3.6万吨。此后捕鱼量徘徊不前,职工增至4226人,企业负担逐渐加重。1987年8月,开辟远洋捕捞,首批4艘渔轮赴波斯湾与伊朗合作捕鱼。之后5批36艘(次)渔轮先后赴伊朗、尼日利亚等国海域开展合作捕鱼。1990年,远洋捕捞船员756人次。1993年,公司更名为江苏省海洋渔业总公司,下辖捕捞公司、远洋渔业公司、工贸实业公司、鱼品加工厂和公司本部。随着转换经营机制,企业逐步走出低谷。1995年,公司在港区有卸鱼、冲水、加油、修造船舶等各种浮动泊位、固定码头17个,引桥4座,吊机5台,冷库3座,载重车、铲车、拖车、工具车等各类机动车46辆,水塔1座;总面积20.4万平方米,其中办公大楼、厂房、营业处、仓储、油库、住房、医院、托儿所、浴室等建筑面积17.7万平方米。各类渔轮71艘,年产鱼货1.74万吨。固定资产原值1.4亿元,职工4019人。随着改革开放的深入,沿海各省市纷纷筹措渔轮参与海洋捕捞,致使渔业资源渐枯,加之公司摊子大,机构重叠,人浮于事,连年亏损,职工上班仅能领生活费,没有积极性,生产经营状况每况愈下。至2002年6月,公司整建制转制为民营企业,更名苏州海发渔业有限公司,在册职工1049人,注册资本560万元,国有资本全部退出,由投资者的股

本金和改制时带来原企业职工的安置费作为运作资本。2003 年，投资 1000 多万元，在公司前沿原浮码头位置上改建长 300 米的固定码头，与原码头相连形成一个长 400 米的新码头，能同时停靠 5 艘 2000 吨以下海轮或候潮 3000 吨以下内河货轮装卸货物，安装 5 ～ 30 吨的固定吊机 11 台，年创利 120 万元以上。同时使 120 多名职工重新走上就业岗位。2005 年年末，公司总资产 8000 多万元。先后投资 2400 万元，新建围网船 5 艘，灯光船 4 艘，购进围网船 2 艘，冷海水运输船 1 艘；投资 400 万元左右（含购买土地），建成 6000 平方米的仓库和厂房。海上捕捞产量 10716 吨，产值 4630 万元，实现毛利润 800 万元。同年，被评为江苏省农业产业化龙头企业，银行资信为 AAA 级。

【太仓市幸福海洋渔业公司】

位于新浏河塘北岸陈家湾，渔港西部，系县属集体企业。1986 年，称太仓县浏河港幸福渔业社。全社有渔船 20 艘，其中钢质渔轮 5 艘，木质机动船 15 艘，年产鱼货 1908 吨。固定资产 247 万元，职工 241 人。1991 年，更名为太仓县幸福海洋渔业公司。下设捕捞队、冷冻厂、渔网厂，各自独立经营核算。1993 年，更名太仓市幸福海洋渔业公司。1995 年，公司在港内有钢质码头泊位 3 个，吊机 2 台，各种机动车 7 辆，总面积 2.3 万平方米，其中办公楼、仓储、油库、住房、渔具修造厂、冷冻厂、维修站等建筑面积 3510 平方米。渔轮 20 艘，其中钢质渔轮 15 艘，木质渔轮 5 艘，年产鱼货 995 吨。固定资产 886 万元，职工 288 人。随着市场竞争的激烈，入海捕捞船增多，海洋鱼源减少，捕鱼量低迷不前，管理不善，成本费用逐年增加，海洋渔业生产逐年滑坡，负债累累，至 2000 年，公司停业，设备设施均卖掉还债。

【浏河镇前进渔业社】

位于浏河北岸，太仓市幸福海洋渔业公司东侧，渔港中部。系镇属集体企业。80 年代初，全社占地面积 2600 平方米，有仓库、用房 56 间 1200 平方米，木质机动船 8 艘，总载重 211 吨，年产鱼货 446 吨，总收入 39.7 万元，固定资产 30.3 万元，渔工 79 人。1984 年，陆续添置钢质渔轮 8 艘，每艘载重 102 吨，木质机动船全部淘汰。渔轮生产实行个人承包，自主经营，自负盈亏，捕捞以海底拖网为主，渔业生产迅速增长。1986 年，实行船长（俗称老大）承包责任制，渔工由船长聘用，有渔工

96 人,总收入 92.2 万元。1995 年,该社在港内有码头泊位 3 个,机动车 2 辆,陆域占地面积 3669 平方米,其中办公楼、仓储、住房等建筑面积 2100 平方米。钢质渔轮 8 艘,总载重 816 吨,年产鱼货 1145 吨,总产值 473 万元。固定资产 660 万元,渔工 104 人。1998 年,该社转制为家庭型个私企业。

四、邮　政

1986 年,境内的邮政、电信业务统一由县邮电局经营。1998 年 9 月,邮政、电信实行分业经营,太仓市邮电局撤销,成立太仓市邮政局,位于东仓南路 77 号。分营后的邮政局为独立的企业主体,自主经营,自负盈亏。内设综合办公室、人事教育部、计划财务部、经营服务部 4 个职能管理部门和邮政储蓄、报刊发行、报刊零售、特快专递、商函广告、物流配送、集邮 7 个专业公司,下辖 31 个邮政支局(所),有职工 377 人,固定资产 6780 万元。至 2005 年年末,市(县)邮政(电)局先后扩展基层局房、增设邮路、拓展业务,改变了邮政亏损局面,获“江苏省学习型示范企业”“江苏省文明行业”等荣誉称号,并获首届全国邮政企业管理创新成果二等奖。

邮　路

【邮运邮路】

1986 年,县邮电局无自办邮路,委托县农村公共汽车站负责运递邮件。县局至农村支局的邮件由邮局员工到汽车站接送;境外邮件,由苏州、上海邮电局每天派邮车直接运递至县邮电局。1987 年 3 月 1 日,开办城区至鹿河邮路,长 75 千米。1988 年 1 月 1 日,开办城区至浮桥邮路,长 109 千米。同时在城区开办市内走趟邮路(按照邮运班次,定时定点定人交递、传递邮件所形成的邮路)1 条,长 4 千米。同年 8 月 1 日,开通太仓至苏州特快专递邮路。1992 年,开办太仓至昆山特快专递邮路。1999 年 3 月 1 日,每天下午增开市区至沙溪、市区至浏河 2 条特快专递邮路,全长 216 千米。复线邮路的开通,使全市邮政局(支局、所)受理的特快专递邮件均能当天寄出,比原来提早 1 天。2000 年,市区至浮桥邮路延伸至时思,并增开太仓至新塘邮路。全市邮运邮路总长 300 千米。

【投递邮路】

1986 年，全县共有投递邮路 61 条，总里程 1649 千米，均为自行车邮路。1993 年，投递邮路 51 条，总里程 1427 千米，其中摩托车邮路 32 条。全市 24 个乡镇实现摩托化投递，是全国第一个摩托化投递的县级市。2005 年年末，投递邮路 74 条，总里程 2455 千米，其中摩托车邮路 55 条。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）邮路统计表

表 93

年　份	汽车邮路数（条）	邮运里程（千米）	每日班次	投递邮路数（条）	投递邮路总里程（千米）
1986	8	—	1	61	1649
1987	4	116	1	53	1476
1988	3	188	1	56	1486
1989	3	188	1	52	1469
1990	3	188	1	59	1358
1991	3	188	1	59	1345
1992	4	208	1	53	1444
1993	4	208	2	51	1427
1994	4	210	2	51	1433
1995	4	210	2	60	1547
1996	4	210	2	60	1547
1997	4	210	2	63	1806
1998	3	245	2	63	1570
1999	3	245	2	65	1770
2000	4	300	2	67	1771
2001	4	300	2	72	1824
2002	4	300	2	72	1972
2003	4	300	2	73	2070
2004	4	300	2	74	2120
2005	4	300	2	74	2455

注：1987 年起，除浏河片仍委托县农公站办理外，全县均自办邮路

设　备

1986年，有运送邮件的汽车1辆，投送邮件的摩托车7辆，自行车111辆，包裹收寄机7台。1992年，邮政营业网点开始应用计算机管理，有计算机3台。1993年，邮运汽车9辆，其中2吨以下的7辆，摩托车44辆，包裹收寄机20台，计算机20台。1997年，市区安装第一台自动取款机（ATM），计算机增至96台。1998年，邮政独立运行，有邮运汽车19辆，计算机116台，自动取款机7台。2004年，邮政储蓄网实现全省统版，邮运汽车38辆。2005年，邮政局不再提供投递摩托车辆，逐步演变为投递员个人备车，邮政局补贴油耗，邮运汽车减至27辆。年末，有计算机119台；自动取款机8台，其中市区4台，农村集镇4台；邮政储蓄网与邮政汇兑网实现互通。

1986～2005年太仓市（县）邮政主要设备统计表

表94

年　份	邮运汽车(辆)	投递摩托车(辆)	包裹机(台)	计算机(台)	自动取款机（台）
1986	1	7	7	—	—
1987	3	6	8	—	—
1988	3	6	10	—	—
1989	3	5	13	—	—
1990	4	5	8	—	—
1991	6	5	15	—	—
1992	7	13	20	3	—
1993	9	44	20	20	—
1994	11	—	—	36	—
1995	13	—	—	35	—
1996	12	—	—	91	—
1997	16	—	—	76	1
1998	19	—	—	116	7

续表 94

年　份	邮运汽车(辆)	投递摩托车(辆)	包裹机(台)	计算机(台)	自动取款机（台）
1999	23	—	—	102	8
2000	25	—	—	102	8
2001	31	—	—	105	8
2002	30	—	—	108	8
2003	34	—	—	115	8
2004	38	—	—	115	8
2005	27	—	—	119	8

注：1994 年起，摩托车、包裹机未列入统计中

网点改造

1986 年起，境内邮电用房进行逐年改造，至 1998 年，邮电分营时，基本完成改造。邮政有生产用房 35542.44 平方米，其中营业用房 3975.64 平方米。31 个邮政营业网点中，9 处租赁营业用房，22 处自建营业用房；营业用房面积最大的 448.7 平方米，最小的 32 平方米。2005 年，按照国家邮政局制定的标准，对城厢、陆渡、牌楼邮政支局、城厢桃园邮政所进行了标准化改造。

2005 年太仓市邮政营业用房统计表

表 95

名称	面积（平方米）	建造时间	结构	性质
南郊邮政支局	93.50	1989–03	砖混	自建
陆渡邮政支局	264.00	1995–11	框架	自建
板桥邮政支局	105.00	1987–04	砖混	自建
新毛邮政支局	62.72	1996–10	框架	自建
新湖邮政支局	115.64	1992–06	框架	自建
双凤邮政支局	189.28	1993–03	砖混	自建

续表 95

名称	面积（平方米）	建造时间	结构	性质
直塘邮政支局	91.30	—	砖混	租用
沙溪邮政支局	240.00	1984—10	框架	自建
老闸邮政支局	121.60	1988—10	砖混	自建
九曲邮政支局	71.40	1985—12	砖混	自建
时思邮政支局	187.20	1997—03	框架	自建
归庄邮政支局	117.86	1985—07	砖混	自建
王秀邮政支局	219.60	1996—12	框架	自建
璜泾邮政支局	173.40	1991—05	砖混	自建
鹿河邮政支局	186.20	1996—12	框架	自建
浏河邮政支局	123.30	1992—08	框架	自建
浏家港邮政支局	52.50	1985—12	砖混	自建
浮桥邮政支局	127.44	1994—08	框架	自建
牌楼邮政支局	161.20	1998—07	框架	自建
新塘邮政支局	147.60	1988—09	砖混	自建
岳王邮政支局	79.20	1988—05	砖混	自建
城厢邮政支局	448.70	1989—01	框架	自建
太平路邮政支局	72.20	—	框架	租用
城厢桃园邮政所	147.00	1990—02	砖混	自建
城厢惠阳邮政所	40.00	—	砖混	租用
城厢东郊邮政所	72.52	—	砖混	租用
城厢西郊邮政所	100.00	—	砖混	租用
沙溪白云邮政所	66.66	—	砖混	租用
沙溪利泰邮政所	32.00	—	砖混	租用
陆渡中市邮政所	35.00	—	砖混	租用
浏河复兴邮政所	31.62	—	砖混	租用

五、电　信

1986 年，境内电信业务，属县邮电局经营。1998 年 9 月，邮电分营，太仓市电信局成立，设太仓、沙溪、浏河、璜泾、浮桥 5 个营业网点。市电信营业厅设在邮政营业大楼的二楼。2003 年 10 月 28 日，电信大楼建成，市电信营业厅迁至新址营业。2004 年 11 月 18 日，浮桥营业处改称港区中心营业处。至 2005 年年末，营业网点增至 23 个。

电报通讯设施

1986 年，有 4 路载波电报机和全电子电传机各 1 部，电传打字机 7 部，55 型电传机 6 部，五单位自动发报机 5 部，其中单头机 4 部。次年，增加传真机 28 部，全县各支局均使用真迹传真机，实现电报传真化。1990 年，有插报机和 12 路以上的载波电报机各 3 部，电传打字机和全电子电传机各 14 部，真迹传真机 42 部，64 路用户电报集中器 1 部。1995 年，载波终端设备容量 50 路，电传机 10 部，用户电报集中器 64 路。1997 年年末，电话普及，电报业务萎缩，太仓电报房撤销，电报业务直接转苏州局办理。

固定电话通讯设施

【电路设施】

1986 年，有长途电路 65 路，本地中继电路 154 路。1989 年 12 月 5 日零时，市话号码升至 6 位。1991 年，开通苏昆太数字微波电路，建成长途区号为 5225 的太仓本地网。有长途电路 300 路，本地中继电路 757 路。1992 年，开通沪宁光缆电路。次年，南沿海光缆经过太仓。1995 年，张家港市、常熟市、昆山市、太仓市联网，长途区号为 520，与苏州市 512 组成本地网，同年 12 月 17 日零时，市话号码升至 7 位。有长途电路 577 路，本地中继电路 7647 路，其中县市之间中继电路 660 路。2002 年，苏州地区联成长途区号 512 的本地网，同年 4 月 20 日零时，市话号码升至 8 位。2005 年，有长途电路 1500 路，本地中继电路 22312 路。

1986 ～ 2005 年太仓市(县)电路情况表

表 96　　单位：路

年份	长途电路	本地网中继电路	年份	长途电路	本地网中继电路
1986	65	154	1996	813	10783
1987	77	194	1997	637	11340
1988	106	218	1998	1560	10510
1989	116	228	1999	971	14821
1990	127	307	2000	720	19380
1991	300	757	2001	1200	20385
1992	532	1778	2002	1202	30855
1993	731	1753	2003	1200	21214
1994	1234	3817	2004	1200	22156
1995	577	7647	2005	1500	22312

1995 ～ 2005 年太仓市数据通信设施电路情况表

表 97　　单位：个

年份	分组交换节点机端口总数	数字数据网节点数	IP网端口总数	中国互联网端口总数	宽带业务网端口总数	LAN专线接入用户端口	LAN终端接入用户端口
1995	64	240	—	—	—	—	—
1996	64	240	—	—	—	—	—
1997	64	432	—	—	—	—	—
1998	64	600	32	—	—	—	—
1999	112	772	32	—	2	—	—
2000	112	1116	3300	—	68	—	—
2001	112	1126	—	3258	154	—	—
2002	112	1196	—	3258	155	150	1727
2003	112	1192	—	3228	480	208	6322
2004	48	1292	—	1860	1608	321	4750
2005	48	1300	—	1798	1890	410	5466

【机房设备】

1986 年，为模拟通信时期。电话交换机有自动式、共电式、磁石式 3 种，总容

量 6420 门，其中长途交换机 10 席 50 门。市话准电子交换机 2000 门，农话交换机 4370 门。载波机 62 部，其中长途载波机 12 路、3 路各 5 部，农话载波机 12 路 14 部，3 路 38 部。市话杆线长 51 千米，明线 6 对千米，电缆 89.8 皮长千米。农话杆线长 664 千米。1991 年 8 月 1 日，开通程控交换机 1.03 万门，同年年末，磁石式、共电式电话交换机先后完成历史使命，全县电话交换实现自动化，由模拟通信时代转入数字通信时代。

1986 ～ 1991 年太仓县模拟通信主要设施情况表

表 98

年份	交换机（门）				载波机（部）			杆线总长度、(千米)	明线设备(对千米)	电缆(皮长千米)
	合计	其中			合计	其中				
		自动	共电	磁石		3路	12路			
1986	6420	3000	630	2790	62	43	19	715	465	607.1
1987	8970	3600	640	4730	64	33	31	679	282	715.7
1988	8980	5500	60	3420	69	33	36	740	209	890.4
1989	11530	9400	100	2030	76	32	44	729	159	972.0
1990	11120	10900	120	100	76	32	44	755	153	991.3
1991	22400	22300	100	—	66	32	34	896	128	1387.8

1992 年，实现传输数字化，有长途数字程控交换机 1200 门。市话数字程控交换机 1 万门，杆路长 54 千米，电缆 173.2 皮长千米。农话交换机 2 万门，其中数字程控交换机 8000 门，杆路长 951 千米，明线 117 对千米，电缆 1639.9 皮长千米，其中中继电缆 52.7 皮长千米。公用电话 11 部。1993 年，全市电话交换实现程控化。1996 年，局用交换机容量 10.45 万门，电缆 5694.6 皮长千米，中继光缆纤芯 1460.2 芯千米。公用电话 1384 部。2000 年，局用交换机容量 19.52 万门，电缆 4010 皮长千米，中继光缆纤芯 4408 芯千米，接入网光缆 119 千米，光纤芯 17149 芯千米。公用电话 2350 部。2002 年，长途设备收归苏州电信分公司。2005 年，局用交换机容量 23.25 万门，电缆 1004.04 皮长千米，中继光缆纤芯 27977.24 芯千米，接入网光缆 1107.9 千米，光纤芯 28003.63 芯千米。公用电话 2.38 万部。

1992 ～ 2005 年太仓市(县)数字通信主要设施情况表

表 99

年份	局用交换机(万门)	电缆(皮长千米)	中继光缆		接入网光缆	
			光缆(千米)	纤芯(芯千米)	光缆(千米)	纤芯(芯千米)
1992	3.12	1813.10	39.00	389.00	—	—
1993	3.92	2189.20	63.00	573.00	—	—
1994	4.70	2437.00	138.40	962.00	—	—
1995	8.85	4102.00	144.00	1008.00	—	—
1996	10.45	5694.60	208.60	1460.20	—	—
1997	13.60	7058.10	290.30	2290.00	—	—
1998	16.40	4088.90	303.50	2868.00	16.30	154.70
1999	17.75	4088.90	297.00	2893.00	96.00	12480.00
2000	19.52	4010.00	316.00	4408.00	119.00	17149.00
2001	22.66	5534.00	445.00	23366.00	96.00	5667.00
2002	19.79	2539.00	445.00	24492.00	257.00	12707.00
2003	22.76	2582.46	423.53	20738.82	495.67	13696.45
2004	22.73	2708.79	423.53	20738.82	678.84	17652.39
2005	23.25	1004.04	508.40	27977.24	1107.90	28003.63

【管道设施】

1988 年 10 月,全县实施电信管道工程。先后在人民北路、城北路、204 国道以及人民南路、上海西路、长春路等地段建造管道 12.6 孔千米。1992 年,新区、浏河镇、沙溪镇、璜泾镇、浮桥镇等集镇的管道工程先后施工。之后,电信管道工程逐渐遍及全市。至 2005 年年末,全市共建造管道 2300 多孔千米,年均建造 130 多孔千米。挂空的通信线路,均改在地下管道中通过。

移动通讯设施

【江苏移动太仓分公司】

1992 年,太仓移动通信起步,建 A 网基站 2 个,信道 8 个。1994 年,增建 B 网基站。1995 年,增建 G 网基站。同时,在新区安装 A 网模拟移动通信交换机 1 万

门。1998 年，增建 D 网双频数字移动通信网基站。在新区安装 G 网数字移动交换机 9.5 万门。同年 5 月 18 日，移动通信从市邮电局析出，成立江苏移动通信有限责任公司太仓分公司（简称江苏移动太仓分公司）。2000 年年末，太仓模拟移动通信网关闭，模拟移动通信用户，与江苏移动太仓分公司调换数字手机，加入数字移动通信网。2002 年，数字移动通信终端全市覆盖率 100%，实现全业务网点的自建传输接入。2005 年，开通市政府电子政务网“移动版”。有数字移动通信交换机 40 万门，基站 64 个，拥有载频 1012 套，信道 8014 个，微蜂窝 4 个，室内分布系统 20 个。

1992 ～ 2005 年江苏移动太仓分公司主要通讯设施情况表

表 100

年份	移动交换机（万门）	基站（个）	信道（个）	微蜂窝（个）	室内分布系统（个）
1992	0	2	8	0	0
1993	0	3	28	0	0
1994	0	6	120	0	0
1995	1.0	15	540	0	0
1996	3.0	23	940	0	0
1997	3.0	43	1393	0	0
1998	12.5	35	2240	0	0
1999	20.0	40	3520	0	0
2000	20.0	45	4320	0	1
2001	20.0	51	4896	1	2
2002	20.0	48	5720	3	3
2003	30.0	55	6992	3	4
2004	30.0	63	7616	7	5
2005	40.0	64	8014	4	20

【中国联通太仓公司】

1999 年 7 月，中国联通太仓公司成立。有基站 14 个，G 网 14 个，光纤长 5 千米。2001 年，新建 C 网 10 个。至 2005 年年末，有基站 58 个，G 网 37 个，C 网 35 个，光纤长 150 千米，管道长 35.2 千米。

1999 ～ 2005 年中国联通太仓公司主要通讯设施情况表

表 101

年份	基站（个）	设备		光纤（千米）	管道（千米）
		G网（个）	C网（个）		
1999	14	14	0	5	0
2000	19	19	0	12	1.0
2001	31	31	10	46	2.5
2002	39	35	18	68	5.2
2003	45	35	24	89	7.2
2004	56	35	35	112	15.2
2005	58	37	35	150	35.2

六、水利设施建设

农田水利

【农田水利工程】

1986 年起，对南郊、双凤、新湖圩区实施重点治理，先后对圩区的排灌站、套闸、防洪闸进行改造，新建中型拖拉机桥 6 座。至 1988 年，累计投资 101.4 万元。1989 年，总投资 319.53 万元。改造圩区套闸 3 处，防洪闸 1 处；修圩口闸 9 处，防洪护坡 0.5 千米，地下混凝土渠 7.01 千米，配套桥梁 20 座；新增灌排分开耕地 426.67 公顷，改善排涝面积 800 公顷、灌溉面积 2633.33 公顷、防洪面积 1240 公顷；新增机耕路 142 千米；完成机电排灌技术改造 38 处，其中改造泵站 27 处、小机泵 2 处，农灌配变增容 9 处，受益耕地 2126.66 公顷。次年，总投资 339.75 万元。完成土方 578.03 万立方米，新建和改造机电排灌工程 57 处，改善耕地灌溉面积 1973.33 公顷。1991 ～ 1993 年，完成河道配套建筑物 324 座，沟渠配套建筑物 1774 座，建筑物配套面积 9313.33 公顷；完成机电灌溉技术改造工程 251 处，其中新建工程 115 处；改善耕地灌溉面积 8213.33 公顷、排涝面积 4766.67 公顷，新增排涝面积 1206.67 公顷。

1995 年，按“先土方、后配套，先点上、后面上，先防洪治涝、后排灌配套，先自筹、后补助”的原则，进行农田水利工程建设，至 2000 年，累计投资 7408.75 万元

（不含 1996 年）。完成土方 3120.7 万立方米，其中外三沟土方 750.46 万立方米，渠道土方 300.59 万立方米，圩堤加固土方 19.3 万立方米。农田水利配套建筑物 3076 座。机电排灌工程 87 座，其中新建 17 座。衬砌明渠 62.52 千米，暗渠 18 千米，防洪挡墙护坡、护岸 22.25 千米。修筑机耕路 100.32 千米。增加旱涝保收田 680 公顷，改造中低产田 740 公顷。2001 ～ 2005 年，完成土方 2134.46 万立方米，其中外三沟土方 718.28 万立方米，河道清淤土方 317.33 万立方米，圩堤加固 34 千米，土方 11.2 万立方米。农田水利配套建筑物 1299 座。衬砌渠道 10.9 千米，防洪挡墙护坡、护岸 34.9 千米。倒虹吸及配套建筑物 115 座，其中防洪闸 13 座，涵洞 29 座，倒虹吸等建筑物 73 座。修筑机耕路 67.3 千米。新建改造机电排灌站 55 座，增加旱涝保收田 1486.67 公顷，治理半高田 1053.33 公顷，改造中低产田 746.67 公顷，建吨粮田 673.33 公顷，高标准田 200 公顷。

【河道治理】

80 年代起，结合冬春农田水利基本建设，对县、乡、村三级河道进行清淤、疏浚和综合整治。1986 年，投资 1.67 万元，疏浚唐泾河，建手扶拖拉机桥 1 座及其他配套工程。1988 年冬至 1993 年春，开挖疏浚县、乡、村三级河道 522 条，加固加高堤防 19.2 千米，全面完成石头塘土方工程。1995 ～ 1996 年，新挖及疏浚河道 228 条 216.13 千米，完成土方 334.98 万立方米。1997 ～ 1999 年，完成河道疏浚土方 450 万立方米，清淤 268 万立方米。2000 年，总投资 2457.52 万元，进行河道清淤、新开及疏浚。其中市级河道十八港、半泾河清淤 43 万立方米，投资 298 万元；镇、村级疏浚河道 255 条 311.75 千米，新开河 5 条 7.89 千米，投资 2159.52 万元，共完成土方 571.15 万立方米。新开河做到河成、堤成、绿化成。2002 年，在鹿河、城厢两镇开展河道长效管理试点工作。全年完成河道疏浚土方 180.28 万立方米；清理河道 187 条 211 千米。2003 年年初，全市投资 344.15 万元，完成 2000 多条 1800 余千米农村河道突击清理任务。市政府相继印发《太仓市农村河道管理实施细则》和《太仓市河道管理考核办法》，落实 658 人为河道管理保洁员，对河道实行长效管理。建立健全河道长效管理工作考核制度。镇村制定相应的河道管理实施细则和办法，市、镇、村按照 2∶1∶1 的比例落实长效管理资金 183 万元。全年新开及疏浚河道 192.78 千米，完成土方 232.43 万立方米。2005 年，疏浚河道 125 条 154.45 千米，完成土方 247 万立方米，其中市级河道 1 条 4.45 千米，土方 13 万立

方米；镇级河道 124 条 150 千米，土方 234 万立方米。

防洪排涝

【防洪工程】

海塘防洪工程 境内海塘北起白茆口南岸，南至宝山区界，沿线通江河口设水闸 9 座、套闸 1 座，港堤总长 12.523 千米。1985 年年末，建有海塘各类护岸 18.4 千米，护坎 13.4 千米，港堤护岸 4.7 千米。1992 年，完成海塘防洪工程长 935 米，土方 1.07 万立方米，石方 5952 立方米，混凝土方 1072 立方米。1997 年起，实施江海堤防达标建设和加快防洪保安基础设施建设。至 1999 年，共投资 1.64 亿元，完成 37.94 千米主江堤达标建设，包括护坡和 9.2 米顶高程的钢筋混凝土防浪墙的修筑；24 千米堤顶防汛道路建设及元宝村至杨林塘“三线工程”、七浦闸外移、鹿鸣泾、钱泾口南港堤、白茆口 3 个涵洞的翻建等配套工程。2000 年，启动配套建筑物和港堤达标工程建设。至 2002 年，先后投资 7227 万元，完成对沿线通江河口闸、涵改建维修。其中投资 1700 万元，完成杨林、钱泾、浪港等 6 座节制闸改建、维修；投资 1547 万元，完成浏河节制闸大修；投资 374 万元，完成 9 座通江涵洞维修、封堵、改建；投资 1035 万元，完成鹿鸣泾、新泾、荡茜 3 座节制闸改建；投资 545 万元，完成汤泾、苏张泾、胡家港 3 座节制闸改建。另外投资 385.5 万元，整治浏家港马桥护坎；投资 465 万元，完成江堤达标管理设施工程；投资 1175.5 万元，完成 13.4 千米主江堤内坡填塘固基工程，其中块石挡土墙 7.4 千米，楼板护坡 6 千米；七浦塘疏浚土方 14.7 万立方米；港堤顶道路 9.22 千米。至此，全市主江堤、港堤道路全线贯通。2003 年 3 月，投资 640 万元，完成浮桥七丫口至杨林拆船厂和浏河七十二家村段长江护坎整治工程，4 月初通过验收。6 月 27 日，50 多千米的长江堤防及其配套工程，通过省水利厅，苏州市水利局、财政

2003 年完成的港区段堤防达标工程

局，太湖水利工管处等15家单位江堤达标验收，正式移交太仓堤闸管理处负责运行管理。同年，投资480万元，完成浮桥杨林口北至远太国际城段7.2千米堤顶道路修复，以及该段江堤背水坡填土加固和绿化工程。2004年，完成通江河道配套整治工程，包括23个建设项目。

2003年完成的长江堤防护坡工程

其中新建、改建项目较大的有浏家港市河节制闸、张家浜、石孔泾和六里塘闸站。六里塘闸站采用闸站分离形式，新建6米节制闸和引排流量为每秒4立方米的双向潜水泵站各1座，有效抵御杨林塘高水位防洪压力，保证东部高水片工农业生产的正常用水，同时利用泵站及时排除内涝，引水换水，调节水量，保证区域水环境质量。同年，投资800万元，修筑护坡、挡墙共6千米，实施二期填塘固基工程，改善沿江防洪条件。2005年，先后完成荡茜河（一期）拓宽改造、浏家港马桥护坎、浏河南港堤护岸和三期填塘固基背水坡土方加固等工程。其中荡茜河工程，东起荡茜口，西至石头塘，全长8.1千米，拆迁农户65户；马桥护坎，投资2512.32万元，完成土方13.32万立方米，石方4.5万立方米，混凝土方0.98万立方米；港堤护岸，投资66.29万元，完成土方3321立方米，混凝土方272立方米，石方1039立方米。三期填塘固基，投资515.67万元，完成土方14.43万立方米。

市区防洪工程　2000年，开始兴修市区防洪工程，范围为东至十八港、西至吴塘、南至浏河塘，北至城北河及东城北河，总面积25.18平方千米，分为东区、中区、西区。至2001年，东区完成沟通娄江河4.1千米（浏河至东城北河），并建造驳岸；完成通城河、半泾河等5条河清淤并建驳岸9070米。中区投资150万元，完成7个地块的排水系统，建下水道1500米，翻建泵站3座，增设一批窨井，疏通淤塞下水道5000米。西区投资307万元，完成包泾河闸站、河道疏浚、西城河闸站工程。新区投资896万元，完成防洪工程8项。2002年，投资127万元，完成界河和李家河泵站工程，并各配套2台24寸轴流泵，装机容量180千瓦，排涝流量每秒

4立方米；投资151万元，完成沿线各支河口配套涵洞11座；投资94万元，完成大半泾南、北口河道防洪护岸800米；投资14.5万元，完成十八港沿线和梅园村北线防洪护岸2360米；投资5万元，封闭清福泾坝，梅园东、中、西坝。2003年，娄江河闸站建成。2004年，新区拓浚王家河、横一河、大半泾北段和通城河北段，同时修筑防洪挡墙。2005年，整治市区水环境，投资2635.14万元，先后完成洋沙泾整治、拆涵建桥、市区河道清淤等工程，共清淤整治河道15条15.76千米，完成土方21.5万立方米，建生态护岸1.58千米，铺设雨污水管道6.4千米，新建或改建桥涵7座。市区水环境面貌得到初步改观。

【排涝工程】

1986年，全县排涝设施保有量4754台。1997年，投资117万元，改造南郊横塘闸、新湖苏界娄闸站、双凤勤力北站、直塘沙巨排涝口及斜塘、九王泾护坡，改建庆寺圩排涝站。2000年，投资963.6万元，完成建排涝站22座、防洪闸6座、套闸14座、封闸7座、护坡9550米；完成圩堤土方30.6万立方米，治理半高田666.67公顷。2001年，投资137万元，完成防洪治涝6项工程，其中双凤镇5项，城厢镇1项；投资9.5万元，完成双凤太平圩机电站维修、防汛道路修筑及城厢镇部分圩区机电站、闸口维修等圩区应急抢修工程。2002～2004年，先后完成圩堤楼板护坡1千米，防汛道路1千米及圩区机电设备、常丰圩疏河配桥工程。投资290万元，完成排涝设施维修改造，其中西部圩区投资150万元，完成一批排涝工程；投资40万元，新建、改建双凤镇新乐村闸站；投资20万元完成城厢镇西新、永丰、独娄和新农4个村6座防洪闸站及14座外排涵洞维修；投资80万元铺设太平南圩圩堤混凝土道4千米。加高加固圩堤12.6千米，土方2.4万立方米。维修闸站涵59座，修防护坡200米。新建双凤镇太平、新跃防汛排涝口2座。修建共和、石家港2座闸站，解决100多户农宅经常进水问题，同时减轻圩区其他排水泵站的排涝压力。2005年，在全市水资源综合规划及防洪、水系专题规划编制完成的基础上，委托扬州大学水利学院编制《太仓市圩区治理规划》，适当合并联圩，调整骨干河道水系，减少排涝闸站，提高圩堤防洪能力，使圩区防洪标准为抵御50年一遇洪水位，排涝标准为20年一遇。堤防顶宽4米，一般机动车辆可通行，方便农业生产和农村交通，促进经济发展。年末，全市排涝设施保有量6477台，是1986年的1.36倍。

饮水工程

【城市饮水工程】

1984 年年末，自来水厂有深井 15 眼，输水管道 21 千米；企事业单位自备深井 8 眼。由于井位分布不合理，长期采用只抽不回灌，水源补给不上，出水量日益减少，不能满足城区生产、生活用水需要。另因水质检测中发现部分深井水中汞、砷等重金属元素含量超标，因此决定另找水源。1985 年，利用浏河水源建地面水厂，水厂水源取水口泵站设在城区东南朝阳村姚泾河西约 100 米处。总投资 150 万元，其中县财政拨款 50 万元，无息借款 50 万元，银行贷款 50 万元。设计制水能力每日 4 万～ 4.5 万吨，分两期施工。第一期为 2 万吨，同年 5 月 3 日动工，次年 5 月 1 日正式投产供水。第一期工程建成每小时水处理 320 吨重力自流式澄清池 3 个，450 吨无阀滤池 2 个，1500 吨容积清水池 2 个，完成一泵房、二泵房土建工程和机电设备安装，基本解决县城区域内的生产、生活用水。年末完成二期工程，增建澄清池 2 个，无阀滤池 1 个，铺设管道 23 千米，其中干管 7 千米，支管 16 千米，最大管径直径 600 毫米。日制水能力达到设计要求。城区供水普及率 95%，建成区以内，除个别边缘农户外，全部饮上自来水。

1994 年，新浏河受到上下游的污染，水质日益恶化，无法作为水厂水源，市委、市政府决定取长江水建第二水厂，厂址选在靠长江边的时思镇浪港村，距市区 35.5 千米，取水口泵站设在长江浪港段，日制水能力 30 万吨，分期施工。但新厂投资大建设周期长，市区供水过渡必须解决好。经反复研究，决定继续饮用地下水。鉴于老城区内水井分布较密，单井水量有限，同时考虑地面下沉等因素，不宜再增打深井，根据市区北侧水质氯化物含量偏高，西侧、南侧水量偏低，单井水量少，市区东侧水量较丰富的实际情况，确定在浏太路经济开发区东侧打一深井群，与长江引水第二水厂工程相衔接。工程 1994 年 9 月开始，至 1995 年 6 月结束，共新打深井 45 眼，达到日供水 5.58 万吨，修复深井 13 眼，铺设管道 14.3 千米，其中工业专用管道 5.3 千米，预算资金 2500 万元，竣工资金 1800 万元。

1997 年 11 月 18 日，第二水厂一期工程动工，总投资 2.25 亿元，日制水能力 10 万吨。工程包括取水工程：取水头部、取水自流管和取水泵房。取水头部建箱式水头取水，安装自流管直径 DE11600 的钢管 2 根，每根长 1200 米，取水泵房与

取水井合建,泵房为圆形,直径28米。净水厂工程:占地面积10.47公顷,建有沉淀池、过滤池、清水池、二级泵房、加矾间、加氯间、35千伏变电所等,净水采用絮凝—沉淀—过滤—消毒等常规工艺。配水厂工程:位于太仓经济开发区内,占地面积1.78公顷,建清水库2座,每座容量为每日7500立方米,增压泵房1座,负责市区管网增压。输水管线工程:铺设管道35.5千米,管径Dn1200～1000,其中浪港河北侧至沪璜公路,铺设Dn1200管道,长5.5千米,沪璜公路至浏太公路,铺设Dn1200管道,长17千米,浏河镇东至配水厂,铺设Dn1000管道,长13千米。另建市区供水配套管网6.5千米,管径Dn1000,完善市区供水管网配水能力。1999年8月8日,第二水厂正式并网供水,所有深井关闭。2002年3月15日,二期工程动工,工程包括建深水泵房、净水厂、配水厂扩建及输水管道的延长铺设等,总投资1.85亿元,次年5月竣工投产,日制水能力10万吨。2003年1月28日,配套蓄淡避咸水库动工,2004年12月10日建成。同年12月18日,第二水厂三期工程动工,2005年10月竣工投产。至此,第二水厂日制水能力30万吨,并配套蓄淡避咸功能,形成安全可靠的供水系统。

【农村饮水工程】

1986年,各镇区主要以地下水为水源,由各镇自行建小水厂,为镇区范围供水。1998年起,开始建设“镇镇通”工程,一期区域供水工程铺设输水管道35.5千米,二期区域供水工程铺设主输水管道35千米、支管28千米,总投资1亿多元。2000年8月,陆渡、浏河、浮桥、城厢沿线各镇群众喝上长江水,至2005年10月1日,全市各镇区均通上长江水。同年,随着“镇镇通”工程竣工,全市开始实施“村村通”工程,加快管网建设,各镇根据农村改水工作目标,制定“村村通”规划,计划3年实现村村通长江水,让全市农民均饮用长江自来水。

七、电　力

太仓是全国最早有电的县(市)之一。清光绪三十二年(1906年),济泰纱厂(太仓利泰纺织厂有限公司前身)安装1台110伏小型直流发电机发电,供厂内部分生产和照明。1985年年末,境内有发电厂3家,装机容量3900千瓦,35千伏及以上输电线路16条226.03千米,变电站12座,主变压器21台,总容量11.94

万千伏安。1986年起，贯彻国务院“多家办电”和“集资办电”的方针，利用社会集资和引入外资等，新建、扩建和改造大小电厂13家及输变电工程41项。至2005年年末，境内有上网电厂8家，装机容量476.61万千瓦，是中华人民共和国成立初期全国发电装机容量的2.45倍，人均发电装机容量10.42千瓦，是欧洲发达国家人均拥有量的2.5倍。35千伏及以上变电站53座，主变压器96台，总容量853.49万千伏安，架空输电线路75条660.22千米，电缆线路19条6.97千米。形成强大的太仓电网，向上海和华东地区送电。

2005年高压电力线路穿越娄东大地

发电企业

【华能电厂】

是中国政府与新加坡政府合作开发建设的苏州工业园区配套项目。厂址在太仓港区的浮桥镇时思村境内，东濒长江，是一座大容量、高参数、低消耗、少排放的新型火力发电厂。1996年8月经国家计委批准立项，1997年6月正式注册，工程分两期进行。

1998年3月15日一期工程动工，总投资44亿元。参加投资组建的企业有中国华能集团公司、苏州工业园股份有限公司、中新苏州工业园区开发有限公司、江苏省电力公司、江苏省国际信托投资公司和太仓市能源开发公司6家，投资比例依次为70%、10%、6%、5%、5%和4%。同年8月8日开始安装设备，次年12月19日第一台30万千瓦机组并网发电。该厂的投运，让中国的发电装机总容量跃上4亿千瓦大关，居世界第二位。2000年4月19日，第二台30万千瓦机组并网发电。

2002年年末，第二期工程启动，中国华能集团公司投资20.64亿元，安装两台60万千瓦超临界燃煤发电机组。2004年6月动工，2005年12月进行试运行发电。全厂装机总容量180万千瓦，是全国屈指可数的现代化大型发电企业。

【环保电厂】

厂址在港区电厂路1号(原杨林拆船厂范围内),总投资60亿元。2002年8月开始安装第一期两台13.5万千瓦汽轮发电机,次年5月并网发电,创全国同类发电机组安装投产的最快纪录。2003年6月,同时进行第二期两台33万千瓦机组和第三期两台32万千瓦机组的安装,分别在2004年5月、7月、11月和2005年1月先后并网发电。全厂总容量157万千瓦。

2003年太仓港环保发电厂建成发电

【国华电厂】

全称国华太仓发电有限公司,是由中国国华电力集团出资46亿元收购环保电厂第四期工程而组建的大型电力生产企业。厂址毗邻环保电厂。2004年8月动工安装两台60万千瓦超临界燃煤发电机组,2005年4月第一台机组并网发电。同年10月另1台机组投运并网发电。

【玖龙纸业热电厂】

为玖龙纸业的自备热电厂。厂址在太仓港区的杨林口北岸。2003年6月,动工安装两台5万千瓦燃煤热电联产机组,次年6月第一台机组投入运行,2005年3月另1台机组并网发电。主供纸业生产用热和用电,部分送入太仓电网。

【协鑫热电厂】

全称太仓保利协鑫热电有限公司,由太仓协鑫电力有限公司、澳大利亚澳能电力有限公司、香港新中港集团、香港新海康集团共同投资3625万美元兴建,是一个集中供热、热电联产、多功能开发的热电企业。厂址在市区洛阳东路78号。1997年3月,开工建设,安装两台1.5万千瓦燃煤热电联产机组,分别于1998年12月和1999年2月并网发电,同时对外供热。此后,新区和老城区的小锅炉逐步停役,近100家企业的60余柱烟囱推倒,年节煤10万多吨,减少粉尘排放量,净化环境。

2002 年年末，安装第三台 1.5 万千瓦热电联产机组，次年 5 月并网发电，全厂总容量 4.5 万千瓦，肩负上网发电和市区的供热任务。是省内第一家、全国第三家实施“回收氨气脱硫”的热电企业。

【宏达热电厂】

是由全县集资 3500 万元和借贷建设的境内第一家热电企业。厂址位于沙溪镇西的七浦塘南岸。1985 年年初筹建，称太仓热电厂。1986 年 5 月与中国人民保险公司所属的宏达投资有限公司合资经营，改称太仓宏达热电厂。1987 年 12 月和 1988 年 1 月两台 1.2 万千瓦燃煤热电联产机组分别并网发电，有效缓解全县的供用电紧张局面。1994 年年初安装 1 台 3000 千瓦燃煤机组，同年 6 月并网发电，全厂总容量 2.7 万千瓦。1996 年被电力工业部评为江苏省首家县（市）级安全文明双达标热电企业。1997 年改制为宏达集团有限公司，该厂是其下属的 8 家企业之一，所发电力除集团公司自用外全部上网。

【调峰电厂】

由太仓能源开发公司与香港敬力投资有限公司共同投资 2.02 亿元建设。厂址位于陆渡镇经济开发区内。1996 年 5 月动工，安装两台具有世界先进水平的荷兰产 1.05 万千瓦柴油发电机组，次年 4 月并网发电。该机组具有启动和停运快的特点，在 20 分钟内即可从备用状态转入满载发电，从而扭转太仓电网负荷峰谷差过大（1.8∶1）的弊端，对平稳用户用电发挥积极作用。

【岳王电厂】

是由岳王乡镇集资 240 万元建造厂房和输变电设备，兰州电力试验研究所提供原西固电厂的两台 1500 千瓦停役机组，建成的小型火电厂。厂址位于岳王镇东的杨林塘北岸。1986 年 5 月动工，同年 11 月第一台机组投运，次年 5 月第二台机组启动，通过 35 千伏岳王变电站并入电网运行。1989 年岳王镇西 220 千伏新泾变电站投运，该厂负荷逐步递减，终因煤耗大、成本高，1992 年 3 月停机转产。

【百科热电分厂】

原称太仓酿酒总厂热电分厂，主供酒精生产用电用气。厂址位于城厢镇古塘

街18号。1988年委托上海核工业研究所设计,上海华能中小型电力工程公司总承包,1989年动工安装两台1500千瓦燃煤热电联产机组,1991年1月并网发电。1993年太仓酿酒总厂合资经营,成立苏州百科化工有限公司,改称百科热电分厂。

【金龙热电分厂】

是沙溪金龙集团的自备电厂。厂址位于沙溪镇东端。1981年9月利用生产化肥的余热置1台3000千瓦燃煤供热发电机组投运。该厂热能除自用外,供附近农具厂、五金厂等企业使用,多余电力于1988年上网。至1998年10月,企业用电改由电网供应,发电机停役。

【针织热电分厂】

是太仓针织总厂的自备电厂。厂址位于城厢镇人民南路52号。1983年,利用厂内锅炉余热发电,容量750千瓦。1987年3月并网运行。1996年6月全厂改由电网供电,发电机停役。

【潮汐电站】

位于浏河水闸内,是利用长江潮汐落差能量发电的实验电站。1976年8月建成,安装1台75千瓦自励式水轮发电机,1978年并入电网运行。1979年增加1台发电机,装机总容量150千瓦。1981年对电站自动化控制进行改造,邀请上海市电器技术研究所、华东水利学院、武进液压启闭机厂等单位合作设计,1983年10月电站自动化控制设备正式使用,经水利电力部、复旦大学、上海机电一局等32个单位鉴定验收,成为国内第一座全自动化控制的小型潮汐实验电站。1986年两台机组年利用小时1768小时。至1995年4月,因电网缺电局面逐步缓和及运行成本过高而停机保养。

【垃圾焚烧电厂】

全称太仓协鑫垃圾焚烧发电有限公司。厂址位于双凤镇新卫村。由香港协鑫(集团)控股有限公司投资2.3亿元兴建,属环保型垃圾处理项目,列江苏省重点建设工程。2005年年初筹建,6月动工,安装两台6000千瓦中温中压凝汽式汽轮发电机组,境内的生活垃圾可全部作为补充燃料,所发电量将并入太仓电网。

电网改造

【输电设施】

1985 年年末，境内有 35 千伏输电线路 12 条 149.18 千米，110 千伏输电线路 4 条 76.85 千米。1988 年建新泾输变电工程，从 220 千伏常（熟）（金山）卫线开环，架设接入线路 2 千米，输电电压跨入 220 千伏行列。1995 年 8 月架设新泾变至娄东变 220 千伏线路 8.28 千米，并与常熟电厂和昆山变环通，构成苏州各县市相连结的 220 千伏电网系统。2002 年年初，配合港区大电厂的送出，架设华能电厂至新泾变的双回线路 29.49 千米。2003 年，架设环保电厂至浏家港变（先双回，至 2005 年增至 6 回）40.1 千米。2005 年年初，配合国华电厂向上海送电，华东电网公司组织架设港区至徐行变 500 千伏超高压输电线路。华能电厂二期至苏州车坊变 500 千伏双回线工程同时动工。同年，架设华能电厂至香塘变电站的双回线路 14.82 千米，香塘变电站至庆丰变电站 16.16 千米，架设与昆山、常熟连网线 23.95 千米。形成苏州东环 220 千伏电网，使太仓电网结构更可靠合理。至年末，境内有 35 千伏及以上架空输电线路 75 条 660.22 千米，电缆线路 19 条 6.97 千米。其中 500 千伏架空线路 78 千米；220 千伏架空线路 143.82 千米；110 千伏架空线路 224.63 千米，电缆线路 3.73 千米；35 千伏架空线路 213.77 千米，电缆线路 3.24 千米。与 1985 年相比，太仓电网的输电电压升高两级，线路长度增加 1.88 倍。

【变电设施】

1985 年年末，境内有 35 千伏变电站 10 座，110 千伏变电站 2 座，主变压器 21 台，总容量 11.94 万千伏安。1986 年 9 月，经水利电力部批准，建 220 千伏新泾输变电工程。变电站容量 2 台 12 万千伏安，总投资 1000 万元。选址在岳王镇西街村新泾组，占地面积 4.29 公顷。1987 年 4 月动工，1989 年 1 月 5 日第一台 12 万千伏安主变压器投入运行。1994 年 6 月，江苏省第一座由乡镇集资建造的 110 千伏级变电站在陆渡落成，同年 7 月 8 日投运。1995 年 8 月 220 千伏娄东变电站投运。至 2000 年 10 月，110 千伏璜泾、港区、松南变电站陆续建成投运，使太仓港经济开发区和新兴的自行车业、加弹业等有了可靠的电力供应，扭转了太仓电网“有电供不出”的局面。

2004年江苏最大的220千伏浏家港变电站建成投运

2002年年初，江苏省电力公司投资1.26亿元，建造江苏省最大的220千伏浏家港输变电工程，设计容量3台18万千伏安，由省电建公司施工安装。2004年3月和10月两台18万千伏安主变先后投运，接纳环保电厂二期工程的发电。2005年分别在璜泾镇和双凤镇建成香塘和庆丰两座同样规模的220千伏变电站。朝阳、浏河、新联、双凤、远太、东林、金浪110千伏变电站也相继投入运行。至2005年年末，境内有35千伏及以上变电站53座，主变压器96台，总容量853.49万千伏安。其中500千伏变电站2座，容量144万千伏安；220千伏变电站6座，容量547.56万千伏安；110千伏变电站18座，容量117.01万千伏安；35千伏变电站27座，容量44.92万千伏安。总容量比1985年增加70.48倍。

2005年年末太仓市输变电设备统计表

表102

名称		变电			输电				附注
		变电站	主变压器容量		架空线路		电缆线路		
单位		座	台	万千伏安	条	千米	条	千米	
供电公司	合计	32	54	245.25	66	535.10	16	5.79	—
	220千伏	5	8	120.00	8	103.21	—	—	—
	110千伏	13	22	91.45	22	218.12	6	2.55	—
	35千伏	14	24	33.80	36	213.77	10	3.24	—
电厂及用户	合计	21	42	608.24	9	125.12	3	1.18	电厂升压变压器19台563.65万千伏安
	500千伏	2	2	144.00	2	78.00	—	—	电厂升压变压器2台
	220千伏	1	11	427.56	6	40.61	—	—	电厂升压变压器10台
	110千伏	5	9	25.56	1	6.51	3	1.18	电厂升压变压器3台
	35千伏	13	20	11.12	—	—	—	—	电厂升压变压器4台

【配电设施】

1985 年，境内完成配网“二改三”（两线一地制改为三线制）工程，有 10 千伏配电变压器 1089 台，容量 13.35 万千伏安，线路 30 条 713.76 千米。1986 年年初，线损率为 6.39%。同年，县供电局投资 80 万元，开始更新 10 千伏高损耗配电变压器。经过两年努力，供电局成为全省最早完成高耗变改为低耗变的先进单位。1989 年年初，线损率降至 3.85%，列苏州市最低，受到省电力局的褒奖。

1994 年，供电局投入 2268 万元城市电网建设资金，对城厢、沙溪、浏河 3 个镇的配电网络进行重点建设和改造，在市域 204 国道西门段、新东街和桃园居住小区，采用箱式变压器和电缆敷设的方案，取代杆上变压器和架空线路。1996 年，在市区 10 千伏线路上加装自动环网重合器，实施分段配电，逐步完善配网保护，减少局部停电，受到市民欢迎。

2001 年，市供电公司启动“三线入地”工程，把高压配电线、低压配电线和电力通信线（简称“三线”）埋入地下。先后投入 8600 万元城网改造资金，把市区的人民路、太平路、城北路、北门街和沙溪的白云路、浏河的郑和路等主要街道上空的架空线路全部扫清。2003 年起，新建的马路，都按“三线入地”标准进行配电网建设。同时，供电公司内部投资 230 万元，完成配电自动监控装置建设，对市区 285 台公用配电变压器进行 24 小时远程动态监测，发现故障，立即派人处理，保证用户安全可靠用电。至 2005 年年末，境内有 10 千伏配电变压器 4996 台，容量 153.5 万千伏安，其中用户自备专用配电变压器 2061 台，容量 96.98 万千伏安；10 千伏线路 219 条 1948.3 千米，配变容量和线路长度分别比 1985 年增加 10.5 倍和 1.73 倍。市陆域范围内，构成四通八达的配电网络，市区配网实现“手拉手”供电，农村 40% 配电线路可以互供，一般居民用电 1 年累计停电不超过 22 小时。

【农电改造】

1985 年年末，境内农村低压电力线路 3430 千米。1986 年 4 月，省电力局批准《太仓县农村电网规划（1986 ～ 2000 年）》，为全省第一部农村电气化（简称农电）发展规划。同年 7 月，江苏省农电规划研讨会在太仓召开，推介太仓县重视农电发展规划的安排和资金筹措办法。次年，省、市选择太仓县鹿河乡为农村用电标准化建设试点乡，投资 145.5 万元，更换凌固土电杆和石条接木电杆 280 根，改造配电

房11座、低压线路142千米，更新不合格的变压器台架和接户线，全乡低压线损率下降18.2%，基本杜绝偷、漏、损现象，国家、集体、个人相得益彰。1990年3月，省电力局授予鹿河乡全省第二个“农村用电标准化乡”称号。同年，太仓印发《关于建设用电标准化乡（镇）的通知》，全县掀起农电建设和改造的高潮，把不符“低规”要求的农电设施全面改造，在所有农村配电变压器和93%的农户家里装用两级触电保安器，安全用电得到保障。1992年10月，通过省、市验收，太仓成为全省第一批、苏州市第一个“农村用电标准化县”。

1993年7月起，投资260万元，开展电力为农业、为农民、为农村经济服务的“三为”活动。至1995年9月，镇、村、户通电率100%，农业排灌用电保证率100%，农村居民生活用电保证率97.96%，农村电压合格率94.5%，设备完好率100%，农村人均年用电量1654千瓦时，太仓成为全国第一批达标的“农村电气化县”。1996年，启动“绿色照明工程”，推广节电措施和节能灯具，社会节电8012万千瓦时，太仓被电力工业部命名为江苏省第一个“节电先进县”。1997年建成“电网调度自动化实用化县”，太仓成为江苏省首批实现农电建设“三为”“三化”的县（市）。长期困扰农民的“用电难，电价高”问题，迎刃而解。

2000年起，深化、启动农村电网改造、农电体制改革和同电同价（即“两改一同价”）建设。至2003年，共投资3亿多元，完成一、二两期大规模高标准的农网改造，在328个村里增设节能配电变压器1151台，调粗和延伸低压电力线路4000多千米，低压线损率达到10.09%，低于国家制定的新农村电气化建设的要求（11%），农村用电实现安全、优质、高效、低耗、灵活。2005年，国家电网公司命名太仓市供电公司为全国“农村电力管理标杆单位”。

江苏省太仓港经济开发区

卷 七

JIANG SU SHENG TAI CANG GANG JING JI KAI FA QU

一、概　况

浏河，古称娄江，西起太湖，东至长江，横贯境内，古时的太仓港萌生于娄江下游段。由于娄江口地理位置重要，三国时被视为东吴通海门户。宋代是长江入海地区自然港口群起时期，娄江下游依托太仓、澹漕口（浏河）集市形成了自然港口。货物集散以粮食、丝麻、食盐、渔货、海产、陶瓷、竹木、土产为主。宋嘉祐七年（1062年）有新罗海船入娄江到达平江，是古代太仓港最早接纳的海外商船。至南宋，江南已成全国经济中心，尤其稻米质优价廉，南洋海舶多有进出，载来赤糖、冰糖、药材、生漆、香料及奇珍异物，携去大批粮食、丝麻茶叶、陶瓷、纸张及铜铁制品。元代，宽阔的娄江下游称刘家港，港口码头众多，有太仓城南的张泾码头、城东的半泾码头、沟通嘉定城的石家塘码头及位居江口的天妃镇码头等。刘家港外通琉球、日本等地，谓之“六国码头”，太仓亦由此繁盛起来。由于贯通南北、承担漕运（南粮北调）的大运河局部湮塞，于是另辟海上漕运，自元至元十九年（1282年）至明永乐十三年（1415年），经刘家港海运的漕粮达1.11亿石，合666万吨。

在元明时期，刘家港是中国东方著名海港之一。自明永乐三年至宣德八年（1405～1433年）的28年中，航海家郑和奉命率庞大船队从刘家港扬帆远航下西洋，先后出访亚非30多个国家，远及非洲东海岸，在世界航海史上写下辉煌篇章。

明末清初，因江流海浪冲刷且水政失修，娄江浊泥积淀，失去了通江达海的地理优势，海运日渐萧衰。清代和民国时期，刘家港失去了参与远洋海贸的地位，以内河、长江及近海贸易为主。

中华人民共和国成立后，浏河渔港和长江轮运得到发展，并于1958年、1975年两次拓浚浏河。

90年代初，中央决定开发上海浦东，建立浦东新区，并以上海浦东开发开放为龙头，带动长江三角洲和整个长江流域地区经济发展。太仓地处长江口，毗邻上海市，具有接受浦东辐射，吸引外资，发展港口经济等优势。县委、县政府抓住浦东开发和长江沿江开发开放的机遇，在城东以高新技术产业为核心建设经济新区，在沿江发展基础工业并创建浏家港港口，实施“以港兴县”发展战略。1992年，江苏省委、省政府根据国务院召开的长江沿江开发开放会议精神，对江苏省沿江地区发展作出重要部署，提出抓好“二带”（沿江高新技术产业带、沿江基础工业带）、“二区”

(重点开发启东吕泗港区和太仓浏河、七丫港区)的发展思路。同年6月9日,太仓县成立浏家港港区开发建设指挥部,由县委书记周振球任总指挥,县长范正清任指挥,从县级机关和有关单位抽调一批干部,拉开港口开发建设的序幕。10月,港口开发首期启动6平方千米。原城东经济新区建设指挥部更名为太仓经济技术开发区总指挥部。10月28日,浏家港第一个万吨级码头——江苏长江石油化工有限公司投资兴建的石化码头开工建设,打下历史性第一桩。1993年7月12日,太仓经济技术开发区管理委员会成立。同年11月4日,江苏省政府批准浏家港港口开发区和太仓经济开发区为省级开发区。省政府制定的《江苏省国民经济、社会发展第九个五年计划和2010年远景目标纲要》中提出要"重点开发建设浏家港,尽快使其成为长江口以集装箱枢纽港为主体的商业性大港"。

1994年7月22日,撤销浏家港港区开发建设指挥部,成立浏家港港口开发区管理委员会。1995年5月25日,长江石化码头靠泊第一艘国轮"胜利4号",浏家港正式投运。同年6月30日,浏家港港口开发区管理委员会更名为太仓港港口开发区管理委员会。10月29日,经交通部审批的第一艘外轮"又钟"号满载3000吨化工产品抵港卸货。12月3日,国务院批准太仓港为国家一类口岸对外国籍船舶开放。1996年6月6日,市政府与中国远洋运输(集团)总公司签署共同开发"中远国际城"协议书,中远集团开始参与太仓港开发建设。1997年1月19日,太仓市隆重举行太仓港开港典礼。党和国家领导人李鹏、李岚清、费孝通、迟浩田、万国权等为太仓港的开港题词祝贺。

2000年2月,交通部和江苏省政府正式批准《太仓港总体布局规划》。2002年12月12日,江苏省政府审批同意太仓港口开发区与太仓经济开发区合并,更名为江苏省太仓港经济开发区,下设太仓港经济开发区港区和太仓港经济开发区新区。2005年,江苏省委、省政府专门成立副厅级建制的江苏太仓港口管理委员会,委派苏州市副市长梅正荣担任江苏省太仓港口管理委员会主任。太仓港以建成"亿吨大港、集装箱干线港"为目标,进入新的发展阶段。至年末,港区按照省、部批准的陆域规划,控制范围为沿长江白茆的钱泾口至浏河口沿江地带。包括长江岸线38.8千米,南至浏河,北至钱泾河,西至沪浮璜公路西侧1千米,面积约261.8平方千米。初步建成石化工业区、远太国际城区、能源和基础原材料工业区、高新技术产业和旅游发展区4个功能区。新区由一期的城东地块向二期的城北地块扩展,一期、二期总区域范围:东至常胜路,南至新浏河,西至盐铁塘,北至苏昆太高

速公路太仓段，面积约 34 平方千米。港区和新区内有耐克公司、西门子集团、英国 BP 石油公司、埃克森美孚公司、史泰博公司等 9 家来自欧美的世界 500 强企业，分别形成电力能源基础原材料产业群和以高新技术产业为主的德资工业群。全年完成工业总产值 310.94 亿元，销售收入 295.95 亿元，财政收入 24.08 亿元，分别占全市的 45.82%、45.6%、53.3%。

二、港　区

港口建设

【自然条件】

太仓位于长江口南支河段南岸，地处长江入海口咽喉，沿江岸线总长 38.8 千米，上游自白茆河口太仓与常熟交界处，下游至浏河口南太仓与上海交界处。

2005 年太仓港区位图

由于长江夹带大量泥沙在江海交汇处滞留沉积，宋代以来长江入海口原先浮动的众多沙洲，发育成一个稳定且较狭长的崇明岛。受入海口地质制约和地球自转偏向力的作用，原先由北支河段入海的长江主流，改道经南支河段入海。于是，南岸太仓一侧岸线，受江流冲刷和风浪侵袭，陆地停止向外伸涨，口阔岸深，形成“港外即大海，水面宏广”之势。南水道也一直是长江主汊，水流顺畅，水深稳定，深槽贴岸，长久不衰。根据河势分析，荡茜口以下断面最深点变化不大，基本稳定在负 30 米至负 45 米，负 10 米等深线距岸 800 ～ 1600 米，可建深水泊位的岸线为 25 千米，能满足集装箱运输船只大型化和全天候作业要求，是长江口少有的优良建港岸线。同时，港区陆域宽阔，地势平坦，滩地发育，易于开发，具有围滩造地、少占良田的有利条件。

太仓港背靠苏州、无锡、常州经济发达地区，随着国际资本和以电子信息、重化

工为代表的产业加速向长三角地区转移,随着沿江开发战略深入实施和沪宁线高新技术产业带形成,苏南开放型经济迅猛发展,苏南及至长江中下游地区集装箱货源充足,宽广的经济腹地成为太仓港运输业务的重要依托。中央明确以上海为中心、江苏浙江为两翼的格局进行港口组合,作为与上海港相距最近的太仓港,是弥补上海深水岸线短缺及陆域狭窄不足,共同承担国际航运中心重任江苏一翼港口的最佳选择。

太仓港交通便捷,水运不仅有江、海联运之利,而且有江、河联运之便。境内有七浦塘、杨林塘等5条6级至7级航道,沟通长江和内河运输网络。陆路运输,从港区到上海、苏州、无锡有沿江高速、苏昆太高速及锡太一级公路。港区距虹桥机场60千米,距浦东机场80千米。多样、畅通的集疏运条件扩大了港口辐射范围。

【功能定位】

根据长江三角洲地区港口总体布局规划,结合太仓港自身特点、腹地经济、交通状况和港区发展的潜势分析,太仓港的发展定位是:走“以工兴港、以港兴市、接轨上海、服务苏南”的路径,建成以国际集装箱运输为主,相应开展能源物资、石油化工品、工业原材料和产成品运输的多功能、综合性、主枢纽港口。港口具备装卸储存、中转换装、多式联运、运输代理等多种服务功能。辐射范围包括苏州、无锡、常州地区及长江沿线腹地,为这些地区以集装箱为主的外贸物资中转运输服务。年运输量规模达到300万标准集装箱和1亿吨货物吞吐量,成为上海国际航运中心北翼集装箱干线港和江苏第一外贸大港。

【组团布局】

1997年6月,太仓港港口开发区委托江苏省城市规划设计研究院编制《太仓港港口开发区综合布局规划》。根据规划,沿江地区分为五大组团,自浏河至鹿河分别为:旅游及高新技术产业园区(浏河),石化工业园区(茜泾),远太国际城区(浮桥),基础原材料及加工业园区(时思、璜泾),服装、纺织、轻工及预留港口物流园区(鹿河)。2003年2月,港口开发区与市规划建设局又委托江苏省城市规划设计研究院编制《太仓市沿江地区规划》。沿江地区的规划范围为:东起长江,西至338省道,南起与上海分界线,北至太仓与常熟交界线,控制范围约261平方千米。岸线使用与陆上功能相呼应,建立以太仓港为依托,集国际航运、石化、能源等工

业及其配套设施为一体，以外向型经济为主体，逐步发展成为新兴的现代化港口城市。形成旅游和高新技术、石油化工、国际集装箱航运和再生资源加工、能源和基础原材料、环保及综合娱乐休闲居住六大特色功能区，重点发展石油化工、造纸、能源、机械制造、仓储物流等主导产业。

太仓港规划总规模可形成生产性码头岸线总长 19.2 千米，码头泊位 114 个，其中深水泊位 61 个，全港总吞吐能力 1 亿吨左右。布局规划为 3 个区。

中远国际城港区　位于杨林口与浪港口间，占用岸线 9.7 千米。由集装箱区、通用散杂货作业区、长江及内河集装箱疏运作业区、水运工业区、港口保税中转仓储区和临江加工工业区六大功能区组成。区内采取大顺岸和小型港池相结合方案，将驳岸线和码头前沿分别定在负 12 米和负 3 米等深线附近，码头平台和后方岸线采用引桥联系方式。

集装箱作业区位于浪港口与七丫口间，岸线长 6.36 千米，规划建设 20 个集装箱泊位，其中 1.5 万～ 2.5 万吨级泊位 9 个，4 万～ 5 万吨级泊位 11 个，总吞吐能力 535 万标箱。长江驳作业区规划在七丫口，采用挖入式港池方式，规划码头岸线 2.45 千米，可布置集装箱机动驳泊位 14 个，1000 吨级通用机动驳泊位 9 个，短途客运泊位 2 个。可形成 50 万标箱、100 万吨散杂货、50 万人次的吞吐能力。

通用件杂货及散货作业区在长江驳港池下游，规划顺岸式码头岸线 1.8 千米，可布置通用件杂货和散货泊位 8 个。其中 2 万吨级件杂泊位 5 个，2.5 万～ 5 万吨级散货泊位 3 个。总吞吐能力 500 万吨。

内河驳卸作业区布置在杨林塘口，规划内河港池岸线 1.3 千米，布置 100 ～ 300 吨级泊位 25 个。

中远国际城港区最终形成码头岸线总长 10.55 千米，生产性泊位 78 个，其中深水泊位 28 个。总吞吐能力 6360 万吨，其中集装箱 600 万标箱，散杂货 660 万吨。

茜泾港区　位于杨林口至美孚石化码头，占用岸线 3.3 千米。规划最终形成码头岸线长 2.89 千米，生产性泊位 11 个，其中深水泊位 9 个，年吞吐能力 1200 万～ 1500 万吨。

荡茜港区　位于浪港口至钱泾口间，占用岸线 8.9 千米。上游钱泾口建成太海汽渡码头，占用岸线 400 米，建有斜坡式汽渡泊位 4 个。下游为华能电厂，占用岸线 1.2 千米。太海汽渡至华能电厂间剩余岸线约 5.4 千米，规划区内采取大顺岸布置方式，码头前沿线和驳岸线分别沿负 12 米和负 2 米等深线布置，前方平台

和后方驳岸之间由长约 200 米的引桥相连,可建设 2 万～ 5 万吨级散杂货泊位 23 个。荡茜港区最终形成码头岸线长 5.73 千米,生产性泊位 25 个,其中深水泊位 24 个,年吞吐能力可达 2100 万～ 3000 万吨。

【码头泊位】

1992 年 10 月 28 日,长江石化投资兴建浏家港第一座 1.5 万吨级石油化工码头。1997 年 6 月,美孚石油公司投资 2980 万美元建设的 2.5 万吨级石化码头投入运行。1998 年 12 月,中远国际城 2.5 万吨级的多用途泊位竣工投运。1999 年,华能电厂 3.5 万吨级的煤炭码头和中远国际城续建的 2.5 万吨级集装箱泊位先后竣工。2002 年 6 月 8 日,环保电厂 1 号 3.5 万吨级煤炭泊位开工建设。同年 9 月 10 日,远太国际城(原称中远国际城)两个 2.5 万(兼顾 5 万)吨级集装箱泊位开工建设,总投资 4.6 亿元。2004 年 10 月,玖龙纸业 3.5 万吨级煤炭泊位开工建设。至 2005 年年末,太仓港累计建成大小泊位 29 个,其中万吨级以上泊位 12 个。(详见卷六基础设施码头泊位条目)

1999 ～ 2005 年太仓港集装箱运输量统计表

表 103　　单位:万标箱

年份	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
集装箱运输量	1.53	3.60	4.10	4.80	5.00	9.22	25.12

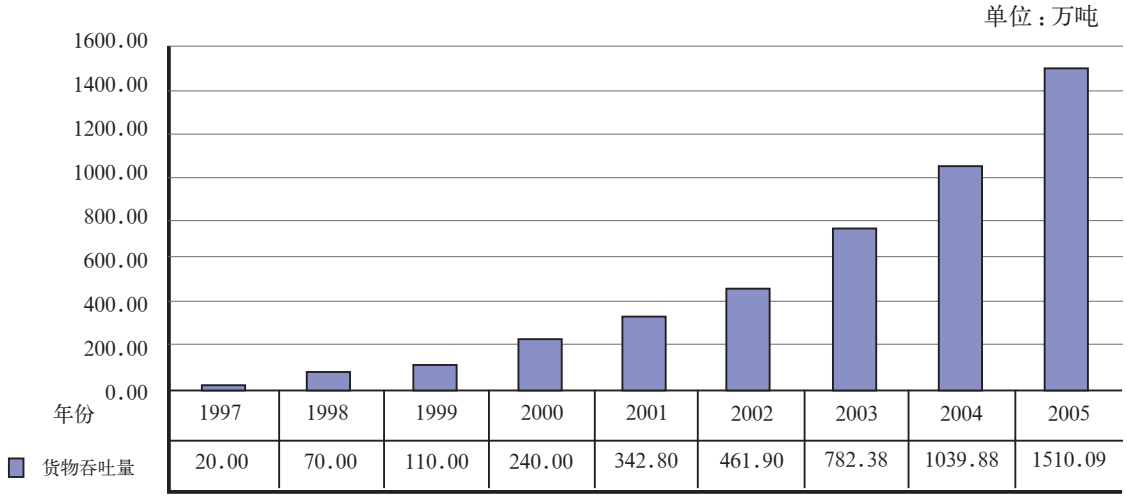


图 8　1997 ～ 2005 年太仓港货物吞吐量统计图

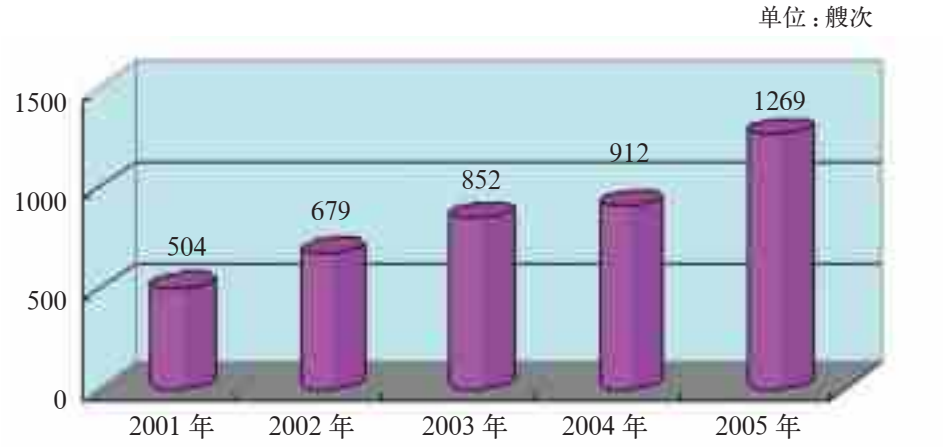


图 9　2001 ～ 2005 年太仓港出入境船舶量统计图

港区开发

港区，应港而生，沿江而布，区域范围随港口开发而逐渐扩大。至 2005 年年末，港区规划范围东至长江，南至浏河，北至浪港河，西至沪浮璜公路，土地面积 150 平方千米。港区以经济体为主要特征，区划特征并不明显，地跨浏河、浮镇、璜泾 3 个镇，辖 2 个社区居委会和 1 个村委会及其所属 21 个村民小组。历任港区工委书记由市委书记徐建明、程惠明兼任，管委会主任由副市长高阳、陆桂中兼任。港区入驻企业不断增多，经济总量逐年变大。临江开展港城建设，城市形成自有特色形态，渐显“哑铃”形“一市两城”雏形。全年港区投入基础设施建设资金 4.18 亿元，完成工业总产值 160.87 亿元，销售收入 157.47 亿元，工业利税总额 20.38 亿元，财政收入 10.85 亿元。

【首期启动区】

港区首期启动区，设在杨林口南侧浏家港镇所属沿江地区，面积 6 平方千米。以石油化工企业为主，兼顾其他出口加工业。1992 年 9 月 8 日，太仓县政府同中国香港达华杰有限公司、上海煤气公司、中国香港巴拉歌船务公司、上海海运局和深圳石化进出口公司 6 家股东单位合资建立“江苏长江石油化工有限公司”，投资 3000 万美元建设 1.5 万吨级石化码头及 4.1 万立方米石化储罐。同年 10 月 28 日，1.5 万吨级长江石化码头工程举行开工典礼，太仓港开发建设打下历史性第一桩。1995 年 5 月 25 日，国轮“胜利 4 号”满载 3000 吨汽油抵港卸货，太仓港正式

投运。当时,太仓港属于二类口岸,尚未对外开放。同年10月29日,报经交通部特批的第一艘外轮“又钟”号抵港卸货。太仓港从此对外开放。之后,江苏省最大聚氯乙烯(PVC)生产基地——苏州华苏塑料化工有限公司12.4万吨聚氯乙烯树脂生产项目、江苏省最大润滑油生产基地——美孚(太仓)石油有限公司、国内规模最大的冷冻液化气储库——华能阿莫科清洁能源公司2个3.1万立方米冷冻液化气终端站项目等一批国际大石油化工企业先后进驻首期启动区。

【远太国际城】

90年代初,中国远洋运输(集团)总公司(简称中远公司)拥有600余艘运输巨轮,总吨位1600余万吨,在国内沿海的广州、大连、上海、青岛、天津5个大城市及世界五大洲均设有远洋运输分公司,运输航线通达世界各国际港口。中远公司长期以来没有自己的港口和码头,1994年年初,中远公司在中国沿海地区,从南到北,从深圳、珠海到太仓,考察寻找理想的“登陆”点,在两次实地考察后,中远公司最终选定太仓港作为“登陆”点。同年5月26日,太仓市政府和中国远洋运输(集团)总公司签订《关于在太仓市共同开发建设中远国际城的意向书》,决定在太仓港共同开发建设一座以港口为依托,集工业、高科技产业、运输、贸易、金融、旅游、科研为一体的现代化国际城。9月27日,江苏省政府发文批准“中远国际城”项目。11月11日,中远公司国际高级名誉顾问、美国前国务卿亚历山大·黑格在中远公司副总裁李克林陪同下到拟建的中远国际城区考察,省委常委副省长季允石陪同考察。1996年1月5日,江苏省政府和交通部在南京金陵饭店就中远国际城项目进行部省商谈,交通部部长黄镇东和江苏省省长郑斯林到会。同年12月6日,由江苏交通投资公司、江苏省高新技术投资公司苏州分公司、太仓港开发建设股分有限公司和中远亚洲发展有限公司共同组建的中远国际城开发有限公司在苏州注册成立。1997年1月18日,举行国家一类口岸太仓港开港典礼暨中远国际

2005年远太国际城码头

城开发有限公司成立揭牌仪式。同年 10 月 27 日，在围堰吹填工程第一级棱体顺利合拢基础上，开工建设第一座 2.5 万吨级多用途码头泊位，国务院副总理邹家华，江苏省委书记陈焕友，常务副省长季允石，交通部副部长李居昌、郑光迪，国务院三峡办公室副主任高金榜，江苏省委常委、苏州市委书记杨晓堂出席开工典礼并为工程奠基。1998 年 12 月 18 日上午，第一艘从太仓港起程的集装箱巨轮鸣笛出航。

1999 年 8 月 30 日，第二个 2.5 万吨级集装箱码头泊位通过竣工验收，中远国际城港区码头初具规模。同年 9 月 29 日，海关总署批准太仓港为集装箱运输中转港。2002 年 5 月，中远国际城开发有限公司进行股权调整，同时更名为远太国际城开发建设有限公司，中远国际城随之更名远太国际城。同年 9 月，远太国际城港区两个 2.5 万（兼顾 5 万）吨级集装箱泊位开工，2004 年建成投运。年吞吐集装箱能力超 45 万标准箱，年处理件杂货能力超 250 万吨。

【围滩吹填】

1997 年 3 月，太仓港围滩吹填一期工程动工，1998 年 10 月竣工。利用岸线 960 米，形成陆域面积 105.07 公顷，可供建设 4 个万吨级泊位。至 2005 年，太仓港共实施围滩吹填工程 7 项。合计利用岸线 14967 米，形成陆域面积 1380.6 公顷，可供建设 51 个万吨级泊位。

1997 ～ 2005 年太仓港围滩吹填工程统计表

表 104

工程	开工日期	竣工日期	利用岸线（米）	形成陆域面积（公顷）	供建泊位（万吨级）
一期	1997–03	1998–10	960	105.07	4个
二期	2002–12	2004–03	2400	260.00	8个
三期	2003–09	2005–02	3000	258.80	10个
四期	2003–11	2004–12	2700	215.20	9个
五期	2003–12	2004–12	1200	123.93	4个
六期	2005–11	—	2977	293.33	10个
荣文工程	2005–01	—	1730	124.27	6个

【配套设施】

港区除围滩造域建设泊位外,同时抓紧实现沿江地带的大“三通”,建设港口集疏运通道的大交通工程、大港区范围的供水工程和供电设施工程。

沪浮璜一级公路 1998 年 4 月,在港口开发区的西部边缘地带,距长江岸线 4 千米至 5 千米处,动工建设沪浮璜一级公路(338 省道)。公路全长 35.3 千米,设中央分隔带。1999 年 9 月,建成通车。把太仓港的石化工业区、远太国际城区、能源和基础原材料工业区、高新技术和旅游经济区 4 个功能区和沿江各镇串连贯通,成为港区环南北总干道。往南与沪太路衔接,直达上海市区和浦东新区,往北与沿江通道衔接,直达常熟、张家港、江阴 3 个市,并与太仓至海门长江汽渡专用公路相连,成为连接上海与苏北的快速通道。

3 条横向一级公路拓建 经过改造、拓宽和新建,在南北 15 千米区域间建成 3 条东西向相互平行的一级疏港公路,总长 61 千米。南为浏太路,从浏河至太仓 18 千米,越 204 国道,直达昆山接沪宁高速公路,1996 年建成投运。中为新港路,由 204 国道直达茜泾港区和石化工业区,2002 年全线贯通。北为通港路,从 204 国道直达远太国际城集装箱码头,2003 年全线贯通。

沪嘉高速公路太仓延伸工程 太仓市政府与上海市政府商定,把沪嘉高速公路从上海市嘉定区延伸到太仓。上海方面负责建设嘉定到新浏河的延伸段工程,太仓方面负责新浏河北太仓市境内的接线工程,与浏太公路和 204 国道连接。沪嘉浏高速公路全长 10 千米,2002 年通车,沪太之间的时空距离大大缩短。

沿江高速与苏昆太高速公路 沿江高速公路,由南京、常州至江阴、张家港、常熟,经太仓与沪嘉浏高速公路衔接,2000 年 11 月动工兴建,2004 年 8 月建成通车。在境内设沙溪、太仓两个出入口,与通港路、浏太路交汇。苏昆太高速公路,西接苏嘉杭高速公路,并与沪宁高速公路连接,东经昆山至太仓,与沿江高速公路交接,并直抵港区。2003 年 5 月动工兴建,2005 年 11 月建成通车。

2005 年 11 月 8 日苏昆太高速公路建成通车

浏河套闸 浏河是境内的

一条重要河流，西接娄江直通京杭大运河，往东贯入长江，是阳澄淀泖地区通向长江的主要泄洪通道之一，又是从长江进入苏州并连接内河水运网络的重要航道。过去船舶通过浏河节制闸，只能利用每昼夜两次平潮时刻开闸通航，远不能满足江、河运输需要。1996 年 10 月 15 日，在浏河节制闸南侧动工兴建浏河套闸，其中心线距节制闸南岸线 50 米。工程主体按三级水工建筑物设计，通行船舶等级 300 吨。套闸长 160 米，宽 12 米，深 2.5 米，由上下闸首和闸室、上下游导航墙、上下游靠船墩、上下游引航道等建筑物组成。配有公路桥，桥面宽 9 米，设计荷载 10 吨。1998 年 6 月 28 日竣工通航。年通航能力 2000 万吨，既为太仓港水上集疏运配套，又可增强浏河的引水、泄洪功能，提高流域地区 14% 的引洪能力，达每秒 840 立方米。

供水工程　1997 年起，在浪港口上游建设以长江水为水源的第二自来水厂。一期工程日供水 10 万吨，1999 年建成投运。供水管线沿沪浮璜一级公路铺设，贯通港口开发区的各功能区，并经浏河镇沿太浏公路抵达太仓，全长 40 余千米，解决港口开发区、沿线各镇和太仓市区的供水。2002 年，二期工程开工建设，2004 年建成投运，日供水增至 20 万吨。

供电设施　1996 年起，在建设港区 110 千伏变电站的基础上，对沿江地区各镇供电设施进行改造，新建璜泾 110 千伏变电站，浏河 110 千伏变电站，并把璜泾 35 千伏变电站改造扩建为 110 千伏变电站，新建鹿河、时思、茜泾 3 座 35 千伏变电站，扩建浏河、浮桥 2 座 35 千伏变电站。至 2002 年年末，沿江地区共拥有 4 座 110 千伏变电站，5 座 35 千伏变电站，主变总容量 21.15 万千瓦，比 8 年前增长 7.8 倍。同年，动工建设浏家港 220 千伏变电站和浮桥 110 千伏变电站。2004 年，一期工程建成投运，沿江地区主变容量 43.5 万千瓦，充分保障港区发展的用电需求。

【招商引资】

1992 年起，一批国内外著名石化企业开始落户港区。1994 年，港区组织力量，变被动招商为主动出击，通过“走出去、请进来”和委托招商等多种办法，先后与 25 家中外客商洽谈 22 个项目，签订 12 份投资意向书、3 份投资协议书和 1 份投资合同。至 1995 年，进区项目共有 13 个，投资总额 2.9 亿美元，其中华苏聚氯乙烯薄膜、长江石化码头和储罐工程建成投产。1996 年，港区调整和充实招商引资力量，成立 4 个项目部。全年新批项目 7 个，投资总额 1.1 亿美元。至年末，累计

进区落户项目16个,投资总额35650万美元,协议(合同)外资2.09亿美元,实际到账外资7987万美元。进区项目规模大、层次高的有美国的美孚国际石油有限公司、阿莫科炼油控股公司、华美国际控股公司,挪威的海德鲁公司,中国的华能集团、中国远洋运输(集团)总公司、中国石油天然气总公司等。平均投资规模超过2000万美元。

1997年1月18日,以开港庆典为契机,开展一系列招商活动。全年新批项目14个,总投资7.36亿美元,其中外资项目9个,总投资1.56亿美元,内资项目5个,总投资48.14亿元。年内有6个项目开工建设,总投资54.57亿元,重点是启动中远国际城和华能电厂两大项目建设。1998年,东南亚爆发金融危机,港区调整策略,克服种种负面影响,继续加大招商引资力度,全年有10个项目批准进区落户,总投资1.2亿美元,合同利用外资7930万美元。1999年,新批和增资项目14个,总投资7584万美元,协议外资5639万美元,实际到账外资4500万美元。随着埃克森美孚(太仓)石油有限公司、华能阿莫科清洁能源有限公司(简称华能阿莫科)、苏州华苏塑料有限公司二期等项目竣工投产,港区成为国内最大的高级润滑油生产基地、华东地区最大液化石油气清洁能源基地和江苏省最大的聚氯乙烯生产基地。2000年,港区先后拜访十几个国家和地区的400多家大企业、大公司的驻沪、驻京机构。同时先后两次到中国台资企业集中的东莞、南海、深圳等地招商。9月和11月两次派员赴日本、韩国和中国台湾等地进行招商,先后拜访日本常石集团、三菱商事,韩国京汉公司和中国台湾的台塑集团。全年新批项目和增资项目共11个,总投资9455万美元。其中外资项目6个,总投资9152万美元,协议外资4172万美元;内资项目5个,总投资2516万元。

2001年,全年新批项目和增资项目共20个,总投资2.92亿美元。同年起,英国的碧辟(BP)公司、海明斯公司,中国香港协鑫集团、苏州现代货箱码头有限公司,以及中国石油化工股份有限公司(简称中石油)、中国中化集团(简称中化集团)、武汉钢铁集团(简称武钢集团)、中国国际海运集装箱集团(简称中集集团)、宁波港务集团、中国对外贸易运输(集团)总公司(简称中外运)、上海烟草集团等知名大公司、大集团纷纷投资落户港区,太仓港环保发电有限公司、玖龙纸业环保发电有限公司、国华太仓发电有限公司、园区华能发电有限公司二期等一批龙头型、旗舰型项目落户港区。至2005年,港区共引进各类项目211个,总投资约40.5亿美元,注册外资16.91亿美元,实际利用外资7.44亿美元。

专　记

凤凰号下西洋　航海神话续新篇

太仓港，“海洋之襟喉，江湖之门户”，古称刘家港，因元时漕粮海运而隆盛，又因郑和下西洋始发于此而名扬天下。600 年前，伟大航海家郑和率领当时世界上最庞大的船队，从刘家港下西洋，创造了世界航海史上的神话。

明永乐三年（1405 年）7 月 11 日，被西方人称为“海军上将”的中国政府官员郑和，率领一支有 62 艘船组成的庞大舰队，从刘家港升帆启锚，驶向大海，驶向历史深处。郑和当时并不知道，正是他的舰队，开启了一个伟大时代——第一次世界地理大发现。他的行动比哥伦布 1492 年到达美洲早 87 年，比麦哲伦 1519 年开始环球航行早 114 年。郑和舰队的实力不但远远超过了亚洲各国的水师，甚至超过了欧洲各国海军的总和。由于种种原因，郑和开创的时代没有给中国带来革命性的动力。相反，西方世界在郑和 100 年后开始了工业文明，并最终全面超越中国。这个令人遗憾的结果说明，忽视海洋因素，忽视文明与文化的交流，就会丧失先进与进步。伴随着改革开放，中国人的海洋意识逐步觉醒，郑和的伟业越来越多地被人们所纪念。

时历 600 载，古港又起雄风，仍然是在这片江海交汇的土地上，秉承郑和的开拓精神，新的西洋海路探寻又起锚了。2004 年 8 月 8 日，一艘名为“凤凰号”的单桅帆船，挥别亲朋，驶离港口，沿着长江主航道驶向出海口，开始了重走郑和路的壮举。“凤凰号下西洋”活动由凤凰卫视、国务院新闻办公室五洲传播中心和太仓市政府联合举办。此次行动，从太仓出发，沿着当年郑和船队的航线，经越南、文莱、马来西亚、印尼、新加坡、泰国、缅甸、斯里兰卡、马尔代夫、印度、巴基斯坦、伊朗、阿联酋、安曼，最后抵达肯尼亚，完成又一次探寻世界的旅程。

“凤凰号”船，长 12 米、宽 4 米、吃水深度 1.5 米，吨位 10 吨。由“华人只身环球航海第一人”翁以煊的“信天翁”号改装而成。从太仓出发的首发阵容为：

船长翁以煊，航海家、计算机专家，毕业于美国德州大学。1998 年起，只身驾驶单桅帆船开始环球航海之旅，走过三大洋、四大洲，行程 3 万多海里。

香港资深媒体人郑浩，凤凰卫视专题节目中心副总监，凤凰号下西洋领队。曾留学德国多年，能操熟练的英文、德文，具备良好的文字能力，并掌握高水平摄影技

术，曾多次前往阿富汗、伊拉克战地采访。

摄影师黄睿，23岁的年轻记者，毕业于北京广播学院。在“非典”、沙尘暴、矿难及大火等事件报道中展露才华。

在启航仪式上，国务院新闻办领导、太仓市委领导、中国外交部亚洲司领导及肯尼亚驻华大使分别发表讲话，祝“凤凰号”下西洋活动圆满成功。当3位勇士登上“凤凰号”时，现场鞭炮齐鸣，鼓声阵阵，和平鸽翱翔。启航仪式由香港凤凰卫视节目主持人吴小莉主持，《人民日报》《新华日报》、香港《大公报》、上海电视台、东方电视台等20多家新闻媒体都有详细报道。

“凤凰号”从太仓浏家港向东驶出长江口之后，只凭一叶孤帆，以风为动力，像郑和的船队一样以狂野和刺激的方式接触自然，体验丰富而惊险的海上生活。

“凤凰号”配有先进的卫星传输设备，具备卫星定位功能、海视通讯功能和卫星上网功能，舱内不同角度安装了4部摄像机，船舱成为一个小型摄影棚，可在船上进行视讯影像传输。

“凤凰号”的最高航速只能达到7节，必须24小时不停息前行。8月，船上的表面温度40多度，舱内近50度。到了晚上3个人轮流值班，每人3小时。航行中，队员面临狂风、大浪、曝晒、晕船，在高温的船舱内进行拍摄、传输、写作。这不仅是一次文化之旅，更是一次自然之旅，是用精神和毅力完成的环球探险，其难度和艰险绝不亚于攀登险峰或横穿大漠。

其间虽很艰难，却也有许多乐趣：船员在海上钓起过大鱼，海豚伴随在船的两边，印度洋的夕阳非常美丽，太平洋上看到的天空是蔚蓝色的，湛蓝的海水蓝得就像假的一样……

2004年8月8日，“凤凰号”下西洋启航仪式

在最后13天，船上没有了淡水，只得使用海水淡化器。离开阿

曼的时候，船上装了很多水果，但猕猴桃 3 天就都腐烂了，橘子也被太阳晒成了干。船员每到一个地方，都不挑肉吃，光顾着吃青菜。

最惊险的莫过于经历东南亚世纪海啸，当时“凤凰号”就在震中区域的安德曼岛，正是在这里，“凤凰号”第一时间直击了印度洋小岛的重创。但海洋的魅力和队员们的毅力却让“凤凰号”一次次扬帆、破浪，完成壮举。

2005 年 3 月 16 日，经过 8 个月 1.25 万海里的航行，单桅帆船“凤凰号”抵达终点——肯尼亚蒙巴萨。这是郑和下西洋路线的首次完整再现，也是华人航海又一创举。

在对肯尼亚当地的探访中，“凤凰号”记者发现了郑和船队水手的后裔 18 岁的姆瓦玛卡·沙里夫。姆瓦玛卡·沙里夫居住在肯尼亚的帕泰岛上，生活贫困。沙里夫的母亲拉卡·巴迪说：“我从记事的时候就听祖辈说，我们这个家庭是中国家庭，我们的祖先是中国水手，在附近触礁了，船搁浅了，然后他们上了岸，后来就一代代传下来了。”她的家族至今还保留着祖辈传下来的中国瓷器。因为经济困难，沙里夫中学的学业难以继续，因她有“中国血统”曾受到一位在肯尼亚蒙巴萨工作的华人的捐助，她也给中国驻肯尼亚大使馆写信，希望能到中国完成学业。

2005 年 3 月，太仓市副市长盛蕾率团赴肯尼亚蒙巴萨迎接“凤凰号”，在凤凰卫视和太仓市政府共同举办的晚会上，得知姆瓦玛卡·沙里夫的事情，太仓市政府当即表示太仓会资助这位女孩的学业。

2005 年 7 月，在纪念郑和下西洋 600 周年的日子里，太仓市人民自发地为这位非洲女孩筹款，帮助她从非洲来到中国，来到太仓，资助她在中国读大学。短短几天，这位郑和船队后裔已学会了一些简单的中国话，她用中文说：“我是中国太仓人”“我回家了”“你好中国”“我的中国名字叫郑华”。7 月 6

2005 年 7 月 6 日，吴小莉（左）、郑和船队船员后裔姆瓦玛卡·沙里夫（中）、太仓市市长浦荣皋（右）出席媒体见面会

日，起锚地太仓与郑和下西洋的终点——肯尼亚马林迪市正式签约，结为友好交流城市。两座相隔万里的港口城市，经过“凤凰号”帆船的远航，拉近了两地的距离。

三、新　区

新区位于太仓老城区外围，依托老城，沿太平路向东、新浏河向北发展。1991年1月20日，县委决定成立城东经济新区建设指挥部。1993年11月4日，经江苏省政府批准为江苏省太仓经济开发区。2002年12月12日，经江苏省政府同意两区合并为江苏省太仓港经济开发区，分为港区和新区两片。2003年12月30日，江苏省委、省政府决定，对江苏省太仓港经济开发区比照国家级开发区赋予相应经济审批权限和行政级别。2005年，新区规划控制面积83平方千米，辖11个社区居委会和8个村委会及其所属198个村民小组，户籍人口88306人。全部工业企业1070家，其中外资企业436家。全年完成工业总产值150.07亿元，销售收入138.48亿元，工业利税总额24.61亿元，财政收入13.23亿元。先后有高阳任工委书记，杨根林（时任常务副市长）、申建华（时任市长）、浦荣皋（时任市长）兼任工委书记；市委常委孙锦泉任管委会主任。

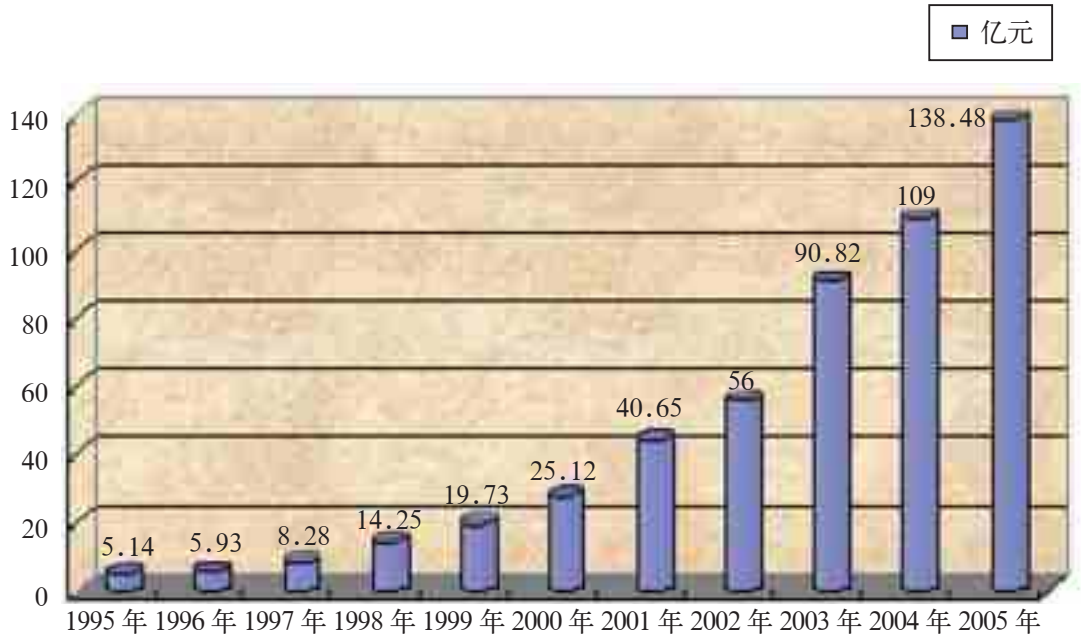


图10　1995～2005年太仓新区销售收入统计图

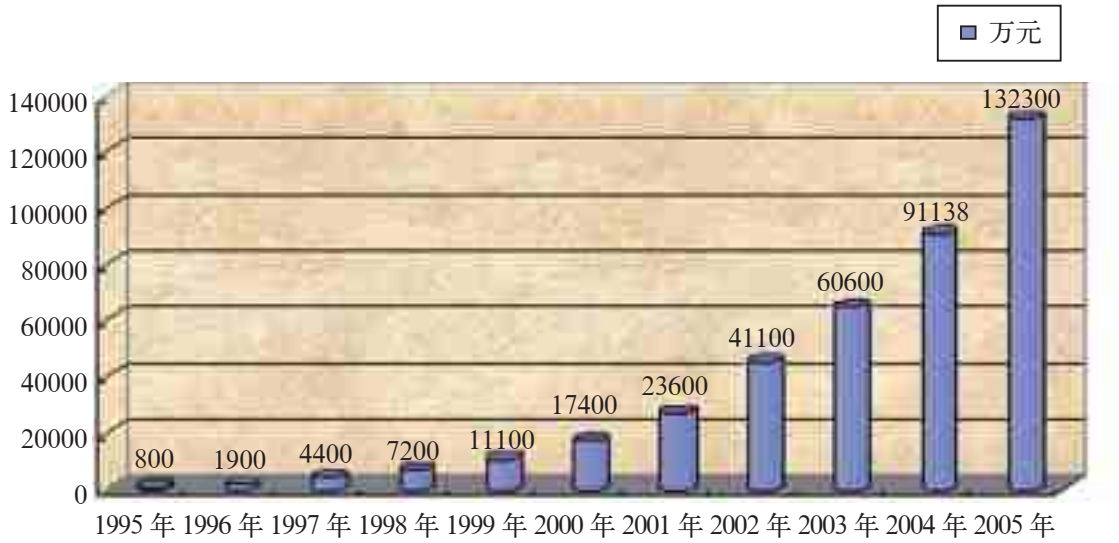


图 11　1995 ～ 2005 年太仓新区财政收入统计图

开发规划

1991 年 1 月 20 日，县委决定建设城东经济新区并组建城东经济新区建设指挥部。7 月，由同济大学城市规划系开展新区一期的规划设计。一期位于市区东部，东至小半泾河一带，南至新浏河，西至太平路，北至浏太路，总面积 7.1 平方千米。北部以工业为主，南部以居住为主，体育东路两侧安排办公和商业服务、文化娱乐等。1999 年 3 月，新区管委会会同城建规划部门修订一期规划，扩大区域范围，东至十八港一带，南至新浏河，西至太平路，北至北外环一级公路，总面积增至 15 平方千米。

2002 年 6 月，委托江苏省城乡规划设计研究院规划设计新区二期。二期位于一期北部，东至常胜路，南至北外环，西至盐铁塘，北至苏昆太高速公路，总面积 19 平方千米。区内以生产性工业区为主，兼顾城市生活功能。以东仓路和北京路为发展轴线，呈团块状布局。北京路以南、纵一河以西为生活性区域，太平路两侧为公用服务区，其余为生产性区域。结合道路河流布置绿化，形成网状系统。

2003 年 6 月，委托苏州科技学院城市规划设计研究所规划设计板桥中心区，区内以生活服务为主，具有居住、商业、金融、文化、休闲娱乐等服务区，并发展成为太仓市的副中心。副中心区位于二期东部，东至沿江高速公路，南至郑和路，西至常胜路、外环一级公路，北至苏昆太高速公路，总面积约 10 平方千米。以青岛路、北京路，南京路、常胜路、兴业路和发达路等道路构成网格状框架。公共设施分布

于中心区偏西地区,生活居住分4个分区环绕公共中心布局,其中农村居民区布置在南北两侧,形成“一心四区”格局。

2005年9月,新区三期规划由新区管委会组织专家初步论证并通过。三期位于板桥中心区东部,规划范围东至石头塘,南至苏州路,西至沿江高速公路,北至苏昆太高速公路,总面积约24.5平方千米,区内以布局高新技术企业为主。

基础设施

1991年,在城东新区逐步完成四纵六横主干道10条,路宽分别为40米、34米、26米。1992年,开建6条主干道、5条支路,总长15千米,其中混凝土水泥路面6.75千米、两炭结石路面4千米、灰土基础路面4.25千米。建成桥梁15座。供电、供水、通讯配套设施同步进行,220千伏变电站设计方案通过初审,架设供电线路6684米,铺设供水管道9000米,地下通讯管道5000米,安装路灯214组4182米。1993年,修筑14条主次干道8.8千米,建造桥梁10座,铺设供水管道6205米、通讯管道6165米,架设供电线路1.44万米,安装路灯211组4930米。全长2500米、宽35米的大半泾河拓浚通航。1994年,基础设施建设推进到半泾河以东地区。完成两炭结石路基工程和浏家港路(新区段)拓宽工程3060米。铺设下水管道8990米。35千伏临时变电站完成设备安装,开建220千伏变电站。1995年,启动基础设施配套建设。建垃圾中转站1座和公共厕所3座。完成疏浚致和塘、团结河工程。1999年,整治河道7条,冲淤泥1.59万立方米,填土2.3万立方米,修建石驳岸10.82千米。新区、教委、学校三方,投资1700万元建成太仓市朱棣文小学。

2001年,全年基础设施总投资1.16亿元,其中道路、桥梁工程投入资金7000万元,绿化、亮化、美化工程投入资金1000万元,防洪工程投入资金3600万元。2002年,投入资金1.4亿元,用于道路、河道、绿化、路灯、污水处理等设施建设。建成6座防洪闸站,新增绿化面积15万平方米。同年,农民住宅小区开工建设。2003年,投资7790万元的新区污水处理厂建成,投入运行。新增绿化面积22万平方米,拓宽兴业路、发达路。板桥中学新校区开工建设。投资3.5亿元,建设二期6平方千米启动区基础设施。2004年,加快城市化进程,二期北京路以南6平方千米区域完成基础设施建设。新增绿化面积55万平方米。完成洋沙、城北两个

农民公寓小区建设。2005 年，二期载体建设扩至 12 平方千米。启动新区污水处理厂二期 2 万吨处理工程。加快绿色新区建设，新增绿化面积 60 万平方米。

1991 ～ 2005 年太仓新区主要道路建设一览表

表 105

路名	起讫点	时间	长(千米)	宽(米)	造价(万元)
太平路	滨河路至一级路	1989–11～1994–06	3.5	34	2800
东仓路	滨河路至一级路	1991–09～2004–05	3.5	40	3500
上海路	太平路至常胜路	1992–01～2001–12	3.4	40	3400
浏太路	太平路至常胜路	1992–02～1995–05	3.2	34	2560
朝阳路	太平路至常胜路	1992–03～1999–03	3.5	40	3500
滨河路	太平路至常胜路	1992–08～2004–01	3.2	34	2560
洛阳路	太平路至常胜路	1992–12～1998–01	3.4	24	1700
东亭路	滨河路至一级路	1993–10～2000–01	3.0	40	3000
常胜路	滨河路至一级路	1997–02～2002–07	3.2	40	3200
城东路	太平路至娄江路	1998–03～2002–12	2.6	34	2080
娄江路	滨河路至一级路	2000–01～2003–12	3.9	34	3120
弇山路	太平路至常胜路	2000–05～2004–08	3.7	34	2960
南京路	人民路至常胜路	2002–08～2003–12	4.0	34	3200
北京路	东仓路至常胜路	2002–11～2003–10	6.0	45	6000
半泾路	一级路至广州路	2003–01～2005–10	3.2	24	1600
太平路	一级路至广州路	2003–04～2004–05	3.2	40	3200
常胜路	一级路至广州路	2003–05～2005–05	3.5	40	3500
东仓路	一级路至广州路	2003–05～2005–10	3.2	45	3840
宁波路	人民路至娄江路	2003–08～2004–08	3.5	24	1750
合计			66.7		57470

1992 ～ 2005 年太仓新区桥梁建设一览表

表 106

桥名	时间	造价(万元)	桥名	时间	造价(万元)
上海路团结河桥	1992–02～1992–06	80	弇山路小半泾桥	2002–08～2002–10	100

续表 106

桥名	时间	造价(万元)	桥名	时间	造价(万元)
东仓路界河桥	1992—02～1992—06	45	南京路纵河桥	2002—08～2003—05	180
朝阳路东城河桥	1992—07～1992—11	100	滨河路娄江河桥	2002—12～2003—05	150
上海路东城河桥	1992—07～1992—11	150	南京路娄江河桥	2002—12～2003—06	177
柳州路李家港桥	1992—08～1992—11	220	南京路大半泾桥	2002—12～2003—08	220
柳州路老城河桥	1992—08～1992—11	220	苏州路大半泾桥	2003—01～2003—09	184
浏太路通城河桥	1992—08～1992—12	100	苏州路娄江河桥	2003—01～2003—09	168
浏太路大半泾桥	1992—08～1992—12	330	北京路娄江河桥	2003—02～2003—09	198
浏太路小半泾桥	1992—08～1992—12	100	弇山路盐铁塘桥	2003—04～2003—10	300
浏太路黄家河桥	1992—08～1992—12	120	常胜路李家港桥	2003—07～2004—02	100
洛阳路通城河桥	1992—08～1992—12	41	太平路横河桥	2003—07～2003—10	180
东仓路李家港桥	1992—08～1992—11	75	半泾路横河桥	2003—07～2003—09	100
庆阳路通城河桥	1992—11～1993—01	31	宁波路纵河桥	2003—07～2004—02	100
滨河路团结河桥	1993—05～1993—08	100	宁波路大半泾桥	2003—07～2004—02	150
滨河路大半泾桥	1993—05～1993—08	180	宁波路娄江河桥	2003—07～2004—02	100
朝阳路团结河桥	1993—05～1993—08	100	北京路大半泾桥	2003—07～2003—11	478
朝阳路大半泾桥	1993—05～1993—08	180	苏州路纵河桥	2003—07～2003—10	225
上海路大半泾桥	1993—05～1993—08	180	娄江路李家港桥	2003—08～2003—12	100
洛阳路大半泾桥	1994—02～1994—06	63	娄江路1号河桥	2003—08～2003—12	100
东亭路界河桥	1994—03～1994—08	171	太平路王家河桥	2003—09～2004—03	180
向阳路通城河桥	1996—04～1996—07	41	东仓路王家河桥	2003—09～2004—01	200
惠阳路东城河桥	1998—06～1998—10	34	半泾路王家河桥	2003—09～2004—03	100
扬州路界河桥	1999—11～2000—09	87	娄江路王家河桥	2003—09～2004—03	180
城东路大半泾桥	2000—02～2000—12	238	常胜路王家河桥	2003—09～2004—05	180
城东路娄江河桥	2000—11～2001—02	150	广州路娄江河桥	2003—09～2004—01	200
上海路娄江河桥	2000—11～2001—02	150	广州路十八港桥	2003—09～2004—02	178
弇山路大半泾桥	2000—12～2001—06	278	青岛路纵河桥	2003—09～2003—12	100
朝阳路娄江河桥	2001—04～2001—09	129	青岛路大半泾桥	2003—09～2003—12	165
洛阳路小半泾桥	2001—05～2001—09	47	青岛路娄江河桥	2003—09～2004—01	100
洛阳路娄江河桥	2001—09～2002—02	85	东仓路横河桥	2003—10～2004—02	200

续表 106

桥名	时间	造价（万元）	桥名	时间	造价（万元）
弇山路娄江河桥	2001—09～2002—02	142	娄江路横河桥	2003—10～2004—02	180
东亭路李家港桥	2001—10～2002—05	150	广州路纵河桥	2004—03～2004—07	163
北京路纵河桥	2002—01～2003—10	180	广州路大半泾桥	2004—09～2004—12	218
东亭路城北河桥	2002—05～2002—11	51	弇山路通城河桥	2004—10～2005—03	100
浏太路娄江河桥	2002—08～2003—05	150	人民路王家河桥	2005—08～2005—11	180

1996 ～ 2005 年太仓新区河道驳岸建设一览表

表 107

名称	时间	长（千米）	宽（米）	造价（万元）
东城河	1996—06～2000—08	0.77	12	400
小半泾	1996—06～2001—08	1.50	12	750
团结河	1996—10～1999—09	1.70	12	850
致和塘	1996—12～1997—12	2.30	20	1150
李家港	1999—08～1999—12	0.50	12	250
界河	2000—06～2000—07	3.00	12	1500
娄江河	2001—03～2002—05	6.00	20	3000
清福泾	2002—02～2002—12	1.60	12	800
大半泾河	2002—11～2003—07	3.50	25	1750
王家河	2003—04～2003—09	5.00	20	2500
横一河	2003—09～2004—01	5.00	20	2500
大半泾河	2003—11～2004—08	3.40	30	1700
城北河	2004—01～2004—04	3.70	30	1850
纵一河	2004—01～2004—06	3.50	20	1750
合计		41.47		20750

1996 ～ 2005 年太仓新区绿化一览表

表 108

绿化工程及范围	工期	苗木名称	面积（平方米）	造价（万元）
锦州路（上海路至滨河路）	1996—04	香樟、紫薇、红叶李、色块苗	5800	116

续表 108

绿化工程及范围	工期	苗木名称	面积（平方米）	造价（万元）
柳州路（上海路至滨河路）	1996–04	香樟、紫薇、红叶李、色块苗	4500	90
一级路（太平路至常胜路）	1999–03	香樟、水杉、女贞、意杨、夹竹桃	120000	540
向阳路（太平路至东仓路）	2000–03	女贞、香樟（行道树）	3600	12
庆阳路（太平路至东仓路）	2000–04	香樟、色块苗、草坪等	3800	30
郑和路（太平路至常胜路）	2001–03	香樟、意杨、红叶李、夹竹桃、雪松、银杏、色块苗、草坪等	40000	360
东亭路（滨河路至一级路）	2001–03 2003–03	香樟、国槐、雪松、金合欢、红枫、樱花、加拿里海枣、色块苗、草坪	155000	1550
朝阳路（太平路至常胜路）	2001–11	法桐、重阳木、红叶李、色块苗等	40000	360
上海路（太平路至常胜路）	2002–01	法桐、杜英、香樟、石榴、无患子、黄山栾树、雪松、色块苗、草坪等	62000	558
城东路（太平路至娄江路）	2002–03	黄山栾树、雪松、棕榈、桂花、广玉兰、香樟、色块苗、草坪等	63000	567
富阳路（柳州路至东仓路）	2002–03	香樟、色块苗	2400	30
扬州路（城东路至朝阳路）	2003–03	法桐、红叶李、棕榈、色块苗	5000	80
娄江路（滨河路至一级路）	2003–03	雪松、柏树、银杏、金钱松、香樟、桂花、垂柳、华棕、色块苗、草坪	146000	1460
岳阳路（太平路至东仓路）	2003–04	香樟、色块苗	3600	40
一级路（太平路至常胜路）	2003–05	香樟、银杏、榉树、广兰、色块苗	100000	800
洛阳路（太平路至常胜路）	2004–01	香樟、杜英、红叶李、白玉兰、樱花、桂花、色块苗、草坪等	50000	405
弇山路（太平路至娄江路）	2004–01	香樟、杜英、红叶李、白玉兰、色块苗、草坪	30500	275
常胜路（滨河路至一级路）	2004–03	香樟、无患子、榉树、雪松、银杏、棕榈、樱花、红枫、色块苗、草坪	45000	450
南京路（太平路至常胜路）	2004–03	国槐、雪松、女贞、杜英、紫薇、石榴、木槿、月季、色块苗、草坪等	248000	1990

续表 108

绿化工程及范围	工期	苗木名称	面积（平方米）	造价（万元）
娄江路（一级路至北京路）	2004–03	广玉兰、香樟、雪松、红叶李、桂花、白玉兰、色块苗、草坪等	128000	910
东亭路（一级路至北京路）	2004–03	国槐、雪松、女贞、合欢、加拿里海枣、垂丝海棠、色块苗、草坪等	109000	980
东仓路（一级路至北京路）	2004–03	银杏、榉树、香樟、雪松、红枫、桂花、樱花、色块苗、草坪等	189000	2268
常胜路（一级路至北京路）	2004–04	杜英、红叶李、白玉兰、广玉兰、樱花、桂花、色块苗、草坪等	92800	745
纵一河两侧（一级路至北京路）	2004–11	香樟、重阳木、杜英	32000	160
合计			1679000	14776

载体建设

【同济科技园】

位于上海路北侧、东亭路东侧、娄江路西侧。由太仓经济开发区投资发展有限公司、上海同济科技园实业股份公司等共同投资 1 亿元组建。2000 年 3 月开工建设，2002 年 12 月建成。1 平方千米园区内，建造有 6 万平方米标准厂房和 7000 平方米服务中心用房，通过房产租赁或销售“筑巢引资”。区内道路、绿化、污水处理等配套设施健全，日本的新井精密部件、广濑精工，韩国的平和精工、和承汽配，德国的爱科空调、宝适汽配等 18 家科技型外资企业先后落户，项目总投资 1 亿美元。同年，投资兴建外企员工生活区，供外来员工集中居住。生活区占地总面积 2 公顷，投资 4000 多万元，建造 6 幢标准生活用房 3.3 万平方米，可容 8000 人入住。每间房面积约 30 平方米，均设置独立卫生间。区内有食堂、商场、诊所、浴室、健身房、电话超市等配套设施。至 2005 年，舍弗勒（中国）有限公司、太仓阿尔派电子有限公司、贤承电子（太仓）有限公司、全龙纺织（苏州）有限公司等企业近 4000 名员工入住。

【外贸创业园】

位于上海路南侧、东亭路东侧、娄江路西侧。由太仓经济开发区投资发展有限公司和苏州国信集团有限公司共同投资1.3亿元组建。园区为满足外商投资企业的多元化投资需要,主要开发建造标准化生产厂房及办公用房。2002年10月开工建设,2004年6月建成。占地面积23.33公顷。园区建造22幢13万平方米标准厂房,区内实行统一规划、统一管理、统一服务,水、电、气、通讯等配套设施齐全。至2005年,日本的泰极汽车内饰有限公司、韩国的和承汽车配件(太仓)有限公司、德国的瑞好聚合物有限公司和林德纳新型建筑材料有限公司等近20家外资企业入驻园区。

【科技创业园】

位于上海东路8号,全称太仓市科技创业园暨太仓市留学人员创业园。2004年,由苏州登创科技集团有限公司、苏州科技创业投资有限公司、太仓港港口开发建设总公司、太仓经济开发区投资发展有限公司、太仓市生产力促进中心和太仓市人力资源有限公司共同出资组建。创业园是一座楼宇式孵化器,孵化面积3700平方米,按照不同规格设置面积不等的创业单元,满足创业者对场地的不同需求。可以容纳40～50家科研单位、科技型企业和科技创业者入驻。重点关注微电子科学和电子信息技术、光电科学和光电一体化技术、材料科学和新材料技术、环境保护和环境监测新技术新工艺、医药科学和生物医药工程、能源科学和高效新能源技术等领域。大厦内部建立局域网,具备通讯、宽带、商务中心、多功能厅、会议厅、培训中心等各种创业设施。同时为孵化毕业企业预留有13.33公顷土地作为生产基地。至2005年年末,创业园入驻企业23家,申报专利10多项,1项产品纳入国家重点新产品计划。

【软件园】

位于北京东路88号,系苏州软件园太仓基地,由中科国际科技发展有限公司创办,以软件出口服务外包、物流软件和嵌入式软件作为三大产业方向,建立软件开发、培训、评测和投融资四大平台。占地面积52.4公顷,建筑面积15万平方米,计划总投资3800万美元。2005年9月29日开工建设,至年末,已完成前期规划、拆迁,首期6万平方米土建开工。

招商引资

1991 年，新区按照“边规划、边建设、边开发、边引入”原则，引入哈通电机电器公司、苏州尚益公司，建太仓冷气机新厂，迁建宏太铜材公司、苏州凯利包袋有限公司等 8 个工业性项目。1992 年，县委、县政府制定政策，让利投资者，奖励引荐者，吸引八方客户投资新区。全年引进项目 88 个，总投资 31.68 亿元，形成纺织、机械、轻工、冶金等主导产业。1993 年，调整项目结构，注重引进技术含量高的三资企业，全年引进项目 57 个，总投资 4.29 亿元。其中外资项目 25 个，投资 3973 万美元。首家德国企业克恩—里伯斯（太仓）有限公司入驻新区。1994 年，先后接待 20 余个日本商业考察团及 53 批日本客商，全年引进项目 24 个，总投资 8.71 亿元，其中外资 9901 万美元。1995 年，与日本野村集团、德国巴符州驻江苏办事处建立合作关系。全年引进外资项目 10 个，总投资 8171 万美元，其中特灵空调有限公司投资 3000 万美元，德国依纳轴承有限公司投资 2962 万美元。1997 年，长富不锈钢加工、耐克体育用品、依纳轴承等 9 个外资项目开工建设，总投资 1 亿美元。2001 年起，新区以“欧美企业创牌子、日韩企业扩数量、中国港台企业提档次”为招商策略，重点引进生物制品、精密机械、电子信息、汽车配件企业。至 2005 年，新进外商投资项目和增资扩股项目共 319 个，投资总额 15.67 亿美元，实际利用外资 4.89 亿美元。至年末，新区累计入驻外资项目 281 个，其中外商独资项目 233 个，中外合资项目 48 个。外商投资中以德资最多，为 59 家。

2001 ～ 2005 年太仓新区外商投资统计表

表 109

年份	新进项目数（个）	增资项目数（个）	投资总额（亿美元）	注册外资（亿美元）	实际利用外资（亿美元）
2001	26	—	1.19	1.15	0.57
2002	27	18	2.40	1.30	0.85
2003	41	23	4.78	3.16	1.37
2004	52	27	3.07	2.05	1.37
2005	51	54	4.23	2.19	0.73

2005 年年末太仓新区外资项目统计表

表 110

指标名称	项目数（个）	总投资（万美元）	合同外资（万美元）	注册资金（万美元）
总计	281	177166.80	88200.91	94220.06
一、按投资方式分类				
中外合资	48	25467.00	9735.62	15175.22
外商独资	233	151699.80	78465.29	79044.84
二、按行业分类				
机械	80	62302.57	32257.97	32423.84
电子	34	30203.96	16170.49	16435.99
轻工	21	3674.80	2071.05	2357.20
纺织针织及服装	67	17491.07	10108.42	10895.65
化工	11	6190.80	3120.02	3162.52
建材	10	6454.75	3927.63	4017.63
能源	1	3625.00	520.20	1520.00
金属制品及材料	28	17422.85	8198.46	8877.16
食品医药	8	7190.60	993.51	1297.01
三产服务业	16	15553.99	6545.55	8933.55
其他	5	7056.41	4287.61	4299.51
三、按总投资规模分类				
2000万美元以上	27	97343.92	42763.26	46401.56
1000万美元以上	25	31038.31	17093.37	17293.37
500万美元以上	39	26345.23	13990.50	14704.07
100万美元以上	74	14884.02	9598.29	10533.08
100万美元以下	116	7555.32	4755.49	5287.98

【德企招商】

1993 年年初，太仓第一家德企——克恩—里伯斯（太仓）有限公司落户太仓。该企业投资人德国巴符州议员斯坦姆，积极向德商推介太仓。1995 年，太仓威格玛机械设备有限公司、太仓安德烈·斯蒂尔动力工具有限公司、舍弗勒（中国）有限公司 3 家德企先后落户太仓。其中舍弗勒（中国）有限公司 1995 年 9 月注册，注

册资本 9137.72 万欧元，1998 年投产，产品涵盖工业轴承应用各个方面。2000 年，克恩—里伯斯公司与德国巴符州政府、德国慧鱼公司、太仓经济开发区管委会和太仓职业技术学校合作，创办中国第一家与德国职业技术教育同步的职业培训中心——太仓德资企业技术工人培训中心。由德国资深专业技师任教，学制 3 年，为德企培养技术工人。至年末，慧鱼（太仓）建筑锚栓有限公司等共 11 家德企到太仓投资。2001 年后，对德企的招商注重“产业规模化、技术高新化、生态效益化”理念。2003 年，舍弗勒一厂追加投资，扩建厂房 1.9 万平方米，扩建生产项目。同年 11 月，舍弗勒集团投资 1.8 亿美元设立二厂，属舍弗勒集团在世界范围内最大的生产基地。2004 年 6 月 11 日，二厂举行奠基仪式，德国驻沪副总领事蒂特、舍弗勒集团总裁盖尔辛格出席仪式。2001 ～ 2004 年，新区新增德企 31 家。2005 年，太仓对德招商采用网络招商、专题招商，依靠专业机构招商等方式，当年有通快医疗设备（太仓）有限公司等 17 家德企在太仓注册落户。至年末，共有 59 家德资企业在太仓注册落户，初步形成以精密机械加工、汽车配件制造、新型建筑材料为主体的产业特点。

2005 年年末太仓新区德资企业一览表

表 111

注册年份	企业名称
1993	克恩—里伯斯（太仓）有限公司 Kern—Liebers （Taicang）Co., Ltd.
	太仓托克斯冲压技术有限公司 Taicang Tox—Pressotechinik Co., Ltd.
1995	太仓威格玛机械设备有限公司 Taicang Wegoma Machinery Equipment Co., Ltd.
	太仓安德烈·斯蒂尔动力工具有限公司 Taicang Andreas Stihl Powertools Co., Ltd.
	舍弗勒（中国）有限公司 Schaeffler （China）Co., Ltd.
1996	慧鱼（太仓）建筑锚栓有限公司 Fischer（Taicang）Fixings Co., Ltd.
	美名格—艾罗（太仓）纺织机械有限公司 Memmingger—Iro（Taicang）Textile Machinery Co., Ltd.
1998	苏州爱科空调有限公司 Suzhou Al—Ko Air Conditioners co., Ltd.
2000	通快金属薄板制品（太仓）有限公司 Trumpf Sheet Metal Products（Taicang）Co.,Ltd.

续表 111

注册年份	企业名称
2000	德中工商技术咨询服务(太仓)有限公司 German Industry and Commerce (Taicang) Co.,Ltd.
	妙乐秀烛业礼品(太仓)有限公司 Muller Xu Candles and Gifts (Taicang) Co., Ltd.
2001	迪美斯(太仓)窗型材有限公司 Dimex (Taicang) Window Profile Co., Ltd.
	太仓德国企业专业工人培训中心 Taicang German Enterprises Technician Train Center
2002	宝适汽车部件(太仓)有限公司 BOS Automotive Parts (Taicang) Co., Ltd.
	蓝福模具(太仓)有限公司 Rampf Formen (Taicang) Co., Ltd.
	爱克奇换热技术(太仓)有限公司 AKG Thermal System(Taicang) Co., Ltd.
	威赛家用电器(太仓)有限公司 Wessel Household Appliances (Taicang) Co., Ltd.
	汉亨(苏州)包装材料有限公司 H & N(Suzhou) Packing Materials Co., Ltd.
	林德纳新型建筑材料(太仓)有限公司 Lindner Building New Solutions (Taicang) Co., Ltd.
2003	瑞好聚合物(太仓)有限公司 Rehau Polymers (Taicang) Co., Ltd.
	宝力曼装饰材料(太仓)有限公司 Bausch+Linnerman Decorative Material (Taicang) Co., Ltd.
	艾森文具用品(太仓)有限公司 Eisen Stationery Products (Taicang) Co., Ltd.
	奇绩佳烛业(太仓)有限公司 G.J.J Candles (Taicang) Co., Ltd.
	苏州克恩—里伯斯精密零件有限公司 Suzhou Kern—Liebers Precision Elements Co., Ltd.
2004	阀安格水处理系统(太仓)有限公司 VAG Water Systems (Taicang) Co., Ltd.
	慕贝尔汽车部件(太仓)有限公司 Mubea Automotive Components (Taicang) Co., Ltd.
	欧科系统工程技术 (太仓)有限公司 Aqua Systems Engineering (Taicang) Co., Ltd.
	科络普线束技术(太仓)有限公司 Coroplast Harness (Taicang) Co., Ltd.
	克罗斯特业务咨询(太仓)有限公司 Krost business consulting (Taicang) co., Ltd.

续表 111

注册年份	企业名称
2004	孚尔默(太仓)机械有限公司 Vollmer Taicang Co., Ltd.
	伟思富奇环境试验仪器(太仓)有限公司 Weiss VoetschTesting Instruments (Taicang) Co., Ltd.
	克朗斯机械(太仓)有限公司 Krones Machinery (Taicang) Co., Ltd.
	柯尔柏斯来福临机械(太仓)有限公司 Koerber Schleifring Machinery (Taicang) Co., Ltd.
	德明(太仓)食品有限公司 Dimo's (Taicang) Food Co., Ltd.
	太仓阿托斯电气部件有限公司 Taicang ATHOS Electrical Components Co.,Ltd.
	裕克施乐塑料制品(太仓)有限公司 Oechsler Plastic Products (Taicang) Co., Ltd.
	卓能电子(太仓)有限公司 Zollner Electronic (Taicang) Co., Ltd.
	埃马克机床(太仓)有限公司 Emag Tools (Taicang) Co., Ltd.
	郝仕尔南德手术器械(太仓)有限公司 Hauser South German Surgical Instruments (Taicang) Ltd.
	歌德曼机械(太仓)有限公司 Godman (Taicang) Machinery Co., Ltd.
	海瑞恩精密技术(太仓)有限公司 Haering Precision (Taicang) Co., Ltd.
	奥钢联制造(太仓)有限公司 VAI Manufacturing(Taicang) Co., Ltd.
2005	通快医疗设备(太仓)有限公司 Trumpf Medical Systems (Taicang) Co.,Ltd.
	高迈特精密刀具(太仓)有限公司 Komet Group Precision Tools (Taicang) Co., Ltd.
	太仓卡兰平汽车零部件有限公司 Kern—Liebers—Pieron Autoparts Taicang Co., Ltd.
	麦克—恩福流体技术(太仓)有限公司 MerkelNok FreudenbergCo., Ltd.
	碧安科技术配件系统(太仓)有限公司 B & K Technical Parts and Systems Taicang Co., Ltd.
	上海乐客精密刀具刃磨有限公司太仓分公司 Shanghai Leuco Precision Tooling Co., Ltd, Taicang Branch
	苏州托克斯冲压设备有限公司 Suzhou TOX Pressotechnik Co., Ltd.

续表 111

注册年份	企业名称
2005	富乐压铸(太仓)有限公司 Foehl China Co., Ltd.
	博恩斯坦电子(太仓)有限公司 Bernstein Safe Solutions (Taicang) Co., Ltd.
	万特磨削(太仓)有限公司 WENDT Grinding (Taicang) Co., Ltd.
	海纳电阻(苏州)有限公司 Heine Resistors (Suzhou) Co., Ltd.
	欧皮特传动系统(太仓)有限公司 Optibelt PowerTransmission (Taicang) Co., Ltd.
	毅结特紧固件系统(太仓)有限公司 EJOT Fastening Systems (Taicang) Co., Ltd.
	泰卡机械(太仓)有限公司 TEKA Machinery (Taicang) Co., Ltd.
	玛茨道夫钻石工具(太仓)有限公司 Matzdorf Diamond Tooling (Taicang) Co., Ltd.
	威尔斯新材料(太仓)有限公司 Waelzholz New Material (Taicang) Co., Ltd.
	太仓威尔斯—克恩·里伯斯新材料有限公司 Taicang Waelzholz—Kern. Liebers New Material Co., Ltd.

专　记

德资高新技术企业集聚太仓

太仓为长三角腹地城市，是个县级市，城市不大，人口不多，但凭借着沿江、沿沪优势以及酷似“德国小城”的特色，成为德国企业投资中国的首选地。从 1993 年第一家德资企业落户至 2005 年短短 12 年间，已吸引 59 家德国企业前来投资创业，太仓由此被誉为“中国的德企之乡”。一向以严谨著称的德资企业为何如此青睐太仓？

“黑森林”的感觉　1992 年，德国巴符州政府企业代表团到太仓参观时，全球闻名的钢丝弹簧企业——克恩—里伯斯公司总裁，同时也是德国巴符州议员的斯坦姆被这里安静、清新环境所吸引：“太仓的总体感觉与德国中小城市非常像，路边那些高大的水杉树让人感觉好象回到了德国的黑森林。”经过一番缜密细致的考察，总部设在黑森林的克恩—里伯斯公司决定把投资亚洲的第一家企业选在太

仓。1993 年年初，投下 50 万马克，带着探索的眼光，克恩—里伯斯（太仓）有限公司成为落户太仓的第一家德资企业。“那时候我们从上海刚过来，工厂周边都是稻田，中午 12 点比上海晚上 12 点还要安静。我们在这里找到了黑森林的感觉。”公司中国业务集团总经理张臻伟如是描述。

2005 年德国黑森林慧鱼公司总部

德国驻沪总领事海盾说，这里虽不是莱茵河畔的浪漫之都，却有着中国母亲河长江水的浸润，这里虽不是德国工业重镇，离大都市上海却很近很近。由于太仓城市整洁，环境优美静娴，社会平安，人心友善。在这里，德企员工仿佛置身德国小镇，都有一种回家的感觉，太仓成为他们的第二故乡。

2005 年的东园

“螃蟹”的美味　得益于良好的投资环境、有效的服务和优惠的政策，第一个到太仓“吃螃蟹”的克恩—里伯斯（太仓）有限公司已经从当初投资 50 万马克，9 个工人，生产车间不足 200 平方米的小企业，发展成为拥有 300 余名员工、近 10 万平方米现代化厂房、多条一流弹簧生产线以及各种先进生产设备的企业集团。通过多次增资，克恩—里伯斯集团在太仓已裂变出 5 个工厂和 1 个技术工人培训中心，年产值数亿元。第一个“吃螃蟹”者的成功吸引了更多的德资企业接踵而至。在他的影响下，太仓这个当时在长三角经济圈中尚不起眼的城市，逐渐为越来越多德国投资者所熟悉。于是，生产世界先进气（液）压缸冲压设备的托克斯冲压技术公司来了，生产新型建筑紧固件系列的慧鱼公司来了，生产世界一流的轴承企业舍弗勒公司来了。德资企业在太仓引发了“蝴蝶效应”，逐渐形成了以精密机械、汽车配件为

主的特色产业集群。

德资企业在太仓生产和销售两旺,发展信心倍增。前期进驻的德资企业中有80%增资扩产,企业规模逐步扩大。舍弗勒、克恩—里伯斯、托克斯、慧鱼、安德烈·斯蒂尔、迪美斯、瑞好等一批著名企业增资扩产,从租房办厂到置地建业,进一步向企业发展的深度和广度拓展。体现出他们对投资太仓的高度信心和拓展中国—亚太市场的战略思路。太仓也因此成为全省乃至全国德企密度最高、发展最好的地区。

“群凤”栖梧桐 在德国,只要问起中国的上海边上有什么城市,德国老百姓就会不假思索地回答:太仓。为什么洋凤凰纷纷飞来,因为太仓人种得好梧桐树,并为这些企业发展提供肥沃的土壤和良好的环境。在太仓办厂,既有大城市的方便,又有小城镇的宁静,商务成本不高,生活环境很好。

鼻梁高挑、满头白发的克罗斯特先生被太仓人称为“招商大使”,他出生于德国中南部凯泽斯劳滕小镇,曾在太仓担任过7年依纳(中国)公司总经理。65岁那年退休后,老人完全可以回德国去颐养天年,他却留在太仓,创办了克罗斯特业务咨询(太仓)有限公司,当上了专门在德国企业和太仓之间穿针引线的“红娘”。两年左右的时间里,克罗斯特用一个德国老人特有的方式,为太仓引进了10多家德资企业。

2005年德资工业小区

截至2005年年末,59家德国企业在太仓形成了以精密机械加工、汽车配件制造、新型建筑材料为主体的产业群。这些德资企业用地面积都不是很大,但科技含量高,经济效益好,特色明显,大多在生产领域、市场、技术方面有自己独特的优势,拥有当今世界上最先进的仪器设备。走出了一条科技含量高、资源消耗低、环境保护好、贡献能力大的特色发展道路。据统计,德国企业亩均投资强度高达50万美元,亩均利税近60万元,人均产值超过70万元,产值、销售、利税等各项指标约占整个太仓经济开发区总量的40%,并呈高速增长态势。

“德式思维”渗透太仓 德国老板素以挑剔、精明、严谨著称。投资太仓的德

资企业，在生产、市场、技术领域都有着自己独到的优势。这些企业，经过多年打拼乃至家族中几代人的全力研究开发，生产的产品都具有世界级的领先水平。如克恩—里伯斯是专门生产汽车安全带卷簧的，小产品看上去不起眼，却是全球最好的，占领了世界 60% 的市场份额；威格玛机械的公司规模不大，却是目前世界上最大的塑钢窗成套设备制造商；舍弗勒的滚针轴承为上海大众、一汽等企业配套，技术优势世界领先，是当今全球第二大轴承生产企业；上海的金茂大厦、国际会议中心，北京东方广场、中华世纪坛等国内大型标志性建筑项目中都有慧鱼产品在发挥作用；以生产气（液）压缸冲压设备等著称的托克斯冲压技术公司，在国内市场同类产品中占据了 90% 份额。

说到托克斯公司，在太仓还发生过这样一个真实故事。一个美国商务团慕名到托克斯太仓公司洽谈一份大订单，商谈中，美国客商内急去了一趟洗手间，回到会议室他就说不用谈了，快拿合同来签。手下人不解：还没谈怎么签呀？这位美国客商说，你们去卫生间看看就知道了，一个厕所都无法找出破绽来，这个企业的管理水平可想而知。同这样的企业签合同，谈判是多余的。太仓经济开发区招商局负责人对此印象十分深刻。

德资企业拥有当今世界上最成熟的管理经验，企业讲究精益求精，其表现也是无所不在。德企的企业标准都相当高，国内企业虽能做得出“样品”，但能与其配套生产的却很少，主要原因是生产工艺达不到德企的要求。操作技术和工艺水平是其中关键。

“小而精”的德企对人才本土化有很高的要求，当地员工进入德企后，都要经过严格的国内、国外培训。新员工都会由德国工程师进行为期半年的培训，优秀者还会被送去德国总部进修。克恩—里伯斯公司一到太仓就敏锐地看到了操作型人才可能会短缺，因此，早在 2000 年，就征得德国巴符州和江苏省政府的同意，创办了德资企业技术工人培训中心，采用德国“双元制”教学模式，完全按照德国工商行会的行业标准，培养出一批又

2000 年创办的德资企业技术工人培训中心

一批高素质“蓝领”,这些“技术蓝领”在德企群中已派上大用场。先期毕业的学生50%被派往德国进修,回来后成为企业的技术中坚,有的还担当起车间主任、生产主管等重要职务。而三年一届的学生也是“少而精”,第一、二届分别只有17人和24人。德企用工规范,员工队伍相对稳定,“跳槽”少,企业很少辞退技术人员。

惬意的他乡生活　越来越多的德国朋友长年在太仓生活,他们的太太、孩子渐渐也喜欢上太仓了。在世纪苑、华侨花园、高尔夫湖滨花园,许多德籍员工骑着电动车从他们居住的小区赶去工厂上班;在超市,不少德国太太挑选着她们中意的商品,身边的婴儿车里还坐着可爱的小宝宝;在三之三双语幼儿园里,中德小朋友在一起学习,一起玩耍。随着德资企业的不断增多,精明的德国商人随之跟进,把酒吧、香肠店、洗衣店一一搬到太仓,工作在德资小区里的德国人,下班后已能够体会到德国小镇的有滋有味。

2005年生活在太仓的托马斯一家

慕贝尔汽车部件公司的托马斯工程师是2004年到太仓筹备工厂的,2005年1月,托马斯太太带着儿子也到太仓,孩子就在三之三幼儿园上小小班“李白班”,他们一家三口都很喜欢太仓的双语幼儿园。

“德啤”浓香漫娄城　瓷器使人想到中国,啤酒让人想到的是德国,喝啤酒是德国朋友最喜爱的休闲活动。悠久的历史、古老的传说和各式酿制方法,还有专属的庆典和舞蹈,组成绚丽的德国啤酒文化。德国啤酒最突出的特点是口味纯正,绿色健康。其酒体粘筒,麦香浓郁,口感爽清,泡沫洁白细腻,丰富持久,蕴含丰富维生素群,矿物质,蛋白质,氨基酸以及抗衰老的核酸。在太仓,欧式酒吧沿街而设,每当夜幕降临,彩灯闪烁,一排排木椅上,三五成群的德国朋友边喝啤酒边聊天。在太仓,能喝到最纯正的德国啤酒,太仓的蒂奥莎西餐厅为客人提供两种原装进口的正宗德国啤酒。一种是创牌于1872年的EKU王牌啤酒,另一种是拥有近千年历史、产于德国巴伐利亚洲的维登堡纯生黑啤酒。此种纯生啤,未经任何化学过滤和勾兑程序,原汁原味,虽产量有限,定额发售,但在太仓市场上照样有得卖。

开发开放

卷 八

KAI FA KAI FANG

1986 ~ 2005 年，太仓市（县）对内对外开放水平显著提升，经济社会实现了大发展。1987 年，境内第一家合资企业成立。此后陆续出台鼓励扩大自营出口、鼓励招商引资、提高利用外资工作质量等多项政策，招商、投资环境不断优化，对外贸易、利用外资、外经工作快速发展。90 年代后期，太仓港先后建成一、二类口岸，对外正式开放。海关、边防检查、海事、检验检疫等一批口岸查验、服务机构相继组建投入运行。同期，多种形式加大招商引资力度，全市利用外资呈现新批项目多、科技含量高、利用外资整体水平高等特点。2000 年，全市自营出口总额突破 6 亿美元。进入 21 世纪，全市对外贸易、利用外资不断增量、扩容、升级。外贸出口市场遍及东南亚、非洲、欧洲、南北美洲 141 个国家和地区。2005 年，完成进出口总额 35.78 亿美元，外资企业上缴税款 21.5 亿元。

一、招商引资

政策措施

1992 年，太仓县获得投资总额 3000 万美元以下的生产性外资项目审批权。同年，把利用外资、引进项目，兴办合资、合作企业列入县级机关、各乡镇年度目标责任制考核。1996 年，市委提出开辟多种渠道吸纳境外大公司、大财团到两区落户，外商投资由制造业领域向一产、三产领域延伸。并指出要通过上门招商、土地招商、项目招商、跟踪招商、自办招商、委托招商等办法，拓宽招商引资门路。同年 8 月 26 日，市委、市政府制定《关于市级机关开展招商引资工作的通知》，明确市级机关招商引资考核办法。至年末，形成港区石化工业区、新区德资工业小区、陆渡台资工业区和归庄日本长富糖果食品工业区等特色小区；陆渡镇全年新办三资企业 6 家，累计 43 家，获市委、市政府授予的“开放型经济单项考评一等奖”“开放型经济综合指标太仓第一位”等称号。全市各镇均有外向型经济项目。

1998 年 4 月 8 日，太仓港区工委、管委会委托中国轻工业上海设计院、澳大利亚驻上海总领事馆商务处、联合国开发计划署中国华东办事处等 26 家单位向国内外介绍太仓港，帮助太仓港招商引资。同年 5 月 14 日，市委九届七次全委（扩大）

会提出,要坚持“内外”并举、“三高”(高科技、高就业、高税收)并举,“大、中、小”并举,提高招商引资水平;利用中介机构委托招商,开展专业队伍蹲点招商和利用因特网等科技手段招商,大力拓展间接利用外资渠道招商。并要求推行一站式管理、一条龙服务、一个头收费,营造良好的投资环境。7月9日,市政府印发《关于鼓励中外投资者在太仓港、经济开发区投资的若干政策意见》的通知,推动外商在两区投资。

2000年1月17日,市委九届十二次全委(扩大)会提出,招商项目落户太仓,可给予一定奖励。同年2月,市招商中心成立,为副科级事业单位,隶属市外经贸委领导。3月3日,市委办公室、市政府办公室印发《关于明确市四套班子领导招商引资联系点的通知》。4月,市政府制定印发《关于进一步改善投资软环境的措施》《关于在全市开展对投资者提供“满意服务”的意见》《关于加强对外商投资企业收费管理的规定》3个文件;并召开为投资者提供“满意服务”的动员大会。5月30日,市政府制定《关于对外商投资企业实行一条龙服务、一个头收费办法》的规定。9月6日,市政府办公室印发《关于太仓市外商投资经济纠纷投诉调解中心工作》的通知,为外商投资者创造良好的投资环境。2001年2月、5月,相继召开了全市开放型经济工作会议、全市利用外资工作会议和外向型经济工作会议。同年7月相继召开全市投资工作会议和外向型经济工作会议,要求加大外资开发力度,大力引进一批技术先进、带动力强的大项目,为外商提供满意服务。

2003年,市四套班子继续分工负责各联系点的招商工作,对市镇两级招商中心人员选优配强,明确招商重点:主攻中国台湾,全力突破日本、韩国,大力拓展欧美(指欧洲、美国);继续发挥已搭建的赴南方招商、接轨上海和浙温招商的平台作用,并强化招商引资的考核、奖励。市委印发《关于2003年度引进外资、利用民资的考核奖励办法》,市政府转发《关于简化科级以下人员赴日本、韩国、新加坡、中国香港地区经贸招商团组审批程序的实施意见》和《关于简化科级以下人员赴台参加经贸考察团组审批程序的实施意见》。

2004年,强化“特色招商”“集约招商”“专业招商”“多元招商”和“环境招商”等多种招商方式。1月29日,市委、市政府发布《关于表彰2003年度全市开放型经济工作先进单位的决定》。3月4日,市政府转发《关于进一步改善苏州投资环境的对策措施》通知。4月9日,市政府发出《关于研究制定优化投资软环境对策措施的通知》。至2005年,到太仓投资的国家与地区有60个。

招商活动

1987 年，境内第一家合资企业太仓裕泰针织有限公司成立。1991 年，引进外资项目 48 个，注册外资 1314.83 万美元。至年末，全县累计引进外商投资项目 75 个。1992 年新增外资项目 436 个，注册外资 2.05 亿美元。1994 年全市新办独资项目 38 个，占当年新批外商投资项目的 27%。至 1995 年，全市外商投资项目累计为 1082 个，注册资本 8.95 亿美元，实际利用外资 4.58 亿美元。

1997 年 1 月 18 日至 19 日，举办“1997 年太仓对外经贸洽谈会”，共签约 21 个外商投资合同和意向项目，投资总额 2.6 亿美元，注册资本 1.5 亿美元。8 月 7 日至 9 日，市政府代表团赴美国贝尔威市、西雅图市开展友好交往暨经贸招商，签署合作意向项目 5 个，投资总额 2700 万美元。9 月 1 日至 15 日，组团赴美国对耐克公司、美标集团进行考察访问。9 月 5 日，太仓举行太仓港投资说明会，向来自美国、英国、法国、日本等 7 个国家的外商代表介绍港区。至年末，全市新批三资企业 75 家，投资总额 4.32 亿美元，协议利用外资 3.76 亿美元，实际利用外资 1.8 亿美元。分别比上年增长 45.45%、57.98% 和 17.65%。其中外资投向能源、化工、原材料、港口和市政设施建设的占 40%，投向电子、精密机械等高科技产业的占 12%，投资 1000 万美元以上大项目 13 个。港区、新区及各特色小区成为外商投资的重点区域。其中港区全年新批进区项目 13 个，总投资 63.25 亿元，合同利用外资 1.64 亿美元；新建成投产项目 7 个，新开工项目 6 个。新区全年引进外资项目 3 个，9 个项目顺利开工，5 个项目投产。

1999 年 3 月 28 日，市政府委托民营科技园在因特网上召开招商引资新闻发布会。同年 10 月 16 日至 22 日，召开太仓市秋季商品交易会暨经贸洽谈会，实现商品成交和订货额 54 亿元，签约项目 88 个，投资总额 3.1 亿美元，为历次商品交易暨经贸洽谈会成果最好的一届。全年新批三资企业 67 家，合同利用外资 2.25 亿美元，比上年增长 20.11%；实际利用外资 2.08 亿美元，比上年增长 15.01%。全年引进农业外资项目 6 个，总投资 5623.4 万美元。民营企业与外商合资合作项目 6 个，累计达到 22 个。外商增扩股 5324 万美元。

2001 年，全市新批外商投资企业 156 家，比上年增长 25.81%；投资总额 7.62 亿美元，比上年增长 43.2%；合同利用外资 69989 万美元，比上年增长 38.33%；

实际利用外资2.47亿美元,比上年增长2.91%。全年新批超1000万美元项目24个,每月均有超1000万美元项目入驻太仓。全盛电子、车扬高科技等10个电子信息类项目进驻太仓。欧亚马自行车(太仓)有限公司、太仓宇轮自行车有限公司、美轮运动器材(太仓)有限公司等一批自行车大项目进驻陆渡工业区。

2002年,市政府提出利用上海在金融、产业、对外开放、人才等方面的优势进行招商引资的"接轨上海"新战略。1月26日,市政府举办"发挥沿江沿沪优势,加快太仓发展"高层次研讨会,重点探讨如何抓住上海申博、实施黄浦江两岸综合开发机遇,加快接轨上海步伐。7月7日,2002年沪太交流合作恳谈会在太仓花园大酒店举行。8月20日,市政府在上海浦东紫金山大酒店举办太仓接轨上海经济合作推介会,当场签约合作项目24个,投资总额10.8亿元。11月20日,上海市20多位民营企业家到太仓投资考察。2003年2月26日,市委、市政府在上海浦东紫金山大酒店举行"接轨上海、服务上海恳谈会",现场签约10个项目,投资总额17.63亿元,恳谈会后签约项目31个,总投资29.38亿元。3月17日,市政府下发《关于2003年太仓市接轨上海工作意见的通知》,并成立太仓市接轨上海工作领导小组,市委副书记、市长浦荣皋任组长,下设6个工作小组。7月、8月、9月开展接轨上海的系列活动,相继组织"接轨上海访百企""复求高级经理太仓论坛"等活动。11月8日至9日,太仓市举行首届"中国太仓郑和航海节暨经贸洽谈会",开幕式上有53个项目签约。其中外资项目总投资额32.91亿美元,内资项目总投资79.1亿元。全年批准外商直接投资项目248个;引进浙温地区项目47个,总投资35.6亿元;引进沪上项目59个,总投资34.8亿元,实际到账资金11.13亿元,其中超1亿元大项目有江苏申久化纤有限公司、江苏昌盛建设集团等。

2004年3月9日,太仓市与加拿大索里市正式建立友好交流城市关系。同日,加拿大首家投资太仓的企业——爱克(苏州)机械有限公司在沙溪开业投产。索里市市长道格出席庆典。3月30日,太仓市在上海浦东举行"接轨上海、服务上海"推介会。有16个超1亿元大项目当场签约,总投资额48.42亿元。4月3日,总投资超1亿美元的中国国际海运集装箱(集团)股份有限公司投资太仓项目协议正式签约。4月24日,由市政府申报,外商投资的特灵空调系统研发中心以"外商研发机构第一家"的身份正式被确认为江苏省第一批外商研发机构。5月17日至6月2日,市长浦荣皋率团赴欧洲开展招商活动,期间达成引资项目12个。年末,全市新批外资企业161家,注册外资9.3亿美元,实际利用外资7.23亿美元(老

口径)。全年南方招商引进项目31个,大项目投资总额为4.99亿美元,注册外资为2.86亿美元,分别占全市的42.3%和36%,包括远达国际会展中心、中集集装箱制造、明达码头等大项目。

2005年4月7日,省委书记李源潮到太仓考察,对太仓提出"以工兴港、以港兴市、接轨上海、服务苏南"的发展道路。4月20日,新区、各镇招商团(组)相继在深圳、东莞开展主题招商活动。5月3日,城厢镇政府和市文广局联合举办第三届"娄东之春"暨经贸洽谈活动,期间成功签约48个项目,总投资2.14亿元。5月15日至30日,市政府组团赴美国、加拿大等北美国家,访问部分世界500强企业,鼓励到太仓投资或增资扩股。6月13日,太仓在上海国际会议中心召开太仓港现代服务业商务推介会。重点推出包括集装箱码头及后方堆场、外商投资服务中心、仓储物流中心等招商项目。7月6日,太仓举办纪念郑和下西洋600周年的"第三届中国太仓郑和航海节暨经贸洽谈会"。海内外嘉宾及全市各界代表3000余人参加,15个外资项目和10个内资项目签约,总投资36.45亿元。全年增资项目123项(次),新增注册外资9.33亿美元,实际利用外资3亿美元。其中新增工业性三资项目148个,注册外资7.18亿美元,占全市新增注册外资76.94%;新引进服务项目18个,注册外资2.14亿美元,占比22.91%。对内新引进市以外的外来资本65.04亿元,引进项目234个;新增注册资本19.46亿元,其中外地资本19.39亿元。引进内资实际到账115.1亿元。

利用外资

1987年,注册外资为41.3万美元。至1991年年末,外商投资项目75个,总投资8565万美元,注册资本5880万美元,注册外资2851万美元。投资方式主要是合资、合作项目,外商独资项目较少。其中当年外资项目48个,注册外资1314.83万美元。1992年起,太仓县获得投资总额3000万美元以下鼓励类、允许类的生产性外资项目的审批权,外商投资项目高速增长,外商独资项目逐步增多。全年新增外资项目436个,注册外资2.05亿美元。1994年,全市新办独资项目38个,占新批项目的27%,单个项目平均注册外资为142.35万美元。90年代,全市每年新批的注册外资1亿~2亿美元。至2001年年末,外商投资项目1584个,总投资467336万美元,注册资本268966万美元,注册外资241082万美元。单个

项目平均注册外资为243.83万美元。投资对象主要集中在制造业领域。有新区的德资精密机械产业,美国的耐克公司、标准公司、美孚石油公司等投资的耐克鞋业、特灵空调、美孚润滑油等产业,日本的神明电子、太阳电器、汽车配件,英国的和路雪、碧辟石油公司等。2002年起,全市服务业利用外资比重大幅增长,投资领域涉及码头基础设施、物流仓储、房地产开发、大型商场、超市和商业批发及咨询等。2005年,全市服务业实现注册外资2.14亿美元,占全市利用外资总量的22.91%,所占份额在苏州大市范围内排名第一。至年末,外商投资项目804个,总投资705488万美元,注册资本425982万美元,注册外资384906万美元。单个项目注册外资平均升至558万美元。每年新批的注册外资升至10亿美元,并出现投资超1亿美元的大项目。

【引资国别与地区】

1987～1991年,到太仓投资的有澳大利亚、日本、加拿大、新加坡、美国、新西兰等6个国家。其中引进欧美项目7个,注册外资202.6万美元,占全部注册外资7%。1990年起,欧美项目引资快。1992年引进欧美项目72个,注册外资2391万美元,占全部注册外资12%。至1997年,投资国别和地区增至法国、韩国、英国、泰国、意大利、瑞士、西班牙、荷兰、丹麦、英属维尔京群岛等34个。2005年,引进欧美项目54个,注册外资升至4.03亿美元,占全市引资总量的43.25%,占比位居苏州各县市第一。到太仓投资的国家和地区达到60个。

1986～2005年到太仓投资前8位的国别、地区情况表

表112

国别（地区）	项目数（个）	注册外资（万美元）	到账外资（万美元）
英属维尔京群岛	121	77112.55	47282.23
美国	236	55433.43	33464.14
日本	250	45923.11	26178.42
德国	70	25544.90	9221.20
新加坡	74	22200.78	10527.36
澳大利亚	48	17673.98	1762.09
萨摩亚	55	16712.62	11076.58
加拿大	49	14324.90	6636.48

【外资贡献】

1994 年，外资企业上缴税收占全市税收总额的 9.95%，外资工业固定资产投入占全部工业投入的 59.3%。2002 年，外资企业上缴税收占全市税收总额升至 47.8%，工业固定资产投入占比升至 68.7%，完成工业总产值占当年全部工业总产值的 58.6%，新增就业岗位占全市新增就业岗位的 65.3%。2005 年，外资企业上缴税收 21.5 亿元，其中美资耐克公司 1 家企业纳税超过 5 亿元。外资企业完成工业总产值 410 亿元，占全市工业总产值的 60.22%。外资企业完成固定资产投资 68 亿元，占全部工业固定资产投入的 57%。外资企业提供就业岗位占比升至 71%。

二、经济协作

机　构

1984 年 2 月，太仓县经济协作办公室成立，设业务和行政两个股，与县计划委员会（简称计委）合署办公。负责对全县横向联合、经济技术协作和对口支援的组织、指导、协调管理。1991 年，县经济协作办公室更名为太仓县人民政府经济协作委员会（简称县协作委）。1992 年 4 月，县协作委定为科级单位，列入政府工作序列。内设办公室和物资技术科。各乡（镇）由农工商总公司负责横向经济协作工作，并将各乡（镇）工业物资供销（贸易）公司划归县协作委管理，健全县、乡（镇）两级横向经济协作网络。同年 12 月，县经济协作总公司成立，原隶属县协作委管理的县经济联合发展公司、县兴太经济协作公司、太仓环保空调成套设备公司、县经协金属材料公司、县中汉广告装潢公司、县空调设备厂、环保空调设备厂、太仓经协机电设备公司、经协物资公司、经协化工公司等 10 家企业划归县经济协作总公司管理。1995 年，指令性计划进一步缩小，物资协作工作逐步淡化，市协作委职能重点向对口支援转移。1996 年，市协作委并入市计委。

技术协作

1986 年，国务院《关于进一步推动横向经济联合若干问题的规定》发布，太仓

实施“依托上海,面向全国、跨省市的外联”方针。全县积极推进技术与资金的协作。同年9月,与上海方面共同成立“沪太横向经济联谊会”,全年签署34项合作协议,成功联合73个外联项目,开始引进外地资金、技术和计划外电能等。其中岳王春光服装厂与上海春光厂达成10年的联合加工外贸产品协议,共同投资建造3800平方米工艺大楼,投入装备210台,上海方面提供技术与管理。全年99.8%的产品符合出口标准,创汇120万美元,创利101万元,成为全县服装行业的佼佼者。牌楼除尘设备厂与航空设计院合作,联合开发的ATB-10型除尘机,填补了国内空白,被选送到瑞典国际环保博览会展出。1987年,成功联合262个外联项目,引进资金3465万元。至1996年年末,太仓与山西、山东、四川、宁夏、内蒙古、河南、安徽等地建立煤炭协作关系;与太钢、宝钢、包钢、攀钢、首钢、鞍钢、上钢、南钢、锡钢、苏钢建立钢材协作关系;与内蒙古、黑龙江、吉林、江西、福建、湖南、四川、广西建立木材协作关系;另有水泥、玻璃、建材等行业,均建有较稳定的协作单位。通过协作,成立230个联合体,引进煤炭128万吨,重油2.85万吨,钢材4.37万吨,木材9.12万立方米,资金1.34亿元。有64家乡镇企业与全国104家科研单位、大专院校共同开发200多个产品。其中沙溪第三塑料厂与上海电缆研究所合作,共同研发的塑料粒子被评为省优产品;沙溪沪太造纸机械厂与上海造纸机械厂合作,产品被评为苏州市优质产品;太仓仪表厂与上海锅炉厂合作,生产全国五大锅炉厂配套产品,远销东南亚;璜泾三棉厂与上海红绸公司联营,出口人造棉纱一级品率达99.37%;牌楼除尘设备厂与安徽蚌埠设计院合作,共同研制的PL系列除尘器,出口巴基斯坦等国家。至1997年,全市获得计划外电力资源48.97亿千瓦时,弥补了计划供应的不足,解决了74.5%的电力能源缺口问题。

区域合作

1986年,根据中央对开发“两西”(西南、西北)地区要求,县经济协作办公室经过调查,结合太仓实际提出对口支援方案,并与甘肃酒泉地区经济协作办公室和江西省5个县经济协作委员会进行沟通,形成《关于初步落实江西省技术协作项目的意见》和《关于初步落实江西省技术协作项目情况报告》。采取派技术人员指导、提供工艺及部分设备、技术转让、人员培训等协作方式。全年落实铸造技术、羊毛衫生产等17个对口技术协作项目。

1986 年太仓县对口支援江西、甘肃技术协作项目落实情况表

表 113

项目内容	协作方式	两地落实单位	
糕点加工	技术帮助	太仓县食品厂	甘肃酒泉企业
饮料加工	提供配方工艺及部分设备	太仓县食品厂	甘肃酒泉企业
酱菜加工	技术指导	太仓糟油厂	甘肃酒泉企业
铸造技术	派技术人员指导	太仓机械总厂	甘肃酒泉企业
塑料彩印	技术帮助，提供部分设备	太仓印刷厂	甘肃酒泉企业
胶版印刷	技术帮助	太仓印刷厂	甘肃酒泉企业
塑料管制造	提供技术	太仓娄东塑料制品厂	甘肃酒泉企业
新建石棉制品厂	提供工艺，部分设备	板桥石棉制品厂	甘肃酒泉企业
石棉新产品开发	技术帮助	板桥石棉制品厂	甘肃酒泉企业
肉蛋加工	技术帮助	太仓县食品公司	甘肃酒泉企业
炒货加工	技术帮助提供设备	太仓浮桥炒货食品厂	甘肃酒泉企业
灯具加工	技术帮助	太仓县灯具厂	甘肃酒泉企业
羊毛衫生产	技术帮助	太仓针织厂	甘肃酒泉企业
高档板式家具	技术转让、服务、培训	太仓工艺美术家具厂	婺源县木器厂
木器家具，竹藤编制生产	派人指导，技术转让	太仓工艺美术家具厂	赣州地区乡镇企业局
引进高档竹简席	技术输入高档家具	太仓工艺美术家具厂	泰和县上记木器厂
扩建织布厂	提供织布技术、人员培训、设备安装调试等服务	太仓县布厂	铅山县二轻局

1995 年，根据国务院办公厅、江苏省政府办公厅、苏州市政府关于做好对口支援三峡工程区库移民工作的精神，太仓市成立对口支援三峡工程领导小组。3 月 22 日至 25 日，市考察组一行 5 人，赴三峡库区云阳县及所属关市镇、养鹿乡进行实地考察，双方签署了友好协作意向书。6 月 18 日至 22 日，养鹿区工委书记、关市镇镇长一行 7 人到太仓考察。考察期间同泰利灯具装饰公司、浏河电机总厂、太仓市化工建材总厂、包装装潢厂等市重点企业进行联营项目和业务洽谈。10 月，关市镇在太仓建立联络处，负责物资交流、项目洽谈、劳务输出等经济协作事宜。同年，太仓市支援关市镇 10 万元，用于架设一条 1000 千瓦专用高压输电线；支援养鹿乡 10 万元，用于希望小学工程购置教学器材。

三、对外贸易

出口贸易

【外贸商品收购】

1986年,外贸商品由县外贸公司进行计划性的统一收购后,再调拨到各口岸及国家的外贸公司渠道出口。全年外贸出口商品收购额为6121.47万元。1991年升至5.75亿元。90年代后期,自营出口占主导地位,外贸商品收购额不再列入统计。

1986～1991年出口商品收购额一览表

表114　　单位:万元

年份	外贸出口商品收购额	年份	外贸出口商品收购额
1986	6121.47	1989	40048.00
1987	13167.18	1990	51024.00
1988	26361.98	1991	57468.00

【自营出口】

1988年,太仓县自营出口起步,当年自营出口额130万美元,后逐年增长。1992年自营出口额9883万美元,1995年升至3.07亿美元,2000年为6.03亿美元,2005年为17.84亿美元。其中2005年外贸企业出口超1000万美元以上的有48家企业,总计出口10.9亿美元。

【出口类别】

1986～1987年,全县仅有粮油食品、土畜产、纺织、轻工、工艺品5类12个初级产品出口,年收购额不到3亿元,几乎没有大宗出口商品和工业制成品。1988年起,随着外资企业大量进入和内资自营进出口企业的组建,出口商品和结构大幅提升。至1997年年末,全市出口商品种类扩至粮油食品、纺织服装、化工医药、机械电子等12个大类160多个品种。至2005年,出口商品扩至动植物产品、化工塑料、金属制品、机电产品等20个大类1608个品种。其中纺织品和机电产品出口额

分别为 4.9 亿美元和 3.1 亿美元，分别占全市出口总额的 29% 和 18.6%。

【出口国别与地区】

1986 年，全县出口贸易主要有日本等国家，后逐步扩展到世界各地。1997 年，出口销往日本、美国、法国等 40 多个国家及地区。至 2005 年，拓至东南亚、非洲、欧洲、南美洲、北美洲等地的 141 个国家及地区。

进口贸易

1993 年，开始发展进口贸易，全市进口贸易额 42 万美元，进口产品为一些原辅材料。1995 年后，进口贸易速度加快，产品种类不断增加，产品涵盖 19 个大类，最多的产品为化工、机电和金属制品类，分别占进口总额的 23.2%、23.1% 和 19.6%。1997 年全市进口商品总额 2.29 亿美元，2000 年升至 4.72 亿美元，2005 年升至 17.94 亿美元，超过同期出口商品总额。

四、外经合作

1984 年 6 月，苏州市建工局组织对外劳务输出，太仓县建筑总公司派出 45 名建筑工人赴科威特承建“257”工程。1991 年，县建筑总公司派出 17 名技术工人赴日本福岗地区。至 1994 年，全市年均派出 17 名建筑业技术工人参加福岗市体育馆和国际大厦等工程建设。1996 年，全市签订外经合同额 260.9 万美元，完成创汇营业额 73 万美元，外派劳务合作人员 108 人。9 月，经经贸部批准，太仓市外贸公司在孟加拉国设立办事处。同年，市通力建筑（集团）公司承建厄立特利亚一幢保险公司综合楼，实现了太仓市对外工程承包零的突破。次年该工程竣工，创汇 109 万美元。1997 年，由中国纺织总会对外经济技术公司牵头、太仓市纺织控股（集团）公司组织的圭亚那萨塔纺织厂经援项目签约，为苏州市首例经援项目。全年全市签订外经合同额 310 万美元，完成创汇营业额 202.7 万美元，外派劳务人员 182 人。同期，太仓劳务合作的国家从匈牙利、毛里求斯等国逐渐拓展至日本、美国、韩国、新加坡等十多个国家；劳务合作从业人员从以缝纫、建筑、捕鱼人员为主，向翻译、外贸、企业管理人员等方面转移。

1999 年,全市签订外经合同额 340.23 万美元,完成创汇营业额 296.3 万美元,外派劳务人员 161 人。海洋捕捞劳务合作项目及外商投资企业选派研修生成为当年外经工作的主要特色。2001 年,全市签订外经合同额 772.5 万美元,完成创汇营业额 463.12 万美元,外派劳务人员 236 人。同年，市对外贸易公司成为太仓市首家获得外经经营权的单位。2004 年,全市签订外经合同额 1915 万美元,完成创汇营业额 2164 万美元,外派劳务人员 338 人。境内有多家企业在坦桑尼亚、马来西亚投资办厂,在美国、日本设立办事机构。2005 年，太仓市在境外兴办企业 6 家,其中苏州国信集团有限公司在坦桑尼亚建办中华纸业有限公司,苏州兴亚钉业有限公司在毛里求斯建办兴亚(毛里求斯)贸易有限公司。

1994 ～ 2005 年,太仓市签订外经合同额 7023 万美元,完成创汇营业额 6026 万美元,外派劳务人员 1944 人。

五、口岸管理

1992 年,县委、县政府做出开发建设浏家港的重大决策,并成立太仓县浏家港港区开发建设指挥部。同年 10 月,浏家港第一个万吨级码头——江苏长江石化码头开工建设。1993 年 11 月 4 日,省政府批准设立太仓浏家港港口开发区。1994 年,太仓市口岸管理委员会(简称市口岸委)经苏州市政府同意正式成立,列入市政府工作序列。1995 年 3 月,市口岸委与港区建设指挥部脱钩,正式独立对外办公。4 月,省口岸领导小组办公室在太仓召开二类口岸开放验收会议,同意太仓港作为二类口岸对中国籍国际航行船舶开放。5 月 25 日,第一艘国轮“胜利 4 号”靠泊长江石化码头,太仓港正式投运。10 月 29 日,经交通部审批的第一艘外轮“又钟”号满载 3000 吨化工品抵太仓港卸货。12 月 3 日,国务院批准太仓港为国家一类口岸对外国籍船舶开放。1996 年,太仓海关、边检、商检、动植物检、港监等一批检查检验机构相继组建。10 月 22 日,太仓港通过由国家口岸办公室组织的验收组验收。11 月 5 日,交通部发布决定,太仓港于 11 月 8 日正式对外开放。1997 年 1 月 18 日,太仓市举行开港典礼。交通部代表到会宣读太仓港对外国籍船舶开放的通知。口岸专业执法、管理机构履行相应的查验、管理职能全部到位,与口岸开发相配套的外代、船代、外理、外服等主要涉外服务机构相继建立,并健全完善外供、船检、金融、保险、海员俱乐部等系列配套服务设施。同年,市口岸委制定《国际航线船舶进

出太仓港口岸检查实施细则》《登外轮工作人员守则》《外籍船员登陆管理细则》，规范登轮人员、外籍船员行为。在口岸协调管理方面，建立口岸委主任联席会议、口岸例会、口岸查检部门主要领导碰头会等系列制度，促进口岸规范管理。1999年6月，市港务局并入口岸委，与口岸委合署办公，实行一套班子，两块牌子。

2002年，太仓港船舶服务有限公司等涉外服务机构成立。5月，长江引航中心太仓引航站挂牌成立，履行长江太仓段水域外轮引航职能。11月8日，太仓港海轮锚地经江苏海事局批准对外使用。2004年，市口岸委下设办公室，由市长兼任口岸委主任，港务局局长兼任口岸委副主任及口岸办公室主任。9月，太仓港危险品锚地通过通航验收，正式投入使用。2005年，口岸各管理机关，如商检、海关、边检、海事等部门实施功能整体前移，即工作重心从市区移至港区。12月，成立中共江苏太仓港口工作委员会和江苏太仓港口管理委员会，委托苏州市管理，副厅级建制。中共江苏太仓港口工作委员会书记由太仓市委书记兼任，江苏太仓港口管理委员会主任由苏州市副市长兼任。太仓市仍保留决策机构太仓市口岸管理委员会及其办事机构办公室。

海　关

【机　构】

1993年6月，海关总署批准设立苏州海关驻太仓办事处，为副处级单位。同年10月，苏州海关驻太仓办事处筹建组成立。1994年12月17日，苏州海关驻太仓办事处正式开关，内设办公室、业务科两个科级单位，其中业务科内设货管、保税、核销、稽查4个小组。1995年11月30日，经南京海关批准，苏州海关驻太仓办事处增设业务二科。

1999年3月3日，海关总署批准太仓海关开关，为正处级单位，业务管辖区域为太仓市。同年3月26日，太仓海关成立，并举行揭牌仪式，正式对外办公。内设办公室、业务一科、业务二科、调查稽查科4个科级部门。2001年5月31日，内设机构调整为办公室、监管科、综合业务科、调查科和查验科5个科级部门。2004年4月29日，增设加工贸易监管科。2005年7月25日，调查科更名为稽查科。太仓海关主要负责依法监管太仓口岸进出境和经转关进出太仓地区的运输工具、货物、物品，征收关税和其他税费，查缉走私，编制海关统计和办理其他海关业务。

【货运监管】

监管主要区域 太仓海关监管的主要区域有太仓港、江苏长江石油化工有限公司液体化工品保税仓库、太仓海关直通式监管点、太仓长江仓储有限公司保税仓库、苏州国信集团太仓港东润物流有限公司公共型保税仓库等。

太仓港 1996年11月8日太仓港正式对外开放,1999年9月,批准为集装箱中转港。至2005年年末,太仓港拥有太仓国际集装箱码头(一期)、长江石化码头、美孚石油码头等3个对外开放码头。建成泊位29个。太仓港为海关监管的重点区域。

江苏长江石油化工有限公司液体化工品保税仓库 1992年10月,江苏长江石油化工有限公司落户太仓港,占地面积40万平方米。至2003年7月,共有大小储罐58座,拥有长江岸线693米,泊位7个,其中3万吨级石化专用码头和3000吨级双泊码头各1个。2005年,经南京海关批准设立液体化工品专用型保税仓库,仓库容量为11万立方米,存储的保税货物主要为甲醇、乙二醇。

太仓长江仓储有限公司保税仓库 2001年由海关总署批准设立,仓库位于太仓港区,仓库面积1.28万平方米,堆场面积1.3万平方米。

太仓海关直通式监管点 2004年6月29日经南京海关批准正式投入运作。位于新区。设有综合办公楼4000平方米和2.6米高的永久性隔离围网,实施封闭卡口管理,有出口货物专用通道2条,集装箱堆场1.2万平方米,仓库面积6500平方米,专用停车场及通道8000平方米。

苏州国信集团太仓港东润物流有限公司公共型保税仓库 2005年7月27日,经南京海关批准设立,位于太仓海关直通式监管点内,面积为6000平方米的室内仓库。

监管制度及业务量 1995年,苏州海关驻太仓办事处制定船管岗位责任制和操作规程,建立船舶监管制度。全年监管外国籍船舶9艘次,监管货物667万美元。1996年,设立船舶监管小组,全年监管17艘外籍船舶,主要监管货物为进口化工原料,计3.7万吨。并首次为苏州工业园区股份有限公司办理1600吨液化气转关运输业务。1997年,苏州海关太仓办事处建立样品送检制度,对3批9个样品送上海海关化验中心化验。同年,与长江石化、美孚石油、华能阿莫科等对外开放码头货主单位签订共同做好太仓进出口货物监管工作合作备忘录。1998年,办事处确定两个出口货物检验点。1999年,码头监管小组成立,对码头区域实施24小时巡查,

制定国际航行船舶上下物品监管规定。2000 年，海关对码头实施封闭式管理。对中远码头新建闸口的集装箱通道实行闭路电视监控，并与码头公司 CTMS 港口管理系统联网。2001 年，“两水两路”跨关区快速通关改革，支持企业开展转关运输和长江内支线中转业务。2002 年，实施提前报关、上门查验、担保放行等便捷通关措施。对外开放的码头实行 24 小时预约式无假日通关服务，并现场实施限时服务制、单证跟踪管理制、首问负责制和科长值班制，确保快速通关。2003 年，为码头现场配备电子地磅，开通码头业务现场与本部办公大楼的 2 兆宽带联网。2004 年，实施“异地报关、口岸分流放行”通关模式改革，完成液体化工品联网监管系统论证。2005 年，制定实施《支持太仓港发展八项措施》，监管机构前移准备工作就序。对长江石化公司液体化工品实现联网监管。在码头堆场、长江石化公司储罐区、玖龙纸业废纸堆场安装远程视频监控系统。同年，建立港口物流风险分析例会制度，对太仓长江仓储有限公司、太仓港东润物流有限公司、长江石化 3 家保税仓库发放保税仓库电子 K 账册。

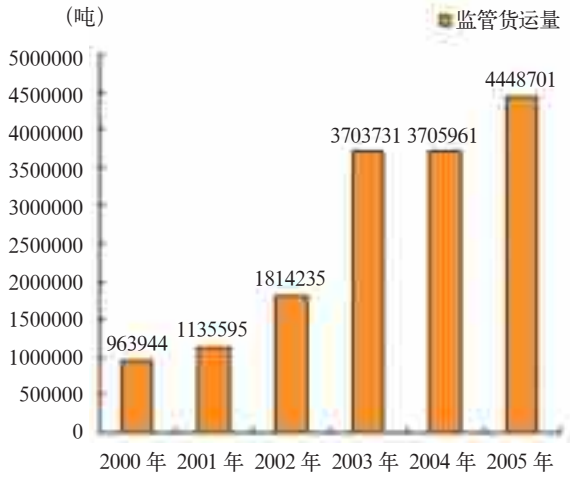


图 12　2000 ～ 2005 年太仓海关监管货运量示意图

1995 ～ 2005 年太仓海关监管业务统计表

表 115

项目		1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
监管货运量(吨)	进口	48907	38992	121021	445442	689720	865749	1065397	1747591	3641704	3597779	4215349
	出口	13587	23830	29463	28934	49425	98195	70198	66644	62027	108182	233352
	合计	62494	62822	150484	474376	739145	963944	1135595	1814235	3703731	3705961	4448701
监管货值(万美元)	进口	3889	4051	6428	9776	17901	34050	31134	46462	145269	209381	232570
	出口	3291	8067	11507	9129	13079	23979	16184	8484	10846	41875	48386
	合计	7180	12118	17935	18905	30980	58029	47318	54946	156115	251256	280956

续表 115

项目		1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
集装箱量(箱次)	进口	—	—	736	594	816	3405	2928	3982	10470	37217	64932
	出口	—	—	3891	4017	4757	7558	4800	4668	1773	744	6653
	合计	—	—	4627	4611	5573	10963	7728	8650	12243	37961	71585
运输工具	船舶(艘次)	9	17	115	153	439	723	819	1085	1409	1353	1850

加工贸易货物监管　1995 年 11 月 27 日起，设立银行保证金台账试点，凡加工贸易企业在办理手册时，须在银行设立保证金台账，确保国家税款不流失。至 1996 年下半年，办理台账 1588 份，备案金额 1.27 亿美元，核销到期台账手册 469 份，核销率 100%。同期，正式实施银行保证金台账制度。

1998 年，办事处建立加工贸易企业首办验厂制度，对首次办理加工贸易的企业，必须经海关派员下厂核实内部管理、生产加工能力等情况后，方可从事加工贸易。2002 年，以企业规模、商品敏感程度、企业管理水平、企业类别、企业守法情况等指标进行风险评估，确定监管重点。对部分风险度较高企业实施全过程监管。2004 年，逐步推行行业专管员制度，对规模大、批次多、流动式生产的企业推行账册式监管，逐步实现管理单元由单证向企业的转变。通过减少纸质单证劳动，加强对企业的实际监管，实现加工贸易监管的转型升级。

2005 年，5 家加工贸易企业与海关签订联网监管合作备忘录，对 2 家企业发放电子手册，对 3 家保税仓库实现联网监管。对新办加工贸易企业，推行以加强服务监管为主要内容的一单二访三训四核制度。建立社会协管模式，首次邀请会计事务所介入保税仓库的盘库核查，出具盘库执告书，与海关核查结果对碰，提高核查水平。

1995 ～ 2005 年太仓海关加工贸易主要业务统计表

表 116

项目	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
审批合同(份)	2035	2825	2708	2433	3053	3560	4124	4438	4770	3780	4106

续表 116

项目	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
审批金额(万美元)	19655	25409	24409	23206	36460	41648	49715	59573	78439	128407	162314
核销合同(份)	1794	2357	2259	2468	2480	3363	3306	4149	4850	4188	3584

【关税征收】

太仓海关征收的税种主要为关税和进口环节税。进口环节税主要包括增值税、消费税和船舶吨税。1995 年，征收税款 2555 万元，1996 年，征收税款 3894 万元，比上年增长 52.4%，其中关税 1048 万元，增值税 2846 万元。1997 年，征收税款 6151 万元，同比增长 58%。1998 年，开通虹桥机场空运货物的直通式转关业务，进一步增加税收量，全年审价 27 票，审价补税 30 万元。加工贸易手册核销补税 1515 万元，稽查补税 75 万元。入库税收 1.44 亿元，首次突破亿元。其中关税 4525 万元，比上年增长 147.5%，增值税 9878 万元，增长 128.4%。1999 年，审价 26 票，补税 71.41 万元，核销补税 1312 万元，累计征税 2.88 亿元，比上年增长 100.2%。2001 年，太仓海关加快通关速度，征管水平得到提高，全年审价 51 票，补税 139.56 万元，累计征收税款 5.15 亿元。2002 年，全年审价补税 150 万元，稽查补税 289 万元，核销补税 950 万元，累计征税 6.9 亿元，比上年增长 34%。税收征管水平列南京关区第二位。2003 年，太仓港进口钢材、化工产品数量增长较快，使海关税收实现跨越式增长，全年征收税款 21.77 亿元。其中网上支付税款超过 9000 万元，占南京关区网上支付税款总量的 20% 以上。2004 年，征收税款 25.5 亿元。2005 年，征收税款 30.13 亿元，其中补征税款 1584.7 万元，创审价补税历史新高。

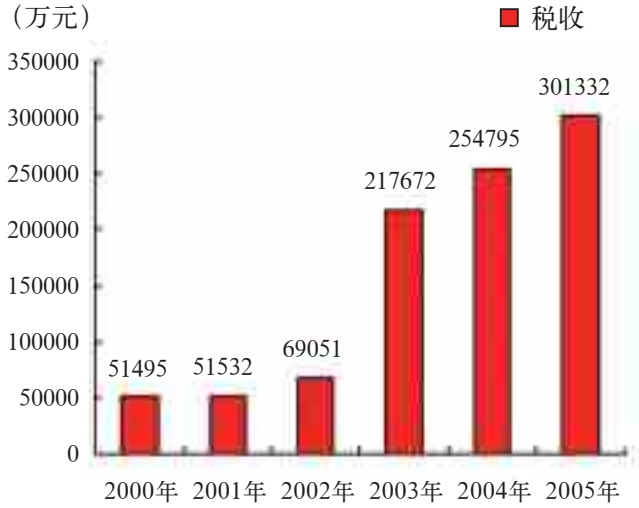


图 13　2000 ～ 2005 年太仓海关税收情况示意图

【缉私稽查】

1995年5月至7月,对全市576家注册登记企业进行调查摸底,对其中137家有进出口业务的企业进行分类评估,并报上级海关批准,确定A类企业6家、C类企业3家。同年,对原注册在案的414名报关员进行年审,通过清理,重新登记的报关员为124名。对企业的稽查采取与加工贸易中期核查相结合的方法,从货运和核销渠道上发现走私违规线索。全年对30多家企业进行稽查、核查,处理5起走私行为。1996年,重点查处加工渠道、货运渠道的走私,全年查获羊毛、腈纶短纤等走私案件5起。1998年,开展联合年检,受理453家企业年检申报,有402家企业通过年检审核。1999年,对13家企业进行稽查,稽查补税154万元,查处1家违规企业,对4家企业在加工贸易中的违规行为依法进行处罚。2001年,海关实现由办案为主向查缉为主、由查处个案向规范企业行为的工作转变,全年查处各类走私案件42起,稽查企业21家,稽查补税2起,金额95万元。2002年,稽查企业24家,稽查补税289万元,查获走私案件33起。同年6月,一次性成功退运760吨禁止进口的固体废物。

2004年,海关实施风险管理机制,利用H2000系统和风险管理平台功能,建立健全各种监管风险的应对、处理机制,加大对废旧行业、橡胶行业和海关总署列名的重点企业稽查和规范管理力度。全年查处走私案件12起。2005年,动员和支持企业申报A类企业,并对A类诚信企业提供最大限度的通关便利。加强宣传,防止企业因不明法律、法规而造成违规,并聘请两区、各镇的9名地方党政干部担任海关企业管理联络员,为海关及时提供信息,应对和解决企业因减产、倒闭而产生的各种问题。先后开展针对进口牛皮纸、技术改造免税进口针织大圆机、加工贸易等方面的专项核查和突击查验行动。

边　检

【机　构】

1995年12月3日,国务院批复同意太仓港对外国籍船舶开放,并设立边检机构。1996年9月,启动筹建太仓边防检查站,10月江苏省公安边防总队批复同意组建中华人民共和国太仓边防检查站(简称边检站),为正团级单位,列武警部队现役编制,隶江苏省公安边防总队。内设办公室、政治处、边防检查科、情报调研

科、通讯技术科、监护连、监察艇等机构。编制核定 80 人，其中警官 33 人，警士 47 人。边检站位于市区太平路与郑和路交叉口处，主要负责对外籍船舶出入港区及出入境人员的边防检查，重点打击偷渡、走私等违法犯罪活动。至 2005 年，边检站先后被公安部边防局评为“执法为民窗口”，被省公安边防总队评为“口岸工作先进集体”“机关规范化建设优胜单位”“安全工作先进单位”。监护中队被团中央命名为国家“青年文明号”。

【边防检查】

1997 年 1 月 12 日，边检站首次对停靠在太仓口岸的韩国籍“阳光化工号”轮实施边防检查。4 月 25 日，对省海洋渔业总公司捕捞公司所属“苏渔 607 轮”实施边防检查，查获陈某等 5 人采取揭换照片、冒名顶替手段，企图偷渡日本。7 月 12 日，在长江锚地查获朝鲜族徐某等 18 人，企图搭乘洪都拉斯籍“埃瓦斯”号轮偷渡韩国。

1998 年 4 月 5 日，企图乘船偷渡日本的福建长乐籍人林某等在浮桥镇闸东江堤被抓获。7 月 15 日，在浏家港华苏塑化公司附近江边抓获蛇头刘某。同日，在浏河渔港抓获余某等 6 名偷渡者和蛇头徐某等 5 人。7 月 25 日，在市区人民路查获企图偷登外轮去日本的朴某等 4 人。全年检查中外籍船舶 109 艘次，检查中外籍船员、旅客 2166 人次，处理船员违规案件 2 起 25 人。

1999 年 1 月 20 日，在浏家港杨林口附近江堤抓获企图偷登渔轮偷渡美国的王某等 2 人。4 月 29 日，在中远国际城码头抓获企图偷登集装箱班轮去韩国的金某等 6 人，并抓获组织者金某等 4 人。5 月 20 日，在中远国际城码头抓获企图偷登集装箱班轮去日本的曾某等 2 人，及协助偷渡人员陈某。

2000 年 1 月 9 日，在市区银河大酒店抓获企图乘船偷渡日本的李某等 3 人，及协助偷渡人员林某等 2 人。5 月 8 日，在浏家港杨林口江堤处抓获偷乘渔轮去日本的郭某等 5 人。全年检查出入境船舶 393 艘次，检查出入境人员 7579 人次。

2005 年 2 月 7 日，在对韩国籍“海峰（SEAAPEX）”轮实施入境边防检查中，发现其擅自改航出境至韩国光阳。根据《中华人民共和国出境入境边防检查条例》第三十七条第一项规定，依法对该轮给予罚款 1 万元的行政处罚。全年检查入出境（港）船舶 1743 艘次，其中中国籍 90 艘次，外国籍 1653 艘次，比上年增长 38.33%；检查入出境（港）员工 19252 人次，其中入境 10931 人次，出境 8321 人次，比上年增长 46.82%；签发登陆住宿证 8595 份，比上年增长 36.43%；处理违法

违规案件1起1人。至2005年年末,边检站累计检查出入境船舶4425艘次,检查出入境人员7.65万人,签发登陆证、住宿证等各类证件2.79万份。

海　事

【机　构】

1995年10月5日,设立港监机构。12月27日,中华人民共和国港务监督批准设立中华人民共和国太仓港务监督。1997年2月12日,交通部同意成立交通部太仓长江港航监督局,隶属交通部南通长江港航监督局管理。5月19日,太仓长江港航监督局石化监督站(中华人民共和国太仓港务监督石化站)成立。1998年4月,交通部太仓长江港航监督局正式挂牌。2001年1月18日,中华人民共和国江苏太仓海事处(简称太仓海事处)正式挂牌成立,隶属江苏海事局管理,为江苏海事局的直属派出机构。管辖范围上界钱泾河口至崇明岛上端连线,下界浏河浏黑屋至崇明施翘河信号杆连线。辖区长度38.8千米,分浏河水道、白茆沙中水道和白茆沙北水道。2002年9月23日,太仓市水上搜救中心成立,设在太仓海事处。至2005年,内设办公室、党群工作部、财务处、督察处、指挥中心、政务中心,并设派出机构执法支队,执法支队下设浮桥一号基地、浏家港二号基地。太仓海事处先后获"全国直属海事系统先进集体"、交通部"水上运输安全管理先进单位"2次、江苏省"文明单位(行业)"连续3次、江苏海事局先进单位5次。

【文明航区创建】

安全管理　2001年,太仓海事处实施汽渡"一船一档"制度,促成太海汽渡公司和地方政府签订安全管理责任书,并建立地方政府、汽渡和海事三方联席会制度,帮助解决汽渡散客登渡、危险品车辆过渡等重点问题。全年组织水上施救15次,救助遇险人员31人。2002年编印《汽渡船员安全知识竞赛500问》,员工人手一册。7月5日凌晨,太仓海事处勇救7名被5号台风"威马逊"围困遇险的二航局船员,被太仓市政府记集体三等功。全年组织水上救助50次,救助船舶45艘次,人员46人次。2003年对太海汽渡实行"零距离"监管。7月1日,交通部决定在长江江苏段实施船舶定线制。太仓海事处通过"高峰引导、偏峰整治"和"引

龙头、治刺头”的方法，使船舶定线制改革在长江太仓段顺利实施。开通了“12395”水上救助专线，在远太码头设置举报巨幅宣传牌。7月25日23时15分，“鲁丰”轮在长江11号浮区域偏离航道搁浅，太仓海事处动用4艘拖轮，经过3昼夜努力，使该轮成功脱浅。9月2日15时35分，装载5000吨B类物质苯乙烯的新加坡籍“宝航”轮在长江10号黑浮区附近偏离航道搁浅，经过近14小时施救成功脱浅。全年接水上险情报警57起，组织水上搜救57次，累计搜救时间154小时，搜救船舶51艘，救助人员177人次。2004年，辖区航道拥挤、秩序混乱、事故多发的状况得到根本改观，一般事故比上年同期减少31.5%，碰撞事故下降39.6%。按船舶流量计算，首次实现事故发生率低于万分之一。其中全天候通航（海轮夜航）一项，就为船东带来经济效益1.79亿元。长江太仓段成为安全畅通“水上高速航路”、文明航区。全年组织水上救助115次，救助船舶49艘，救助人员224人，挽回直接经济损失1945万元。2005年，促成太海汽渡搬迁至璜泾镇新址，使航行时间由原来的45分钟缩短为25分钟。完成太海汽渡警示牌设置及渡口“划区、定线、亮牌”工程，建成安全文明渡线。2001年～2005年，共组织水上搜救407次，成功救助遇险船舶325艘次、遇险人员601人次，水上搜救成功率保持在95%以上，避免直接经济损失3.7亿元。

2003年在长江太仓段竖立船舶定线制宣传牌

危险品监管　2001年，推行小型液货船检查证明书制度和船舶进出港动态报告制，全年检查小型液货船70艘次，发放检查证明书63份，对7艘不符合安全质量标准的货船禁止装货，并进行通报。2002年5月，组织六省一市31家单位在太仓召开太仓港危险货物安全管理座谈会。2004年，与长江石化公司联合建成长江石化码头区闭路电视监控系统工程，实现对危险品码头视频监控。2005年，开展沿海散杂货船专项整治活动，发放宣传资料200份，检查船舶63艘次，危险货物年吞吐量259.6万吨，未发生1起安全事故。

【服务太仓港】

2001年起,太仓港迎来大开发、大建设、大发展的热潮,每年都有数百艘的施工船在港内参与水上水下施工作业,太仓海事处适时举办安全培训班,提高施工单位安全管理水平和船员安全操作技能。执法人员深入现场指导施工单位制定水上施工作业安全措施,保证围滩吹填工程及中远国际城、环保电厂、长江石化等多个万吨级码头工程顺利完工。相继推出一系列为港航企业、广大船民的服务举措:强化港口重点工程建设服务力度;开辟电煤船"绿色通道",保障电煤船随到随靠;维护超大型船舶安全,保证重点时间、重点航段到位服务。2003年,靠泊太仓港的国内外船舶日益增多,太仓海事处在口岸单位中率先推出365天24小时工作制、24小时责任制。实现24小时全天候、全过程、全方位为船方办理进出港签证、船舶安全检查、船舶载运危险货物申报手续,做到"宁让人等船,不让船等人",保证到港船舶零等待、零延误。

至2005年,太仓海事处配合市政府开展各项港口主题活动和招商引资工作,主动宣传、推介太仓港,提高太仓港知名度和影响力。先后参与举办"纪念郑和下西洋600周年"活动;参加香港现代货箱集团举办的大型招商会;配合中国海运集团开通"太仓港—洋山港"航线;向台湾亿通公司推介太仓港,为开辟"太仓—石垣—台湾"航线作出努力。

【基础建设】

90年代末,只有1艘海巡艇"监督39"承担水上安监工作。2002年,基本实现工作数据的网上传输。2004年,完成处机关与下属3个办事处的3条2兆SDH专线连接,建设1条10兆的光纤接入互联网,开通了太仓海事处网站。2005年,开通水上救助通信录音系统,通过GPS-GPRS系统,加强管理,建立港内码头网络视频系统,对码头船舶实行全程监控,基本实现电子政务。至年末,拥有30米级"海巡0890"、20米级玻璃钢制高速"海巡0891"和趸船"太安趸1号"3艘巡艇。

检验检疫

【机　构】

1996年11月,中华人民共和国太仓卫生检疫局(正处级)成立。1997年1月,

中华人民共和国太仓进出口商品检验局（正处级）成立。1997 年 2 月，中华人民共和国太仓进出境动植物检疫局（副处级）成立，1998 年 12 月 1 日正式运作，其中 1997 年 1 月至 1998 年 11 月期间，业务工作由常熟动植物检疫局承担。1999 年 11 月 18 日，中华人民共和国太仓出入境检验检疫局成立，由原太仓进出口商品检验局、太仓卫生检疫局和太仓进出境动植物检疫局 3 个单位合并组建，为江苏出入境检验检疫局设在太仓地区的分支机构。内设办公室、检务科、卫生食品检验检疫科、动植物检验检疫科等 9 个职能科室、1 个综合技术服务中心。2004 年 9 月，设立太仓直通式监管点办事处。2005 年，下设副处级单位 1 个（太仓港办事处），正科级部门 14 个，在编职工 53 人。

1999 年 11 月 18 日，太仓出入境检验检疫局成立

【商品检验】

1997 年，检验进出口商品 4325 批次，货值 15075 万美元。下半年筹建化工品检测实验室。1998 年 4 月开检。全年检验进出口商品 5574 批次，货值 23300 万美元，主要产品涉及机电轻工类、轻纺品类、食品类、化工品类。2000 年起，采用 CIQ2000 业务系统，实施“三电工程”，安装电子报检、电子签证、电子通关软件，实现快速报检、签证、通关放行。2001 年，检验检疫主要出口商品机电轻工类、轻纺品类、食品类三大类，11311 批次，其中机电轻工类 3223 批次、轻纺品类 7831 批次、食品类 257 批次。货值 35230 万美元，其中机电轻工类 7532 万美元、轻纺品类 27172 万美元、食品类 526 万美元。同年，检验检疫主要进口商品有金属及其制品、塑料及其制品、机电产品、木材、废物原料及动物皮张，981 批次，其中金属及其制品 173 批、塑料及其制品 162 批次、机电产品 323 批次、木材 3 批次、废物原料 30 批、动物皮张 290 批次。货值 9610 万美元，其中金属及其制品 3720 万美元、塑料及其制品 921 万美元、机电产品 3121 万美元、木材 7 万美元、废物原料 425 万美

元、动物皮张1416万美元。2003年,检验检疫主要出口商品18518批次,其中机电轻工类7065批次、轻纺品类11087批次、食品类366批次。货值49944万美元,其中机电轻工类17499万美元、轻纺品类31622万美元、食品类823万美元。同年,检验检疫主要进口商品3110批次,其中金属及其制品1545批次、塑料及其制品233批次、机电产品773批次、木材129批次、废物原料85批次、动物皮张345批次。货值101233万美元,其中金属及其制品88865万美元、塑料及其制品611万美元、机电产品7699万美元、木材2078万美元、废物原料833万美元、动物皮张1147万美元。全年签发检验检疫证2449份。同年9月,化工品检测实验室通过CNAL(中国实验室国家认可委员会)复评审。2004年,《活虾运输保存方法的研究》科研项目被江苏省检验检疫局评为"科技兴检"二等奖。2005年,检验检疫主要出口商品25961批次,货值69964万美元;主要进口商品4722批次,货值98438万美元;签发检验检疫证书1900份。年内,进出口企业全部实现电子报检、电子签证。同年,化工品实验室搬迁至浏家港石化工业区。拥有气相色谱、全自动馏程仪、库仑仪、数字密度仪、水分测定仪等进口仪器。开展检测的品种主要有甲醇、乙二醇、液化气、甲苯、二甲苯、邻苯二甲酸、二辛脂等。至年末,累计检验检疫进出口商品161678批次,货值735548万美元,签发检验检疫证书8829份。

普惠制签证 1997年,签发普惠制产地证书1850份,签证货值4986.3万美元;签发一般原产地证书783份,签证货值3109万美元。1999年,签发普惠制产地证书3330份,签证货值8523.7万美元。2005年,签发普惠制产地证书8572份,签证货值21032.6万美元;签发一般原产地证书6315份,签证货值15926.3万美元。至年末,共签发普惠制产地证书50282份,签证货值113241.2万美元;签发一般原产地证书25119份,签证货值64302.8万美元。

1997～2005年太仓口岸出入境商品检验检疫情况表

表117

年份	货物检验检疫		签发检验检疫证书(份)	签发普惠制产地证		签发一般原产地证	
	批次	货值(万美元)		份	货值(万美元)	份	货值(万美元)
1997	4325	15075	—	1850	4986.3	783	3109.0
1998	5574	23300	—	2194	5846.8	1009	3363.0
1999	7838	33400	—	3330	8523.7	1561	3783.6

续表 117

年份	货物检验检疫		签发检验检疫证书（份）	签发普惠制产地证		签发一般原产地证	
	批次	货值（万美元）		份	货值（万美元）	份	货值（万美元）
2000	13834	45618	—	4299	10346.0	1813	3918.7
2001	14198	49336	657	5188	12299.0	2159	5508.0
2002	19881	73108	1230	6774	14113.8	3279	8326.5
2003	26686	159070	2449	8721	16388.5	3671	9182.9
2004	31917	157474	2593	9354	19704.5	4529	11184.8
2005	37425	179167	1900	8572	21032.6	6315	15926.3
合计	161678	735548	8829	50282	113241.2	25119	64302.8

【卫生检疫】

传染病监测　1997 年，出入境人员传染病监测体检 691 人次，检出各类传染性疾病 67 例，其中禁止出入境的传染性疾病 2 例，其他传染性疾病 65 例。1999 年，出入境人员传染病监测体检 1955 人次，检出各类传染性疾病 209 例，其中禁止出入境的传染性疾病 3 例，其他传染性疾病 206 例。2001 年，出入境人员传染性疾病监测体检 984 人次，检出各类传染性疾病 103 例，其中禁止出入境的传染性疾病 2 例，其他传染性疾病 101 例。2005 年，出入境人员传染病监测体检 790 人次，检出各类传染性疾病 80 例，其中禁止出入境的传染性疾病 4 例，其他传染性疾病 76 例。至年末，出入境人员传染病监测体检 10302 人次，检出各类传染性疾病 1062 例，其中禁止出入境的传染性疾病 32 例，其他传染性疾病 1030 例。

1997 ～ 2005 年太仓口岸出入境人员传染病监测体检情况表

表 118

年份	出入境人员传染病监测体检（人次）	检出传染性疾病（例）	
		禁止出入境的传染性疾病	其他传染性疾病
1997	691	2	65
1998	1247	10	127
1999	1955	3	206
2000	1901	2	206
2001	984	2	101

续表 118

年份	出入境人员传染病监测体检（人次）	检出传染性疾病（例）	
		禁止出入境的传染性疾病	其他传染性疾病
2002	962	2	95
2003	951	5	88
2004	821	2	66
2005	790	4	76
合计	10302	32	1030

船舶检疫　2000 年，检疫出入境船舶 380 艘次，出入境船员 7415 人次，其中来自疫区的进境船舶 2 艘次；实施卫生除害处理 185 艘次；截获各类病媒昆虫 4 批次、动植物有害生物 14 批次。2002 年，检疫出入境船舶 679 艘次、集装箱 15879 标箱，出入境船员 12121 人次，其中来自疫区的进境船舶 18 艘次；实施卫生除害处理 286 艘次；截获各类病媒昆虫 17 批次、动植物有害生物 63 批次，封存来自动物传染病疫区的动物产品 3 批次。2005 年，检疫出入境船舶 1269 艘次、集装箱 87851 标箱，出入境船员 22032 人次，其中来自疫区的进境船舶 489 艘次；实施卫生除害处理 492 艘次；截获各类病媒昆虫 279 批次、动植物有害生物 259 批次，封存来自动物传染病疫区的动物产品 94 批次。至年末，检疫出入境船舶 4596 艘次、集装箱 175362 标箱，出入境船员 80482 人次，其中来自疫区的进境船舶 854 艘次；实施卫生除害处理 2054 艘次；截获各类病媒昆虫 415 批次、动植物有害生物 794 批次，封存来自动物传染病疫区的动物产品 180 批次。

2000 ～ 2005 年太仓口岸出入境卫生检疫情况表

表 119

年份	检验检疫船舶（艘次）			检疫集装箱（标箱）	出入境船员（人次）	截获病媒昆虫（批次）	动植物有害生物（批次）	封存动物产品（批次）
	出入境船舶	来自疫区船舶	实施卫生处理					
2000	380	2	185	—	7415	4	14	0
2001	504	5	212	13865	8722	8	47	0
2002	679	18	286	15879	12121	17	63	3
2003	852	46	582	15313	14760	60	271	16
2004	912	294	297	42454	15432	47	140	67
2005	1269	489	492	87851	22032	279	259	94
合计	4596	854	2054	175362	80482	415	794	180

【动植物检疫】

1999 年 11 月，建立动植物检疫实验室，开展动植物有害生物鉴定工作。同月，在韩国入境木质包装中首次鉴定截获松材线虫。2000 年，检疫动植物及其产品 513 批次，货值 1305.3 万美元；截获动植物有害生物 11 种，30 批次，其中检疫性有害生物 2 种，4 批次。2001 年，检疫 950 批次，货值 3297.7 万美元；截获有害生物 21 种，79 批次，其中检疫性有害生物 2 种，8 批次。同年，科研项目《活虾运输保存方法的研究》获江苏检验检疫局立项，实现科研项目立项零的突破。2003 年，检疫 2586 批次，货值 8567 万美元；截获有害生物 48 种，347 批次，其中检疫性有害生物 7 种，57 批次。2005 年，检疫 4382 批次，货值 24418.1 万美元；截获有害生物 126 种，1212 批次，其中检疫性有害生物 5 种，40 批次。同年 11 月，建成有害生物标本室，陈列历年截获的 150 余种有害生物及杂草等标本。至年末，检疫动植物及其产品 11885 批次，货值 52777.6 万美元；检疫的主要品种有出境竹木草柳藤制品，入境原木、木薯干及货物木质包装等；截获动植物有害生物 308 种，2192 批次，其中检疫性有害生物 29 种，159 批次，如菜豆象、小麦印腥穗黑病菌、松材线虫等。每年 5 月至 10 月开展检疫性实蝇监测。

2000 ～ 2005 年太仓口岸出入境动植物检疫情况表

表 120

年份	出入境动植物及其产品		有害生物		检疫性有害生物	
	批次	货值（万美元）	种	批次	种	批次
2000	513	1305.3	11	30	2	4
2001	950	3297.7	21	79	2	8
2002	1713	7080.5	40	121	6	19
2003	2586	8567.0	48	347	7	57
2004	1741	8109.0	62	403	7	31
2005	4382	24418.1	126	1212	5	40
合计	11885	52777.6	308	2192	29	159

【认证认可】

1999 年始，太仓检验检疫局建立运行质量管理体系，2000 年 9 月，通过中国质量认证中心现场审核并获证，成为太仓第一家通过 ISO 9000 质量管理体系认证

的行政机关。2001 年 4 月 30 日,设立中国质量认证中心(简称 CQC)——江苏评审中心太仓办事处,主要负责国际认证工作及相关宣传联络活动,协助省中心实施审核和培训工作。2003 年 4 月 18 日,举办 50 家获证企业颁证大会。2005 年 8 月分别与港区、新区管委会签订 ISO 14000 认证合同。11 月 7 日,国家质检总局为苏州大仓高级时装有限公司颁发“出口服装免验证书”。至年末,CQC 太仓办事处颁发 ISO 9000、ISO 14000、OHS 18000 等 CQC 证书 151 张。

专　记

接轨上海

2002 年 1 月 26 日,市政府举办“发挥沿江沿沪优势,加快太仓发展”研讨会。邀请省政府研究室、省计委、省宏观经济研究所、苏州市委、苏州市政府研究室和上海市计委、上海经济研究所等领导和专家 40 多人,围绕太仓的功能定位、发展战略、发展规划、港口开发和接轨上海等内容进行探讨。提出“抓住上海申博、实施黄浦江两岸综合开发机遇,加快接轨上海”的课题。同年 8 月 20 日,市政府在上海浦东紫金山大酒店举办“太仓接轨上海经济合作推介会”。主题是:让上海了解太仓、让太仓融入上海、构筑沪太合作交流平台。推介会上签约合作项目 24 个,投资总额 10.8 亿元。

2004 年 3 月 30 日,接轨上海、服务上海大型推介会在上海汤臣大酒店举办,沪上 360 多名中外客商参加。当场签约项目 16 个,投资总额 48.42 亿元。单体项目全部超 1 亿元,平均每个项目投资规模超 3 亿元。其中制造业项目 10 个,有 8 个落户太仓港区和新区;产业综合开发项目 3 个;专业物流项目 2 个;基础设施建设项目 1 个。在 3 月“接轨上海活动月”中,共签约 38 个项目,投资总额 55.36 亿元。同年 8 月 18 日,太仓市举办接轨上海暨项目签约活动。10 月 31 日,“2004 太仓—上海引人引智交流会”在上海人才市场举办。太仓市科技创业园、中化国际太仓兴国实业有限公司、太仓港环保发电有限公司等 80 家企业组队参会。吸引 3000 多人到场交流。上海《解放日报》《文汇报》《新民晚报》等媒体纷纷予以报道。初步达成意向的有近 1000 人。并有部分企业开展项目研发、技术合作、员工培训、合资发展等合作项目洽谈。11 月,江苏省委常委、苏州市委书记王荣和市长

阎立到太仓考察，对太仓提出“加快发展，迅速崛起”“做接轨上海的排头兵、苏州发展的生力军”要求。全年全市引进上海项目46个，投资总额40.59亿元。年末，实际到账资金66.22亿元。

同期，太仓市聘请上海福卡经济预测研究所、上海海事大学等单位对太仓发展重点作专题研究，先后完成沿江开发、接轨上海、现代物流业等专题研究。聘请同济大学编制沿沪总体规划，把沿沪的新区、城厢、陆渡、浏河“一区三镇”，面积172平方千米，规划为三产和高新技术产业带。按照打造上海后花园要求，兴建“南郊新城”，将其发展为休闲度假及教育基地；按照打造上海农副产品基地要求，完成1333.33公顷的现代农业园区规划。在城市交通等基础设施建设合作上，把市政府以南地块以4.29亿元出让给上海交通大学南洋房地产开发公司进行开发建设；新区以东地块出让给上海华源集团下属公司，开发建设高档住宅小区。完成沿江高速公路、太仓口岸实施大通关建设，开工建设沪宁高速公路延伸段。加快争取与上海相连的沿江铁路申报，与嘉定工业区道路对接。

2002～2004年，引进上海的111个项目全部开工建设，投资总额78.88亿元，注册资金9.79亿元。项目涉及多个领域，一、二、三次产业均呈上升趋势。其中中联地毯有限公司、江苏申久化纤有限公司（一期）等项目投产。投资额超1亿元项目11个，总投资额37亿元。在做好引进项目同时，寻求与上海优势产业配套协作。太仓依纳轴承（中国）有限公司、太仓阿尔派电子有限公司等汽配企业与上海安亭汽车城产业全部配套，绿色、无公害农副产品进入上海农贸市场及超市，为上海到太仓投资者抓紧建设高档住宅小区和休闲中心。

2005年，全市农业利用沿沪优势，实施“引进来”“走出去”的农业招商策略，新增农业三资项目33个，引进资金7.3亿元。累计三资投入农业项目308个，投资总额超30亿元，年出口创汇超7000万美元。年内，与同济大学合作开展“太仓接轨上海的战略和策略”软课题研究。完成了与华东师范大学合作的“太仓—浦东江海湖产业走廊经济发展研究”课题。由同济大学规划研究院编制“沿沪发展规划和近期建设规划”，其中“沿沪发展规划”完成编制并通过专家评审。“城市近期建设规划”正在编制中。在“沿沪发展规划”中，对市域苏昆太高速公路以南、东西市域范围内200平方千米的沿沪地域（涉及浏河、陆渡、城厢、双凤4个镇）在产业布局、功能定位、交通组织等方面作统盘筹划，明确沿沪地带着重与上海产业配套与功能衔接的功能分布与产业定位。在城市景观、交通体系、生态保护、人居环

境、旅游发展等方面与上海地区无缝对接,全面接轨。同年3月,太仓市在上海浦东国际会议中心召开“沪太产学研合作推介会”,太仓就37项企业技术难题与上海5所高校签订产学研全面合作协议,并与中科院上海分院、上海科技交流中心签订全面科技战略合作协议。3月5日,市委、市政府召开接轨上海工作专题会议。会议提出“发挥优势、面向未来,全方位、深层次、宽领域接轨上海”新要求。重点推进理念、功能、人才、科技4个接轨。3月30日,太仓在上海国际会议中心举办“接轨上海、服务上海商务推介会”。推介会分港区、新区、乡镇、产学研4个专场,200多名中外客商参加。推介会期间,有15个产业项目和7个产学研合作协议当场签约,总投资额51.23亿元。在签约项目中,1亿元以上项目9个,投资额46.88亿元,占全部项目投资额的91.51%。其中有上海福人木业公司总投资30亿元的木材深加工项目,上海耀华玻璃有限公司投资2亿元的玻璃深加工项目,美国奥迪玛有限公司投资4000万美元的皇后纺织城项目。4月7日,江苏省委书记李源潮到太仓调研,对太仓提出“以工兴港、以港强市,接轨上海、服务苏南”的发展路径和要求,市委、市政府把接轨上海作为加快全市经济社会发展的战略举措,全面构筑沪太经济合作交流平台。9～10月,开展引智、招商、交流等接轨上海系列活动。举办接轨上海智力人才引进、院校科研成果推介洽谈会。组织全市100多家规模民营企业与中科院上海分院、复旦大学、上海交大、同济大学进行洽谈交流,达成50余项成果引进协议。为全市民营企业提供近70个高层次人才岗位需求,咨询解决企业技术难题40余项。先后举办温州在沪企业家商务推介会、太仓服务业投资说明会,推出新港城、南郊新城、道口经济规划及乡镇服务业招商等项目,达成一批投资意向。在上海举办金秋联谊会,邀请世界500强驻沪机构代表及国内外大企业进行联谊活动,举办沪太民营企业交流活动等。全年引进上海项目54个,项目总投资额5.14亿元。其中投资额超1000万元以上项目12个。新增注册资金3.3亿元,实际到账资金42.3亿元(含上年度结转项目的到账资金)。其中工业项目34个,投资额3.59亿元;三产项目20个,投资额1.55亿元。

农　业

卷 九　NONG YE

1986 年，境内耕作制度沿袭传统的稻麦、棉麦两熟制和稻棉水旱轮作制。1994 年起，调整农业产业结构，压缩粮食作物种植面积，逐年增加蔬菜种植面积。全市推广抛秧稻为主的轻型栽培，并开始发展机插秧。1998 年，全市农业机械总动力 30.44 万千瓦，机械化水平 73%。同期，全市启动农业产业化工作，扶持农业产业化龙头企业。2005 年，全市小麦种植面积 10634 公顷，总产 47739 吨；水稻种植面积 17086 公顷，总产 130445 吨；棉花种植面积 760 公顷，总产皮棉 776 吨；油菜种植面积 4326 公顷，总产 9138 吨；蔬菜种植面积 16466 公顷，大蒜种植面积 609.5 公顷。全市水产品产量 35879 吨，长江捕捞量约 200 吨，内河捕捞量约 3000 吨。有农业龙头企业 20 家，太仓市现代农业开发园区等休闲观光农业区逐渐形成。境内较有名的农畜产品有太仓白蒜、新毛香籽芋、太仓牛踏扁毛豆、梅山猪、长江中华绒螯蟹、太仓（广东）温氏家禽有限公司产的肉鸡、金星獭兔等。海洋捕捞、长江捕捞、内河捕捞较具特色。2002 ～ 2005 年年末，苏州海发渔业有限公司累计海上捕捞 42878.5 吨，产值 1.48 亿元。

一、种植业

耕作制度

1986 ～ 1993 年，境内耕作制度沿袭传统模式，实行稻麦（油菜、大蒜）、棉麦（大蒜）两熟制和稻棉水旱轮作制，东部地区部分农户在棉麦间作田里套夹种经济作物，发展多熟制，实行夏秋两季土壤耕翻制度；西部地区部分农户种植套播麦和板田油菜，实行免耕作业。1994 ～ 1999 年，调整作物布局，推广轻型栽培技术，耕作制度发生变化，棉花面积逐年减少，蔬菜面积逐年增加，两熟制面积减少，多熟制面积增加；板田麦、板田油菜逐年扩大，秋季土壤免耕面积随之扩大；稻棉水旱轮作制变为稻棉、稻蔬菜并存的水旱轮作制。2000 年始，轻型栽培技术在全市推广。至 2005 年，棉花、大蒜作物被蔬菜作物代替，棉花、麦（油菜、大蒜）两熟制消失，稻、蔬菜或麦、蔬菜的多熟制面积增加；免耕麦、免耕油菜全面推广，土壤实行一年一季耕翻制。

作物种植

【水　稻】

品　种　主要有晚粳、中粳、糯稻、杂交粳稻4个类型。

晚　粳　80年代中期,晚熟品种苏粳2号因种性退化被逐步淘汰。1987年推广高产品种秀水04,搭配种植早单八。1992年,秀水122取代秀水04,次年武育粳2号、早单八取代秀水122,其中武育粳2号种植面积占水稻总面积44%。1994年引进武育粳5号,农艺性状较好,产量较高,逐步成为主栽品种,1997年种植面积占水稻总面积的83.9%。同年引进武运粳7号,种植55.2公顷,至90年代末种植比例占69.65%,武育粳5号由当家品种变为搭配品种。1999年引进武香粳14,米质优于武运粳7号,该品种适宜种直播稻,有利于推广轻型栽培技术,省工省本,产量较高。2000年种植优质米苏香粳1号2240公顷,因产量不够理想,仅作搭配品种。2003年引进江苏省晚粳品种中唯一达国标一级的品种华粳3号,米质比苏香粳1号佳,但由于千粒重低,亩产不高,种植面积少。2004年引进武粳15,取代武香粳14,成为2005年水稻当家品种。

中　粳　种植中粳稻主要为种植大蒜提供较为适宜的茬口。80年代中后期至90年代中期,中粳品种有盐粳2号、武育粳3号,至2005年,先后引进了盐粳187,黄金晴,扬粳186、93-38,广陵香粳等品种。

糯　稻　80年代中后期以紫金糯为主。1989年由太湖糯取代紫金糯,成为当家品种。鸭血糯、苏御糯、上农香糯、香血糯等特种糯稻也有少量种植。至2005年,全市特种糯稻已很少种植。

杂交粳稻　1992年始,试种寒优1027、寒优湘晴、泗优422、闵优128、申优1号、86优8号、常优1号、甬优8号。受栽培技术和种植习惯的制约,优质高产的杂交粳稻未能推开。2004年,市种子站以常优1号组合,运用超高产栽培技术,在浏河镇生产基地示范试种4.3公顷,亩产726.5千克,创造了当时全省杂交粳稻高产纪录。2005年,在浏河镇示范试种10公顷,亩产813千克。

栽培技术　1986～1993年,全县为常规单季稻生产,主要栽培方式为水育大秧移栽。1994年,推广以抛秧稻为主的轻型栽培。同期,浮桥镇日新村开始发展机插秧,至90年代末,全村实现100%小苗机插秧。1998年,试种直播稻,主要采

取人工撒播。2001 年，抛秧栽培面积 3333.3 公顷，占当年水稻面积的 17%。之后，抛秧、机插秧面积迅速下降，逐步被直播稻取代，至 2004 年，直播稻面积达 80%，仅在北部沿江地区与东部的蔬菜种植区有少量的移栽稻种植。根本上改变农民种田“面朝黄土背朝天、弯腰曲背几千年”的传统水稻种植方式。2005 年，直播水稻平均亩产为 575 千克。

90 年代中后期，全市推行水稻机插秧

面积产量　1986 年，全县水稻种植面积 25153.33 公顷，总产 186082 吨。1998 年开始，随着农业产业结构的调整，全市水稻种植面积下降。1999 年种植面积 22486.67 公顷，2003 年降至 16850 公顷。2005 年，全市水稻种植面积 17086 公顷，总产 130445 吨。

【三　麦】

品　种

小　麦　80 年代中期以早熟品种“扬麦 3 号”当家，“扬麦 4 号”搭配。1990 年，试种扬麦 5 号，品种质量好，产量高而稳，种植面积逐年扩大，至 1997 年，每年播种面积超过 90%。90 年代末至 2004 年，扬麦 158、扬麦 9 号种植比例平均各占 25% ～ 30%，苏麦 6 号、宁麦 8 号平均各约占 10%。2005 年，扬麦 12 号种植面积占各品种首位，比例为 35%，其次为扬麦 158、扬麦 9 号、扬麦 5 号、加麦等共占 65%。

元麦、大麦　种植元麦、大麦主要为单季晚稻育秧作茬口，元麦品种主要有海麦 1 号、浙 114，大麦品种有早熟 3 号、经大 1 号等。1986 年元麦、大麦面积为 4693.33 公顷。之后随直播稻增加，元麦、大麦面积逐年下降，1990 年降至 2720 公顷，1995 年为 720 公顷，1999 年后被淘汰。

栽培技术　1986 ～ 1993 年，全县三麦种植由耕翻麦向浅旋灭茬麦转变，三麦亩产为 200.3 ～ 281.3 千克。1994 年，套播麦迅速发展，至 1998 年，全市以套播

麦种植为主,亩产为185.6～309.4千克。2003年后,由于水稻收割基本实现机械化收割,小麦的播种方式回到浅旋灭茬方式。

面积产量　1986年,全县三麦种植面积21540公顷,总产85116吨。1994年,三麦种植因用工大、经济效益不高,种植面积降至17920公顷。2005年,全市种植面积10634公顷,总产47739吨。

【棉　花】

品　种　1987年起,岱字棉15号逐步被淘汰,抗菌棉86-1逐步成为当家品种,泗棉2号为搭配品种,9101、7921有一定种植面积。1990年引进苏棉3号,1991年种植面积占棉田总面积54.9%。1992年始,县棉花原种场相继育成优质高产抗菌棉苏棉4号、苏棉8号、苏棉12号、苏棉16号4个品种。1993年,88-93(后定为苏棉8号)为当家品种,种植面积占棉田总面积97.36%。1996年,093(后定为苏棉12号)取代苏棉8号,之后苏棉16号逐渐取代苏棉12号。至2005年,全市760公顷棉田所种品种均为苏棉16号。

栽培技术　1986年棉麦间作,小环棚育苗移栽。90年代后,棉花呈现零散种植。至2005年,技术无变化。

面积产量　1986年种植面积9766.67公顷,总产8936吨。此后,由于棉花生产用工大,机械化程度低,种植面积逐年减少,1993年,种植面积6513.33公顷。2005年,种植面积760公顷,总产为776吨。

【油　菜】

品　种　主要品种有宁油7号、中油821、汇油50、苏油1号、史力丰等。宁油7号有春发好、抗病强、含油率高等优点,为1986～1992年主栽品种,中油821作搭配品种。优质低芥低硫品种430、苏128、178、荣选2号等,因产量低,抗逆性差,引进后未能推开。1990年,从太湖地区农科所引进2-26,1993年栽种面积94.16%,取代宁油7号,之后因植株偏高,熟期偏迟,病害逐趋加重而被外观形状好、粒籽饱满、千粒重高(4克以上)、产量稳定的汇油50所替代。2000年后被优质油菜苏油1号接替,史力丰为搭配品种。2004～2005年,引进的华油2790、沪优16进入试验示范阶段。

栽培技术　1986年,油菜采用移栽种植。1999年,棉茬油菜减少,逐以稻板

茬移栽为主，开始试验直播油菜。2000 年始，推行套直播技术。水稻机械化收割发展以后，由于机械化生产影响到油菜套直播栽培，套直播栽培逐渐减少，至 2005 年，油菜种植面积 4617 公顷，套直播油菜仅 266.66 公顷。

面积产量　1986 年，全县油菜种植面积 6640 公顷，总产 12687 吨。1992 年种植面积 8533.33 公顷，总产 19334 吨，种植面积和总产均为 20 年最高。2005 年种植面积 4326 公顷，总产为 9138 吨。

【大　蒜】

太仓白蒜　为太仓本地自选，由新塘、陆渡乡农科站技术人员从农家品种中进行系统选育多年纯化繁殖而成，1986 年经县评审小组审定定名。其叶色深绿、叶片宽而厚、假茎粗壮、蒜苔鲜嫩、蒜头大而圆整、外皮洁白，每头 8 ～ 10 瓣，单头干重约 25 克，口感香辣脆嫩，以其“香、辣、糯”特色闻名于国内外，是太仓出口蒜头的主栽品种，全国“四大名蒜”之一。本地稻蒜轮作，稻茬开条点播。种蒜头外销日本，商品蒜销售韩国、印度尼西亚、多米尼加等国。1986 年，大蒜种植面积 3380 公顷。1993 年 3820 公顷，是历史上太仓白蒜种植面积最多的一年。1986 ～ 1999 年，出口日本种蒜累计 6439.4 吨，其中 1993 年出口 885.8 吨。由于生产过程用工多，效益低，大蒜种植面积逐年减少，2000 年出口种蒜降为 165 吨。2005 年种植 400 公顷，出口种蒜 700 吨。

其他蒜类　1985 年陆渡乡农科站从江苏省农科院蔬菜研究所引进成都二水早，该品种抽苔早，苔量高。1987 年县种子公司从甘肃成县引进成县早蒜，抽苔期比成都二水早更早，春发旺、蒜苔粗壮。二水早、成县早蒜在南郊、新毛、板桥、陆渡、岳王、城厢、双凤等地均有种植，2000 年种植面积 301 公顷，产蒜苔 1900 吨，为周边大中城市提早供应鲜蒜苔，售价较高，每千克平均价 2 元，比晚蒜苔每千克高 0.3 元。2005 年种植 200 多公顷，产蒜苔 1369 吨。

【蔬　菜】

品　种　1986 年随着“菜篮子工程”兴起，蔬菜生产快速发展，品种越来越多。至 2005 年，先后从国内外引进一大批蔬菜新品种，运用种子低温处理、北种南引、反季节栽培等措施，丰富市场供应。

黄　瓜　有津春 2 号、4 号，津研 4 号、5 号、7 号，津优 1 号，鲁研 4 号，新 4

号,8113 等。

冬　瓜　有上海青皮冬瓜、广东黑皮冬瓜等。

丝　瓜　有香蕉丝瓜、长丝瓜、蛇瓜、上海香丝瓜等。

苦　瓜　有青丰苦瓜、长白苦瓜、华绿玉等。

菜　瓜　有青龙菜瓜、花皮菜瓜、本地毛瓜等。

南　瓜　有赤锦、锦栗、东升等。

豌　豆　有甜豌豆、荷仁豆和从南通引进的豆苗专用豌豆等。

蚕　豆　有新毛毛板青蚕豆、日本大蚕豆等。

刀　豆　有 81 － 6、美国供给者、法国地刀、绿丰王等。

豇　豆　有早生王、洛豇 99、泰国豆角王、华宝 2 号等。

扁　豆　有青、紫两种扁豆和早熟扁豆等。

西红柿　有美国 906,霞粉、苏粉 2 号,豇粉 4 号,洋杂 1 号、2 号,金棚 1 号,东圣 1 号,圣女小西红柿等。

茄　子　有长丰 1 号、10 号,苏崎茄、上海条茄、艳丽长茄、绿洲圆茄等。

辣　椒　有苏椒 2 号、3 号、4 号、5 号、6 号,上海加配 5 号,湘研 3 号、11 号、12 号,中椒 7 号,硕丰 9 号,天鹰 2 号,椒霸之星,微辣羊角尖椒等。

青　菜　有上海矮抗青、苏州青、黑塌菜、抗热 60、华王、上海鸡毛菜、黄叶香青菜等。

大白菜　有城阳青、丰抗、87114、夏阳 50、菊锦、阳春、贵龙 5 号、青杂 3 号等。

甘　蓝　有春丰、京丰、中甘 11、夏光、牛心菜等。

花　菜　有龙峰、文兴、白马王子、绿洲西兰、一代金光等。

生　菜　有意大利耐抽苔生菜等。

菜　苔　有红梗菜心、青梗菜心、港种四九菜心等。

芹　菜　有青梗芹、黄心芹、玻璃脆芹、美国西洋芹、天津四季西芹等。

雪里蕻　有鸡爪雪菜等。

苋　菜　有大叶青苋、大园叶全红、一点红等。

菠　菜　有山东尖叶、内蒙圆叶、宁夏圆叶、日本全能等。

蕹　菜　有柳叶空心菜、江西大叶空心菜、纯白梗大叶空心菜等。

苜　蓿　有大叶金花菜、小叶草头等。

茼　蒿　有圆叶茼蒿、鸡爪叶茼蒿等。

2005 年蔬菜规模化种植

莴　苣　有尖叶青莴苣、丹阳莴苣、四川大白尖叶、四川二白皮、四川水桂丝等。

芫　荽　有严选 147 芫荽、江西大粒香菜等。

韭　菜　有 791 号，平韭 2 号、4 号、5 号，顶丰 1 号、5 号等。

香　葱　有白米葱、铁梗香葱、上海香葱、杭州雪葱等。

马铃薯　有克新 1 号、4 号等。

萝　卜　有日本天春大根、浙长大、白玉春、短叶 13、筒子萝卜、满身红、大红丰、满堂红、灯泡萝卜等。

胡萝卜　有菊阳 5 寸人参、新克田 5 寸人参等。

芋　艿　有水芋、旱芋、龙头芋等。

其他蔬菜　有山药、落葵、茭白、洋葱、荸荠、茨菇、西葫芦、佛手瓜、生姜等，为少量零星种植。

栽培技术　1986 年，蔬菜种植以露地生产为主，种植传统品种，有竹大棚 3 公顷。90 年代后期，全市蔬菜种植技术快速发展，设施面积逐年增加，至 2005 年，钢架大棚蔬菜面积 217 公顷，主要以西部地区种植的西红柿、丝瓜、韭黄为主。

面积产量　1986 年，全县蔬菜种植面积 1520 公顷。90 年代后期，种植面积增长迅速，1999 年种植面积 10693.33 公顷。2005 年种植面积 16466 公顷，其中茄类 1720 公顷、豆类 4100 公顷、瓜类 2113.3 公顷、叶菜 3446.7 公顷、葱蒜类 1346.7 公顷、根茎类 1693.3 公顷，其他 2046 公顷。蔬菜总量超过 30 万吨。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）主要农作物面积产量统计表

表 121

年份	三麦			水稻			棉花			油菜籽			蔬菜	大蒜		
	面积（公顷）	亩产（千克）	总产（吨）	面积（公顷）	亩产（千克）	总产（吨）	面积（公顷）	亩产皮棉（千克）	总产皮棉（吨）	面积（公顷）	亩产（千克）	总产（吨）	面积（公顷）	面积（公顷）	亩产（千克）	总产（吨）
1986	21540.00	263.44	85116	25153.33	493.19	186082	9766.67	61.00	8936	6640.00	127.38	12687	1520.00	3380.00	495.19	25106
1987	21173.33	200.33	63624	24993.33	488.85	183270	9066.67	55.64	7567	6966.67	123.01	12855	2053.33	3733.33	497.33	27851
1988	21246.67	250.69	79895	24820.00	493.00	183545	9033.33	68.02	9217	7120.00	146.09	15602	2066.67	3193.33	518.62	24842
1989	20586.67	201.93	62355	26473.33	483.36	191943	7040.00	66.24	6995	7533.33	110.49	12485	2660.00	3246.67	461.68	22484
1990	20713.33	255.04	79242	25853.33	509.26	197491	7813.33	77.67	9103	7840.00	138.52	16290	2846.67	3060.00	519.89	23863
1991	20600.00	221.90	68566	25566.67	545.73	209289	7746.67	105.93	12309	7893.33	147.09	17415	2246.67	2780.00	465.08	19394
1992	19126.67	281.33	80713	25253.33	555.02	210240	7440.00	95.50	10658	8533.33	151.05	19334	2340.00	2866.67	495.56	21309
1993	18520.00	279.62	77679	25253.33	539.02	204180	6513.33	64.21	6273	6160.00	120.96	11177	3560.00	3820.00	448.50	25699
1994	17920.00	270.19	72626	24400.00	550.00	201300	6153.33	94.96	8765	6426.67	101.99	9832	4326.67	3233.33	463.94	22501
1995	17866.67	285.62	76547	24693.33	567.98	210379	6233.33	102.03	9540	6646.67	151.50	15105	3880.00	2580.00	511.50	19795
1996	17806.67	309.45	82653	24486.67	573.59	210680	5953.33	107.03	9558	6573.33	154.21	15205	4133.33	2646.67	514.38	20421
1997	18706.67	301.37	84565	24213.33	560.52	203580	4593.33	84.18	5800	4646.67	139.25	9706	5093.33	2940.00	512.04	22581
1998	17613.33	185.64	49046	23166.67	602.74	209451	4233.33	79.98	5079	4066.67	69.38	4232	4660.00	3560.00	461.61	24650
1999	15860.00	276.73	65835	22486.67	574.87	193905	2380.00	51.74	1847	3986.67	146.57	8765	10693.33	2966.70	—	—
2000	13220.00	268.52	53248	21080.00	570.72	180462	1413.33	63.21	1340	5366.67	140.50	11310	13146.67	1460.00	—	—
2001	9973.33	215.75	32276	19646.67	587.88	173247	1473.33	75.16	1661	5900.00	123.06	10891	12653.33	1204.60	—	—
2002	10866.67	209.32	34119	19000.00	589.16	167912	1066.67	77.38	1238	5733.33	100.19	8616	13533.33	1142.00	—	—
2003	10102.00	208.03	31523	16850.00	569.10	143840	951.00	75.01	1070	4686.00	88.31	6207	17630.00	802.30	—	—
2004	9937.00	280.33	41785	17000.00	589.54	150333	907.00	81.44	1108	4426.00	146.21	9707	16781.00	647.60	—	—
2005	10634.00	299.29	47739	17086.00	508.97	130445	760.00	68.07	776	4326.00	140.82	9138	16466.00	609.50	—	—

注：表中三麦一栏2001年起均指小麦

【食用菌】

蘑　菇　为双季栽培，每年 8 月初备料，9 月初下种，10 月初覆土调水，10 月中旬出菇采收，至 12 月末结束；次年 3 月中旬再生菇采收，至 6 月上旬结束。主要原料为猪、牛粪及稻麦草。70 年代至 80 年代初栽培面积扩大，成为重要的出口商品之一。1983 年后栽培面积逐步下降，1986 年种植面积为 15 万平方米，秋菇收购量 760 吨。同年，推广省工节本的尼龙薄膜简易棚和河泥砻糠覆土新技术，次年蘑菇生产开始回升。1989 年，全县种植 53.06 万平方米，全年收购量 2205 吨。1990 年，因外销渠道受阻，经济效益不高，种植面积降至 31.66 万平方米，全年仅收购 940 吨。1993 年降至 1 万多平方米。2005 年，仅有少量农户种植，上集市销售，数量无从统计。

香　菇　生产季节与蘑菇基本相同，开始为瓶装生产，后改为菌棒生产，11 月中旬开始出菇，至次年 5 月底结束。主要原料有树屑、糠麸、食糖、石膏。1986 年后种植面积较少，90 年代有外来人员到境内种植，购进菌棒在塑料薄膜棚内生产，产品由种植户自行上市销售或由商贩运销，数量无从统计。2005 年，仍有少量种植。

平　菇　平菇为双季栽培，主要原料为棉籽壳。室内栽培，春季 3 月下种，半月后出菇，至 5 月底结束；秋季 10 月下种，至 12 月末结束。室外栽培，用塑料薄膜覆盖，10 月份开始下种，陆续出菇采收，至次年 4 ～ 5 月结束。种植数量不多。1990 年，全县种植 1 万多平方米。2005 年，仍有少量种植，由种植户自行上市销售，数量无从统计。

【杂　粮】

主要有玉米、甘薯、大豆及小杂粮。其他小杂粮有赤豆、绿豆、赤小豆（扎录）等，仅为少量种植。

玉　米　太仓当地农家品种糯玉米，粒色有黄、白、紫和紫白相间几个类型，糯性足，适口性好，但果型小，产量低，种植面积少而分布广，境内各地均有零星种植。80 年代中后期，先后引进堪培拉 86、金甜 3 号等。糯玉米品种有糯 96，中糯 1 号，苏玉糯 1 号、2 号，渝糯，江南花糯等鲜食甜玉米品种。此外，还引进掖单 4 号、13 号，苏玉 9 号，西玉 3 号，农大 3138 等饲用玉米品种，养殖专业户种植后自行加工为复配饲料。

甘　薯（山芋）老品种胜利百号、栗子山芋、南京 9 号等为零星隙地种植。

2002年,太仓市种子公司引进苏薯8号、干香迷你薯、食20、日本川山紫、夏引1号、品系07等6个品种。其中苏薯8号特点是叶柄短、叶脉紫色、分枝多、茎蔓短、半直立,薯形呈短纺锤形,薯皮紫红、肉橘红,纤维少、肉质细腻、口感粘软,是高产优质早熟商品性好的品种。

【大　豆】

80年代,早熟品种有烂面孔豆及甘豆84、8157等。90年代后期,被相继引进的961,美国矮脚豆,大粒王2号、4号,951,日本枝豆,辽鲜1号,早春白鸟,台湾292等熟期早、品质优的毛豆品种所取代;中熟品种有上海黄、台湾75等;晚熟品种有大水白、牛踏扁、大青豆、落霜青等。鲜食大豆从6月上旬至10月上旬能均衡上市。

【西　瓜】

80年代中后期,引进苏密1号、新澄1号、新红宝、金钟冠龙、伊选、早佳。90年代,引进85－26、京欣1号、郑杂、丰抗、早春红玉、特小凤、万福来、拿比特、春光等。其中早佳、京欣1号均从新疆吐鲁番葡萄瓜果研究中心引进,系优质早熟和早中熟品种,至2005年,一直为主栽品种。

【甜　瓜】

1986～2005年,先后种植的品种有伊丽沙白、西薄洛托、日本甜宝、新青玉、青皮绿玉等。

种　子

【良种繁育基地】

1986年,全县有乡(镇)种子场44个、繁种面积250.4公顷,村农业服务站站办种子场25个、面积72.3公顷,种子特约户1000余户。同年,县棉花原种场有繁种面积14.4公顷,负责稻、麦原良种生产,棉花制种、繁种和提纯,原良种销售;县农业科学研究所有繁种面积5.1公顷。1992年起,县棉花原种场先后育成苏棉4号、苏棉8号、苏棉12号、苏棉16号4个高产优质抗菌棉。1995年,全市有乡、镇站办农场10家、面积120公顷,生产稻、麦良种1400吨。至1998年,市农业

科学研究所生产水稻原良种 187.5 吨、小麦原良种 112.5 吨、油菜原良种 10 吨。1999 年后，该所不再繁育良种。2000 年后，各站办种子场逐步停办，土地归还农户使用。至 2004 年，市棉花原种场生产水稻原良种 1489.6 吨，小麦原良种 742.2 吨，棉花原良种 124.4 吨；同年 8 月起，棉花良种繁育、提纯、示范推广及良种销售等改由太仓市棉花育种中心负责。

【良种繁育】

良种繁育分为引种试种、繁育推广、提纯复壮 3 个步骤。

引种试种　引进的良种先在市（县）、镇（乡）两级基地进行品种比试，然后逐步扩至村级，通过多年多点反复试验、示范后评选出适合境内种植的当家品种、搭配品种、接班品种。1986 ～ 2005 年共组织品比试验品种 418 个，其中水稻品种 176 个、小麦 140 个、棉花 64 个、油菜 38 个。

繁育推广　自花授粉的稻、麦品种采用“大群体、小循环”，异花授粉的棉花、油菜运用自交混繁的技术路线，生产基础种子。由市（县）场、所繁殖原种，镇（乡）、村良种基地负责繁殖原种一代、二代。1990 年，实行县供原种，乡镇供良种，粮食种子以粮换种，棉花种子以币买种，每年更新 1/3，3 年全面更新。1993 ～ 2001 年，市、镇（乡）村良种基地繁种面积累计 1.06 万公顷，产种 30897 吨。2004 年，全面实行水稻良种补贴政策，每亩水稻补贴 10 元，直接发放给种粮农户。2005 年，改为直接补贴水稻种子，种源由政府采购，种子站负责实施，全市 8.1 万户农户，发放水稻良种 1271 吨。

提纯复壮　通过提纯防杂，使原种、良种代代相传，延长使用寿命。1988 年，县、乡两级主要作物三圃面积 40 公顷，其中株系圃 2.8 公顷，株行圃 0.8 公顷，原种圃 36.4 公顷，生产稻、麦、棉原种 212.45 吨。2000 年后，稻、麦良种的提纯防杂被逐渐忽视，只有棉花原种场和浮桥镇农业技术推广站合作对苏棉 12 号、苏棉 16 号继续进行提纯。2005 年，三圃面积共计 109.53 公顷，其中株系圃 9.3 公顷、产种 7.5 吨，株行圃 0.23 公顷、产种 0.13 吨，原种圃 100 公顷、产种 100 吨。

【种子经营】

1986 年，县种子公司为种子经营主渠道，依托乡镇农技站经营良种供应。全年调剂、经营县内外原良种小麦 11.8 吨、水稻 50.6 吨、棉花 10.1 吨、油菜 35.7

吨、太仓白蒜297.1吨。1989年,增加蔬菜种子供应。90年代起,随着农业产业结构的调整,良种供应不断发生变化。1994年,油菜良种供应5.2吨,比上年减少19.8吨。1996年,棉花良种供应189吨,比上年减少385吨。2004年以后,油菜、棉花良种均不再供应。2005年,全市有良种供应点205个,其中村级供种点198个,镇级供种点7个。

1986～2005年太仓市(县)种子经营情况表

表122　　单位:吨

年份	小麦	水稻	油菜	棉花	蔬菜	毛板青蚕豆	太仓白蒜
1986	11.8	50.6	35.7	10.1	—	10.2	297.1
1987	128.9	18.6	17.2	11.2	—	10.0	296.3
1988	344.6	80.7	28.6	45.0	—	12.0	536.6
1989	326.5	251.5	11.9	44.9	0.7	8.0	587.1
1990	419.0	463.3	12.9	33.5	0.3	14.0	397.6
1991	570.8	353.2	7.9	19.9	26.5	8.0	836.0
1992	560.5	640.0	25.4	273.0	0.2	8.0	868.7
1993	24.5	40.3	25.0	290.0	—	11.5	885.8
1994	68.0	354.3	5.2	227.0	—	14.9	669.4
1995	447.6	446.5	16.2	574.0	3.5	13.5	281.3
1996	2584.8	86.5	13.9	189.0	3.0	—	235.4
1997	1331.9	1617.5	11.7	154.0	0.2	—	196.4
1998	175.7	443.6	6.1	146.0	0.1	13.7	186.1
1999	435.6	166.1	13.8	51.3	2.0	15.4	165.6
2000	169.9	320.8	21.1	59.9	6.3	—	—
2001	28.9	97.8	11.8	26.6	41.3	—	—
2002	62.5	106.5	21.8	1.5	32.4	—	—
2003	12.8	38.6	9.9	1.0	26.6	—	—
2004	18.9	48.6	3.0	0.2	4.7	—	—
2005	11.9	1270.9	9.8	—	—	—	—
合计	7735.1	6895.9	308.9	2158.1	147.8	139.2	6439.4

植物保护

【病虫害】

水稻病虫害　病害主要有纹枯病、条纹叶枯病、稻瘟病、稻曲病、恶苗病5种，其中纹枯病为常发性病害，条纹叶枯病为间歇性暴发流行。虫害主要有褐飞虱、灰飞虱、纵卷叶螟、大螟、二化螟、三化螟、稻象甲、稻蓟马等，其中以褐飞虱、纵卷叶螟、三化螟危害最重。

纹枯病　1986～2005年，属大发生的有3年，分别为1987年、1988年、1992年，中重以上发生的有10年，中等及以下发生的有7年。1992年纹枯病大发生，发病面积25446.7公顷，防治面积52760公顷（次）。

条纹叶枯病　由灰飞虱带毒传播。1986～2003年，均未发生。2004年水稻大田未防治田自然发病穴率19%，发病株率3.53%。2005年大流行，越冬代灰飞虱带毒率达8%，未防治田自然发病穴率87.3%，发病株率28.7%，防治面积77400公顷（次），经防治后发病株率为0.35%。

稻瘟病　以穗颈瘟为主，1988年中重发生，单季稻穗发病率31.9%，病情指数11.9，其余年份均为轻发生。

褐飞虱　大发生频率高。1986～2005年，属大发生的有6年，分别为1987年、1988年、1991年、1995年、2003年、2005年，其中2005年为特大发生，虫量多，峰期长，创历史最高纪录，第四代褐飞虱高峰期每公顷卵量最高达96000万粒，每穴平均2133粒，每公顷虫量11598万头，比1991年的大发生年虫量高出30倍。经防治后每公顷虫量降至574.5万头，防治效果95%。

纵卷叶螟　90年代起，随着直播水稻面积的扩大和气候逐趋变暖等因素影响，纵卷叶螟成为水稻的常发性害虫。1995～2002年平均每亩蛾量3.2万头。2003年，第四代纵卷叶螟田间累计每亩蛾量达4万余头，漏治田白叶率达52.4%。2005年纵卷叶螟特大发生，三代未防治田块水稻白叶率达73.9%，为历史罕见。

三化螟　因暖冬天气及推广小麦免耕栽培技术等因素，三化螟越冬存活率高，基数多，从1996年开始发生量逐年上升，2001年达大发生程度，全市平均自然白穗率19.3%，经防治后平均白穗率降至1.73%。特别是沿江地区的浏河、浮桥等镇发生更为严重，浮桥镇平均白穗率10.05%，浮南村5组一农户水稻破口药未用的

田块,白穗率达 70%。

小麦病虫害 病害主要有赤霉病、白粉病。虫害主要有粘虫、麦蚜虫,每年均有发生,危害不大。

赤霉病 是间隙性流行的严重病害。1986 ～ 2005 年,有 3 年为大发生等级,分别是 1989 年、2002 年、2003 年,其中 1989 年自然病穗率 65.34%,病情指数 36.21,全县平均病穗率 24.66%,病情指数 10.02。2002 年、2003 年,年平均病穗率 50.6%,病情指数 23.4,发病面积 17920 公顷,防治面积 16393.3 公顷。

白粉病 1986 年起,因有机肥用量逐年减少和氮素化肥用量增加,白粉病逐年加重,其中 1989 年、1997 年为大流行年。1989 年平均病叶率 64.97%,严重度为 30.4;1997 年剑叶发病率 61.47%,严重度为 24.64。

棉花病虫害 病害主要有枯萎病。虫害主要有棉铃虫、盲蝽象、棉叶螨。

枯萎病 是国内检疫性病害。多发生在种植的岱字 15 号棉品种上。1987 年,全县 290 个植棉大队中有 276 个大队 2996 个生产队发生枯萎病,发生面积 6706 公顷,占棉田总面积的 73.96%,其中重病田 1280 公顷,严重影响棉花稳产高产。1990 年,开始相继推广由县棉花原种场育成的苏棉 4 号、苏棉 8 号高抗枯萎病品种后,该病得到控制。至 2000 年,发生面积 20 公顷,占棉田面积的 1.43%。至 2005 年,基本未发生。

棉铃虫 间歇性发生。1986 ～ 1993 年为轻发生,1994 ～ 1998 年连续 5 年大发生,其中 1996 年为特大发生,杨柳把诱蛾全年累计百把蛾量 1968 头,田间定点系统观察百株累计卵量 413 粒,发生面积 15026.7 公顷,防治面积 39546.7 公顷次。1999 ～ 2005 年均为中等以下发生,7 年平均百把蛾量 135 头,百株卵量平均 94.5 粒。

油菜病虫害 病害主要有菌核病、病毒病。虫害主要有蚜虫、潜叶蝇。

菌核病、病毒病 以菌核病危害最重。1986 ～ 2005 年大发生有 3 年,分别是 1989 年、1993 年、1994 年,其中 1989 年平均病株率为 25.88%,病情指数为 19.09。1994 年病株率为 17.78%,病情指数为 11。

蚜虫和潜叶蝇 1986 ～ 2005 年,每年都有不同程度发生,对油菜生产影响不大。

蔬菜虫害 主要有小菜蛾、菜粉蝶、蚜虫、甜菜夜蛾、斜纹夜蛾、瓜绢螟、豆野螟、叶螨、美洲斑潜蝇、烟粉虱等。

小菜蛾、菜粉蝶　主要危害十字花科蔬菜。随着蔬菜面积的不断扩大和复种指数的不断提高，导致小菜蛾、菜粉蝶的发生逐年加重。2005 年仲夏特大发生，5 月 20 日系统调查甘蓝田三代菜粉蝶百株卵量达 50800 粒，5 月底漏治田块甘蓝菜仅留叶脉，6 月底 7 月初白粉蝶满天飞舞，历史少见。

斜纹夜蛾　以危害十字花科蔬菜和三叶草坪等为主，间歇性暴发，大发生频率较少。1986 ～ 2005 年，仅在 2005 年大发生，8 月 30 日调查，甘蓝百株虫量达 1500 头。城厢镇绿化带三叶草坪，部分地段因失管漏治，成片叶片被吃光，为历史少见。

绿化苗木虫害　主要有大叶黄杨尺蠖、大叶黄杨斑蛾、小叶黄杨绢野螟等绿篱害虫；斜纹夜蛾、淡剑贪叶夜蛾、蛴螬等草坪害虫；樟巢螟、杨小舟蛾、刺蛾等食叶害虫；叶螨、蚧壳虫、烟粉虱、蝽象等其他害虫。

淡剑贪叶夜蛾　主要为害禾本科草坪，随着市镇草坪绿化面积的增加，淡剑贪叶夜蛾为害趋于加重。2004 年，第三代淡剑贪叶夜蛾大发生，至 8 月中旬未经防治的高羊茅草坪出现局部被害枯死，绿化面积严重受损。

植物检疫害虫（草）　90 年代中期，随着农产品国际、国内大流通日益频繁，国内外检疫性害虫传入数量逐渐加快。至 2005 年，先后从国外、国内其他地区传入的检疫性虫害、草害有美洲斑潜蝇、烟粉虱、加拿大一枝黄花。

美洲斑潜蝇　1995 年传入，主要危害豆类、瓜类等作物，2004 年大发生，春季荷兰豆被害叶率 70% 以上，产量损失较严重。

烟粉虱　2002 年 B 型烟粉虱传入，2004 年在城厢镇新毛区秋栽大棚西瓜内大发生，造成几十亩西瓜几乎绝收。2005 年 Q 型烟粉虱传入，B 型、Q 型烟粉虱发生范围迅速扩大，对茄科、葫芦科、十字花科蔬菜为害严重，在花卉上也有很高的虫口密度。南郊一农户大棚萝卜，烟粉虱百叶虫量 3 万头以上，造成萝卜绝收。

加拿大一枝黄花　90 年代后期传入并逐步蔓延。2004 年，全市一枝黄花发生面积 533.3 公顷，严重影响景观和农业生态环境。通过春季化除与秋季机械铲除、人工拔除相结合的综合防除措施，蔓延趋势得到遏制。

【病虫测报】

测报网络　1986 年，县建病虫测报中心站，乡（镇）农业技术推广站均配备专业植保测报员 1 ～ 2 名，每个村有 1 名技术员，形成以县站为中心，乡（镇）为骨干，

村为基础的三级网络，并在全县东、西、北3片设立6个测报点。90年代末，随着行政体制变动，测报网络有较大变化，植保员开始减少。至2005年，全市农业技术推广站植保员只有9名，村农技员主要由村主任或副主任兼任，仅有1/5的村设有技术员，市中心测报站人员由11名精简至7名，分病虫测报、植物检疫两块。测报点缩减为牌楼、老闸、双凤、陆渡4个。中心测报站对4个测报点开展业务指导，进行系统观察，掌握主要农作物及绿化林木病虫草发生动态，为指导大面积防治提供依据。

测报方法 1985年4月，县植保站被列为全国农作物病虫害测报区域中心站。之后，测报设施逐步改善，测报手段更加科学，综合运用灯诱（黑光灯、白炽灯）、性诱（雌性激素）、物诱（柳条把、稻草把）、色诱（黄板、黄盘）等方法诱捕成虫。并对主要农作物设置预测圃和定田定点进行系统观察。通过查虫、拍虫、摘卵、剥查、镜检，结合3个片提供的病虫测报信息，对照历年相关资料综合分析，及时发布主要农作物的病虫害发生动态与相应防治措施。1986～1999年，主要开展稻、麦、棉、油四大作物病虫测报。2000年后，病虫测报范围扩至蔬菜、林木和花卉。2001年9月，全国重大病虫测报网太仓区域中心站实施改造，由农牧渔业部投资40万元，改善办公设施，安装电脑等信息化处理设备，添置3台佳多自动虫情监测灯测报仪器设备。至2005年，先后对粮食、棉花、油菜、蔬菜作物及花卉、树木等40多种主要病虫害建立系统测报，对水稻褐飞虱、三化螟、二化螟、大螟、灰飞虱、稻瘟病、赤霉病等作出中期预报。对稻象甲、蚜虫、纵卷叶螟等作短期预报。

【病虫防治】

农业防治 1986～1993年，沿用稻棉轮作的办法减轻水稻纹枯病、棉花苗期立枯病、炭疽病、枯萎病等的发生。1994～2005年，随着棉田面积削减，蔬菜面积扩大，从稻棉轮作逐步转向稻菜轮作，土传病害减轻。运用开沟排水降湿、水稻搁田、平衡施肥、增加磷钾肥比重、减少后期氮化肥用量等技术措施控制稻、麦中后期病虫害的发生。推广水稻耕翻直播轻型栽培技术，推迟水稻秧田播种期，避开麦田灰飞虱成虫迁入峰期，切断灰飞虱、三化螟传播桥梁，减轻水稻大田条纹叶枯病发生和穗期螟害。推广棉花抗病品种，引进86-1、9101和自育苏棉4号、苏棉8号、苏棉12号、苏棉16号等高抗枯萎病品种，有效地控制棉花枯萎病的发生。

物理防治 1986～1990年，广泛运用黑光灯、高压杀虫灯诱杀成虫。1991年

起，逐渐减少使用，至 1999 年停止使用。2000 ～ 2005 年，示范推广频振式佳多灯诱杀趋光性害虫和信息素诱杀蔬菜害虫。在蔬菜生产上采用避虫栽培措施，逐步推广小环棚、大棚反季节栽培技术，减轻早春、晚秋蔬菜的害虫发生。

生物防治　1986 ～ 1990 年，推广人工释放金小蜂防治棉花红铃虫。1998 年起，逐步推广纹真清、博特、阿维菌素、卷清、灭幼脲、抑太保、宁虫素、稻螟特、闪击螟等类生物源农药，防治水稻稻曲病、纹枯病、螟虫、蔬菜及绿化害虫。同时保护利用天敌资源，制约害虫。

农药防治　1986 ～ 1990 年，农药防治稻、麦、棉、油主要病虫害以甲胺磷、久效磷、磷胺、1605、敌百虫、乐果、杀虫脒、三氯杀螨醇、混灭威、叶蝉散、西维因、呋南丹、杀虫双、扑虱灵、拟除虫菊酯类、多菌灵、福美双、代森锌、井岗霉素、402、丁草胺、绿麦隆、除草醚、二甲四氯等为主。1991 年起，高毒高残留农药使用逐年减少，中低毒农药使用逐年增加，主要有吡虫啉、虫杀手、油丰灵、稻病宁、纹霉清、代森锰锌、灵福合剂、双甲脒、毒死蜱、麦病宁、乙草胺、敌草胺、杀草丹、盖草能、稳杀得、麦草克等。2001 年 3 月 1 日起，全市禁止经营和使用 1605、甲胺磷、氧化乐果、呋喃丹、久效磷、三氯杀螨醇等高毒高残留农药及复配剂，全面使用中低毒、低残留农药及生物农药，主要有吡虫啉、虫杀手、三唑磷·阿维菌素、毒死蜱、锐劲特、除尽、纹真清、博特、卷清、灭幼脲、抑太保、宁虫素、稻螟特、闪击螟、直播宁、绿隆·异丙、异丙隆、丁·苄、二氯喹啉酸等。

肥　料

【有机肥】

传统有机肥主要有人便和厩肥（农户家养畜禽粪便肥）、饼肥（菜籽饼、棉仁饼、豆饼）、绿肥（黄花苜蓿、紫云英等）等。80 年代起，有机肥使用逐年减少，如厩肥，80 年代每亩施用量 850 千克，90 年代为 281.76 千克，21 世纪初期为 131.93 千克。饼肥，80 年代每亩施用量 11.4 千克，90 年代 4.97 千克，21 世纪初期 0.89 千克。绿肥，80 年代初种植 4800 公顷，1988 年以后零星种植。秸秆直接还田成为土壤有机肥主要来源。80 年代，多数农户把秸秆燃烧成灰还田。90 年代，水稻 70% 左右秸秆直接还田，每亩约 116.13 千克。21 世纪初，稻、麦 100% 实行机割留长茬和部分秸秆还田，每亩量 150 千克。

【无机肥】

境内使用的无机肥,主要有氮、磷、钾。1986 年,水稻每亩施氮(纯 N)13 千克、磷(P_2O_5)0.3 千克、钾(K_2O)0.1 千克。此后,无机肥用量逐年增加,对作物增产起到重要作用,但施用结构不合理。2005 年,水稻每亩施氮(纯 N)21.8 千克、磷(P_2O_5)3.3 千克、钾(K_2O)2.6 千克,氮、磷、钾比例为 1∶0.151∶0.119,与水稻养分需求比例 1∶0.5∶1 相比,氮肥明显过高,磷、钾肥明显不足。

1986 ～ 2005 年太仓市(县)主要农作物肥料施用情况选年统计表

表 123　　单位:千克/亩

作物名称	肥料类型	年份				
		1986	1990	1995	2000	2005
水稻	有机肥	673.2	626.0	308.4	266.3	146.8
	氮(纯N)	13.0	19.2	19.7	21.0	21.8
	磷(P_2O_5)	0.3	1.5	2.2	1.9	3.3
	钾(K_2O)	0.1	0.3	1.5	1.1	2.6
三麦	有机肥	468.6	173.6	131.9	31.9	58.3
	氮(纯N)	8.4	13.6	13.4	15.1	13.8
	磷(P_2O_5)	1.1	1.7	1.6	2.2	2.2
	钾(K_2O)	0.1	0.2	1.0	2.1	1.4
棉花	有机肥	499.6	1112.7	826.6	471.5	400.7
	氮(纯N)	10.3	21.9	24.7	24.7	20.6
	磷(P_2O_5)	1.9	2.9	2.8	6.1	4.3
	钾(K_2O)	3.5	6.6	6.3	7.8	5.6
油菜	有机肥	516.4	245.4	355.0	95.5	142.6
	氮(纯N)	10.7	15.7	15.1	16.3	17.1
	磷(P_2O_5)	2.5	3.0	1.9	3.2	3.7
	钾(K_2O)	0.3	1.3	3.8	3.5	2.9

农业机械

80 年代,排灌、植保、耕地基本实现机械化。1986 年,农业机械总动力 24.5 万千瓦,机械化水平为 57%。90 年代,小麦、水稻机械收割和麦子、油菜机械开沟快速发展,农业机械数量逐年增加,1990 年机械化水平为 60%。1998 年,农业机

械总动力 30.44 万千瓦，机械化水平为 73%。21 世纪初，水稻机械栽植加快发展，主要粮食作物生产综合机械化程度逐步提高。同时，因农业机械结构变化、性能提高，农业机械总动力逐年减少，2005 年，农业机械总动力 20.09 万千瓦，机械化水平为 85%。

【农用机械】

境内使用的农用机械主要有大中型拖拉机、小型拖拉机、联合收割机、机动插秧机、植保机械、机动脱粒机等。

大中型拖拉机　1986 年，有大中型拖拉机 625 台。之后几年，上海 50 型拖拉机逐年增加，至 1998 年年末，达 1138 台。随着土地耕作量减少，大中型拖拉机逐年调减。2005 年开始实施大中型拖拉机更新工程，全年更新 22 台，至年末为 711 台。

小型拖拉机　1986 年，有小型拖拉机 2923 台。90 年代，机耕逐步被大中型拖拉机取代，小型拖拉机仅为局部地区补充使用，数量逐年减少，主要用于农村运输，至 2005 年仅有 588 台。

联合收割机　1986 年，有背负式联合收割机 28 台，1998 年发展到 992 台。同年，首次引进自走式联合收割机 5 台。此后，因小麦面积减少，背负式联合收割机逐年缩减，自走式联合收割机逐年增加。2005 年，联合收割机总量 768 台。其中背负式 616 台，自走式 152 台。

机动插秧机　1986 年，有东风 −2S 梳式机动插秧机 2 台。1987 年，引进延吉产小苗带土插秧机 8 台。至 1992 年，共有机动插秧机 112 台。这类插秧机性能差，不适应农艺要求，逐渐被淘汰，至 2000 年仅剩 40 台。2001 年，引进韩国东洋公司（建湖）产 PF455S 手扶式插秧机 2 台。随着农业机械化的提高，高性能插秧机不断引进。至 2005 年，共有机动插秧机 66 台。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）主要农业机械选年统计表

表 124

项目	1986年	1990年	1995年	2000年	2005年
农机总动力（万千瓦）	24.50	19.29	28.38	28.50	20.09
大中型拖拉机（台）	625	834	1047	1040	711
小型拖拉机（台）	2923	2108	1923	1599	588

续表 124

项目	1986年	1990年	1995年	2000年	2005年
大中型拖拉机配套机具（部）	996	1791	4111	3285	2401
小型拖拉机配套机具（部）	2767	3180	1334	1978	607
背负式联合收割机（台）	28	147	767	908	616
自走式联合收割机（台）	—	—	—	125	152
机动插秧机（台）	2	99	88	40	66
机动脱粒机（台）	17755	21920	23747	24893	16853
农用排灌动力机械（台）	7913	9270	7911	9701	8280
农副产品加工机械（台）	1551	1345	1188	1576	1535
植保机械（台）	1515	2820	3497	4317	3421
农用运输车（辆）	168	94	332	524	727

【农机作业】

在耕田、排灌、植保基本实现机械化后，从 80 年代中期开始，重点发展粮食作物机械收割和水稻机插秧。

麦子机收　1986 年，麦子机收割面积 420 公顷，占麦子总面积的 1.95%。随着背负式联合收割机逐年增加，麦子机收面积逐年扩大。1990 年，麦子机收面积 2126 公顷，占麦子总面积 10.26%。1995 年，麦子机收面积 1.38 万公顷，占麦子总面积 77.2%。2000 年，麦子机收面积 1.31 万公顷，占麦子总面积的 99.8%。2005 年，麦子机收面积 1.06 万公顷，达 100%。

水稻机收及插秧　1990 年前，水稻机收约占水稻总面积的 0.25%。1995 年，水稻机收面积 1026 公顷，占水稻总面积的 4.15%。1998 年，开始引进自走式联合收割机，水稻机收面积快速增加。2000 年，水稻机收面积 8000 公顷，占水稻总面积的 37.95%。2005 年，水稻机收面积 1.42 万公顷，占水稻总面积的 83%。

1986 ～ 2000 年，水稻机插秧进展缓慢，2001 年引进高性能插秧机后，机插秧面积逐年增加，2002 年 165 公顷，2005 年 673 公顷。

跨区作业　随着粮食机械收割能力增强，1999 年开始每年组织跨区域作业，作业区域遍及安徽、山东、上海、浙江、河南及苏北等地。同年，出动 57 台联合收割机，收割小麦 329 公顷、水稻 250 公顷，作业收入 45 万元。2005 年，出动 60 台联合收割机，收割小麦 1333 公顷、水稻 2000 公顷，作业收入 260 万元。

二、林　业

资　源

太仓为江海交汇的冲积平原，森林资源少。通过植树造林积累林业资源。1987 年 8 月至 10 月，太仓组织首个林业资源调查组，抽样调查 81 个村民组，调查结果为：全县有林地面积 1101.07 公顷，其中用材林 7.47 公顷，防护林 151.2 公顷，经济林 276.73 公顷，竹林 665.67 公顷。

2001 年 4 月，组织 4 个调查组，进行森林分类区划界定。全市林业用地面积为 594.5 公顷，其中有林地 248.3 公顷（含防护林 170.4 公顷）、疏林地 15 公顷、灌木林地 81.7 公顷、苗圃地 93.1 公顷、未成林地 156.4 公顷。在林业用地中，区划界定生态公益林 452.8 公顷、商品林 141.7 公顷。在生态公益林中，区划界定国家公益林 209.2 公顷，为重点公益林保护区。其中水土保持林 139.3 公顷、护路林 69.9 公顷。界定成果通过苏州市森林分类区划界定领导小组办公室组织的质量检查和评审验收。

2005 年，苏州市政府委托国家林业局华东调查规划设计院开展森林资源普查。分别于当年 6 月、8 月两次对全市森林资源进行连续清查和规划设计调查。调查结果：全市林业用地 2006.88 公顷。其中有林地 1506.6 公顷，疏林地 0.71 公顷，灌木林地 467.08 公顷，未成林造林地 8.84 公顷，苗圃地 23.39 公顷，无立木林地 0.26 公顷。在有林地中，有乔木林地 1219.1 公顷，其中纯林 710.67 公顷，混交林 508.43 公顷；竹林 287.5 公顷。在非林地中，有草地 328.72 公顷，临时苗圃 451.57 公顷。森林覆盖率为 5.43%。

造林绿化

【农田林网】

1986 年，植树造林的重点是农田林网建设，在河、渠、路、堤旁和宜林地上植树。1992 年，建成农田林网面积 31870 公顷，农田林网率 75.8%，有林地面积 1499 公顷，经省检查组确认达到全国平原绿化县标准。1993 年春，太仓县被林业部批

准为全国平原绿化县。至2005年,农田林网建设连续不断,但由于农田减少、林网损毁等因素,农田林网率基本保持不变。

【城镇绿化】

1995年,创建国家卫生城市,后又启动创建省级园林城市。1998年,提出开展城乡一体现代林业建设,实施以城带镇、以镇促城、城乡一体、整体推进的城乡绿化发展战略。2002年,创建国家园林城市。城镇绿化水平大幅提升。2003年,市委、市政府作出《关于加快建设绿色太仓的决定》,城镇绿化快速发展。6月调查统计,全市城镇绿地面积733.2公顷,其中公共绿地183.9公顷。2005年,城镇绿地面积1453.2公顷,其中公共绿地380.6公顷;单位庭院绿化达标单位累计522家,其中达江苏省绿化标准279家、达苏州市绿化标准243家。

【公路绿化】

1986～1998年,公路绿化以路肩植行道树为主。1999年开始在国道、省道、高速公路两侧营造宽幅林带,建设绿色通道工程。同年在沙鹿公路、太浏公路、204国道、沪浮璜公路两侧栽植林带,宽7～15米,以水杉为主栽树种,林带栽植水平较低。2000年开始建设融生态、防护、景观为一体,多树种搭配的绿色通道工程。工程建设用地由政府向农民租用,每年支付租金,仍属农业用地范畴。同年建成城北外环线绿化带,长3.5千米,两侧各宽50米,绿化面积35公顷。2002年,先后完成沪嘉浏高速公路延伸段绿色通道工程,与城北外环线相接,绿化面积21公顷;完成新港路绿化工程,长15千米,面积18.2公顷。2003年,完成沿江高速公路绿色通道工程,长21.9千米,两侧林带宽各50米,在沙溪、板桥、太胜立交和横沥互通建有4个生态景观绿地,绿化面积194.51公顷。2004年,完成通港路西段绿化工程,长8.36千米,绿化面积30.1公顷。2005年,先后完成苏昆太高速公路绿色通道工程长23.1千米,两

2005年完成的太蓬公路绿化工程

侧林带宽各 50 米，6 个接点处建有 6 个景观绿地，绿化面积 208.5 公顷；锡太公路新建段绿色通道工程长 2.7 千米，两侧林带宽各 50 米，绿化面积 24.4 公顷，年末完成工程量的 70%；完成太蓬公路绿化工程，绿化面积 28.27 公顷。

【苗木生产】

苗木生产基础较差，80 年代发展缓慢，90 年代中期开始调整农业结构，发展较快。2000 年，苗木生产地为 122 公顷。2003 年调查统计，有苗木生产地 698 公顷，其中速生杨（意杨）223 公顷。至 2005 年，速生杨苗滞销，全部被淘汰。同年，森林资源普查苗木生产地为 474.96 公顷。

【义务植树】

1982 年开始全民义务植树，当年参加义务植树公民 9.8 万人，义务植树尽责率 40.8%。1985 年开始收取公共绿化苗木费，实行以资代劳。1987 年，参加义务植树公民 15.3 万人，义务植树尽责率 52.4%。1991 年开始收缴义务植树费、绿化费，义务植树形式更趋多样化。2001 年，在人民公园举行首届“市民绿苑”活动，有 58 个单位、家庭和个人认养纪念树 58 株，有 17 个机关企事业单位认养 17 块绿地，面积 4.46 万平方米。2003 年，市级机关 58 个部门捐资 9.18 万元，在横沥立交桥北营造公仆林。2005 年，公民义务植树尽责率 61%。

古树名木

2002 年 8 月，进行古树名木调查，查清全市有古树名木 116 株。其中一级古树 18 株，二级古树 97 株、名木 1 株（紫薇，由物理学家吴健雄的父亲吴仲裔栽于浏河镇明德小学）。分布在城市的 51 株，在农村的 65 株；生长在单位庭院的 71 株，个人住宅 2 株，寺院 38 株，其他 5 株，为散生。分为 18 个科属，有银杏、桂花、梅花、腊梅、瓜子黄杨、榉树、朴树、枳椇、盘槐、构骨、罗汉松、紫藤、紫薇、桧柏、悬铃木、山茶花、三角枫、雪松等，其中银杏占半数以上。树龄在 500 年以上的有 3 株，分别是：坐落在南园的瓜子黄杨，高 10 米，胸径 0.38 米；市一中校园内的紫藤，地径 0.35 米；太平南路 38 号城厢镇镇政府院内的罗汉松，高 14 米，胸径 1 米。

2002年太仓市古树名木树种名录

表125

	序号	等级	树名	位置	树龄(年)	存活情况		
						胸径(厘米)	树高(米)	冠幅(米)
市区	1	一	瓜子黄杨	南园	600	38	10	6.0
	2	一	罗汉松	原城厢镇政府	500	100	14	—
	3	一	紫藤	市一中	600	35	—	—
	4	一	银杏	原市二招	300	71	14	—
	5	一	银杏	原市二招	300	66	15	—
	6	一	桂花	南园	300	41	8	—
	7	一	桧柏	市一中	400	45	15	—
	8	一	桧柏	市一中	400	29	13	—
	9	二	瓜子黄杨	南园	150	24	6	—
	10	二	瓜子黄杨	南园	200	29	7	—
	11	二	桂花	南园	100	31	5	—
	12	二	桂花	南园	100	24	5	—
	13	二	桂花	南园	100	24	5	—
	14	二	桂花	南园	100	21	5	—
	15	二	榉树	南园	200	40	10	—
	16	二	朴树	南园	100	44	7	—
	17	二	枸骨	南园	100	18	7	—
	18	二	梅花	南园	100	21	3	—
	19	二	梅花	南园	100	27	3	—
	20	二	梅花	南园	100	27	3	—
	21	二	瓜子黄杨	南园	100	24	5	—
	22	二	罗汉松	古松弄1号	200	60	12	—
	23	二	盘槐	市一中	200	22	3	—
	24	二	银杏	市一中	200	51	17	—
	25	二	银杏	市一中	150	37	14	—
	26	二	枳椇	市一中	100	26	14	—
	27	二	榉树	市一中	250	49	15	—
	28	二	榉树	市一中	250	43	14	—

续表 125

	序号	等级	树名	位置	树龄(年)	存活情况		
						胸径(厘米)	树高(米)	冠幅(米)
市区	29	二	桂花	市一中	100	26	9	—
	30	二	桂花	市一中	100	25	8	—
	31	二	桂花	市一中	100	25	8	—
	32	二	桂花	市一中	100	24	8	—
	33	二	桂花	市一中	100	24	8	—
	34	二	桂花	市一中	100	22	7	—
	35	二	桂花	市一中	100	21	7	—
	36	二	桂花	市一中	100	19	7	—
	37	二	腊梅	市一中	100	—	5	—
	38	二	腊梅	市一中	100	—	5	—
	39	二	腊梅	市一中	100	—	5	—
	40	二	腊梅	市一中	100	—	4	—
	41	二	腊梅	市一中	100	—	—	—
	42	二	茶花	市一中	100	15	3	—
	43	二	三角枫	市一中	100	32	14	—
	44	二	三角枫	市一中	100	34	12	—
	45	二	银杏	城厢镇第一小学	100	34	12	—
	46	二	雪松	市人民医院	100	44	17	—
	47	二	榉树	弇山园	150	40	26	—
	48	二	朴树	弇山园	150	45	17	—
	49	二	悬铃木	弇山园	100	70	25	—
	50	二	悬铃木	弇山园	100	60	23	—
	51	二	瓜子黄杨	新华西路铜材厂前	100	21	4	—
城厢镇	52	二	银杏	神堂庙（外环一级公路边）	180	120	30	7.5
	53	二	银杏	新东海高尔夫	150	66	23	7.0
	54	二	银杏	新东海高尔夫	150	68	23	7.0
	55	二	银杏	小桥老年活动中心	180	76	10	7.0
	56	二	银杏	关帝庙	180	64	11	7.0
	57	二	银杏	关帝庙	180	80	12	7.0

续表 125

	序号	等级	树名	位置	树龄(年)	存活情况		
						胸径(厘米)	树高(米)	冠幅(米)
城厢镇	58	二	银杏	利民花园	200	90	26	18.0
	59	二	银杏	织女庙	100	42	10	6.0
	60	二	银杏	龚家庙	200	126	30	12.0
	61	二	银杏	猛将堂	200	66	25	12.5
	62	二	银杏	猛将堂	200	70	25	12.0
	63	二	银杏	南广教寺	—	—	—	—
	64	二	银杏	南广教寺	100	46	10	6.0
	65	二	银杏	无梁殿（领宝纺织染有限公司）	250	62	17	6.0
	66	二	银杏	无梁殿（领宝纺织染有限公司）	250	90	16	11.0
	67	二	银杏	原太丰村村委	120	60	15	9.0
	68	二	银杏	原太丰村村委	120	60	14	5.0
	69	二	银杏	东郊村	150	70	12	10.0
	70	二	银杏	东郊村	150	50	12	9.0
陆渡镇	71	二	银杏	日美达印花有限公司对面	200	80	20	6.5
浏河镇	72	二	紫薇	明德高级中学（吴健雄墓园）	100	22	7	10.5
	73	二	银杏	洋子泾庙	150	86	23	19.0
	74	一	银杏	朱泾庙	327	76	22	11.0
双凤镇	75	二	银杏	毛观音堂	150	88	14	6.0
	76	二	银杏	新湖印染厂	110	48	15	6.0
	77	二	银杏	新湖印染厂	110	50	18	7.0
	78	二	银杏	新湖印染厂	110	50	18	7.0
	79	二	银杏	新湖印染厂	110	52	16	7.0
	80	二	银杏	新湖印染厂	110	50	17	7.0
	81	二	银杏	新湖印染厂	110	50	16	7.0
	82	二	银杏	新湖印染厂	110	54	16	7.5
	83	二	银杏	新湖印染厂	110	54	16	7.0
	84	一	银杏	新湖印染厂	300	112	30	15.0

续表 125

	序号	等级	树名	位置	树龄(年)	存活情况		
						胸径(厘米)	树高(米)	冠幅(米)
双凤镇	85	二	银杏	六里庙	200	92	10	2.0
	86	二	银杏	苏州恒宇管桩有限公司	180	70	13	9.0
	87	二	银杏	张纪芳庙	120	66	12	8.5
	88	二	瓜子黄杨	河南街203号	143	20	6	6.5
	89	二	瓜子黄杨	河南街183号	120	18	4	4.0
	90	一	瓜子黄杨	双凤中心小学	300	20	6	9.0
沙溪镇	91	二	银杏	观音堂	200	66	28	7.0
	92	二	银杏	观音堂	200	48	22	6.0
	93	一	银杏	沙溪中学	400	130	26	7.0
	94	二	构骨	沙溪中学	120	30	9	5.5
	95	二	银杏	南弄桥边	200	86	25	7.0
	96	一	银杏	猛将堂	300	96	32	12.0
	97	二	瓜子黄杨	沙溪镇政府	100	20	4	6.0
	98	一	银杏	徐达宝殿	300	96	34	11.0
浮桥镇	99	二	银杏	钱家坟	120	64	21	9.5
	100	二	银杏	钱家坟	120	74	32	12.5
	101	二	银杏	新仓庙	120	80	28	11.5
	102	二	银杏	新仓庙	120	80	28	11.5
	103	一	银杏	药家庙	400	120	28	11.5
	104	一	银杏	原三市小学	400	114	24	12.0
	105	二	银杏	同觉寺	200	72	28	7.5
	106	二	银杏	红乐庙	100	54	14	7.5
	107	二	银杏	红乐庙	100	56	15	7.0
	108	二	银杏	南岳庙	100	66	18	15.0
	109	二	银杏	吴泾庙	250	85	25	14.0
	110	二	银杏	吴泾庙	100	46	12	10.0
	111	一	银杏	百家庙	320	104	30	14.0
	112	二	银杏	百家庙	180	66	23	8.0
	113	二	银杏	百家庙	180	62	23	7.5

续表 125

	序号	等级	树名	位置	树龄(年)	存活情况		
						胸径(厘米)	树高(米)	冠幅(米)
璜泾镇	114	一	银杏	老雅鹿集团门口	400	112	33	—
	115	二	银杏	玄檀庙	150	92	22	—
	116	二	瓜子黄杨	新风街36号	150	30	6	4.5

果　树

1987 年，全县有成片果树面积 198.53 公顷，其中桃 87.87 公顷，橘 67.33 公顷，葡萄 24.4 公顷，梨 16.73 公顷，苹果 1.47 公顷，梅 0.73 公顷。成片果树经营以国有和集体场圃为主，农民主要栽植散生果树。此后，果树面积略有变动，品种变化不大，果园经营逐步转向以个人和集体承包为主。1997 年，成片果树面积 156 公顷，其中桃 41.33 公顷，橘 66.33 公顷，梨 16 公顷，葡萄 12 公顷，其他 20.34 公顷。散生果树 45 万株。果品社会产量 4600 吨。成片果树中，国有场圃 16.6 公顷，集体和个人承包 139.4 公顷。随着农业结构调整，果树面积稍有增加，成片果树以个人经营为主。2005 年，成片果树 191.06 公顷，其中桃 46.4 公顷，橘 77.33 公顷，梨 30.66 公顷，葡萄 15.47 公顷，其他 21.2 公顷。散生果树 51 万株。果品社会产量 4389 吨。0.33 公顷以上的果树基地 26 个。

蚕　桑

太仓素有种桑养蚕传统。80 年代，蚕区主要分布在老闸、九曲、时思、沙溪、浮桥、南郊、陆渡、浏河、娄东等 9 个乡。90 年代，蚕区呈区域性发展，主要分布在老闸、九曲、沙溪、双凤、陆渡等 5 个乡镇。1994 年老闸乡桑田最多，有 200.5 公顷，时思、浮桥、南郊等乡镇有少量桑田。2005 年，桑田集中在浮桥镇老闸、九曲两个区，沙溪镇尚有桑田 6.7 公顷。

【生产形式】

80 年代初期，生产组织形式有蚕桑专业队、园林队和亦桑亦农的农桑生产队。

全县有 29 个专业队、37 个农桑队。随着农村实行联产承包责任制，农桑生产队桑田实行分户经营，蚕桑专业队、园林队逐步解体。1986 年，全县有 13 个专业队、园林队。1994 年，专业队、园林队全部解体，种桑养蚕全部分户经营，全市约有养蚕户 5500 户。此后，桑田面积多次变动，养蚕户时有增减，至 2005 年，有养蚕户 1124 户。

【面积与产量】

80 年代中期，由于茧价偏低、劳力转移，桑田逐步减少，至 1988 年，全县有桑田 97.5 公顷，产茧 78 吨。此后，出现全国性茧价大战，蚕桑经济效益激增。老闸乡 228 户蚕农，养蚕 1435 张，产茧 53.15 吨，总收入 59.67 万元，户均收入 2600 元。由此，带来了新一轮蚕桑发展高潮。1994 年，桑田面积 466 公顷，产茧 823 吨。1995 年，全省暴发家蚕微粒子病，老闸、九曲等蚕区受到严重危害，全市蚕茧产量 799 吨。秋季茧价暴跌，蚕农大幅减收，种桑养蚕积极性受到重挫，蚕农自发毁桑。随后，由于发展种粮大户，桑田分散，粮桑互混，农药污染，导致毁桑加剧。至 1997 年，桑田面积仅剩 147 公顷，产茧 214 吨。1998 年开始，茧价回升，蚕农积极性趋向稳定。2005 年，桑田面积 133.3 公顷，产茧 71 吨。

【布局与品种】

养蚕布局　1986 年以前为春、早秋、中秋三季布局。1987 ～ 1990 年增养一季夏蚕为四季布局。1991 ～ 1993 年增养一季晚秋蚕为五季布局。1994 ～ 1997 年恢复为春、早秋、中秋三季布局。1997 年，稻田使用“虫杀手”农药，造成早秋蚕中毒，1998 ～ 2005 年改为春、中秋二季布局。

蚕品种　春蚕品种：1986 ～ 1997 年及 2000 ～ 2003 年以苏 5× 苏 6 为主，1998 年、1999 年以锡昉 × 春蕾为主，2004 年、2005 年以菁松 × 皓月为主。夏蚕品种：1987 ～ 1993 年以 75 新 ×7532 为主，少量苏秋 3× 苏 4。早秋品种：1986 ～ 1997 年以 75 新 ×7532 为主。中秋及中晚秋品种：1986 ～ 1996 年以新四元蚕种为主，1997 ～ 1999 年以 871×872 为主，2000 ～ 2005 年以苏菊 × 明虎为主。

原蚕基地　1996 春，老闸、九曲、沙溪 3 个镇建原蚕基地，饲养原蚕和繁育蚕种，浒关、吴江、昆山蚕种场进驻，1283 户蚕农参养，繁育一代杂交蚕种 14.8 万张，成为全省最大优质蚕种繁育基地。2002 年，生产蚕种 25.8 万张。后因桑田被征用，

原蚕饲养量逐年减少,2003 年生产蚕种 24.8 万张,2004 年降至 17.9 万张,2005 年降至 10.9 万张。

桑树品种 1986 ～ 2001 年以湖桑品种为主。2002 年,引进杂交桑“塘 10×伦 109”进行草本化栽培、条桑收获,大棚养蚕,3 户蚕农种杂交桑 6 公顷。以后,陆续引进“农桑 8 号”“蚕专 4 号”“农桑 14 号”等新桑品种,农桑系列品种逐渐取代原有的湖桑系列品种。2004 年冬季,农业示范园区引进种植果桑“大十”,开发新型水果。2005 年,发展工业占用桑田,杂交桑被毁。

技术推广机构与茧站设置 1986 年,县林蚕指导站负责蚕桑生产技术指导工作,蚕茧收烘由苏州外贸负责,全县设沙溪、老闸南、陆渡 3 个茧站,九曲、浏河、浮桥、时思 4 个庄口。1991 年,设老闸南、老闸北、九曲、沙溪、双凤、陆渡等 6 个茧站,时思、浮桥 2 个庄口。1994 年 3 月,市丝绸总公司成立,蚕茧收烘改由该公司负责。1997 年 3 月,市林蚕指导站中的蚕桑指导职能及人、财、物与各茧站及镇蚕桑技术员划归市丝绸总公司,蚕桑生产实行产供销一条龙服务。至 2005 年 5 月,全市仅有老闸南茧站负责蚕茧收烘。

1991 ～ 2005 年太仓市(县)林、果、蚕生产情况表

表 126

年份	林业						果树		蚕桑	
	育种育苗(公顷)	人工造林(公顷)	零星植树(万株)	幼林抚育(公顷)	成林抚育(公顷)	年末实有林地(公顷)	面积(公顷)	产量(吨)	面积(公顷)	产量(吨)
1991	27	20	81.7	100	—	1120	199	2750	420	338
1992	35	15	104.0	110	—	1173	210	3450	473	565
1993	25	20	76.3	100	—	1200	152	3600	500	662
1994	26	137	59.0	50	—	1232	218	3439	466	823
1995	34	54	51.0	30	—	1032	220	5390	480	799
1996	33	—	85.0	10	—	900	191	4705	156	290
1997	34	—	100.0	11	—	389	156	4600	147	214
1998	57	—	83.0	10	—	1000	154	4313	155	227
1999	60	—	120.0	10	—	400	565	4722	155	210
2000	122	—	163.0	2	—	420	690	5100	160	226
2001	80	—	64.0	100	—	425	695	4538	233	225

续表 126

年份	林业						果树		蚕桑	
	育种育苗（公顷）	人工造林（公顷）	零星植树（万株）	幼林抚育（公顷）	成林抚育（公顷）	年末实有林地（公顷）	面积（公顷）	产量（吨）	面积（公顷）	产量（吨）
2002	136	510	49.7	146	388.67	—	175	4514	200	240
2003	123	376	46.8	140	396.67	—	880	4755	146	147
2004	134	395	49.2	153	422.67	—	—	5059	166	121
2005	140	415	54.1	160	433.33	—	191	4389	133	71

三、畜牧业

畜禽品种

畜禽品种有猪、羊、牛、兔、鸡、鸭、鹅、鸽、鹌鹑等。

猪，地方猪种为梅山猪，是中国地方猪种太湖猪中有影响的猪种之一。外种猪有大约克夏、长白猪、杜洛克猪及其杂一代。

羊，有山羊和湖羊两种。1990 年、1991 年引进牛腿山羊，1998 年引进徐州山羊，都因适应性差而被淘汰。

牛，有耕牛和奶牛两种。耕牛主要为水牛，仅在西部圩区少量饲养，至 1991 年绝迹。奶牛全部为黑白花奶牛。

兔，有毛兔、大耳兔和獭兔，獭兔为近年主养品种。

鸡，有肉鸡和蛋鸡两种。肉鸡品种，1986 ～ 1997 年，以白洛克、新浦东等为主。1998 ～ 2005 年，以“新兴黄鸡”为主，兼养少量地方鸡种、乌骨鸡、白洛克、艾拨艾克等。蛋鸡品种有伊莎蛋鸡、罗曼蛋鸡等。

鸭，有肉鸭和蛋鸭两种。肉鸭品种，规模饲养以樱桃谷鸭和里加鸭为主；少量饲养以麻鸭为主，蛋鸭次之。蛋鸭品种多系绍鸭。

鹅，主要是太湖鹅。

鸽，有美国落地黄、澳洲白鸽等，信鸽少量。

属于特种家禽的有珍珠鸡、孔雀、鸵鸟和鹌鹑等。

梅山猪保种

太仓是梅山猪原产地之一。梅山猪具有早熟、繁殖性能强、肉质好等特点,梅山母猪与外种公猪的杂交后代,具有产仔率高、瘦肉率高等优点,被《中国畜禽遗传资源保护品种名录》列为重点保护的地方猪种。1987 年,全县有梅山母猪 1.04 万头。90 年代,着重培育以梅山猪为母本、外种猪为父本的二元杂交母猪,扩大外种母猪群,梅山母猪存栏量逐年下降,1998 年占母猪存栏量的 71%。2005 年,有梅山母猪 4000 头左右,占母猪存栏量的 28%。

太仓县种畜场是梅山猪保种单位,1992 年被定为国家级原种场。1994 年,梅山猪核心群迁至市种猪场。1998 年 8 月,经农业部畜牧局专家评审团验收,太仓市种猪场仍为梅山猪国家级种猪场,并增定为长白猪国家级种猪场。2005 年,种猪场有三代以内没有血缘关系的梅山生产公猪 12 头,生产母猪 104 头。同年 12 月,太仓市梅山猪保种协会成立,进一步加强梅山猪的保种、选育和利用工作。

畜禽饲养

【猪】

80 年代中期,以农户家庭饲养为主。同期,生猪生产实行母猪梅山本种化、公猪良种外来化、肉猪杂交一代化。1988 年典型调查显示,养猪户占总农户的 45.33%,每个养猪户平均圈存生猪 2.4 头,每个农户平均圈存生猪 1.09 头。同年,太仓县通过全省瘦肉型猪基地县建设验收。1990 年,为缓解“吃肉难”,政府鼓励发展养猪基地和养猪大户。全县有养猪基地 125 个,养猪专业户 224 户。90 年代初,县种猪场利用长白、大约克夏杂交母猪与杜洛克公猪杂交,生产三元杂交商品猪供应香港市场,杂交一代母猪、纯外种母猪及其互交群也因此由点到面逐步发展,猪人工授精达 100%,全县每天供精量在 100 瓶左右。1995 年,随着农民家居条件改善,家庭养猪连年萎缩,养猪生产逐步向规模化、集约化发展。全市建成千头肉猪基地 16 个、万头肉猪基地 4 个。1997 年,有二元杂交母猪与外种母猪 4300

头。90 年代末，除家庭养猪外，规模饲养户普遍自养公猪，改用直配方式，猪人工授精逐趋萎缩，2005 年每天供精量在 5 瓶左右。年末，全市有规模饲养大户 70 家，存栏生猪 5.95 万头，上市肉猪 14 万头，占全市上市肉猪的 70%。二元杂交母猪与外种母猪增至 1.02 万头，上市肉猪瘦肉率 55% 以上。

【牛】

1986 年奶牛栏存 102 头，主要饲养在县棉花原种场。2000 年栏存 220 头。2001 年起，上海市部分奶牛场逐渐迁入璜泾、浏河等地，栏存奶牛逐年增加。同年栏存奶牛 930 头。2002 年 6 月，太仓市奶业协会成立。2005 年年末，全市有 44 个奶牛场（户），栏存奶牛 3417 头，年产牛奶 2 万多吨。

【兔】

80 年代，农村盛行养长毛兔，为各农户的经济来源。1986 年栏存兔 18.73 万只。90 年代，兔毛滞销，收益下降，栏存兔逐年减少。1992 年栏存兔 6.81 万只。1996 年开始转向发展獭兔，市政府拨款 10 万元，引进种兔 400 只。1997 年，有种兔场 11 个，栏存种兔 6000 只。以后，獭兔趋向稳步发展。养兔生产形式由千家万户为主，向“公司 + 农户”的模式发展，主要养兔企业有市养兔协会、金星獭兔有限公司、蒋氏绿色生产合作社。2005 年，栏存兔 5.7 万只，上市兔 10 万多只。

【羊】

以农户家庭养羊为主，采用圈养和定点栏养放牧两种饲养方式，饲养周期长，经济效益较低，长期处于停滞状态。1986 年，全县年末栏存羊 3.07 万只，其中山羊、湖羊各半。2005 年年末，栏存羊 3.14 万只，其中山羊 1.84 万只，湖羊 1.3 万只。

【鸡】

1986 年，有以自给为主的家庭养鸡和以上市为主的专业户养鸡两种形式。1993 年，全市年饲养 2000 羽以上养鸡专业户有 206 家。至 1996 年，年均存栏鸡 80 万～ 100 万羽。1997 年 7 月，太仓（广东）温氏家禽有限公司成立，采用“公司 + 农户”运作模式，公司负责种苗、饲料、药物、技术、销售，农户负责饲养，当年发展养鸡户 26 家，上市肉鸡 2 万羽。以后，养鸡户和饲养规模不断扩大。2005 年，“温

氏”养鸡户发展到1150户,上市肉鸡2590万羽。全市年末栏存鸡563.7万羽,年上市肉鸡2687万羽。

【鸭】

1986～2001年,农村家庭散养蛋鸭、肉鸭数量极少,西部地区饲养群鸭也多以小规模为主。2002年开始,外地养鸭户大量迁入,租场养鸭,以肉鸭为主、蛋鸭为辅,年均上市肉鸭50万～60万羽。2003年,双凤镇养鸭户成立兴隆肉鸭生产合作社,肉鸭生产加快发展。2005年,上市肉鸭607万羽,栏存鸭111.12万羽。

【其　他】

养鹅受鹅苗、养殖技术、传统习惯制约,年饲养量长期徘徊在1万～3万羽之间。肉鸽、鹌鹑、珍珠鸡、孔雀、鸵鸟、狐狸、貂、梅花鹿等在境内也有少量或间隙性养殖。

养　蜂

蜜蜂有以产蜂蜜为主的美意蜂和产皇浆为主的浆蜂两个品种。1986年,有蜂群2418箱。1990年,蜂群发展至3248箱。以后,养蜂业逐年滑坡,1995年仅存蜂群464箱。1998年开始,嘉定地区发展草莓种植,短期租借蜂群授粉,加之全面推广浆蜂品种,皇浆产量从每箱1千克提高到6千克,养蜂效益增长,养蜂业出现恢复性发展。2005年,全市蜂群恢复至1522箱。

1986～2005年太仓市(县)主要畜禽生产情况表

表127

年份	奶牛年末存栏(头)	生猪		羊年末存栏(万只)	家禽年末存栏(万羽)	兔年末存栏(万只)	蜜蜂(箱)
		年末存栏(万头)	当年出栏(万头)				
1986	102	15.55	20.00	3.07	93.00	18.73	2418
1987	109	12.33	18.62	3.68	123.00	9.13	2499
1988	147	13.15	20.04	4.65	116.00	6.70	2670

续表 127

年份	奶牛年末存栏（头）	生猪		羊年末存栏（万只）	家禽年末存栏（万羽）	兔年末存栏（万只）	蜜蜂（箱）
		年末存栏（万头）	当年出栏（万头）				
1989	235	14.97	19.50	5.71	72.49	6.32	2767
1990	224	13.45	21.53	5.38	82.51	5.48	3248
1991	228	14.01	24.85	5.32	87.34	4.79	1568
1992	221	18.09	27.52	5.68	85.88	6.81	1197
1993	212	13.43	26.30	5.80	82.27	4.68	963
1994	220	13.00	25.00	7.60	91.80	2.90	949
1995	200	12.40	24.00	6.60	78.70	3.00	464
1996	230	11.00	24.80	6.80	92.60	2.90	508
1997	200	9.26	16.38	8.06	89.66	2.79	845
1998	200	10.80	18.60	7.80	170.00	2.60	786
1999	200	8.60	17.10	6.50	186.00	2.20	854
2000	220	10.50	17.60	7.50	261.00	2.30	833
2001	930	10.90	18.50	7.00	426.50	2.00	894
2002	2000	10.60	19.90	4.80	528.40	1.90	626
2003	2965	10.40	20.00	2.90	542.20	4.58	1324
2004	3133	10.10	23.00	2.70	547.50	3.29	1567
2005	3417	13.16	20.21	3.14	674.82	5.70	1522

疫病防治

1987 年，设立太仓县畜禽检疫站，配备检疫化验设施，具备细菌学、血清学和免疫学的检测功能。至 90 年代中期，疫病防治形式由各乡（镇）兽医站实行生猪无病包防、有病包治、死亡包赔的技术承包责任制，养猪户定额交费，猪、禽防疫密度 100%。1992 年，鸡传染性法氏囊病防治研究获苏州市政府科技进步四等奖。1996 年，基因工程菌苗 K88−99 预防仔猪黄白痢病推广率 80%。90 年代中期开始，疫病防治形式逐步转化为兽医划片包干、无病防疫、有病治病，疫病防治按实交费等。2000 年，实施全省无规定动物疫病区建设项目，制定太仓地区猪禽主要疫病防病免疫程序。2004 年开始，猪口蹄疫、禽流感防疫免费。省政府批准设立 204

国道南郊公路动物防疫监督检查站,加强检查检疫工作。同年邻近省、市发生禽流感,全市紧急应对,出动防疫、消毒人员6400多人次,发放禽流感疫苗575万毫升,免疫禽类980万羽。2005年,炭疽病和牛、羊血吸虫病继续得到控制,猪瘟、猪丹毒、鸡新城疫、法氏囊病、慢性呼吸道病和肾型传支等得到控制。另外每年检测一次奶牛的结核病和布氏杆菌病,发现阳性个体,及时扑杀。

四、渔　业

水产捕捞

太仓处于江海交汇地带。水产捕捞分为海洋捕捞、长江捕捞和内河捕捞。

【海洋捕捞】

渔业组织　1986年,境内从事海洋捕捞的有省属企业江苏省海洋渔业总公司,以及浏河幸福、浏河前进、茜泾、浮桥、璜泾、时思、鹿河等7个江海渔业经济合作社(简称渔业社),7个渔业社有渔民550人。1990年,海洋渔业公司产各类渔货4675吨,创汇985万美元。1994年,渔业社经济进入高峰,捕捞产量9096吨,产值5791.5万元,年人均分配2.8万元。以后,因海洋渔业资源日益枯竭,渔用物资价格上涨,渔业社原实行的联产承包经济责任制中“集体包亏、个人包盈”弊端暴露,海洋渔业生产出现逐年滑坡,渔业社亏损企业增加。至1996年,全市7个渔业合作社捕捞产量5400吨,产值2998万元,年人均分配降至6110元。1997年,各渔业社普遍亏本。同年,浏河前进渔业社首先进行改革改制。8艘钢质渔轮转为个人所有,实行自主经营。1998年,璜泾、茜泾、浮桥和鹿河等渔业社相继转制。2000年,浏河幸福渔业社转制,原资产全部出售。2001年9月,驻太仓海洋捕捞企业江苏省海洋渔业总公司划归太仓市管辖。2002年,海上捕捞产量9300吨,产值2850万元,实现毛利润500万元(未提折扣)。同年,时思渔业社转制,原资产全部出售,债务由镇政府处理。至此,渔业社全部转为个体经营。同年6月,江苏省海洋渔业总公司转制,成为自主经营、自负盈亏的民营企业。其中所属海洋捕捞公司转制后成立苏州海发渔业有限公司,主要从事外海捕捞;所属远洋办和进出口部转制后成立太仓励苏远洋渔业有限公司,有两艘拖网船,从事远洋捕捞;所属远洋

渔业公司转制后成立苏州海宏远洋渔业有限公司，与苏州海发渔业有限公司为两块牌子、一套班子，有两艘大型过洋性鱿钓船，2004 年歇业，渔船出售。至 2005 年年末，苏州海发渔业有限公司累计海上捕捞 42878.5 吨，产值 1.48 亿元，创毛利约 3000 万元；太仓励苏远洋渔业有限公司年均捕捞各类水产品 5000 吨，其中 4000 吨运回国内销售。

船具设备　80 年代，渔业社大多使用底拖网捕鱼，少量使用桁拖网、帆式张网。1986 年，全县 7 个渔业社有渔船 49 艘，总吨位 4176 吨，总功率 7155 千瓦。其中木质渔船 39 艘，钢质船 10 艘。1991 年，浮桥渔网厂研制成功双船变水层圆口拖网，可调节网口高度、扩大扫海面积，1992 年获苏州市科技进步三等奖、江苏省水产局科技进步二等奖，并被山东、上海、辽宁、广西、海南等地推广使用。太仓除浏河幸福渔业社外，其他渔业社均改用此网。1997 年，全市共有渔船 52 艘，其中钢质船 50 艘，木质船 2 艘，总吨位 5689 吨，总功率 10672 千瓦。1999 年部分个体渔船改用帆式张网。2002 年，苏州海发渔业有限公司使用围网作业，太仓励苏远洋渔业有限公司使用拖网作业。2003 年，渔船全部为民营企业或个体所有，全市有渔船 50 艘，均为钢质船，总吨位 5788 吨，总功率 12465 千瓦。2005 年，共有渔船 56 艘，总吨位 7965 吨，总功率 15242 千瓦，所有渔船均按规范化要求配齐相应设备。

捕捞区域及品种　80 年代初开始进入常年生产，执行国家 1955 年规定的“机轮拖网渔业禁渔区线”的规定。至 90 年代，海洋渔业捕捞的品种有带鱼、马鲛鱼、大小黄鱼、鲳鱼、鲐鱼、墨鱼、毛虾、梭子蟹等。之后捕捞品种逐年减少。1995 年执行农业部公布的伏季休渔规定，按上级规定的配额及捕捞时间依法生产。捕捞区域东至济洲岛、南至温州外海、北至海洲湾。2000 年、2001 年中日、中韩渔业协定相继生效，渔场范围缩减。太仓励苏远洋渔业有限公司开始在缅甸实施渔业合作项目。2005 年捕捞的品种以带鱼、鲐鱼为主，其他品种少量，大黄鱼罕见。

【长江捕捞】

渔　民　80 年代中期，从事长江捕捞的有沿江渔业社和从事季节性生产的农兼渔户，及常驻和流动的外地渔船 200 多艘。80 年代后期，长江渔业资源衰退，沿江各渔业社放弃长江捕捞，转向海洋捕捞。1997 年，浏河前进渔业社转制，有 5 户渔民转回长江捕捞。2000 ～ 2002 年，49 户在长江太仓段捕捞作业的外地渔民将户口迁入浮桥、璜泾、浏河等地，成为太仓长江捕捞的专业渔民。2002 年 10 月，

经渔政部门签证,从事长江捕捞的太仓专业渔民有54户、183人,其中劳动力128个。拥有生产渔船52艘,总功率1025千瓦,总吨位282吨。此后,随着太仓港长江沿线建设项目的增多,与从事长江捕捞的渔民矛盾日益突出。市政府决定安置长江捕捞专业渔民。至2005年,共安置渔民43户、135人。年末,仍有11户专业渔民及当地农兼渔户和外地渔民从事长江捕捞作业,共有捕捞渔船50余艘。

捕捞品种 80年代中期,主要捕捞品种为刀鱼、银鱼、凤尾鱼、梅鲚鱼、鲤鱼、青虾、白虾、蟹、白吉等,年捕捞产量最高为2000多吨。90年代,随着捕捞强度的加大,捕捞品种与数量逐渐减少。刀鱼、银鱼、凤尾鱼少见,河豚鱼基本绝迹。1990年,捕捞产量626吨,2000年降至126吨。2002年,长江实行禁渔制度,渔业资源有所恢复,凤尾鱼明显增加。2005年捕捞产量升至200吨左右。

长江鳗鱼苗属国家禁捕资源。1985年,福建莆田人大量收购鳗鱼苗用于养殖,每条鱼苗由0.05元升至16元,导致1986年、1987年"捕鳗大战",捕鳗船布满江面,阻塞航道,经渔政管理查处得以缓解。1990年后捕捞量逐年减少。2002年,实行长江禁渔制度后停捕。

中华绒螯蟹蟹苗,俗称大眼幼体,在长江太仓段间期性发生,发生时间在芒种前后,历史上曾出现多次苗汛。1994年6月旺发,各地养蟹户纷纷前来收购,蟹苗价格随之上升,1996年最高收购价每千克8万元。2005年再度旺发,因养殖户普遍使用人工繁殖蟹苗,天然蟹苗不再受到重视。

【内河捕捞】

80年代初,农村实行联产经营承包责任制,内河水面大部分承包给渔业人员开展捕捞和养殖。捕捞品种有鱼类和甲壳类及贝类等。鱼类有鲢鱼、青鱼、鳊鱼、黑鱼、鲤鱼、鲫鱼等。甲壳类有青虾、蟹、龙虾、鳖等种类。贝类有螺蛳、河蚌等。1986～1990年,年均捕捞产量约500吨。1991～2000年,年均捕捞产量约1000吨。2001～2005年,年均捕捞产量约3000吨。

淡水养殖

【生产组织】

1986年,全县有1个国有水产场,238个乡、村集体水产场,8个内河渔业村,

438 户专业养鱼户和 6432 户农户兼养鱼户。90 年代初，随着乡、村撤并，国有、集体水产场转制，水面经营权更动，乡、村集体水产场逐年减少，至 1996 年，乡、村集体水产场减至 72 个。2003 年，渔业村全部并入行政村。2005 年，国有水产场撤销，至年末，全市有渔业户 2655 户，6546 人，其中劳动力 3800 多人。集体水产场 3 个，由个体渔户租赁经营。

【养殖形式与面积】

淡水养殖有河沟养殖和池塘养殖。主要通过池塘、河沟的利用、改造，挖掘水面潜力来扩大养殖面积。1986 年，全县有养殖面积 3245.7 公顷，其中池塘 1060.6 公顷，河沟 2070.6 公顷，其他 114.5 公顷。养殖产量 4821 吨。1998 年，养殖面积为 3159.8 公顷，其中池塘 1292.5 公顷，河沟 1818.9 公顷，其他 48.4 公顷，养殖产量 8240 吨。同年，西部地区试验稻田养殖，其中直塘、双凤、新湖、南郊等地，稻田养殖青虾等面积共 100 公顷。1999 年开始，结合农业结构调整，开展围田挖塘养鱼，池塘面积增加。河沟养殖因水质污染逐渐减少，稻田养殖停止。同年，全市养殖面积为 3306.7 公顷，其中池塘 1753.4 公顷，河沟 1513.3 公顷，其他 40 公顷。养殖产量 8582 吨。2005 年，全市养殖面积 4360 公顷，其中池塘 2618 公顷，河沟 1737 公顷，其他 5 公顷，养殖产量 13231 吨。

【养殖品种】

80 年代初，全县淡水养殖品种以草鱼、鳊鱼、鳙鱼、鲢鱼、鲫鱼等常规品种为主。80 年代中期，以河蟹、青虾、甲鱼为主要品种的特种水产业逐步发展。1988 年，特种水产有河蟹、甲鱼、黄鳝等，养殖面积 9.5 公顷。1996 年，浮桥镇中华绒螯蟹养殖公司（简称养殖公司）繁育大眼幼体获得成功。1997 年，特种水产面积增至 713.2 公顷，占淡水养殖面积的 23%。其中河蟹 469.2 公顷，青虾 230.6 公顷。2000 年，特种水产面积 2018.7 公顷，占养殖面积的 50%。其中河蟹 1333.3 公顷，青虾 666.7 公顷。同年 9 月，养殖公司被苏州市多管局认定为“苏州市中华绒螯蟹扣子蟹生产基地”。2005 年，特种水产面积 3016.2 公顷，占淡水养殖面积 69%。其中河蟹 1500.2 公顷，青虾 1093.5 公顷，白对虾 316.7 公顷，甲鱼 80.4 公顷，观赏鱼 20 公顷。此外，还有小面积养殖鳜鱼、鲈鱼、鳗鱼、鲶鱼、河豚、乌龟等品种。

【鱼苗繁育】

80 年代开始,鱼苗繁育因常规鱼养殖逐年减少而减少。1986 ～ 1999 年,育种池面积约 133 公顷,繁育鱼苗约 1 亿尾。2000 年,育种池面积降至 33 公顷,繁育鱼苗约 5000 万尾。2005 年,育种池面积 58.5 公顷,繁育鱼苗 5750 万尾,繁育品种有青鱼、草鱼、鲢鱼、鲤鱼、鳊鱼、鲫鱼及青虾等。

【河蚌育珠】

多采用鱼蚌混养方式,80 年代中期为发展高峰。1986 年,产珍珠 12045 千克。1987 年,升至 13450 千克。以后随珍珠价格变化,产量多次起伏。1991 年产珍珠 4000 千克,1994 年升至 8500 千克,2002 年降至 385 千克,2005 年为 650 千克。

水产品产量

1986 年,全年水产品总产量 48596 吨。其中省海洋渔业总公司海产品产量 36760 吨,全县各渔业社和个体渔户海产品 5615 吨,淡水产品 6221 吨。2000 年,水产品总产量 40870 吨。其中省海洋渔业总公司海产品产量 21609 吨,全市各渔业社和个体渔户海产品 8261 吨,淡水产品 11000 吨。2002 年省海洋渔业总公司划入太仓市,次年水产品产量合并计入太仓市。2005 年,水产品总产量 35879 吨,其中海产品 18948 吨,淡水产品 16931 吨。

1986 ～ 2005 年太仓市(县)水产品产量统计表

表 128

年份	总产量(吨)	在总产量中				珍珠产量(千克)
		省渔业公司产量(吨)	本市水产品产量(吨)	其中		
				海水产品(吨)	淡水产品(吨)	
1986	48596	36760	11836	5615	6221	12045
1987	46372	34509	12862	5848	7015	13450
1988	37778	24799	12979	5852	7127	7591
1989	46133	33577	12554	5857	6697	4000
1990	45044	32090	12954	5801	7153	4000

续表 128

年份	总产量(吨)	在总产量中				珍珠产量(千克)
		省渔业公司产量(吨)	本市水产品产量(吨)	其中		
				海水产品(吨)	淡水产品(吨)	
1991	43169	29311	13858	6604	7254	4000
1992	40682	19829	20853	6132	14721	9277
1993	31029	17398	13631	5055	8576	6000
1994	40562	19530	21032	9096	11936	8500
1995	55987	36976	19011	8199	10812	7473
1996	46470	31672	14798	5402	9396	6963
1997	53072	38101	14971	5322	9649	1694
1998	38081	23527	14554	5000	9554	2331
1999	40029	26847	13182	4220	8962	2825
2000	40870	21609	19261	8261	11000	1427
2001	39037	20285	18752	7502	11250	425
2002	38075	18292	19783	7582	12201	385
2003	38381	—	38381	25366	13015	2000
2004	38540	—	38540	25167	13373	1000
2005	35879	—	35879	18948	16931	650

五、农业产业化

农业资源开发

1998 年，太仓市农业资源开发办公室成立，属市委农村工作部内设机构，与市农业区划办公室合署办公。2000 年，实施新湖镇中低产田改造项目（省级），建设面积 666.67 公顷，总投资 225 万元，其中财政资金 150 万元。2001 年，经国家农业综合开发办公室批准，太仓市进入国家农业综合开发项目县（市）行列。同年 10 月，农业资源开发职能并入市农林局，挂太仓市农业资源开发办公室牌子，内设农业资源开发科。至 2005 年，先后实施 8 个国家级农业综合开发项目，建设面积 3499.99 公顷，总投资 1764.5 万元，其中财政资金 1366.3 万元。

2000 ～ 2005 年太仓市农业综合开发项目情况表

表 129

年份	项目名称	类型	实施单位	实施地点	总投资(万元)						建设面积(公顷)
					总计	中央	省	苏州市	太仓市	自筹	
2000	新湖镇中低产田改造项目(省级)	土地治理	新湖镇	维新、新湖村等	225.0	—	75.00	30.00	45.00	75.0	666.67
2001	双凤镇中低产田改造项目	土地治理	双凤镇	凤中、新杨村等	300.0	111	13.35	26.70	93.45	55.5	666.67
2002	城厢镇结构调整与外向型农业示范基地(园艺)项目	土地治理	城厢镇	徐姚村	108.0	40	19.80	9.60	18.60	20.0	233.33
	太仓市高品质高效益棉花产业化示范基地项目	土地治理	棉花原种场	方桥村、农场等	108.0	40	19.80	9.60	18.60	20.0	233.33
2003	城厢镇中低产田改造项目	土地治理	城厢镇	新毛、徐姚村等	135.0	50	18.00	12.00	30.00	25.0	333.33
	鹿河镇优质粮基地项目(蔬菜奖励)	土地治理	鹿河镇	长新、长洲村等	106.0	39	14.04	9.36	23.40	20.2	333.33
	省级科技示范项目(第一年)	土地治理	市农技推广中心	丁泾、协心村	135.0	50	18.00	12.00	30.00	25.0	666.67
2004	城厢、璜泾中低产田改造项目	土地治理	城厢、璜泾	电站、东影村等	270.0	100	50.00	20.00	30.00	70.0	533.33
	省级科技示范项目(第二年)	土地治理	市农技推广中心	农业园区	135.0	50	25.00	10.00	15.00	35.0	—
2005	沙溪中低产田改造项目	土地治理	园区、沙溪镇	园区、塘桥村	330.0	120	60.00	24.00	36.00	90.0	500.00
	省级科技示范项目(第三年)	土地治理	市农技推广中心	农业园区	137.5	50	25.00	10.00	15.00	37.5	—
合计	9个项目				1989.5	650	337.99	173.26	355.05	473.2	4166.66

龙头企业

1997 年 9 月，市委、市政府召开全市农业产业化工作会议，启动农业产业化工作。1998 年 7 月，市委、市政府制定印发《关于扶持农业产业化龙头企业发展的意见》。2001 年，全市有太仓（广东）温氏家禽有限公司、上海梅林（太仓）食品有限公司等 10 家较大规模龙头企业，资产额 37488 万元，净资产总额 20745 万元。其中资产规模超 5000 万元的有 1 家，超 1 亿元的有 2 家。全年龙头企业销售收入 64765 万元，出口创汇 1638 万美元。全市参与农业产业化经营的农户 3.5 万户。各镇龙头组织和多形式的合作联合形成“公司带农户”“协会带农户”“专业大户带农户”“服务组织带农户”4 种带动形式，带动种植业面积 11332.2 公顷，牲畜饲养 3.5 万头，禽类饲养 1700 万羽。太仓（广东）温氏家禽有限公司以“公司 + 农户”模式运作，2001 年上市肉鸡 1660 万羽，带动 1500 多户农户养鸡，其中超 5 万羽 190 户，超 10 万羽 10 户，农民获利 2300 万元；利润超 5 万元的有 45 户，超 10 万元的有 4 户。另外还带动了运输业、服务业等发展，农民增收约 3000 万元，按全市农民分摊人均增收 118 元。2005 年，全市有农业龙头企业 20 家，其中省级 3 家，苏州市级 5 家。农业龙头企业共消耗农产品数量 58.15 万吨，收购额 15.3 亿元，带动农户 5.2 万多户，促进增收 3.2 亿元。其中太仓（广东）温氏家禽有限公司上市家禽 2400 万羽，兴隆肉鸭上市 600 万羽，上市禽产品占全市份额 95%。獭兔产业完全实行规模化、产业化生产，金星公司和蒋氏合作社种、肉獭兔上市量 10 万只。

2000 ～ 2005 年太仓市农业产业化龙头企业情况表

表 130

级别	年份	企业名称
省级	2000～2005	太仓（广东）温氏家禽有限公司
	2001～2004	上海梅林（太仓）食品有限公司
	2004～2005	太仓市丝绸总公司
	2005	苏州海发渔业有限公司
苏州市级	2001～2003	太仓市丝绸总公司
	2002～2003	苏州万象食品有限公司

续表 130

级别	年份	企业名称
苏州市级	2002～2005	太仓香花桥水产综合批发市场有限公司
	2003～2005	苏州上好佳食品有限公司
	2004	苏州海发渔业有限公司
	2004～2005	太仓兴隆肉鸭制品厂
	2004～2005	太仓好滋味食品有限公司
	2005	上海梅林（太仓）食品有限公司
太仓市级	2003～2005	苏州宝利来油脂有限公司
	2003～2005	太仓双力面粉有限公司
	2003～2005	苏州高氏园林绿化有限公司
	2003～2005	太仓鹿河农业服务公司
	2003～2005	太仓市天一蔬菜有限公司
	2003～2005	苏州花园城市绿地有限公司
	2003～2005	太仓惠鹿速生杨农林服务有限公司
	2003～2005	太仓肉松食品有限公司
	2003～2005	太仓市浏家港嘉港种畜场
	2003～2005	苏州海丰食品有限公司
	2003～2005	太仓市伟达工艺品厂
	2003～2005	太仓市天湖食品有限公司

现代农业园区

【太仓市现代农业开发园区】

2003 年 3 月开始建立。2004 年 7 月完成总体规划，8 月通过专家评审。规划面积 2333.3 公顷，涉及沙溪、浮桥 2 个镇的 14 个村及其所属 211 个村民组。园区设涉农加工贸易区、特色农业创新示范区、农业产业孵化区和生态农业观光休闲区等四大功能区，先期开发面积 133.3 公顷。12 月，市现代农业园区管理处建立，副科级建制，隶属市农林局。2005 年 7 月，市政府批准《太仓市现代农业园区总体规划》。至年末，先期开发区内完成道路、河道、桥梁、绿化等基础设施建设，投资 1200 万元建设水、电、通讯网络。进入园区的种植、加工项目 20 个，总投资 8000

多万元，其中进入先期开发区域项目 6 个，投资 5000 多万元。

【休闲农业】

进入 21 世纪，休闲观光农业逐步发展。2000 年，民营企业太仓顺风针织有限公司在浏河镇新闸村建立顺风园花园山庄，占地面积 40 公顷，累计投资 1.6 亿元。2005 年 7 月，上海艳阳生物科技有限公司租用菽园建立艳阳山庄，占地面积 10 公顷，投资 1500 万元；9 月，在浮桥镇丁泾村建立艳阳农庄，占地面积 18.9 公顷，投资 1200 万元。各休闲观光农业项目都具有休闲、会议、娱乐、餐饮、住宿等功能。

农产品质量建设

【标准化建设】

2000 年，太仓市农业局着手制定太仓白蒜种子生产标准和太仓白蒜生产标准，农产品标准化建设起步。至 2005 年先后制定的江苏省农业地方标准有：太仓白蒜生产技术规程、太仓白蒜等。苏州市农业地方标准有：无公害农产品新毛香籽芋生产技术规程、无公害农产品太仓牛踏扁毛豆生产技术规程、水稻水直播栽培生产技术规程等 6 项。

【认　证】

2002 年开始农产品认证工作，至 2005 年年末，先后认证有机食品 1 个，属种植业产品，申报产量 2780 吨。绿色食品 27 个，均属种植业产品，申报面积 1975.4 公顷，产量 2551 吨。无公害食品 33 个，其中种植业产品 28 个，面积 2210.3 公顷，产量 61760 吨；养殖业产品 5 个，其中肉鸡 2 个、2604 万羽，青虾、南美白对虾各 1 个，面积 266.7 公顷，产量 1120 吨，奶牛产品 1 个，奶牛 500 头。

【商标注册】

1997 年 5 月，开始农产品商标注册工作，至 2005 年年末，先后拥有“郑和”“海思伊”“绵绵”“LISU”“鼎隆”“康甜”“马农”“板桥”“新毛”“长浮”“娄江”“丰达”“银仓”“祥乐”“玄恭”“陆渡”“太溪绿”“凤湖”“丰鹿来”“金星力克斯”等商标 20 个。

【名牌农产品】

2004 ～ 2005 年,获得江苏省名牌产品的有太仓(广东)温氏家禽有限公司的肉鸡。获得苏州市名牌产品的有城厢镇香花桥农副产品营销有限公司的芋艿、早毛豆、大白菜、香葱、马铃薯、西瓜;浮桥镇农副产品购销中心的长江中华绒螯蟹,金星獭兔有限公司的獭兔;浏河镇建中农副产品购销站的辣椒;陆渡镇农业服务公司的包菜,凤凰农副产品经营部的青虾。

【蔬菜市场准入】

2002 年,开始推行销售蔬菜市场准入机制,对入市蔬菜进行残毒检测。至 2005 年年末,先后在城区、镇区及农村各镇主要蔬菜副食品市场设立 30 个蔬菜农药残留检测室,其中 13 个检测室设有药检、仪检两套检测,17 个检测室设有药检检测,市场蔬菜农药残留检测网络基本形成。

农产品市场

1985 年,农产品购销主要由商业和供销系统直接进行采购、供应,并由两大系统中的供销社或商业网点按计划配置供应。1986 年起,农产品市场逐步放开,农民可直接到菜场销售自己生产的各类农产品。城区的菜场主要以武陵街中心菜场为主,为当时太仓县最大的农产品交易市场。1989 年,扩建和改建武陵街中心菜场,从武陵街扩至长埭弄,建成全县最大的农产品市场。90 年代,随着城区范围不断扩大,许多农产品交易市场陆续建成。1993 年,浏河镇建办农产品交易市场,1996 年,交易量为 1.4 万吨,成为周边 10 个镇农产品集散中心。同年,南郊镇建办南郊农产品交易市场。1998 年,城厢镇建办城东农产品交易市场。2001 年,城厢镇建办香花桥水产品批发市场。至年末,城区有兴业楼、东郊、古松弄、向阳、洋沙、桃园等菜市场。2002 年,桃园菜市场进行易地扩建。2004 年,西郊农产品贸易批发中心建成运行,成为太仓最大的农产品贸易批发市场。至 2005 年年末,各乡(镇)区先后建成 36 个有一定规模的农产品市场和专业经营的特色农副产品市场。如板桥香花桥农副产品集市中心,沙溪菜场、浏河菜场等综合性农产品交易市场。

工　业

卷十　GONG YE

一、概　况

1986年，全县有工业企业2879家，其中部属、省属、苏州市属企业共4家。同年，太仓工业企业开始转换企业经营机制，先后实施放权松绑、扩大企业自主权、推行厂长负责制和经营承包责任制等改革。1987年9月25日，太仓第一家太仓香港合资企业太仓环球皮革制造有限公司成立。1988年，全县核准登记私营企业3家，从业人员44人。1991年后，企业改革进入“三改一加强”（改革、改组、改造、增强企业活力）阶段，通过联合兼并、资产重组，组建国家级集团1家、江苏省级集团19家，苏州市级21家，太仓市级19家。1995年，企业改革进入以产权制度改革为核心的企业改制，改革首先在乡镇企业中展开。至1999年年末，乡镇集体企业改制结束，全市1247家乡镇企业，改制为有限责任公司164家，股份有限公司2家，股份合作制公司72家，拍卖转让939家，兼并收购52家，依法破产18家。2001年，市属国有、大集体企业产权制度改革启动，改革首先在太仓利泰纺织厂取得突破。至年末，市属26家企业涉及36个改革单元（分厂）按照“产权人格化、投资多元化、就业市场化”进行产权制度改革，改制面占80%。2002年1月，全市首次召开民营经济工作会议，营造“亲商、富商、安商”氛围，当年新增私营企业831家、个体工商户5200家。至2003年，市属部分企业进入破产程序，其余全部转制为公司制企业。国有、集体资产在太仓利泰纺织有限公司（简称利泰纺织）、苏州宏达集团有限公司（简称宏达集团）、江苏仓环铜业股份有限公司（简称仓环铜业）、太仓绿宝化工实业有限公司（简称绿宝公司）中各保留18%左右份额，其余全部退出。

至2005年，全市工业企业增至6638家，实现工业总产值680.81亿元，工业增加值占地区生产总值60%以上。工业所有制结构形成由股份制经济、外商投资（独资、合资）、民营经济和部分部属国有企业投资太仓等多种经济成分竞相发展的格局。新区形成德资企业为主的精密机械产业集群，港区形成石油化工、电力能源、基础原材料和轻工造纸等产业集群，陆渡镇形成以台资企业为主的自行车整车和零配件生产的企业集聚区。全市有外商投资企业1174家，投资总额65.51亿美元，注册资本37.11亿美元。民营企业增至5193户，个体工商户累计1.9万户，注册资本累计8.18亿元，从业人员2.81万人。

1986～2005年太仓市（县）工业主要经济指标

表131

年份	企业数（家）	工业总产值（万元）	销售收入（万元）	利税合计（万元）	利润总额（万元）	工业增加值（万元）	总资产（万元）	职工人数（人）
1986	2879	229723	128707	—	5243	38838	102173	128175
1987	3007	310848	173838	—	6484	47838	131195	136119
1988	3122	439490	265218	—	10862	68239	188962	142474
1989	3150	425613	306080	—	5810	72167	230420	142659
1990	2787	464860	319132	—	3463	80788	251790	144132
1991	2750	632842	418488	30131	9381	97980	303125	143579
1992	3094	1456878	940232	51154	26773	231909	383481	151478
1993	3016	2089724	1377950	75019	40369	356642	559191	152436
1994	3344	2554986	1537596	83894	48731	450660	688788	149811
1995	2556	1443786	1212611	63272	30494	490430	820372	130102
1996	3866	1827073	1252491	66271	33411	500365	1023932	115414
1997	3015	2083990	1357139	73942	35671	544100	1242563	107468
1998	1849	2402006	1661005	90108	45018	605001	1425171	101076
1999	2759	2664637	1916117	107807	51799	666302	908842	106425
2000	2803	3103884	2328038	151016	80103	769763	2363784	118410
2001	3846	3120233	2823605	224878	117053	775592	2186268	136318
2002	4065	3650584	3240861	297362	159496	901218	2290950	150005
2003	5096	4347899	3930626	376698	203498	1060300	3838108	173207
2004	5517	5426163	5069444	499566	270817	1306900	5325051	193364
2005	6638	6808057	6490076	610758	311579	1602200	6582936	233708

注：1986 ～ 1992 年工业总产值为 1990 年不变价，1993 ～ 2005 年工业总产值为现行价

二、工业经济结构

80 年代，太仓工业主要由县办工业、乡村工业组成，企业规模较小。1986 年，县有工业企业 2875 家（不含苏州市属以上企业），工业产值 167999 万元（1980 年不变价），乡办以上企业销售收入 106997 万元，利润总额 5621 万元。1994 年，开

展创建百强厂村活动，市委制定《创建百强厂村实施意见》，全年 90 家企业入围受表彰。1996 年，80 家企业入围，其中市属 19 家，乡镇 61 家。百强企业工业总产值占全市工业的 50%，销售收入占 60%，利税占 70%。1998 年，市委决定在百强企业中抓强中强企业，并下发《关于加强 20 强内资企业发展的意见》，20 强企业有市属 8 家、乡镇 11 家、私营 1 家，占全市企业数的 1%，销售收入占全市 20%，利税占 21%，利润占 43%。2000 年，年销售收入超 500 万元的规模企业有 281 家，工业产值 164.26 亿元，销售收入 140.53 亿元，利税 11.55 亿元，利润 5.97 亿元。2005 年，全市年销售收入超 1000 万元的规模企业有 692 家，工业产值 499.66 亿元，销售收入 498.57 亿元，利税 36.07 亿元，利润 20.04 亿元。分别占全市工业的 73.4%、76.8%、59%、64.3%。

2000～2005年太仓市规模企业情况表

表132

年份	企业数（家）	总产值（万元）	销售收入（万元）	实现利税（万元）	实现利润（万元）
2000	281	1642554	1405284	115504	59695
2001	378	1614233	1488901	150776	80672
2002	613	1983152	1904050	208484	121249
2003	620	2544483	2493843	262195	158540
2004	623	3465192	3411844	308227	192568
2005	692	4996571	4985671	360692	200432

所有制结构

【国有、大集体企业】

市（县）属企业　1986 年，全县有全民企业 42 家，实现工业总产值 27690 万元（1980 年不变价）。集体企业 1520 家，实现工业总产值 141568 万元（1980 年不变价）。之后，外向型经济兴起，县属国有、大集体企业纷纷与外商合资、合作，所有制结构发生变革。1987 年，太仓利泰纺织厂与香港华润纺织品有限公司、省纺织品进出口公司联合投资 876 万美元，成立江苏华利纺织品有限公司，从德国、日本引进全流程 2 万锭纺纱设备。同年，全县集资 3500 万元及部分借贷，在沙溪镇西七浦塘

南岸建成宏达热电厂。1989 年 12 月起,太仓针织总厂先后与新加坡富联投资有限公司合资,成立苏州富联针织有限公司,总投资 266 万美元,生产针织坯布;与香港骐骏有限公司共同出资成立苏州大仓高级制衣有限公司;与日本天允株式会社共同投资 130 万美元,成立苏州天允服装有限公司,年产 30 万件针织毛衫。1990 年,国有、大集体,乡镇企业分别占 31%、69%。1992 年,全县有国有、大集体企业 69 家,其中经内(由经委主管)国有、大集体 36 家。同年,浏河光机厂、太仓玻璃仪器厂、浏河第四服装厂、第三家具厂 4 家浏河地区轻工大集体企业联合组建太仓金帆工贸实业公司(简称金帆实业);宏达热电厂和太仓造纸厂等联合并兼并沙溪木器厂,成立宏达集团;太仓化工总厂与太仓机械总厂组建江苏金龙集团公司(简称金龙集团);太仓工艺美术服装厂与太仓皮革厂组建太仓捷达制衣公司;太仓啤酒厂与珠江啤酒集团实行跨地区联合经营等。经外企业中,太仓罐头食品厂与上海梅林食品公司联合,中联地毯厂被上海通用汽车公司收购。1996 年,国有、大集体企业的工业产值占全市的 23%。1998 年,太仓布厂进入破产程序。经过兼并重组、合资、拍卖、破产等,至 2000 年,全市有国有企业 17 家、集体企业 62 家,分别占全市企业数的 4.5% 和 16.4%。同年,经外市属企业改制全面展开。粮食系统全部转制为民营企业,商业、供销、物资系统 80% 以上改制。2001 年,国有、大集体企业的工业产值占全市的 18%。至 2003 年,全市国有、大集体企业除部分进入破产程序外,其余基本实施公司制改造。同年,港区和其他地区有一批国有企业入驻,如华能电厂、中国石油天然气股份有限公司等。至 2005 年,全市登记注册的规模国有企业 8 家,工业产值 183678 万元,利税 40482 万元;规模大集体企业 20 家,工业产值 70036 万元,利税 2789 万元;工业产值和利税分别占全市规模企业的 5% 和 12%。

1986～1992年太仓县县属企业情况表

表133

系统名称	企业数(家)	企业名称
纺织	8	太仓利泰纺织厂、太仓第二棉纺厂、太仓针织总厂(太仓经编厂)、太仓布厂、太仓服装厂、沙溪第二服装厂、浏河第四服装厂、沙溪针织厂(羊毛衫厂)
机电	10	太仓机械总厂(太仓动力厂)、太仓铜材厂、太仓冷气机厂(江南空调器总公司)、太仓无线电总厂、宏达热电厂、太仓农机二厂、太仓农机三厂、特种电机厂、浏河光机厂、太仓电子仪器厂

续表133

系统名称	企业数（家）	企业名称
轻工	14	太仓酿酒总厂、太仓啤酒厂、太仓印刷厂、太仓造纸厂、太仓塑料助剂厂、太仓注塑厂、太仓工艺美术家具厂、太仓捷达制衣公司、太仓玻璃仪器厂、第三家具厂、浏河造船厂、太仓农具五金厂、太仓包装装潢厂（纸品厂）、百科化工公司、
化建	3	太仓化肥厂、太仓化工建材厂、太仓工业搪瓷厂
粮食局	6	太仓油脂化工厂、太仓面粉厂、太仓饲料总厂、太仓粮食机械厂、太仓米厂、粮油食品厂
商业局	5	太仓罐头食品厂、太仓食品厂、太仓肉松厂、太仓糟油厂、太仓酿造厂
物资局	4	太仓煤球厂、金属回收加工厂、拉丝厂、木材公司加工厂
供销社	4	沙溪轧花厂、岳王轧花厂、王秀轧花厂、第七棉纺厂
水利局	3	太仓水利机械修配厂、太仓电镀厂、堤闸管理所高频头厂
多管局	3	太仓制线厂、太仓长江林场布厂、太仓珍珠工艺厂
城建局	3	太仓自来水厂、建筑总公司材料综合厂、建筑总公司构件厂
交通局	2	太仓造船厂、太仓汽车修配厂
文教局	3	太仓工艺美术厂、新艺印刷厂、太仓师范校办厂
标准计量局	1	计量器具检修厂

部、省属企业　1986 年，境内有部属、省属企业共 3 家。分别是纺织部直属的驻太仓企业太仓纺织仪器厂和江苏省直属的江苏省海洋渔业公司鱼品加工厂、江苏省海洋渔业公司渔轮修造厂。2001 年，太仓纺织仪器厂转制为民营企业，更名为太仓宏大方圆电气有限公司，与国家纺织总会脱钩。同年，省政府决定将江苏省海洋渔业公司下放太仓市。7 月，市政府组成改革领导小组，对其进行整体改制。至 2002 年，江苏省海洋渔业公司转制到位，国有资本全部退出。

【乡镇工业】

1986 年，全县有乡镇企业 1451 家，其中镇办企业 49 家，乡办企业 558 家，村办企业 607 家，村以下企业 237 家，共完成工业总产值 141274 万元。同年，沙溪镇与苏州孔雀电视机厂联营，开办华东无线电厂；城厢镇与上海飞跃电视机厂联营兴办太仓电视机厂；浮桥镇以生产电视机塑壳、模板形成特色产业群。1987 年 9 月 25 日，太仓与香港合资的太仓环球皮革制造有限公司成立。同年 10 月 28 日，

太仓立新布厂与香港裕东车船业运输公司合作引进首批针织圆机,合资成立裕泰针织有限公司。12 月 26 日,板桥镇与香港合资成立五洲针织有限公司。1990 年,全县乡镇企业 1083 家,职工 112725 人,总资产 185814 万元,完成工业总产值 322657 万元,销售收入 219458 万元,利税 8671 万元。乡镇工业占全县工业总量的 69%。1993 年,鹿河镇全年批办合资项目 32 个,引进外资 4995.4 万美元,成为全市外向型经济发展的典型。1995 年,全市有镇办工业 514 家,村办工业 325 家,村以下办工业 1577 家。工业产值分别为 799551 万元、325 万元、1577 万元。同年起,以集体所有制为主的乡镇工业受到外向型经济和民营经济的影响走入低谷。全市开始产权制度改革。首先在板桥、新塘、陆渡 3 个乡镇试点。1996 年,市委印发《关于进一步深化乡镇企业改革的意见》,1247 家乡镇企业开始改制,涉及改制资产总额 531914 万元,净资产 158114 万元。至年末,乡镇工业占全市工业总量缩至 46%,1998 年年末缩至 22.5%,逐步被股份合作、有限责任公司、联营、民营及外资替代。至 1999 年年末,乡镇企业改制完成。共成立股份有限公司 2 家、有限责任公司 164 家、股份合作制企业 72 家,兼并企业 52 家,破产企业 18 家,拍卖转让 939 家。其中拍卖转私营 851 家,拍卖给其他法人 62 家,拍卖给外商 26 家。

【民营工业】

1986 年,全县有个体工业 1317 户。1988 年,依据国家颁布的私营企业条例,全年核准登记私营企业 3 家,从业人员 44 人。1990 年后,个私经济发展加快。1996 年,民营工业占全市工业总量 11%。1998 年,全市民营企业 940 家,至 2000 年,个体工商户增至 12674 户,注册资本 45169 万元,从业人员 15982 人;私营企业增至 2391 家,注册资本 128386 万元,从业人员 28147 人。2001 年 3 月,市委、市政府制定鼓励个私经济发展 30 条政策,当年新增私营企业 790 家、个体工商户 4196 户。同年年末,民营工业占全市工业总量的 24%。2002 年 1 月,全市首次召开民营经济工作会议,营造“亲商、富商、安商”氛围。当年新增民营企业 831 家、个体工商户 5200 户。2004 年,全市启动民营经济 3 年倍增计划,当年增加私营企业 959 家、个体工商户 5938 户。民营企业全年完成工业总产值 287 亿元,占全市工业总产值的 52.9%。至 2005 年,民营企业累计为 5193 家,注册资本 984919 万

元，从业人员 103432 人，占全市工业总量的 36%。个体工商户累计为 18999 户，注册资本累计为 81840 万元，从业人员 28126 人。民营企业中销售收入 1000 万元以上规模企业 372 家，占全市规模企业的 53.76%。其中销售收入超 1 亿元的有 68 家。创建省级以上名牌名标 10 件。有国家级高新技术企业 1 家，省级高新技术企业 4 家，省级高新产品 6 个。有 38 家企业成立技术研发中心，其中国家级博士后工作站 1 家，省级 3 家，苏州市级 16 家。

【外资工业】

1987 年，首家外资企业落户太仓。1990 年，新办合资企业、合作企业 27 家，协议利用资金 6000 万美元。1992 年，太仓获得投资总额 3000 万美元以下的生产性外资项目审批权，全年新批外资项目 436 个，注册资本 20540 万美元。1993 年，克恩—里伯斯（太仓）有限公司、太仓托克斯冲压技术有限公司入驻新区。“八五”期末，投资国家有新加坡、澳大利亚、日本、丹麦、加拿大、美国、新西兰等。1996 年年末，外资工业占全市工业总量的 20%。1997 年，投资国家有德国、韩国、英国、泰国、意大利、瑞士、西班牙、荷兰、丹麦、英属维尔京群岛、挪威等。“九五”期间，全市新批外资企业 412 家，合同利用外资 15.33 亿美元，实际利用外资 9.63 亿美元。2001 年，单个项目注册外资 243.83 万美元，外资工业占全市工业总量的 57%。2002 ～ 2005 年，引进外资项目数略有下降，但注册外资加大。每年新批注册外资升至 10 亿美元左右，并开始出现投资超 1 亿美元的大项目。其中有投资 29770 万美元的玖龙纸业、投资 12389 万美元的舍弗勒（中国）有限公司、投资 10800 万美元的环保电厂和投资 14498 万美元的太仓中集集装箱码头有限公司（简称中集公司）。同期，全市引进合资企业 145 家，总投资 108760.53 万美元，注册资本 55987.23 万美元，合同外资金额 26355.74 万美元。引进合作企业 9 家。引进独资企业 644 家，总投资 487336.88 万美元，注册资本 309985.62 万美元，合同外资金额 308680.62 万美元。单个项目注册外资升至 558 万美元。

至 2005 年年末，全市有外资企业 1174 家，总投资 65.51 亿美元，注册外资 37.11 亿美元。外资工业产值占全市工业总量的 59%，外资工业产出总量占全市工业经济总量的 54%。外资工业中，规模企业的资产总额、工业总产值、实现利润和税收分别占全市规模企业的 45%、61%、59% 和 67%。

产业结构

80年代,全县工业有纺织、塑料、铜材、机电和化工五大支柱产业,传统的轻纺工业,尤其是纺织工业是全县工业的产业基础。1986年,全县工业主要产品产量为食用植物油8762吨、罐头3281吨、饮料酒11801吨、饲料29132吨、发酵酒精246.4万升、纱19004吨、布5635万米、印染布2035万米、针棉织品折用纱线量1042吨、毛线720吨、服装1024万件、皮鞋126万双、民用钢制船舶148艘、家具46万件、纸浆7454吨、纸8878吨、合成氨27246吨、农用化肥18432吨、涂料(油漆)442吨、化学药品原药29吨、塑料制品9309吨、砖59666万块、水泥16万吨、玻璃钢及其制品158吨、日用玻璃制品948吨、石棉制品1077吨、铜材3849吨、泵1677台、改装汽车50辆、交流电动机8万千瓦、房间空气调节器4275台、电视机81618台。同年,全县工业实施优化调整战略。至1990年年末,全县工业主要产业有机电(机械、电子、冶金)、化建(化工、建材)、轻工(塑料制品、粮油加工、造纸、印刷、家具、皮革制品、食品加工等)、纺织四大类。其中新增产业产量有电10600万千瓦时、铝材175吨、灯具及照明装置9.09万个。1991年起,调整工业产业结构,实施"发展提高纺织、壮大轻工、延伸化工"战略。至1995年年末,全县工业主要产品产量为食用植物油10727吨、饮料酒30276吨、电17514万千瓦时、发酵酒精2291.4万升、印染布7517万米、针棉织品折用纱线量9032吨、毛线12959吨、服装3685万件、皮鞋108万双、家具21万件、纸浆21746吨、机制纸及纸板34422吨、合成氨38234吨、化学药品原药710吨、塑料制品25964吨、玻璃钢及其制品702吨、日用玻璃制品3167吨、石棉制品6125吨、铜材17867吨、铝材585吨、泵4557台、改装汽车89辆、交流电动机296万千瓦、灯具及照明装置2256万个、房间空气调节器19994台、电视机145497台。1996～2000年,工业产业结构调整优化,逐步形成石油化工、精密机械、轻工食品、纺织服装、基础原材料五大主导产业。主要工业产业中部分产品产量退出产品序列,如饲料、民用钢制船舶、砖、玻璃钢及其制品、石棉制品、泵、改装汽车等。至2005年年末,初步形成基础产业、传统产业、新兴产业三足鼎立的格局。其中传统产业占35%、基础产业占31%、新兴产业占28%,其他占6%。发电、发酵酒精、纱、家具、农用化肥、塑料制品、日用玻璃制品、交流电动机、房间空气调节器、铜材、铝材等主要产业产品产量稳步增

长。其中交流电动机增幅最大，为157.05亿千瓦。全市工业主要产业有纺织、机械、电子仪器、化工医药、石油加工、电力供热、食品饮料、塑料制品、金属加工、造纸及纸制品等十大类。主要产业拥有规模企业622家，资产总额510.89亿元，固定资产净值201.73亿元，就业人数12.07万人，实现产值467.67亿元，出口产品交货值89.87亿元，销售收入465.92亿元，利税总额34.91亿元，利润19.67亿元。分别占全市规模企业的89.88%、92%、94.1%、88.51%、93.6%、90.47%、93.45%、96.79%、98.14%。全市工业产业呈现相对集聚，形成化纤加弹、自行车、汽车配件、精密机械、润滑油、电力能源、造纸、棉纺织、再生资源、塑料生产等十大集群（基地）。如璜泾镇的化纤加弹行业基地有1000多家企业，初步形成由前纺喷丝、加弹、织造、印染及服装服饰制作一体的产业链，并逐步建立起质量控测、专业市场、产品研发、品牌塑造、信息服务等支撑平台体系。璜泾加弹丝化纤产业集群、沙溪纱线产业集群列入省重点培育产业集群名单，浮桥塑业和再生资源、璜泾化纤加弹、陆渡自行车、沙溪纱线、新区光机电和精密机械等7个产业集群被苏州市政府正式命名。

1986～2005年太仓市（县）工业主要产品产量选年情况表

表134

产品	单位	年份				
		1986	1990	1995	2000	2005
食用植物油	吨	8762	8869	10727	13993	—
罐头	吨	3281	2560	876	426	—
饮料酒	吨	11801	18914	30276	27169	—
饲料	吨	29132	50935	15447	—	—
电	万千瓦时	—	10600	17514	239677	1452593
发酵酒精	千升	2464	10473	22914	38739	48644
纱	吨	19004	30602	24349	41964	122751
布	万米	5635	5790	5521	3084	4153
印染布	万米	2035	3416	7517	1517	717
针棉织品折用纱线量	吨	1042	1600	9032	—	1609
毛线	吨	720	5541	12959	7829	—

续表 134

产品	单位	年份				
		1986	1990	1995	2000	2005
服装	万件	1024	1632	3685	2341	3634
皮鞋	万双	126	101	108	59	16
民用钢制船舶	艘	148	34	15	—	—
家具	万件	46	10	21	14724	58977
纸浆	吨	7454	9061	21746	—	16483
机制纸及纸板	吨	8878	9092	34422	7460	18149
合成氨	吨	27246	32123	38234	40039	—
农用氮、磷、钾化学肥料（折100%）	吨	18432	120557	16237	12227	122359
涂料（油漆）	吨	442	471	8307	1861	1711
化学药品原药	吨	29	41	710	415	497
塑料制品	吨	9309	7964	25964	41440	10082
砖（折合量）	万块	59666	37926	33953	—	—
水泥	万吨	16	17	8	—	143
玻璃钢及其制品	吨	158	12	702	—	—
日用玻璃制品	吨	948	1298	3167	3183	5330
石棉制品	吨	1077	2373	6125	—	—
铜材	吨	3849	5423	17867	35423	25656
铝材	吨	—	175	585	500	733
泵	台	1677	1200	4557	—	—
改装汽车	辆	50	67	89	—	—
交流电动机	万千瓦	8	27	296	251063	1570527
灯具及照明装置	万个	—	9	2256	4027	2117
房间空气调节器	台	4275	10100	19994	60282	165689
电视机	台	81618	69757	145497	4109	55563

注：表中发电量含自发电量

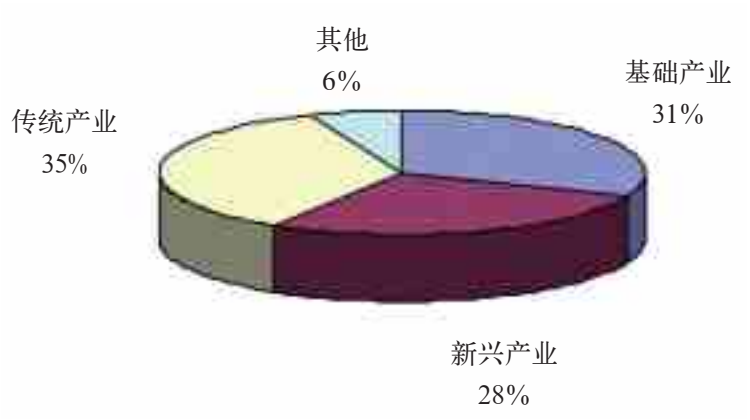


图 14　2005 年太仓市工业产业体系产值占比示意图

2005年太仓市十大产业规模经济占比表

表 135

行　业	产值(亿元)		资产总额(亿元)	
	实绩	占比(%)	实绩	占比(%)
纺织	154.49	30.92	114.07	20.54
机械	78.48	15.76	69.31	12.48
电子仪器	18.81	3.76	15.08	2.72
化工、医药	40.69	8.14	36.25	6.53
石油加工	22.93	4.59	15.50	2.79
电力、供热	44.72	8.95	157.51	28.37
食品、饮料	3.89	0.78	1.79	0.32
塑料制品	13.84	2.77	12.86	2.31
金属加工	67.58	13.52	51.10	9.20
造纸及纸制品	22.21	4.45	37.41	6.73

区域结构

80 年代，全县工业按所有制划分结构，以县属企业条线和乡镇企业块面分割管理。1991 年，在县老城区东侧，划出 7.1 平方千米土地，创办城东经济新区。1992 年，实施“以港兴县”战略，以港口开发区为中心，浏河、浮桥、璜泾等为腹地，

面积261平方千米范围,布局和构建临江工业基础产业带。先后有17家部属国有企业和7家世界500强企业入驻港口开发区,引进国内外一批基础产业大项目。1993年11月,新区被正式批准为省级开发区。自新区、港区分别建立并发展后,全市工业开始形成市属、乡镇、新区、港区4块结构,两区归市属统计。“十五”期间,全市以新区为龙头,陆渡、城厢为两翼,在面积176平方千米范围内进行生产力布局调整,构建沿沪高新技术产业带。2000年,经内工业企业有31家,实现产值23.6亿元;新区企业有40家,实现产值27.21亿元;港区企业7家,实现产值28.39亿元;经外企业29家,实现产值5.73亿元;镇村企业2693家,实现产值232.54亿元。2003年起,改制后的市属工业企业转归属地管理和统计,从此打破条块分割界限,港区、新区单独统计,形成港区、新区、镇区三足鼎立的块状区域经济格局。港区临江产业带,以石油化工、造纸及制品、电力能源为主;新区沿沪高新技术产业带,以精密机械、汽车配件、自行车产业为主;镇区包括城厢、沙溪、双凤、鹿河、浏河5个镇,以化纤加弹、纺织服装、生物医药、电子信息为主。至2005年年末,港区形成石油化工、电力能源、基础原材料和造纸四大产业基地,先后建成国内最大的高级润滑油、合成材料基地,华东最大的电力生产基地及亚洲最大的造纸生产基地;新区初步形成精密机械、电子信息、生物医药、汽车配件为主的高新技术产业带和德资工业园、陆渡自行车业、汽车配件为主的产业集聚区。3个区域经济总量分别占比为:港区24.26%、新区26.11%、镇区49.63%;经济效益:港区占30.48%、新区占40.2%、镇区占29.23%。

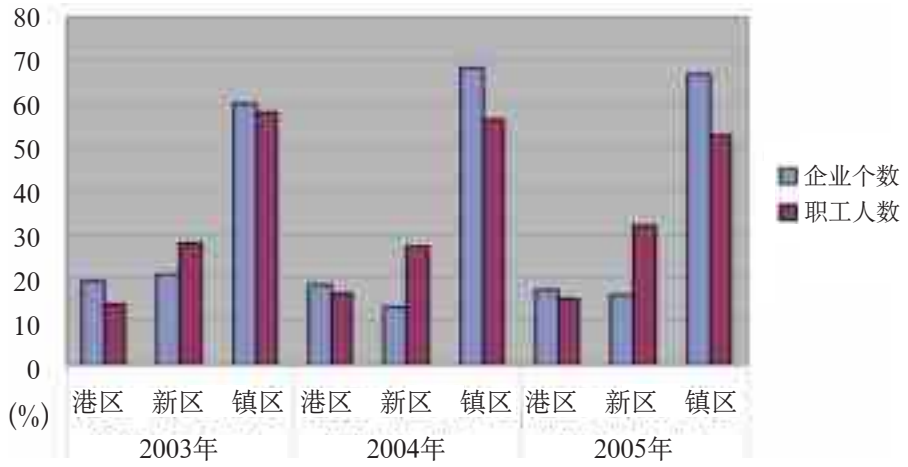


图15　2003～2005年太仓市区域块状工业企业个数、职工人数占比直方图

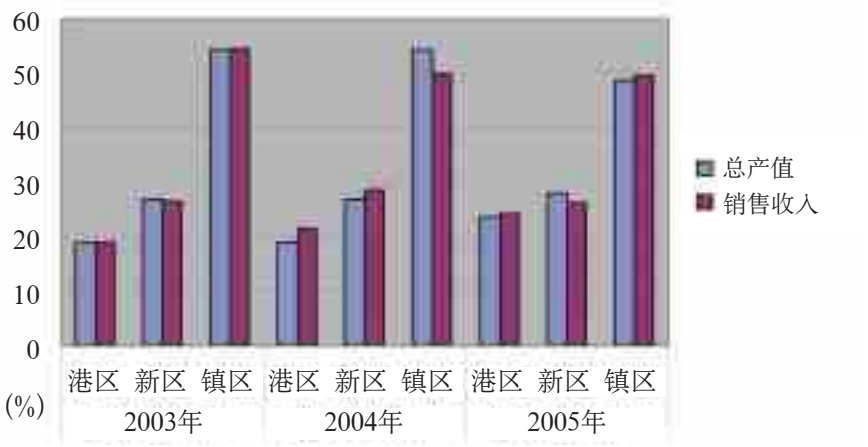


图 16　2003 ～ 2005 年太仓市区域块状工业总产值、销售收入占比直方图

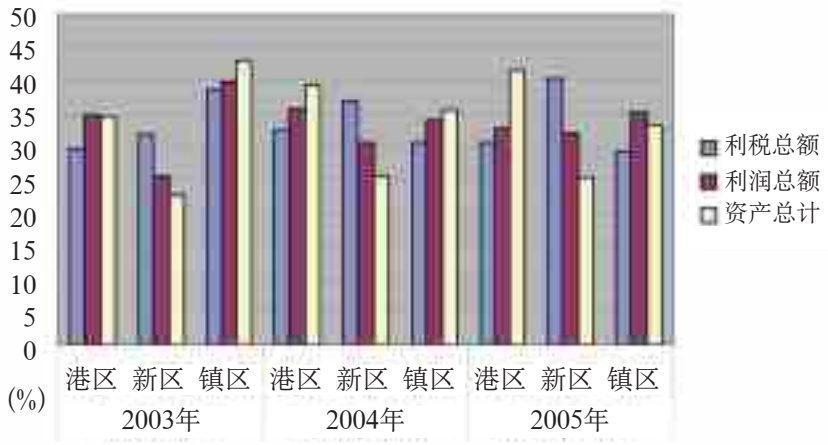


图 17　2003 ～ 2005 年太仓市区域块状工业利税总额、利润总额、资产总计占比直方图

三、制造业

纺织服装

1986 年，全县有纺织企业 187 家，完成工业总产值 61749 万元，其中国有企业完成 10040 万元，集体企业完成 51709 万元；完成企业净产值 8828 万元。乡办以上纺织企业有 92 家，实现产品销售收入 36117 万元。1990 年，全县纺织企业 266 家，其中县属企业 8 家（国有企业 1 家、集体企业 7 家）、镇办企业 17 家、乡办企业 102 家、村办企业 139 家；全行业在职职工 48572 人，其中县属企业 9200 人（国有

企业 3376 人、集体企业 5824 人)、镇办企业 3198 人、乡办企业 22667 人、村办企业 13507 人；全行业工业总产值 16.44 亿元，占全县工业总产值 35.37%。其中县属企业 4.09 亿元、镇办企业 1.65 亿元、乡办企业 8.07 亿元、村办企业 2.63 亿元。20 世纪末，市纺织工业调整产权、产业结构，国有资产退出纺织行业，产业向高劳动生产率、高附加值转移。2005 年，全市纺织企业 1630 家，从业人员 96470 人；其中规模企业 286 家，从业人员 66240 人，实现工业总产值 154.49 亿元，占全市规模企业 30.92%。

【棉　纺】

1985 年，全县有棉纺企业 13 家，拥有棉纺锭 129472 枚，年产各类纱 19512 吨；毛纺锭 8972 枚，年产绒线 2397 吨；在职职工 6754 人。1986 年，全民企业太仓利泰纺织厂以生产纯棉、混纺纱为主，集体企业太仓第二棉纺厂以生产纯棉精梳纱为主，乡镇企业太仓第三棉纺厂以生产人造棉为主，三足鼎立撑起全县纺织工业的半壁江山。其中太仓第二棉纺厂实现产值 1585.32 万元，利润总额 55.14 万元，在职职工 810 人。1988 年，组建沪太纺、织、染联营企业办公室，组织生产销售纯棉纱、布。以太仓利泰纺织厂为主体的 20 多家企业集资入股，成立醒狮纺织品联合(集团)公司。1992 年起，在全行业内分 3 年淘汰落后纺锭 27262 枚，其中报废 13528 枚。1993 年，太仓利泰纺织厂争取到国家低息贷款 2300 万元，国家拨汇 350 万美元；淘汰“1”字头细纱机 105 台，更新国产 FA 系列细纱机 86 台。至 1996 年，市属棉纺行业拥有自动络筒机 18 台，精梳机 79 台，清钢联 4 套；精梳机万锭配套 7 台，自动络筒机万锭 1.8 台。1997 年，乡镇棉纺企业实施产权制度改革，集体资产全部退出，私营个体棉纺企业迅速发展，棉纺业在沙溪地区形成产业群，拥有 70 万枚纺锭。1999 年，“醒狮”牌棉纱获江苏省名牌产品。2001 年，全市生产布 3606 万米、纱 43883 吨。2002 年，市属国有、集体棉纺企业实行改革转制，国有资产在利泰纺织公司保留 18.21% 份额，其余退出企业。2003 年，改制后的利泰纺织公司引进 2 万锭先进纺纱设备，组建第四纺纱车间，总锭数 18 万枚。至 2005 年，全市棉纺规模企业拥有纺锭 121.41 万枚。

【织　造】

机　织　1985 年，全县拥有梭织机 2975 台，其中棉织机 2235 台，年产棉纱

5143 万米；毛织机 80 台，年产呢绒 34 万米；丝织机 660 台，年产丝织品 486 万平方米。1986 年，全县生产棉混纺交织布 355.4 万米，色织布 55.95 万米，丝织品 442.23 万米。1990 年，太仓第六布厂投资 260 万元，增添国产 GA741 型剑杆织机 76 台，实现纺织业无梭织机零的突破。1992 年，引进日本田驹公司生产的 ZA205I-190 型喷气织机 96 台；太仓利泰纺织厂引进日本丰田公司喷气织机，结束该厂单纺的历史；太仓锦绣丝绸厂引进国产 GD752 型喷水织机和日本 LW54 型喷水织机各 48 台。1993 年，太仓布厂引进 96 台喷水织机，其中进口 66 台，国产 30 台。至 1995 年，太仓利泰纺织厂用 3 年时间引进日本丰田公司喷气织机 108 台。1998 年 5 月，太仓布厂递交关于申请破产案预审的报告，6 月 19 日，市法院首次立案受理市属企业申请破产案，太仓布厂进入破产程序。2001 年，全市生产棉纺交织布 1319 万米。2005 年，全行业拥有无梭织机 472 台，其中利泰纺织公司 272 台。

针　织　1985 年，全县有针织企业 52 家，其中县属企业 2 家、镇办企业 1 家、乡办企业 23 家、村办企业 26 家。拥有经编机 50 台，纬编机 26 台，棉毛车 126 台，台车 35 台，横机 2011 台。工业总产值 16481.4 万元，占纺织行业工业总产值的 32%。1989 年 12 月，太仓针织总厂与新加坡富联投资有限公司合资，成立苏州富联针织有限公司，投资总额 266 万美元，主要生产针织坯布。1990 年 10 月，该厂又与日本天允株式会社合资，投资 130 万美元，成立苏州天允服装有限公司，主要生产针织毛衫，生产能力 36 万件（套）。同年，太仓县江南羊毛衫厂与日本哈芙布拉德株式会社、香港哈芙布拉德有限公司三方合资，投资 57 万美元，成立苏州哈芙布拉德针织有限公司，主要生产针织毛衫，年生产能力 25 万件（套）。1992 年，太仓针织总厂从德国引进 168　E36 型细针距经编机、130　E32 阔幅毛圈经编机 15 台。1993 年，该厂与香港永峰有限公司合资成立苏州仓利针织有限公司，投资 32 万美元，引进检针机和先进的成衣设备。1996 年，太仓针织总厂引进 32 针精细绒经编机 10 台。2002 年 2 月，苏州怡成服饰有限公司从国外引进 10 台高端设备，开始创立“锦典”羊绒衫、羊毛衫、针织服装系列的自营品牌。2004 年 3 月，该公司投资 3000 万元兴建后援基地苏州浩和毛纺织有限公司。2005 年 10 月，又投资 300 万元兴建与其配套的染色厂，使“锦典”自营品牌，形成集原料、纺纱、染色、织造、成衣一体化的毛衫生产产业链。至年末，全市针织规模企业 28 家，全年工业总产值 6.66 亿元，占全市纺织工业总产值的 4%。

【服装服饰】

1986年,全县生产服装1024万件。1987年，县服装公司由县轻工工业公司划归县纺织工业公司管理。同年,全县有服装企业34家,服装生产流水线34条,缝纫机4950台,年加工能力1200万件(套)。主要加工成品服装,产品有高档西服、羽绒服、休闲茄克、衬衫、针织服装等。1990年1月,太仓针织总厂与香港骐骏有限公司共同投资,成立苏州大仓高级制衣有限公司(江苏大仓集团有限公司的前身),生产和销售各式男女高档时装。1993年9月28日,江苏雅鹿实业股份有限公司(江苏雅鹿集团有限公司的前身)成立,成为全省乡镇企业第一家定向募集的规范化股份公司。1994年,太仓第三服装厂和香港宏伟发展有限公司共同投资,成立苏州蓝天时装有限公司。1998年,江苏雅鹿集团有限公司(江苏新雅鹿集团有限公司的前身)的“雅鹿”牌茄克衫,苏州大仓高级制衣有限公司的“大仓”牌时装获江苏省名牌产品。至2001年,服装服饰企业增至85家,其中机织服装企业45家,针织服装企业25家,服饰、辅配企业7家,鞋类、手套企业8家。江苏新雅鹿集团有限公司(简称雅鹿集团)和江苏大仓集团有限公司(简称大仓集团)有自主品牌。工业总产值31.81亿元,销售收入30.09亿元,利税总额3.45亿元。2005年,全市服装服饰行业形成三大企业群:雅鹿集团的羽绒、休闲服生产企业集群,以大仓集团代表的服装出口生产企业集群,浮桥衬衫服装生产企业集群。拥有服装服饰企业270家,年产各类服装12000万件,其中规模企业42家,生产各类服装3634万件。

2005年太仓市服装服饰规模企业主要经济指标一览表

表136　　单位:万元

企业名称	总资产	总产值	销售收入	利税合计	利润总额	出口总值
苏州吉星纺织制衣有限公司	312.4	1437	1386.8	−147.3	−154.5	1355
苏州祥瑞纺织服饰有限公司	430.3	1334	1546.7	23.3	12.0	956
苏州雪原时装有限公司	432.0	1047	1002.0	45.0	17.0	0
太仓市圣仓制衣厂	774.3	2191	2230.0	84.0	10.1	0
太仓市锦宇服装有限公司	815.0	1518	1481.0	106.3	7.0	1413
太仓市沪太时装厂	949.0	1220	1031.0	18.7	2.5	583
苏州鸿源制衣有限公司	1080.9	870	870.0	195.2	193.3	585

续表 136

企业名称	总资产	总产值	销售收入	利税合计	利润总额	出口总值
苏州银鹿服饰有限公司	1162.0	1860	1740.9	86.7	22.8	0
苏州井村服饰有限公司	1325.0	2345	2356.0	90.7	6.2	0
太仓大野时装有限公司	1452.7	2297	2418.0	279.0	232.0	2077
太仓申金时装有限公司	1494.4	1896	1758.9	25.0	12.0	390
苏州金信制衣有限公司	1639.0	2340	2243.6	−19.9	−106.9	2097
太仓市捷达实业有限公司	1666.2	3640	3749.7	92.1	31.1	3640
苏州依思时装有限公司	1731.5	3252	3237.8	130.3	121.7	2670
太仓中岳服装有限公司	1792.9	3749	3681.8	−200.1	−206.1	3451
苏州圣祖时装有限公司	1842.9	2214	2210.5	193.7	193.7	1659
太仓市华升服装有限公司	1909.5	5016	4996.3	57.1	46.8	4873
葆金运动器材有限公司	1955.9	1328	1378.8	−102.3	−102.3	1074
苏州山木服饰有限公司	1964.0	6043	6000.0	749.6	747.9	4037
苏州蓝天时装有限公司	1999.0	4374	4257.0	263.0	217.0	3438
苏州欣宇服装公司	2054.3	1359	1330.8	−37.6	−71.7	0
华利安(太仓)运动服装有限公司	2088.7	3264	3062.6	1118.0	1030.3	2648
苏州盈盈服装有限公司	2389.4	2472	3016.1	72.5	22.7	2617
苏州开开天德制衣有限公司	2392.9	2771	2770.7	−62.1	−62.1	1986
苏州大威时装有限公司	2409.7	3142	3262.1	275.3	270.6	395
苏州锦超服饰有限公司	2526.8	6614	6602.1	277.1	130.4	1558
苏州欣麟制衣有限公司	2763.9	5389	5373.2	850.3	839.2	4970
苏州三大制衣有限公司	3003.8	2873	4104.1	97.8	60.9	2304
全龙纺织(苏州)有限公司	3232.7	2340	2524.0	139.7	136.9	2340
派士(苏州)纤维制品有限公司	3269.5	3738	3765.3	−250.1	−250.1	0
苏州东京时装有限公司	3326.7	3885	3775.8	260.6	235.3	3885
太仓东隆服饰有限公司	3379.4	3293	3140.4	−731.0	−782.8	0
太仓雪莉服装有限公司	3453.9	3821	4296.0	85.0	85.0	3631
苏州斯曼尔时装有限公司	3641.7	9575	9496.9	1581.7	1581.7	8915

续表 136

企业名称	总资产	总产值	销售收入	利税合计	利润总额	出口总值
苏州明阳鞋业有限公司	3758.1	3474	2971.2	−69.1	−69.1	3131
苏州明勋鞋业有限公司	3879.3	5755	5446.2	1089.9	1089.9	5488
太仓市沙溪镇服装有限公司	4420.3	7214	8029.2	877.6	820.6	7214
苏州群鸿服饰有限公司	4869.3	2874	3010.7	672.3	373.8	0
得泰医疗卫生用品(苏州)有限公司	5410.7	3050	2962.6	429.7	429.7	3010
江苏大仓集团有限公司	6224.8	7856	8421.0	755.2	720.1	6742
江苏香塘集团有限公司	72802.3	19456	19213.2	1631.4	1526.8	17623
江苏新雅鹿集团有限公司	134015.6	120461	123925.8	8178.4	5469.6	0

【化　纤】

80 年代初,全县有 4 套化纤生产设备,其中 2 套长丝生产设备,2 套短纤生产设备,年产长丝 300 吨、短纤 2400 吨。1986 年,全县化纤产量 1055.2 吨。90 年代中期,璜泾化纤加弹业迅速发展,全镇有 70% 的农户办厂从事加弹业生产。2000 年,璜泾镇拥有化纤加弹车 680 多台套,其中高速纺 250 台套,从事生产、经营、加工户 1160 户,年产各类成品加弹丝 30 万吨,占全国总产量的 15%。璜泾加弹丝市场成为全国规模最大的专业市场,被中国纺织报誉为“中国加弹第一镇”。至 2003 年,先后有江苏申久集团、浙江桐昆集团等一批上游产品生产企业投资太仓,生产 DOY 原丝和特种丝。同年 8 月,江苏香塘集团有限公司(简称香塘集团)与太仓市金辉化纤实业有限公司共同组建太仓振辉化纤有限公司。2004 年,投资 2.5 亿元,从日本引进国际最先进的 TMT 设备,年产功能性差别化超细丝纤维 6 万吨,建成全国第一的“超细丝纤维产业基地”。同年 10 月,太仓市化纤产品检测中心成立。12 月,璜泾镇被中国纺织工业协会、中国化纤工业协会和江苏纺织协会分别授予“中国化纤加弹名镇”和“江苏化纤加弹名镇”称号。2005 年,江苏申久集团联合上海银夏投资公司、太仓工业投资公司和璜泾集体资产经营公司,投资 150 亿元,规划建造 5 平方千米精对苯二甲酸(PTA)化纤产业城。至年末,境内形成以璜泾加弹产业为主,两头延伸的化纤产业集群区。集群区横跨璜泾、沙溪、浮桥 3 个镇区,面积 360 平方千米,集群区内拥有各类化纤企业 1200 多家,生产品种几十种。其中璜泾镇拥有各类相关企业 1023 家,1000 万元以上规模企业

106 家，年产涤纶加弹丝 70 多吨，占全国加弹丝生产总量的 20%。全市化纤产业实现工业总产值 86 亿元，比上年增长 25%，占全市工业经济总量的 13%。实现产品销售收入 84.6 亿元，比上年增长 24%，占全市工业销售收入的 13%。

机电冶金

【冶金工业】

黑色金属冶炼及压延加工业　1986 年，全县黑色金属冶炼及压延加工业有乡镇企业 5 家。茜泾的县钢铁厂规模较大，璜泾、双凤、新毛的企业偏小。主要设备有熔铁炉、320 轧机与 250 轧机。主要产品有钢锭、钢材、铸钢等。由于设备不配套，缺乏深加工产品，5 家企业均亏损。至 90 年代初，5 家企业相继被市场淘汰。90 年代中后期太仓港区开发建设，给黑色金属冶炼及压延制造业带来新机遇，苏州隆兴钢铁加工有限公司等企业落户港区。1996 年，全市有黑色金属冶炼及压延加工业 3 家，产值 1969 万元。2005 年年末，行业内拥有规模企业 9 家，总资产 9.55 亿元，实现工业总产值 12.72 亿元，销售收入 11.97 亿元，完成利税 3098 万元。其中 2 家企业亏损，亏损额 950 万元。

有色金属冶炼及压延加工业　1986 年，全县有有色金属冶炼及压延加工业 23 家，其中县属企业 1 家，乡镇村办企业 22 家。主要产品有电解铜，铜管，铜带，铜线锭，铝、锌、铅合金及铝型材，复塑板和铜带、铝材的深加工产品等。产品结构除太仓铜材厂较合理外，其余均不尽合理。90 年代，以太仓铜材厂为代表的有色金属行业进行技改创新、产品升级。1996 年，全市有有色金属冶炼及压延加工业 26 家，产值 144484 万元。2002 年，太仓铜材厂转制为江苏仓环铜业股份有限公司，成为省高新技术企业，生产的“仓环”牌铜管是省名牌产品，形成四大系列上千种规格，具有“小、薄、专、精”的特色。省高新技术企业金鑫铜管有限公司生产的“金仓”牌铜管系列产品为苏州市名牌产品。太仓富豪铜业有限公司、太仓南丰特种有色合金厂、太仓永丰有色金属合金有限公司、怡球金属太仓有限公司、苏州新太铜高效管有限公司、鼎泰铝业科技（太仓）有限公司等企业，均是全市的 100 强企业。至 2005 年年末，行业内规模企业 22 家，总资产 15.33 亿元，实现工业总产值 25.24 亿元，销售收入 25.33 亿元，完成利税 1.43 亿元。规模企业生产的主要产品铜材（铜加工材）25656 吨，铝合金 27067 吨，铝材 733 吨。

【电子工业】

1986年,全县有电子企业52家,其中部属企业1家,县属企业3家,乡镇26家,村办22家。固定资产1674万元,从业人员4390人。实现工业总产值9820万元,占全县工业的4.27%。部属太仓纺织仪器厂有一定规模实力,其他企业实力单薄,规模小,名优特产品少。产品以消费类电子应用产品和基础元器件为主。部优产品有LGA0810、0410固定电感器和RJ13金属膜电阻;省优产品有东华牌44D1-3型黑白电视机、棉花收购结价器、偏转线圈、浩喜电源滤波器等。至90年代初,黑白电视机是电子行业的主体,产值占全县电子行业80%。主要生产厂家为县属太仓无线电总厂和沙溪镇东华无线电厂,年产20万～30万台黑白电视机,其中约70%是为上海、苏州的电视机厂加工装配。1995年,全市生产电视机145497台,电子元件44903万个。2002年,太仓宏大方圆电气有限公司实现工业总产值3381万元,同比增长29.14%,实现利税239万元。2003年,全市有电子行业规模企业11家。至2005年年末,全行业有规模企业20家,总资产15.08亿元,从业人员8190人。全年实现工业总产值18.82亿元,出口交货值12.77亿元,销售收入19.14亿元,完成利税9821万元,利润7637万元,产值占全市规模企业总量的3.76%,比上年增加1.54%。生产彩色电视机55563台。

【机械工业】

1986年,全县有机械工业企业157家,涉及电器机械及器材制造,通用、专用设备制造,交通运输设备制造等领域,从业人员16500多人,其中工程技术人员占1.28%。固定资产7380多万元,实现工业产值2.34亿元。产品以农机、冷气机、电机、煤机、除尘设备和轻纺机械、通用标准件为主。设备大部分居60年代至70年代水平,产品大部分居中、低档水平。90年代后期,陆渡形成以台资企业为主体的自行车及其配件制造集群,新区出现以德资企业为主体的精密机械制造集群。特灵空调有限公司、艾欧史密斯电气产品(苏州)有限公司、舍弗勒(中国)有限公司等落户和加盟,提升了全市机械制造业的技术水平和生产装备水平。至2005年年末,全行业有规模企业125家,从业人员23900多人,总资产98.65亿元。全年实现工业总产值89.84亿元,销售收入89.05亿元,完成利税4.93亿元,利润3.13亿元,居全市工业第二位。

电器机械及器材制造业 1986年,有企业22家,其中县属企业2家,其余分

属全县19个乡镇。初具规模的有县属企业太仓冷气机厂、特种电机厂和乡镇企业浏河电机厂、娄东电机厂。1991年，生产空调器21983台、去湿机4133台、耐氟电机28901千瓦、电梯电机5105千瓦、普通电机36486千瓦。1993年，太仓冷气机厂引进美国热交换器生产线投产，工效提高3倍。1994年，太仓冷气机厂更名为江苏江南空调器总公司，1995年与美国标准公司合资，在新区成立年产20万台空调器的特灵空调有限公司。同年，浏河电机厂组建电机集团，铝壳电机生产形成规模。娄东电机厂与上海电气集团电机厂联营成立电机分厂，普通电机生产上规模、系列化，成为太仓100强企业。2000年，特种电机厂在新区建设10万台制冷压缩机用电动机生产线，扩大生产耐氟电机。2003年，特种电机厂被美国艾欧史密斯公司收购，成为独资企业。至2005年年末，全行业有规模企业29家，从业人员6346人，总资产18.62亿元。生产的主要产品有交流电动机1570527千瓦，房间空气调节器165689台。全年实现工业总产值27.4亿元，销售收入27.83亿元，完成利税1.21亿元。其中6家亏损企业，占20.69%，亏损额7058万元。

通用设备制造业　1986年，有企业55家，其中县属企业6家，乡镇企业49家。县属企业有一定规模，乡镇企业规模较小。固定资产5300多万元，其中县属企业1300多万元。实现工业总产值1亿多元，其中县属企业2600多万元。拥有金属切削设备及锻压设备3129台套，其中县属企业607台套。专用设备有50.5吨化铁炉24台，2093千瓦电阻炉31台，885千瓦盐熔炉10台，1042千瓦井式炉16台，100千瓦感应高频电炉1台及造型机7台。设备大部分居60年代至70年代水平。井式炉、感应高频电炉、造型机均集中在县属企业。产品有环保类、农机类、煤机类、仪器仪表类、冶机类等，电通信机械的电缆成绞机，筑路机械的沥青泵、保温旋阀，纺织机械的人造毛皮机、浆丝机，造纸机械的造纸机、榨油机，标准件的紧固件、阀门等，产品门类多，但多数属中低档水平。部优产品有旋耕机，省优产品有外注式单体液压支柱，苏州市优产品有PL型单机除尘器机组及纸箱上油印刷机。90年代起，生产逐渐萎缩。1996年，机械总厂开发出机电一体化产品旅客登机桥，市场前景广阔。但因多种原因，中途夭折，企业濒临倒闭。至2003年，市属企业全部解体或转制为民营企业。部分乡镇企业由于结构调整得当，得到较快发展。王秀镇的太仓液压元件有限公司专业生产厚质油类的输送设备，2004年被认定为苏州市高新技术企业。民营企业汤氏印刷器材有限公司、新阳光机械制造有限公司、金祥麟机械有限公司等，均为苏州市名牌产品的生产企业。太仓磁力驱

动泵有限公司是苏州市高新技术企业,生产的塑料磁力泵是江苏省高新技术产品。至2005年年末,有规模企业41家,从业人员6705人,总资产30.53亿元。全年实现工业总产值34.15亿元,销售收入32.98亿元,完成利税1.91亿元。其中5家亏损企业,占12.2%,亏损额271万元。

专用设备制造业 沙溪镇办企业太仓汽车配件厂,是全县第一家专业的汽配设备生产厂,江苏省机械厅定点企业。主要生产汽车万向节总成。CA-10万向节是苏州市优质产品。1986年起,该厂开发生产方向器总成、传动轴承总成和罗拉轴承等产品。1991年销售收入327万元。90年代后期,新区以德国外商投资为主的汽车配件产业迅速壮大。至2001年,有依纳轴承(中国)有限公司、慧鱼(太仓)建筑锚栓有限公司、克恩—里伯斯(太仓)有限公司等11家知名企业相继落户新区。2003年,高盟机械(太仓)有限公司、全宇精密汽车配件(太仓)有限公司、和承汽车配件(太仓)有限公司、太仓信隆车料有限公司、平和精工汽车配件(太仓)有限公司等日资、韩资企业加盟,企业增至22家。2004年,舍弗勒(中国)有限公司投资2亿欧元,在太仓建设面向日本、美国、韩国市场的汽车专用配件生产基地,系列产品有汽车发动机高精密轴承、液压挺杆、汽车电子设备系统、汽车安全带弹簧、汽车专用高强度紧固件、汽车专用无纺布及其他汽车零配件。其中液压挺杆、汽车电子信息、安全弹簧、汽车专用座椅、汽车专用成型地毯、高强度紧固件等产品在同行业中处领先主导地位。至2005年年末,有规模企业21家,从业人员2633人,总资产6.31亿元。全年实现工业总产值6.54亿元,销售收入6.5亿元,完成利税3321万元。其中6家亏损企业,占28.57%,亏损额634万元。

交通运输设备制造业 1986年,有企业16家。其中省属和县属企业各1家,乡镇企业14家。分布在城厢、浏河、沙溪等12个乡镇。从事汽车、农机修理改装的企业11家,船舶修造的企业5家。其中浮桥金属车辆厂改装的多功能警车通过省机械厅鉴定。太仓造船厂制造的钢质船舶质量在苏州市同行中名列第一。进入90年代,太仓汽车产业受政策影响,缺乏定型车型。小吨位船舶修造市场空间越来越小,企业连年亏损,相继停业或转产。代之而起的是中国台湾客商在陆渡镇投资兴办的自行车制造业。1993年,第一家台资自行车车料企业落户陆渡。之后,宏光车料(太仓)有限公司、超汇桂盟传动(苏州)有限公司、太仓信隆车料有限公司、苏州福而康车料有限公司等配件企业及见诚自行车(太仓)有限公司等整车企业相继

加盟。至2002年，自行车及配件企业发展到55家，投资总额4.53亿美元，注册资本2.3亿美元。2005年年末，陆渡自行车产业集群初具规模，企业56家，有5家整车厂，年生产能力500万辆自行车。55家再生产企业，实现销售收入23.06亿元，利润3202.35万元。列入规模企业34家，从业人员8302人，总资产18.31亿元，生产自行车1996353辆，实现工业总产值21.75亿元，销售收入21.67亿元，完成利税1.48亿元。规模企业中有亏损企业12家，亏损额3905万元。

精密机械制造业　1993年，第一家德资企业克恩—里伯斯（太仓）有限公司入驻新区。1996年，7家德国独资企业落户新区，总投资4500万美元。其中依纳轴承项目投资3000万美元。其余6个项目为中、小型项目，但项目的技术含量普遍较高。克恩—里伯斯汽车安全带卷簧、斯蒂尔园林动力机械、依纳滚针轴承、慧鱼建筑紧固件系列产品等，技术水平均居同行业领先地位。2003年，依纳轴承（中国）有限公司投资1.6亿欧元，建设“依纳工业园”。至2005年年末，全市德资企业发展到59家，一个以新区为龙头的精密机械产业集群逐步形成，太仓成为国内德资企业密度最高，发展最好的县市之一。全市精密机械企业47家，总资产54.61亿元，其中固定资产18.58亿元，年销售额50亿元。

【金属制品业】

1986年，有独立核算的金属制品企业33家，其中县属企业1家，乡镇企业32家。非独立核算的村办企业100多家。全行业固定资产3700多万元，实现产值1.12亿元，从业人员10300多人。主要产品有建筑五金、印铁制罐、金属丝网、钢窗、铁制小农具、铸件及电镀产品等。县属农具五金厂生产的大力牌镰刀、新湖钢窗厂生产的32M/M实腹钢窗、王秀建筑搪瓷厂生产的清泉搪瓷浴缸等是省优产品。90年代初，大部分企业被市场淘汰，产业层次和科技含量比较高的金属制品业逐渐形成。90年代后期开始有中集公司、美固龙金属制品（中国）有限公司、苏州悦贸金属制品有限公司等企业落户太仓。集装箱制造成为全市主流特色的金属制品业。2005年5月，中集公司一期工程年产15万个集装箱生产线投产。至年末，全行业有规模企业35家，其中8家为市100强企业，从业人员6502人，资产总额22.35亿元，实现工业总产值19.1亿元，完成销售收入19.77亿元，利税8040万元。主要产品金属集装箱，年产量602007立方米。8家亏损企业，亏损额2648万元。

粮油加工业

1985年,粮油饲料加工企业有太仓米厂、新毛米厂、直塘米厂、岳王米厂、太仓面粉厂、太仓油脂化工厂、太仓饲料一厂等,拥有职工520人,年加工大米15921吨、面粉17398吨、挂面1502吨、食用油8017吨、饲料21487吨,完成产值3652万元、创利227.5万元。1986年,全县食用植物油产量8762.4吨。90年代中期起,粮油加工逐年下滑。1998年,粮油加工企业9家,完成产值24096万元,利税亏损近500万元,仅有太仓双力面粉厂完成产值10932万元,创利税220万元。全系统生产食用植物油8893吨、配合饲料1587吨。之后,粮油加工行业相继改制、重组、兼并、拍卖、转产。2001年,全市粮油加工企业6家,至2005年年末,剩下2家。全年完成产值7713万元、利税亏损83万元。其中太仓双力面粉有限公司完成产值6187万元,利税亏损175万元 ,生产面粉28627吨。太仓粮油化工有限公司实现销售收入464万元。

食品加工业

1985年,全县有食品加工企业39家,职工4394人。生产传统的肉松、糟油、叶复隆黄酒等名特优产品和白酒、汽酒、罐头食品、糖果、糕点等,完成产值4649万元。1986年,全县生产罐头3281吨,饮料酒11801吨,食品工业总产值10457万元。90年代中期,食品加工企业进入改制、重组、兼并、拍卖、开发阶段。1998年,全市有太仓酿酒总厂、太仓啤酒厂、太仓罐头食品总厂、江苏海洋渔业总公司食品加工厂、太仓肉松厂、太仓糟油厂、太仓酿酒总厂、苏州宏达酶制剂有限公司、太仓冠生园食品有限公司、太仓兴达制罐有限公司、苏州长富食品有限公司等11家食品加工规模企业。拥有职工2147人。完成产值50539万元,创利税1922万元。全年生产啤酒22227吨、黄酒2641吨、酶制剂15858吨、罐头29吨。其中太仓罐头食品总厂、江苏海洋渔业总公司食品加工厂、太仓糟油厂等3家企业亏损。太仓兴达制罐有限公司固定资产逾4500万美元,年产各种规格饮料、食品罐2亿个、易拉罐50亿个,完成产值28187万元,创利税893万元,分别占全市食品加工企业的55.77%和46.46%。太仓飞凤食品厂、太仓好滋味有限公司等3家企业生产

的燻鸡，年产值均在1000万元以上，在第六届中国国际食品博览会上“飞凤”燻鸡获“中国名牌食品”称号。太仓肉松食品有限公司、太仓市文祥食品有限公司等企业，年销售肉松200多吨。2002年，全市有食品加工规模企业10家，全年生产罐头710.3吨，糖果875吨、饮料酒28314吨。完成产值61286万元，创利税5043万元，分别比1998年增长21.26%、162.38%。同年，太仓酿造集团（含太仓啤酒厂、酿酒总厂）被青岛啤酒厂兼并，太仓罐头食品总厂被上海梅林食品公司兼并，江苏海洋渔业总公司食品加工厂转制为民营企业。2005年，全市有苏州宏达酶制剂有限公司、乐宝食品有限公司、苏州上好佳食品有限公司、江苏海江食品有限公司、太仓兴达制罐有限公司、太仓兴达食品有限公司等6家食品加工规模企业。总资产58438万元、销售收入40958万元、利税2969万元（不含苏州宏达酶制剂有限公司，其经济指标归苏州宏达集团统计）。

饮料制造业

1986年，全县有1家浏河镇办的太仓万茂食品饮料厂，完成产值38.63万元。1990年发展为2家，完成产值312万元，创利税18万元。1995年，外商独资建办和路雪（中国）有限公司太仓分公司，生产冰淇淋等，固定资产原值48716万元。1998年，全市有饮料制造企业2家，完成产值16115万元、创利税2000万元。2005年，2家饮料制造企业完成产值23701万元、创利税3377万元，分别比1990年增长74.96倍、186.61倍。

木材加工业

1985年，全县有太仓木器厂、木材公司加工厂等16家木材加工企业，完成产值427.51万元，创利税63万元。1986年，木材公司加工厂完成产值94.81万元，利润总额10.27万元，产品销售收入21.63万元，职工20人。1994年，太仓木器厂被宏达集团兼并。至1998年，全市剩1家木材加工企业，完成产值769万元。2000年起，外资、民营木材加工企业崛起。至2004年，全市有太仓朝阳木业有限公司、太仓精工漆木器有限公司、太仓金帝木业有限公司、太仓欧亚标准板材有限公司等4家规模企业，完成产值22876万元，创利税480万元。2005年，4家规模

企业实现销售收入26655万元、创利税1327万元。其中太仓朝阳木业有限公司实现销售收入19348万元、利税705万元,太仓欧亚标准板材有限公司实现销售收入3124万元、利税272万元。

家具制造业

1985年,全县有太仓工艺美术家具厂、第三家具厂等32家家具制造企业,完成产值2336.33万元、创利税296万元,年生产木制家具13万件、全钢家具7万件、沙发5.6万件、日用木制品2866件。1986年,全县生产家具46万件,完成产值1422.9万元。其中太仓工艺美术家具厂完成产值107.63万元,利润总额5.58万元。1990年,有家具制造企业25家,完成产值1388万元、创利税10万元。1998年,全市家具制造规模企业1家,完成产值10384万元。2000年起,在外资、民营企业带动下,家具制造业逐渐发展。至2005年年末,全市有家具制造规模企业6家,完成产值38770万元,创利税1387万元。年生产家具(包括床垫、沙发)58977件。其中苏州舒适家具有限公司实现销售收入8082万元、创利税579万元,公司注册商标品牌"舒宝牌"获全国知名品牌称号;苏州维庆家庭用具制造有限公司拥有总资产3809万元、实现销售收入2325万元、创利税142万元;伸保家具(苏州)有限公司实现销售收入2242万元。

造纸及纸制品业

1985年,全县有太仓造纸厂、归庄造纸厂、陆渡纸箱厂等造纸及纸制品企业22家,完成产值1366.64万元,创利税120.42万元,生产机制纸浆6165吨,各种卫生纸、瓦楞纸、箱板纸等6713吨,各种纸盒9080万个,纸箱73万个。1986年,全县造纸工业实现产值1314万元,纸浆生产量7454吨,机制纸及纸板产量8877.7吨。1990年,造纸企业减至7家,完成产值2487万元,创利税169万元。1998年减至1家,完成产值764万元。2000年起,外资、民营企业进入,造纸及纸制品业重新兴起。2001年,增至5家。2002年,玖龙纸业落户港区,总投资18亿美元,具有600万吨的12条造纸生产线和1条5000平方米的纸箱生产线。2005年,全市有造纸规模企业13家,其中外资企业9家,民营企业4家。完成产值222186万元,创利

税 18397 万元，分别比 1985 年增长 161.58 倍、151.77 倍。全年生产纸浆 16483 吨、机制纸及纸板 18149 吨、纸制品 662072 吨、瓦楞纸箱 6915 吨。其中玖龙纸业实现销售收入 150623 万元、创利税 16540 万元，太仓长顺纸业有限公司实现销售收入 5179 万元、创利税 11 万元，太仓市鑫海纸业有限公司实现销售收入 2797 万元、创利税 41 万元。

印刷业

1985 年，全县有太仓印刷厂、太仓新艺印刷厂等印刷企业 25 家，完成产值 2344.53 万元，创利税 203 万元。1986 年，太仓印刷厂完成总产值 259.44 万元，实现利润 35.88 万元，上缴利税 6.71 万元，产品销售收入 263.76 万元。1990 年，印刷企业减至 14 家，完成产值 1755 万元，创利税 182.26 万元。1998 年，全市有印刷规模企业 3 家，完成产值 2473 万元。2004 年，印刷规模企业增至 7 家，完成产值 11951 万元、创利税 1860 万元，分别比 1985 年增长 409.74%、816.26%。2005 年，7 家印刷规模企业有固定资产原值 27968 万元，完成产值 24486 万元，利税亏损 424 万元。其中星光印刷（苏州）有限公司实现销售收入 10849 万元、利税亏损 2396 万元，政伸印刷（太仓）有限公司实现销售收入 4516 万元、创利税 1049 万元，太仓市印刷有限公司实现销售收入 1157 万元、创利税 95 万元，佳诚纸箱（太仓）有限公司销售收入 2417 万元、创利税 111 万元。

皮革制品业

1985 年，全县有皮革制品企业 21 家、职工 2016 人，加工皮鞋 78.6 万双、皮制品 39.28 万件，完成产值 1980 万元、创利税 109 万元。1986 年，全县有皮革制品企业 22 家，完成工业总产值 3081 万元。1990 年，皮革制品企业 16 家，完成产值 5643 万元，创利税 140 万元。1998 年，规模以上皮革制品企业 8 家，完成产值 30338 万元。2001 年，规模以上皮革制品企业 11 家，创利税 1284 万元。2005 年，规模以上皮革制品企业 13 家，完成产值 95381 万元，创利税 38248 万元。其中太仓金阳皮革制品有限公司实现销售收入 10208 万元、创利税 547 万元，江苏宝业人造革有限公司实现销售收入 7283 万元、创利税 145 万元，华纶皮塑（苏州）有

限公司实现销售收入10955万元、创利税27万元,太仓马氏皮革制品有限公司实现销售收入2952万元、创利税108万元,江苏东泰合成革有限公司实现销售收入10132万元,裕盛(太仓)鞋业有限公司实现销售收入21560万元、创利税4243万元,苏州明勋鞋业有限公司实现销售收入5445万元、创利税1090万元,太仓科通力鞋业有限公司实现销售收入9767万元、创利税510万元。同年,全市生产皮鞋16万双、天然皮革手提包(袋)背包306万个。

塑料制品业

1985年,全县有浮桥乡塑料制品一厂、浏河塑料厂等78家塑料制品企业,职工5579人,1000克以上注塑机29台,电视机壳产量占全国25%,年产塑料制品5377吨,产值9344万元,占轻工行业总产值的30.42%,创利税2067万元。1986年,全县生产塑料制品9309吨,其中农用薄膜3.5吨。1995年,全市生产塑料制品25964吨。1998年,有规模以上塑料制品企业23家,完成产值131729万元。2000年,全市生产塑料制品41440吨。有规模以上塑料制品的企业19家,资产总额90636万元,完成产值16.65亿元(当年价),创利税4637万元。2001年,全市生产塑料制品39577吨。有规模以上塑料制品企业28家,资产总额87876万元,完成产值12.87亿元(当年价),创利税8350万元。2003年,有规模以上塑料制品企业36家,资产总额17.48亿元,就业人数3728人,完成产值17.1亿元,创利税12411万元,分别比1985年增长17.3倍、5倍。同年,浮桥镇有大小塑料制品企业105家,注册资本2.63亿元,其中11家实现销售收入超1000万元,完成产值5.67亿元,创利税3892万元。苏州华苏塑料有限公司资产总额9852万元,完成产值9.32亿元,创利税5081万元。2005年,全市塑料制品企业生产塑料制品10082吨、塑料人造革977吨、塑料包装箱及容器2525吨、日用塑料制品609吨。30家规模以上塑料制品企业,完成产值138423万元、创利税11061万元。其中苏州华苏塑料有限公司实现销售收入115926万元、创利税1777万元,中孚(太仓)塑料制品有限公司实现销售收入6825万元、创利税1656万元,太仓市华鼎塑料有限公司实现销售收入5319万元、创利税727万元,太仓市东虹塑业有限公司、太仓市信力通塑业有限责任公司、太仓宝祥塑业有限公司、苏州天和塑料制品有限公司、太仓市苏晨塑业有限公司、太仓市佳鹿塑业有限公司等年销售收入均超过2000万元。

编　织

境内的编织主要有渔网、稻草、柳条、芦苇、蒲草五大类。80 年代初，稻草编织的主要产品草袋年均收购量 3 万～ 4 万只，草绳逐步被塑料绳取代，编织量逐年减少。芦苇编织的主要产品芦菲基本停止编织，芦帘因芦苇资源和建筑用帘减少，逐步衰退。柳条编织转为家庭副业，主要产品农用挽子、柳条箱、柳条箱片等缺乏原料，产品锐减。蒲草编织的主要产品蒲包，因纱厂包装改用布料，棉花包装改为麻包，销路日趋狭窄，供销社收购量逐渐减少。1986 年，全县收购草绳 69 吨、蒲包 3.5 万只。1988 年草绳收购降至 42 吨，蒲包收购降至 9700 只。1989 年，草绳停止收购。境内所需的柳条编织产品大蒜包装箱大多数从外地购进。1990 年，全县有渔网编织户 6984 户，渔网产值 437.46 万元。至 90 年代中期，草绳尚有少数农户编织自用，防汛用草袋靠外地调入，柳条编织停止加工，芦帘退出市场，蒲包绝迹。2005 年，浮桥镇沿江一带尚有少数人从事家庭渔网编织。

化工医药、建材

【化工医药业】

1986 年，全县有化工医药企业 9 家，生产化学原料药 29 吨，实现工业总产值 21948 万元。1989 年，太仓香料厂列入“八五”时期国家重点技改项目，产品素凝香、二甲苯麝香、酮麝香等先后获国家、省科技进步奖和优秀产品奖。同年 7 月 26 日，第一家外资医药化工企业苏州东洋医药化工实业有限公司投资太仓，投资总额 27.5 万美元，注册资本 21 万美元。1991 年 2 月 25 日，美商投资与太仓香料厂合资建立苏州泰隆精细化工有限公司。1993 年，太仓化肥厂与宏达热电厂、太仓农机总厂组建金龙集团。1995 年 5 月，市农业生产资料公司与外资合作成立太仓汇丰化学肥料有限公司，总资产 168.28 万美元，以生产复合肥为主。1999 年年末，全市有化工医药企业 278 家。2001 年 12 月，金龙集团破产，重组太仓绿宝化工实业有限公司。2003 年 11 月，太仓市农药厂有限公司，总资产 1.1 亿元，生产以“草甘膦”“多菌灵”为主的农药，年销售收入 1.2 亿元。2005 年，埃克森美孚（太仓）石油有限公司、苏州碧辟液化石油气有限公司、中国石油天然气股份有限公司华东

润滑油厂(简称中国石油华东润滑油厂)3家企业实现产值22.93亿元,销售收入23.33亿元,创利税1.37亿元,分别占全行业的63%、37%、40%。精细化工有11个大类,34个小类,涉及制药、医药中间体、农药中间体、染料、颜料、涂料、塑料、香料等500多种产品,主要分布在城厢、双凤、沙溪、归庄、浮桥及港区。石油化工企业主要分布在沿长江化工科技开发区和璜泾、沙溪地区。化工企业中总资产大于3000万元的企业有12家,总资产201677万元,占全市化工企业资产量的73.1%。其中中化国际太仓兴国实业有限公司规模较大,总资产68700万元。超1000万元企业78家,职工1200人,实现产值107.85亿元,销售收入107.25亿元,利税1.7亿元。

2005年太仓市总资产大于3000万元的化工企业情况表

表137

企业名称	总资产(万元)	占全市比例(%)	所属镇区
中化国际太仓兴国实业有限公司	68700	24.9	港区
江苏长江石化有限公司	37353	13.6	港区
中国石油华东润滑油厂	31292	11.4	港区
海名斯(太仓)染料化工有限公司	18000	6.5	港区
太仓市农药厂有限公司	11000	4.0	浏河
苏州兴达喷雾制品有限公司	7545	2.7	陆渡
妙管家(苏州)日用品有限公司	6500	2.4	沙溪
东特涂料(太仓)有限公司	5387	2.0	港区
建滔(太仓)化工有限公司	5000	1.8	港区
太仓市弇西树脂化工厂	4500	1.6	城厢
太仓制药厂	3400	1.1	城厢
和爱(化学)太仓有限公司	3000	1.1	港区
合计	201677	73.1	

【建材业】

1985年,全县有建材企业166家,职工16605人,年产值8348万元,占全县工业总产值5.48%。其中砖瓦厂49家(乡镇办厂29家)、水泥厂7家、预制品加

工厂60家等。年产水泥15万吨、砖47461万块、农房构件46580立方米、石灰72703吨。1986年，全县建材工业企业有164家，完成工业总产值8847万元，乡办以上建材企业完成销售收入7711万元，实现利润559万元。1990年，有建材企业93家，职工9405人，完成产值13185万元。砖瓦厂减至35家、水泥厂减至4家，年产水泥17万吨、砖37926万块、农房构件46521立方米。1995年起，国有和乡镇集体企业受到外资、民营企业挑战，国营太仓化建总厂巨额亏损，面临破产；新毛水泥厂被收购，成立苏州大东建材有限公司；其他年产5万吨以下的小水泥厂全部关停；砖瓦厂因重体力劳动、污染重、效益差，生产不景气，产量大幅下降。至1998年，年产水泥10万吨，砖17128万块。2000年起，全市砖瓦厂实施产权制度改革和资产重组，由外地客商承包。通过改进工艺、扩大生产规模，产量大幅度提高。建材工业逐渐进入发展期，年均产砖10亿块。浙江国营三狮水泥集团收购太仓化建总厂，成立太仓三狮水泥有限公司，年产水泥15万吨。2004年，安徽国营海螺水泥集团投资1.5亿元，在陆渡镇建办太仓海螺水泥有限责任公司，年产水泥100万吨以上。2005年，全市有建材规模企业35家，职工3500人，固定资产5亿元，完成产值15亿元。其中3家水泥厂，生产水泥143万吨；25家砖瓦厂，生产砖12亿块。另外，生产商品混凝土30106立方米，日用玻璃制品5330吨。

四、电力　燃气　热能

电力生产供应

【电力生产】

1986年，全县有变电站14座，其中用户自备8座；变压器1142台，计285470千伏安；全年发电量2406万千瓦时；供电29015万千瓦时。之后县委、县政府加大、加快建设中小型电厂、输变电工程工作力度，陆续新建、扩建和改造大小火力发电厂12家，潮汐电站1座。至1996年年末，全市发电装机容量33750千瓦，初步满足人们生活、生产和社会事业发展需要，第一次实现供需平衡。1997年起，在先后建成调峰电厂和协鑫热电厂基础上，在港区建设了华能电厂、环保电厂和国华电厂3家超100万千瓦的大型火力发电厂，随后又建成玖龙纸业热电厂、垃圾

焚烧电厂。2001 年,全市有变电站 33 座,其中用户自备 11 座;变压器 3240 台,计 2377653 千伏安;全年供电 136986 万千瓦时。至 2005 年年末,境内上网电厂 8 家,总装机容量 476.6 万千瓦,年发电量 127.43 亿千瓦时。发电装机容量和年发电量分别比 1985 年增长 1221.05 倍和 1200.04 倍。人均发电装机容量 10.42 瓦,太仓市成为江苏省电力生产基地。

1986 ～ 2005 年太仓市(县)发电企业生产情况表

表 138

企业名称	投产日期(年月)	发电量(万千瓦时)					附注
		1986～1990年	1991～1995年	1996～2000年	2001～2005年	合计	
潮汐电站	1976-08	34	38	—	—	72	1995年4月停运
金龙热电分厂	1981-09	4786	4693	1167	—	10646	1998年10月退役
针织热电分厂	1983-03	168	238	72	—	478	1996年6月停运
岳王电厂	1986-11	2357	678	—	—	3035	1992年3月退役
宏达热电厂	1987-12	35700	55500	68000	71500	230700	—
百科热电分厂	1991-01	—	1621	3810	3645	9076	—
调峰电厂	1997-04	—		8078	11234	19312	—
协鑫热电厂	1998-12	—	—	33239	128566	161805	—
华能电厂	1999-12	—	—	216949	1993398	2210347	—
环保电厂	2003-05	—	—	—	1541376	1541376	—
玖龙纸业热电厂	2004-06	—	—	—	161032	161032	—
国华电厂	2005-04	—	—	—	76023	76023	—
垃圾焚烧电厂	—	—	—	—	—	—	2005年6月开工
总计		43045	62768	331315	3986774	4423902	

【电网负荷】

1985 年,全县用电户 7782 户,用电设备容量 15.48 万千瓦,最高电网负荷

4.65 万千瓦，最高日用电量 90.42 万千瓦时。1986 年后，经济发展日趋加快，人民生活日益提高，社会用电量急剧增加，电网负荷上升。全县供电 29015 万千瓦时，用电量 28152 万千瓦时，平均日负荷率 84.18%。1995 年，全市供电 77132 万千瓦时，用电量 80676 万千瓦时，平均日负荷率 88.87%。2003 年夏，江苏电网出现 200 万千瓦的负荷缺口，太仓电网在天气持续高温下供电负荷也连续攀升。6 月份电网负荷 44.4 万千瓦，缺口 10 万千瓦，7 月份升至 46.4 万千瓦，至 8 月份又增加 2280 千瓦。市政府及时成立电力供需协调领导小组，从开源节流、移峰填谷、统筹兼顾、确保重点和加快输变电工程建设速度等方面进行调控，力保居民和重要用户用电需求。2005 年，全市用电户增至 22.74 万户，比 1985 年增长 28.22 倍；用电设备容量增至 261.59 万千瓦，增长 15.9 倍；电网负荷升至 65.41 万千瓦，增长 13.07 倍；最高日用电量升至 1531 万千瓦时，增长 15.93 倍；全市最高 1 天用电量超过 1988 年城乡居民 1 年的用电量。全市电网实现了全年不拉电不限电目标，太仓市成为长三角地区用电较安全可靠的县级市，电网负荷的增速在省内各县（市）中名列第三。

【社会用电】

1986 年，全县电力用户 8047 户，社会用电量 3.14 亿千瓦时。之后，社会用电量节节高升。1991 年，全县电力用户 9571 户，社会用电量 5.14 亿千瓦时，人均年用电量 1142 千瓦时，超过国家颁发的“农村电气化标准”的 3.8 倍，列全国第一。至 1995 年，全市用电户 18034 户，突破 1 万户，社会用电量在短短几年里，连破 6 亿千瓦时、7 亿千瓦时、8 亿千瓦时三个大关，达 8.07 亿千瓦时。1998 ～ 1999 年，全市用电户 1 年内净增 10 万余户，达 133424 户。至 2000 年年末，社会用电量 1 年内净增 2.41 亿千瓦时，达 12.72 亿千瓦时。2002 年，全市用电户 207318 户，社会用电量 17.76 亿千瓦时，人均用电量 3952 千瓦时，其中工业用电量 13.98 亿千瓦时，城乡居民用电量 14979 万千瓦时。2005 年，全市用电户 227407 户；社会用电量 38.97 亿千瓦时，比 1985 年增长 12.77 倍；人均用电量 8658 千瓦时，在全国县级市中名列前茅。其中工业用电量 33.28 亿千瓦时，比 1985 年增长 26.97 倍，占社会用电量的 85.4%；城乡居民用电量 20993 万千瓦时，比 1985 年增长 26.92 倍；人均居民年生活用电量 467 千瓦时，是全国“农村电气化标准”4.67 倍。

1986～2005年太仓市（县）全社会（主要行业）用电量统计表

表 139

年份	电力用户(户)	全社会用电量（万千瓦时）	其中							
			农林牧渔水利业	工业	建筑业	交通运输邮电通讯业	商业物资仓储业	城乡居民生活用电	其他事业	自发自用及沪供
1986	8047	31422	4195	23426	157	59	185	870	225	2305
1987	8232	37155	5331	27584	381	83	237	918	269	2352
1988	8536	42485	5681	32275	162	97	322	1135	304	2509
1989	8923	43717	6495	30571	71	101	452	2542	571	2914
1990	9236	44585	7204	30597	75	120	599	2774	755	2461
1991	9571	51413	7281	36973	114	176	622	3038	795	2414
1992	10246	60238	9169	42262	160	260	735	3770	956	2926
1993	11922	66855	9068	46859	889	372	832	4364	1239	3232
1994	15015	74298	12707	48217	544	371	1851	4227	2881	3500
1995	18034	80676	11800	53105	521	418	2307	5778	3178	3569
1996	23274	83247	11863	56603	563	564	2451	6067	3618	1518
1997	25056	90507	13184	61153	735	582	2640	7271	3676	1266
1998	28869	92558	12449	60530	517	793	3213	8306	5875	875
1999	133424	103033	9075	72967	1042	938	2987	8342	7050	632
2000	141305	127155	11771	90235	496	1089	2972	10187	9891	514
2001	148416	150093	10463	113997	513	1215	3330	12381	7874	320
2002	207318	177586	9055	139750	443	1351	3774	14979	7947	287
2003	220654	230005	6167	186086	3068	2492	5441	18233	8318	200
2004	229110	317427	8371	260260	9153	3925	7313	19116	9157	132
2005	227407	389687	6108	332828	6469	4740	7503	20993	10980	66

注：此表由太仓市供电公司提供

【电力管理】

1986 年，实行县、乡、村三级管理，县级有供电局、三电办公室（简称三电办），

乡镇设电力管理站，村级设管电小组。电力管理站业务由县供电局管理，行政由乡政府、供电局、三电办共管。1997 年后，进行农电体制改革，电力管理站归口供电局领导，改称供电营业所，属供电局的营业分支机构。2001 年，太仓市供电局改称太仓市供电公司，按照国有企业运行机制进行生产和管理。各乡镇供电营业所改称供电所，重新招聘录用供电所人员和村电工，人、财、物全部收归市供电公司，同时取消村管电小组。2002 年起，在农村电网改造的基础上，由各供电所直接管电到各家各户。2004 年，市供电公司成立农电工作部，加强农电信息化管理，通过国家电网公司验收，成为全国第一家农电信息化管理达标单位。2005 年，全市供电电压合格率 99.7%，供电可靠率 99.99%。

【同电同价】

1986 年，境内的各类用电由电网供给，用电后收取的电价不统一。在普通电价中，除国家“目录电价”外，还按规定加收“扶贫通电金”“三峡工程”“新安江”“阳澄基金”“省集资金”“城镇居民附加”和“电网改造”等 7 种加价。在电价分类中，有居民生活用电、农村居民照明、非居民照明、非工业、普通工业、大工业、农业和中小化肥等 15 类。即国家对不同类别的用电实行不同的电价。同年 2 月，县三电办开始向不同类别的用电户加收“煤油加工集资”电价，每千瓦时 0.17 元。1992 ～ 1997 年，居民生活照明用电先后调整 5 次。每千瓦时电价 1992 年为 0.25 元，1993 年 为 0.3 元，1995 年 为 0.4 元，1996 年 10 月 为 0.42 元，1997 年 7 月为 0.47 元。1997 年，平均电价每千瓦时 0.339 元，其中大工业为每千瓦时 0.395 元，农业每千瓦时 0.357 元，中小化肥每千瓦时 0.256 元。至同年 10 月，“煤油加工集资”电价先后调整 15 次，最高时每千瓦时加收 0.375 元，其依据是随行就市，煤油价格涨，征收的加工电价升。用户支付电费时，还要按线路损耗而分摊部分临时加价。同样使用电网电，城镇居民每千瓦时实际电价为 0.56 元，而农村个别地方要 1.2 元，甚至出现过 2.76 元。2001 年，取消煤油加工电价，各项电价实施并轨，太仓成为全省首批实行“同电同价”的县级市。城乡居民生活用电统一开票收费，电价均为每千瓦时 0.52 元，全年减少农民电费支出 650 余万元。2003 年，推行峰谷电价，第一批安装峰谷分时电表 3 万余户，以后逐年增加。2005 年，峰内用电每千瓦时 0.55 元，峰外用电每千瓦时 0.35 元。以电价刺激居民多用谷电少用峰电，节约开支，最大限度调剂和利用电网电力。

专　记

全国第一个农村电气化示范县

1992年仲春,美国农村电气化合作社协会(NRECA)派国际合作部主任海里根访问中国。双方拟在中国沿海经济发达地区合作建设一个高于国家《农村电气化标准》的示范县,让中国的电力工作者不出国门就能看到国际先进的电网装备和管理技术。太仓县获得江苏省电力局的推荐。

1992年,太仓新区和港区的开发拉开帷幕,电力供求形势严峻,电网处于"卡脖子"状态,渴望争取外援,缓解供求矛盾。县供电局及时组织人力编制《中美合作江苏太仓农村电气化示范县规划(1992～2000年)(草案)》,受到美方青睐。同年11月,海里根到太仓考察3天。后经筛选,太仓成为与美国合作的唯一伙伴。美国农村电气化合作社协会遂与江苏省电力局签订《理解备忘录》。

1993年2月,太仓派供电局局长奚品全和三电办副主任杨寿纤参加中国农电代表团访美。经过谈判,江苏省电力局局长顾智鹏与美国农村电气化合作社协会海里根在华盛顿签署为期3年半(1993年6月至1996年12月)的《中美合作建设江苏太仓农村电气化示范县协议书》。同年4月20日,电力部批准在太仓建设农村电气化示范县。6月8日,江苏省电力局审定示范县规划,并成立以徐松达为组长,徐建明、顾寅生、王榆青为副组长的示范县领导小组,领导小组采用"走出去,请进来"的办法,派唐莉、周兴元、汪道云、汪健康等赴美学习;4个攻关小组分赴深圳、珠海、威海、大连等地考察;邀请美国麦克唐纳咨询公司、北京电力科学研究院、南京国电自动化研究所、河海大学、南京大学、北京供电局、国家电力调度通信中心等专家学者到太仓指导;委托复旦大学召开太仓农村电气化示范县课题研讨会。在多方协作下,示范县建设顺利推进。7月30日,作为启动项目的220千伏娄东输变电工程开工。接着,总投资1.35亿元的18个示范工程全面开花,娄东大地到处涌动着电力建设者的身影。

至1996年年末,太仓市在3年半时间里引进国外先进的线路重合器、分段器、非晶合金钛变压器等电网装备总价300万美元。建成35千伏及以上输变电工程9项,新增主变容量29.26万千伏安,比1992年翻一番,扭转了有电供不出局面;实现电网自动化运行,建成四个第一(全省第一块LED大屏幕显示屏、全省第一个

DL 变电运行远程监控系统、全国第一批农电示范村、全国第一座仿美模式农村变电站）；人均年用电量 2012 千瓦时，高出国家《农村电气化标准》6.7 倍，名列全国前茅；开拓电力市场，吸引大批外商到太仓投资，其中有 9 家跨国公司因为供电环境的优越而落户太仓，用电量年递增 16%；降低运行损耗，电网线损率降至 5.1%，创历史最佳业绩，全年节电 8012 万千瓦时，被电力工业部评为江苏省第一个节电先进县（市）；促进农村基本现代化建设，电网的供电可靠率 99.7%，解决了“用电难，电价高”的社会热点问题。

太仓农电示范县建设受到国家和地方各级电力部门的关注。电力工业部在太仓召开全国农电赴美学习培训成果跟踪汇报会。美国伊利诺州农电代表团团长约翰·费瑞泰格评价太仓农电的先进程度已达到美国 80 年代水平。中国农电学会和江苏省电力局联合在太仓召开示范县总结大会，其中有 12 项成果向全国作示范推广。全国优秀学术期刊《农村电气化》杂志在 1997 年第十二期上，以太仓市供电局建设全国第一个农村电气化示范县内容为封面，出专刊推介太仓学习借鉴国外先进的技术和装备，提高农村电气化水平的经验。百家出版社出版的《农村电气化发展之路》一书，从太仓农电示范县建设的实践中，探索中国特色农村电气化的发展道路。在 2004 年 7 月出版的《中华人民共和国电力工业史》中，以“农村电气化示范县建设的启示”为题，单列一节，介绍太仓建设农电示范县的实践和探索。国内众多电力同行纷纷到太仓参观访问和考察学习。人们不仅看到国外先进装备和管理技术在太仓电网中的运用，而且也看到了太仓供电人在探索一条与中国特色社会主义经济相适应的农电发展之路。

燃气供应

80 年代初，境内开始使用瓶装液化气。燃气供应有太仓布厂液化气站，总工会液化气公司、太仓利泰纺织厂液化气站、沙溪镇液化气站等。提供的液化气均为每瓶 15 千克，来源为上海高桥等地液化气生产单位。1985 年，太仓煤气公司成立，供气范围扩至机关事业单位及部分企业与居民。1986 年，城区居民 85% 使用液化气。其中城厢镇 9600 户居民，有 8371 户用上液化气。1988 年，县总工会液化气公司成立，后转制成立振太液化气有限公司，最大储量为 250 立方米。1992 年 11 月 7 日，苏创液化气公司成立（原太仓煤气公司），拥有储量 2426 立方米储罐装量

及罐装设备,次年销售液化气 3.29 万吨。

1995 年,苏州碧辟液化石油气有限公司(原美国阿莫科清洁能源公司)进驻港区石化工业园,拥有 2 座 3.1 万立方米的冷冻液化气储罐、6200 立方米的压力罐和 11 个槽车泊位,每年可提供 30 万～ 50 万吨高品质液化石油气,年均销量 10 万～ 20 万吨左右。1996 年,市管道液化气工程公司成立。全市燃气供应除瓶装液化气外,开始安装管道液化气。1999 年 3 月 11 日,万源液化石油气公司成立,最大储量 60 立方米,全年销售 600 吨液化石油气。2002 年,市天然气有限公司成立,天然气门站设在城厢镇花墙村。2005 年,苏创液化气公司等 3 家供应公司(除苏州碧辟液化石油气公司外)共销售液化气 36508 吨。至年末,全市居民小区建成液化气管道 30 千米,有 1 万户左右居民用上管道液化气;铺设天然气管道 33.9 千米,开通天然气供应。

1993～2005年太仓市燃气销量统计表

表 140　　单位:吨

年份	苏创液化气公司	万源液化石油气公司	振太液化气有限公司	合计
1993	32900	—	—	32900
1994	33000	—	—	33000
1995	33100	—	179	33279
1996	33000	—	316	33316
1997	34400	—	411	34811
1998	36100	—	487	36587
1999	38000	600	495	39095
2000	39900	1000	1014	41914
2001	31300	1100	1279	33679
2002	44900	1200	1313	47413
2003	43500	1400	1576	46476
2004	40600	1550	1716	43866
2005	33000	1600	1908	36508

热能供应

1981 年，金龙热电分厂有 1 台 3000 千瓦燃煤供热发电机组运行。热能自用，兼顾附近的沙溪农具厂、五金厂等企业供热。1987 年 12 月，宏达热电厂 2 台 1.2 万千瓦燃煤热电联产机组先后投运并网发电，热能自用，兼顾相邻企业太仓利泰纺织厂供热。1990 年，宏达热电厂与沙溪镇合作，铺设蒸汽供热管线，为其他企业、服务业提供热能。1991 年 1 月，百科热电分厂 2 台 1500 千瓦燃煤热电机组投运发电，主要保障本厂酒精发酵蒸馏的不间断用汽需要。

1997 年 3 月，协鑫热电厂开工建设，厂址位于市区洛阳东路 78 号。1998 年 12 月，第一台 1.5 万千瓦燃煤热电联产机组并网发电。1999 年 2 月，第二台 1.5 万千瓦燃煤热电联产机组并网发电。至年末，对外供热 6.93 万吨，建设热网 11 千米，用户 24 户。2000 年，对外供热增至 16.17 万吨，热网扩至 15 千米，用户增至 38 户。2003 年 5 月，扩建的第三台 1.5 万千瓦热电机组并网发电，供热能力逐年增加。次年 6 月，玖龙纸业热电厂第一台 5 万千瓦燃煤热电联产机组投运，生产的蒸汽主要为本企业纸业生产的供热所需，对外提供少量热能服务。2005 年，协鑫热电厂拥有 4 台煤粉炉，3 台抽凝式发电机组，对外供热 45.51 万吨，热网扩至 39 千米，用户增至 96 户，是全市最大的热能生产和供应企业。其供热能力使太仓市区 8 万平方千米范围内消灭了工业锅炉的污染。

1999～2005年协鑫热电厂供热情况表

表 141

项目	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
机炉设备	二炉二机	二炉二机	三炉二机	三炉二机	三炉二机	四炉三机	四炉三机
人员数(人)	170	168	166	220	223	180	160
供热量(吨)	69312	161744	224476	289878	369904	392713	455135
用户数(户)	24	38	51	69	79	84	96
热网里程(千米)	11	15	20	27	34	35	39

五、建筑业

房屋和土木工程建筑

【建筑队伍】

1986年,全县有建筑公司25家,其中县建筑总公司下辖3个工区、1个水电安装队,另有构件厂和材料厂。全系统有职工5469人,其中县建筑总公司1301人。与建筑工程配套设立的事业单位有县建筑设计室、建筑工程质量监督站、建筑职工培训班,职工46人。此外,全县有一支个体建筑队伍,担负农村农户房的建设,人数超过2万人。1988年,县建筑管理站成立。1989年,县工程建设定额站成立;全县有建筑企业24家,职工6218人;事业单位增至5家,职工71人。1994年,市建筑安全监督站成立;市建筑总公司更名为江苏省通力建设工程集团公司,下辖3个分公司、2个厂、1个水电分公司;全市建筑企业职工增至9088人;事业单位增至6家,职工103人。至2000年,全市建筑企业增至39家,职工6128人;事业单位增至9家,职工122人。2003年,全市建筑企业46家,职工10569人;事业单位10家,职工121人。2005年年末,全市建筑企业45家,职工11622人;事业单位6家,职工56人。按企业资产性质分,有股份制企业16家、民营企业28家、外资企业1家。按资质分,能担负房屋建筑施工总承包的二级资质企业2家,三级资质12家;能担负建筑装饰工程专业承包的二级资质企业有4家,三级资质24家;能担负砌筑作业分包的一级资质企业有3家。另有上海建筑总公司、宝钢建筑公司、南通建筑公司以及苏州、绍兴、昆山等资质较高的外地建筑企业,参与太仓一些市政重大建设工程及企业新建、扩建工程。

2005年太仓市主要建筑企业情况表

表142

企业名称	经济性质	资质类别	等级
江苏省通力建设工程集团公司	股份制	房屋建筑施工总承包	二级
太仓岳王土木建筑有限公司	股份制	房屋建筑施工总承包	二级
苏州娄东建设工程有限公司	股份制	房屋建筑施工总承包	三级

续表 142

企业名称	经济性质	资质类别	等级
太仓市浏河建筑工程有限公司	股份制	房屋建筑施工总承包	三级
太仓雪良土木建筑有限公司	民营企业	房屋建筑施工总承包	三级
太仓市宏发建筑有限公司	股份制	房屋建筑施工总承包	三级
太仓市恒源建筑有限公司	民营企业	房屋建筑施工总承包	三级
太仓市协力建筑工程有限公司	股份制	房屋建筑施工总承包	三级
太仓市沙溪建筑工程有限公司	股份制	房屋建筑施工总承包	三级
太仓市金浪建筑有限公司	股份制	房屋建筑施工总承包	三级
太仓市揪饰建筑有限公司	民营企业	房屋建筑施工总承包	三级
太仓市南郊建筑工程有限公司	民营企业	房屋建筑施工总承包	三级
太仓市明熙建筑有限公司	民营企业	房屋建筑施工总承包	三级
太仓市伟达建筑有限公司	民营企业	房屋建筑施工总承包	三级
苏州揪饰建筑装潢有限公司	民营企业	建筑装修装饰工程专业承包	二级
太仓市颐德装饰工程有限公司	股份制	建筑装修装饰工程专业承包	二级
太仓市明辉装饰装潢有限公司	股份制	建筑装修装饰工程专业承包	二级
太仓市浏河建筑装饰装潢有限公司	股份制	建筑装修装饰工程专业承包	三级
太仓龙胜建筑装潢有限公司	股份制	建筑装修装饰工程专业承包	三级
太仓市交通广告装潢公司	股份制	建筑装修装饰工程专业承包	三级
苏州市三维东方装潢有限公司	股份制	建筑装修装饰工程专业承包	三级
太仓市新思维装潢有限公司	民营企业	建筑装修装饰工程专业承包	三级
太仓市华丽家装潢有限公司	民营企业	建筑装修装饰工程专业承包	三级
太仓市六合广告装潢有限公司	民营企业	建筑装修装饰工程专业承包	三级
苏州晋泰装潢有限公司	民营企业	建筑装修装饰工程专业承包	三级
苏州同创装潢有限公司	民营企业	建筑装修装饰工程专业承包	三级
太仓市新潮流装潢有限公司	民营企业	建筑装修装饰工程专业承包	三级
太仓市浮桥建筑有限公司	民营企业	砌筑作业分包	一级
太仓市双凤建筑有限公司	民营企业	砌筑作业分包	一级
太仓市板桥建筑有限公司	民营企业	砌筑作业分包	一级
太仓市金鹰钢结构有限公司	民营企业	钢结构工程专业承包	三级
太仓市祥盛钢结构有限公司	民营企业	钢结构工程专业承包	三级
太仓市强峰钢结构厂	民营企业	钢结构工程专业承包	三级

续表 142

企业名称	经济性质	资质类别	等级
太仓市华友塑料门窗有限公司	民营企业	金属门窗工程专业承包	三级
太仓市建优门窗厂	民营企业	金属门窗工程专业承包	三级
太仓市中航金属门窗有限公司	民营企业	金属门窗工程专业承包	三级
太仓市新晨五金门窗有限公司	民营企业	金属门窗工程专业承包	三级
太仓市天和砼有限公司	民营企业	预拌商品混凝土（砼）专业	三级
太仓市同高砼制品有限公司	股份制	预拌商品混凝土（砼）专业	三级
太仓市久和砼制品有限公司	民营企业	预拌商品混凝土（砼）专业	三级
太仓港国产实业砼有限公司	外资企业	预拌商品混凝土（砼）专业	三级
太仓市建国砼制品有限公司	民营企业	预拌商品混凝土（砼）专业	三级
苏州三和管桩有限公司	民营企业	混凝土（砼）预制构件专业	二级
太仓市捷通水处理有限公司	民营企业	机电设备安装工程	三级
太仓市金盾消防工程有限公司	股份制	消防设施工程专业承包	三级

【建筑工作量】

1986 年，全县乡镇以上建筑企业完成建筑工作量 4370 万元，竣工面积 22.4 万平方米。其中包括太仓铜材厂引进项目的新建车间、城厢镇无纺地毯厂、太仓地面自来水厂、张溥故居等一批县重点建设工程。县建筑设计室完成设计面积 11.9 万平方米。1987 年起，建筑工程施工、竣工面积呈逐年增长趋势。1989 年，全县乡镇以上集体建筑企业完成建筑工作量 6453.04 万元，竣工面积 23.27 万平方米。1992 年，全县乡镇以上集体建筑企业完成建筑工作量 2.31 亿元，竣工面积 36.01 万平方米。县建筑设计院完成设计面积 26.4 万平方米。地质勘察总进尺 1.5 万标米。1994 年，全市乡镇以上和外来施工企业完成建筑工作量 3.29 亿元，竣工面积 40.34 万平方米。市建筑设计院完成设计面积 26 万平方米。地质勘察总进尺 1.33 万标米。1999 年，全市建筑企业完成建筑工作量 3.08 亿元，施工面积 65 万平方米，竣工面积 46.54 万平方米。市建筑设计院完成设计 24.01 万平方米。完成地质钻探总进尺 1.5 万标米。2000 年起，城市化进程和新农村建设加速推进，全市建筑业进入发展期。全年建筑企业完成建筑工作量 3.02 亿元，施工面积 58.9 万平方米，竣工面积 38.84 万平方米。市建筑设计院完成设计面积 55.22 万平方米。完成地质钻探项目 147 项，总进尺 2.3 万标米。2005 年，全市建筑企业完成建

筑工作量 12.28 亿元，施工面积 127.72 万平方米，竣工面积 85.47 万平方米。

【公共建筑】

1986 年起，先后兴建新华书店、邮电营业楼等公共建筑。90 年代初，城区先后兴建层高 13 层的弇山大厦、层高 10 层的农业银行太仓支行、层高 7 层的建设银行太仓支行、层高 8 层的工商银行太仓支行。1995 年起，在市区形成一批标志性建筑。其中与人民群众生活密切相关的公共建筑有：市一院，1996 年 3 月动工，位于西门街，层高 11 层，建筑面积 2.04 万平方米，总投资 1500 万元，是全市第一所设备齐全、科室较完备的综合性医院，至 1998 年 7 月竣工投入使用；中心菜场，位于武陵街西侧，为全市最大的农贸市场，建筑面积 3.7 万平方米，2000 年 7 月动工，2001 年 4 月投入使用。文化教育方面，先后兴建太仓高级中学教学楼，位于南园路 1 号，建筑面积 1.5 万平方米；青少年活动中心，位于东仓路 18 号，建筑面积 9776 平方米。以及图博中心、市职业中学、市沪太外国语小学、市第二中学、健雄学院、宋文治艺术馆、吴晓邦舞蹈艺术馆等。中国生殖健康家庭保健培训中心，位于县府东路 30 号，建筑面积 1.85 万平方米，2004 年 10 月开工，次年 8 月竣工，内附世代大酒店，四星级配置。至 2005 年年末，在上海东路两侧建成太仓海关、太仓出入境检验检疫局、新区管委会开发大厦、市检察院大楼、市公安局大楼、市地税局大楼、市劳动和社会保障局大楼、市证券交易中心大楼；在上海西路建成市体育馆、市人事局大楼、市财政局大楼等。在商贸系统方面建成标志性建筑工程有娄东宾馆、花园酒店、银河宾馆等；大型商场和超市有华联商厦、新城广场、新世界百货商厦、时代超市、联华超市、五星电器城、苏宁电器、永乐电器。另有一批休闲会所、洗浴中心、高尔夫球场等娱乐休闲的建筑设施。

【商品房建筑】

1986 ～ 1992 年，城厢镇建设开发公司和城厢房产发展公司两家企业先后开发建成人民新村、娄东新村、梅园新村、桃园新村、康乐新村、太平新村和向阳小区 7 个居民住宅小区。楼层普遍为 4 层，户型均为中、小户型。1993 ～ 1997 年，房地产市场化，综合、金建、登创等房地产开发公司先后成立。同期，市政府下发《关于进一步加强城市住宅配套设施建设管理的通知》，对住宅小区配套建设和环境建设提出更高要求，促进小区商品房建筑及环境质量的提高。这一时期，建成桃园二

村、桃园三村、桃园四村、朝阳新村、惠阳小区、果园新村、国泰花园、北京新村、洋沙新村、德兴二村等住宅小区。商品房的结构从4层楼、中小户型格局发展到独栋别墅、联排别墅、错层式、小高层等多种结构的大、中、小户型。1998～2002年，商品房年均开发25万平方米左右，住宅小区向高档化、花园式方向发展。这一时期开发建设的景观住宅小区有：世纪苑、景都花苑、娄江雅苑、阳光花苑、昌平小区、富豪小区、盛大花园、津华园等。2003年起，外地房产商介入，将全市商品房建设推向更高层次，涌现一批高层化、高档化、花园式的高档住宅楼群。至2005年年末，已建成名都花苑、景仓花苑、恒洋花园、江南花园、华侨公寓、铭成花苑、彩虹花苑、高尔夫湖滨花园、华源上海城一期、君悦豪庭、宝龙公寓等建筑群。其中由香港协鑫置业开发建设的高尔夫湖滨花园，是高档楼盘的代表，有30层以上的高楼，又有独栋别墅。小区布局错落有致，景观宜人。

【农房建筑】

1986年，全县有1800多农户采用“包工”形式造房，占建房总户数30%，其中浮桥、浏河、归庄、新湖、璜泾、鹿河等乡镇占40%以上。至1992年年末，全县有7.63万农户建造新房。1993年起，对个体工匠进行培训，并发放工匠证。同时，农房造型推广标准化图纸，提高农房建筑标准和质量。1998年，全市开展编制村庄规划，共完成56个中心村，200多个一般村的规范编制工作，农民建房纳入社区型的管理模式。2000年后，政府划定土地，提供统一标准住房型式，让失地农户集中建房，形成类似城镇居民的住宅小区。2003年起，农村住宅小区开始向别墅、小高层、花园式方向发展。至2005年，已建成和平花园、伟阳小区等农村住宅小区。

【施工技术】

1986年，全县建筑工程按照国家“74系列”规范施工。太仓为抗震不设防区域。建筑结构形式单一，为砖体结构。在建筑材料上，墙体均用实心砖，墙面装潢普遍使用马赛克，门、窗一般用铁门、钢窗，少数沿用木质门窗。建筑工程机械化程度不高，施工主要靠人力。1988年，建筑施工技术使用“88系列”国家规范，在抗震设计中列为6度抗震设防区。1990年，沙溪发生5.1级地震，由于预先按6度抗震设计，除少数农房及危房出现部分倒塌及裂缝外，大多数建筑未受影响。90年代，建筑的结构形式呈现多样化。在建筑材料上，墙体逐步用粘土多孔砖、蒸压

灰砂砖、蒸压粉煤灰砖等代替。墙面装潢逐步改用大理石、铝合金板。门窗逐渐被铝合金门窗、塑铁门窗、防盗门等替代。2000 年起，实心砖逐步退出建筑材料市场。2001 年，建筑行业使用“01 系列”规范，抗震设防区提高至 7 度。墙面装潢出现玻璃幕墙。至 2005 年，建筑结构样式发展到异型柱框架结构、框架结构、剪刀墙结构等。墙体沿用 90 年代多种砖体，但要求更高。门窗沿用铝合金、塑钢等材料，但制作更精致、高档化。墙面装潢更讲究更普及。建筑工程机械化程度越来越高，在有资质的建筑施工企业中，普遍应用龙门打桩机、龙门吊车、灌浆机等设备，对提高建筑质量、加快建筑进度、确保人员安全、施工高层大厦提供有效保障。

【劳务输出】

1984 年 6 月，苏州市建工局组织对外劳务输出，太仓县建筑总公司派出 45 名建筑工人赴科威特承建“257”工程。工程于 1987 年 1 月竣工。1991 年，县建筑总公司派出 17 名技术工人赴日本福岗地区。至 1994 年，年均派出 17 名技术工人参加福岗市体育馆和国际大厦等工程建设。1996 ～ 1997 年，太仓每年派出 10 名以管理人员为主的援建人员赴厄立特里亚国，参与保险公司营业楼工程建设。此后，建筑业未有劳务输出。

建筑安装

1986 ～ 1993 年，境内房屋及土木工程建筑多为 4 层楼高的框架式建筑。建筑安装仅限于门窗安装及水、电设备安装和管道铺设，一般的建筑施工队伍均能承担。也有一些个体专业队从事门窗安装和水电设备安装。1994 年后，随着高层建筑的不断增加，特别是一批大型商场、购物中心、商务楼、高档住宅楼群的兴起，以及医院、体育馆等综合性、多功能建筑的出现，建筑安装的门类增多，出现了专业化要求较高的建筑安装工程，如电气、燃气、空调、电梯、自动扶梯、消防、避雷、给排水系统、音响等。在建筑施工队伍中，出现了分工更为细致的专业建筑安装承包队伍。至 2005 年，全市共有建筑安装专业承包企业 15 家。其中金属门窗工程专业承包企业 4 家，钢结构工程专业企业 3 家，预拌商品混凝土专业企业 5 家，混凝土预制构件企业 1 家，机电设备安装工程企业 1 家，消防设施工程企业 1 家。具有施工总承包资质的建筑安装业企业有 5 家，实现产值 17999 万元。

建筑装饰

【外墙装饰】

80年代,境内建筑物的外墙装饰以白、灰颜色的粉刷为主,部分建筑采用马赛克装潢。90年代起,随着建筑材料的更新和高层建筑增多,实心砖改为轻型优质的粘土多孔砖、灰砂砖、粉煤砖等,外墙装饰发展到采用大理石、铝合金板、玻璃幕墙等装饰。外墙颜色从以白、灰色为主发展到黄、蓝、灰、白、红等多种色彩,特别是一些新建厂房,均确定一种主色调,象征企业精神。随着建筑装饰业的发展,从事建筑装修装饰工程的专业队伍应运而生,如搭脚手架、油漆作业、铝合金板安装工程、大理石粘贴及玻璃幕墙作业等专业施工队伍。至2005年,全市有资质建筑装修装饰工程企业13家。其中获得二级资质的3家,三级资质10家。

【室内装饰】

1986年,太仓室内装饰比较单一。墙面以白、粉色为主,地面以磨光水泥和铺设木地板为主。部分机关、事业单位及公共建筑中,地面铺设马赛克、磨光花纹水泥或地毯等。屋顶装饰有各种图案及吊灯。少数居民家中墙面用壁纸、墙布、护墙板等装饰。90年代,随着商品房数量的快速增加,室内装饰追求更加多样化,并逐渐成为一门新兴独立的行业。1995年,室内装饰业工程量每年5亿～6亿元。地面用材从马赛克向大理石、瓷砖、实木地板、复塑地板发展。卫浴与厨具成套设备,由安装公司进行安装。个体私营室内装饰、装修队伍大都来自农村。其专业分工明确,在包工头统一协调下开展装修工作,有的从事水、电设备安装及轨道铺设,有的从事泥匠、木工,有的从事油漆粉刷。室内装饰大都采用工程承包,再由装潢公司或包工头分包给分公司或专业工程队。

1998年3月,太仓市室内装饰行业管理办公室成立(简称市装饰办)。2000年9月,太仓市室内装饰行业协会成立,隶属市装饰办。协会每年定期举办各类装饰装修人员专业培训班,组织会员企业外出参观学习。并定期与工商、技改、安监、消防等部门开展执法活动,清理“三无”(无营业执照、无资质、无法人代码证)企业和马路装修游击队,规范市场秩序,保护消费者合法权益。同时开展室内装修设计大赛、优质工程和优秀企业考核评选、室内空气环境监督检测、装饰暨装修材料

展销等活动。至2005年，全市注册登记的各类装潢公司有100多家，其中有一批来自北京、上海、海南、广东、深圳、南京、无锡、南通、苏州等地的装饰装修企业，为太仓带来全新的设计理念和装潢风格。有3家企业获得全国优秀装饰企业称号，16家企业获得江苏省优秀装饰企业称号。市装饰办获得2005年中国室内装饰协会颁发的“全国室内装饰优秀协会”奖牌。

建筑业管理

【工程质量管理】

1986年2月，县建筑工程质量监督站成立，全年质监建筑面积8.8万平方米。1987年起，实施质量监督机制，建筑工程质量逐年上升。1991年，县建筑安装工程公司承建的县粮贸大厦获苏州市建筑协会颁发的“姑苏杯”优质工程奖，1992年获省“扬子杯”优质工程奖。1993年，市建筑安装工程公司、苏州娄东建筑工程公司承建的上海市缝纫机零件八厂、建行太仓支行业务楼均获苏州市“姑苏杯”优质工程奖。1994年，受监工程219项，面积52.8万平方米。江苏省通力建设工程集团公司、苏州娄东建筑工程公司承建的农行太仓支行营业大楼、市交通大厦工程获苏州市“姑苏杯”优质工程奖。1997年，全市受监工程367项，面积55.9万平方米。工程优良品率30%。江苏省通力建设工程集团公司、常熟杨园建筑公司驻太仓工程处承建的苏州长富糖果食品城车鸠车间、市公路管理处综合楼均获苏州市“姑苏杯”优质工程奖。1998年，全市受监面积75.32万平方米，工程优良品率42%。其中3项工程获苏州市“姑苏杯”优质工程奖。

2001年，全市受监面积108.7万平方米，工程优良品率43%。2004年，全市受监面积407万平方米，4项工程获苏州市“姑苏杯”优质工程奖。1项工程获省“扬子杯”优质工程奖。至2005年，全市监督验收建筑工程面积1905.09万平方米。市建筑安装工程公司、苏州娄东建筑工程公司、常熟土木建筑公司太仓分公司、江苏省通力建设工程集团公司等承建的39项工程获苏州市“姑苏杯”优质工程奖；市建筑安装工程公司、江苏通力建设工程有限公司等承建的县粮贸大厦、江苏边防总队海警支队办公综合楼、市一院老干部病房楼3项工程获省“扬子杯”优质工程奖；太仓市明辉装饰装潢有限公司承建的市公安局特种押运有限公司办公楼装饰工程获“天堂杯”奖。

1986 ～ 2005 年太仓市(县)质监面积统计表

表 143　　单位：万平方米

年份	面积	年份	面积
1986	8.80	1996	46.70
1987	14.10	1997	55.90
1988	18.70	1998	75.32
1989	13.40	1999	52.93
1990	16.50	2000	93.24
1991	35.60	2001	108.70
1992	44.80	2002	158.40
1993	48.80	2003	257.00
1994	52.80	2004	407.00
1995	62.40	2005	334.00
合计	1905.09		

1991～2005年太仓市（县）建筑工程获奖情况表

表 144

年份	建筑项目	奖项	承建单位
1991	县粮贸大厦	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	县建筑安装工程公司
1992	县政府办公楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	苏州娄东建筑工程公司
	县粮贸大厦	省“扬子杯”优质工程奖	县建筑安装工程公司
1993	上海市缝纫机零件八厂	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	市建筑安装工程公司
	建行太仓支行业务楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	苏州娄东建筑工程公司
1994	农行太仓支行营业大楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏省通力建设工程集团公司
	市交通大厦	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	苏州娄东建筑工程公司
1997	苏州长富糖果食品城车鸠车间	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏省通力建设工程集团公司
	市公路管理处综合楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	常熟杨园建筑公司驻太仓工程处
1998	苏州长富糖果食品城公寓	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏省通力建设工程集团公司
	娄东宾馆 8 号楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	常熟土木建筑公司太仓分公司、苏州金螳螂建筑装饰公司
	金仓小区 3 号楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	常熟土木建筑公司太仓分公司

续表 144

年份	建筑项目	奖项	承建单位
1999	荣文库柏有限公司转配车间	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏省通力建设工程集团公司
	华新住宅楼 6 号	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	通州建筑安装总公司太仓分公司
	市体育馆	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	上海市第八建筑有限公司
	市华侨开发公司府南商品房 1 号楼、2 号楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	太仓岳王土木建筑有限公司
2000	华苏苑住宅	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏金土木建设集团公司太仓分公司
	市发展大厦	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏金土木建筑集团公司太仓分公司
	市看守所监房	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏金土木建筑集团公司太仓二分公司
	市高级中学图书馆	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	通州建筑安装总公司太仓分公司
	科而雅针织公司车间	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	太仓岳王土木建筑有限公司
	银泰华国联体别墅	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	太仓岳王土木建筑有限公司
2002	特灵厂房二期	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏金土木建筑集团公司太仓分公司
	世纪苑冬湖园	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏邗建集团
	岳王镇中心幼儿园	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	太仓岳王土木建筑有限公司
2003	市一院老干部病房楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏通力建设工程有限公司
	江苏边防总队海警支队住宅楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	通州建筑安装总公司太仓分公司
	市影视娱乐城	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏金土木建设集团公司太仓分公司
	市开发区综合业务大楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	苏州市第二建筑工程集团公司
	江苏边防总队海警支队办公综合楼	省“扬子杯”优质工程奖 苏州市“姑苏杯”优质工程奖	南京第六建筑安装工程有限公司
2004	市委党校综合楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏通力建设工程有限公司
	市中医院病房楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏通力建设工程有限公司
	市公安大楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	绍兴一建建工集团有限公司
	托克斯冲压技术有限公司车间	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	南通神勇建设工程总承包公司
	市一院老干部病房楼	省“扬子杯”优质工程奖	江苏通力建设工程有限公司
2005	艾伯纳车间办公楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏通力建设工程有限公司

续表 144

年份	建筑项目	奖项	承建单位
2005	纺织房产长春路 11 号商住楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏通力建设工程有限公司
	金仓房产登创大厦	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	江苏金土木建设集团公司太仓分公司
	市外贸创业园 A20 厂房	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	南通三建集团有限公司
	新区实验中学科技楼	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	通州建总集团有限公司
	裕盛鞋厂二期制鞋车间	苏州市“姑苏杯”优质工程奖	昆山振兴建筑有限公司
	市公安局特种押运有限公司办公楼装饰工程	苏州市装饰装修行业“天堂杯”优质工程奖	太仓市明辉装饰装潢有限公司

【定额及技术管理】

1986 年，农村在造房中实行包工作业。先在部分乡镇试点，后推广到全县。工厂企业造房，由施工单位先进行预算，工程过半后进行决算，到工程结算后将工程决算送审计事务所审核，裁减虚假部分，然后由银行付款。同年，举办建筑职工技术培训班。1989 年，县工程建设定额站成立，负责对建筑工程进行定额测标。1991 年，邀请同济大学教授，举办钢筋混凝土设计新规范和地基基础设计新规范两期培训班，推广和掌握建筑新技术、新规范。同年，对农村建筑工匠进行二级培训并发证。1995 年，全年培训农村个体工匠 299 人，换发工匠证 299 张。1996 年，培训个体工匠 284 人，换发工匠证 284 张。1997 年，设立太仓市招投标办公室，对建筑工程实行公开招标，进一步规范建筑市场行为。2001 年，对项目经理、施工员、质量员、村镇工匠等进行岗位培训，并举办建设类大专专业证书班。2004 年，市工程建设定额站并入建筑管理处，2005 年，又划出单独成立太仓市建筑工程造价处，负责建筑业的定额管理。至年末，全市共举办建筑业培训班 13 期，培训人员 957 人次。

【工程安全管理】

1994 年，市建筑安全监督站成立，对建筑工程从材料、技术、施工队伍资质等方面进行监督，使安全生产事故发生率得到有效控制，并逐年下降。同年，全市建筑工程安全生产事故频发率为 0.03‰，比上年下降 0.01‰。至 1995 年，全市建筑业发生各类死伤事故 61 起，其中 30 人死亡，31 人受伤。建筑工程安全生产事故

频发率为0.02‰。1996年为0.01‰。2005年，无建筑事故人员死亡事故发生。

【资质管理】

1985年，按照“建筑企业承接的工程规模必须与企业的资质等级一致”的要求，对全县建筑企业开展资质审查。1986年，审查16个建工系统的水泥预制品企业资质，确定二级企业1家，三级企业15家。同时审查10个等外级的农村建筑队资质。城厢、娄东、牌楼、时思和水利等5个市政工程公司及城市建设综合开发公司工程队，经苏州市建委审定批准暂定为四级资质企业。1989年，复审市政施工企业资质，确定三级1家，四级3家，等外级1家。同年12月22日，县建安公司经省建委、建工局批准为建筑二级资质企业。至1990年，全县建筑企业中有二级资质的1家，三级2家，四级19家，等外级3家。1997年，对不符合资质要求和未年检的3家企业给予取消资质的处理，同时把项目经理纳入资质规范化管理行列。有147名项目经理取得“太仓市施工企业项目经理上岗证书”，62名项目经理取得建设部颁发的资质等级证书。2000年后，建筑企业实行改革转制，原集体所有制性质的建筑企业全部转制为股份制企业或民营企业，但对建筑企业的资质管理仍未放松。每年都要对建筑企业进行资质年审、年检或复审，核定项目经理人的资质等级。至2005年，全市共有建筑企业45家。能够担负房屋建筑施工总承包的企业有14家，其中二级资质的2家，三级资质的12家。能够承包专业作业的企业有31家：装饰工程专业承包企业13家，其中二级3家，三级10家；砌筑作业分包企业3家，均为一级资质；钢结构工程专业承包企业3家，均为三级资质；金属门窗工程专业承包企业4家，均为三级资质；预拌商品混凝土专业企业5家，均为三级资质；混凝土预制构件企业1家，二级资质；机电设备安装工程企业1家，三级资质；消防设施工程专业承包企业1家，三级资质。

六、工业管理

技术改造

1986～1990年，全县工业技改总投资6.78亿元。主要项目有太仓冷气机厂引进热交换器生产线，太仓塑料制品五厂引进塑料片板挤出机，太仓酒厂万吨酒精

改造,太仓造纸厂三号造纸机改造,太仓香料厂香料扩产,太仓针织总厂涤棉染整线改造,太仓无线电总厂扩产20万台电视机流水线,太仓化工总厂水杨酰氨、甲醇钠扩产,食品碳铵扩建及宏达热电厂建设,太仓铜材厂引进铜加工设备等。

1991年,县政府制定振兴工程方案,在经委设振兴工程办公室。全年有32个项目列入,总投资5.1亿元。重点项目有生物工程制品α淀粉酶、电缆料、超长冷凝管和微电脑应用及20万台空调扩产等。纺织行业有粘胶项目上马,无梭织机、高速纺、加弹机、大圆机、电脑绣花机的引进等。1992年,列入振兴工程项目51个,总投资10.7亿元。超1000万元的项目26个,投资4.2亿元,其中超5000万元的项目有4个。全县引进国外先进设备和技术45个项目,投资4.2亿元,用汇6789万美元,居苏州市6个县市之首,其中纺织行业的引进用汇占89%。1993年,振兴工程项目15个,投资22.96亿元。一批重点项目如太仓冷气机厂热交换器生产线,太仓布厂和太仓利泰纺织厂引进喷水、喷气织机,岳王粘胶工程,鹿河侨太聚氯乙烯皮革等技改项目相继竣工投产。全市引进项目43个,用汇7673万美元。市属企业90%以上的大项目引进国际先进设备和技术,用汇2912.7万美元。太仓铜材厂2万吨铜管加工项目,主体设备全部引进,用汇1986万美元,是太仓历史上最大的项目,技术、装备均达90年代国际水平。1994年,全市5000万元以上的10个技改项目中,有6个列入国家计划,分别为太仓铜材厂铜加工扩产引进项目、太仓利泰纺织厂喷气织机项目、太仓造纸厂6万吨牛皮箱板纸项目、太仓针织总厂32针经编立绒项目、太仓机械总厂登机桥及中联地毯厂簇绒地毯项目等。争取到国家贴补的技改资金和节能改造资金14218万元。1991～1995年,完成投入64.24亿元,全市(县)引进国外先进设备用汇3亿美元,为前5年的近20倍。

1996年,雅鹿集团引进90年代国际服装加工设备项目,太仓针织总厂引进氨纶整经机关键设备项目,总投资4300万元,为太仓市首次争取到的国家二期“双加”(加快投资力度,加快改革步伐)项目。同年,申请国家专项贷款3045万元,下达贷款计划2545万元。列入省重点调度项目的有太仓利泰纺织厂和太仓第二棉纺厂压锭引进改造项目,列入省“九五”时期重点技改项目的有太仓铜材厂引进的内螺纹管关键设备和中联地毯集团轿车成型地毯。太仓机械总厂登机桥项目列为省重点竣工项目。1998年,列入国家重点行业、结构调整专项规划的有中联地毯集团引进的拉毛针刺地毯机1项;列入国家工业产品扩大出口专利规划2项,分别为太仓利泰纺织厂引进的剑杆织机和太仓反光镜厂发明的新型冷光束卤钨节能

灯；列入省重点项目 2 项，分别为太仓利泰纺织厂和太仓第二棉纺厂压锭改造项目。1999 年，9 个项目列入省工业经济 3 年上新台阶技改项目，计划总投资 2.61 亿元，全年落实银行专项贷款 1.8 亿元。2001 年，争取国家、省重点技改项目 7 项。其中国债项目 3 项，分别为大仓集团、雅鹿集团、太仓利泰纺织厂；省重点竣工项目 2 项，分别为太仓利泰纺织厂和特种电机厂；省重点调度项目 2 项，分别为雅鹿集团和大仓集团。省重点效益跟踪项目 2 项，分别为太仓利泰纺织厂和太仓反光镜厂。1996 ～ 2005 年，全市技改实际完成投入量 511.65 亿元，新兴产业，科技含量、产业层次高的优势项目增多。其中 2001 ～ 2005 年，全市投资在 1000 万美元（内资 2000 万元）以上的重点技改项目 360 个，实际完成投入量 433.72 亿元。全市工业产业结构逐渐趋向合理。

1986～2005年太仓市（县）工业性技术改造投资情况表

表 145

年份	技改立项（个）	计划投资（亿元）	实现投资（亿元）	竣工项目（个）
1986	168	2.50	1.30	80
1987	248	2.80	1.40	171
1988	467	4.79	2.61	291
1989	159	2.02	0.95	125
1990	227	1.76	0.52	101
1991	741	5.76	3.62	457
1992	1032	24.33	15.15	709
1993	—	38.44	14.08	403
1994	474	35.74	18.30	274
1995	381	37.19	13.09	264
1996	298	35.05	11.44	172
1997	264	33.49	10.96	153
1998	260	42.89	17.50	182
1999	308	50.52	16.02	221
2000	458	52.67	22.01	363
2001	584	73.13	30.91	462
2002	671	116.00	48.89	539

续表 145

年份	技改立项(个)	计划投资(亿元)	实现投资(亿元)	竣工项目(个)
2003	701	198.14	102.47	477
2004	499	312.97	111.46	310
2005	528	374.72	139.99	402

企业管理

【人才培训】

自办培训 1982 年,太仓工业干部学校成立。1987 年,举办班组长培训班 4 期,116 名学员受训。同年 10 月起,举办非大中型企业厂长岗位职务培训班。1988 年起,轮训各乡镇企业和大厂中层干部、班组长及各类技术管理人员。1989 年年末,举办乡镇企业大厂厂长(含乡镇工业公司经理)培训班,学习乡镇企业经营管理、外向型经济等知识。1990 年 4 月 16 日至 11 月 17 日,举办企业党务、政工干部培训班 1 期,学习内容主要是哲学、法律、党的方针政策、思想政治工作、组织纪律、经营管理等,286 个课时,26 名学员参训。1991 年起,举办企业中层干部培训班。同年,举办现代化管理方法、经济合同法培训班各 5 期,培训 512 人。至 1992 年,共举办非大中型企业厂长岗位职务培训班 11 期,开设必修课 7 门,专题课 5 门,专题研讨会 6 次,共 213 个课时,308 人参加学习;共举办乡镇企业厂长(含乡镇工业公司经理)培训班 15 期,612 人参加学习。至 1993 年,各乡镇和大厂轮训中层干部班组长 2877 人,占应轮训人员的 89%;举办各类技术管理人员培训班 2000 多期,参训 8.16 万人次,培训面 80% 以上。至 1995 年,共举办企业中层干部培训班 5 期,125 人参加学习。1996 ～ 1999 年,举办英语初级班、四级英语辅导班,233 人参加。此后,工业干部学校作为企业培训主阵地的职能逐步减退。

联合委托培训 1988 年起,县委托上海、南京、苏州部分大中专院校代培大专生和中专生。1992 年,举办外贸英语强化班,脱产学习 1 年,28 名学员参加。1995 年,联合举办经贸英语大专班,学制 3 年,颁发函授大专毕业证书,23 名学员参加。1996 年,举办财务自学考试辅导班,利用休息日学习,学制 2 年半,省考试办颁发中专毕业证书,44 名学员参加。1997 年,联合举办大专毕业证书培训班,学制 2 年,49 名学员参加。1993 ～ 1997 年,举办职业高中班 11 个,招收学员 406 名。同期,组织 2300 多名财务人员参加会计基础工作、新财务制度等培训。此后,随着乡镇

工业局职能转变，未再开展联合委托培训。

【基础管理】

1986 年，举办乡镇企业基础管理综合培训班 6 期，752 人参加培训；各类专业培训班 40 多期，5000 多人参加培训。1989 年，县属企业 7364 人、乡镇企业 6.96 万人参加各类培训，全员培训率分别为 40%、63%。1990 年，县属企业升级面为 27.07%、乡镇骨干企业升级面为 44.78%。1991 年，县属企业开展“质量、品种、效益年”活动，全年取得 50 项工业企业现代化管理成果奖，创造经济效益 3000 万元。1992 年，全市仓库管理达标企业 72 家，财务管理达标企业 61 家，现场管理达标企业 33 家，设备管理达标企业 38 家，全质管理达标企业 55 家。获 66 个现代管理成果奖。1996 年，全市 70% 以上企业达到升级整顿的要求。至 2000 年，雅鹿集团、香塘集团、江苏三角洲塑化有限公司、太仓第三棉纺厂有限公司、苏州荣文集团等 27 家乡镇企业被省政府授予省乡镇明星企业、管理示范企业称号，顾振华、顾建平、王炳林、周国平、管雪平等 16 名法人代表被授予省乡镇优秀企业家称号；42 家乡镇企业被苏州市政府授予苏州市乡镇明星企业、管理示范企业称号，30 名法人代表被授予乡镇优秀企业家称号。2005 年，按照《苏州市制造业产业、产品、技术指导目录》，引导工业企业、金融机构及社会资金的投资方向，加强重点项目、规模企业的管理。

【质量管理】

1986 年，31 家国有集体企业推行全面质量管理，建立品质控制（QC）小组 20 个。1987 年，开展计量定级、升级工作，加强标准化管理，100% 县属企业、85% 乡镇企业消灭无标生产，少数企业采用国际化标准。同年，95% 以上国有集体企业、1/3 乡镇企业推行全面质量管理，建立品质控制小组 214 个。1990 年，各级主管部门及企业 3338 人参加学习品质控制基础知识，2803 人参考，考试合格率 96.93%。1991 ～ 1992 年，全面质量管理培训参加考试近 1 万人。至 1995 年，全市累计创国优产品 3 个，部、省优产品 81 个。同年起，全市工业企业开展创名牌产品、驰名商标、ISO 9000 系列标准认证活动。至 2000 年，全市累计有 82 家企业产品获得国际认证。至 2005 年，全市累计获得中国名牌产品 1 个、江苏省名牌产品 8 个、苏州市名牌 80 个；中国驰名商标 1 个、江苏省著名商标 18 个、苏州市知名商标 33 个。

2004～2005年太仓市获江苏省名牌情况表

表 146

企业名称	产品名称	获奖年份	所属镇区
江苏新雅鹿集团有限公司	休闲服	2004	璜泾
太仓利泰纺织厂有限公司	纱、布	2004	沙溪
江苏香塘集团有限公司	工艺鞋	2004	沙溪
江苏大仓集团有限公司	服装	2004	新区
太仓市农药厂有限公司	多菌灵原药	2004	浏河
江苏仓环铜业股份有限公司	铜及铜合金管	2005	城厢
江苏三角洲塑化集团有限公司	聚氯乙烯电缆料	2005	沙溪
太仓市金辉化纤实业有限公司	涤纶长丝	2005	沙溪

管理体制

【综合管理部门】

1981 年 2 月,太仓县经济委员会(简称经委)成立,原工交办公室、工业一局、工业二局撤销。1984 年 5 月,社队工业局更名为乡镇工业局,1985 年 7 月分出独立办公。1988 年 4 月,经委与乡镇工业局合署办公。1991 年 7 月 1 日起,乡镇工业局和经委实行分署办公。2000 年,经委的质量管理、生产许可证管理的机构、编制、人员、资产等成建制划入市技术监督局。2001 年,组建太仓市经济贸易委员会(简称经贸委),挂市安全生产监察局、市乡镇企业管理局牌子,撤销纺织、机电冶金、化建医药、轻工 4 个专业局,注销控股集团公司。市贸易局归经贸委管理。2005 年 5 月 12 日,明确经贸委为市政府职能部门,对外另挂市乡镇企业管理局、市中小企业局牌子,归口管理市贸易局,综合管理安全生产工作的职能交给市安全生产监督管理局。

【行业管理部门】

1981 年 2 月,组建机电、纺织、轻工、化学、建材 5 个专业公司。1984 年 2 月,5 个专业公司明确为副科级公司。1986 年 4 月,化学和建材两个公司合并为化学建材工业公司。1988 年,4 个专业公司升格为正科级公司。1992 年 3 月,分别更名为纺织工业局、机电冶金工业局、化建医药工业局、轻工业局,明确为事业性质的行

业局。1996 年 8 月开始，4 个行业局进行管理体制改革，首先在纺织工业局、化建医药工业局试点，1997 年推开，分别建立行业控股（集团）公司，属企业性质，与行业局一套班子、两块牌子。2001 年 12 月，撤销行业局，行业管理职能转交给经贸委。2002 年 6 月，撤销 4 个控股（集团）公司，建立太仓市工业投资发展有限公司，原行业局、控股（集团）公司人员分流安置。

企业改制

【概　况】

1998 年下半年，市属 26 家集团公司、厂所属 53 个法人实体产权制度改革启动。2001 年，核实 26 家市属集团公司、厂总资产 220521 万元，企业负债总额 164316 万元，所有者权益 56205 万元，占用工业用地 1466908 平方米。同年，经内市属企业有在岗人员 11801 人，内退人员 1384 人，下岗人员 1857 人，分流安置人员 2170 人，支付安置费 1813 万元，离退休人员 4195 人。至年末，第一轮改制工作全部到位的有太仓印刷厂、太仓捷达制衣公司、太仓布厂等 10 家集团公司、厂所属 31 个法人实体。太仓机械总厂、太仓啤酒厂、金龙集团、太仓化建总厂、太仓针织总厂等 16 家集团公司、厂所属 20 个企业，职工 5806 人，列为改制困难企业。困难企业的改制总成本 17302 万元，其中安置费 11259 万元。至 2005 年年末，全市采取 10 种形式进行市属企业产权制度改革：破产 6 家，分别为太仓布厂、太仓啤酒厂、太仓飞宝电器厂、太仓化肥厂、太仓建材总厂、太仓机械总厂；改制成有限责任公司 20 家，分别为宏达集团的热电公司及兴业经营部、太仓利泰纺织厂、太仓第二棉纺厂、太仓第一服装厂、太仓第三服装厂、太仓信和针织厂、太仓针织总厂的联盛染整及富丽针织和服务公司、大仓集团、太仓捷达制衣公司、太仓印刷厂、金帆实业的玻璃仪器厂、双爱塑化公司本部及塑助厂、特种电机厂、金龙集团的盖斯汽体、太仓化建总厂的三狮分厂及混凝土公司；改制成合作公司 1 家，宏达集团造纸厂与外商组建胜宏纸业；改制成合资公司 3 家，分别为江南空调器公司与美标公司合资组建特灵公司、宏达集团木器厂与外商组建宏达德泰公司及太仓针织总厂的富锦印花公司；改制成民营公司 14 家，分别为宏达集团的宏俊石英、太仓第一服装厂的新艺水洗、太仓农具五金厂、金帆实业的弘扬服饰公司和宏枫木业厂、浏河造船厂、太仓农机三厂、太仓无线电总厂的电感器公司及荣昌钎焊厂、华美家电

厂和欧杰乐器材厂、太仓化建总厂的混凝土分厂和化工分厂、太仓工业搪瓷厂；租老场地建新厂房1家，太仓酿酒总厂；退二进三（缩小第二产业，发展第三产业）5家，分别为金帆实业的太仓光机厂、双爱塑化公司的太仓注塑厂和太仓家具厂、太仓农机二厂、太仓无线电总厂的太仓晶体管厂；资产置换1家，为杨林拆船厂；股份公司1家，为太仓铜材厂；股份合作1家，为金龙集团。

全市市属企业改制后的土地处置采取4种办法：出让土地4幅计4公顷，出让费480多万元。其中太仓化建总厂建材分厂预制场1.47公顷，272万元；太仓农机三厂1.33公顷，100多万元；浏河造船厂0.47公顷，42万元；杨林拆船厂仓库地块0.73公顷，66万元。拍卖土地3幅计3.6公顷，拍卖款5410万元。其中特种电机厂1.6公顷，3400万元；沙溪农具五金厂1.33公顷，1140万元；太仓印刷厂桃园路仓库地块0.67公顷，870万元。老城区改造拆迁补偿，涉及4幅地块计3.06公顷，补偿费1702多万元。其中西门皮件厂1.27公顷，60万元；太仓印刷厂西门危险品仓库0.12公顷，30万元；太仓化建总厂化工实验厂1.07公顷，62万元；纺织工业局0.6公顷，1550多万元。大部分改制企业以租用原企业土地付租金的办法，由太仓市工业投资发展有限公司具体运作。所有租用及未租用的剩余企业用地，全部由市土地储备中心统一管理运作。

【重点企业改制】

太仓利泰纺织有限公司　职工3563人，2001年8月完成转制。评估总资产32503.98万元，负债19027.62万元，所有者权益13476.36万元，剥离总额8725.94万元，其中剥离职工安置费2992.92万元，转制后新公司注册资金5615.8万元，国有股占18.21%，自然人股份及持股会35人，占81.79%。至2005年年末，仍有部分职工安置费未支付到位。

太仓第二棉纺厂实业有限公司　职工1406人，企业进行过两次改制。1998年7月第一次改制，转制新公司注册资金国有股占82.78%，自然人股份及持股会占17.22%。2002年3月完成第二次改制，评估总资产13755.8万元，负债11052.63万元，所有者权益2703.17万元，剥离总额1516.56万元，其中剥离职工安置费619.64万元。转制新公司注册资金2580.34万元，自然人股份及持股会35人，100%持股。

江苏大仓集团有限公司　职工639人，2002年3月完成转制。评估总资产

5913.29 万元，负债 1608.14 万元，所有者权益 4305.15 万元，调整净资产 85.7 万元，剥离总额 3244.34 万元，其中剥离职工安置费 375.73 万元。转制新公司注册资金 1146.51 万元，自然人股份及持股会 31 人，100% 持股。

江苏仓环铜业股份有限公司　职工 799 人，2002 年 6 月完成转制。评估总资产 20702.71 万元，负债 13793.77 万元，所有者权益 6908.94 万元，剥离总额 4339.93 万元，其中剥离职工安置费 671.16 万元。转制新公司注册资金 2569 万元，国有股占 20%，自然人股份及持股会 12 人，占 80%。

苏州宏达集团有限公司　职工 1057 人，2001 年 12 月完成转制。评估总资产 17632.27 万元，负债总额 6155.95 万元，所有者权益 11476.32 万元，剥离总额 8504.86 万元，其中剥离职工安置费 1216.96 万元。转制新公司注册资金 2961.8 万元，国有股占 29.49%，自然人股份及持股会 17 人，占 70.51%。至 2005 年年末，仍有部分职工安置费未支付到位。

重点企业选介

【太仓利泰纺织有限公司】

2005 年太仓市 50 强重点企业太仓利泰纺织有限公司

公司前身是太仓利泰纺织厂，建于清光绪三十一年（1905 年）。1986 年，完成工业总产值 9653.52 万元。1996 年投资 7000 万元，引进喷气、喷水织机。2000 年投入 2998 万元，采用有臂剑杆织机、倍捻机、清钢联等关键设备改造生产线，生产高支薄型提花面料替代进口布料。2001 ～ 2003 年投资 7500 万元，从瑞士、法国、日本、德国等国家引进先进的精梳联、喷气织机等设备 58 台（套）。2002 年完成产值 43623 万元，创利税 5424 万元。同年通过产权制度改革，更名为太仓利泰纺织有限公司，保留 18.21% 国有股本。2005 年完成产值 67138 万元，创利税 4499 万元，属太仓市 50 强重点企业第六名。企业生产的“醒狮”牌纱、布被评为省名牌产品，畅销国内外市场。

【江苏仓环铜业股份有限公司】

公司前身为国营太仓铜材厂,1976年12月成立。1986年,完成产值2201.57万元,创利税430.77万元。80年代起,先后实施三期技术改造工程,引进欧美等国家的先进设备和技术。其中投资3000万美元引进代表世界铜管生产先进水平的连铸连轧生产线,于1997年投产。生产的“仓环”牌铜管形成四大系列上千种规格,其中高效翅片管填补了国内空白,先后获省高新技术企业、省博士后技术创新中心、省质量管理先进企业等荣誉称号。“仓环”牌铜管连续8年获省名牌产品称号。其中“超长铜盘管”被评为国家级新产品,“毛细管”获国家金质奖等。2002年6月,转制成中外合资股份制企业。2005年,完成产值52923万元、创利税2993万元,分别比1986年增长23.04倍、5.95倍,属太仓市50强重点企业第十一名。

【江苏新雅鹿集团有限公司】

公司前身是鹿河西服厂,1976年成立。1985年,完成产值43.16万元,创利税12万元。1988年,率先在同行业中通过ISO 9001质量管理体系认证和ISO 14001管理体系国际认证。2002年,“雅鹿”羽绒服享有“中国驰名商标”“中国名牌产品”“国家免检产品”荣誉称号。集团企业拥有江苏雅鹿实业股份有限公司、中美合资苏州雅鹿方弈服饰有限公司、雅鹿合成纤维有限公司、上海雅鹿投资发展有限公司、太仓化电投资发展有限公司等6个子公司和1个国际贸易机构。在美国、法国、俄罗斯等12个国家设立分支机构,1.5万个销售网点遍布全球。2005年,实现销售收入123926万元,创利税8178万元,属太仓市50强重点企业第十名。

2005年雅鹿羽绒服制衣车间

【江苏香塘集团有限公司】

公司前身是归庄香塘村工艺鞋厂,1980年成立。1985年,完成产值46.8万元、创利税3.65万元。1995年,组建江苏香塘集团有限公司。2005年12月,经

国家工商总局核准，同意以“香塘集团有限公司”为核心，组建“香塘集团”。具有年产各类工艺鞋3500万双、各类垫子300万套、18万吨聚酯和16万吨溶体直纺涤纶长丝能力。同年，完成产值139236万元，创利税4236万元。

2005年香塘工艺鞋产品

【江苏申久化纤有限公司】

2003年1月成立，地处“中国化纤加弹名镇”璜泾镇。公司一、二期工程投资16.5亿元，占地面积30公顷，员工2000余人，形成年产50万吨聚酯和44万吨长丝的生产能力，成为集工、贸于一体的特大型化纤企业。2004年，被评为“太仓市十强民营企业”。2005年，完成产值217824万元，被评为“苏州市百强民营企业”。

【江苏省长江石油化工有限公司】

1992年9月8日成立。总投资3000万美元，注册资金1200万美元。1995年5月，1.5万吨级石化码头和储罐工程建成投运。此后，增资扩股，码头和储罐扩建增能。大庆石油管理局加盟江苏长江石油化工有限公司，注册资金增至3000万美元。1.5万吨级泊位改造为3万吨级泊位，并扩建一个5万吨级石化泊位。2005年年末，储罐区总容量为25.5万立方米。

【苏州华苏塑料有限公司】

1992年9月成立。投资总额5400万美元，注册资金2160万美元，其中美国华美集团国际控股公司出资50%，挪威海德鲁公司出资25%，苏州化工农药集团出资20%，太仓石油化工公司出资5%。1993年4月3日，一期年产2.4万吨聚氯乙烯胶布项目奠基。1995年11月9日，举行一期项目开业典礼。1996年，投资总额增至8930万美元，注册资金增至3100万美元。1997年8月5日，二期10万吨聚氯乙烯树脂项目开工建设。1999年10月15日，举行生产开工仪式。2005年，实现产值11.38亿元，销售收入11.35亿元，利润498万元，上缴税收1148万元。

【克恩—里伯斯（太仓）有限公司】

1993年，首家德资企业克恩—里伯斯（太仓）有限公司进驻新区。首期注册

1993年入驻新区的德资企业克恩—里伯斯(太仓)有限公司

资金223万欧元。生产各种高品质弹性元件、精密冲压件、高精度针织元件和一次性医疗采血针等。至2002年,连续被评为“省级高新技术企业”,其汽车安全带卷簧等产品被评为“高新技术产品”。2004年,成为江苏省“知识密集型和技术密集型企业”。2005年,拥有1.3万平方米现代化厂房、多条德国进口弹簧生产线及各种先进设备,并通过了QS-9000、GB/T19001-2000、ISO 9001:2000认证及ISO 14000环境认证。全年实现销售收入14810.7万元,创利税1484.2万元。

【苏州碧辟液化石油气有限公司】

1995年5月28日,华能集团综合利用开发公司(简称华能集团)与美国阿莫科炼油公司,在太仓港区合资建设2个3.1万立方米冷冻液化气储罐站协议在北京签订,华能阿莫科清洁能源有限公司成立。投资总额2950万美元,注册资金1200万美元,其中华能集团综合利用开发公司出资51%,美国阿莫科炼油公司出资45%,江苏长江石油化工有限公司出资4%。1996年2月2日,举行开工典礼。1997年5月31日,工程竣工试运行,9月13日通过验收并正式投运。2000年后,英国碧辟公司兼并美国阿莫科炼油公司,华能集团将所有股份转让给英国碧辟公司。2003年,华能阿莫科清洁能源有限公司更名为苏州碧辟液化石油气有限公司。2005年,实现产值8.52亿元,销售收入8.51亿元,利润1185万元,上缴税收186万元。

【舍弗勒(中国)有限公司】

1995年9月注册,一厂位于新区朝阳路18号。1998年3月,土建完工投入生产。注册资本91377218欧元,产品涵盖工业轴承应用各个方面,主要设计和生产精密轴承及各种主机专用轴承、汽车用液压挺杆、汽车用模具和夹具、发

放和排放控制装置及其他汽车零部件。2003 年，一厂追加投资，扩建厂房 1.9 万平方米，扩建生产项目。同年 11 月，舍弗勒集团投资 1.8 亿美元设立二厂，位于新区苏州路，占地总面积 20 公顷，属舍弗勒集团最大的生产基地。2004 年 6 月 11 日，举行奠基仪式。工程分 3 期建设，全部建成后年销售额可达 60 亿元。2005 年，实现销售收入 31820.7 万元，创利税 3253 万元。

2004 年 6 月奠基的舍弗勒（中国）有限公司二厂

【埃克森美孚（太仓）石油有限公司】

1995 年 9 月，美孚石油公司在港区批租 44 公顷土地，投资 8840 万美元，建设年产 7.3 万吨润滑油调配厂及其配套项目塑料制品厂、2.5 万吨级石化码头、4 个 2000 立方米液化气储罐和培训中心。1996 年 4 月 1 日，润滑油调配厂和石化码头举行开工典礼。1997 年 6 月，石化码头竣工投运。7 月，润滑油调配厂竣工试生产，第一批润滑油调试产品各项质量指标全部合格。9 月 11 日，举行开业典礼。2000 年，美国埃克森石油公司兼并美孚石油，美孚太仓石油公司更名为埃克森美孚（太仓）石油有限公司。2002 年，公司销售收入 10.56 亿元，成为全市首批年销售收入突破 10 亿元的企业。2005 年，实现产值 12.63 亿元，销售收入 12.01 亿元，利润 1.19 亿元，上缴税收 5901 万元。

【特灵空调器有限公司】

1995 年，美国标准集团公司投资 3000 万美元，在太仓新区建办特灵空调生产基地，专业生产家用空调、大型制冷机组及空调末端产品。工厂占地面积 10 多万平方米，建成 4 个生产车间及其他相关辅助设施。主要生产设备为引进美国、日本的流水线。2001 年，新增投资 2999.8 万美元，注册成立特灵空调系统（江苏）有限公司，厂房面积 1 万多平方米，扩大小型商用、家用中央空调生产规模。2003 年，特灵亚洲研发中心落户中国。2004 年，在各主要城市设立 30 多个办事机构，专业

从事产品的销售及服务等业务。2005 年,实现销售收入 129057 万元,创利税 8391 万元,属太仓市 50 强重点企业第四名。

【耐克(苏州)体育用品有限公司】

1997 年,由美国耐克公司独资兴建,总投资 2999 万美元,注册资本 2535 万美元,占地面积 20.24 公顷。企业生产各式运动鞋,年产量超 500 万双,以出口为主,销往欧美、东南亚等国家和地区。依托著名品牌,耐克公司销售业绩、经济效益逐年递增,成为全市税收大户和出口大户。2005 年,实现销售收入 42576.5 万元,创利税 31992 万元,其中纳税 30000 万元。

1997 年兴建的耐克(苏州)体育用品有限公司

【玖龙纸业(太仓)有限公司】

2002 年成立。公司位于太仓港区,占地面积 253.33 公顷,是美国中南公司独资企业,总投资 18 亿美元,建成年产 600 万吨的造纸生产线 12 条、5000 平方米的纸箱生产线 1 条,并建成 2 条造纸生产线及配套的 2 个自备热电厂、3 万吨污水处理装置、1 座 3.5 万吨级煤炭码头。2005 年实现销售收入 150623 万元,创利税 16540 万元。

2002 年创办的玖龙纸业(太仓)有限公司

服务业

卷十一

FU WU YE

1986 年后，随着经济体制改革的深化和市场供求关系发生的变化，传统的计划经济体制逐步向市场调节和完全市场化方向发展，太仓的交通运输业、信息传输业、商贸旅游业、金融业、房地产业都得到了长足的发展。2005 年，太仓港实现集装箱运输量 25.12 万标箱，货物吞吐量 1510.56 万吨；通讯新技术迅速普及，以移动电话和互联网为代表的新业务渐成信息服务主业；全市社会消费品零售总额 47.87 亿元，比 1986 年增长 12.52 倍；建成了中国优秀旅游城市；金融有银行、保险、证券、拍卖、典当 5 个行业，21 家机构，212 处网点。1986 ～ 2005 年，全市（县）共销售商品房 345.63 万平方米。

一、交通运输

太仓，古以“六国码头”著称，历来水运发达。中华人民共和国成立后，不断扩建公路，运输业开始水陆并重。80 年代，乡乡通汽车，公路运输比重日益加大，逐渐取代水运的主流地位。进入 21 世纪，高等级公路建设加快，公路运输业迅速发展。港口运输业则随着太仓港的兴起而从无到有，日渐成长，至 2005 年，港口运输业成为全市交通运输业的一个重要组成部分。

陆　运

【汽车站】

境内有太仓汽车客运站（又称长途站）、太仓汽车站（又称农公站）、沙溪汽车站、浏河汽车站等设施齐全的汽车站。

长途站　1986 年，站址位于城厢镇城北西路 204 国道东侧，单层平房。1987 年 12 月，在原站向北 200 米处，建成占地面积 25641 平方米，建筑总面积 3546.84 平方米新站。设 4 个售票窗口，8 个检票口，2 个车辆进出口通道。1996 年 4 月，实行微机售票和电子显示检票班次。1997 年，被省交通厅核定为二级汽车客运站。2003 年 11 月，长途客运实行站运分离。长途站负责站场管理、班次安排、客源组织、售票检票、秩序维护、安全检查及为外省市进站车辆提供服务。

农公站 1985年2月,在城厢镇西门街生产村原沪宜路东侧,搭建临时农村公共汽车站简易设施。1994年4月,投资1200万元的新建农公站落成,站址在204国道郑和路口,占地面积29890平方米,建筑总面积6643平方米,停车场4100平方米,站前广场3100平方米。1997年,被省交通厅核定为二级汽车客运站。1998年起,逐步实行微机售票、电子显示检票班次和电脑自动咨询服务,扩建停车场900平方米。1999年4月,被交通部评为三星级车站。

太仓农公站1995年新建前后站场环境对比

沙溪汽车站 1986年,站址位于沙溪镇新北西路5号,占地面积2000平方米,公共设施面积360.45平方米。1995年,车站迁至沙南路南侧,建筑总面积2145平方米,停车场4500平方米。1998年,被省交通厅核定为三级汽车客运站。

浏河汽车站 1986年,浏河有浏河长途汽车站和上海公交北浏线浏河汽车站。其中浏河长途汽车站,占地面积400平方米,候车室建筑面积151.5平方米。1987年,在原浏河装运公司南侧搭建简易农村公共汽车站。1988年9月,新建浏河汽车站。建筑总面积8112平方米,其中候车厅1000平方米、停车场4000平方米、站前广场600平方米。1989年10月正式营业,并统一代理长途汽车的组客售票业务,原3个汽车站场停止使用。1998年,被省交通厅核定为三级汽车客运站。

其他乡镇长途汽车站 1986 年，全县所有乡镇都设有长途汽车站，站点平均面积 52.7 平方米，主要功能为组客和发售车票。1990 年起，乡镇长途汽车站因市镇建设需要，逐渐异地迁建或拆除，并停止组客售票。长途客运组客业务由太仓、沙溪两站受理和浏河站代理。

乡镇农公汽车站 1986 ～ 1993 年，市（县）交通局投资 202.54 万元，陆续新建改建四级以下农村公共汽车站 15 个。随着旅客运输格局的变化，乡镇汽车站逐渐失去了组客、售票作用。至 2005 年年末，除鹿河、浮桥汽车站外，其余乡镇汽车站均停止使用，站房陆续划拨给交管所或当地政府管理。

招呼站 1982 年，为方便公路沿线乡（镇）、村居民乘车，在就近乡（镇）、村公路边设临时汽车停靠点，招呼客运汽车停靠上下客。全县公路沿线共设有 90 个招呼站。后招呼站逐渐减少，仅在主要公路干线上建有防雨亭。随着方便乘车，招手即停措施的实行，招呼站失去功能，1993 年后全部拆除。

【旅客运输】

1986 年，太仓公路旅客运输以长途客运和农村公共汽车客运为主。90 年代中期，城市公交客运、出租车客运、旅游客运逐步发展，成为市区居民出行的重要交通方式。

长途旅客运输 1986 年，太仓长途旅客运输拥有客车 32 辆 1712 座，经营 22 条长途客运班线，日发 89 班次，年发送旅客 154.03 万人次。1989 年 9 月 17 日起，与上海长途汽车站共同经营上海至浏河客运班线，双方各投入 5 辆大客车对开运行。同年，农公站开始从事少量长途旅客运输业务，开辟太仓至上海、常熟、射阳等跨省市长途客运，日发 9 班次，打破了长途客运独家经营格局。1990 年年末，新增 5 辆快客开始投入沪嘉高速公路运输。1991 年，增开 9 条长途客运班线。同年，为适应经济发展需要和外来务工人员的往返，农公站的长途客运班线逐年增加，线路遍及安徽、湖北、河南、四川等省市。之后，客运运力和线路不断增加，至 2000 年，共有大客车 80 辆，经营 50 条长途客运班线，日发 141 班次，年发送旅客 117.51 万人次。2005 年年末，全市拥有长途营运客车 139 辆 4828 座，班线 66 条，日发 289 班次。其中省际班线 29 条，日发 118 班次；市际班线 17 条，日发 21 班次；县际班线 20 条，日发 150 班次。年发送旅客 295.7 万人次，旅客周转量 16500 万人千米。

1986～2005年太仓市(县)长途客运班线选年一览表

表 147

始发站	终点站			
	1986 年	1991 年	2000 年	2005 年
太仓	苏州、昆山、杭州、上海、常熟、无锡	苏州、昆山、杭州、上海、常熟、无锡、湖州、江阴、盐城、嘉兴、海复	苏州、昆山、杭州、上海、常熟、无锡、湖州、江阴、盐城、嘉兴、海复、义乌、奉贤、南京、常州、溧阳、兴化、寿县、怀宁、芜湖、湾址、绍兴、长兴、枞阳、合肥、麻城	苏州、昆山、杭州、上海、常熟、无锡、湖州、江阴、盐城、嘉兴、海复、义乌、奉贤、南京、常州、溧阳、兴化、寿县、怀宁、芜湖、湾址、绍兴、长兴、枞阳、合肥、麻城、嘉定、句容、宜兴、宿迁、金湖、睢宁、连云港、定远、庐江、灵璧、东至、莆田、开封、武汉、泸州
浏河	苏州、常熟	苏州、常熟、无锡、上海	苏州、常熟、无锡、上海、安亭、阜宁、沭阳	苏州、常熟、无锡、上海、安亭、阜宁、沭阳
浮桥	苏州、常熟	苏州、常熟、上海	苏州、常熟、上海	苏州、常熟、上海
时思	上海、苏州、常熟	上海、苏州、常熟	上海、苏州、常熟	上海、苏州、常熟
鹿河	上海、苏州、常熟	上海、苏州、常熟	上海、苏州、常熟	上海、苏州、常熟
岳王	上海、苏州、常熟	上海、苏州、常熟	上海、苏州、常熟	上海、苏州、常熟
沙溪	上海、苏州、常熟	上海、苏州、常熟、杭州	上海、苏州、常熟、杭州、松江	上海、苏州、常熟、杭州、松江、南京

农村公共汽车客运 1986 年，有大小客车 51 辆 2950 座，经营 9 条农村公共客运班线，线路总长 228 千米，日发 210 班次，年发送旅客 478.94 万人次。1994 年，允许个体户参加农村公共客运，形成了集体和个体共同参与的市场格局。1996 年，境内农村公共线路调整为 7 条，线路总长 230 千米。太仓至新毛、新湖、板桥 3 条农公线路改由 101、102 路城区公交线路替代，新增太仓至九曲线路。1997 年 2 月，太仓至岳王农公线路延伸至远太码头，同时对 7 条农村公共客运线路走向、途经站点进行调整和补充。全市有农村公共汽车 101 辆 2391 座，发送旅客 381.9 万人次。2003 年，公交车统一编号。城区公交 100—199 编号；太仓至各镇的公交统称城镇公交，200—299 编号；镇镇客运线路统称区间公交线路，300—399 编号；特别线路 400—499 编号。城镇公交线路除沿途设置固定停靠站点外，也可招手即停，就近上下车，方便旅客出行。2005 年年末，境内共有 7 条城镇公交客运线路，线路总长 233 千米。有 90 辆 3115 座的大型空调或中型普通客车投入营运，日发 196 班次，日均发送旅客 7740 人次。

2005年太仓市城镇公交线路、站点情况表

表 148

线路名称	始发站	途经站点	终点站	里程（千米）	日发班次
201	太仓	太西、太北、太东、横沥、桃园、陆渡、倪家桥、长桥、何家桥、大同、浏河、六里桥、三里桥、浏家港、胜利、仪桥、日新、和平 走向：车站—郑和路—太浏路—浏浮路	浮桥	34	44
202	太仓	太西、太北、太东、横沥、桃园、陆渡、倪家桥、长桥、朱桥、杨桥、张桥、新塘、米场、牌楼、杨林桥、新生、大宅、新仓 走向：郑和路—太浏路—陆新牌路—牌九路	九曲	30	12
203	太仓	太西、太东、横沥、板桥、徐泾、岳王、牌楼、花圃、七浦桥、远太 走向：郑和路—兴业路—新港路—沪浮璜公路—北环路	远太码头	38	24
204	太仓	太西、东新、新建、毛观堂、杨林大桥、双凤、缪泾、直塘、泰西、利泰、沙溪、沙东、涂松、百花、红旗、老闸、绿化、九曲、东方红、时思 走向：204 国道—沙南路—沙鹿路—通港路—九时路	时思	34	26
205	太仓	太西、东新、新建、毛观堂、杨林大桥、双凤、缪泾、直塘、泰西、利泰、沙溪、沙东、涂松、百花、三里桥、归庄、苏巷、王秀、光明、璜泾、新华、友谊桥、新幸 走向：204 国道—沙南路—沙鹿路	鹿河	39	72
301	沙溪	沙溪、沙东、松南、新泾、塘桥、岳西、岳王、双沟、牌楼、花圃、吴泾桥、浏家港、三里桥、浏河 走向：沙南路—沙岳路—新港路—浏浮路	浏河	29	14
401	太仓	太西、东新、新建、新毛、杨林、双凤、缪泾、直塘、泰西、利泰、沙溪、沙东、涂松、百花、三里、归庄、苏巷、王秀 走向：204 国道—沙南路—沙鹿路	王秀	29	4

城区公交 1985 年 8 月，投放 45 座位大客车 1 辆，专营环城线路，为境内第一辆城市公共汽车线路班车。日发 20 班次，日均客运量 450 余人次。1988 年，开始不断调整环城车线路停靠站点、班次、车型。1995 年，环城线路定名为 1 路，同时开通 2 路环城线路，途经商业区主要街道。线路长 4.2 千米，投放 19 座小公共汽车 1 辆，日发 20 班次，日均客运量 400 余人次。1996 年，先后开通 101、102 路。1997 年，开通 103 路。1998 年，开通 108 路，替代原 1 路、2 路环城线路。2001 年 8 月，开通 105 路。2003 年 8 月，开通 109 路。2004 年 1 月至 2 月，先后开通 106、107、111、112、113 路，分别向牌楼、板桥、陆渡、双凤、南郊、沙溪等地辐射，推进城乡公交一体化。2005 年年末，共有城区公交线路 11 条，线路总长 136.4 千米，投放班车 25 辆 995 座，日发 262 班次，客运量日均 1.68 万人次。其中 102、103、105、108 路实行一票到底，每人每次 1 元；101、106、107、109、111、112、113 路等向

区、镇延伸的线路按城镇公交线路班车规定的价格标准执行。城区公交沿途主要停靠站点配备不锈钢简易候车棚供旅客候车。

城市出租车客运 1986年,境内有37辆机动三轮车,从事客运出租业务。1991年,机动三轮增至78辆,并新增40辆6座长安微型面包出租车。随着人民生活水平的提高,机动三轮出租车逐渐淘汰,至1995年,全部退出客运出租市场。同年10月,苏汽集团客运公司太仓公司出租汽车公司成立,为第一家经营城市出租车客运的专业企业。至1998年,先后有太仓市迅达汽车出租有限公司、太仓市汽车运输总公司汽车出租分公司等8家出租车专业公司成立。2002年,经运管部门审批的客运出租车378辆,车型有长安面包、夏利、普桑、桑塔纳2000等。同年开始逐步淘汰长安面包、夏利等车型,车型统一为桑塔纳。2005年年末,境内共有城市客运出租车公司13家,拥有统一标识的桑塔纳出租车378辆1890座。

2005年7月更新后的城市出租车

旅游客运 1986年,全县共有汽车旅游服务公司20家,拥有大小旅游客车87辆1134座。各公司以旅游出租和定线班车方式经营客运业务。在春、秋两个旅游旺季,各学校、机关、社会群众团体包车外出旅游观光。1990年开始,根据旅游客运出租车市场规范化整顿的要求,大部分旅游服务公司因不符合经营资质要求被取消经营,部分公司因无客源而自然淘汰。至2001年年末,仅存浏河镇旅游汽车服务公司1家。2002年开始,随着旅游业的发展,陆续有太仓市通达汽车运输公司和苏州市东方客运有限公司太仓分公司经营旅游出租车业务。2005年年末,全市有旅游出租车公司4家,旅游客运出租汽车22辆866座。全年运送旅游观光人数22.64万人次。

人力三轮车客运 1986年,境内有人力三轮车52辆,主要在车站、轮船码头以及主要街道、里弄小巷招揽乘客或捎带物资运送。90年代起,随着城市客运出租车的出现和道路交通管制,人力三轮车客运逐步淘汰,大多只作为一种特色交通工具供旅游者乘坐观光,集中在浏河、沙溪两镇。2000年,最多时全市有人力三轮

车 209 辆。至 2005 年年末，全市有人力三轮车 153 辆，其中城厢镇 2 辆，浮桥镇 1 辆，沙溪镇有统一标识的人力三轮车 50 辆，浏河镇有 100 辆。

【货物运输】

1986 年，全县有普通货运汽车 204 辆，载重 894 吨，手扶拖拉机 843 辆，载重 879 吨；有 5 辆罐车和 3 辆槽式车从事危险品货物运输；有集装箱运输车 10 辆。90 年代起，随着运输市场开放，逐步形成国有、集体、私营、外资和个体“五个一起上”市场格局。至 2005 年年末，全市有道路运输持证经营户 4183 家（含搬运装卸、运输服务业），拥有货运汽车 4639 辆，载重 18208 吨，手扶拖拉机 1598 辆，载重 1573 吨。年货运量 730 万吨，货物周转量 45625 万吨千米。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）道路货物运输量、周转量情况表

表 149

年份	合计		交通运输部门		非交通运输部门			
	运量（万吨）	周转量（万吨千米）	运量（万吨）	周转量（万吨千米）	运量（万吨）	周转量（万吨千米）	其中个体运输户	
							运量（万吨）	周转量（万吨千米）
1986	88.15	2460.04	8.75	855.0	79.40	1605.04	52.30	642.00
1987	123.80	3580.00	9.00	870.0	114.80	2710.00	81.90	950.00
1988	117.80	3671.00	9.00	942.0	108.80	2729.00	83.90	1052.00
1989	89.00	2551.00	6.60	727.0	82.40	1824.00	68.20	893.00
1990	68.16	2149.90	7.30	782.0	60.86	1367.90	51.90	788.70
1991	63.20	2272.20	9.00	908.0	54.20	1364.20	44.40	738.50
1992	352.20	12735.00	11.60	1094.0	340.60	11641.00	54.30	798.40
1993	349.00	21260.00	15.30	1211.0	333.70	20049.00	54.56	1490.75
1994	359.10	18823.00	8.30	840.0	350.80	17983.00	42.30	761.50
1995	528.20	21244.00	6.50	703.0	521.70	20541.00	32.10	268.00
1996	532.10	23416.00	3.70	374.0	528.40	23042.00	27.16	508.16
1997	375.18	20886.60	2.98	257.6	372.20	20629.00	9.10	584.00
1998	279.20	13983.00	1.50	140.0	277.70	13843.00	12.10	455.00
1999	313.71	17791.00	1.51	138.0	312.20	17653.00	60.00	2487.00
2000	405.99	21504.30	1.49	138.3	404.50	21366.00	44.20	2551.00

续表 149

年份	合计		交通运输部门		非交通运输部门			
	运量（万吨）	周转量（万吨千米）	运量（万吨）	周转量（万吨千米）	运量（万吨）	周转量（万吨千米）	其中个体运输户	
							运量（万吨）	周转量（万吨千米）
2001	365.15	19645.50	1.65	163.5	363.50	19482.00	73.00	3789.00
2002	449.06	27630.80	1.56	158.8	447.50	27472.00	122.00	7096.00
2003	366.00	21591.00	1.10	92.0	364.90	21499.00	231.00	12552.00
2004	555.00	32469.70	2.90	55.7	552.10	32414.00	261.00	15356.00
2005	730.00	45625.00	0	0	730.00	45625.00	366.00	20704.00

普通货物运输　1986 年，全县公路货物运输大多数为普通货运，有普通货物运输汽车 204 辆，载重 894 吨。另有拖拉机 843 辆，载重 879 吨。90 年代，随着经济发展和太仓港的兴起，普通货运企业和个体汽车运输经营户增多，趋向专业化、规模化、集约化经营。至 2005 年，全市有普通货运企业 1198 家，个体汽车运输经营户 1368 户；拖拉机运输经营企业 38 家，个体拖拉机运输户 1387 户。拥有普通货物运输汽车 4138 辆，载重 13039 吨；拥有拖拉机 1598 辆，载重 1573 吨。年货运量 557.21 万吨，货物周转量 35040 万吨千米。

危险品货物运输　1986 年，境内从事危险品运输的专用车有 5 辆罐车和 3 辆槽式车，为一些小型化工企业运送化工原料和成品。批量化工原料或产品运输则主要依赖水运。90 年代初，危险品运输单位及其车辆逐年增加，至 1996 年，危险品运输专用车增至 82 辆，载重 522.9 吨。2001 年，根据危险品货物运输资质管理相关规定，通过合并或收购车辆的形式，将 77 家运输企业及个体户组建成 8 家危险品货物运输公司，实行公司化经营管理。2004 年，新增 7 家危险品运输公司。2005 年年末，境内共有危险品运输公司 15 家，拥有营运车 333 辆，载重 1629 吨，从业人员 668 人。危险品年运输量 55.2 万吨，货物周转量 3324 万吨千米。

集装箱运输　1986 年，金陵国际集装箱运输公司成立，为境内第一家集装箱运输企业，有集装箱运输车 10 辆，载重 320 吨，公司设在浏河镇西原外贸仓库内，从事外贸集装箱运输服务。后迁至上海市宝山地区。1998 年，太仓市利达货运代理有限公司投放 5 辆，载重 152.4 吨集装箱运输车，从事太仓港港口集装箱和大件物品运输。1999 年 9 月，海关总署批准太仓港为集装箱运输中转港，为全市集装

箱运输奠定发展基础。2002 年 8 月，太仓市光明有限公司投放 12 辆，载重 240 吨集装箱运输车从事集装箱运输。至 2005 年年末，全市有集装箱运输企业 23 家，拥有集装箱运输车 57 辆，载重 1637 吨，从业人员 150 人。另有 72 辆牵引车和挂车参与集装箱运输。年货运量 62.49 万吨，货物周转量 3765 万吨千米。

大件物品运输 1998 年，太仓市利达货运代理有限公司投入 7 辆，载重 150 吨专用车开始专业从事超长、超宽、超高或超重的大件物品运输。2002 年 6 月起，先后有 2 家大件物品运输公司成立。由于境内大件物品运输量少，大件物品运输公司除了专业运输大件物品外，还兼做其他货物运输。2005 年年末，有大件物品运输公司 3 家，运输车 101 辆，载重 2930 吨，大件物品年运输量 85.4 万吨，货物周转量 5124 万吨千米。

水泥搅拌车运输 1997 年，太仓市同高砼制品有限公司成立，水泥搅拌车逐步取代散装水泥运输汽车。后成立混凝土搅拌公司。制成的水泥混凝土直接运送到建筑工地施工现场，不污染环境，加快工程进度。2005 年年末，全市拥有水泥搅拌车的企业有 8 家，车辆 111 辆，载重 1903 吨，年运输量 58.1 万吨，货物周转量 3496 万吨千米。

市区货运车 2002 年起，太仓市区加强道路交通安全管制，严禁货运汽车进入市区运输。同年 3 月，为解决市区小件物品运输难的问题，组建太仓市通达汽车运输总公司，投入城市出租货运车 11 辆，载重 4.45 吨，其中 0.35 吨车 7 辆，0.5 吨车 4 辆，在交通管理允许范围内从事货运出租运输。

【驾驶员培训与车辆维修】

机动车驾驶员培训 1985 年，境内汽车增加，驾驶员紧缺，县交通监理所自办并委托企业，多渠道培训汽车驾驶员，经考核发证 167 人，暂缓了驾驶员的缺少。1987 年 7 月 26 日，县汽车运输公司成立汽车驾驶员培训中心，面向社会和本企业内部培训驾驶员。之后，县公安局车辆管理所和新毛、茜泾、浏河、沙溪等乡镇运输队亦相继开办驾驶员培训机构，至 1994 年，境内驾驶员培训单位共 6 家。之后，茜泾、浏河、沙溪镇运输队陆续解散，培训业务停止。1998 年，新毛运输队转制后，继续经营机动车驾驶员培训业务，并于 2001 年成立太仓市永安汽车驾驶员培训学校。2005 年年末，全市有 3 家机动车驾驶员培训机构，均为二级资质，共有教练车 102 辆，教练员 118 人，教练场地 7.6 万平方米，全年培训各类机动车驾驶员 1949 人。

机动车维修 1985年年末,太仓汽车修配厂是境内从事汽车修理业务的专业汽修企业,从业人员59人,年营业总收入47.5万元。另有学校、企业、乡、村办汽修厂29家,从业人员1856人,年营业总收入2537.93万元。1988年,全县20个乡(镇)有汽修厂41家,从业人员1006人,修理车间、工场总面积2.46万平方米,停车场地总面积6.94万平方米。其中南郊镇8家、城厢镇和双凤乡各5家、陆渡乡和沙溪镇各3家、直塘乡和新塘乡各2家,其余13个乡(镇)各1家。全年共修理汽车4441辆次,营业总收入1284.66万元。另有摩托车专项维修经营户15家。90年代后,公务车、商务车、专业运输车辆迅速增加,机动车维修服务需求相应增长。至2005年年末,全市有机动车维修企业52家,其中一类企业12家、二类企业40家。另有专项维修经营户(三类) 500家。机动车维修企业拥有机修车间、工场总面积6.23万平方米,停车场地7.69万平方米,从业人员2310人。全年机动车维修、保养营业总收入1.58亿元。

【道路运输管理】

市(县)交通局是境内公路运输主管部门。根据法规授权和受交通局委托,市(县)公路管理处、运输管理处、机动车维修管理处对境内路政、公路养护、车辆维修、营运许可及运输市场督查实施管理。

路政管理 1985年年末,县公路站内设路政股,配备专职路政人员2名,统一着装行使路政管理职责。1986年,受理审批项目7件,立案处理路产损坏案件26起,处理违法施工建筑46起502平方米,清除各种路障设施121起595平方米,拆除非标志牌25块,查处超限超载车45辆,处罚赔偿3.17万元。1990年,立案处理路产损坏案件130起。2001年,查处超限超载车3170辆。2002年,204国道太仓段通过交通部“文明样板路”验收。2004年,339省道太仓段通过省级“文明样板路”验收。至2005年年末,20年累计受理审批项目935件,立案处理路产损坏案件1076起,处理违法施工建筑456起1.4万平方米,清除公路各种路障设置1190起2万平方米,拆除各种非公路标志牌、广告牌5244块,清除公路沿线各种乱设摊点1871个(处),清除公路路边违章种植93千米,清除在公路路面违章晒谷场计1100千米,检查处理超限运输车辆6808辆,处罚和追回破坏公路路产损失赔偿金额1717.7万元。

公路养护 1986年,全县设六里庙、直塘、百花、岳王、璜泾、茜泾、陆渡、浏河

等 8 个专业公路养护道班。后几经撤并，至 1992 年年末，设太仓、浏河、沙溪 3 个养护工区，养护工 157 人，负责境内国道、省道、县道和乡镇公路计 173.3 千米的管养任务。2005 年年末，养护工减至 72 人，管养除高速公路、338 省道、锡太一级公路外的境内干线公路和部分乡镇道路计 244.3 千米。其余乡镇道路由所辖乡（镇）负责养护。

公路绿化亮化　1986 ～ 1996 年，在公路两侧种植以悬铃木、刺槐、白榆、杨树、楝树、水杉等树种为主的行道树，等级较高的公路两侧种植护坡草皮。1997 年始，不断提高公路绿化等级，在公路两侧种植香樟、女贞、雪松、广玉兰、马褂木等高档行道树和护坡草皮，并设置绿化带、中间隔离带和绿化景点。至 2005 年，实施绿化、亮化建设项目 20 个，绿化公路 242.89 千米，绿化面积 364.86 万平方米，绿化率 90%；亮化公路 52.27 千米。

从业人员资质管理　2001 年 9 月，交通部颁布“营业性道路运输驾驶员职业培训管理规定”，至 2005 年年末，共组织 5430 名持“机动车驾驶证”的驾驶员参加营运驾驶员职业培训，核发从业资格证书 5430 份。其中危险品运输 385 份、集装箱运输 152 份、大件货物运输 119 份、散装水泥运输 130 份、个体普通货物运输 2317 份、非营业性普通货运 2327 份。

运输市场监督检查　1988 年 2 月，设南郊检查站和浏河检查站，根据有关条例行使道路运输检查职能。1993 年 2 月，撤销两个检查站，成立县道路交通稽查队。1994 年，市客运管理委员会成立，负责城厢地区两个公共汽车站的日常客运市场管理，维护客运市场秩序。至 2005 年，道路交通稽查队共查处违章车辆 51879 辆，其中无证经营车辆 4992 辆；客运管理委员会共打击取缔无证客运经营车辆（俗称“黑车”）931 辆和摩托车、三轮机动车非法载客 627 辆；查处违章出租车 725 辆和违章客运班车 829 辆。

机动车维修管理　1986 年，县运管所按交通部颁发的“汽车维修行业管理暂行办法”，开展汽车维修行业的管理。1988 年，全县机动车维修企业按经营项目、技术条件分类：一类 1 家，经营汽车大修、总成修理；二类 40 家，经营汽车维护；三类 15 家，经营摩托车专项修理。之后，严格按有关规定进行开业、歇业审批。1993 年，更新改造上海飞机制造厂太仓客车联营厂的检测设备、设施，成立太仓市汽车综合性能检测站，对营运车辆进行技术等级评定和二级维护质量检测。1996 年，建成太仓市安驰机动车检测站，具备 B 级资质，设置半自动检测线 1 条。2000

年,建成占地面积8664平方米、具备A级资质的新检测站,年检测能力2万辆。至2005年年末,累计培训机动车维修企业厂长、经理792人次,培训质量总检、质量检验员1088人次,培训结算核算员396人次,培训机工、电工、钣金工、漆工25120人次。经太仓市机动车维修管理处审核审批的机动车维修企业52家,其中一类12家,二类40家。另有三类500家,经营摩托车专项修理。形成以一类维修企业为主体,二类维修企业为辅助,三类维修业户为补充的机动车维修市场。

道路规费征收 运管部门依法收取的道路规费有公路养护费、车辆通行费、运输管理费、货物附加费和客票附加费等。1986年,征收运输管理费48万元,客票附加费19.2万元。1988年6月,开始征收的公路养路费包括汽车养路费和畜力车、两轮摩托车、三轮摩托车、轻骑、手扶拖拉机(统称五小车辆养路费)。1991年,设置浏家港收费站。1993年10月11日,在六里庙设置204国道太仓收费站。收取过往车辆通行费。1997年7月5日,该站南迁至南郊苏沪交界处,增设太嘉点、陆渡点,统称204国道太仓收费站。同年,五小车辆养路费由交通局乡镇交管所代征。1999年2月,浏家港收费站改制成经营性收费站,由太仓沪浮璜公路有限公司经营,经营时间从1999年10月至2018年10月。同年7月10日起,204国道太仓收费站和浏家港收费站作为省际收费站,实行单向收费。至2005年年末,全市20年累计收取汽车养路费5.71亿元,五小车辆养路费0.63亿元,204国道车辆通行费6.57亿元,运输管理费3912.53万元,货物附加费4180.15万元,客票附加费4164.2万元。

水 运

【水路客运】

水路客运尤其是内河客运曾作为境内市民出行的主要载体。然而,随着便捷高效的公路运输兴起,内河客运逐渐萎缩,1986年,内河客运全线停运,水路客运业务只剩下浏河的长江客运。

南通轮船公司浏河轮船站 简称浏河轮船站,俗称浏河青龙港码头,1970年11月始建,隶属江苏省南通轮船公司。1986年2月,在浏河节制闸东侧浏河塘南岸征地1.6公顷,投资110万元建造新站。随着客货运输量的增长,轮船逐年更新,钢质船替代木质机动船,双体船替代单体船。轮船从1艘184客位增至4艘

3110 客位，附货 140 吨。浏河轮船站航线的开辟，成为长江下游南北旅客运输的重要枢纽，沟通了南通、海门、吕泗、三阳、靖江、姜堰、如皋、海安等地与上海、苏州、昆山、太仓、江阴、张家港等地的旅客和物资交流。1989 年，浏河轮船站经营航线有青龙港—浏河航线 66.5 千米，营船港—浏河航线 64 千米，新港—浏河航线 125.5 千米，总里程 256 千米。1990 年年初，营船港—浏河航线改为营船港—南通港—浏河航线，全程 82 千米。1994 年 4 月，客源减少，新港—浏河航线停航。1995 年 3 月，通常汽渡通航，营船港—南通港—浏河航线停航。1996 年 4 月，太海汽渡通航，青龙港—浏河航线停航。至此，浏河轮船站终止长江水路客货运输业务，站埠设施改作他用。

1986～1996年浏河轮船站客货运量统计表

表 150

年份	青龙港—浏河线				营船—南通—浏河线				新港—浏河线			
	客运量		附货量		客运量		附货量		客运量		附货量	
	万人	万人千米	万吨	万吨千米	万人	万人千米	万吨	万吨千米	万人	万人千米	万吨	万吨千米
1986	61.50	4089.75	3.30	219.45	4.80	307.20	0.70	44.80	8.30	1041.65	1.33	166.92
1987	59.37	3948.11	3.46	229.82	4.12	263.68	0.55	35.39	7.70	966.35	1.45	181.98
1988	55.78	3709.37	3.98	264.40	3.93	251.52	0.51	32.64	6.75	847.13	1.12	140.56
1989	49.80	3311.70	3.65	242.73	3.35	214.40	0.44	27.84	5.54	694.64	1.47	184.49
1990	44.75	2975.88	3.24	215.46	3.37	276.34	0.45	36.98	4.16	522.08	0.93	116.84
1991	43.55	2896.10	3.72	247.38	3.21	263.22	0.41	33.62	4.10	514.55	1.31	164.41
1992	41.81	2780.37	3.58	237.94	2.98	243.95	0.42	34.03	3.46	434.23	0.88	110.31
1993	39.89	2652.69	3.72	247.05	2.68	219.43	0.31	25.42	1.79	224.65	0.69	85.97
1994	32.68	2173.10	2.55	169.58	2.16	177.12	0.30	24.44	—	—	—	—
1995	6.80	452.20	0.79	52.54	—	—	—	—	—	—	—	—
1996	2.10	139.65	0.06	3.66	—	—	—	—	—	—	—	—

注：青龙港—浏河线：浏河出口数、青龙港出口数为 5.5∶4.5；新港—浏河线：新港出口数、浏河出口数为 8∶2；营船港—南通港—浏河线：营船与南通出口数、浏河出口数为 6.5∶3.5

崇明轮船公司浏河轮站 简称浏河轮站,俗称浏河崇明码头。1987 年 1 月,上海崇明轮船公司在浏河节制闸东、浏河塘南岸闸南村建浏河轮站,经营上海崇明南门港至浏河航线,全程 16 千米。1993 年,浏河轮站更名为“上海亚通股份有限公司太仓浏河轮站”(仍简称浏河轮站)。1996 年 9 月,因新建浏河套闸工程需要,浏河轮站租用浏河轮船站码头、场地,仍经营崇明南门港至浏河航线。2003 年 11 月,因浏河套闸引航道外的航道堵档严重,浏河轮站搬迁至浏河塘北岸太仓海丰食品厂内。至 2005 年,继续经营崇明南门港至浏河的客货运输。

1987～2005年浏河轮站客货运量情况表

表 151

年份	航次(次)	运量					营收(万元)
		货车数量		客车附旅客		旅客(人)	
		辆数	吨数	辆数	旅客(人)		
1987	900	7200	21000	1800	5400	30000	60
1988	900	7300	22000	1800	5500	30000	61
1989	900	7300	22000	1800	5500	30000	61
1990	900	7300	22000	1900	5800	31000	62
1991	900	7100	21400	1900	5800	30000	62
1992	930	7450	22500	1700	5100	30000	63
1993	950	7500	23500	2000	6000	32000	65
1994	950	7200	22000	1800	5400	33000	65
1995	950	7300	22000	1800	5400	32500	65
1996	990	8000	24000	—	—	10000	128
1997	1000	8090	24300	—	—	10100	131
1998	1000	9000	25000	—	—	10200	132
1999	1020	9080	25000	—	—	10300	132
2000	1030	9240	26000	—	—	10300	137
2001	1020	9100	25000	—	—	10000	136
2002	1020	9100	25000	—	—	10200	136
2003	1030	9120	25500	—	—	10300	139

续表 151

年份	航次（次）	运量					营收（万元）
		货车数量		客车附旅客		旅客（人）	
		辆数	吨数	辆数	旅客（人）		
2004	1020	9100	25000	—	—	10200	140
2005	1030	9200	26000	—	—	10300	148

【水路货运】

80 年代，境内工矿企业所需的原材料和产成品以及城乡农副产品的物资交流，主要以水运为主。由交通水运企业、企事业单位自运企业、乡镇船舶运输队和个体运输户共同承运。1986 年，全县有船舶 1660 艘，主机功率 1.55 万千瓦，载重 30410 吨。其中货拖 45 艘，5454 千瓦；货驳 495 艘，载重 17342 吨；小马力货船 1120 艘，10053 千瓦，载重 12848 吨；小马力货驳 12 艘，载重 220 吨。年货运量 263.1 万吨，周转量 21992.7 万吨千米。1990 年后，公路运输发展，运输市场开放，外港籍船舶加入太仓水运市场，大量建材，黄沙、石子、水泥、煤、木材等物资的货源地区直接用当地船舶运输，致使太仓籍船舶经营受到冲击，船舶数量逐年减少。至 2005 年，全市有小马力货船 52 艘，主机功率 1241.1 千瓦，载重 3214 吨。年货运量 36.3 万吨，周转量 2476.3 万吨千米。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）水上货物运输量、周转量情况表

表 152

年份	总运量		其中							
			交通企业运量		非交通部门运量					
							其中			
							乡（镇）运输队运量		个体运输运量	
	货运量（万吨）	周转量（万吨千米）	货运量（万吨）	周转量（万吨千米）	货运量（万吨）	周转量（万吨千米）	货运量（万吨）	周转量（万吨千米）	货运量（万吨）	周转量（万吨千米）
1986	263.1	21992.7	84.1	11218.4	179.0	10774.3	23.3	3287.8	134.7	5396.8
1987	234.1	20129.0	83.3	11566.0	150.8	8563.0	25.8	2738.0	108.8	4363.0
1988	217.6	20307.0	87.9	12964.0	129.7	7343.0	28.7	2420.0	92.8	4144.0
1989	163.3	16829.0	84.5	12655.0	78.8	4174.0	21.6	1690.0	53.4	2099.0
1990	121.2	12683.3	63.9	9582.0	57.3	3101.3	15.0	1191.4	39.3	1614.8

续表 152

年份	总运量		其中							
			交通企业运量		非交通部门运量					
							其中			
							乡(镇)运输队运量		个体运输运量	
	货运量(万吨)	周转量(万吨千米)	货运量(万吨)	周转量(万吨千米)	货运量(万吨)	周转量(万吨千米)	货运量(万吨)	周转量(万吨千米)	货运量(万吨)	周转量(万吨千米)
1991	111.8	12306.0	66.7	9819.0	45.1	2487.0	14.4	1134.0	28.4	1138.0
1992	185.7	18039.0	73.2	11327.0	112.5	6712.0	12.1	952.9	84.1	3979.8
1993	142.9	16038.0	72.2	10467.0	70.7	5571.0	8.7	685.1	53.0	2986.0
1994	153.8	15025.5	63.0	10015.0	90.8	5010.5	6.2	488.3	73.2	4722.0
1995	167.1	18013.0	59.7	9954.0	107.4	8059.0	4.3	338.6	86.4	5543.0
1996	116.5	12231.0	49.0	7961.0	67.5	4270.0	3.7	291.3	61.0	2763.5
1997	173.6	17765.0	42.2	6796.0	131.4	10969.0	2.5	196.9	120.8	10894.0
1998	110.3	9220.0	32.0	4931.0	78.3	4289.0	1.5	129.6	72.1	3029.0
1999	131.3	10373.0	25.5	3807.0	105.8	6566.0	—	—	100.6	5455.0
2000	69.8	4714.0	10.3	1212.0	59.5	3502.0	—	—	55.4	3294.0
2001	191.5	11735.0	—	—	191.5	11735.0	—	—	118.5	6479.0
2002	152.0	9306.0	—	—	152.0	9306.0	—	—	140.7	8614.2
2003	41.0	2549.0	—	—	41.0	2549.0	—	—	30.0	2017.4
2004	63.0	3214.0	—	—	63.0	3214.0	—	—	51.6	2614.3
2005	36.3	2476.3	—	—	36.3	2476.3	—	—	35.0	2360.0

交通水运企业 1986 年,交通水运企业有县航运公司、县轮驳运输公司两家县属集体企业。1990 年起,随着运输市场竞争加剧,两家公司运量不足,运输成本增加,经济效益下滑,连续 6 年亏损。1997 年 12 月,进行“资产私有化,人员集体化,管理服务化”改革。2000 年 12 月,两家公司改革转制,终止水上货物运输。

企事业单位自运 1986 年,全县有 8 家企业从事自货自运业务。共有船舶 70 艘,主机功率 679.9 千瓦,载重 2097 吨。年货运量 21 万吨,周转量 2089.7 万

吨千米。随着公路建设发展，公路货物运输逐步替代水上运输。至 1998 年，石油公司轮队、水利局运输队等 7 家运输企业（船队）先后停止水上运输，仅有粮油物资运输公司继续从事水上货物运输。2005 年，粮油物资运输公司有小马力货船 7 艘，载重 475 吨。年货运量 1.3 万吨，周转量 116.3 万吨千米。

乡镇运输队　1986 年，全县有 12 个乡镇船舶运输队，共有船舶 134 艘，载重 4344 吨。年货运量 23.3 万吨，周转量 3287.8 万吨千米。至 1989 年，9 家乡镇运输队陆续停航，船舶转卖。剩浏河镇、归庄乡、新毛乡 3 个运输队。运输业务由县联合运输指挥部在运输计划内进行货运调度。1992 年 7 月，国家取消计划运输管理，各运输队自找市场揽货运输。至 1998 年，3 个运输队陆续停航解散。

个体运输　80 年代初，政策允许个人或联户购置小型运输工具，个体运输业得到发展。1986 年，全县有个体小马力货船 1082 艘，年货运量 134.7 万吨，周转量 5396.8 万吨千米。个体运输户的船舶以 15 吨以下水泥挂桨机船（小马力货船）为主，从事境内和周边乡镇的短途运输，主要装运农用生产资料、农副产品和农村基建材料。随着境内公路网布局逐步完善，公路运输业发展，许多个体运输户弃船购车，从事公路短途运输。1994 年始，个体运输水泥船舶逐步更新为钢质船舶，单船载重吨由 30 吨左右增至 50 ～ 100 吨。2005 年，个体运输小马力货船有 45 艘，载重 2739 吨，年货运量 35 万吨，周转量 2360 万吨千米。

【太海汽渡渡运】

1995 年 5 月，苏州太海汽车轮渡有限公司成立，经营太仓至海门汽车渡运。同年 12 月 22 日，汽渡试航投运。1996 年 4 月 1 日，正式开业营运。海门汽渡同日开业，双方各派 3 艘渡轮参加营运，航程 13.3 千米，渡江时间约 45 分钟。1997 年 7 月和 2003 年 12 月，双方各增加 2 艘渡轮营运。2004 年，太海汽渡因渡航时间超过交通部规定的 30 分钟时限，需要整改。同年 8 月，由太仓交通控股（集团）有限公司等方合资，注册成立太仓市汽车轮渡有限公司。12 月，香港伟茂国际有限公司出资入股，投资建设新码头，2005 年 9 月建成投运，航程缩至 5.9 千米，渡江时间约 27 分钟。1996 ～ 2005 年，太海汽渡累计渡运 278692 航次，6343412 车辆，营业收入 32631.6 万元。

1996 ～ 2005 年太海汽渡渡运统计表

表 153

年份	航次（次）	车辆数（辆）	营收（万元）	年份	航次（次）	车辆数（辆）	营收（万元）
1996	10050	223053	1221	2001	30482	715635	3565.7
1997	16484	371994	1641	2002	32318	762848	3951.9
1998	18600	410164	1943	2003	35322	868423	4572.0
1999	21916	465364	2090	2004	42562	980332	5331.1
2000	27544	605824	2637	2005	43414	939775	5678.9

【内河港口搬运装卸】

80 年代初，内河港口码头按乡镇布局，规模小而散，难于形成相对集中的港区，也未设专门内河港务管理机构。1986 年，内河港口码头的搬运装卸运输业务由交通专业搬运装卸企业、生产型企业自搬自卸和营销型企业自搬自卸共同承担。

交通专业搬运装卸企业 1986 年，有太仓县搬运装卸公司（后更名太仓市润华实业总公司）、沙溪搬运装卸公司（后更名太仓市通发实业总公司）、浏河搬运装卸公司（后更名太仓市达达实业总公司）3 家，分布在城厢、沙溪、浏河 3 个镇。共有码头泊位 10 个，起重、装卸搬运机动车 98 台，年操作量 191.17 万吨。1990 年后，公路建设加快，水路运输呈下降趋势。另一方面，在国家产业政策指导下，企业调整产业、产品结构，专用码头货物吞吐量下降，致使专业搬运装卸队陆续撤出，3 家专业公司的港口操作量逐年下降，1999 年仅为 50.1 万吨。2000 年，企业转制后退出港口运输市场。

生产型企业自搬自卸 1986 ～ 1991 年，为数很少，1992 年起，企业自筹资金增加起重和运输工具，对生产所需原材料、产成品等实行自搬自卸。至 2005 年，全市有 33 家生产型企业实施自搬自卸，拥有起重机械 58 台，核定负载 187.5 吨。

营销型自搬自卸企业（或个人） 在营销过程中为用户提供装卸运输一条龙服务，这类码头货场分布在境内各乡镇，主要从事黄沙、石子等建筑材料的经营。至 2005 年，全市有营销型自搬自卸企业（或个人）74 家，码头 106 个，拥有起重机械 97 台，核定负载 307 吨，逐步成为内河港口装卸搬运市场的主力。

【水路运输管理】

交通局是水路运输的主管部门。航道管理处、地方海事处、船舶检验处、运输管理处根据法律法规授权并受交通局委托，对境内的航政、航道、船舶营运及运输市场监督实施管理。

航政管理 1986年，审批临河、跨河建筑8件，航政人员上航181天，362人次，查处违法违规行为1件。1992年，审批临河、跨河建筑30件，航政人员上航202天，404人次，查处违法违规行为3件。至2005年，累计审批临河、跨河建筑242件，临时占用航道、航道设施的临时性建筑10件；航政人员上航4394天，14158人次，查处违章违规侵害航道案件112件，其中行政处罚14件。

航道养护 1985年年末，境内航道1米水深以上通航里程245.94千米。1986年起，通过航道拓浚、截弯取直等专项工程，逐渐改善通航条件。1990～1992年，七浦塘沙溪和直塘市河段完成护岸910米，疏浚土方9.47万立方米。至1995年，盐铁塘南郊和城厢市河段，完成护岸4460米，疏浚土方19.6万立方米。至2005年，盐铁塘的横泾草场、杜家桥、弇山桥航段先后截弯取直，投资788万元，新建护岸2.79千米，疏浚土方30.5万立方米，改善盐铁塘通航里程3.1千米。境内共有通航里程341.64千米，比1985年增加95.7千米。

船舶管理 1986年，全县分别在城厢、沙溪、浏河、岳王、南郊、娄东、直塘、浮桥、茜泾设9个船舶签证点。县交通局运管部门负责核发全省统一格式的“船舶运输许可证”。1988年，在全县24个乡镇交管所设船舶签证点，委托签证。1990年起，太仓籍船舶从事水路运输需办理“船舶营业运输证”。1996年1月，开始签发“船舶所有权证书”。1999～2000年，对航行船舶进行防油污、噪音专项治理，挂浆机船先后安装托油盘1343套，座舱机船安装油水分离器34套，更换高套筒排气管285套。同时期，船舶签证点随乡镇交管所机构调整而相应调整。2002年9月，停止签发“船舶所有权证书”。至此，累计签发船舶699艘，10797千瓦，载重18533吨。2004年，对从事水路运输的挂浆机船进行拆解、改造、改驳，共拆解报废挂浆机船39艘；停止钢质挂浆机新船、水泥挂浆机船检验发证，对已投入营运的钢质挂浆机船到期强制拆解或落舱改造改驳。同年年末，各签证点停止委托签证。2005年，船舶签证由城厢海事所、沙溪执勤点、浏家港海事所、杨林执勤点负责。至年末，境内共进出港船舶签证385417艘次，载重9038.1万吨，检验船舶14208艘次，2340艘从事水路运输的个体小马力挂浆机船签发“船舶营业运输证”。

水运管理 1986年,境内发生水上交通事故9起,伤3人,经济损失1.2万元。地方海事处经过调查取证、审查判断证据,进行责任认定。1987年,地方海事处和水上稽查大队开始上航检查境内水域航行、停泊、作业的船舶、排筏设施的适航状态、航行违章和规费征缴情况。1995年,开展“三无”(无船名、无船港籍、无证照)船舶专项整治。全年上航检查1029艇次,5895人次,检查船舶19104艘,处理违章船舶11051艘。2000年5月,开通“12395”水上搜救电话,2001年与公安“110”联动。2003年,市水上搜救中心成立,负责境内水域的抢险救助。至2005年,接救助报警电话103次,救助遇险船员14人、船舶26艘;地方海事处和水上稽查大队共上航检查14509艘次,72583人次,检查船舶137997艘,查处违章船舶66907艘次;发生水上交通事故183起,造成沉船16艘,伤4人,死亡7人,经济损失98.39万元。其中1989～2002年,连续14年无水上交通死亡事故。

水运规费征收 水上运管部门依法收取的规费有航道养护费、航道重点工程建设资金、船舶港务费、船舶检验费、港监费、货物附加费和运输管理费等。1986年开征航道养护费。1987年先后开征船舶港务费、船舶检验费和港监费。1988年和1990年分别开始征收运输附加费和运输管理费。1994年9月开征航道重点工程建设资金,1998年取消。至2005年年末,全市累计征收各种规费9127.99万元。其中运输管理费698.47万元,运输附加费584.55万元,船舶港务费3500.6万元,船检费327.37万元,港监费952.5万元,航养费2895.76万元,重点工程建设资金168.74万元。

1986～2005年太仓市(县)水路运输交通规费征收统计表

表154 单位:万元

年份	运输管理费	运输附加费	船舶港务费	船检费	港监费	航养费	重点工程资金
1986	—	—	—	—	—	72.43	—
1987	—	—	4.27	3.20	2.50	79.43	—
1988	—	15.25	41.88	6.80	2.80	92.05	—
1989	—	27.50	35.00	5.29	5.73	87.98	—
1990	34.12	84.10	25.52	4.37	9.57	87.38	—
1991	62.22	21.30	21.37	4.63	7.21	93.78	—
1992	83.48	69.30	31.65	6.14	5.15	153.15	—

续表 154

年份	运输管理费	运输附加费	船舶港务费	船检费	港监费	航养费	重点工程资金
1993	92.50	85.90	109.65	12.51	7.90	273.68	—
1994	97.80	98.70	103.25	25.12	15.26	205.52	15.93
1995	102.30	115.20	123.20	46.25	29.63	218.71	53.73
1996	61.50	17.80	167.27	40.37	25.70	192.92	33.62
1997	47.60	18.78	126.72	38.80	2.15	180.18	35.53
1998	36.00	15.90	121.15	34.45	52.78	260.55	29.93
1999	27.30	5.61	179.20	29.50	21.30	224.91	—
2000	15.32	3.45	168.88	17.44	16.65	144.59	—
2001	12.31	2.15	231.53	12.67	14.22	109.13	—
2002	11.20	1.53	337.26	14.61	48.50	84.11	—
2003	7.05	0.53	508.93	7.39	323.60	95.64	—
2004	5.21	0.57	604.68	6.32	177.96	113.00	—
2005	2.56	0.98	559.19	11.51	183.89	126.62	—

港　口

太仓位于长江入海口，枕江临海，境内长江岸线平直，深水近岸，终年不淤，建港条件好。1992 年，太仓成立浏家港港区开发建设指挥部，利用长江岸线资源优势，启动港口建设。经过 13 年开发建设，至 2005 年年末，港口形成以远太国际城集装箱码头为核心，以石化特色中转和临港工业码头为辅助的总体格局。有生产性泊位 22 个，其中万吨级以上泊位 12 个，货物吞吐能力 2604 万吨，集装箱吞吐能力 180 万标准箱。

【航线航班】

1999 年，海关总署批准太仓港为长江内支线运输中转港，港口开通 9 条长江公共内支线，集疏运网覆盖长江流域。2001 年，远太国际城集装箱码头开通的外贸直达航线有：太仓—日本名古屋、太仓—横滨、太仓—神户，太仓—韩国釜山；通过上海中转的内贸集装箱航线有：太仓—黄浦，太仓—泉州，太仓—青岛，太仓—汕头。2003 年，至日本、韩国两条航线因经营原因暂停。2004 年 12 月，开通

长江流域第一条台湾航线：太仓—日本石垣岛—台湾。2005 年年末，太仓港共有航线 21 条，其中，近洋航线（台湾线）1 条，外贸内支线 7 条，内贸支线 6 条，长江内支线 5 条，洋山线 2 条。每周定期航班 13 班，不定期航班 12 班。货物出口至世界各地均可直达或中转到达。

【港口生产】

1995 年 5 月 25 日，国轮“胜利 4 号”装载 3000 吨汽油抵达长江石化公司码头卸货，太仓港正式投运。同年 10 月 29 日，第一艘外轮“又钟”号满载 3000 吨化工品抵港卸货，太仓港对外开放起步。1997 年 1 月 18 日，国家一类口岸太仓港开港，正式对外开放。1998 年 12 月 18 日，2.5 万吨级多用码头开业暨船舶首航举行仪式，第一艘从太仓港起程的远航集装箱巨轮，满载苏州和太仓地区的出口物资，鸣笛起航，标志太仓港集装箱中转运输功能启动，太仓港成为国际性港口。港口运输业务主要由中远国际城集装箱码头和沿江企业自用码头两部分承担。至 2005 年年末，除远太国际城集装箱码头 4 个集装箱泊位在建外，太仓港已建成码头泊位 29 个，其中生产性泊位 22 个，通过能力 1919 万吨，万吨级以上泊位 12 个。完成货物吞吐量 1510.56 万吨，其中外贸 465.66 万吨，集装箱 25.12 万标箱。货物吞吐量比上年增长 45.26%，集装箱运输量比上年增长 172.45%。

1997～2005年太仓港运输业务量统计表

表 155

项目	1997 年	1998 年	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年
货物吞吐量（万吨）	20.00	70.00	110.00	240.00	342.80	461.90	782.38	1039.88	1510.56
集装箱运输量（万标箱）	—	—	1.53	3.60	4.10	4.80	5.00	9.22	25.12

二、信息传输

80 年代中期，太仓传统的邮电业务，包括邮政、电信两大类。邮政业务有信函、包裹、汇票、报刊发行、集邮等，电信有电报和固定电话业务。90 年代，先后增加特快专递、邮政储蓄、数据通信、无线寻呼及移动电话等业务。进入 21 世纪，新技术

迅速普及，以移动电话和互联网为代表的新业务渐成信息主业。

1986 年，县邮电局独家从事邮电业。随着业务量递增，行业开始分营。1998 年 5 月，移动通信从邮电局析出。同年 9 月 7 日，邮政、电信按各自特点和市场规律，建立新的管理体系和运行机制，分别成立太仓市邮政局和太仓市电信局。之后，信息业变垄断为市场化，竞争不断加剧。中国联合通信有限公司、中国网络通信有限公司和中国铁通集团有限公司苏州分公司先后在太仓设营业机构。至 2005 年年末，全市共有 7 家运营商从事信息服务业。

2005年年末太仓市信息业运营商一览表

表 156

单位名称	简称	设立时间	地址	经营范围	营业网点数(个)	员工数(人)
太仓市邮政局	太仓邮政	1998–09	东仓路28号	邮政业务	39	377
太仓市电信局	太仓电信	1998–09	新华西路8号	固定电话 小灵通 互联网	23	328
中国移动通信集团江苏有限公司太仓分公司	江苏移动太仓分公司	1998–05	新华东路78号	移动电话	73	35
中国联合通信有限公司太仓联通公司	中国联通太仓公司	1999–07	太平南路52号	移动电话	51	65
中国网络通信集团公司太仓市分公司	中国网通太仓分公司	2003–09	太平南路63号	互联网 网络电话	—	29
中国铁通集团有限公司苏州分公司太仓局	中国铁通太仓局	2003–11	太平北路56–2号	固定电话 互联网	—	10
太仓市信息港有限公司	太仓信息港	1999–12	上海西路10–1号	互联网	—	19

电　报

太仓电报业务经历了一个由盛及衰的变化过程。1986 ～ 1988 年，因电话尚未普及，能快速传递信息的电报业务应用广泛，呈快速增长之势，两年中业务量翻番。1989 年后，随着电话装机增加，电报业务量逐年减少。90 年代中后期，电话迅

速普及。1997 年的报务量缩至 1988 年的 5.99%。同年年末,太仓市邮电局撤销报房,电报业务由营业窗口受理后直传苏州局报房处理。1999 年,办理电报 8362 份。2000 年起,电报办理不单独统计。

1986 ～ 1999 年太仓市(县)电报业务统计表

表 157

年份	电报(份)	年份	电报(份)
1986	155455	1993	113076
1987	216467	1994	71551
1988	308460	1995	47511
1989	256775	1996	34613
1990	221142	1997	18462
1991	217517	1998	10757
1992	172319	1999	8362

固定电话

【太仓电信】

1986 年,太仓电信的固定电话处于模拟时代,城区和浏河采用自动式,沙溪采用共电式,其余地区采用磁石式。固定电话业务包括长话、市话和农话。长话只开通国内长途,市话和农话执行不同资费标准。全县有固定电话用户 3014 户,其中市话 1338 户,农话 1676 户。1987 年起,各地逐步开通自动电话。1988 年,开通国际和中国港澳地区话务。1991 年,全县联成一个本地网。同年 8 月,城区电话开通数字程控。1993 年 11 月 8 日,开通声讯台,有“168”自动声讯服务和“160”人工声讯服务。涉及交通旅游、查分录取、股市行情、交友热线、电话点歌等。1995 年 12 月,本地网第一

1997 年 5 月 17 日太仓召开建成“电话市”庆祝大会

次扩容。1997 年，固定电话用户发展至 8.71 万户，其中市话 2.42 万户，农话 6.29 万户。同年 4 月 24 日，全市 22 个乡镇 331 个行政村均建成“电话小康村”，每个村的住宅电话普及率均在 60%（达标率）以上。全市主线普及率 18.01%，话机普及率 34.21%。经江苏省邮电管理局验收和邮电部认定，太仓在全国 2000 多个县市中率先达到“电话市”标准，成为全省第一个也是全国第一个“电话市”。1999 年 8 月，南郊镇数控交换机竣工，全市电话实现数字化。同年，市话和农话合并为本地电话，本地电话又分为营业区内电话（即市内电话）和营业区间电话（一个本地网内不同营业区之间相互通话），区内电话和区间电话执行不同资费标准。2000 年起，开通国内网协（网络之间互连的协议，即 IP）长途和国际网协长途话务。2002 年 4 月，本地网第二次扩容，由太仓境域扩展至全苏州市域，原先一些长话业务均纳入本地网。同年，开通小灵通业务，固定电话新装机有所放缓。2005 年年末，固定电话用户 16.15 万户。

1980～2005年太仓市（县）固定电话升位情况表

表 158

时间	号码位数	交换机制式	启用的长途区号	年末电话用户数（户）	升位范围
1980-01-26 零时	4	准电子式	—	489	城厢镇
1989-12-05 零时	6	纵横制式	5225	2505	城区、陆渡、新湖、新毛、南郊、板桥
1995-12-17 零时	7	数字程控式	520	46398	太仓、张家港、常熟、昆山
2002-04-20 零时	8	数字程控式	512	157577	苏州、太仓、吴江、吴县、张家港、常熟、昆山

1986 ～ 2005 年太仓市（县）固定电话业务统计表

表 159

年份	电话装机数	业务量（万元）	长话（万次）	市话（万次）	农话（万次）	区内（万次）	区间（万次）	声讯服务（万分钟）
1986	3014	—	51.63	—	14.53	—	—	—
1987	3640	—	69.77	—	151.51	—	—	—
1988	4461	—	87.26	—	150.15	—	—	—
1989	4926	—	89.37	—	109.10	—	—	—
1990	6332	512.78	110.88	—	87.88	—	—	—

续表 159

年份	电话装机数	业务量（万元）	长话（万次）	市话（万次）	农话（万次）	区内（万次）	区间（万次）	声讯服务（万分钟）
1991	7693	766.94	188.59	—	381.62	—	—	—
1992	11867	1899.12	519.78	—	858.84	—	—	—
1993	16813	3342.93	834.82	—	1687.82	—	—	—
1994	24723	7244.26	1134.15	2376.44	2104.20	—	—	—
1995	46398	9895.24	1439.05	3206.62	1834.93	—	—	—
1996	60767	12643.59	1264.58	3711.66	2758.84	—	—	—
1997	87093	14254.75	1596.10	5921.71	2848.80	—	—	—
1998	99847	13124.21	1836.05	—	—	8725.02	3991.21	—
1999	108935	13654.42	1426.67	—	—	15416.36	4749.06	242.01
2000	125353	15837.13	1342.35	—	—	10669.45	5373.67	264.69
2001	148002	11683.86	1412.06	—	—	24628.05	2866.95	304.67
2002	157577	15024.81	2368.93	—	—	26089.90	2133.44	290.57
2003	150371	15128.00	3127.52	—	—	27933.43	2711.29	259.28
2004	156843	18726.00	3685.43	—	—	33752.21	3735.96	148.96
2005	161513	21179.23	4307.56	—	—	41513.53	4946.92	308.80

【小灵通】

2002 年，太仓电信开始引进新型的个人无线接入系统——小灵通，作为固定电话的补充与延伸。至年末，建成首期工程，覆盖城区及陆渡、板桥两地区。小灵通采用微蜂窝技术，将用户端（即无线市话手机）以无线的方式接入本地电话网，使传统意义上的固定电话不再固定在某个位置，可在无线网络覆盖范围内自由移动使用，随时随地接听、拨打本地和国内、国际电话。小灵通实行单向收费，资费标准与固定电话基本一致。2003 年 1 月 18 日，太仓小灵通正式放号。由于经济实惠、绿色健康、轻巧灵活等特点而深受欢迎，当年用户突破 3 万户，并持续快速发展，2004 年用户为 9.15 万户，2005 年增至 14.47 万户。

【中国铁通太仓局】

2003 年 11 月，中国铁通集团有限公司苏州分公司太仓局成立，在市区和沙溪、陆渡、浏河等镇开展固定电话通信业务，程控交换机容量 7000 门，当年装机用

户 300 户，2004 年用户为 2000 户，2005 年发展至 4000 户。

移动通信

1992 年，长江沿岸移动通信网建成，太仓移动通信起步，技术上经历了由模拟向数字的发展，市场经营从独家垄断演变为有江苏移动太仓分公司和中国联通太仓公司两家参与竞争的总体格局，用户群和业务量呈持续增长之势。

【江苏移动太仓分公司】

1992 年，长江沿岸移动通信网属模拟 A 网，由县邮电局经营。首期工程分配给 8 个信道，可容纳 200 个用户，至年末，全部售完。1994 年，开始建设模拟 B 网。当年拥有 A 网信道 112 个、B 网信道 8 个，用户 1934 户。1995 年，因模拟 A 网和 B 网国际漫游受限，在模拟移动通信持续扩容的同时，开始兴建新一代全球移动通讯系统（GSM）数字移动网（G 网），数字移动电话因漫游广泛而被称作“全球通”手机。至 1996 年年末，太仓有数字信道 420 个，模拟信道 520 个，移动电话用户增至 7487 户。1998 年，开通短信业务。同年 5 月 10 日，江苏移动太仓分公司从市邮电局析出，在太仓新区安装 G 网数字移动电话交换机 9.5 万门，信道扩至 1854 个，至年末，电话用户增至 22406 户。1999 年，开通呼叫转移业务。2000 年年末，移动公司关闭模拟网，所剩不多的模拟用户向公司调换数字手机，加入数字网。2003 年，有 5.78 万户开通呼叫转移。短信通信因其更便捷、更私密、资费更低和不受身处环境所影响而被用户追捧，发短信渐成一种社会时尚。至 2005 年年末，电话用户有 20.41 万户开通短信业务。全年业务收入 2.55 亿元，其中短信业务收入 2676.31 万元。

1993～2005年江苏移动太仓分公司业务统计表

表 160

年份	用户数（户）	业务收入（万元）	通话量（分钟）
1993	527	—	—
1994	1934	—	—
1995	4137	—	—

续表 160

年份	用户数(户)	业务收入(万元)	通话量(分钟)
1996	7487	—	—
1997	13801	—	—
1998	22406	8050.00	—
1999	34904	8090.00	—
2000	64514	10231.84	—
2001	105054	10661.52	—
2002	146793	15543.16	—
2003	194589	19860.70	207502703
2004	224307	22352.73	345837838
2005	268255	25510.56	583065015

【中国联通太仓公司】

1999 年 7 月,中国联合通信有限公司在太仓设营业机构,在主营无线寻呼的同时,逐步拓展移动电话等通信业务。至 2001 年,营运移动电话 G 网。2002 年,建成 C 网。C 网是新型数字电话网,采用码分多址技术,接通率高、噪声小、发射功率小,具有绿色环保性能。2004 年,中国联通太仓公司提出“精品网络、精确计费、精心服务、精彩业务”的企业战略,全年新增移动用户 5.29 万户,业务总收入 8900 万元,同比增长 29.3%。2005 年,对 C 网用户群及套餐进行细分,突出商务性优势。同时,在 G 网电话中推出“太仓通”“非常 28 卡”“如意商务卡”等产品,开展用户回访调查,维持 G 网稳定。并开设短信群发、可视电话、电话会议、无线上网、手机邮箱、手机银行和全球定位系统(GPS)卫星定位等商用业务。

2001 ～ 2005 年中国联通太仓公司业务统计表

表 161

项目	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年
G 网用户数(户)	40000	60000	87000	133476	132333
C 网用户数(户)	0	7000	19000	25431	30294
用户总数(户)	40000	67000	96000	158907	162627
业务收入(万元)	3800	4200	6883	8900	7700

无线寻呼

1991 年，太仓的无线寻呼起步。市场上的寻呼机（BP 机），早期仅限于进口品牌数字机，包括摩托罗拉和松下两大系列。后开发出中文寻呼机，可直接显示呼叫内容。继而开通了股市行情、天气预报、影视信息和工商广告，为用户提供各类实用信息。用户在入网时，一次性购买寻呼机并预缴半年资费，可免入网费，资费采取包月制，数字寻呼机每台每月 10 ～ 15 元，中文寻呼机每台每月 20 ～ 30 元。购机价格为 580 ～ 750 元（数字机）和 2200 ～ 2500 元（中文机）。1998 年，寻呼机作为第一代可移动即时通讯工具达到顶峰，平均每 9 人中就有 1 人拥有寻呼机。后随着移动电话的普及，寻呼机逐渐被代替，2005 年最终退出市场。

【邮电寻呼】

1991 年 12 月，太仓县邮电局率先在城区开通无线寻呼，采用邮电部第一科研所生产的无线寻呼操作终端机和发射机，发展用户 83 户。1992 年，用户发展至 2413 户。1993 年 4 月，开通自动寻呼台“126”“127”，发射机和基站由原来的 1 座增至 3 座，用户 5307 户。1994 年，新建无线寻呼系统，容量 1 万户，发射机和基站增至 4 座，用户 9918 户。1995 年，无线寻呼系统设备更新，启用美国摩托罗拉无线寻呼设备，系统容量扩至 12.6 万户。新系统开通后，用户号码由 5 位升至 7 位。1996 年，无线寻呼系统设备扩容至 19.2 万户，有发射机和基站 7 座，用户 30016 户。1997 年，发射机和基站增至 9 座，覆盖太仓市域范围，用户发展至 41872 户。1998 年 8 月，无线寻呼系统从太仓市邮电局析出，整体移交中国联通太仓公司。此时，用户 50513 户。

【联通寻呼】

1998 年 8 月，邮电寻呼系统移交给联通寻呼后，成为中国联通太仓公司的主营业务，但此时太仓的无线寻呼市场趋于饱和。1999 年起，寻呼业务开始下滑。用户由 5.05 万户降至 4 万户。2000 年，用户 31194 户。2001 ～ 2002 年，业务更加萎缩，用户由 2 万户降至 5000 户。2004 年，用户降至 1014 户。至 2005 年年末，退出市场。

【机关寻呼】

1993年8月5日,经苏州市无线电管理委员会审批,太仓市经济信息中心、太仓市供电局和太仓市政府共同组建太仓市机关寻呼专用台(简称机关台),使用频率152.55兆赫(MHZ)。同年10月,机关台正式开通,用户群主体是机关公务员,亦有部分社会用户。1995年10月,机关台迁址供电局新大楼,发射天线标高至50米,覆盖范围扩大,向南辐射可达上海部分邻近地区。并与省内的南京、宜兴、江阴、苏州、徐州等5个城市联网,方便漫游。由于机关台入网用户少,最多时不足2000户,营运成本高,经济效益差。1997年4月6日,经资源整合,机关台整体并入市邮电局寻呼台。

邮电寻呼									1998年8月整体移交联通寻呼						
机关寻呼								1997年4月6日并入邮电寻呼							
联通寻呼															
年份	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005

图18 1991～2005年太仓市(县)无线寻呼业务轨迹图

互联网

1998年前,太仓的互联网服务只有太仓电信开通的拨号上网,用户计算机通过调制解调器(MODEM)接通电话线,拨号进入互联网,接入号码为“163”或“169”。1999年,开始建宽带网络,主要有光纤到小区的局域网(LAN)宽带和借用电话线的非对称数字用户环路(ADSL)宽带两种。分别由太仓信息港和太仓电信经营。局域网网络服务商采用光纤接入到楼或小区,再通过网线接入用户家,为整幢楼或小区提供共享带宽,速率为每秒10兆字节(Mb/s)。非对称数字用户环路,直接利用现有的电话线路做为传输介质,通过非对称数字用户环路调制解调器虚拟拨号入网,实现下行每秒8兆字节、上行每秒640千字节(Kb/s)的传输速率。同年9月,太仓开始建设地区性网站,至2005年年末,具有影响力的地区性门户网站有中国太仓政府网站(www.taicang.gov.cn)、太仓视窗(www.tc.cn)和长江第一港(www.chinanew.js.sz.cn)。

【信息港宽带】

1999 年 12 月，太仓市经济信息中心、江苏省经济信息中心、上海新泰信息技术有限公司等 7 家单位成立太仓市信息港发展有限公司（简称信息港）。信息港宽带多媒体传输网络采用网协技术，架设 900 芯千米光纤，在市区形成环形光纤主干道，各镇（区）和相关单位由中心节点向外延伸所至，网络覆盖全市。90 多个居民小区开通局域网宽带网，覆盖家庭住户 1.98 万户，市区覆盖率 80% 左右。2000 年 7 月 6 日，网络正式开通。2001 年 4 月，信息港正式获得中国网通授权证明书，被授权为中国网通因特网宽带接入业务代理商，在全市范围内发展宽带接入用户。同年 11 月 14 日，中国网络通信有限公司太仓分公司在苏州工商局注册，信息港取得网络经营权。11 月 20 日起接受市民宽带接入业务申请。

2003 年，网络中心机房安装高端路由器，具备 1000 兆和 100 兆两个通道。市区光缆向东延伸至同济科技园，向西延伸至城西工业园，覆盖率扩至 90% 以上。宽带接入向景仓花园、银泰别墅、江南花园、锦园滨河花园等小区延伸。2004 年，信息港网通出口带宽从 155 兆增至 1000 兆。至 2005 年，共架设光纤 6500 芯千米（入地光纤 3500 芯千米），太平南路、太平北路、人民路、郑和路、长春路、弇山路完成光缆入地改造。新增 1 路 1000 兆带宽的备用通道，市区形成四通八达的宽带接入网，覆盖家庭住户 2.08 万户，市区覆盖率 90% 左右，沙溪、陆渡、浮桥等镇区实现局部覆盖。年末，全市有 4500 户家庭和 100 家单位成为信息港互联网用户。家庭用户的服务费用一直保持为每月 60 元。

【电信宽带】

1995 年，太仓市邮电局通过中国公用计算机互联网江苏接入网 CHINA NET—JS 开展互联网服务，接入号码为“163”。1997 年 7 月，太仓用户通过江苏省公用信息网接入互联网，接入号码为“169”。1999 年，“163”和“169”合并为一个网。2000 年起，太仓电信利用固定电话优势，大力推广非对称数字用户环路宽带业务。凡安装电信固定电话且与电信机房距离不超过 3 千米的用户，均可以申请安装宽带，申请后，电信运营商赠送一台非对称数字用户环路调制调解器，免费为用户开通非对称数字用户环路宽带。每月费用采取包月制，资费几度下调，从开始时的每月 120 元调至每月 60 元。上网用户数：1996 年 40 户、1997 年 200 户、1998 年 320 户、

1999 年 510 户、2000 年 1336 户、2001 年 2244 户、2002 年 1857 户。2003 年 18155 户,其中宽带用户 8622 户。2004 年 28783 户,其中宽带用户 19250 户。2005 年 31539 户,其中宽带用户 29629 户。

【网通宽带】

2003 年 9 月 8 日,中国网络通信集团公司太仓市分公司成立,公司位于市区太平南路 63 号,为企业及个人提供网络网协电话、宽带上网、企业组网及各种互联网应用等信息服务。当年开通电话用户 200 户。2004 年有电话用户 565 户,宽带用户 4023 户。至 2005 年,电话用户升至 3834 户,宽带用户 4082 户。在全市共建成城域网机房 15 个,接入机房 13 个,同步码分多址无线通信基站 9 座,铺设光缆 2600 芯千米,铺设通信电缆 322 千米,铺设通信管道 61.62 孔千米,拥有 2.5 千兆互联网出口带宽,交换机总容量 8000 门。以光纤为主要传输媒介,通信网络覆盖各主要乡镇及工业区。

邮政业务

1986 年,境内的邮政业务包括函件、包裹、汇票、报刊发行、集邮和机要通信。同年 11 月 25 日,恢复开办邮政储蓄业务。1988 年,开办邮政特快专递业务。1991 年,在原有给据邮件(挂号信)基础上增开快件业务。1998 年 9 月 7 日,邮电局实施邮电分营,邮政业务由邮政局专营。

新成立的邮政局自主经营、自负盈亏。1999 年,发行报纸 1463.8 万份、杂志 102.83 万份,邮政储蓄年末余额 38229 万元,完成业务总量 2022 万元,比上年增长 706.81 万元。之后,由于电话、传真、短信、电子邮件、网络等高效通信手段的普及,传统信函业务很快萎缩,为此,邮政开辟商函广告和物流配送等新业务,并加大邮政储蓄业务的推销力度。2001 年,发行报纸 1703.09 万份、杂志 59.3 万份,邮政储蓄年末余额 54067 万元,完成业务总量 3733.74 万元。2003 年,发行报纸 1585.51 万份、杂志 52.41 万份,邮政储蓄年末余额 90264 万元,完成业务总量 5306.77 万元。2005 年,发行报纸 1584.68 万份、杂志 56.03 万份,邮政储蓄年末余额 13.68 亿元,比 1999 年的 3.82 亿元增长 2.58 倍,年均递增 24%。完成业务总量 6239.22 万元,比 1999 年增长 2.09 倍。

1986～2005 年太仓市(县)邮政业务统计表

表 162

年份	邮政业务总量（万元）	普通函件（万件）	给据邮件（万件）	包裹（万件）	邮政快件（万件）	特快专递（万件）	汇票（万张）	邮储年末余额（万元）	集邮（枚）	报纸年累计数（万份）	杂志年累计数（万份）	直递（元）
1986	—	203.15	41.42	4.36	—	—	5.80	—	—	1451.87	98.18	—
1987	—	203.13	47.03	4.06	—	—	6.41	111.97	—	1655.54	109.07	—
1988	—	230.37	48.38	3.60	0.18	—	7.05	205.63	—	1360.15	92.02	—
1989	—	201.47	20.10	3.14	23.46	—	6.10	321.17	136935	1037.32	65.53	—
1990	—	168.83	17.30	3.06	24.13	—	5.92	455.15	158578	0999.87	66.56	—
1991	230.48	212.93	—	3.47	27.26	0.08	6.80	1366.29	481042	1307.98	77.72	—
1992	294.23	274.34	—	4.01	31.28	0.33	9.27	2210.88	378980	1308.03	79.66	—
1993	426.51	306.98	—	5.33	26.28	6.35	11.53	2715.76	535918	1391.47	66.27	—
1994	631.09	321.79	—	4.67	16.30	17.98	11.38	4049.15	648625	1462.50	71.13	—
1995	832.29	395.45	—	4.78	17.58	17.60	12.38	12658.87	1062212	1252.07	73.01	—
1996	1105.22	528.75	—	5.20	21.01	12.76	13.06	22605.85	969299	1335.64	122.75	—
1997	1315.19	584.18	—	4.77	15.61	7.44	13.81	33581.77	1353992	1404.32	123.80	—
1998	1539.00	210.29	31.14	4.92	7.14	6.80	15.30	37973.00	1644800	1331.77	111.07	—
1999	2022.00	288.31	28.18	4.99	—	7.72	14.07	38229.00	1912700	1463.80	102.83	2300
2000	2318.43	296.98	15.05	5.03	—	8.82	14.46	43239.00	2501500	1479.22	68.20	3200
2001	3733.74	145.78	21.02	5.48	—	11.18	15.64	54067.00	2826100	1703.09	59.30	1300
2002	4079.29	286.57	23.73	6.06	—	13.81	19.69	71587.00	786900	1601.21	53.74	500
2003	5306.77	429.58	25.27	7.32	—	18.31	25.32	90264.00	752000	1585.51	52.41	300
2004	5477.07	226.31	25.60	6.91	—	19.53	22.96	104427.00	1485200	1550.48	54.04	7300
2005	6239.22	120.85	24.34	7.33	—	23.37	20.01	136779.00	1228400	1584.68	56.03	7700

计算机

【计算机培训】

90年代初,随着386计算机的出现,计算机应用逐渐在太仓推开,普及计算机知识的初级培训班受到欢迎,教员多由机关或企事业单位技术人员兼职,教授磁盘操作系统(DOS)、文字编辑系统(WPS)和数据库管理系统(FOXBASE)等基础内容,办班多采取技术部门和教育部门联办的形式。1995年后,随着微软视窗电脑操作系统(WINDOWS)、办公软件(OFFICE)文字处理系统及网络的兴起,家用计算机开始普及,学习计算机技术的人越来越多,社会办学热情高涨,市内出现不少民营计算机培训点,重点教授办公自动化和互联网基础知识,较有代表性的培训点是"太基电脑培训中心"。90年代后期,计算机辅助设计(CAD)在企业推广。1999～2000年,市科委培训中心举办计算机辅助设计培训班7期,培训人数180人,办公自动化培训班34期,培训人数1000人。2002年,市、镇两级机关开始建设电子政务工程。至2005年,正式开通,实现公文无纸化传递。市委组织部、市人事局、市信息中心分别对各单位领导干部、公务员、信息管理员进行业务培训,内容有公文收发、传递、电子邮件收发、网页制作、系统维护等,保证电子政务系统正常运行。

【软件开发与服务】

1989年,县科委成立计算机推广中心,下设电脑公司。1991年6月,县经济信息中心下设信息技术公司。90年代初,电脑公司和信息技术公司是太仓主要的计算机软件开发和服务企业。1993年,信息技术公司开发的"江苏省农业信息系统"软件,获省政府科技进步四等奖。1997年,市卫生防疫站在磁盘操作系统平台上开发的"计算机在居民病伤死因统计中的应用"软件,获1998年度苏州市科技进步四等奖。2000年,新城电脑公司开发的"'样样有'进销存管理软件",被批准为江苏省软件产品,并获得软件著作权,企业成为省首批认证的软件企业。太仓创造电子有限公司开发的《CH-2018污染治理设施运行监测仪》,对企业污水排放进行监测,被誉为环保监督"黑匣子",获2002年度苏州市科技进步三等奖。市水利勘测设计研究所与河海大学计算机及信息工程学院合作,在自动计算机辅助设计软件(AUTOCAD)平台上进行二次开发的海塘工程计算机辅助系统,获2002年度苏

州市科技进步三等奖。苏州鹞鹰数据有限公司研制的E-DAQ300D高速数字信号采集系统被列入2005年国家重点新产品项目，开发的“基于AVS-M的嵌入式多媒体应用系统”，成为苏州市科技局2005年招标项目。2005年9月29日，作为全市软件产业主要基地的太仓软件园开工建设项目，由中科国际科技发展有限公司投资创办，计划总投资3800万美元，建筑面积15万平方米。至年末，完成前期规划和拆迁，首期6万平方米土建开工。

三、商业贸易

80年代，太仓商贸服务业以国有和集体商业为主要形态。除烟草、盐业专卖和粮油统购统销外，普通商品经销由商业、供销和物资3块组成。商业系统负责城厢、沙溪、浏河3个镇生活资料供应；供销系统负责农村生活资料、农业生产资料的供应及农副产品收购；物资系统负责全县工业生产资料的供应。商品以计划供应为主渠道。90年代，市场逐步放开，经营灵活，民营个体商业发展迅速，网点密布，方便群众生活。1998年起，国有商业公司陆续退出市场。1999年9月，撤销商业、物资、供销3个管理系统，组建贸易局，侧重于协调、监督和服务功能。商品物资流通全面实行市场调节，门店档次不断提高，经营模式向集约化、规模化、专业化方向转变，大型综合商场、连锁超市和专业市场占据主导地位。2005年，全市社会消费品零售总额47.87亿元，比1986年增长12.52倍。

流通体制改革

【物资体制改革】

1986年，县物资局下辖7家企业，共有职工75人。主要经营金属材料、机电设备、化工轻工、木材建材、煤炭石油等物资。太仓计划供应物资逐年减少，随着改革开放，地方经济的迅速发展，物资需求剧增。同年，县物资系统完善两级核算、三级考核的经营承包责任制。年初将全年任务落实到公司，并分解到站，责任到人。分设2家公司级的法人实体。全年销售额1.48亿元，确保全县物资供应。1987年，推行经营承包责任制和经理负责制两项改革，承包期一定4年。组建太仓县物资综合服务公司。在鹿河、直塘、牌楼、新湖、浮桥等8个乡镇设立物资供应站，方便

基层、扩大辐射面。全年销售额升至2.2亿元。1988年,深化承包经营责任制,推行层层承包。县物资局分别与苏州市物资局、太仓县政府签订承包责任书,再与下属各公司签订承包合同,各公司再把承包指标分解落实到各站、科、库、组及个人。同时在全系统试点企业内部“三项制度”(浮动工资制、吨煤工资含量制、计件工资制)改革,在职工队伍中开展优化劳动组合,公司经理及中层干部由原任命制改为聘任制。试点取得经验后,逐步有计划推开。分设2家公司级法人单位。全年销售额4.4亿元。1989年,继续深化和完善两项改革,同时开展企业升级达标工作。全系统苦练内功,建章立制,加强管理,提高企业经济效益。1990年,新成立1家公司级法人单位,县政府把县工商局建办的太仓县利用物资调剂市场移交县物资局管理。全年销售额超5亿元。1987～1990年,4年承包期中,全系统入库利润以3%速度递增;销售额比1980～1986年总和多11亿元;职工人均收入增加90.9%,其中工资水平增长57.1%。

1991年,企业内部“三项制度”改革全面推开。全系统各企业实行干部聘任制;推行职工收入与企业实绩挂钩的分配制度;精简机构,充实一线人员,形成大经营、小管理机制,进一步优化劳动组合;强化考核,重点考核企业经营水平、效益水平和发展潜力;完善激励机制。全年销售额6.2亿元。次年,新增木材地板厂、黑天鹅商厦2家企业,全年销售额9.7亿元。1993年3月,太仓物资集团公司成立,与物资局一套班子、两块牌子,下辖12家企业。经营范围覆盖工业生产资料、煤炭石油及制品、汽车、五金百货、化工变电、针纺织品、房地产等,经营方式有批发、零售、加工、配送、代购代销、代储代运等多种形式。物资系统初步形成经营、外贸、期货、实业、房产、商业、娱乐等全方位、多层次的经营新格局。系统企业内部实行劳动人事、收入分配、社会保险和风险抵押承包等多项制度性改革。

1994年,市物资系统制定激励企业加快发展的14条措施,完善“三项制度”改革中各项配套改革措施,实行费利包干责任制和个人承包经营责任制,全面推行风险抵押承包。全系统上缴风险抵押金980多万元。全年销售额13.4亿元。1995年,物资系统实行一司多制(公司)经营模式改革。全系统结合各公司实际,形成适应市场的多种经营模式。如整体经营型:市金属材料总公司以经营钢材为主体,形成一体化经营体制。两级经营型:市燃料公司组建7家两级法人公司,直接面向市场独立运作。承包经营型:市生产资料服务总公司把全年任务指标分解

到各经营站，由经理、副经理带头承包。股份经营型：市燃料总公司把富豪、南郊工业加油站实行股份经营，总公司控股 20%，80% 股份转让给职工。租赁经营型：综合服务公司、市机电设备公司分别将物资宾馆、汽配部门市部和“太湖明珠”餐厅租赁给个人经营，全年获利 20 万元。内部改组型：市化轻公司将 10 个部门调整为 7 个部门，停薪留职 9 人，制止了亏损。存量转化型：苏州开源塑料制品公司于当年 3 月 8 日解体，把厂房、土地、设备等资产分别转让给市职中和燃料总公司，盘活近 1000 万元存量资产。

1996 年，推出公司制、股份制、股份合同制、租赁承包制及国有民营等改制模式。同年 3 月，市燃料总公司组建股份合作制的太仓市燃料总公司油站公司。职工股占总股本的 65.8%。1997 年 10 月，经市政府批准，市物资系统组建太仓物资控股（集团）公司，作为国有、集体出资人代表，负责对物资系统的国有、集体企业资产运作和保值、增值。物资控股（集团）公司拥有下属企业 16 家。

1998 年，开展以产权制度改革为核心的企业转制。市金属材料总公司改制为太仓苏南金属材料有限公司，职工股占 49%。市生产资料服务总公司改制为太仓富邦生资有限公司。市物资再生利用公司改制为太仓市富盛物资再生利用公司。市建材公司改制后成立太仓市富荣建材公司。10 月，成立太仓市生产资料交易市场。12 月，由光大石油天然气开发投资有限公司、苏州恒和投资开发管理公司和太仓物资控股（集团）公司 3 家共同投资的太仓光大富恒石油有限公司成立。至年末，物资控股（集团）公司总股本为 3318 万元，其中职工股 371.5 万元，外企股本 895 万元，净资产额 2748 万元，职工 474 人，负债率 60%。全系统制止了亏损，资产增值超过 6%。1999 年，太仓市物资局撤销，物资控股（集团）公司同时注销，其人、财、物成建制并入太仓市贸易局。

【供销体制改革】

管理机构　1986 年，太仓供销系统的管理机构是太仓县供销合作联社（简称县联社）。位于城区人民北路 52 号贸易大楼内。内设人事、秘书、多种经营、业务、财会、基建、基层工作、政工等 8 个股级科室和监事办公室，下设供销职工学校。1987 年 4 月，县联社党总支改建为党委，隶属县委领导。多种经营股与土产公司合署办公，两块牌子，一套班子。1990 年 3 月，县联社更名为太仓县供销合作总社（简称总社）。年末，总社内设人事监察、秘书、业务、财会、集体商业、工业基建 6 个科

室及下设供销职工学校。共有干部、职工93人,其中总社56人,职校37人。1991年1月,撤销多种经营股,成立多种经营服务站。1992年12月,成立太仓县供销合作总社(集团)总公司。1994年4月,总社内设办公室、社务管理部、经济开发部、财务部。1996年7月,多种经营服务站不再单独建制,隶属白蒜公司。1999年9月,太仓市供销合作总社撤销,人、财、物及其职能成建制并入太仓市贸易局。

供销合作社改革 1986年,县联社系统有干部、职工4204人。所属企业实行"服务、经营"双承包责任制,把服务工作好坏与企业和职工利益捆在一起。在农资供应、农副产品购销、多种经营服务、支持乡镇工业发展等方面发挥了积极作用。1988年,实行行政领导责任制,确立主任、经理、厂长在企业或公司中的中心地位。并配套建立领导任期目标责任制和离任审计制。同时探索传统的经营机制改革。所属的经营性公司以适应横向拓展业务的需要进行专业划细,由原来的7家公司扩展为10家。并成立供销商业物资总公司和农业物资总公司,所属企业全部划小核算单位。企业内部开展"三项制度"(分配、用人、管理)改革探索。分配制度在完善经营承包责任和浮动工资制基础上,试行"工资与企业效益"挂钩办法,实行"一级奖一级""一级考核一级""以人计销""以销计奖"等办法。干部使用由原来的"任命制",改为"聘用制",打破干部职务终身制,破除"能上不能下"的弊端。在管理体制上,对县级和基层两级供销社进行换届选举,成立社务管理委员会,吸收农民代表参加管理。全县220名社务管理委员会委员中有68名农民代表。

1992年,先后成立太仓县供销合作总社(集团)总公司、家鑫供销公司、昌鑫综合供销公司等40多家公司。在组建大公司基础上,相继在海口、厦门、昆明、哈尔滨等地设立实体公司,拓宽横向业务渠道,同时作为流通信息窗口,广泛搜集了解各地商品供求信息与动态。年末,县供销合作总社(集团)总公司,下辖由核心层、紧密层、半紧密层组成的111家企事业单位,逐步形成跨地区、跨行业、跨所有制、多功能的大型综合商社,发挥了较大的市场竞争优势。1993年,供销系统深化"三项制度"改革,推行全员劳动合同制,推进岗位技能工资制,实行国家、集体、个人共同负责的社会保险制度。次年,总社机关首先实施精简机构、转变职能、兴办实体的改革。按照"精简、统一、效能"的改革原则,人员编制从50人减至40人;部分行政管理人员充实到经营业务第一线兴办实体。

1994年起,针对供销系统连年亏损,供销社企业引入风险机制,实行企业领导

风险抵押金制度和风险奖励基金制度；生活资料的门市部和店实行劳动合同制，11 家企业实行岗位工资制。南郊供销社的生活资料门店全部实行抽资承包，对骨干业务企业加强直管领导，使该供销社连续 10 年综合经济效益超 100 万元，取得较好效果。至 1997 年年末，虽然采取了很多改革措施，但由于没有从根本上解决资产的归属与职工身份的转换，供销系统经营状况仍每况愈下。全系统亏损额累计 1.2 亿元，负债率 82.5%。社员股金 8879 万元中绝大部分为集资款，偿付能力不足。全系统账面利润亏损 1424 万元，为历年经济效益下降最快的一年。相当一部分企业已周转不灵，处于瘫痪状态。

1998 年初，全系统企业开展改革转制。重点是下岗分流，减员增效。解除和终止富余的农民工、合同制职工 745 人，下岗、内退和停薪留职 748 人，共减员 1493 人，占上年年末职工总数的 25.64%。并精简行政管理人员 250 多人。同时对生活资料门店实施以抽资承包合作经营制为主要形式的新经营机制。全市 21 家基层供销社有 18 家实施这一机制，承包门店 250 家，涉及职工 900 多人。93 家门店由职工租赁经营，涉及职工 193 人。53 家门店由职工购买自营，涉及职工 80 多人。农业生产资料供应全部实行紧密型连锁经营，农副产品和卷烟经营业务采取集体承包。多数企业中实行职工身份股份制度。转制后，通过抽回集体资金，出售门店和收取资产占用费、租赁费、风险金、身份股等渠道，全年共回笼资金 2000 多万元，缓解了归还社会集资款及支付辞退人员补偿金的资金缺口矛盾。1999 年，市供销合作社总社撤销，人、财、物全部并入市贸易局管理。

农村集体商业改革　1986 年，全县乡镇集体商业总店和商业合作社共有 21 家，职工、干部 1029 人，归口县联社管理。集体商业总店和商业合作社及供销商业总公司的主任、经理，均由县联社考察任免。县联社与集体商业的关系，是“政治上把关，业务上放开”，撤销原来的商管员制度。1987 年，为进一步让集体商业成为独立的经济体系，将鹿河、新毛 2 家集体商业总店改为与基层供销社同级的商业合作社。在行政和业务上实施由当地乡镇政府和县联社的双重领导。1988 年，双凤、板桥、新塘、归庄、时思 5 家集体商业总店升格为商业合作社，与基层供销社同级。娄东、南郊、新湖、直塘、沙溪、老闸、九曲、王秀、璜泾、浮桥、茜泾、岳王、牌楼、陆渡等 14 家集体商业总店更名为供销商业公司。商业合作社与供销商业公司均实行主任、经理负责制。

1989 年，根据县政府《关于改革完善农村集体商业管理体制化的意见》，娄东、

新湖、直塘、沙溪、老闸、王秀、璜泾、陆渡、茜泾、岳王、牌楼、双凤、归庄、新塘、鹿河、时思、新毛、南郊、浮桥等乡镇商业合作社和供销商业公司全部并入当地供销社。全县农村集体商业企业仅保留板桥、九曲供销商业公司。至2000年,经市贸易局决定,板桥、九曲供销商业公司分别并入板桥、九曲供销社。至此,归口供销合作社管理的农村集体商业体制消亡。

【商业体制改革】

1986年,太仓商业系统的行政主管部门为太仓县商业局。商业局下属的经营公司与工厂共有18家。从业人员3837人。随着经济体制改革的深化和市场供求关系发生新的变化,传统的计划经济体制逐步向市场调节和完全市场化方向发展。特别是工业部门的产品允许自产自销,使国有商业批发企业面临了很大压力和挑战,迫切需要加快商业体制改革,以适应市场变化发展的需要。根据国务院文件和太仓县政府文件精神,商业系统成立了体制改革领导班子和工作小组,开展对国有中、小企业改、转、租的改革。

转换企业经营机制 1986年2月,扶持太仓食品工业发展,组建太仓县食品工业公司与太仓烟糖公司,为商办食品工业提供计划平衡,组织原辅材料,推销产品,搞好咨询等服务。同时,对太仓工业品贸易中心和上海沪太贸易公司进行整合,实行一套班子,两块牌子的管理体制。在公司内部建立本账,划专分细。上海沪太贸易公司内设针纺织品、五化交、副食品3家批发部及1家综合门市部。太仓工业品贸易中心内设针织品、纺织品、五化交、副食品4个批发部。同年4月,为适应服装市场的迅速发展和划专分细要求,县百货公司的针纺织品和服装2家批发部划出,成立太仓县纺织品公司,专业经营针纺织品和服装,并设置地产经营科及纺织品、针织品、服装3家批发部。沙溪、浏河2家商业总店分别改建为沙溪商业公司和浏河商业公司,进一步扩大批发业务,实行零售兼批发。11月,上海沪太贸易公司又与上海联建工程公司联合组建上海沪联建筑材料配套公司,开展跨行业经营业务。经营建筑、装潢、配套材料和加工业务,并兼营室内外装修、橡胶塑料制品、广告、咨询等业务,进一步拓宽经营领域。全年商业系统实现销售额2.2亿元。

1987年1月,商业系统针对不同类型企业,分别制定《国营小型企业租赁经营试行办法》和《实行股份制章程》方案,在系统内推行主管企业经济责任制和供销

员经济责任制考核办法。为保障肉食品和蔬菜市场供应，县食品公司撤销蔬菜经营部，恢复建立太仓县蔬菜公司，专营蔬菜业务，确保城厢、沙溪、浏河三大镇居民蔬菜供应，落实好菜篮子工程。同年 11 月，县百货公司、纺织品公司、五化交公司、烟糖公司、医药公司、工贸中心和新城商场等 7 家企业推行承包经营责任制。承包内容与原则是：以 1987 年县财政下达的入库利润为承包基数，一包四年，逐年递增。实行三级承包，二级核算。即由县商业局与财政局签约承包合同，再由商业局和下属各公司、商场签约承包合同。公司、商场内部再层层进行指标分解，直到柜台和个人。结算方式实行企业直接与财政结算，财政和商业局结算。

1988 年 6 月 9 日，商业系统在新艺剧场举行第二批国有商业企业经营承包签字仪式。关系到全县市场供应、人民生活、增加农民收入等问题的县食品公司、蔬菜公司、食品工业公司、罐头食品厂、速冻保鲜厂、肉制品厂等 6 家企业在承包合同上签字。这些企业在生产经营农副食品、外贸出口产品等方面均具有一定规模，但在上年都出现亏损，为此根据不同企业特点，采用 6 种形式的经营承包责任制：确定基数，利润分成；定额利润，超额全留，缺额自负；定额上交，超额全留，缺额自负；包干基数，利润全留，亏损自负；定额亏损，减亏分成；定额亏损，减亏全留，超亏自负。承包期限为 3 年，年递增（减）率原则上为 6%。通过落实经营承包责任制，全年商业系统实现销售总额 6.38 亿元，比 1986 年增长 190%。

1989 年，新城商场从县百货公司析出，更名为太仓县第一百货商场，直属县商业局，同时增加批发业务，实行零售兼批发。同年 2 月，县食品公司组建为县食品总公司，分设 3 家分公司，2 个场、1 个厂等 6 个批发零售部门。3 月，太仓县食品工业公司从县烟糖公司划出，单独组建县商业物资公司，实行独立核算，在原有经营范围基础上，增加金属材料，化工原料等商品。

改革、改组　1992 年，商业系统改革进入企业改革、改组阶段。为进一步扩大企业规模，提升市场竞争力，分别组建太仓县百货总公司、五化交总公司、糖烟酒总公司、南阳商业总公司四大公司。1993 年，太仓县第一百货总公司和太仓县百货总公司合并成立批零兼营的太仓县百货总公司，使销售额不断攀升。1994 年，商业系统销售额 17.65 亿元。同年 1 月，沙溪国有商业公司与集体商业公司合并组建沙溪商业（集团）公司；浏河国有商业公司与集体商业公司合并组建浏河商业（集团）公司。2 月 28 日，经省体改委批准，弇山大厦组建为江苏弇山集团，成为省级商贸游一体的企业集团。为适应厂商全面直销，批发业务逐步萎缩的市场新趋势，商业系

统把重点放在推进零售经营业务上,兴建一批综合型大商场,扩大市场销售量。先后在城厢、沙溪、浏河新建宝路、天宝等8家大商厦,总投资7000万元,建筑总面积3.32万平方米,并于1月6日至9月17日相继开业。全年全市商品零售总额4.56亿元,比上年净增1.83亿元,增幅66%,创历史最好水平。

1996年,全面推行目标管理。在科学制定主要经济指标基础上,实行以风险抵押为主要形式的新一轮经营承包责任制。即一次性上交风险抵押金的金额不少于上交指标的30%。在全面完成税收、效益、利益等指标后,按合同规定分成,风险抵押金全额返还。超出承包利润指标的,按合同分成;亏损企业用风险金抵补外,还以个人房产作抵押。企业内部采用层层承包形式加以落实。

组建商业控股(集团)公司 1997年,实施"两权分离"(资产所有权与经营权),进一步探索国有资产管理体制改革,确保国有资产保值、增值。经太仓市改革领导小组统一部署,在全市工商系统中全面推进以组建国有、集体资产控股(集团)公司的体制改革。商业系统在市商业局主导下,成立商业控股(集团)有限公司,作为国有集体资产的出资人,负责国有集体资产的经营管理与保值、增值。1998年2月,商业控股(集团)公司对直属企业在实施风险抵押承包基础上,制定对企业经营者年薪制度。使原来单位以承包经营指标为主的责任制向以国有集体资产保值、增值的责任制过渡。同年9月,商业控股(集团)有限公司与台资企业仓庆金属制品公司共同投资组建太仓联庆糖烟酒有限公司。公司注册资本300万元,商业控股(集团)有限公司出资60万元,糖烟酒总公司股份转入新公司,前糖烟酒公司停业清算,由太仓联庆糖烟酒有限公司收购。

由于批发体制逐步消亡,商业经营开始逐年下滑,1996年,商业系统销售额为14.12亿元,1997年降至8.23亿元,1998年降至4.8亿元。1999年,市商业局撤销,原有职能全部划归市贸易局。

【贸易体制改革】

1999年9月,太仓市商业、物资、供销3个系统进行体制改革,根据太仓市《关于流通体制改革的实施意见》,撤销市商业局、物资局和供销合作总社,组建太仓市贸易局,使全市流通领域进一步适应市场经济体制需要。3个系统人、财、物成建制划归市贸易局。2001年10月,根据太仓市委、市政府《关于太仓市党政机关机构改革实施意见》,太仓市贸易局由政府工作部门改为事业单位,正科级建制不变,

归口太仓市经济贸易委员会管理，明确太仓市贸易局为主管全市商品物资流通的职能部门。2005 年 5 月，太仓市机构编制委员会《关于确定市贸易局参照国家公务员制度管理》的通知，确定市贸易局为参照国家公务员制度管理的事业单位，原机构性质、建制级别、隶属关系、人员编制及经费渠道均不变。并统一实行国家公务员制度规定的各项管理制度。

贸易系统事业单位改革 1999 年，市贸易局组建时，所属事业单位有太仓市商业职工学校、太仓市供销职工学校和太仓市社会商业调研室 3 个单位。2001 年 1 月，太仓市商业职工学校和太仓市供销职工学校合并，成立太仓市贸易技术学校。2004 年 10 月，根据贸易系统实际情况，及太仓市改革领导小组办公室《关于对贸易局及所属事业单位分类定性和改革方式的批复》精神，撤销“太仓市社会商业调研室”“太仓市贸易技术学校”事业编制的建制，2 个单位的人员按太委办〔2004〕80 号文件进行分流。同年，市贸易局成立太仓市畜禽宰管理中心，管理人员优先在太仓市贸易技术学校的分流人员中招聘、考核录用。

贸易系统企业改革 1999 年，贸易系统内共有法人企业单位 91 家，职工 12980 人。其中在职职工 8656 人，离退休人员 4324 人。市贸易局成立后，即出台《关于加快贸易流通企业改革与发展的工作意见》，提出“整体推进、分步实施、因企制宜、重点突破”的工作方针。同年 9 月开始，通过改制、改组、收购、联合、兼并等多种形式，推动改革。以优势企业、优势产业、优势产品为主体，资产为纽带，组建太仓市天盛医药有限公司、太仓棉麻公司、富盛物资再生公司、化肥农药公司、肉松食品公司、金厦房地产开发公司、大众物业管理公司、镇洋烟酒公司、光大富恒石油公司等 9 家支援贸易流通经济的龙头控股企业，使占全系统 30% 的优质资产得到重组。抓大放小，对中小企业实施国退民进，采取租赁、承包、拍卖、股份合作等形式进行规范转制。对有一定资产，但改革成本有缺口的企业，在分流寡余职工前提下，按“自领执照、自主经营、自负盈亏、自缴规费”原则，开展生产经营自救。对丧失市场，长期亏损、扭转无望的企业实行停业整顿。

2002 年，调整修改《贸易企业改革总体方案》，对控股企业实施国退民进的产权制度改革。对华联、新城、新世界三大商场实施整体转制。对生产自救和歇业停业企业除政策内人员外，进行了全员分流。至 2003 年年末，贸易系统 91 家法人企业单位有 34 家实现整体转制，国有集体资金全面退出企业。57 家企业实施人员分流，在册职工从 8656 人减至 1431 人。其中通过企业转制而置换身份进入新企

业的3578人,分流、解除或终止劳动关系的2879人,自然减员768人。至此,贸易系统企业改革转制基本完成。

2004年起,重构贸易系统组织网络,结合全市行政区划调整,成立6个基层供销合作社:沙溪供销合作社,辖沙溪、直塘、岳王供销社及沙溪商业集团公司;浏河供销合作社,辖浏河、新塘供销社及浏河商业集团公司;璜泾供销合作社,辖璜泾、金浪、时思、鹿河、王秀供销社及九曲集体商业公司;浮桥供销合作社,辖浮桥、牌楼供销社;双凤供销合作社,辖双凤、新湖供销社;陆渡供销合作社,辖陆渡、新毛供销社。成立供销合作(中心)社,对辖区内企业实行人、财、物统一管理。市区组建商贸管理中心,相应对人员分流后的市区企业进行统一管理。

【粮油体制改革】

1981年,太仓粮食局成立粮油议购议销公司。1982年,太仓实行"粮食征购、销售、调拨包干一定三年"的管理办法。1984年夏季,按照中共中央关于完成统购任务后的粮食允许多渠道经营的要求,太仓县执行粮油在完成统购任务后允许上市。同年,本地稻谷、小麦、菜籽、棉花列入统购政策业务。

1986年,太仓粮食系统负责全县6.74万名城镇居民平价粮油供应、专项用粮及农村统销粮油销售和平价行业用粮销售。当年全县销售量折合原粮2.87万吨,油脂1309吨;全年收购合同定购粮油5.33万吨,议价粮油5.84万吨;调入平议价粮油1.39万吨,调出平议价粮油6.34万吨,加工调拨粮油5.08万吨。

1987年,国务院规定粮、棉、油菜类商品,凡是由国家指定收购部门组织收购的,其他部门和单位不得直接插手收购。同年12月23日,商业部、国家工商行政管理局等联合发出通知,要求各地要在保证完成国家定购任务和议转平计划的前提下,开展多渠道经营。1988年,国家明确从当年秋季开始,稻谷由粮食部门统一收购,其他部门、单位和个人不得经营。1989年,随着粮食定购价格的提高,粮食产量出现回升,部分地区出现农民"卖粮难"状况。1990年,国家发出通知,在保证完成国家定购任务前提下,取消稻谷粮食部门统一收购的规定,常年放开经营。1988～1990年,粮食系统实行粮油购销调包干政策。苏州市核定太仓粮油购销调包干收购任务为粮食5750万千克,油菜籽550万千克。1991～1992年粮食包干基数调减为5685万千克。

1993年4月1日起,全省粮油收购价格放开,城镇居民停止使用各类计划票

证，放开粮油供应市场。同年，粮食定购任务由指令性计划改为指导性计划。当年太仓粮食定购指导性计划为4500万千克。放开粮食供应价格后，供应秩序一度出现混乱，太仓市粮油供应调整为凭证限量顺价销售。城镇居民口粮供应，采取每人每月凭原购粮证限购主粮12.5千克，食油250克，价格按国家限价销售。同时继续放开粮油议价市场，控制原粮与成品粮外流。市政府决定恢复5110万千克定购粮，供应秩序渐趋稳定。1996年1月1日起，太仓停止印发“太仓市年度购粮券”。居民粮油供应走向市场化。1999年，粮食系统进入粮油经营管理体制改革与粮食系统企业改制的深层次改革。

2001年下半年起，粮食系统国有购销企业实施转换机制、调整产权关系、置换职工身份等改革。粮食购销企业按照保留主业，附营业务退出原则，全市18家国有粮管所及其供应站、收购站以9月17日为结算基准日，开展资产清理工作。对部分资产进行拍卖，拍卖所得款项用于清理、安置职工身份转换的资金。其余资产与返聘的购销企业经营者签订资产租赁合同。2004年下半年，全市各粮管所保留牌子，对外不运作，对内承租；承租后建立有限责任公司，实行国有资产有偿使用原则，并负有国有资产保值增值责任。对附营业务资产实行对内竞价出售与对外公开拍卖。其中收储企业除主要粮食仓库及收购保管的相关设备设施不得拍卖外，其余均可拍卖或租赁经营。全市共出售及公开拍卖66家粮店、食品加工场及其他场所。出租土地9.24万平方米。成交标的56项，其中房屋5593平方米，土地使用权4272平方米，总成交金额（扣除佣金和职工一次性优惠10%后的净收入）806万元。本系统职工成交标的33项，占总数的58.93%。同年，太仓市粮食购销有限公司成立。主要负责本市储备粮管理和军粮供应，加强对改制后粮食购销企业有效管理。该公司实行一级法人制，独立核算、自主经营、自负盈亏。

置换职工身份　1999年起，全系统职工实施身份置换。所用的农民工、临时工、费用工全部清退。实行“全体起立、买断工龄、置换身份、择优返聘”。除符合内退和托管条件的人员及“军转干”以外，全部按照一年工龄补偿本人上年平均月工资加月奖金300元标准发放补偿金。对离法定退休年龄不足5年的企业职工办理内退。对已满30年工龄，且自谋职业有困难职工，由本人申请，单位批准，实行暂时性内退，达到内退年龄再办内退手续。对个别因特殊原因就业有困难的离内退年龄不足3年的职工，办理内部托管，达到内退年龄再办内退手续。以上三类人员

根据不同类型由单位按各对应标准发给生活费，并缴纳养老、医疗、失业三项保险金，达到法定退休年龄后办理退休手续。1999～2002年，粮食系统终止原企业劳动合同1359人。其中居民合同工564人，农民合同工180人，临时工37人，固定工578人。经济补偿2384.9万元。全系统尚有内退、托管、退养人员313人。其中内退159人，托管44人；30年工龄退养60人；代管未纳入社保人员50人。上述人员移交市劳动社会保障局管理。

粮油加工、生产企业改革 1986年，全县粮油加工企业有太仓县油脂化工厂、太仓县面粉厂、太仓县米厂、太仓县粮油机械厂、太仓县直塘米厂、太仓县新毛米厂等。至1999年9月底，全市粮食系统资产总额为4.5亿元，负债总额3.98亿元。同年起，粮油加工、生产企业实施改革。对严重亏损、资不抵债、长期停产、经营陷于停顿的企业，实施盘活存量和资产重组。先后将太仓饲料总厂的资产设备租赁给黑龙江省粮油物资公司；将太仓米厂部分仓库出租给华联销售点等。有市场竞争力的企业实施组建有限责任公司或租赁经营。将太仓市机械化养鸡场从太仓市天益油脂公司分离，资产经剥离后评估，部分资产拍卖给个人，不动产租赁，并由个人用租赁的资产建立太仓市登峰油脂公司。太仓面粉厂与沙溪粮管所实施商企联合，组建太仓市双力面粉公司。2000年8月，国有资本全部从原企业中退出，由原企业职工共同出资入股，组建太仓市双力面粉有限责任公司。

经营网点

【概　况】

1986年，商业、供销、物资3个系统共有商贸企业94家，从业人员9545人，经营网点分布在城区及各乡镇。其中商业系统主要经营机构有百货公司、五交化公司、工业品贸易中心、医药公司、沪太贸易公司、食品公司、蔬菜公司、饮服公司及城厢、沙溪、浏河3个镇商业公司等18家商贸企业，从业人员3837人。供销系统有农业生产资料公司、棉麻公司、物资回收利用公司、土产公司、白蒜公司、果品公司、日杂公司、镇洋商场及各乡供销社等69家商贸企业，从业人员5233人。物资系统有金属机电公司、生产资料服务公司、木材建材公司、煤炭石油公司、物资贸易商场、物资招待所等7家商贸企业，从业人员475人。全市社会消

费品零售总额 3.54 亿元。2000 年后，35 家商贸企业国退民进，整体转为股份制企业。个体私营业快速发展，至 2005 年年末，个体私营商业户 1.58 万户，从业人员 2.95 万人，注册资本 31.34 亿元。网点规模扩大，出现大批专业市场、批发市场及连锁超市，全市有各类商品交易市场 60 个，市场成交总额 108.85 亿元。多层次的经营网点，形成一个完整的商贸服务体系，满足和方便不同层次消费者的需求。

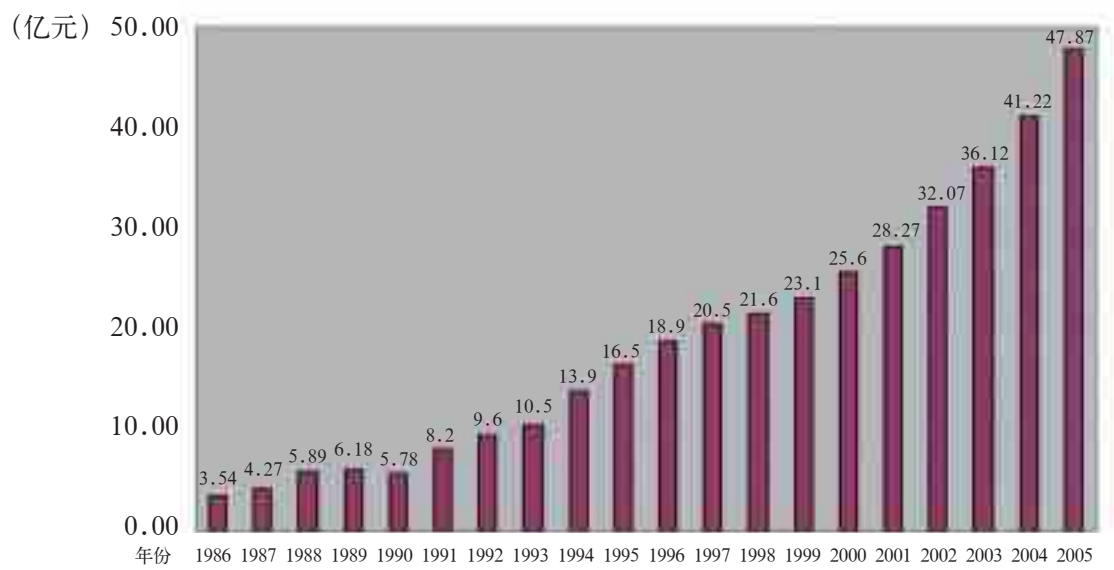


图 19　1986 ～ 2005 年太仓市（县）社会消费品零售总额统计图

2005 年年末太仓市商贸主要经营机构一览表

表 163

业态类型	名称	开办时间	从业人数（人）	营业面积（平方米）	主要经营范围	年销售额（万元）	地址
综合百货商场	太仓新城商贸有限公司	1984–10	340	11000	日用百货、针纺织品、服装、食品、文具用品、金银珠宝等	8000	人民南路 124 号
	太仓华联商厦有限公司	1994–09	400	9000	纺织品、服装、百货、化妆品、食品、珠宝、黄金等	10000	人民南路 2 号
	太仓新世界百货有限公司	1994–09	300	5500	纺织品、服装、百货、化妆品、食品、珠宝、黄金等	7500	人民南路 1 号

续表 163

业态类型	名称	开办时间	从业人数（人）	营业面积（平方米）	主要经营范围	年销售额（万元）	地址
连锁超市	江苏佩佩文具连锁超市有限公司	1998–08	215	1023	文体用品、电脑耗材、数码产品、工艺礼品、玩具、饰品、音乐器材、图书音像等	3218	新华东路70号
	太仓市仓建超市有限公司	1999–01	300	10000	食品、百货、日用品等	12000	人民北路16号
	太仓时代超级购物中心	2001–02	300	5000	食品、百货、日用品、办公用品等	14660	武陵街中心菜场二区
	佳稼农资连锁超市	2003–05	398	18000	化肥、农药、农膜等农用物资	3500	人民北路56号
专业市场（店）	陶瓷城	1996–05	—	18000	建筑装潢材料、墙地砖、浴具、水暖、五金、石料、管材等	7000	郑和西路282号
	恒发珠宝首饰有限公司	1997–10	40	250	销售、加工、修理黄金、铂金、珠宝首饰等	901	人民南路3号
	建材市场	1998–08	402	40000	家居装潢及建筑材料为主综合性商品	14000	城西南路8号
	北壕弄小商品市场	2001–06	203	800	服装、鞋帽、小百货、日杂用品等	—	县府西街20号
	太仓华东汽车工贸有限公司	2001–07	22	3000	经销汽车及零配件	11617	东亭北路2–6号
	永乐电器大卖场	2003–10	81	1500	家用电器	5000	人民南路124号
	五星电器太仓大卖场	2004–03	180	3900	家用电器	12000	新华西路（武陵街）路口
	美时达家居	2004–09	350	25000	家居、装饰材料等	—	郑和西路280号
	五洋商城	2004–12	1500	131000	五金机电、装饰建材等	23000	县府西路158号
	苏宁电器大卖场	2005–05	120	2731	家用电器	8000	人民南路137号
	粮油批发市场	2005–10	90	3000	粮油及制品、包装食品、饲料批发等	350	新浏河大桥南堍西侧

【商贸企业选介】

太仓华联商厦有限公司 简称华联商厦，由原国有太仓市五金交电化工总公司投资创办，1994 年 9 月 11 日正式开业。2002 年 5 月，以太仓华联商厦为主体，与太仓南阳商厦整合转制为太仓华联商厦有限公司。公司位于市区人民路、新华路核心商圈。由南北两幢姊妹楼联体而成，占地面积 5300 平方米，建筑面积 1.3 万平方米，经营面积 9000 平方米，是一家较大规模的综合性百货商场。商厦设 18 个商品部，主要经营化妆洗涤用品、黄金珠宝、名烟名酒、滋补保健品、皮具箱包、男女服装、男女皮鞋、通讯器材、家用电器、床上用品、儿童用品、数码产品、食品等 3 万余种商品。2004 年 8 月，成为境内零售业首家通过 ISO 9001：2000 质量管理体系认证企业。2005 年，销售额 1 亿元。公司先后获苏州市“百城万店无假货”示范店、苏州市“诚信单位”；太仓市“购物放心单位”、太仓市“零投诉企业”等荣誉称号。

1994 年 9 月开业的华联商厦

太仓新世界百货有限公司 简称新世界百货，由原娄东供销合作社投资建造，1994 年 9 月正式开业。2002 年 6 月，改制为新世界商厦有限公司，同年 12 月与昆山商厦合资成立太仓新世界百货有限公司，是一家综合性的百货商场。公司位于市区人民南路 1 号，建筑总面积 7000 平方米，营业面积 5500 平方米，注册资金 2100 万元。下设 9 个商品部，主要经营针纺织品、服装、百货、化妆洗涤用品、五金交电、日用杂品、烟、酒、土特产品、副食品、电工器材、黄金

1994 年 9 月开业的新世界百货

饰品、珠宝饰品、电子产品、移动电话及配件、化学纤维、乙类非处方药等1.2万个经营品种。销售额以每年40%的增幅上升,2005年,通过ISO 9001:2000质量管理体系认证。全年实现销售总额7500万元,利润187万元。公司先后被评为“太仓市民营企业20强”、太仓市“零投诉企业”、“苏州商贸系统先进集体”、苏州市“百城万店无假货”示范店、“江苏省诚信单位”。

太仓市新城商贸有限公司 简称新城商贸,由原太仓市百货总公司、太仓市纺织品总公司、太仓市新城商厦3个国有企业于2002年12月重组转制而成。下属新城广场位于市区人民北路24号,营业面积1.1万平方米,是一家综合性的百货商场。企业转制后,对商场进行改造,调整经营结构,引进品牌商品。2004年,企业被授予太仓市“文明窗口”、太仓市“购物放心单位”、太仓市“诚信经营规范服务示范窗口”等荣誉称号。至2005年,连续3年被评为太仓市“零投诉企业”、苏州市“诚信单位”。

2002年转制改造后的新城广场

江苏佩佩文具连锁超市有限公司 简称佩佩文具连锁超市,原名太仓市佩佩文化用品有限公司,1998年8月成立。公司以苏州地区为核心,覆盖江苏全省,拥有53家文具连锁超市,经营面积8800平方米,员工528人,有长三角经营文化用品领域的“航空母舰”之称。专业经营和销售办公用品、学生用品、办公设备、电脑耗材、电子数码产品、体育健身器材、工艺礼品、玩具饰品、音乐器材、图书音像等十大类3万余种商品,是国内外300余个优秀品牌商品的

1998年8月成立的佩佩文具连锁超市

特约经销商。2003 ~ 2005 年，文化用品销售连年名列国内前茅，先后获中国国际贸易委员会轻工分会和中国文教体育用品协会授予的“2004 年中国文化用品最佳经销商金奖”及“江苏省著名商标”、2004 年度和 2005 年度“江苏省诚信单位”等称号。并被评为太仓市“购物放心单位”、太仓市“诚信经营规范服务示范窗口”及太仓市“零投诉企业”。

太仓时代超级购物中心 简称时代超市，2001 年 2 月正式开业，位于市区武陵街中心菜场二区，经营面积 5000 平方米，从业人员 300 人。主要经营蔬果、鱼肉、糖果饼干、烟酒饮料、文教用品、休闲用品、小家电等 2 万余种商品。时代超市在营销上采取新鲜实惠的商品组合方法，定期提供会员专属的特价快报，让顾客得到最新的购物信息，方便采购。2005 年，销售额 1.47 亿元。

2001 年 2 月开业的时代超级购物中心

太仓市仓建超市有限公司 简称仓建超市，1999 年 1 月成立，加盟联华超市股份有限公司。又称太仓联华超市。位于市区人民北路 16 号，有连锁门店 28 家，营业面积 1 万平方米，员工 305 人，遍布全市各乡镇。主要经营食品、副食品、针棉织品、百货、家交电、文化用品等 20 多个大类 1 万多种商品，2005 年，销售额 1.2 亿元。先后获太仓市文明单位、苏州市百家食品卫生先进单位和太仓市“购物放心单位”等称号，连续 5 年被评为“太仓市光彩之星”，连续 4 年被联华超市股份有限公司评为优秀加盟公司。

1999 年 1 月开业的联华超市

五洋商城 2003 年 6 月 28 日，由城厢镇政府和江苏五洋集团共同开发，江苏五洋房产有限公司投资建造，2004 年 12 月正式开业。位于市区 204 国道与昆太

路交汇处，占地面积10.67万平方米，建筑面积13.1万平方米。商城分商业经营、经贸办公、商用公寓3个功能区域，建有宽阔的前门广场、环形内外通道和充足的停车泊位。主要经营五金、机电、建筑、饰材、家具、灯具等；兼有多行业经贸公司和银行、保险、通讯、旅游等社会公用业服务，以及餐饮、宾馆、休闲、娱乐业。拥有经营商435户，从业人员1500人。2005年，销售总额2.3亿元，被苏州市文明办评为2005年度“消费放心场所”。

2004年12月开业的五洋商城

生产资料

【农业生产资料】

1986年，境内有1家县级公司经营农业生产资料，下设批发部4家，零售商店1家；各基层供销社所属商店、门市部40家，共有干部、职工511人。各地供销社委托各村设点代销化肥、农药，共有化肥代销点217家、农药代销点274家。农业技术咨询服务站81家，全年接待咨询人员8万人次。同年，农业生产资料零售额3469万元，销售尿素1.31万吨、碳酸氢铵55921吨、磷肥9703吨、钾肥1076吨、复合肥1678吨、农药2906吨、农用薄膜349吨。1989年，按国务院通知，全县化肥、农药、农用薄膜由供销社专营，制定专营守则，加强专营管理，农业生产资料市场秩序好转，农业生产资料商品质量得到保证，供求矛盾缓解。同年，供销社在农业生产资料供应上补贴议转平（议价进平价销售）差价150余万元。1998年，针对农业生产资料市场竞争激烈和资金紧缺的新形势，市计委、经委、工商局、物价局、技监局、农业局、供销社等共同制定文件，对农业生产资料的资金管理实施封闭运行，专款专用，解决进货资金紧缺的困难。同年，农业生产资料零售额为8007万元，销售尿素11731吨、碳酸氢铵4000吨、磷肥6679吨、钾肥1200吨、复合肥8215吨、农药600吨、农用薄膜102吨。1999年起，随着农村产业结构及农作物布

局调整，农业生产资料的供应量有所下降。2003 年 5 月，市农业生产资料总公司整体转制为太仓市佳稼农业生产资料有限公司，开展农业生产资料连锁超市供应。2004 年 2 月，新湖首家镇级农业生产资料连锁超市正式开张营业，所有农资商品实行开放式货架销售。2005 年年末，全市镇级农业生产资料连锁超市 25 家，村级便民农业生产资料连锁超市 150 家。全年农业生产资料零售额 3500 万元，销售尿素 8200 吨、碳酸氢铵 12000 吨、磷肥 3200 吨、复合肥 6600 吨、农药 450 吨、农用薄膜 38 吨。

1986～2005年太仓市（县）主要农业生产资料供应选年统计表

表 164

年份	零售总额（万元）	尿素（吨）	碳酸氢铵（吨）	磷肥（吨）	钾肥（吨）	复合肥（吨）	农药（吨）	农膜（吨）
1986	3469	13119	55921	9703	1076	1678	2906	349
1987	3958	16373	58588	11449	—	—	3236	—
1988	5442	21343	69388	11974	—	—	2350	658
1989	6412	20880	67857	9766	—	—	2363	414
1990	6404	17228	59538	15374	—	—	2030	571
1991	6910	22848	55374	12537	2175	5365	1061	400
1992	7125	—	—	—	—	—	—	—
1993	7470	21203	37931	10468	2721	8239	1012	557
1994	9025	21559	38216	14038	1834	10136	1068	585
1995	10100	15000	34977	9925	2390	10391	1089	402
1996	11028	16260	49474	7426	1882	10904	765	250
1997	9336	15395	39545	5797	3124	10234	678	121
1998	8007	11731	4000	6679	1200	8215	600	102
2004	2300	7500	10000	3000	—	5000	420	35
2005	3500	8200	12000	3200	—	6600	450	38

【石　油】

80 年代，因企事业单位添置发电设备、汽车以及乡镇工业的发展，石油需求量急剧增加。1986 年年初统计，全县每年石油平均缺口 2.4 万吨，而国家分配计划

仅占需求量的6%。同年,物资系统采购计划外柴油6788吨、汽油1072吨、燃料油5990吨。为缓解电力供应偏紧的状况,采购重油4965吨,加工电力2541.75万千瓦时。年末又采购重油3000吨,作为加工电备用资源,用电最紧张时,每月至少供应议价柴油400～600吨。1987年,购进重油6000吨、燃料油9287吨,加工电力2093万千瓦时,购进柴油4796吨、汽油47吨。1989～1992年,共采购各类油品7.14万吨。1993年,物资系统所属燃料总公司新建1座5000立方米的储油库和5座加油站。全年销售各类油品21.2万吨。1994年,由于宏观调控,市场需求减少,全年销售各类油品2.8万吨。1996年减至1.11万吨。1999年,燃料总公司转制停业。2000年后,石油市场完全放开。2005年年末,全市有各类油品经营单位89家。规模以上工业企业石油消费量为燃料油2.8万吨,煤油229吨,柴油2.71万吨,汽油8666吨。

【煤　炭】

1986年,全县煤炭国家分配计划5.84万吨,缺口30万吨。物资系统供应煤炭17.45万吨。同年,物资系统所属煤石公司将计划外采购的高价煤炭以平价供应(简称"高转平"),主要用于居民、中小学校、敬老院、县政府招待所、消防保暖、医院手术室、火化场、集体炊事、复退军人等生活用煤及蘑菇、酱油等生产用煤。1988年,物资系统供应煤炭增至25.19万吨。1989年,生产资料流通领域形成开放竞争格局,工厂、企业大都自行采购煤炭。销售不畅,全年仅销售17.5万吨,1990年,为稳住市场,采取直拨直运、送货上门、网点销售等形式,销售量开始回升。全年为25.63万吨。至1992年,总计供应"高转平"煤炭9.02万吨。1994年后煤炭销售开始下滑,1996年销售5.47万吨。1997年,全市煤炭市场出现经营单位过多、偷税漏税、质次价高、短斤缺两等问题。为此,市政府决定,由市物资局与市经贸集团公司组建太仓市煤炭(集团)有限公司,规范煤炭市场秩序,清理整顿经营单位。至2005年年末,全市核准21家煤炭经营单位,全年规模以上工业企业煤炭消费量698.01万吨。

【木　材】

1983年,全县经营木材的单位有26家,以县木材公司为主,另有县农业生产资料公司和基层供销社的22家生产资料部及县经委系统2家物资供销企业。

1986 年，经营单位增至 71 家，采购计划外木材 3.38 万立方米，供应木材 3.44 万立方米。1987 年，经营单位有 66 家，其中 4 家为县属企业，59 家为批购销售单位，3 家为实力较强的双凤、沙溪、浏河供销社。1989 年，县木材公司直接从国外进口原木 14.5 万立方米。1991 年，取消计划分配，并在江西、福建、湖南等木材产地建立资源基地。1994 年起，市场疲软，木材销售逐年下跌。1995 年，木材公司投资 500 万元，创办洋森木业有限责任公司，将木材加工成楔口地板，形成“进口木材—加工成板—销售产品—上门安装”一条龙配套服务。全年可生产成品地板 10 万平方米。1996 年，完成产值 400 万元，实现销售 307 万元。1997 年 4 月 15 日至 18 日，在上海国际建筑装饰总会展览会上设立展馆，展出 5 种洋森地板品牌，1 万多人参观订货。1999 年，木材公司转制停业。2005 年年末，全市有经营木材个体户 33 家，其中城厢镇 12 家，其他乡镇 21 家。

【水　泥】

1986 年，县建材厂年产水泥 7 万～ 8 万吨，璜泾水泥厂年产水泥 4 万吨，全年需求 15 万～ 20 万吨，缺口 8 万吨。物资系统所属建材公司除负责收购供应地产计划水泥外，每年还承担采购计划外水泥 4 万～ 5 万吨的任务。建材公司分别与浙江省的长兴、湖州、桐乡等县级水泥厂及溧阳县 3 个年产 10 万吨的水泥厂建立关系；赴徐州地区的贾旺、铜山水泥厂及山东等地组织货源；与睢宁县建材公司建立长期的水泥联营业务关系。至 1988 年，物资部门供应水泥 17.66 万吨。同年 11 月，县散装水泥办公室成立，购“东风”散装水泥专用车 1 辆，建散装水泥流动筒库 20 个。以县建材厂、璜泾水泥厂为试点，在全县推广散装水泥。1989 年，完成 7000 吨推广任务，受到苏州市物资局的表彰。90 年代，市场放开，用户直接自行采购，各水泥厂自产自销，外地水泥挤占市场，物资部门销售量从 1992 年的 6.48 万吨降至 1997 年的 2.06 万吨。1998 年建材公司退出水泥市场。2005 年，全年生产水泥 143 万吨，其中散装水泥 8.84 万吨。另有外地水泥厂驻太仓办事处 1 家，个体水泥销售部 7 家。

【金属材料】

80 年代，全县固定资产投资规模逐年扩大，乡镇工业日益发展，地产机械及农机产品数量增加，钢材、生铁及铜、铝、锌、铅等金属材料用量大增。1986 年年

初统计,全县缺口钢材4万吨、生铁8000吨。国家计划内分配数仅占全县需求量的3%～4%,且逐年减少。全年采购计划外钢材1.99万吨、生铁3129吨,供应钢材2.01万吨、生铁4148吨、有色金属1728吨。实行合同供货有25家企业。1988年,对全县227家乡镇骨干企业采取合同供货方式,将计划外物资纳入指导性计划供应。供应钢材4.42万吨、生铁3620吨、有色金属3913吨。合同供货企业增至210家,全年合同成交额1.09亿元,兑现率78.9%。1989年,签订合同167份,其中钢材1.2万吨、生铁2002吨、金属拉丝490吨、矽钢片2030吨、有色金属2486吨。90年代起,市场逐步开放,工业、商业、外贸、经委等部门的供销机构及乡镇和三资企业的供销机构均经营金属材料。1990年,县金属材料公司采取直拨直运、配套供应、送货上门、增设网点等形式,保持销售量。至1993年,销售钢材41.5万吨、有色金属14126吨。年均分别10.38万吨、3531.5吨。1994年,取消计划分配。同年起,钢材销量逐年减少,有色金属跌幅更大。至1997年,总计销售钢材33.69万吨,年均8.42万吨。1999年,机构调整,公司转制后逐渐退出市场。2000年后,市场开放,金属材料经营部门逐渐增多,既有私营企业,又有个体户。2005年年末,经核准经营金属材料的单位有72家,其中私营企业66家,个体户6家,注册资本在1000万元以上的有7家。规模较大的企业有太仓荣华金属材料有限公司、苏州源盛金属材料有限公司、苏州公诚金属材料有限公司、太仓市南仓金属材料有限公司等。全市生产铜材2.57万吨、铝材733吨、铝合金2.71万吨。

【化工原料】

80年代,全县化工行业迅速发展,特别是乡镇小化工企业更似雨后春笋。化工原料的需求量逐年增加,品种越来越多。国家统配化工原料仅硫酸、烧碱、纯碱等,数量和品种远满足不了需求,全县年均缺口1.2万吨。县化工轻工公司(简称化轻公司)分别与扬子乙烯厂、金陵石化总厂、高桥化工厂、金山石化总厂等大型化工企业建立稳固关系。采购的化工化纤原料除满足境内生产所需外,其余销往外地市场。物资系统的生产资料服务公司、机电设备公司、燃料公司、建材公司等企业利用各自关系交叉经营化工化纤原料,形成了一业为主、多种经营的格局。1988年,全县需求化工原料25130吨、化纤原料5233吨,物资部门购进13241吨,占需求量的43.61%。1989年,计划外采购的化工化纤原料纳入指导性计划,采取合同供货,签订合同167份,其中丙烯腈－丁二烯－苯乙烯共聚物(简称ABS)塑

料粒子 500 吨、尿素 500 吨、三酸二碱 4124 吨，其他化工原料 1958 吨，合同兑现率 78.9%。1990 年，化轻公司从金山石化总厂和扬子乙烯厂等资源基地购进化纤原料 2134 吨，比上年增长 7 倍。1991 年，生产资料服务公司购进聚乙烯、晴纶短纤、涤纶纤维、塑料粒子等化工化纤原料 703 吨，建材公司采购化工化纤原料 648 吨。1994 年，化工化纤原料销售回升，化轻公司从上海宝钢化学工业供销公司购进工业萘、纯苯、软沥清等化工产品 2010 吨，完成销售额 805 万元，毛利 40 万元。物资系统全年销售量 5.32 万吨。1995 年，工厂自行采购原料，经营单位各显神通，纷纷挤占市场，物资系统销售下滑，全年仅销售 1.14 万吨。1997 年，生产资料服务公司以金山石化股份有限公司太仓直销部的身份，代理销售晴纶短纤 2400 吨、棉纱 200 吨。1998 年，化轻公司、生产资料服务公司相继歇业解体。2000 年后，化工原料经营单位遍布全市各乡镇，至 2005 年年末，全市共有 221 家。

1986～1997年太仓市(县)物资系统化工化纤原料销售情况表

表 165

年　份	销售量(吨)	年　份	销售量(吨)
1986	2200	1992	28100
1987	6711	1993	42670
1988	2895	1994	53200
1989	13241	1995	11377
1990	14083	1996	8300
1991	18030	1997	3098

注：1997 年为上半年销售量

【机电设备】

80 年代，市场放开，由县计委或物资局批条供应的电动机、电线电缆等紧张商品和定量供应的电焊条及以旧换新的热门轴承等二类三类机电产品，货源充沛，敞开供应。为稳住市场，保持份额，县机电公司以 22 家基层供销社和农机供应站为供应网络，与 11 家乡镇工业公司、经营部实行物商联营。1986 年，召开乡镇企业物资调剂会，对创优、创汇等重点企业优先供应、主动让利。全年销售额 1219 万元。1987 年，购进黑色金属 1050 吨、有色金属 945 吨、煤炭 14000 吨、木材 2100 立方米；销售各类汽车 362 辆。全年销售额 2360.8 万元。1989 年，物资部门将计

划外物资纳入指导性计划供应,采取合同供货,签订合同167份,其中机电产品有机床、电动葫芦、轴承、电线、电动机、电焊条、电器、工具等共4.3万台(套)。1991年,机电公司为全县25家电机企业及时供应配套水泵机械1100台、配套轴承11万套、电磁线20吨。1992年,销售汽车880辆。1994年,实行送货上门,全年销售额1520万元。1995年起,汽车销售量开始逐年减少,至1997年仅销售799辆。同期二类三类机电产品销售也逐年下降。1999年,机电公司解体。2005年,全市有机电产品经营单位140家,其中个体户81家、私营企业59家,分布在五洋商城中25家、郑和路上37家、各乡镇49家、其他29家。注册资金350万元的1家、300万元的2家、100万元的5家、50万元的36家。主要经营小电机、电线、工具、量具、刃具、小五金等二类三类机电产品。

【废旧物资回收】

1985年4月,县政府下发文件,明确物资部门负责回收工厂、企业废钢铁,供销社负责回收社会零星废钢铁和其他废旧物资,其他单位和个人不能擅自回收。

物资系统　1986年,工厂、企业废钢铁由县金属材料公司下属金属回收公司负责回收。全年回收废钢铁5000吨,并铁打包后送交无锡钢厂4365吨,返还钢材1062吨。1987年,废钢市场开放,工厂、企业直接把废钢交给钢厂加工钢材后再返回,金属回收公司回收难度增加。全年完成830万元回收销售业务,创利20万元。1988年,金属回收公司从县金属材料公司划出,1989年更名为县物资再生利用公司,下辖6家并铁厂,形成“废钢回收—并铁压块—钢厂加工—钢材供应”一条龙服务。1992年,物资再生利用公司回收废钢铁1.35万吨,其中4000吨由公司自办的金属回收加工厂加工。创产值300万元,净利润20万元。之后废钢铁回收市场逐步放开,物资再生利用公司不再以回收废钢铁为主业,开展综合经营,回收量逐年减少。1999年9月,与市物资回收利用总公司合并,整体转制改称太仓市富盛物资再生利用有限公司。至2005年年末,全市经核准的废旧物资回收单位有83家。

供销合作社系统　1986年,县供销社下属土产废品公司负责全县社会零星废旧物资回收业务,与各基层供销社的废品收购站、农村代购代销店和有证个体收购户形成废旧物资回收网络。全年全系统回收废旧物资8700吨,总值247万元,销售总额344.37万元。1987年,土产废品公司分家,成立县物资回收利用公司,专

业从事废旧物资回收利用业务。1988 年 7 月 6 日，全县开展突击回收月活动。全年废旧物资回收总量 1.67 万吨，总值 1332 万元，销售总额 1520.48 万元。1990 年，供销社共有废旧物资回收网点 40 家，其中县公司 1 家、基层供销社 25 家、集体商业 1 家、城厢镇居委会收购站 13 家，从业人员 278 人。全年废旧物资回收总量 2.35 万吨，总值 1369 万元，销售总额 1624.7 万元。1991 年起，废旧物资回收市场逐步开放，收购难度较大，回收量时高时低。1995 年回收废钢铁 5669 吨，1997 年回收废钢铁 3.32 万吨。至 1998 年废旧物资回收总值 2.19 亿元。1999 年 9 月，与市物资再生利用公司合并。

生活资料

【食品、糖酒】

80 年代起，太仓食品类品种逐年增多，消费量不断上升。特别是糕点、饼干、冷饮、饮料、糖果、休闲食品、调味品、方便食品等，档次升高，包装精良，逐步向中、高档营养食品方向发展。酒类品种多、档次高，消费发生变化，低档高度白酒、土黄酒、甜水酒、汽酒、散装啤酒逐渐被淘汰，“今世缘”等中高档低度白酒，“水香国色”等瓶装黄酒和“张裕”“长城”等葡萄酒畅销。群众办婚丧喜事酒席增多，用量激增，销售上升。

1986 年，糖烟酒总公司食品、糖酒销售额 1424 万元。1993 年升至 10282 万元。1997 年销售额降至 5433 万元，其中销售食糖 1607 吨，销售酒 2220 吨。由于连年亏损，债务累累，1998 年，糖烟酒总公司被台资企业仓庆金属制品有限公司收购，成立民营太仓联庆糖烟酒有限公司。之后，食品、糖酒市场发生变化，厂商直销，联华、时代等超市陆续开设，小食品商店遍地开花，市场竞争激烈，太仓联庆糖酒烟有限公司销售量急剧下降，至 2000 年，无力经营而倒闭。2005 年，市区共有私营个体户 91 家。

1986 ～ 1998 年太仓市（县）商业系统食品、糖酒销售情况表

表 166

年份	食品、糖酒销售额(万元)	食糖(吨)	酒(吨)
1986	1424	2321	9471

续表 166

年份	食品、糖酒销售额(万元)	食糖(吨)	酒(吨)
1987	1803	3388	10999
1988	—	3435	9978
1989	2655	2792	9849
1990	9280	2347	8257
1991	4809	2457	7404
1992	6315	2849	6523
1993	10282	6678	5864
1994	9814	3256	5334
1996	13679	6317	5490
1997	5433	1607	2220
1998	8867	507	3996

注：1995 年资料缺失

【日用百货】

1986 年，县百货公司主营日用百货批发业务，城区有新城商场、南阳百货大楼零售供应。全年日用百货销售额 1128 万元，其中销售缝纫机 2528 部，手表 23239 块。随着生活水平提高，自制服装减少，市场上一度紧俏的民用缝纫机销量下滑，逐步趋向淘汰。手表销量急剧下降。至 1990 年，分别降至 727 部、11161 块。同期，液化气普及，铝制品销量不断增加，塑料制品销量稳步上升，搪瓷制品用量逐步减少，橡胶制品趋向淘汰。进入 90 年代后，美容、美发、护肤、修眉、修指行业发展较快，属于时兴商品的化妆用品品种多、档次高，市场逐年走俏，销售量迅速上升。至 1998 年，化妆品销售额 1264 万元，比 1986 年的 105 万元增长 11.04 倍。2002 年 12 月，百货总公司因批发业务日益萎缩，转制合并为太仓市新城商贸有限公司，专营零售业务，并扩大化妆品经营范围，提高档次，增加了欧珀莱、玉兰油、欧莱雅、美宝莲等品牌商品。

1986～1998年太仓市(县)商业系统日用百货销售情况表

表 167

年份	日用百货销售额(万元)	手表(块)	缝纫机(部)
1986	1128	23239	2528

续表 167

年份	日用百货销售额（万元）	手表（块）	缝纫机（部）
1987	1363	13409	2938
1988	—	23297	1234
1989	1611	15589	595
1990	1525	11161	727
1991	1916	12113	802
1992	2446	15214	1143
1993	8522	9605	613
1994	13383	19100	1253
1996	3340	1543	1465
1997	5771	7100	359
1998	3423	943	296

注：1995 年资料缺失

【纺织品、服装、鞋帽】

1986 年，纺织品、服装由县百货公司内设的纺织品、服装两家批发部经营，鞋帽由百货批发部经营，同年 4 月，两家批发部析出，组建县纺织品公司，内设针织品、纺织品、服装 3 家批发部。随着社会进步，市场消费发生变化。服装不断更新换代，款式新、品种多、规格全、选购方便，市场上成衣服装走俏，纺织面料难销，成衣服装逐步取代面料。同时，鞋类需求起变化，旅游休闲鞋取代胶鞋，皮鞋取代布鞋，从城市普及到农村，销售红火。1989 年，销售服装 5.54 万件，皮鞋 4.56 万双。90 年代起，由于私营、个体服装店和鞋店兴起，市场竞争激烈，至 1998 年，国有商业的批发业务名存实亡。2002 年，百货、纺织品两家公司合并为新城商厦，同年 12 月，转制为太仓市新城商贸有限公司，专营零售业务，服装、皮鞋分品牌设立专柜。华联商厦和新世界百货也扩大服装、皮鞋品牌经营。3 家商场经营的品牌服装有卡奴迪路、慕托丽、BOSS、鳄鱼、名师路、扣扣、利郎、班尼路、佐丹奴、波司登等 20 余种。皮鞋有金利来、梦特娇、鳄鱼、喜来登等 10 余种。2005 年，14 个主要品牌服装销售 1310 万元，6 个主要品牌皮鞋销售 573 万元。形成大商场以经营品牌中高档商品为主，私营、个体户以经营低档和少量中档商品为主的市场经营格局。

1986 ～ 1998 年太仓市(县)商业系统纺织品、服装、鞋类销售情况表

表 168

年份	纺织服装鞋帽销售额(万元)	服装销售量(万件)	皮鞋销售量(万双)
1986	4386	2.52	2.84
1987	5924	3.96	3.76
1988	—	4.38	4.75
1989	4147	5.54	4.56
1990	6821	4.93	4.21
1991	5176	8.31	4.54
1992	6605	12.62	8.77
1993	11352	20.43	14.93
1994	8325	15.62	9.81
1996	8137	18.44	11.60
1997	6614	14.78	8.11
1998	4026	25.12	4.78

注:1995 年资料缺失

【五金、交电】

1986 年,五金、交电由县五化交公司主营批发,南阳五化交公司和民营企业、个体私营企业多渠道交叉经营。五金类品种小而多,有五金工具、铁丝、圆钉、小绞链、小门锁等小型商品。全年销售额 678 万元。之后,房地产市场升温,品种新、档次高的五金材料需求量逐年增大。1993 年,销售额 2949 万元,比 1986 年增长 334.96%。电器类大多数属大件商品,市场变化更大。工厂、办公楼、居民住宅楼迅速扩建,现代化灯具及电冰箱、空调、大中型彩色电视机等家用电器需求量激增,而灯泡、灯管销量减少,电风扇销量略有下降。音响产品逐渐进入公共娱乐场所和居民家庭,黑白电视机被逐步淘汰,彩色电视机销量猛增。1994 年销售 50015 台,比 1986 年增长 28.65 倍。摩托车销量猛增,1996 年销售 34247 辆,比 1988 年增长 348.46 倍。自行车销量大幅下降, 2000 年下降至 713 辆,占 1986 年的 1.6%。2001 年,五化交总公司批发业务基本停止。2002 年 6 月转制合并为华联商厦,继续经营零售业务。此后,五星、永乐和苏宁等家用电器大卖场相继落户太仓,家电经销转为以大卖场为主,综合商场为辅的营销格局,并且价格透明,竞争激

烈。2004 年 3 月，位于新华西路与武陵街交汇处的五星电器太仓大卖场正式开业，经营面积 3900 平方米，从业人员 180 人，专业从事家用电器经营。2005 年 9 月，在沙溪镇白云路开设第二家卖场“五星电器太仓沙溪卖场”，经营面积 1900 平方米。全年境内销售额为 1.2 亿元。

2004 年 3 月开业的五星电器太仓卖场

1986 ～ 2000 年太仓市（县）商业系统五金、交电销售情况表

表 169

年份	五金交电销售额（万元）	自行车（辆）	彩色电视机（台）	黑白电视机（台）	洗衣机（台）	电冰箱（台）	摩托车（辆）
1986	3609	44519	1687	11465	6027	723	—
1987	6629	33886	8567	18983	9350	1949	—
1988	—	18584	26726	14125	10655	8381	98
1989	7387	16161	5022	9166	4635	4058	163
1990	6814	18724	6524	3047	4740	2434	132
1991	12043	9428	16437	10537	3091	1272	112
1992	17608	8434	15795	507	2957	1914	1391
1993	44136	13618	37904	512	2993	3893	5555
1994	10845	21757	50015	1638	5167	6949	9943
1996	19045	15611	17394	227	5942	7478	34247
1997	31326	13658	7937	56	5364	3792	26507
1998	15224	9741	4250	57	5226	2293	13468
1999	7292	2102	5616	—	2944	3167	9725
2000	5932	713	4405	—	1338	1241	4874

注：1995 年资料缺失

【计算机及其他自动化办公设备】

1991 年,新城商场和县科委联营建立太仓县电脑公司,销售对象是金融、保险系统和部分学校,销售量不大。1994 年,部分机关、企事业单位开始应用电脑,并逐步进入家庭。1998 年,太仓市电脑公司更名为太仓新城电脑公司。同年 5 月,改制为新城电脑有限公司,迁入城厢镇武陵街 59 ～ 61 号。拥有营业场所 500 平方米,从业人员 41 人,主要经营电脑软硬件、计算机外围设备及耗材办公设备、通讯器材等,并提供信息网络工程服务。之后,计算机用量逐年扩大,至 2005 年年末,有神舟电脑、长城电脑、中浏电脑、美丽华现代办公用品等经营电脑及自动化办公设备的 31 家企业落户武陵街,占全街 95 家商铺的 32.63%,形成“电脑一条街”。各家店铺主要经营计算机、传真机、打印机、复印机、考勤机、门禁机、一体机、投影机、扫描仪、导航仪、网络设备、通讯器材等,并为客户提供软件开发和信息网络工程服务。

【汽　车】

1986 年,全县拥有客车、货车 1882 辆,其中大小客车 781 辆。汽车属国家统配商品,由省工商局批准的太仓机电设备公司独家经销,全年销售汽车(主要是货车) 133 辆,1987 年增至 362 辆,1988 年增至 523 辆。90 年代,汽车市场开放,经销单位日益增多。除太仓机电设备公司,生产资料服务公司也获准经销汽车。1996 年,全县拥有大小客车 2841 辆,比 1986 年增加 2060 辆。2001 年,升至 5674 辆。同年 7 月,太仓华东汽车工贸有限公司成立,占地面积 15000 平方米,展厅面积 3000 平方米,注册资金 1200 万元。2002 年,该公司获小轿车经营权,是东风标致汽车、东风雪铁龙汽车、厦门金龙汽车、奇瑞汽车在太仓的一级经销商。同年末,全市拥有大小客车 16863 辆,其中私人轿车 7878 辆,占 46.7%。此后,私人小轿车销售日益火爆,且档次越来越高,不乏丰田、凌志、本田、奥迪、雪铁龙、别克、标致等世界品牌。2003 年、2004 年,私人轿车分别为 12547 辆和 17150 辆,

2001 年 7 月成立的太仓华东汽贸有限公司

2005 年增至 18562 辆，平均每 100 户拥有 9 辆。年末，全市有汽车经销单位 37 家，规模较大的有太仓华东汽车工贸有限公司、上海大众汽车太仓销售服务有限公司、苏州市鸿鑫汽车工贸有限公司、太仓市永达汽车销售有限公司、太仓市华骏汽车销售服务有限公司、太仓市生资汽车贸易有限公司等。其中太仓华东汽车工贸有限公司成立太仓华苏通用别克 4S 店。

【文化体育用品】

1986 年，文化体育用品销售额为 245 万元，1993 年增至 2840 万元，增长 10.59 倍。1998 年 8 月，南阳商业总公司所属百货商场将二楼文具用品业务划出，改制建立太仓市佩佩文化用品有限公司，后更名为江苏佩佩文具连锁超市有限公司。1999 年起，国有商业退出文化体育用品市场。江苏佩佩文具连锁超市有限公司建立以苏州地区为核心，覆盖江苏全省，拥有 53 家文具超市的连锁经营网络，至 2005 年年末，境内有营业面积 1023 平方米，从业人员 215 人，年销售总额 3218 万元。

1986～1998年太仓市（县）商业系统文化体育用品销售情况表

表 170

年份	销售额（万元）	年份	销售额（万元）
1986	245	1993	2840
1987	281	1994	2462
1989	348	1996	2469
1990	355	1997	2091
1991	746	1998	1169
1992	1741		

注：1988 年、1995 年资料缺失

【珠宝饰品】

80 年代，中国工商银行太仓县支行（简称工行太仓支行）经中国人民银行太仓县支行批准，在工行太仓支行北侧开设第一家银鹰金店，销售戒指、项链等金银首饰。1992 年 10 月，恒发珠宝首饰有限公司设立，经营品种有黄金、铂金、钻石、红蓝宝石、翡翠饰品等。1995 年后，新世界百货、新城商厦、华联商厦相继在各自商场内开设珠宝饰品专柜，经营上海老凤祥、亚一、嘉华、周大福等名牌商品。

1996 年,3 家商厦专柜销售额 995 万元。2001 年,因银行不能经营金银首饰,银鹰金店停业。2005 年,3 家商厦黄金珠宝饰品销售额 2138 万元。恒发珠宝首饰有限公司在城厢镇和沙溪镇分别开设恒发金行和万宝银楼 2 家分店,全年销售额 901 万元。经营品种全,并提供代客设计、镶嵌饰品、加工修理、以旧换新、免费清洗等业务。

【药　品】

1986 年,境内有中、西药批发部 2 家,零售药店 29 家,分布在全县各集镇,经营化学原料药、化学药制剂、抗生素、生化药品、生物制品、诊断药品、二类精神药品、中药材、中成药、中药饮片等。中、西药批发部主要供应对象为全县各医疗机构和基层药店。全年药品销售额 771 万元。90 年代,药品销售量逐渐增加。1994 年,药品销售额 5241 万元,比 1986 年增长 579.77%。随后,医药市场逐步放开,工厂开始自销、医疗单位自行采购、医院自制药剂逐渐增多,医药公司批发量逐年下降,2000 年,销售额降至 2703 万元。2001 年,药品零售市场开放,私营个体药店迅速增加。同年 6 月,太仓市医药公司转制更名为太仓市天盛医药有限公司,由贸易局控股。2003 年 9 月,第二次改制后,下属 29 家药店部分撤并,由 19 位股东吸纳。2005 年年末,全市批准的私营个体药店 89 家,遍及城乡集镇。

1986～2005年太仓市(县)医药公司药品销售情况表

表 171

年份	销售额(万元)	年份	销售额(万元)
1986	771	1996	2676
1987	1307	1997	2737
1988	1813	1998	2641
1989	2302	1999	2584
1990	2746	2000	2703
1991	2705	2001	2284
1992	2799	2002	1746
1993	3357	2003	1229
1994	5241	2004	855
1995	3395	2005	577

1986～2005年太仓市(县)西药主要品种销售情况表

表 172

年份	青霉素针80万(瓶)	麦迪霉素丸(瓶)	先锋4号(瓶)	洁霉素丸(盒)	磺胺二甲嘧啶(瓶)	氟哌酸片(瓶)	小诺霉素(盒)	洁霉素针(盒)	庆大针(盒)	丁胺卡那(瓶)	香型灭虫灵(瓶)	风油精(瓶)
1986	372000	15600	9800	4800	18000	—	—	4900	50000	—	11000	96000
1987	346800	18000	18000	5320	23000	—	—	5200	52000	3000	10000	100000
1988	368000	20024	21736	6617	27098	2000	—	6225	45000	4000	8000	120000
1989	545496	9954	140750	9954	22154	25000	400	18203	36414	5880	5720	95800
1990	527368	18726	16585	9572	23918	66666	4053	12907	40559	5545	6580	110000
1991	533868	19718	18585	10573	25118	75655	5000	15003	48569	5846	7180	130000
1992	523888	18728	19563	11573	24227	76655	5100	14893	49558	5746	8000	135000
1993	490000	19700	19500	12580	25228	75500	5200	15885	50000	5800	7300	140000
1994	498000	19600	18900	13620	26233	69450	4918	15286	50100	5700	7800	136200
1995	533266	20000	19000	12880	25116	68455	4816	14960	49888	5600	7500	127000
1996	523333	19816	18000	13800	24116	69000	4900	15000	49600	5860	7700	136000

续表 172

年份	青霉素针80万(瓶)	麦迪霉素丸(瓶)	先锋4号(瓶)	洁霉素丸(盒)	磺胺二甲嘧啶(瓶)	氟哌酸片(瓶)	小诺霉素(盒)	洁霉素针(盒)	庆大针(盒)	丁胺卡那(瓶)	香型灭虫灵(瓶)	风油精(瓶)
1997	538000	19600	19200	13580	25206	70800	4800	15100	48900	5780	7600	132000
1998	549000	18900	19100	13000	25000	70500	4608	15300	49500	5870	7900	129000
1999	518650	17800	18876	12800	25000	71400	4500	149000	48600	5760	7800	128000
2000	489000	17500	17860	10800	24500	70000	4500	146000	47500	5850	7500	11800
2001	450000	16500	17960	12800	25300	72000	4400	13900	46560	5690	7300	12300
2002	323000	13400	12850	12000	20310	68000	31000	12000	40100	5080	7000	10000
2003	62000	1200	6600	8000	6000	25000	12000	3000	21000	2830	1900	1800
2004	2800	1800	2000	3000	2000	1000	—	—	600	850	—	500
2005	1600	680	1800	1000	900	800	—	—	200	—	—	400

【中草药】

1986 年，收购中草药 5.43 万千克。1990 年，收购 5.4 万千克。1991 年后，中草药种植越来越少，加之苏州二级站和药厂因成本问题停止收购，境内中草药种植逐步消失，市场销售的中药材主要从外地购入。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）医药公司主要中药材销售情况表

表 173　　单位：千克

年份	人参	三七	白芍	白术	生熟地	党参	黄芪	当归	川贝	象贝	茯苓
1986	464	93	2473	3322	1988	1822	1670	2198	368	599	2898
1987	652	19	2587	2544	1000	1754	1032	1234	128	463	690
1988	612	44	2713	1963	2324	1448	2046	3843	62	366	3733
1989	448	23	1738	1893	4599	2885	2769	898	24	257	3261
1990	399	814	1295	2708	3343	3919	4092	1399	367	157	3107
1991	385	56	1360	2905	3840	3600	4500	1230	37	280	3050
1992	402	39	1500	3100	2955	3140	3870	1460	25	235	3400
1993	430	42	1780	3200	3400	3550	4200	1660	42	310	3180
1994	395	36	1520	3540	3700	3170	3980	1730	36	370	3600
1995	429	53	1800	3820	4000	3625	4130	1820	50	430	3580
1996	450	50	1940	3980	3750	3800	4340	1690	41	475	3785
1997	560	46	2174	3670	4240	4330	4250	1920	36	512	4010
1998	535	43	2260	3800	3920	4050	4070	1935	48	509	3875
1999	465	56	1930	3540	3670	3760	3880	1700	39	402	3530
2000	390	43	1770	3220	3100	3370	3270	1550	28	320	3008
2001	320	29	1540	2980	2650	2870	3120	1460	25	380	2600
2002	300	26	1470	2650	2200	2530	2760	1170	23	301	2090
2003	270	18	1030	2170	1580	1790	2320	980	17	245	1520
2004	180	12	866	1600	1230	1450	1910	740	13	195	1100
2005	70	10	515	817	745	830	1120	380	8	106	650

【果　品】

果品有水果和干果两大类。太仓种植较多的水果有西瓜、香瓜、桃子、梨、橘子、葡萄，还有少量的梅、李、杏、柿、枇杷、甘蔗、苹果等品种。80 年代初期，地产水

果均由县果品公司负责收购。红枣、黑枣、饼、核桃、核桃仁、杏仁等干果，由供销、商业部门向外组织采购，供应本地市场。之后，购销渠道发生变化，无论集体和家庭生产的果品，均自行上市销售，供销、商业部门购销的大多是外来果品。90年代中期开始至2005年，各种干果品由各副食品商场、大卖场、超市自行采购销售。

粮油棉购销

【粮油购销网点】

1986年，县粮食局下设23个粮管所、1个局直属库和饲料、粮油议购议销、粮油食品工业、粮食物资供销4个专业公司。23个粮管所辖30个粮油供应站、24个粮油收购站、7个粮油购销站、5个粮油议价站和3个其他机构。全县粮油购销职工691人。1992年，粮油供应站增至46个，收购站增至31个，增加8个粮油食品店、9个粮油食品加工生产单位及其他多种经营机构。粮油购销职工增至1301人。2001年，随着乡镇行政机构合并和国有粮食购销企业改革，粮管所调整为18个，供应站减为17个，收购站减为24个。粮管所人员中的农民工、临时工、费用工全部清退，城镇居民合同工中436人置换身份，粮油购销职工减至281人。同年，出售和公开拍卖66宗粮店、食品加工及其他场所，出让土地9.24万平方米，成为粮食史上突出的调整时期。粮食企业改革后，粮油供应由计划经济时期国企独家经营转变为多种所有制成分共同参与竞争。2005年，全市有231家粮油销售企业和1个专业批发市场，网点遍布全市各乡镇，其中国有独资有限责任公司1家，民资入股的有限责任公司67家，个体私营门店163家。供应对象包括20万名城镇居民、25万名流动人口及饮食和食品加工企业。

【粮油收购】

1985年起，粮油收购由“合同定购”取代执行了32年的统购政策。1986年，全县合同定购粮任务为5000万千克、油菜籽550万千克。合同定购粮价格执行比例价结算。粳稻谷按“倒二八”计价(20%按统购价计价、80%按超售价计价)，红小麦按“倒四六”计价(40%按统购价计价、60%按超售价计价)。超过合同定购任务的按超售价(议购价)结算，采取“一次入库，二次结算”的办法。1987年，粮油收购执行“三挂钩”政策，即每完成50千克原粮奖售标准化肥2.5千克、柴油0.58

千克；每超出 50 千克原粮再奖售标准化肥 2.5 千克；每完成 50 千克油菜籽奖售氮肥 5 千克、磷肥 2.5 千克。超出定购计划任务的实行议价收购。1988 年起，粮油购销实行调包干，苏州市政府核定太仓县粮油购销调包干收购任务为粮食 5750 万千克、油菜籽 550 万千克。1989 年，增加知青上调和 60 年代下放人员用粮 25 万千克。1991 年，粮食包干基数调减为 5685 万千克。

1993 年 4 月 1 日，全省粮食、油料收购价格放开，粮食定购任务由国家指令性计划改为指导性计划。同年，全市粮食定购指导性计划 4500 万千克，其中小麦 2000 万千克、稻谷 2500 万千克，逐级分解下达至 311 个村 3711 个组 9.28 万户农户。农户在种植上自主选择余地加大，粮油种植面积减少，加之多渠道收购，粮油收购入库量较上年明显减少，小麦减少 36%、稻谷减少 39%、油菜籽减少 55.5%，出现粮油产需矛盾突出的状况。1995 年，恢复国家粮食定购计划 5110 万千克、油菜籽 500 万千克，并恢复“三挂钩”政策。全年小麦入库数量比上年增长 67%、稻谷增长 30%、油菜籽增长 84%，议购粮入库 3739.6 万千克。1996 年，全市粮食生产持续丰收，入库粮油总量继续增加。庞大的入库量使得粮油销售市场呈现疲软现象，粮食、油脂库存积压增加，导致国有粮食购销企业财务挂账增多。1997 年，全市农村推行粮食生产规模经营，将 72% 的定购任务落实给种粮大户完成，28% 由其他一般农户完成，而议购粮的 80% 由一般农户完成，20% 由种粮大户完成。1998 年，按保护价敞开收购农民余粮，粮食收购资金封闭运行，全市粮食购销工作步入法制化、规范化的轨道。

2000 年，红小麦收购，采取市场化运作，退出保护价收购，价格随行就市。2001 年，贯彻国家“三放开”（放开粮油购销市场、放开粮油批发经营、放开到主产区批发经营）、“两建立”（建立完善的粮食储备体系、建立健全粮食风险基金）政策，全面实行粮食购销市场化，取消国家定购粮油任务，放开粮食收购价格。2002 年，夏秋两季收购前，均制定粮油收购指导性价格，供粮食收购企业参照执行。主要收购主体有国有粮食购销企业、民资入股的粮食购销企业、民营粮油饲料加工企业、集体或民营养殖企业、民营粮油贸易企业、个体商贩和其他涉粮企业。收购形式多样化，除仓库场头收购外，还有下乡收购，订单收购，基地收购和委托经纪人收购等。2005 年，粮食企业入库稻谷 2160 万千克，其中订单收购 370.5 万千克占 17.15%，委托经纪人收购 150 万千克占 6.94%，基地收购 737.5 万千克占 34.14%，其他收购 902 万千克占 41.76%。

1986 ～ 1999 年太仓市(县)粮油定购任务一览表

表 174　　单位：万千克

年份	粮食			油菜籽
	合计	小麦	稻谷	
1986	5000	3000	2000	550
1987	5000	2863	2137	620
1988	5000	2942	2058	595
1989	5025	2525	2500	450
1990	5025	2525	2500	360
1991	5948	3387	2561	475
1992	5941	3382	2559	475
1993	4500	2000	2500	—
1994	4250	1500	2750	750
1995	5110	2360	2750	500
1996	5110	2360	2750	500
1997	5110	2360	2750	500
1998	4810	2050	2760	500
1999	3600	1200	2400	—

【粮油供应】

凭证凭票定量供应　1986 年，居民粮油按定量供应，标准按 1955 年 8 月国务院制定的《城镇粮食定量供应暂行办法》执行。为方便居民购粮或出行，可凭供应证把定量计划兑换成粮票或购粮券和油券。粮票有全国通用粮票和省地方通用粮票。“油票”“太仓购粮券”和“太仓年度购粮券和油券”均为太仓县发行，仅在境内流通。各种粮票、购粮券和油券使用至 1993 年 3 月 31 日。

1992年太仓县城镇居民粮食定量供应情况表

表 175

项目	定量标准（千克／每人每月）	供应人数（人）	人均供应量（千克／每人每月）
定量合计	—	85600	13.1
重体力劳动者	22.5 ～ 27.5	1571	21.6

续表 182

项目	定量标准（千克／每人每月）	供应人数（人）	人均供应量（千克／每人每月）
一般体力	17.5 ～ 22	8189	16.2
轻体力	13 ～ 17	39344	13.3
职工	12 ～ 14.5	11718	13.1
退休干部职工	12 ～ 13	1626	13.0
大中学生	13 ～ 16.5	4390	15.5
居民	11 ～ 13	10833	12.0
6 ～ 10 周岁儿童	8 ～ 10.5	3233	10.0
3 ～ 6 周岁儿童	5.5 ～ 7.5	2509	6.5
3 周岁以下儿童	2.5 ～ 5	2067	3.5
其他	—	120	14.0

太仓县购粮券和油票

凭证限量顺价销售　1993 年 4 月 1 日起，停止使用各类计划票证，放开粮油市场，放开粮油供应价格，居民对此不太适应，供应秩序出现阶段性混乱。1995 年，为稳定市场，全市粮油供应调整为凭证限量顺价销售。采取“保一块”居民口粮供应，每人每月凭原购粮证限购主粮 12.5 千克、食油 0.25 千克，价格按国家限价销售；“放一块”粮油议价市场，尽量满足不同层次居民需求；“控一块”市场管理，控制原粮与成品粮外流。1996 年 1 月 1 日，停止印发“太仓市年度购粮券”。2001 年，粮油在市场自由买卖。2005 年，全市有粮油经营企业 68 家，个体私营门店 163 家。

1986～1998年太仓市(县)城镇居民粮食供应选年对比表

表 176

年份	统销人口(人)	粮食部门年供粮(吨)	每人月均(千克)	附注
1986	67418	12905	16.0	统购统销计划经济时期
1992	85600	30150	29.4	统销价格调整时期
1993	88900	10668	10.0	粮票粮券停止使用
1995	102917	28035	22.7	凭“年度购粮券”供应
1996	107465	19602	15.2	取消“年度购粮券”凭证限量供应
1998	115645	8188	5.9	实行政策性顺价销售

军粮供应 1986年,驻太仓部队有武警中队、消防中队和临时过境部队。粮食委托城厢粮管所各站负责供应,部队选择就近粮站使用专用军粮票平价购买。1993年5月,苏州市建立军粮供应站,各县市相应建立军粮代供点。太仓市由城厢镇粮管所单独划出第六粮站作为军粮代供点,地点设在向阳路太平北路口。后因驻太仓海警支队在浏河口有巡海任务,在浏河粮管所第二供应站设立军粮代供分点。2000年4月21日,城厢粮管所第六供应站单独划出,设立“太仓市向阳路军粮供应站”,凭军粮票平价供应米、面、油和杂粮,品种由部队自由选择。军粮票用途特殊,属无价证券,市场上不流通,不同年份使用不同版本。2005年,军粮供应站成为全市首批被授予合格“放心粮店”匾牌的窗口单位。

【粮油储备调运】

粮　仓 1986年,全县有粮食仓库147栋383仓,占地面积11.22万平方米,使用面积7.24万平方米,实际仓容量12.58万吨,其中质量完好的仓库占88%。全年入库地产粮10.77万吨,平议价省内外调入粮1.36万吨,另有大量饲料用粮调入,缺仓矛盾十分突出。1990年,13个粮管所共投资688万元,新建、翻建仓库74间,仓容4.59万吨,总仓容15.05万吨。其中大修、待报废仓占16.1%。1993年起,逐步筹资新建或翻建高规格、高储量房式仓。至1997年,全市有粮食仓库113栋322仓,使用面积7.78万平方米,仓容量14.53万吨,储粮能力大为改善。2000年6月,经江苏省批准,“太仓中央粮库”正式立项,在双凤镇征地2公顷,投资825万元,建1.5万吨级现代化粮库。2002年9月,验收交付使用。全市粮仓

总库容增至16.03万吨，基本解决储粮难和农民卖粮难问题。2003年，粮食部门把长期不储粮的老式仓库5.1万吨仓容出售或拍卖。至2005年年末，全市粮仓为122仓10.93万吨，其中存放粮食的仓容5.75万吨，出租或待报废的仓容5.18万吨。

1988年新毛粮站露天囤粮技术交流现场

储　油　1986年，采取地立式钢板储油罐储存油脂，全县23个粮管所有20个总容量395吨储油罐。1988年起，逐渐减少，至1997年，剩9个总容量180吨的储油罐。2005年，旧式储油罐全部弃用，由直立式钢板筒库取而代之，7个筒库储油总容量4300吨。

粮仓管理　1986年，根据商业部粮油仓储企业规范化管理要求，结合本地实际，全县认真贯彻“以防为主、综合防治”的保粮方针，集中建立“四无”（无害虫、无鼠雀、无霉变、无事故）粮仓，坚持“三低”（低温、低氧、低药）科学保管。露天屯储粮做到“三防一通”（防火、防霉、防鼠雀和通风降温）。至2005年，全市各个粮管所均为“四无”免检单位，其中沙溪、新毛、新塘3个粮管所被评定为省级“四无”免检单位。

储备粮管理　1990年，太仓开始建立储备粮，有国家专项储备、省专项储备和地方专项储备3种类型。1992年，增加“二〇三”“五〇六”储备粮，粮权分别归属相应各级政府，未经批准不准动用。至2005年，储备粮管理每年均做到“一符、三专、四落实”（账实相符，专仓储存、专人保管、专账记载，数量、质量、品质、地点落实）和“三账一卡符”（保管账、会计账、统计账、仓屯卡数据相符）。

1987年8月28日，联合国粮农组织的教授、专家、学者，在新毛仓库考察露天储粮技术及“四无”保粮措施

粮油调运 太仓主产的稻谷、小麦和油菜籽，用以本地居民消费，饲料用粮、副食品用粮和酿造业用粮均由外省市调入。粮油调运通过安亭、昆山、苏州白洋湾等火车站中转。中转粮油和境内粮油调运均由粮食部门运输队承担，运力紧张时，各粮管所和加工部门自找运力协助解决。1986 年，全县调入粮食 13587 吨，其中国家粮食 7400 吨，议价粮食 6187 吨；调出粮食 59704 吨，其中国家粮食 34660 吨，议价粮食 25044 吨。1993 年起，国家不再下达国家储备粮食调拨计划，原有储备粮分别于 1995 ～ 1998 年逐年调出。此后调运的粮食均为市场经营粮。

1986～2004年太仓市(县)粮食调运一览表

表 177　　单位：吨

年份	调入量					调出量				
	合计	国家粮食		议价粮食		合计	国家粮食		议价粮食	
		省外	省内	省外	省内		省外	省内	省外	省内
1986	13587	889	6511	1633	4554	59704	15089	19571	17411	7633
1987	28603	278	4853	11074	12398	68428	7962	36111	15614	8741
1988	37176	—	3758	9211	24207	64410	2228	33082	14437	14663
1989	56525	—	5448	29760	21317	88537	3036	37392	31264	16845
1990	20756	—	2895	12864	4997	70686	500	29076	37147	3963
1991	46412	12021	3867	21976	8548	83063	10500	26092	37733	8738
1992	66637	489	895	31002	34251	87217	—	20484	40374	26359
1993	71755	—	—	27317	44438	75888	—	—	17100	58788
1994	75287	—	—	20649	54638	75012	—	—	7153	67859
1995	63474	—	251	11186	52037	78468	—	7500	20272	50696
1996	48210	—	—	16500	31710	89119	—	7500	21701	59918
1997	73259	—	—	20518	52741	111397	—	6500	55948	48949
1998	60009	—	—	10610	49399	44110	—	2000	30844	11266
2000	27884	—	—	2772	25112	76917	—	—	39779	37138
2001	26604	—	—	14071	12533	50517	—	—	14803	35714
2002	12819	—	—	1181	11638	26015	—	—	6410	19605
2003	32676	—	—	18698	13978	49683	—	—	12741	36942
2004	43684	—	—	12347	31337	74132	—	—	12502	61630

注：1999 年资料缺失

【饲料经营】

1986 年起，政府开始重视养殖业，发展饲料业。1987 年 11 月 30 日，位于城厢镇西郊的太仓县饲料总厂建成投产，年生产能力 2 万吨，经营“生宝牌”配合饲料，分肉猪、肉鸡、蛋鸡、蛋鸭、肉鸭、鱼类、奶牛等七大系列。1989 年 2 月 19 日，县政府批准成立太仓县饲料总公司，下辖穗丰贸易公司、丰达物资公司、饲料总厂、饲料一厂、饲料二厂、饲料添加剂厂、种畜场、机械化养鸡场、肉禽加工厂、饲料供应站、兽药经营部、副食品门市部、粮食招待所等，集饲料经营、饲养、深加工、销售、服务于一体，成为全省粮食系统首家“一条龙”饲料经营企业。1992 年起，定购粮油调整购销价格，饲料用粮价格随之上升，饲料经营效益受到影响。1993 年，全面放开粮油市场，取消定购粮油计划，粮油商品及副产品全部纳入市场经济，国有饲料企业缺少政策性支持，经营效益下降。1994 年起，出现亏损。1996 年，饲料产量跌至 6936 吨，占最高年份 1989 年的 12.19%，亏损 334.69 万元。年末全市饲料企业停产歇业。

1986～1996年太仓市（县）饲料经营情况表

表 178

年份	加工生产量（吨）					销售情况（吨）			销售总额（万元）	经营利润（万元）
	合计	其中主要品种				合计	其中主要品种			
		猪饲	鸡饲	蛋鸡饲	蛋鸭饲		猪饲	鸡饲		
1986	31752	20119	8563	3070	—	40180	23007	17173	1382	68.81
1987	40867	20898	19322	155	—	62894	20528	18859	2721	59.93
1988	55176	33837	19966	565	427	57784	35594	21789	4279	70.84
1989	56918	48798	6576	1222	—	85086	49570	7537	6056	80.50
1990	50412	44591	3616	1401	—	49341	43638	4884	4834	89.65
1991	40844	33374	2342	1381	1890	40215	28338	1989	4912	84.96
1992	51598	32047	3730	1436	11060	51692	—	—	4946	33.19
1993	27522	14499	2967	108	8712	28881	—	—	4717	29.33
1994	19399	8002	1582	2094	6689	27115	—	—	2320	−2.08
1995	11683	5166	979	4951	—	—	—	—	3124	1.19
1996	6936	3018	1011	1844	—	—	—	—	—	−334.69

【粮油批发市场】

位于204国道西侧新浏河大桥西南堍,离太仓港码头15千米,水陆交通便捷。占地面积3.52公顷,总建筑面积5.68万平方米,总投资1.5亿元,2004年10月19日动工,年末一期工程建设结束。粮油批发市场有商铺3幢70间,建筑面积2880平方米;仓库4幢,建筑面积5280平方米,仓容量1.5万吨;码头岸线120米,河面宽阔,可停泊1000吨级运输船舶;办公和质检区建筑面积980平方米。2005年5月初,粮油批发市场开业,以批发为主,兼营零售,交易品种有大米、面粉、食用植物油、小麦、大豆及各类杂粮。至年末,共入驻个体经营户26家,交易量42666吨,其中大米6262吨、面粉8124吨、小麦13100吨、大豆2930吨、食用植物油2150吨、饲料10100吨。

【棉花收购】

1986年,境内棉花由供销合作社收购,共设收购站21家。全县棉花种植面积9766.67公顷,亩产皮棉61千克,总产皮棉8936吨,收购量8450吨。棉花收购的国家牌价为标准级(327)皮棉每50千克145.8元,棉农交售50千克皮棉,其中30千克按国家牌价收购,20千克按国家牌价加30%收购,平均加价17.15元,实际收购价为162.95元。棉花收购严格执行国家的“一试五定”(批批试轧定衣分,对照标准定品级,手扯尺量定长度,电测器定水份,手估目测定杂质)、“密码检验”和“留样复查”政策,提高检验定价的准确率。

1989年,棉花收购标准价调至每50千克205.8元,加上比例价,实际价格为236.42元。

1990年,棉花收购标准价再次调整为每50千克269.38元,加上比例价,实际价格为300元。全年收购皮棉8963吨,完成国家下达任务的119.51%。经县物价、纤检部门的重点检查,以及各乡镇政府、农业部门和棉农代表联合组成的检查组对留样棉的抽查表明,收购检验的准确率达先进水平。

1991年起,农村产业结构调整,棉花种植面积逐年减少,至1998年,种植面积减至4233公顷,亩产皮棉74千克,总收购量为4962吨,收购总额为6243万元。1999年起,棉花由供销社及棉花企业、农业部门所属的良种棉加工厂和国有农场、经资格认定的纺织企业共同收购,收购价格由市场形成。2005年,种植面积760公顷,亩产皮棉68千克,总产量776吨。

1986～2005年太仓市(县)棉花种植和收购统计表

表 179

年份	面积（公顷）	亩产皮棉（千克）	总产皮棉（吨）	收购量（吨）
1986	9766.67	61.00	8936	8450
1987	9066.67	55.64	7567	7180
1988	9033.33	68.02	9217	8768
1989	7040.00	66.24	6995	—
1990	7813.33	77.67	9103	8963
1991	7746.67	105.93	12309	12030
1992	7440.00	95.50	10658	10536
1993	6513.33	64.21	6273	5968
1994	6153.33	94.96	8765	8632
1995	6233.33	102.03	9540	9497
1996	5953.33	107.03	9558	9498
1997	4593.33	84.18	5800	5669
1998	4233.33	79.98	5079	4962
1999	2380.00	51.74	1847	—
2000	1413.33	63.21	1340	—
2001	1473.33	75.16	1661	—
2002	1066.67	77.38	1238	—
2003	951.00	75.01	1070	—
2004	907.00	81.44	1108	—
2005	760.00	68.07	776	—

专卖商品

【烟　草】

1984 年 8 月，江苏省太仓县烟草专卖局、江苏省烟草公司太仓县公司成立，实行两块牌子一套班子，对太仓卷烟市场实施专卖管理。

销售网络建设　1993 年起，对 36 家委托批发单位、14 家“墨妙亭”系列卷烟代理商、11 家玉溪卷烟特约经销店柜、5 家昆明卷烟专卖店柜及 13 家代理批发点

进行改革，至1997年，委托批发单位和代理商全部取消。设太仓市烟草公司卷烟批发部11家，后增至18家，为全市零售户提供送货服务。2001年，重组为理货、结算、访销3个中心和1个汽车服务队。购置依维科汽车13辆和销售点终端机（POS）23台，按照23条送货线路对4716家零售户进行全面访销和配送服务。同时投资50万元，改造计算机系统和开发软件，销售信息的采集、传输、交换、分析、调控均实现数字化和自动化管理。2003年5月，设客户呼叫中心，聘请电话订货员7名，开展电话访销。2005年，进一步规范管理，成立浏河、沙溪和市区服务部，为全市卷烟零售户服务，税利均创历史新高，被苏州市政府授予纳税大户称号。

专卖监督管理　1984年，烟草专卖机构成立后，在公安、工商及技术监督等单位配合下，每年组织卷烟专卖督查，打击“假、私、非、超”，净化卷烟市场，保护合法经营。1996年，“烟草专卖法”颁布5周年，印发各种宣传材料1.1万份，悬挂宣传横幅171条，出动近1万人次，组织市场检查2320次。查处走私烟案件106起，没收走私烟6206件；查处假冒烟案件67起，收缴假冒烟8383件；罚没款1702万元。1986～2005年，累计查处各类卷烟32974件（每件1万支），罚没款总额4780万元。

卷烟销售　1986年，卷烟销售2.93万箱（每箱5万支），销售总额3238万元，税利总额78.24万元。此后，卷烟年销售量持续稳定，销售额与税利逐年递增。1999年起，配合烟厂相继进行“南京”“东渡”及“红杉树”卷烟的促销工作。2003年开始，推广电话订货、网上配货、电子结算等现代流通手段，提高市场控制力和运行质量。2005年，卷烟销售2.95万箱，销售总额44838万元，利税总额13303万元。1986～2005年累计销售卷烟59.37万箱，销售总额为379682万元，实现税利61747.08万元。

1986～2005年太仓市（县）烟草销售和案件查处一览表

表180

年份	卷烟销量（万箱）	销售额（万元）	实现税利（万元）			案件查处	
			总额	税	利润	查处卷烟（件）	罚没总额（万元）
1986	2.93	3238	78.24	14.36	63.88	—	—
1987	3.83	4059	100.18	19.84	80.34	—	—

续表 180

年份	卷烟销量（万箱）	销售额（万元）	实现税利(万元)			案件查处	
			总额	税	利润	查处卷烟（件）	罚没总额（万元）
1988	4.89	6040	152.47	31.36	121.11	—	—
1989	4.76	9203	285.74	51.19	234.55	254	31
1990	3.21	6943	186.00	55.86	130.14	44	14
1991	3.64	10485	237.40	76.72	160.68	1800	238
1992	3.10	13219	703.55	373.16	330.39	850	106
1993	2.75	16137	756.46	129.11	627.35	2572	371
1994	2.82	17853	889.04	251.32	637.72	295	343
1995	2.73	15591	1441.00	619.00	822.00	6626	276
1996	2.10	13914	1600.00	463.00	1137.00	14589	1702
1997	2.20	17005	1069.00	315.00	754.00	3844	859
1998	2.70	18000	1200.00	380.00	820.00	934	72
1999	2.10	19764	1871.00	480.00	1391.00	98	35
2000	2.30	28946	4201.00	965.00	3236.00	141	101
2001	2.30	27778	5561.00	1095.00	4466.00	147	14
2002	2.21	27365	6300.00	1169.00	5131.00	131	39
2003	2.69	33860	8607.00	1762.00	6845.00	189	25
2004	3.16	45444	13205.00	2252.00	10953.00	344	528
2005	2.95	44838	13303.00	2020.00	11283.00	116	26

【食　盐】

1983 年，中国盐业公司太仓支公司成立，负责境内食盐的专营管理及盐产品业务经营。1986 年，全县销售食盐 1415 吨，工业盐 3866 吨。1993 年，太仓市盐务管理局成立，作为法定授权组织，对全市盐业市场实施监督管理，打击食盐走私及以工业盐假冒食用盐销售现象，确保食盐安全。各乡镇陆续开设特许经销商 14 家，统一从事食盐转批和零售业务。对中心城区 64 个销售点采取直配直送方式，向全市食盐市场供应 500 克纸塑包装的加碘精制盐和加碘精制海盐。并通过设在太仓的工业盐周转库向各行各业专供食品加工用盐及工业用盐。1995 年 8 月起，将食盐全面进行加碘处理，至 1997 年年末，全市碘盐覆盖率和合格率均达到 98%。

1999 年，小包装销售下降，上海、安徽等地私盐、散装盐不断冲击太仓食盐市场，在苏州市盐业管理局组织下，开展“苏沪边界行动”“区域联合行动”和“秋季执法行动”，在乡镇聘请协管员，开展“联合执法行动”，对全市 18 个镇各批发点、零售店和部分用盐工厂进行检查，全年出动执法人员 903 人次，查获案件 89 起，查获私盐 170 吨，没收 148 吨，罚没款 11.53 万元。2000 年，食盐产品升级换代，陆续推出活性加钙盐、低钠健康盐、腌制盐、加锌盐、加硒盐等系列品种。2005 年，全市销售食盐 2476 吨，工业盐 9859 吨。查处私盐 68 吨。

1986～2005年太仓市(县)盐业销售和盐政管理一览表

表 181

年份	食盐(吨)	工业盐(吨)	案件查处(件)	查处私盐(吨)
1986	1415	3866	—	—
1987	2322	2902	—	—
1988	2823	3267	—	—
1989	2842	3665	—	—
1990	2748	2979	—	—
1991	2865	3418	—	—
1992	3168	3125	—	—
1993	4612	4582	6	41
1994	3963	5101	6	18
1995	3026	6462	1	33
1996	3159	7595	4	16
1997	2435	7898	1	98
1998	3728	5639	64	46
1999	2459	5104	89	148
2000	2577	5884	123	279
2001	2607	6459	86	38
2002	2183	7203	124	102
2003	2366	8097	181	244
2004	2428	10634	122	102
2005	2476	9859	120	68

副食品供应

【蔬　菜】

80 年代，太仓县蔬菜公司负责蔬菜市场供应。实行计划种植、统购包销。1986 年，全县商业系统销售蔬菜 595 吨，1988 年增至 935 吨。90 年代起，农民自产自销增多，个体经营户遍及城乡集镇，县蔬菜公司从主营蔬菜转向干菜、调味品和其他副食品，开设百惠超市。1991 年，全县蔬菜销售 605 吨，1992 年降至 410 吨。1993 年，县蔬菜公司退出蔬菜市场。1998 年，市场蔬菜销售额 1.96 亿元，2005 年增至 5.12 亿元。

【肉、禽、蛋】

1985 年 4 月，农副产品开始放开，生猪由国家统一经营转为多渠道经营，由派养派购转为自由交易，由国家统一定价转为议价成交。全年收购生猪 12 万头。1986 年，全年收购生猪 6.81 万头，比上年下降 76.21%。1988 年 1 月 1 日，国有、集体、个体生猪收购、鲜肉销售全面放开经营，价格随行就市。个体肉摊迅速发展，自收、自宰、自销十分活跃，打破了食品公司独家经营格局。1998 年市场肉、禽、蛋销售额 3.41 亿元。2003 年 7 月，食品公司转制成立太仓市食品有限公司，各镇食品站有 1 名人员参股公司作为留站管理员，负责接收生猪并集中送往定点屠宰场加工。2005 年 4 月，为确保食品安全，撤销 7 家定点屠宰场，建立城厢、沙溪 2 家机械化肉食加工厂，猪肉供应由太仓市食品有限公司集中配送，实行规模化、集约化经营。全年市场肉、禽、蛋销售额 9.25 亿元。

1986 ～ 1998 年太仓市（县）商业系统肉、禽、蛋销售情况表

表 182

年份	肉禽蛋销售额（万元）	生猪收购量（万头）	猪肉供应量（吨）	家禽供应量（万羽）	鲜蛋供应量（吨）
1986	2195	6.81	3987	66.85	12.0
1987	2360	5.54	2846	89.47	17.0
1988	2657	3.75	1903	69.97	34.3
1989	2677	2.24	1720	74.42	13.3

续表 182

年份	肉禽蛋销售额(万元)	生猪收购量(万头)	猪肉供应量(吨)	家禽供应量(万羽)	鲜蛋供应量(吨)
1990	3122	3.79	2544	43.27	60.7
1991	3721	3.02	2466	28.72	62.8
1992	4188	2.43	2681	25.46	34.2
1993	5676	1.80	2957	21.78	—
1994	5052	2.10	2533	20.30	—
1995	4304	2.83	1717	15.32	—
1996	4962	2.47	2686	11.95	—
1997	5709	2.58	2733	5.27	—
1998	5020	2.68	3035	4.73	—

【水产品】

1986 年，太仓县水产供销公司负责全县海、淡水产品购销。全年购销量 1.46 万吨。1992 年，创建江苏太仓海洋渔业有限公司，专业从事中高档东海野生海鲜鱼类的收购、加工和销售。该公司拥有容量 100 吨的速冻库和冷藏库，购销主要品种有黄鱼、鲳鱼、带鱼、鱿鱼、海鳗、银鱼、橡皮鱼、竹节虾、梭子蟹、海蛰头等。境内的淡水鱼类品种很多，较为著名的有“长江四鲜”：银鱼、刀鱼、鲫鱼、鲥鱼。2001 年，中华绒螯蟹规模养殖 2000 公顷，以浮桥镇为中心，分布于浏河、璜泾等沿江乡镇，蟹苗除自养外，大部分销往全国各养蟹地区。2005 年，全市市场水产品销售总额 9.67 亿元。

1986～1999年太仓市(县)水产供销总公司水产品购销量选年统计表

表 183

年份	购销量(吨)	年份	购销量(吨)
1986	14571.40	1996	5835.00
1990	4359.49	1997	6373.00
1991	6913.63	1998	3642.00
1993	4034.50	1999	330.00
1994	3810.30	—	—

1993～2005年太仓市市场水产品销售额统计表

表 184

年份	销售额(亿元)	年份	销售额(亿元)
1993	1.35	2000	3.68
1994	1.63	2001	3.67
1995	1.81	2002	3.93
1996	2.32	2003	5.34
1997	2.07	2004	8.23
1998	2.49	2005	9.67
1999	3.68	—	—

社会服务业

【餐　饮】

1986 年，境内只有为数不多的小型中餐馆，略具规模的为国有迎宾饭店。90 年代，经济发展，流动人口增加，饭店逐渐增多，后期快餐业兴起。2000 年后，餐饮业更趋兴旺，店面逐渐高档化，讲究装潢，服务周到。菜式也从单一的本帮系变为多元化，川式火锅等深受欢迎，季节性的盱眙龙虾、阳澄湖大闸蟹以及本地的长江刀鱼倍受推崇，兰州拉面、云南过桥米线等小吃也有市场。肯德基、西式茶点、西餐等受到消费者青睐。2003 年，全市餐饮业消费总额 63378 万元。2005 年，增至 81329 万元。

2005年太仓市市区主要餐饮门店表

表 185

店名	地址	店名	地址
新梅华大酒店	人民南路26号	金鼎大酒楼	惠阳路38号
银河饭店	太平南路29号	金三峡火锅城	新华东路64号
阳光海鲜城	东亭北路1号	永安假日酒店	北门街29号
春天的故事大酒店	新华东路65号	名豪酒店	东仓南路
阳光城大酒店	人民北路11号	豪琴音乐西餐馆	新华东路38号
东方大酒店	浏太路128号	台湾宝宝西餐馆	太平南路37号

续表 185

店名	地址	店名	地址
雅都大酒店	县府街36号	苏州肯德基太仓店	新华街5号
锡爵大酒店	新华东路38号	上岛咖啡馆	新华东路45-1号
新锡爵饭店	岳阳路	哈里欧咖啡餐厅	县府东街89号
中苑大酒店	新华东街67号	佛轩雅每天生活馆	人民北路
粤港大酒店	太平路	阿里山咖啡店	郑和西路
紫竹园艺大酒店	人民北路	曼林咖啡休闲中心	岳阳路29号
地中海饭店	太平北路	名典咖啡	人民北路
嘉沁园大酒店	长春北路9号	米萝咖啡	人民北路

【宾　馆】

1986 年，境内除作为公务接待的第一、二招待所以外，较有规模的宾馆为弇山饭店。同年，第一招待所批准为涉外宾馆。1995 年 4 月 28 日，弇山饭店挂牌为三星级饭店。2002 年 5 月，太仓市建设控股有限公司收购弇山饭店，投入 1.2 亿元进行改建与装修，并更名为花园酒店。设有总统套房、豪华套房、商务房、标房等 160 多套，豪华宴会包间、宴会厅、各类大小会议室 30 多间，娱乐大楼 3000 多平方米。同年 10 月 27 日，升级为四星级商务旅游度假酒店。2003 年 5 月，第一招待所由自收自支事业单位转为国有企业，成立娄东宾馆，是太仓市区唯一一家既具有现代先进设备又有古典园林特色的商务型饭店。2005 年，全市 8 家星级饭店共接待游客 6818 人次，其中外国游客 5789 人次，中国台湾游客 848 人次，中国香港游客 180 人次，中国澳门游客 1 人次。接待的外国游客中以日本、德国、美国、韩国居多。

2005年太仓市主要宾馆经营情况表

表 186

名称	营业收入总额（万元）	客房收入（万元）	餐饮收入（万元）	其他收入（万元）	平均房价（元）
花园酒店	4450.98	2640.58	1733.55	76.85	533.48
娄东宾馆	1709.90	854.50	842.80	12.60	252.94
陆渡宾馆	1454.00	304.00	951.00	199.00	150.04
青草湖度假村	853.91	428.96	355.02	69.93	247.42

续表 186

名称	营业收入总额（万元）	客房收入（万元）	餐饮收入（万元）	其他收入（万元）	平均房价（元）
港湾假日酒店	425.80	159.90	224.70	41.20	307.38
桃园度假村	369.00	34.00	290.00	45.00	151.04
交通大厦	288.90	286.90	0	2.00	224.86
太阳城酒店	235.90	86.20	103.00	46.70	214.00
星辰大酒店	226.06	76.05	97.41	52.60	147.96

【理发美容】

1986 年，全县理发业 33 户，从业人员 156 人，均为集体商业企业。之后，个体理发户不断增加，个体网点增加，集体网点减少。至 1992 年，全县有理发店 436 家，从业人员 571 人。90 年代后期，集体性质的理发美容业全部转为个体经营。至 2005 年，全市有理发美容业 675 户，从业人员 879 人。其中市区 431 户，从业人员 595 人。

【洗　浴】

1986 年，城厢、浏河、沙溪镇开设 3 家澡堂，从业人员 39 人，均为国有企业。1992 年减至 2 家，从业人员 21 人。1998 年起，先后有数家私营和个体洗浴店开张营业。2005 年，全市有洗浴店 95 家，其中私营企业 3 家，员工 12 人，注册资金 102 万元；个体 92 家，从业人员 192 人，注册资金 895 万元。规模较大的有金海浪休闲浴场、维多利亚海湾浴场、蓝天港浴场、碧海蓝天浴场、滨江银都浴场等。

【日用修理】

1986 年，全县有日用修理业 526 家，从业人员 654 人，以个体工商业户为主。1991 年，个体日用修理业发展至 701 家，从业人员 873 人。1999 年，第一家私营日用修理业开张营业，注册资金 100 万元。2001 年，私营日用修理业发展至 28 家，注册资金 981 万元，员工 210 人，营业额 271 万元。2003 年，修理业业务量下降，私营企业为 2 家，注册资金 35 万元，营业额 25 万元；个体修理户 218 户，注册资金 266 万元，营业额 474 万元。2005 年，个体户仍占市场主导地位。

【照相扩印】

1986年,全县有照相馆7家,从业人员35人。其中国有照相馆1家,从业人员10人;集体照相馆6家,从业人员25人。之后,各乡镇文化中心开展照相业务,个体照相馆逐渐增加,集体照相馆业务萎缩。至1990年,全县有照相馆14家,从业人员38人。其中国有照相馆1家,集体照相馆3家,个体照相馆10家。90年代末,国有照相馆转制为私营企业,集体照相馆歇业。2000年后,数码相机普及,婚纱摄影和儿童艺术摄影兴起。2005年,全市较有影响的照相扩印业店有市区的曙光照相馆、华艺摄影图片社、科达彩扩摄影社、宏泰照相彩扩中心、金百合时尚婚纱摄影楼、罗马假日婚纱影楼、千之晨婚纱造影时尚馆、台北丽舍婚纱摄影流行馆和沙溪镇的摩登照相馆等。

四、旅　游

太仓地处苏南鱼米之乡,人杰地灵,名人辈出,一街一巷,积淀深厚。有细腻柔和的江南丝竹、中国历史文化名镇沙溪镇、“太师府”南园十八景、明代航海家郑和下西洋重要历史遗迹天妃宫、郑和纪念馆、张溥故居、元代三桥等,无不让人流连忘返。名人有明万历年间首辅王锡爵、明代文坛后七子代表人物王世贞、复社领袖张溥、昆曲鼻祖魏良辅、画家仇英、诗人吴梅村等,彪炳画坛数百年的“娄东画派”也发源于太仓。延绵千年的娄东文化,留下诸多名胜古迹,2005年,境内有省级文保单位6处,市级文保单位30处。

旅游资源与产品

【公　园】

南　园　南园为明万历年间首辅王锡爵赏梅种菊处,原占地面积2公顷。清初,其孙王时敏增拓南园,叠山大师张南垣主持营造。扩建后的南园成为造园与绘画融为一体的历史名园,为清代以来境内园林之首,后毁于战火。1998年,市政府在原南园旧址上重建南园,按原照片和原图纸恢复“门楼”“绣雪堂”“香涛阁”“大还阁”“鹤梅仙馆”“寒碧坊”“潭影轩”“长廊”和“桥亭”等景点。新南园占地面积扩为3.33公顷,其中水景面积占全园1/3。

弇山园　弇山园旧址是南宋“海宁寺”，前身是梁“妙莲庵”。中华人民共和国成立后辟为人民公园。园内有宋代花岗石遗物“望海峰”，明洪武年开凿的“通海泉”，元代大型“铁釜”以及“墨妙亭”等。2003 年，人民公园改造扩建，恢复“弇山堂”“嘉树亭”“点头石”“分胜亭”“小飞虹”“九曲桥”等 20 多处景点，并更名弇山园。公园面积由 4.4 公顷增至 6.67 公顷，分为南部历史文化区、东北部自然生态区和西北部游憩管理区 3 个区。“墨妙亭”三字为太仓丹青大师朱屺瞻手笔。

西庐园　西庐又名西田，位于城厢镇西门外 3 千米至 3.5 千米，为明末清初著名画家王时敏晚年回归故里所筑的田园式别墅。内有农庆堂、稻香庵、霞外阁、锦镜湖西田诸胜。王时敏曾与诸多画家在此聚会，赋诗作画，晚年自号为“西田老人”。2002 年，在原址重建西庐，2004 年 11 月竣工。新建成的西庐园占地面积 30 公顷，园内亭台错落，竹廊环绕，古木青波相映，芳草鲜花葱笼，是一座开放式生态公园，也是游客感受古人“采菊东篱下”境界的休闲胜地。

【名园故居】

吴健雄墓园　1997 年 2 月 17 日，出生在浏河镇的世界著名女物理学家吴健雄在美国逝世，根据其生前遗愿，建墓园于浏河镇明德学校紫薇阁旁。墓园由东南大学建筑设计院设计，贝聿明审定，杨振宁、李政道为墓园题字题词。

1998 年 5 月吴健雄塑像落成于明德初级中学校园内

张溥故居　位于市区新华西路。始建于明代天启、崇祯年间，三进组合式院，建筑具有典型明清风格。内设复社纪念堂、文物陈列馆、太仓名人馆、“四王”纪念馆等。（详见卷二十一文化名人纪念馆艺术馆条目）

王锡爵故居　俗称太师第，建于明万历年间，现有门楼 1 座，面阔 5 间，门厅左右分上下两层，在江浙一带绝无仅有。内有花园 1 座，设“娄东画派陈列室”和名家名寺碑廊。（详见卷二十一文化名人纪念馆艺术馆条目）

1985年郑和纪念馆建成,图为馆内郑和像

梅花草堂 为朱屺瞻年轻时习画的画室。齐白石题匾,沈尹默、黄宾虹、潘天寿等10多位名流大师为梅花草堂赋诗作画。“八一三”抗战中,梅花草堂被毁。1991年2月,在浏河春晖园内重建梅花草堂。(详见卷二十一文化名人纪念馆艺术馆条目)

郑和纪念馆 位于浏河镇天妃宫内。明永乐年间,三宝太监郑和下西洋曾在此朝拜海神,祈祷平安。天妃宫始建于元至元二十三年(1286年),清道光四年(1824年)林则徐任江苏巡抚时,重修天妃宫。1985年辟为郑和纪念馆。展厅分上、下两层,下层正中是一座3米高的郑和手握航海图的坐像。坐像背后及左右两侧墙上画有3幅巨型磨漆壁画《鹏起浏港》,面积80平方米,再现郑和从刘家港出洋时的壮观场面,无论游人站在大厅的哪个角度,壁画都给人以群船迎郑和像面驶来的奇妙感觉。二楼展厅陈列有200余件实物和图片,展示郑和不平凡的生平和伟大的航海业绩。

【元代古桥】

横穿市区的致河塘上有周泾桥、州桥、皋桥3座保存完好的元代石拱桥,1982年被江苏省政府列为省级文物保护单位。周泾桥和州桥为三孔石桥,皋桥为单孔石桥。其中周泾桥最负盛名,建于元至顺元年(1330年),原名海门第一桥。州桥始建于元天历二年(1329年),原名安福桥。皋桥建于元元统二年(1334年),原名兴福桥。另有元代古桥井亭桥、金鸡桥位于南郊,1995年被列为省文保单位。

【古镇沙溪】

沙溪旧时名沙头,建于1300年前,自古有“东乡十八镇,沙头第一镇”之说。沙溪老街坐落在七浦塘两岸,塘北为主街,明清风格的建筑保留至今。古镇民居进深长,水弄堂密布;临水建筑参差起伏,鳞次栉比,家家都有形如吊脚楼的河棚间;市河上的3座古桥俊秀挺拔。除沿河水乡民居外,还有乐荫园、橄榄岛、雕花厅、小

白楼等名胜。“猛将堂”两人合抱的300年银杏老树和清代古弄“一线天”亦为观光者留连。

2005年沙溪古镇风貌

临水建筑 沙溪老七浦已有1000余年的历史。古人为通舟、取水、洗涤或乘凉观景，临水民宅，家家建有河棚间，棚下是水桥和船坞；各家河棚、水桥造型各异；河棚有吊脚楼式的、石头实砌的；河棚窗户有半窗、落地长窗，窗格花型多样，配有栏杆或美人靠；水桥石级有驳岸式和条石悬挑式。这些临水建筑形态纷呈、古朴苍老，是珍贵的历史文化遗产。

老　街 老街与老七浦塘平行，沿街的清、民国古宅民居错落有致，鳞次栉比，绵延1.5千米。民居建筑风格别致，一般都很进深，有前后三进；临街多为二层楼，底楼店铺大多挑梁出檐，斗拱齐全；梁拱上雕刻云朵、花卉等精美图案；二进三进是客厅和起居室，室内落地长窗、花窗，特别是客厅梁拱装饰风格各异，五彩缤纷，比较好的有雕花厅、花篮厅等厅堂。宅与宅、院落与院落之间形成狭长幽深的弄堂，街头、巷口有过街楼。至2005年年末，古街上仍坐落着600多家4200多间古老的建筑，显现沙溪历史文化的积淀。

石拱桥 老街自东至西有曾家桥（义兴桥）、庵桥（聚福桥）、利济桥（新桥）3座明、清古桥横跨老七浦，贯通河南、塘北老街。3座桥宽均为2米，曾家桥长15米，其余2桥均为15.3米，一色的单孔石拱，古朴苍劲。古桥是历史文化遗产中的珍宝，每日桥上人来人往，桥下舟楫相联，天光水色辉映，拱洞连影成圆，两岸古建筑倒影成片，古镇水乡风貌更加完美。

陆京士故居 建于民国35年（1946年），位于沙溪镇橄榄岛东部，占地面积1200平方米，建筑面积400平方米，共三进平房，花格落地长窗，中西结合格调，围墙漏窗设计精致，墙门上方的八仙过海，砖雕生动逼真，整个格调美轮美奂。

乐荫园 原名乐隐园，位于古镇区白云路东侧，是元末隐士瞿教桢构建的读书处，属私家园林，有江南著名园林之美誉。1986年9月30日，由县、镇两级人民政府投资76.8万元重建的乐荫园举行开园典礼。占地面积1.5公顷。水域面积0.33公顷，分中、东、西三部分，木杓浜在中部，四周环以花厅、假山长廊、水榭、石

拱桥、花卉、紫篁、草坪等，并易名为乐荫园，由太仓丹青大师朱屺瞻题写园名。

橄榄岛 位于沙溪镇南部，是疏浚新老七浦交汇形成的岛屿，因状似“橄榄”而得名，建有听潮、晚翠、松鹤三亭。沙溪古八景之一“松墩鹤唳”便在此地。据传古时此处有松树数十株，时有白鹤飞来翩翩起舞，遂命之。岛上开设有“江南民俗用品馆”，以展示农具、纺织工具、生活用品等各类藏品为主，展现江南民俗风情文化、民间传统优秀技艺，直观地反映当时的江南社会人们生产生活的真实情况，是宝贵的历史文化遗产，馆内藏品2000多件，令前来参观的人目不暇接。

龚氏雕花厅 建于清乾隆年间，坐落在老街(中市街60号)，为富商龚氏族人所建宅院的第三进。花厅开阔3间，满厅雕梁画栋，动物、花卉栩栩如生。梁木四面刻满柔软美丽的缠枝花浮雕，梁架上布满形态各异的云纹仙鹤、云彩蝙蝠图案，有静立状、有跃跃欲飞状、有翩翩起舞状。四角机下对称刻着象、狮、虎、豹四兽，象征着主人驱邪避妖，平安吉庆的美好愿望。2002年，被定为江苏省文物保护单位。

小白楼 中国新舞蹈奠基人吴晓邦的故居，位于沙溪镇西市街，是一幢双层欧式白色建筑，故名“小白楼”。建于民国16年(1927年)，占地面积600平方米，房屋面积300平方米。主体为西班牙建筑，内部结构仿法国风格。客厅内装有壁炉，室内窗户由百叶窗、纱窗、玻璃窗三层组成，房顶建有瞭望台，可观望沙溪全景。故居内陈列有反映吴晓邦舞蹈生涯的73幅图片。

【宗教寺庙】

海天禅寺 位于城厢镇板桥长泾村，90年代建造。寺名缘起“海水摇空缘，天花拂袂来，禅边风儿好，寺旁板桥开”一诗，周边一带是太平天国板桥大捷古战场。寺内有山门殿、天王殿、大雄宝殿、观音阁、地藏殿及9层宝塔。

南广教寺 位于城厢镇南郊新丰村，建于宋绍兴二年(1132年)。历史上南广教寺殿堂楼阁宏伟壮观，香火极盛一时。中华人民共和国成立后改作仓库，“文化大革命”期间拆除，90年代初重建。1993年4月开放，建筑面积8205平方米，有山门殿、金刚宝殿、观音殿、地藏殿、法堂、华严楼等，由觉超法师住持，香客众多，法事不断。

玉皇阁 位于双凤镇凤林路，元至元二十二年(1285年)始建。相传明建文四年(1402年)明惠帝朱允炆曾到玉皇阁避难，明永乐三年(1405年)郑和首次出使

西洋前，专程前往进香。解放后被毁，1994 年重建，初步恢复旧日景观。

普济寺　唐代古刹，位于沙溪镇直塘普济街南端，寺院三面环水，两头有桥，自然景色优美。清代诗人崔华诗曰："一寺千松内，飞泉屋上行。"清光绪时毁于火灾。1995 年开始重修，2000 年 9 月大佛开光。寺内有缅甸赠送的玉佛，有重 6 吨的江南第一钟。

【生态农业景观】

艳阳农庄　位于岳王，远离城市喧嚣，是一处无污染的生态庄园。农庄占地面积 18.9 公顷，清湖绿野中建木屋竹楼，拥有四合院、知青村、啤酒屋、轮胎屋、蒙古包等各类客房 200 套，环境幽静，舒畅自然。在艳阳农庄用餐，以自种蔬菜和草鸡土鸭为特色，亦可自助林中野餐，湖边烧烤。设有卡丁车、激光狩猎、碧湖划船、亭中垂钓等各种娱乐休闲项目。游客在田园风光中体验休闲放松的乡村度假情趣。

菽园（艳阳山庄）　为原明代大臣陆容晚年归里和晨耕暮读之住所，位于沿江高速公路和沪嘉浏高速公路延伸段交汇处，总面积 10 公顷。山庄由香樟岛、银杏岛、广玉兰岛和雪松岛 4 个互相连接的小岛组成，小岛均四面环水，以木桥相连。岛内水体清新，石径蜿蜒起伏。园内种植乔木、灌木、花草 50 多个品种，设有珍禽观赏区、垂钓中心、商务会议厅等。

【太仓一日游线路】

线路一：张溥故居—王锡爵故居—南园—沙溪古镇—艳阳农庄—郑和纪念馆；

线路二：郑和纪念馆—长江码头—园花园山庄—沙溪古镇—弇山园—张溥故居；

线路三：南园—海天禅寺—郑和纪念馆—园花园山庄—沙溪古镇—普济寺。

旅游服务

【旅行社与星级饭店】

1996 年，市政府编制《太仓旅游发展总体规划》，确定以城厢、浏河、沙溪 3 个镇为规划重点。逐渐形成 3 条太仓一日游主要线路。1997 年 5 月 15 日，境内首家

旅行社“太仓顺达国内旅行社有限公司”成立。至2005年年末,全市有旅行社10家,星级酒店、宾馆8家,全年接待海内外游客98.48万人次,实现旅游总收入9.22亿元。星级饭店接待游客6818人次,实现营业收入总额9725.55万元,其中客房收入4584.19万元,餐饮收入4597.48万元。接待国内旅游人数144.6万人次,客房入住率为64.2%。

2002年开业的花园酒店

2005年太仓市旅行社一览表

表187

名　称	地　址	类别	许可证号	成立时间	属性	全年接待人数(人)	营业额(万元)
太仓顺达国内旅行社有限公司	县府街33号	国内社	L-JS-GN02019	1997-05-15	个体	8681	624.12
太仓市华夏旅行社有限公司	上海西路10A号	国内社	L-JS-GN02049	1998-03-30	个体	6720	548.00
太仓红太阳旅行社有限公司	上海西路44-6号	国内社	L-JS-GN02054	1999-01-18	个体	4738	598.00
太仓快乐假日国内旅行社有限公司	上海东路1号	国内社	L-JS-GN02063	2000-05-30	个体	2870	440.49
太仓新世纪国内旅行社有限公司	东仓路津华园70-11号	国内社	L-JS-GN02077	2001-03-16	个体	2717	218.00
太仓国贸旅行社有限公司	上海西路84号	国内社	L-JS-GN02051	2002-10-30	个体	3431	227.00
太仓春秋国内旅行社有限公司	上海西路19-1号	国内社	L-JS-GN02114	2003-07-22	个体	2222	131.22
太仓山水旅行社有限公司	上海西路17-4号	国内社	L-JS-GN02131	2004-09-10	个体	2508	140.80
太仓风光旅行社有限公司	太平北路7号	国内社	L-JS-GN02134	2005-01	个体	1035	92.73
太仓天马国内旅行社有限公司	上海西路16号	国内社	L-JS-GN02135	2005-01-04	个体	2227	249.23

2005年太仓市旅游星级饭店一览表

表 188

名称	地址	星级
花园酒店	人民北路59号	4
青草湖度假村	浏家港镇马北村	3
陆渡宾馆	太浏线康福路8号	3
港湾假日酒店	浏河镇郑和路888号	3
太阳城大酒店	上海西路63号	3
桃园度假村	陆渡镇横沥村	2
星晨大酒店	太平北路30号	2
娄东宾馆	县府街6号	涉外

【风味食品】

双凤羊肉面　专选品质优良的境内上等山羊为原料，辅以 10 多种调味品、中草药，文火焖煮 2 小时以上而成红烧羊肉。味入骨肉，皮肥肉酥，汤汁鲜美而无膻味。面汤用烹羊原汤熬制，浓而不浊、油而不腻。面则以手工制之，经多次压滚，细、柔、滑、韧，入水便熟，口感极好。

长江四鲜　太仓地处长江入海口，江海交汇之处，鱼类品种甚多，较为著名的有合称为“长江四鲜”的银鱼、刀鱼、鲥鱼、鲥鱼。银鱼，古称“脍残鱼”，俗称“面杖鱼”，喜栖息于近海长江口，鱼形细长，身透明，体光滑，长约一指。刀鱼，其状似刀形，清明前大量上市，清明后，其细骨变硬，价钱开始下跌。鲥鱼，亦称鲚鱼，俗称“白吉”，肉质肥美，为上等食用鱼类，产量逐年减少。鲥鱼，古称“鲚”，形秀而扁，似鲂而长，长约 70 厘米，银白色，腹部具棱鳞，其味极为鲜美，宜不去鳞清炖，为长江鱼类中极品，已濒临绝迹。

太仓山药糕　将本地山药蒸至酥烂，捣成山药泥，拌入糯米粉、糖，将果料在碗壁内摆放成图案形，再把拌好的山药泥放入碗中，将豆沙放在山药泥中间，上笼蒸熟。口味微甜，软糯滑爽。

【特色产品】

太仓肉松　清光绪十二年（1886 年）太仓开设倪鸿顺肉松店，其肉松为官礼物品。民国 4 年（1915 年），获巴拿马国际博览会甲级奖。太仓肉松挑选优质太湖

瘦肉型猪宰杀,佐料讲究,炒制工艺先进。太仓牌系列产品有香酥松、寿星松、儿童松,以其独特风味享誉四方。

太仓糟油 创制人为清乾隆年间的李梧江。清代袁枚《随园食谱》写道:“糟油出太仓,愈陈愈佳。”清宣统《太仓州志》记载:“色味俱胜,他邑所无。”太仓糟油具有酱色、糟香、鲜美等特点,能解腥除异味、提鲜增香、开胃增食。

双凤爊鸡 早年双凤居民几乎家家备一只多代相传的爊锅,每当过年过节,则活杀自养之鸡,煮至半熟,放入有老汤的爊锅中,然后按秘方放入茴香、花椒等佐料,以文火焖煮。制成的爊鸡皮色锃亮,丰腴肥实,香气沁人。

太仓白蒜 始种于清代,60年代起,境内大面积种植。蒜头肥硕结实,蒜瓣大而匀称,色泽洁白,味道辛香,是蒜中精品,与上海嘉定白蒜、山东苍山白蒜、新疆白蒜齐名。

麦秸画 精选麦秸原料,经除膜、切片、劈丝等加工处理,运用拼贴、镂刻、镶嵌等制作方法,按照平面、浮雕、立体等构图造型,利用麦秸原有的光泽、纹理,通过麦秸的明暗、深浅、厚薄、疏密等搭配,制作麦秸画工艺品。品种包括山水风景、花鸟鱼虫、人物走兽、房屋建筑等,图案华而不媚、素而不俗。

板桥西瓜 以其皮薄、质优、果型适中而闻名苏沪。品种有京欣1号、早佳(84—24)和拿比特、万福来、红小玉、黄小玉、早春红玉等小型礼品瓜。

新毛芋艿 外形圆整,带有特殊香味,吃口糯滑,享誉苏、浙、沪。用其制作的“桂花糖芋艿”更是风味独特,是江南人家八月十五(中秋节)必不可少的名点佳品。太仓常年种植芋艿533.33多公顷,年产2万多吨。

旅游节庆

【郑和航海节】

2003年起,太仓举办以“太仓走向世界”为主题的“中国太仓郑和航海节”。2004年,开展“郑和主题一日游”活动。2005年7月6日至10日第三届“中国太仓郑和航海节”期间,先后举办“纪念郑和下西洋600周年国际学术论坛”“扬帆天下”大型综艺晚会,纪念邮票首发式暨中新马泰联合集邮展览,与新加坡旅游局合作互派使者参与对方的郑和纪念活动,与肯尼亚马林迪市缔结友好交流城市,郑和船队后裔拉穆女孩姆瓦玛卡·沙里夫回家寻根,与香港凤凰卫视共同

举办“凤凰号”下西洋系列电视行动以及闭幕式“鹏起娄江”大型彩船巡游、焰火晚会等活动。30 多个国家和地区 200 多位中外学者参加学术研讨活动，为国内外媒体所关注。

【江海河三鲜美食节】

2003 年 11 月 8 日至 14 日，举办首届“江海河三鲜美食节”，全市各星级饭店、餐饮协会成员单位参加菜肴展示和烹饪技艺比赛。2004 年 4 月，举办“赏樱花，品三鲜”文化美食活动。2005 年 3 月 5 日，全市 13 家餐饮单位参与了历时 1 个月的第三届美食节，推出一批具有太仓特色的名菜、名点。

旅游管理

【行业管理】

1997 年，太仓市旅游局成立，负责全市旅游行业管理。1999 年 5 月 28 日，市旅游协会成立，并召开第一次会员代表大会，选举产生第一批理事单位及 17 名理事。2000 年 10 月，旅游协调议事机构——旅游委员会成立，由市政府主要领导任委员会主任。2003 年 9 月 16 日，市餐饮服务业协会成立，按行业分成酒店宾馆、餐饮、休闲娱乐、美容健身 4 个组。建立理事会例会制度，聘请常年法律顾问，为会员单位提供法律服务。2004 年 10 月，市旅游质量监督管理所成立，对全市旅游经营单位实行旅游质量监督，受理旅游质量投诉，开展旅游市场检查。2005 年，制定《进一步加强旅游行业安全生产工作的实施意见》，明确年度旅游行业安全生产工作目标、任务，并与 21 家旅游经营单位法人签订安全生产目标责任书。全市 95% 以上旅游企业为苏州市级文明单位。

【中国优秀旅游城市创建】

1999 年 4 月，太仓市向国家旅游局申报创建中国优秀旅游城市。2002 ~ 2004 年，投入旅游专项资金 3.65 亿元，对弇山园、南园、张溥故居进行提档、改造、扩建。沙溪、浏河两镇加大对郑和公园、梅花草堂，乐荫园、橄榄岛等景点进行串联包装。先后开发西庐园景区、菽园等生态农业景观和新浏河风光带，开通市区、沿江旅游观光巴士和“一日游”线路。2005 年，第三届中国太仓郑和航海节举办期间，太仓市

与国务院新闻办、香港凤凰卫视共同主办重走郑和路、“凤凰号”下西洋电视活动，纪念郑和下西洋600周年。全市初步形成以郑和旅游度假功能区和沙溪古镇为两翼、弇山园和南园为重点的旅游格局。新华东路“美食一条街”，为游客提供本地特色餐饮及西餐、韩国烧烤、日本料理等美食。“夜游南园”旅游项目，为海内外游客表演江南丝竹、锡剧、沪剧、评弹等节目，使游客领略江南园林的夜韵。同年11月，太仓市以高分通过考核，获中国优秀旅游城市称号。

五、金　融

1986年，太仓城区有3家银行和1家保险机构，农村信用合作社遍布各乡镇。90年代中期，经济快速发展，人民收入增加，银行业开始扩张；市民初萌保险和证券投资意识，买保险和买卖股票的人渐多。90年代后期，银行网点遍布太仓城乡，寿险业务上升为保险主业，拍卖典当行业开始恢复。进入21世纪，太仓金融业门类齐全，布点合理，业务增长。2005年，全市金融有银行、保险、证券、拍卖、典当5个行业，21家机构，212处网点。年末存款余额277.59亿元，贷款余额215.18亿元，城乡居民储蓄余额132.48亿元；全年保费收入4.94亿元，证券成交额33.22亿元，典当业务量1.61亿元。

金融体制改革

1980年1月，中国农业银行太仓县支行恢复单独建制。同年3月，中国建设银行太仓县支行成立。1985年起，金融体制改革进入制度创新，一批金融机构相继成立。同年1月，中国工商银行太仓县支行成立。1986年8月，中国人民银行太仓县支行恢复设立。1988年8月18日，中国银行太仓支行成立。1994年，金融体制改革向市场化发展速度加快。同年3月，东吴证券有限责任公司太仓城厢证券营业部正式营业。1996年10月，中国农业发展银行太仓市支行正式成立，以国家信用为基础，筹集农业政策性信贷资金，为农业和农村经济发展服务。同年，太仓市农村信用社与农行太仓市支行分设，自成系统。财产保险与人寿保险分业经营，分别成立中保财产保险有限公司太仓支公司和中保人寿保险有限公司太仓支公司。

1997 年后，金融体制改革进入深层次改革、改组、改造阶段。全市四大商业银行普遍开展贷款购房、贷款购车等业务。消费、信贷品种多样，形式多种，有短期消费信贷、分期付款、抵押贷款、信用卡消费等。在信用卡消费上，有中行的长城卡、建行的龙卡、农行的金穗卡、工行的牡丹卡等。90 年代初，建行太仓支行推出储蓄卡和万事达、维萨信用卡，此后陆续开发推出“蓝色快车”“速汇通”“速货通”“成长之路”等一系列金融新品。1998 年，依托电子交易平台推出网上银行支付系统。相继推出国际保理、福费廷、远期结售汇等外汇业务金融产品。同年 4 月，中国平安财产保险公司太仓支公司成立。2000 年后，银行、保险、证券业领域大面积合作，逐步开展混业经营。商业银行均设立基金管理公司，开展与证券公司、保险公司的银证、银保合作及信息咨询、理财顾问、投资基金托管等业务。2002 年，中行太仓支行专辟个人理财中心，推出代理分红保险、代售开放式基金等业务新品，成功代售易方达、嘉实等 3 家开放式基金。2003 年 3 月，平安财寿险分营。同期，天安保险股份有限公司太仓支公司成立。至 2005 年年末，全市金融市场平稳运行。

银　行

【机　构】

1984 年，遵照国务院令，人民银行专门行使中央银行职能，工商信贷和储蓄业务由工商银行承担，各县暂不单设人民银行机构，挂人民银行和工商银行两块牌子，人民银行业务委托工商银行代理。1985 年年末，全县有农村信用合作社 22 个，职工 356 人，入社农民 112863 户，占总农户的 93%。1986 年 8 月，中国人民银行太仓县支行恢复职能。国家专业银行在太仓设有中国工商银行太仓县支行、中国农业银行太仓县支行和中国建设银行太仓县支行，且网点很少。1988 年 8 月，中国银行在太仓设立支行。至 1995 年，农村信用社由农业银行统一管理，合署办公。同年 8 月，全市 23 个农村信用社与农行太仓支行脱钩。1996 年 8 月，太仓市农村信用合作社联合社（简称信用联社）挂牌营业。同年 10 月，作为农业政策性银行的中国农业发展银行太仓市支行亦从农行太仓支行析出分设，承担国家规定的农业政策性金融业务。2000 年 10 月，城厢、华夏两个城市信用社改称为农村信用社，并入信用联社统一管理。2004 年 12 月 31 日，信用联社改制成立江苏太仓农村商

业银行股份有限公司。至2005年年末,8家银行在全市共设网点129个。另外,设有代理经办储蓄业务的邮政储蓄网点41个。

2004年12月31日,江苏太仓农村商业银行股份有限公司开业

2005年年末太仓市银行业机构及业务情况表

表189

名称	简称	设立时间	地址	网点数(个)	存款余额(亿元)	贷款余额(亿元)
中国人民银行太仓市支行	人行太仓支行	1949-06	上海西路6号	1	—	—
中国农业银行太仓市支行	农行太仓支行	1980-01	上海西路2号	29	71.19	63.39
中国建设银行股份有限公司太仓支行	建行太仓支行	1980-03	县府街44号	14	35.20	31.50
中国工商银行股份有限公司太仓支行	工行太仓支行	1985-01	上海东路	15	42.29	34.19
中国银行股份有限公司太仓支行	中行太仓支行	1988-08	新华东路68号	18	54.78	32.91
江苏太仓农村商业银行股份有限公司	太仓农商行	1995-08	太平南路27号	50	50.39	34.69
中国农业发展银行太仓市支行	农发行太仓支行	1996-10	人民南路22号	1	0.42	3.15
交通银行太仓市支行	交行太仓支行	2003-05	新华西路8号	1	8.21	11.58

【概　况】

农发行太仓支行　1996年10月,从农行太仓支行析出。作为政策性银行,不

开办个人储蓄业务，仅吸收本地区农业政策性开户单位的对公存款。2005 年年末，人民币存款余额 4200 万元。

1998 年，中行太仓支行开启流动银行，上门为企业服务

中行太仓支行　1989 年，实现支行会计系统电子化。1990 年，开通个人储蓄业务电子系统。1991 年 8 月，获南京分行批准对外发行长城人民币信用卡，成为太仓县第一家发行信用卡的银行。1992 年，在全县设立第一台自动取款机，方便储户。1998 年，开启流动银行，为企事业客户提供上门服务。2002 年，在中国银行 838 个县级支行各项指标综合评分中排名第六位，获“中国银行精神文明先进单位”称号。2005 年年末，本外币一般存款余额 61.85 亿元。

工行太仓支行　1996 年起，陆续开展代发工资，代缴电费、水费、电话费，天然气充值等，发展储蓄中间业务，方便居民生活。2005 年年末，人民币存款余额 42.29 亿元。

农行太仓支行　1996 年 8 月，储蓄存款通存通兑计算机网络在全市城乡营业网点开通。1998 年 10 月，开通银企电话银行系统。2002 年，纳入江苏省全面应用数据传输系统，实现省内联网。2003 ～ 2004 年，被江苏省精神文明建设指导委员会授予江苏省文明行业称号。2005 年，创利 1.73 亿元，获全国农行系统百强支行称号。同年 8 月实现全国联网。年末，各项人民币存款余额 71.19 亿元，其中储蓄存款余额 37.78 亿元。

建行太仓支行　1993 年，率先开展房改金融业务。1996 年，公积金开户 219 户，存款余额 562 万元。1998 年，开通银证联网，方便股票投资者的证券交易。2001 年，引进新一代自动取款机，实现全国电子联网。2005 年年末，本外币一般存款余额 38.33 亿元。公积金开户 14097 户，存款余额 1.8 亿元。

太仓农商行　1995 年 8 月，从农行太仓支行析出。2001 年 12 月，银税一体化正式开通，信用联社开始代征国、地税税收。2005 年 10 月，推出新一代借记卡“郑和卡”。年末，各项人民币存款余额 50.39 亿元。

【储蓄业务电子化】

1986年,城乡居民的储蓄业务全部依托存折采用手工操作。1990年,始建电子系统。1991年8月,长城信用卡率先在太仓发卡。至1993年,先后推出牡丹卡、金穗卡和龙卡。银行卡的自动取款机(ATM机)随即遍布城市主要街口,储户凭银行卡和自己设定的密码随时可在自动取款机上进行账户余额查询、取款和更改密码等操作。银行卡分信用卡、借记卡、贷记卡、灵通卡等种类,具有活期储蓄、购物消费、理财增值、转账结算、代收代付、炒股、炒汇、炒基金等功能。1998年,各银行成功开发银证A、B股自动转账系统,股票投资者的炒股资金可在银行与证券交易所之间自动转移,不必再频繁奔走于两者之间。2001年,随着互联网兴起和银行网站建立,网上银行悄然兴起。网银注册客户凭密码登陆网上银行后,对账户进行管理,包括余额查询、交易明细查询、转账以及网上交易等。之后,加印"银联"标识的银行卡陆续在太仓使用,各商业银行发放的银联卡可跨行使用,能够在带有"银联"标识的自动柜员机和销售点终端机上通用,为消费者提供方便、快捷、安全的金融服务。2005年,无人值守、封闭式的自助银行在各银行推出,储户可在自助银行自动存取款,并可进行转账和缴费等操作,操作环境与安全性得到改善。至年末,农行太仓支行通过网上银行实现代收代付99亿元,金穗卡刷卡消费9672万元,卡均存款2285元。

2005年年末太仓市4家商业银行储蓄电子化情况表

表190

名称	信用卡	持卡量(万张)	自动取款机(台)	自助式银行(家)	个人网上银行(户)	企业网上银行(户)
工行太仓支行	牡丹	15.00	15	1	3665	202
农行太仓支行	金穗	36.60	40	1	3664	90
中行太仓支行	长城	25.35	33	1	3406	51
建行太仓支行	龙卡	17.25	25	1	2800	52

注:建行太仓支行自助式银行是经人行太仓支行核准的离行式自助银行,位于人民北路

【贷　款】

农业和民企贷款　农发行太仓支行加强粮棉油收购资金的供应与管理,支持太仓农业与农村经济发展。1996年,发放粮油收购贷款1.49亿元、棉花收购贷

款1.5亿元。2002年起，经上级行批准进行区域信贷政策试点，改单一支持企业粮棉油收购传统业务为支持收购、调销、储备、加工等多业并举。2005年，发放支农贷款4.72亿元，除粮棉油传统业务外，还向太仓利泰纺织有限公司、香塘集团、太仓市皇后纺织制品有限公司和太仓双力面粉有限公司等一批农业产业化龙头企业发放贷款3.49亿元，促进企业做大做强。同年，被江苏省农发行评为标兵行。

2003年7月26日，中国农业银行同太仓市政府签订授信额度协议

太仓农商行以扶持民营骨干企业为信贷重点，1998年与香塘集团、太仓泰利纺织有限公司、雅鹿集团、五洋集团等企业建立金融合作关系，全年累计发放流动资金贷款9.7亿元。2005年年末，各项贷款余额34.69亿元，全年累计发放贷款69.77亿元，其中“三农”（农村、农业、农民）贷款和个体民营贷款57.32亿元，占总发放量的82.16%。

重要项目贷款　1996年，建行太仓支行重点支持交通事业，对太海码头投放1300万元贷款，向交通局投放2000万元改造沪太公路。1998年，注重效益好、发展前景好的外资企业，向美孚石油公司、中远公司等企业发放贷款1.25亿元。2002年1月8日，中行苏州分行、中行太仓支行与苏州华苏塑料有限公司签订2000万美元贷款合同。1997年9月至2003年上半年，中行太仓支行累计向苏州工业园区华能发电有限责任公司发放6.64亿元人民币和1120万美元贷款。2003年7月26日，中国农业银行与市政府签订“为太仓港开发建设提供212亿元授信额度”的协议，为到太仓港投资的国内外企业开辟融资绿色通道，是中国农业银行首次对县级政府提供200亿元以上授信额度。

2005年12月，苏州市首个银团贷款项目落户太仓港。苏州现代货箱码头有限公司二期工程项目152750万元银团贷款，由农行、工行、中行、交行的太仓支行共同承担，利益共享，风险共担。

个人消费贷款　1995年，太仓市开办住房抵押贷款，之后，陆续推出装修、购

车、耐用品消费和助学贷款,形成完整的个人消费信贷业务体系,提高市民生活水平,成为银行贷款业务中安全系数相对较高的品种。

建行太仓支行最早办理住房抵押贷款业务,贷款规模逐年扩大,在全市所占份额1999年最高时达80%以上。1995年5月,农行太仓支行成立房地产信贷部,开办住房抵押贷款。2002年4月,成立个人金融超市,为农行贵宾客户和个人消费贷款客户提供"开放式""组合式"金融服务。至2005年年末,个人消费贷款余额7.44亿元。工行太仓支行实行"超市化服务"为民办事,2001年,发放个人消费贷款9300万元。年末,累计向1300余位客户,发放汽车贷款8000万元。2005年,中行太仓支行发放助学贷款53笔27.6万元,帮助困难家庭的优秀学子圆大学梦。2003年6月,交行太仓支行开办消费信贷业务,至2005年年末,消费贷款余额1.03亿元。

理财产品开发 2001年3月,中行太仓支行开办"外汇宝"业务。2002年,专辟个人理财中心,推出代理分红保险、代售开放式基金等业务,成功代售易方达、嘉实等3家开放式基金。2003年,相继推出"报关即时通""外汇小管家""期权宝和两得宝"等业务,全年网上银行交易量24.93亿元,"报关即时通"交易量9200万元。其他银行亦拓展个人理财业务,保险、基金等各色理财产品受到市民欢迎,网上银行开户人数逐年增多,网上交易渐成时尚。

金融风险控制 1999年,中行太仓支行收回不良贷款2笔86万元。通过法律渠道压缩历史性不良贷款,起诉9起,涉案标的人民币358万元、美元30万元。执行案件15笔,收回人民币419万元、美元83.5万元。2005年,农发行太仓支行把资产抵押作为防范贷款风险的具体措施,将粮棉购销企业法人代表和合伙人的个人资产抵押作为贷款的必备条件,办理有效资产抵押1592.3万元,企业缴存风险准备金474.8万元。

1986～2005年太仓市(县)人民币存贷款额统计表

表191　　单位:亿元

年份	存款	贷款	储蓄余额
1986	5.19	6.08	2.20
1987	5.59	7.15	2.92
1988	6.79	8.14	3.35

续表 191

年份	存款	贷款	储蓄余额
1989	8.26	8.99	4.86
1990	11.44	11.21	7.01
1991	14.35	13.21	9.28
1992	17.62	16.01	10.70
1993	21.19	17.99	12.98
1994	29.16	21.32	17.94
1995	38.65	26.86	25.48
1996	52.31	36.21	33.74
1997	65.60	42.01	44.39
1998	78.82	48.45	53.53
1999	87.95	52.54	60.14
2000	95.55	56.00	62.47
2001	107.69	56.36	70.08
2002	129.95	76.36	80.69
2003	186.57	148.23	97.44
2004	227.66	196.43	114.94
2005	277.59	215.18	132.48

【结　算】

1987 年，太仓银行业健全完善全县同城票据交换，并开通苏州区域票据交换。1993 ～ 1995 年，农行太仓支行、中行太仓支行先后使用环球收付系统网络，与 170 多个国家和地区的 470 家银行建立代理关系，大大缩短客户资金的在途时间，实现“环球资金一日通”。1998 年 4 月，全市取消集镇票据交换，实行磁介质交换，提高交换效率。此后的网络电子结算更使效率大增，如农发行太仓支行以往使用手工处理系统内异地汇划业务，资金到账一般 2 ～ 3 天，2002 年 12 月，启用全国电子联行系统后缩短为当天到账。中行太仓支行将环球收付系统与电子联行系统整合为远端柜员系统（RTS），实现结算系统一体化。2003 年，各金融机构实行同城票据交换网络电子化。2005 年 6 月 27 日，各金融机构成功接入中国人民银行大额支付系统，实现全国范围内跨行大额支付清算的每日零在途。同年 9 月，各金融机

构融入苏州市同城票据电子交换系统,实现苏州范围内票据当天到账。

【外汇业务】

1988 年,国家外汇管理局太仓支局成立,与人行太仓支行合署办公,对境内金融机构的外汇业务实施监管。同年 8 月,中行太仓支行成立,作为外汇外贸专业银行承办外汇管理、外汇信用、国际结算业务及贸易非贸易结算管理。90 年代,太仓招商引资力度加大,外资企业不断增多。1991 年,农行太仓支行成立国际业务部,开办外汇存款、贷款、汇款、结算等业务。1993 年 6 月,建行太仓支行成立国际业务部,开办外汇结算贸易,并相继推出了国际保理、福费廷、远期结售汇等外汇业务。2003 年 7 月,太仓农商行结售汇业务通过省外汇管理局验收,2005 年在花旗银行纽约分行成功开立美元清算账户,全年开立外汇账户 29 户。年末,全市金融机构外汇存款余额 1.72 亿美元,贷款余额 1.65 亿美元。

2001～2005年太仓市外汇存贷款余额统计表

表 192　　单位:亿美元

年份	存款余额	贷款余额
2001	1.20	0.21
2002	1.49	0.64
2003	1.36	1.11
2004	1.34	0.94
2005	1.72	1.65

【货　币】

1986 年,全县现金投放 7.99 亿元,回笼 7.84 亿元,净投放 0.15 亿元。1989 ～ 1996 年,为防止和控制通货膨胀,执行从紧货币政策,货币呈净回笼态势。1998 年起,执行稳健货币政策,在加大对农业产业化龙头企业、住房信贷以及民营经济有效投入的同时,贯彻“现金管理条例”,建立节日提现审批制度及预约上报制度,控制现金投放。2000 年,加强现金检查,合理引导现金投向。2002 年,围绕经济发展中心,加大信贷投入力度,现金净投放较上年增长 24.93%。2004 年,根据全国金融工作会议精神,加强金融宏观调控,当年的现金投放同比小幅增加。2005 年,出现回落。全年投放 874.21 亿元,回笼 858.33 亿元,净投放 15.88 亿元,较上年下降 32.3%。

1986～2005年太仓市(县)货币投放回笼统计表

表 193　　单位：亿元

年份	投放	回笼	净投放(负值表示净回笼)
1986	7.99	7.84	0.15
1987	10.54	10.29	0.25
1988	15.34	14.70	0.64
1989	16.45	17.50	−1.05
1990	17.16	19.69	−2.53
1991	21.91	26.31	−4.40
1992	34.38	37.63	−3.25
1993	53.08	58.92	−5.84
1994	78.39	85.00	−6.61
1995	95.41	101.48	−6.07
1996	92.43	96.18	−3.75
1997	111.48	110.20	1.28
1998	166.07	160.49	5.58
1999	194.88	187.41	7.47
2000	243.87	232.20	11.67
2001	262.22	248.42	13.80
2002	317.86	300.62	17.24
2003	545.70	524.77	20.93
2004	758.47	737.46	21.01
2005	874.21	858.33	15.88

【金融监管】

1986 年，人行太仓支行对境内金融机构统一实施监管职能。至 1992 年，监管工作重点放在机构设立审批、业务清查和金融秩序整顿。1993 年始，对各银行和保险公司实施年检，规范保险业竞争行为，加强对企业发行短期融资债券的审查审批。1998 年，开展高息揽存专项检查及银行账外账现象的整顿，维护金融运行秩序。同时调整金融监管职能，分业监管体系开始形成，同年 6 月，证券机构的监管职能移交证监会，11 月保险业务、保险机构和保险市场的监管职能移交保监会。从此，银行、证券、保险实行分业监管。1999 年，审查金融机构负责人的任职资格，

加强管理银行不良贷款。2000年,在银行系统开展真实性检查,对不良贷款查准数字,摸清家底。2001年,开展为期3年的金融安全区建设,打击逃废银行债务行为,降低银行不良贷款率,建立区域信用体系。2003年12月,中国银行业监督管理委员会苏州银监分局太仓监管组从人行太仓支行分设出来,2004年1月8日正式挂牌,5月12日更名为中国银行业监督管理委员会苏州银监分局太仓监管办事处,行使银行业监管职能。同年,对国有独资商业银行支行行长及副行长11人进行任职资格考试;审查13家机构变更和信用联社、农行太仓支行、建行太仓支行的部分机构新增外币业务;现场检查农行太仓支行汽车消费贷款、工行太仓支行内部控制情况、信用联社外汇业务等11个项目。2005年,对高级管理人员任职前考试和谈话36人次;对银行机构变更、自助银行和离行式自动取款机增设等现场查勘验收16家;通过连续几年压降不良资产,至年末,境内银行机构不良贷款余额减至6.94亿元,不良贷款率降至3.04%。

保　险

【机　构】

中国人民保险公司太仓支公司　1984年11月,从银行析出,作为独立机构开展保险业务,办理全县的财产保险和人寿保险业务。至1993年4月,公司设沙溪、浏河、港口、璜泾、城厢5个办事处,每个乡镇设保险所。1995年12月,公司迁址县府街28号新办公楼——银鸽大厦。1996年5月,中国人民保险集团公司成立(简称中保集团),实行产、寿险机构分设。太仓设中保财产保险有限公司太仓支公司和中保人寿保险有限公司太仓支公司。1998年10月,撤销中保集团,原中保财产保险有限公司继承中国人民保险公司品牌,产、寿险太仓支公司分别更名为中国人民保险公司太仓市支公司和

1995年12月,人保财险、人保寿险太仓支公司办公大楼落成

中国人寿保险公司太仓市支公司。2003 年 7 月，保险机构改制为股份制公司，相应成立人保财险太仓支公司和人保寿险太仓支公司。2005 年年末，人保财险太仓支公司内设综合部、业务部，下辖 5 个营业部、17 个营销服务部；人保寿险太仓支公司内设综合部、客服部、中介部、个险部、团险部，下辖 5 个团险营业部、9 个个险营销服务部和 19 个乡镇网点，员工 31 人，保险代理人 420 人。

中国太平洋保险公司苏州分公司太仓办事处 1996 年 10 月 28 日开业，综合经营财产和人寿保险。2000 年 9 月，更名为中国太平洋保险公司太仓支公司。2000 年 10 月 20 日，产、寿险分业经营，分别成立中国太平洋财产保险股份有限公司太仓支公司（简称太保财险太仓支公司）和中国太平洋人寿保险股份有限公司太仓支公司（简称太保寿险太仓支公司）。至 2001 年 8 月末，太保财险太仓支公司设有浏河、沙溪、城厢、浮桥、陆渡 5 个营销服务网点。2003 年 12 月 8 日，太保财险太仓支公司迁址上海西路 6 号。太保寿险太仓支公司在柳州路 38 号办公，设有城厢、沙溪、双凤、浏河、浏家港、板桥、璜泾、浮桥、归庄等 11 个营销服务网点。2005 年，太保财险太仓支公司全年保费收入 2178.03 万元，支付各类赔案 3090 件、赔款 1047.95 万元。太保寿险太仓支公司全年保费收入 5643 万元，结案理赔案件 1926 件。

中国平安保险公司苏州支公司太仓办事处 1998 年 4 月设立，办理全市财产保险业务。2000 年，规模扩大，员工增至 16 人，并成立业管部、财务部、业务部、总经理室。2002 年 3 月，更名为中国平安保险股份有限公司太仓支公司，并相继设立沙溪、浏河、岳王、璜泾、陆渡、浮桥、新湖 7 个乡镇网点。2003 年，产、寿险分营，分别成立中国平安财产保险股份有限公司太仓支公司（简称平安财险太仓支公司）和中国平安人寿保险股份有限公司太仓支公司（简称平安寿险太仓支公司）。2005 年，平安财险太仓支公司保费收入 1500 万元，赔付 712.48 万元。有员工 30 人。平安寿险太仓支公司保费累计收入 2128 万元，其中首年保费收入 749 万元。累计赔付 2766 笔，赔款 600.87 万元。有员工 9 人，保险代理人 280 人。

天安保险股份有限公司太仓支公司 简称天安保险太仓支公司，2003 年 3 月 28 日成立。经营人民币和外币的各种财产保险、责任保险、信用保险和其他特约保险服务。2005 年，天安保险太仓支公司承保各类风险 35 亿元，处理各类赔案 3287 件，支付赔款 1041 万元。

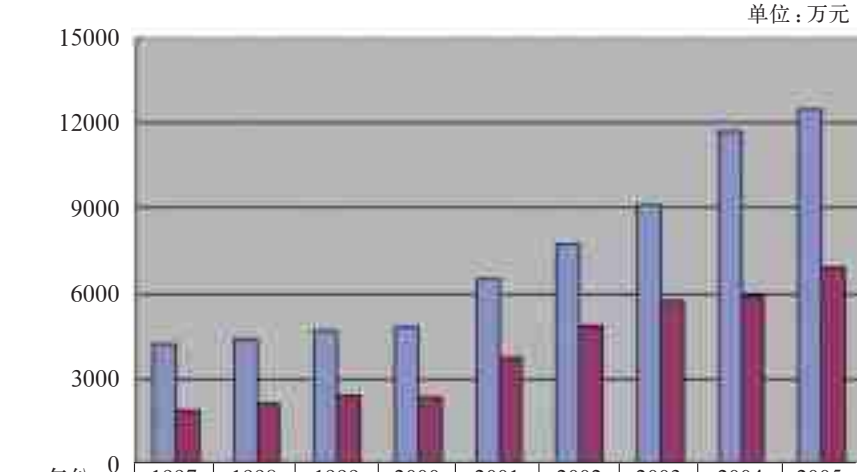
2005年年末太仓市保险机构情况表

表 194

机构名称	开办时间	地址	业务范围	营销点(个)
人保财险太仓支公司	1984-11	县府街28号	财产保险	22
人保寿险太仓支公司	1996-05	县府街28号	人寿保险	28
太保财险太仓支公司	1996-10	上海西路6号	财产保险	5
平安财险太仓支公司	1998-04	人民北路24号	财产保险	7
太保寿险太仓支公司	2000-10	柳州路38号	人寿保险	11
平安寿险太仓支公司	2003-03	新华西路33号	人寿保险	1
天安保险太仓支公司	2003-03	人民南路1号	财产保险	1

【财产保险】

1985 年，开办企业财产险、家庭财产险、机动车辆险等财险品种，全年保费收入 507 万元。1996 年，开办货物运输险。随着机动车数量的增加，机动车辆险占比逐年上升，2003 年后，家用轿车兴起，机动车辆险逐渐成为财产保险业务中的主打品种。2005 年 8 月 6 日，9 号台风“麦莎”袭击太仓，台风洪涝致财产损失较大。各财险公司在第一时间组织查勘理赔，仅人保财险太仓支公司就对 216 家企业、4000 多农户核赔 612 万元。至年末，全市财险的主要险种有机动车辆险、企业财产险、家庭财产险、货物运输险、工程险、责任险等，财险保费收入 12494 万元，比 1985 年增加 23.64 倍。



年份	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
保费收入	4194	4395	4661	4825	6484	7744	9010	11732	12494
赔付	1900	2130	2380	2341	3773	4887	5725	5938	6886

图 20　1997 ～ 2005 年太仓市财产保险业绩示意图

1997～2005年太仓市各财险公司经营情况表

表 195　　单位：万元

年份	人保财险太仓支公司		太保财险太仓支公司		平安财险太仓支公司		天安保险太仓支公司	
	保费收入	赔付	保费收入	赔付	保费收入	赔付	保费收入	赔付
1997	3700	1755	494.28	145.13	—	—	—	—
1998	3868	1937	526.73	192.66	—	—	—	—
1999	4105	2161	555.65	218.85	—	—	—	—
2000	4110	2027	715.28	314.04	—	—	—	—
2001	4445	2731	1289.37	684.50	750	357.00	—	—
2002	4718	2949	2053.83	1381.39	972	556.28	—	—
2003	5225	3299	1783.92	1663.91	986	563.94	1015	198
2004	5994	3692	1936.81	1156.22	1283	526.60	2518	563
2005	7321	4085	2178.03	1047.95	1500	712.48	1495	1041

【人寿保险】

1986 年，太仓开设团体人身险和养老金两个寿险品种，保费收入 155 万元。1992 年，增至团体人身险、养老金、简易人身险、学生团体人身险等 14 个险种，保费收入 353 万元。1996 年，产、寿险分设后，寿险业务发展加快，至太保寿险与平安寿险在太仓设立后，寿险品种和业务量增加迅速。2003 年，全市寿险保费收入

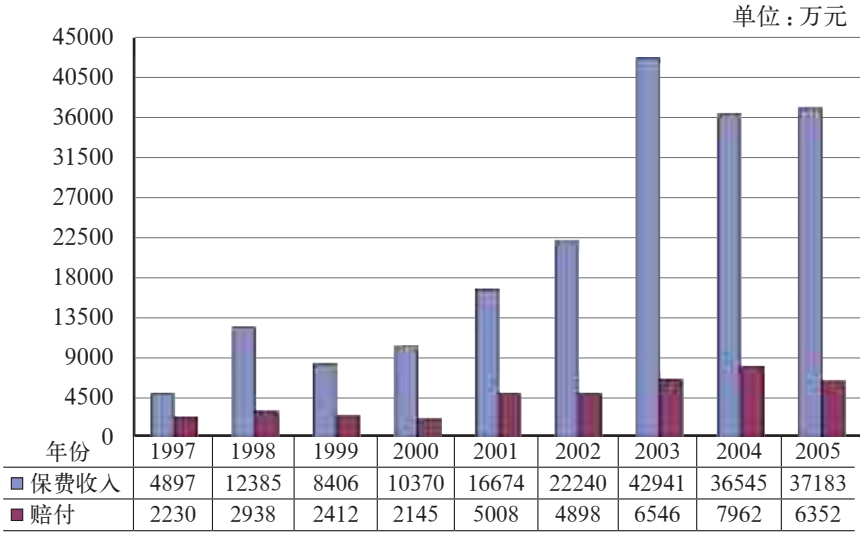


图 21　1997 ～ 2005 年太仓市人寿保险业绩示意图

4.29亿元,为1986年的276.77倍。至2005年,人保寿险太仓支公司获准可开展的团体、个人寿险有169种,其中1年或1年以内的短期健康、医疗补偿保险险种72种,长期寿险包括定期寿险、长期寿险、生死两全险、养老金保险、少儿类、分红类、投资连结类、重大疾病保险等8个大类97种。在经营方法上建立“代理人制度”,吸纳社会适合人员,经组织培训并取得代理资格后,分散到城乡各处,为市民办理各种保险业务。年末,人保寿险太仓支公司和平安寿险太仓支公司分别有420人和280人的代理人队伍。

【典型案例】

地震、雪灾赔付　1990年2月10日,受5.1级地震影响,茜泾马北沪太印染厂22间1300平方米的印花车间墙体出现裂缝,24日23点又受特大风雪袭击,车间全部倒塌,印花大台面、自动印花机及附属设备、产品等严重受损,厂方核算直接经济损失96.96万元。经查实,核定赔偿固定资产损失39.51万元,定额流动资产损失4.39万元,代加工财产损失8.64万元,合计赔款52.64万元。

家财赔付　1997年2月21日凌晨,新塘镇新塘村农户沈建佳家中因电线短路引发火灾,房屋及室内财产全部烧毁,经济损失近10万元。经现场查勘,根据投保及损失程度,核赔7.55万元,其中房屋核赔2.5万元,家电核赔1.84万元,家俱核赔1.77万元,床上用品核赔4910元,衣服类核赔9530元。

火灾赔付　2005年9月7日,苏州欣达长毛绒有限公司,在整理车间定型机上方的风机时,因长时间运转发热引燃飞絮而发生火灾,造成房屋、车间、仓库中大量存货全部焚毁。火灾发生后,天安保险太仓支公司及时派工程专业人员就设备、房屋、存货损失作鉴定,并委托相关的设备生产商、建筑施工单位对可维修项目作维修报价,最终合计赔款79.5万元。

证　券

1993年9月,东吴证券有限责任公司太仓城厢证券营业部(前身为苏州证券公司太仓业务部)开始筹建,1994年3月正式营业。营业部位于上海路,有1个交易大厅,营业面积3000多平方米。经营范围包括沪、深A股、B股代理买卖,各类封闭式基金、开放式基金代理买卖,证券代保管,代理登记过户,代理还本、付息、分

红派息及代理企业债券、国债现券与国债回购等业务。至年末，资金开户 2300 户，成交额 12 亿元，利润 102 万元。1998 年，营业部与中行太仓支行开通银证联网，之后与农行太仓支行、建行太仓支行、工行太仓支行开通银证联网，资金的进出通过网络实现。1999 年 10 月，开放第二个交易大厅，营业面积扩至 5000 多平方米。内设刷卡交易终端 150 个，大户室 10 间，每间安排 2 人，资金量在 100 万元以上，单独配备电脑。证券交易电话委托最多时开通 128 条委托线路。2000 年，交易最活跃，新增开户 6300 户，全年成交额 92 亿元，利润 1600 万元。2002 年 10 月，营业部下设沙溪镇、浏河镇、浏家港镇等 3 个证券服务部。2003 年 6 月，浏家港镇证券服务部迁往昆山环城北路，归属东吴证券昆山营业部。2005 年，证券交易电话委托开通 8 路。网上交易站点的网协地址有 3 路，分别为东吴总部电信入口一（61.132.116.211）；东吴总部电信入口二（58.211.94.45）；东吴总部网通入口（221.6.67.124），线路出口带宽 100 兆，可容纳 6000 人委托同时在线，3.5 万人登陆行情同时在线。营业部有员工 31 人，其中 3 人具有证券投资咨询业务的执业资格证书。1994 ～ 2005 年，累计资金开户 30806 户，成交额 454.07 亿元。

1994～2005年太仓城厢证券营业部交易情况表

表 196

年份	资金开户（户）	成交额（亿元）	利润（万元）
1994	2300	12.00	102.00
1995	4500	34.00	500.00
1996	4000	27.70	350.00
1997	5100	36.00	600.00
1998	4100	27.00	348.00
1999	2847	44.46	450.00
2000	6300	92.00	1600.00
2001	350	45.00	905.00
2002	200	28.00	200.00
2003	281	30.80	147.00
2004	507	43.89	496.99
2005	321	33.22	340.79
合计	30806	454.07	6039.78

拍卖典当

【拍卖行】

机　构　80年代,太仓未设拍卖机构。90年代,因企业超储积压物资需寻求市场出路,拍卖行应运而生。1991年,由太仓市经贸总公司出资,与江苏省拍卖总行联办的太仓拍卖分行开始运作。2000年,苏州市天龙拍卖有限公司入驻太仓。2001年,太仓拍卖分行注册为苏州金仓拍卖行有限公司。2002年3月,苏州市天龙拍卖有限公司在太仓注册并更名为苏州市天泰拍卖有限公司(简称天泰拍卖公司)。至2004年,陆续又兴办2家拍卖行。同年4月,苏州金仓拍卖行有限公司通过股权转让更名为苏州新锦基拍卖行有限公司。2005年年末,境内共有拍卖机构4家。

2005年年末太仓市拍卖机构一览表

表197

机构名称	开办时间	注册地址	注册资金(万元)	驻太仓地址
苏州市天泰拍卖有限公司	2002—03	太仓市东仓北路2号	200	东仓北路2号
苏州金腾拍卖有限公司	2003—06	苏州市道前街56号	100	北门街8号二楼
苏州新锦基拍卖行有限公司	2004—04	太仓市武陵街124—1号	100	武陵街124—1号
苏州市泰和拍卖行有限公司	2004—06	苏州市平江区富仁坊巷68号	100	南园东路9—18号

业　务　拍卖机构在接受客户的拍卖委托并签订委托合同后,通过媒体刊登拍卖公告,参与竞拍者按拍卖标的评估价的10%交纳竞买保证金,拍卖会采取举牌竞价方式,按最高价确定中标者。拍卖成交后,签署拍卖成交确认书,交付货款,办理拍品交割。拍卖行向委托方收取成交价5%以内的佣金。如出现流拍,拍卖行向委托方出具流拍报告,说明流拍原因,提出合理建议。2001年5月10日,苏州天龙拍卖有限公司受太仓市贸易局委托,拍卖转让位于市中心的14家商业店铺。38名竞买人参拍,14项拍品总成交额388万元,超出评估价近1倍。其中1号拍品由每

平方米5800元起拍，经42轮竞价，以每平方米1.3万元成交。2003年1月15日，位于市中心的部分店铺由天泰拍卖公司主槌，经近100名竞买人2个多小时竞争全部拍出。县府街、新华西路的店铺底价分别为1.18万元和7800元，最后成交价分别为1.6万元和1.05万元，国有资产随之增值228万元。2005年，政府机关实施公务用车改革，取消大量公车并公开拍卖。天泰拍卖公司受市车改领导小组委托，依法对124辆公车组织拍卖。同年4月30日下午，285名竞买人参拍，经3个多小时竞争，首日62辆中的56辆拍卖成交，成交总额373.9万元，平均超出底价68%。5月1日下午，214名竞买人参与竞拍，62辆中的60辆拍卖成交，成交总额466.2万元，平均超出底价45%。

2005年4月30日，公车1号拍品，起拍参考价4.5万元

【典当行】

1999年，经贸公司在长春路10号首开经苑典当行。2005年，香塘集团注资1500万元，将其转制注册为苏州香塘经苑典当行有限公司，注册资金2000万元，地址位于朝阳路3号香塘大厦内，员工13人。经营的业务分为贵重物品质押和不动产抵押两类，当品以金银首饰、手机、家电和房屋为主。当品一般按市场价的70%估价，估价后，付给当户现款，并签发当票。当铺除向当户按月收取0.6%的利息外，还要按当品估价的2.7%～4.2%收取综合费用，房屋等不动产抵押可按下限2.7%收取，物品质押则按上限4.2%收取。典押期限一般为1个月，最长不超过6个月。到期赎取当品时，当户必须还本付利。自入当至赎当计时，满1个月或不满1个月的，按1个月计息，超过1个月的，不满5天按5天计息，5天以上，视当品价值酌情确定为半个月或1个月计息。到期不赎可续赎。过期不赎当者，即成“绝当”，3万元以上当品依法拍卖，3万元以下当品当铺可自行处置，拍卖或处置后的收入归当铺所有。全年共接受典押业务3684笔，典当总额1.61亿元，年末典当余额1932万元，上缴税金23.4万元，税后利润113万元。

六、房地产

1986年，全县的家庭住房以农村自建和城镇公房租赁为主。1992年起，城镇开展住房制度改革，住房步入商品化时代，房地产开发企业应运而生，逐步兴旺。1998年，老城区开始进行街坊改造，并向外围延伸。2003年后，房地产进入大发展阶段，一批批商品房拔地而起，楼盘不断升高，小区档次逐渐提高，价格随之上升，商品房销售和二手房交易日渐兴旺。农民开始进入城区购买商品房，征地农民住进别墅式或公寓式商品房。至2005年，全市共销售商品房345.63万平方米，二手房交易16086宗。

开　发

1986年，市民对于住宅消费的概念非常陌生，单位职工，租住本单位职工宿舍，没有工作单位的市民租住房管所公房，居住面积均不宽敞，中、小户居多。房地产企业仅有县城镇建设开发公司和县城厢房产发展公司。房屋建造集中在城区中心地段，楼层普遍在4层以下。至1991年，县城镇建设开发公司和城厢、沙溪、浏河3个镇房管所共竣工商品房14.46万平方米，建成的住宅小区有人民新村、娄东新村、梅园新村、桃园新村、康乐新村、太平新村等。1992年，国家放开土地划拨政策，允许土地有偿出让，房地产开发公司通过市场取得土地使用权，房地产市场开始启动。全年商品房施工面积17.8万平方米。1993年，随着国家房改制度的建立，职工住房由租赁转为购买，房地产业发展出现契机。至1997年，综合开发公司、金建开发公司、登创开发公司等房地产开发企业先后成立。同期，《关于进一步加强城市住宅配套设施建设管理的通知》出台，对住宅小区配套和环境建设提出要求，保证开发质量。先后建成惠阳小区、国泰花园、北京新村、洋沙新村、向阳小区等住宅小区。1998年后，市民对居住条件的改善有迫切需求，商品房开发每年新开工面积在18万～36万平方米。同时，商品房开发与旧城改造结合，许多房地产企业参与城市改造，配合政府拆旧建新。至2002年，先后建成世纪苑、娄江雅苑、阳光花苑、昌平小区、富豪小区、景仓花园、果园新村、江南花园、盛大花园、德兴村、津华园等住宅小区。2003年，国家逐渐规范土地管理政策，出让土地的价格上扬，房价

随之大幅攀升。市区中心的可开发土地面积有限，开发商逐渐把目光投向开发区。同时，外地房地产商进入太仓市场。外来人口的购房和外地房地产企业的加入，为太仓住宅发展增强了活力，小高层、高层住宅开始出现。至2005年年末，先后建成锦园小区、名都花苑、华侨公寓、铭成花园、白云渡公寓、五洋商城、君悦豪庭、华侨花园、高尔夫湖滨花园、华源上海城、锦绣新城、宝龙广场，高成上海假日完成一期开发，世纪广场完成土建，进入外装饰。

1993～2005年太仓市商品房开发统计表

表198　　单位：万平方米

年份	施工面积	新开工面积	竣工面积
1993	22.76	13.75	16.60
1994	19.95	15.64	10.26
1995	30.15	17.78	14.44
1996	26.09	9.58	18.42
1997	31.38	16.34	20.53
1998	31.59	17.91	19.32
1999	44.60	21.72	28.54
2000	49.35	36.27	28.54
2001	46.77	25.47	25.99
2002	45.76	22.39	30.89
2003	55.35	38.40	25.14
2004	182.36	122.15	35.00
2005	243.16	78.08	55.98
合计	829.27	435.48	329.65

2005年太仓市主要房地产开发企业名录表

表199

企业名称	成立时间	资质	主要工程	代表工程
太仓市综合房地产开发有限公司	1991	三级资质	桃园、惠阳、果园、太平、景都小区、新东街、公园弄改造	—
太仓华侨房地产开发有限公司	1993–04	三级资质	华凇、华新、惠阳、府南新村、桔园、华侨公寓、华侨花园、君悦豪庭	华侨公寓、华侨花园、君悦豪庭

续表 199

企业名称	成立时间	资质	主要工程	代表工程
苏州铭成房地产开发有限公司	1993-08	二级资质	梅园、太平、惠阳、桃园、花园小区、华侨花园、新东街、北门街、人民新村改造	铭成花园别墅、华侨花园
江苏高成房地产开发有限公司	1993-08	二级资质	高成上海假日	高成上海假日
苏州万鸿房地产开发有限公司	1994-08	三级资质	万鸿工业园、万鸿别墅、千禧苑、锦园、城市华庭、新东街、北门街、武陵街改造	锦园、城市华庭
江苏五洋房地产有限公司	1998-03	二级资质	北壕弄改造、城厢一小教学楼、恒洋花园、华侨花园、五洋商城	五洋商城、华侨花园
太仓市经济适用房开发中心	1999-10	三级资质	世纪苑	世纪苑
苏州协鑫置业有限公司	2003	二级资质	高尔夫湖滨花苑	高尔夫湖滨花苑
苏州瓯江房地产投资开发有限公司	2004	三级资质	世纪广场	世纪广场

交　易

【商品房销售】

1986 年，住房是一种福利，由单位建成后分配给职工租住。至 1992 年，境内的房地产市场尚未形成，只有零星的房屋买卖，7 年累计销售商品房 10.48 万平方米。1993 年，开始住房制度改革，优惠出售公有住房，全年成交房屋面积 13.03 万平方米。1995 年，房屋信贷开始发放，购房人以所购商品房作为抵押，可申请一定额度的住房公积金贷款。全年办理抵押登记、发放他项权证书 171 户。此后，房屋信贷从单一性公积金贷款扩至商业性房贷及组合贷款，购房者首付一般降低为 30%，抵押贷款额度可达 70%。至 1996 年，累计优惠出售单位公房 1.87 万套，面积 138.4 万平方米，售房收入 3.02 亿元。1998 年 12 月 1 日起，停止住房实物分配，逐步实行住房分配货币化，全年销售商品房 19.67 万平方米。1999 年起，为改善居住条件，出售原有旧房而购买面积更大的新房者渐多，全年“二手房”（存量房）交易 890 宗，2002 年增至 1800 宗。2005 年，销售商品房 88.98 万平方米，“二手房”成交额为 8.08 亿元。

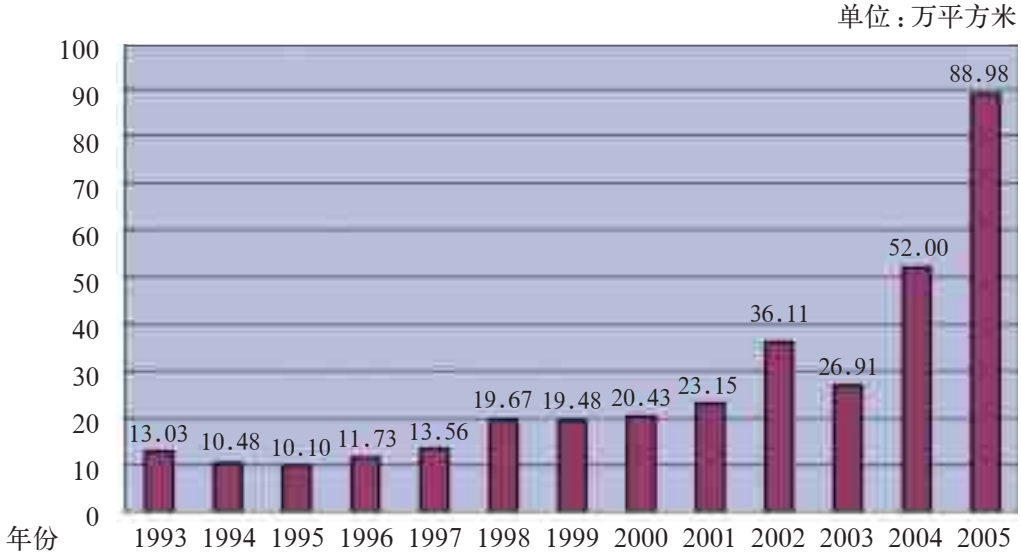


图 22　1993 ～ 2005 年太仓市商品房销售统计图

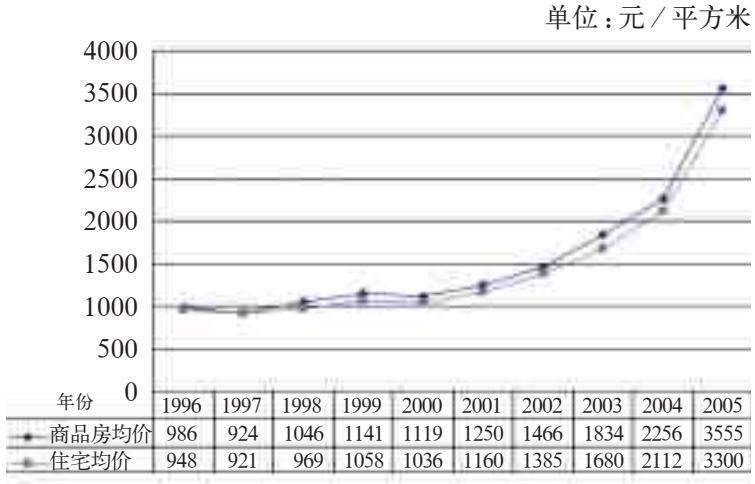


图 23　1996 ～ 2005 年太仓市房价变化示意图

【房地产交易中心】

1991 年 11 月 12 日，太仓县房地产交易所成立，1992 年 6 月 12 日开始运作。1999 年 4 月 8 日，更名为太仓市房地产交易服务中心。负责承办全市房屋权属的转让、抵押、租赁等交易活动。进行房产登记、立契、鉴证和价格审查，核发房屋权属证书。对房地产中介企业和中介从业人员实行行业管理。2002 年 7 月，迁址市区县府东街 16 号新大楼。2005 年 5 月，开通网上房产信息媒介——太仓房地产网（www.tcfdc.net）。发布新开楼盘房源、“二手房”出售、房屋出租、求租等

信息,开发商、中介公司和个人均可登陆发布信息。至年末,全市存量房累计交易15345宗,新建商品房交易304.98万平方米。

1992～2005年太仓市(县)房地产交易统计表

表200

年份	存量房		新建商品房	
	宗数(宗)	面积(万平方米)	套(幢)数	面积(万平方米)
1992	40	0.67	31幢	3.72
1993	97	2.06	—	10.35
1994	93	1.18	1700套	15.00
1995	140	2.00	1200套	11.00
1996	160	16.00	1500套	14.00
1997	290	14.60	1477套	13.50
1998	550	24.00	1627套	17.13
1999	890	31.20	3980套	33.00
2000	1383	32.00	3652套	32.00
2001	1500	35.00	3900套	30.00
2002	1800	47.00	2030套	22.00
2003	3168	57.50	—	24.00
2004	2800	67.00	—	36.48
2005	2434	76.00	4788套	42.80
合计	15345	406.21	—	304.98

管　理

【公房管理】

在住房商品化之前,城镇职工大多数租住公房,各镇房管所负责收缴租金和维修房屋。1986年,城厢、沙溪、浏河3个镇房管所全年维修公房1.45万平方米,房屋完好率82%,租金收缴率99.8%。1987～1990年,每年3个镇房管所维修公房面积在1万～1.4万平方米,抢修危房55处,房屋完好率保持80%,租金收缴率保持99.5%。1991年,换发租赁卡3353户。1995年,拆除危旧公房3500平方米,翻建1.25万平方米。1996年,拆除危旧公房1700平方米,新建4500平方米。

90 年代后期起，住房开始商品化，拥有自有住房者渐多，大量公房优惠售给职工，公房管理业务逐渐萎缩。2003 年起，停止新建公房。

【产权产籍管理】

1986 年 6 月，国家颁布土地管理法。同年 11 月，太仓县设立城建档案馆，集中存放和统一管理包括房屋产权产籍档案在内的各类城建档案。城市商品房的房屋所有权归业主所有，无论新房旧房交易，房地产交易所（服务中心）均依法进行房屋权属登记、转移和发证，对抵押房产进行他项权利登记。1988 年，根据法规，城市土地属国有，购房市民依法享有国有土地使用权；农房宅基地属集体所有，农户依法享有集体土地使用权。1989 年，县土地局开展农村居民宅基地登记发证工作，全县共核发农村宅基地使用权证书 8.37 万本。1993 年，住房制度改革，单位公有住房优惠出售给职工。1997 年 5 月，对涉及到土地使用权变更的，由房改单位按出售房屋的土地分摊面积，办理房改房土地过户登记手续，确认给购房者。全年 198 家单位核发国有土地使用证 8344 本。2000 年，全市开展商品房土地登记发证工作。由房产开发公司按出售的商品房土地分摊面积，办理商品房过户土地登记手续，全年核发国有土地使用证 8012 本。2003 年，房改房土地发证结束，共核发国有土地使用证 1.42 万本。随着商品房交易的市场化，二手房交易频繁，至 2005 年，二手房交易土地变更登记累计发证 1.05 万本。商品房国有土地使用证累计核发 1.86 万本。

1994～2005年太仓市房屋权属登记统计表

表 201

年份	房产登记（件）	发证面积（万平方米）	抵押登记（件）	抵押面积（万平方米）	抵押金额（亿元）
1994	9787	80.80	—	—	—
1995	3721	76.10	—	—	—
1996	2731	73.60	—	—	—
1997	3180	111.99	—	—	—
1998	3652	259.16	—	—	—
1999	4784	127.40	—	—	—

续表 201

年份	房产登记（件）	发证面积（万平方米）	抵押登记（件）	抵押面积（万平方米）	抵押金额（亿元）
2000	4950	122.30	—	—	—
2001	5755	143.19	2528	124.13	6.69
2002	8183	173.35	3289	151.69	9.91
2003	8792	257.14	5591	214.18	16.66
2004	7613	256.61	5097	329.33	19.77
2005	8914	353.47	4666	292.92	42.68

【房产中介】

1997 年，全市有 3 家房地产中介公司，2002 年发展至 41 家，以后略有下降，至 2005 年有 30 家。较有知名度的中介公司有旭龙、佳苑、经典、宝家隆等。二手房交易量从 1993 年的 97 宗增至 2000 年的 1383 宗，2003 年达到最高 3168 宗，以后略有下降，2005 年有 2434 宗。

【物业管理】

80 年代至 90 年代，境内住房一般未形成封闭式小区，难以进行有效的物业管理。1999 年 5 月，市政府印发《太仓市市区住宅小区物业管理实施意见》，市政府办公室转发太仓市建设委员会的物业管理实施细则，对物业管理企业的性质、职责、经费来源及物业管理的具体要求作出明确规定。同年，梅园、桃园、康乐、娄东、惠阳 5 个住宅小区选聘城房物业、金建物业、恒洋物业、大众物业、华侨物业为各自小区进行物业管理。小区物业管理的工作范围包括保安、保洁、绿化、维修等服务性项目。2000 年以后建成的小区，均有封闭式门卫和专业物业管理。小区物业管理比较好的有阳光花苑、昌平小区、江南花园、千禧苑、娄江雅苑等。2005 年，全市物业管理公司由 5 家增至 15 家，主要有城房物业、世纪苑物业、众信物业、协鑫物业、景苑物业、沿江物业、君悦物业、天成物业、高成物业等。管理范围由 5 个小区增至 58 个住宅小区（组团）、31 处工厂和商城，管理面积由 38.13 万平方米增至 299 万平方米。物业管理交费标准由物价局统一制定标准，每平方米收取 0.4 ～ 1.2 元的管理费。

小区楼盘

【概　况】

1982 年，人民新村竣工，是境内最早建成的居民小区。小区按照简易标准统一建造，俗称“六统一”（统一征地、设计、施工、管理、资金、分配），有些房屋卫生设施不配套，有些没有自行车车库。80 年代中后期，陆续建成娄东、桃园、南园、梅园、康乐、太平新村等住宅小区，小区房型较单一，面积小，通常在 60 ～ 80 平方米。小区内道路狭窄，绿化很少，没有设置停车位或汽车库。90 年代建成的惠阳小区以及老城区街坊改造建成的德兴小区等仍无较大改观。2000 年后，新建的小区档次有所提高，房型改进，三室以上居多，讲究有大客厅，双卫生间，面积大多在 100 平方米以上。小区的环境开始被重视，较有代表性的是世纪苑小区。2004 年，境内出现小高层住宅。此后，大片开发的高档小区中，高楼林立，别墅连片。至 2005 年年末，此类楼盘尚在建设之中。其中位于浏河镇占地面积 41.2 万平方米的高成上海假日小区一期别墅、酒店式公寓竣工，位于市区西门、占地面积 4.41 万平方米的君悦豪庭小区 15 幢高层进入外装饰，位于长春南路的上海花园小区一期工程竣工，位于滨河路与东亭路交界处、占地面积 29.31 万平方米的华侨花园小区一期工程竣工，位于华侨花园小区对面、占地面积 13.87 万平方米的高尔夫湖滨花园别墅区竣工，位于市区东南角、占地面积 44.3 万平方米的锦绣新城小区多层竣工、高层开工。

2000～2005年太仓市主要新建楼盘情况表

表 202

名称	建成时间	位址	占地面积（万平方米）	建筑总面积（万平方米）	物业形态	居民户数（户）	绿化率（%）
娄江雅苑	2001	滨河路	2.98	2.93	别墅小区	98	48.0
果园一村	2001	南园西路	1.40	2.00	多层12幢	200	56.0
昌平小区	2003	县府街	3.00	5.00	多层15幢	400	30.0
江南花园	2003	长埭弄	2.45	4.77	多层9幢	196	40.0
富豪小区	2004	人民南路	3.35	2.91	多层商铺	248	—
名都花苑	2004	郑和路	3.02	3.40	多层8幢 别墅11幢	179	31.5

续表 202

名称	建成时间	位址	占地面积(万平方米)	建筑总面积(万平方米)	物业形态	居民户数(户)	绿化率(%)
彩虹花苑	2005	人民北路	4.50	7.00	多层11幢 高层4幢 别墅4幢	456	—
华侨公寓	2005	锦州路	2.52	4.18	高层 多层 商铺	268	—
锦园小区	2005	锦州路	2.01	2.70	多层10幢	176	37.4
白云渡公寓	2005	陆渡镇	2.78	5.43	多层 高层 商铺	—	—

【世纪苑小区】

位于市区东仓路和滨河路交界处,由建设部人居环境研究所整体规划,苏州园林设计院设计,建筑设计风格定位为典型的江南园林式住宅小区。占地面积23.41万平方米,其中住宅占地面积8.14万平方米。房屋建筑面积24.65万平方米(不包括自行车库和室内停车位面积),其中住宅用房23.41万平方米,公共配套用房1.24万平方米。建有公寓房47幢1149户,别墅100幢118户。小区绿化面积30.8%,有一个占地面积1.33万平方米,具有江南园林特色的中央公园,拱桥、水榭、长廊、中心湖,满目葱绿,景色怡人。小区建有1000多平方米的文化广场和多处休闲中心,配备有菜场、超市、物业管理中心、银行、邮局、医院、幼儿园、网球场、室内游泳馆、健身中心、老年活动室等设施。2001年,被国家居住与环境工程研究中心、中国房地产协会、城市开发专业委员会评为年度全国优秀环境小区。2004年,被评为江苏省物业管理优秀小区。

2001年世纪苑被评为全国优秀环境小区

综合经济管理

卷十二

ZONG HE JING JI GUAN LI

1986 ~ 2005 年，全市（县）综合经济管理部门依法进行日常监督管理，逐步建立起与国民经济和社会发展相适应的综合经济管理体系，形成与社会主义市场经济相协调的管理模式，促进了全市（县）经济结构的调整，推动了全市（县）经济的协调发展。1986 年，计划管理开始简政放权。90 年代起，各综合经济管理部门强化宏观调控和监督社会经济活动职能，经济管理由直接管理向间接管理过渡。1994 年，全市财政体制改革逐步深化，市国税局和市地税局分别成立。此后，工商行政、质量技术监督、药品食品监管部门实行系统内垂直管理。价格管理形成了政府定价、政府指导价、市场调节价等多种形式并存的模式。2005 年，太仓列全国百强县（市）第九位；全市财政收入 45.18 亿元；有中国驰名商标 1 件，江苏省著名商标 18 件；中国名牌产品 1 个，江苏省名牌产品 9 个。1986 ~ 2005 年，审计机关完成各项审计项目 1225 个，直接增加财政收入 9728 万元。

一、计划管理

县级经济计划管理处于国家宏观调控与基层企业微观经济活动的结合部，是经济发展模式变化反映最直接、具体的一个层面。1986 ~ 2005 年，随着计划经济逐步向市场经济过渡，太仓市（县）计划管理的内涵发生深刻变化，走过一个从编制计划下指标到综合协调管理再到深化改革、服务发展的全过程。计划管理机构几易其名，从县计划委员会到市发展计划委员会（简称市发计委）再到市发展和改革委员会（简称市发改委）。工作重心亦不断变化，在计划经济时代，是单纯的管指标，分物资；其后的过渡阶段，重点在研究编制地区发展规划，审批项目；市场放开以后，计划工作的核心是强化科学发展、可持续发展、协调发展的战略性研究，探讨机制、体制改革的思路，为基层服务，为领导决策服务。

职能转换

1978 年，太仓沿袭高度集中的计划经济体制。1982 年，县计划部门提出《关

于改进县级计划工作的建议》,推行多种形式的经济承包责任制。1986 年,计划管理开始简政放权,推行有计划商品经济,提倡大计划、小自由,大集中、小分散,管而不死、活而不乱,年度计划中积极尝试指导性计划。全县国内生产总值 8.21 亿元。90 年代,太仓的改革开放速度加快,计划工作被定位为对全市(县)经济运行和社会事业发展进行综合平衡和协调服务。1996 年 12 月,制定《太仓市计划委员会职能配置、内设机构和人员编制方案》,提出按照发展社会主义市场经济的要求,突出计划的宏观性、战略性和政策性,强化宏观调控和监督社会经济活动职能,而微观经济活动则由市场调节和企事业单位自行管理。

2001 年 10 月,市计委更名为市发计委,职能有所调整,增加信息化、电力行政管理的工作职能。计划工作侧重于指导、协调国民经济和社会发展,强化战略规划、经济监测、宏观调节和投资管理等职能。全年完成国内生产总值 157.98 亿元,实现小康社会。2004 年,太仓市首次进入全国百强县前 10 位行列。2005 年 4 月,市发计委更名为市发改委,职能进一步转变,增加经济体制改革和经济动员、信息动员的工作职能。计划工作强调宏观调控、整体指导和综合协调,减少微观管理事务、行政审批和对经济活动的直接行政干预,加强调查研究,尤其是对全市经济社会发展、改革和稳定的重大问题、全局性问题的研究。开展季度主要经济指标预测分析,推进投融资体制改革,着眼经济可持续发展的战略指导和重大问题协调,促进经济、资源和环境的协调发展。全年实现地区生产总值 295 亿元,人均 6.47 万元。太仓市第二次进入全国百强县前 10 位行列。

综合协调

【计划编制】

1986 年,《太仓县 1986 年的计划》中尝试指导性计划,农业方面,仅下达主要产品产量计划,要求各地在保证完成合同定购任务基础上,因地制宜进行产业结构改革;工业方面,试行各单位自下而上制订计划,将年度计划下达时间,提前至上年年末,为基层企业安排年初工作创造条件。同年,先后完成《太仓县国民经济和社会发展“七五”规划纲要》《太仓县外向型发展规划》《太仓县战略产品目录》《太仓县食品工业调整规划》等。地方经济开始走上持续、稳定、协调发展轨道。1987 年起,实施定期对全县经济计划执行情况的调查,分析研究、把握经济形势,

坚持月检查、季分析、半年一预测，对计划执行过程中遇到的困难和问题，及时提出意见建议，为领导决策服务。1992 年，计划工作实现从具体分钱分物转向研究经济政策，综合运用经济杠杆；从实物量控制为主，转向价值控制为主；从单一的行政手段转向计划手段和行政手段相结合；从注重计划安排转向组织实施和检查计划的执行。

21 世纪初，编制《太仓市生产力布局调整规划》及农业、工业、旅游、道路交通、城镇体系等方面的生产力布局规划。选择接轨上海、促进投资增长、信息化问题、对加入世界贸易组织（WTO）的影响问题、乡镇工业、小区建设问题、农业产业化问题等数十个课题，形成一批调研报告。市委、市政府采纳信息化、电子政务、乡镇工业、小区问题等十几项建议，发文组织实施。2005 年，编制全市载体建设规划、沿沪产业带规划，形成《太仓市功能定位及发展对策研究》《太仓港在上海组合港中的功能定位》《如何接受黄浦江综合开发产业转移对太仓发展的辐射》等调研材料。围绕加快开发区建设、重点做好接轨上海工作、抓好以“两资”（内资、外资）为重点的招商引资和项目建设、加快推进国民经济信息化、调整经济结构、提升城市形象 6 个方面，建设太仓市经济发展新格局。

【固定资产投资】

中华人民共和国成立后 56 年间，太仓固定资产投资经历了从曲线缓慢发展到直线快速增长的过程。前 36 年（1949 ～ 1985 年）是曲线缓慢发展，后 20 年（1986 ～ 2005 年）则直线上升。56 年间，太仓实现全社会固定资产投资总规模 718.18 亿元，其中前 36 年实现投资额 1.09 亿元，占 56 年投资总规模的 0.15%；1986 ～ 2000 年实现投资额 192.54 亿元，占 26.81%；2001 ～ 2005 年，实现投资额 524.55 万元，占 73.04%。

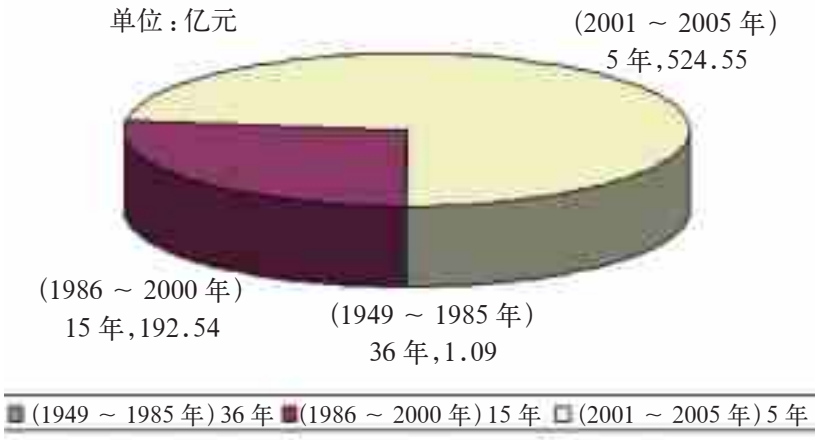


图 24　太仓市历年固定资产投资规模示意图

太仓固定资产投资出现过 4 次高峰。第一次，“七五”

期间,全县固定资产投资实现2.11亿元,比“六五”期间增长7.25倍。乡镇工业大量投资,促进乡镇企业迅猛发展,大批农民“离土不离乡、进厂不进城”。1988年年末,全县有乡镇工业企业3001家,从业人员12.12万人,创产值23.26亿元,分别占全县工业企业数的96.12%、从业人员的82.17%、工业总产值的72.15%。同年,沙溪、浏河、鹿河、城厢等10个乡镇的工业总产值均超过1亿元,成为太仓首批工业总产值超1亿元乡镇。第二次,“八五”期间,实现固定资产投资总额29.96亿元,比“七五”期间增长13.2倍,其中1995年,投资额为12.23亿元。第三次,2003年,完成固定资产投资额111.18亿元,同比增长85.2%,新批及上年结转投资项目1337个,同比增长62.7%。大项目成投资亮点,全市在建、新建外资1000万美元以上和内资2000万元以上规模型投资项目110个,投资总额210.57亿元,年内完成投资83.7亿元。环保电厂二期、玖龙纸业一期、申久化纤、苏昆太高速公路等7个项目投资规模均在10亿元以上,总投资规模118亿元。列入苏州市重点管理的7个项目投资总额89.12亿元,实际完成31.92亿元,占全市投资总额的28.71%。第四次,2005年,完成投资170.92亿元,同比增长21.3%,新开工283项,占全社会在建项目数的76.9%。年内确定38个重点建设项目,在建33项,其中华能集团二期工程列入国家级重点项目,完成投资27.38亿元;列入省级重点项目3个,完成投资27.88亿元;列入苏州市级重点项目4个,完成投资52.64亿元。工业性投入继续发挥主导作用,全年完成投资119.8亿元,同比增长31.6%,占全社会完成数的70.1%。外商、民营投资稳定增长,全年外商投资完成59.3亿元,同比增长5.7%;民营企业投资完成45.3亿元,同比增长13.7%。

【能源电力】

80年代后期,乡镇企业崛起,经济发展加快,全县电力需求逐年增长,供需矛盾突出。1986～1997年,太仓年均计划电量占苏州市(不含苏州市区)计划总量的11.4%,并呈逐年下降趋势,1987年1.91亿千瓦时,1997年降至1.07亿千瓦时,电力缺口不断加大。12年计划统配电量累计16.67亿千瓦时,占用电总量的25.5%,74.5%的供电缺口通过组织计划外电力资源来满足需要。主要方式有5种:以物资部门和工业销售公司为主体,筹措协作议价2000多万吨煤炭、100多万吨燃油用于发电,获计划外电量365048万千瓦时;根据电力主管部门、电网电厂需要,组织物资部门和工业供销公司筹措协作议价钢材、铝锭等紧缺物资换取电

量 27045 万千瓦时；参股部属电厂的新建、扩建工程，按照投资比例获得计划集资电量 82517 万千瓦时；发挥紧靠上海和人少地多的优势，在浏河镇境内阅兵台附近，为华能上海石洞口第二电厂提供堆放煤灰、煤渣场地，获得上海电网部分平价电量；各工厂企业自办柴油机发电，百科酿酒总厂、金龙集团、太仓针织总厂的热电车间除本厂自用，多余电力并网投运，自办潮汐电站、岳王电厂、宏达热电厂等小型发电厂上网供电，其中柴油机发电共获电源 15106 万千瓦时。组织计划外电源的同时，千方百计调整负荷，针对不同时段加强计划用电管理，妥善安排各行各业用电。正常时期保工业，农忙季节保农业，灯峰时段保照明。工厂企业采用“开三停二”“开四停三”，调整企业生产班次和厂休日，错开上下班时间，安排设备检修和避峰。平时开足生产，农忙让电支农，耗电量大的砖瓦厂等企业原则上限用深夜电。民用电实行峰谷差别价，促使多用夜间低谷电。

1997 年后，引进内资、外资兴办的电厂陆续投运。2000 年全社会用电量 12.72 亿千瓦时。至 2005 年，境内上网电厂 8 家，发电总装机容量从 1985 年的 0.39 万千瓦升至 476.6 万千瓦，年发电量从 1061 万千瓦时升至 127.43 亿千瓦时，分别增长 1221.05 倍和 1200.04 倍，成为江苏省电力生产基地。由“受电县”变为“输电市”，太仓电网成为极具活力的市（县）级电网。同年，全社会用电量 38.97 亿千瓦时，其中用电量最高的一天超过 1988 年全年城乡居民的用电量。

【信息化】

信息化管理　1988 年，县计委自主研发“县级经济计划管理软件工具包”，1989 年 7 月通过省科委组织的技术成果鉴定。1990 年 2 月 6 日，县计委增设信息科。1991 年 6 月 24 日，县经济信息中心建立，隶属县计委领导。1996 年，《太仓市国民经济信息化工程实施意见》中首次提出建设全市经济信息化网络系统的设想。同年，市国民经济信息化工程领导小组成立。1998 年，市公用信息网系统通过省级评定。1999 年 4 月，市政府组建太仓市信息港发展有限公司。6 月，《太仓市信息港工程技术方案》通过专家评审。8 月，编制完成《“十五”时期太仓市经济和社会发展信息化规划》。11 月，提出《关于在太仓市建设江苏省县级数字化城市示范工程》项目。2001 年 1 月，项目得到省计委正式批准。建设内容包括地理信息系统（GIS）、基础数据库工程、宽带网络接入工程、信息港工程、智能化小区示范工程、农业产业化信息工程、教育信息化工程、社会保障体系信息化工程、电子图书工

程和政府电子化工程。3月28日,以太仓信息港为载体,由市信息化领导小组办公室(简称市信息办)与中国新闻社江苏分社合作建设的综合性网站——“长江第一港”(www.sz.chinanews.com.cn)正式开通。11月26日,市委成立太仓市信息化工作委员会,下设办公室。办公室设在市发计委,与市发计委合署办公,内设信息规划协调和信息规划资源2个科室。2002年5月,市经济信息中心更名为市信息中心,额定编制增至9人。2005年,市信息中心经费纳入财政全额拨款。10月,《太仓市国民经济和社会信息化“十一五”专题规划》编制完成。

基础网络建设 1992年,太仓被江苏省信息中心列入使用第三期日元贷款建设信息系统试点单位,县经济信息中心与省信息中心共同开发国家农业信息系统项目的子项目“江苏省农业信息系统”。1993年,软件系统获得省政府科技进步四等奖。1995年,市经济信息中心完成“利用第三期日元贷款建设国家经济信息系统”设计,并由省信息中心汇总至国家信息中心开展国际招标。1996年,100多套电脑及相关软件运抵太仓。同年6月,70多台富士通586、金长城586台式办公电脑及恒升486便携式手提电脑等设备分发到市级机关各部、委、办、局及乡镇。1997年,市网络控制中心机房建成,并在市计委和市政府设置两个分中心,计委、市委、市政府、人大常委会、政协和科委、科协局域网相继建成。同年10月,市区架设4.2千米光缆专线,实现中心机房与市委、市政府、人大常委会、政协、科委及市供电局城域网之间的联通。1998年2月,城域信息网通过省级评定,获江苏省“三期日贷”项目一等奖。

1999年,采用先进的宽带网协技术,网络实施升级改造,网管中心新机房设在市信息港4楼。中心机房除交换设备外,新增环球网络(web)服务器、内部网络服务器、信息资源服务器、防火墙等设施。全市架设光纤900多芯千米,城域主干网覆盖全市。2000年7月,信息港宽带网正式开通,为政府机关、企事业和居民提供局域网、宽带因特网、专线租用等多种宽带数据的接入服务。2003年,配合电子政务应用平台建设,以信息港网络和整合电信网络资源为基础,各部门配置终端通讯设备,中心机房新增交换机、防火墙、服务器等设备,构成电子政务网络平台。2005年,全市市级机关2000多台终端用户全面实施结构调整,采用华为公司虚拟通道(vpn)技术,安装高端路由器与核心交换机,架设与苏州电子政务专网面对面和点对点的安全通道,实现与苏州市办公系统的无缝对接。

网络应用建设 2003年,建设市电子政务办公平台和“中国太仓”门户网站。

通过公开招标，选用北京有生博大软件公司的政务办公软件（RiseSoft）系统作为内部办公平台、南京大汉网络有限公司的“大汉 BX”系统作为门户网站的平台软件。同年 2 月，“中国太仓”门户网站（www.taicang.gov.cn）正式开通。网站以政治、经济为特色，开设《港口建设》《接轨上海》《投资指南》《行政审批》《企业在线》《便民服务》等栏目。10 月，电子政务应用平台、政务信息资源库、核心政务系统、政府门户网站平台，由北京有生博大软件公司完成平台搭建和集成，覆盖市、镇两级机关的统一办公自动化服务系统建成。2004 年 4 月，门户网站后台利用“大汉版通 BX 系统”搭建，实现网站内容统一管理、部门信息分散维护的功能和基于网络面向多用户的远程协同工作，各部门通过内网实现远程自主维护本部门的页面。2005 年，“中国太仓”政府门户网站界面改版，开辟居民、企业、公务员、投资者、旅游者 5 个页面，开设《太仓概览》《市民办事》《企业办事》《网上政府》等 25 个一级栏目、100 多个二级栏目、140 多个三级栏目。新增特色频道《市民直通车》，用户能实时在门户网上发表个人意见，通过网管人员的动态管理和分类管理，及时转发和回复用户的疑问，查看有关统计资料及实现自主应用天泽地理信息系统（GIS）查阅太仓电子地图等功能。同年，政务内网综合平台暨太仓市综合信息资源网正式开通，立足长三角地区，覆盖国内外各行各业。开辟有《新闻中心》《综合要闻》《关注太仓》《领导讲话》《法规政策》《财经信息》《热点快递》《区域经济》《宏观经济》《新经济》等栏目。给市委、市政府领导及相关人员获取及时、准确、可靠的各方信息提供方便和决策依据。

专　记

太仓市电子政务系统

90 年代末，太仓市基础网络建设初具规模，机关各部门相继建成内部局域网。1999 年组建的太仓信息港，通过 3 年网络建设，2002 年基本建成主干城域网，结合太仓电信的网络资源，覆盖全市市、镇两级机关的网络平台具备雏形，全市机关公务人员对实现政务办公网络化、数字化、自动化的呼声很高。但是，由于缺乏统一的基础应用平台，覆盖全市政务的网络应用无法开展，办公自动化无法实现。同年 8 月 1 日，市政府常务会议决定于 12 月开始电子政务一期工程建设，项目内

容主要包括政务应用平台、信息资源库、核心政务系统、政府门户网站平台四部分，投资240万元，其中120万元用于机房设备投资，120万元用于软件平台建设。8月10日，经市政府组成人员全体会议讨论通过，并向市级机关各部门、各镇、两区发出《关于实施电子政务工程建设的通知》。同时成立太仓市信息化工作暨电子政务领导小组，具体负责太仓市电子政务工程的规划、组织、协调和管理。

2003年4月28日，通过市政府采购中心公开招标，北京有生博大软件公司政务办公软件系统中标并负责一期工程软件平台（政府内部办公平台）的集成实施，南京大汉网络有限公司的“大汉BX”系统中标，成为政府门户网站应用管理平台。根据北京有生博大软件公司建议，开展硬件系统的招标，无锡蓝深远望网络公司中标，主要设备有思科3550交换机5台、黑客愁防火墙1台、国际商业机器公司（IBM）345服务器8台、磁盘阵列1个及其他辅助设备等。同年5月，市信息办和北京有生博大软件公司联合组成项目调研组开展项目调研，形成需求报告。7月，北京有生博大项目组进驻太仓，工程进入实施阶段。专网办公平台采用重新组装模块，更改界面表达，初步实现需求报告的基本功能。

2004年3月1日，在市发计委、环保局、计生委、档案局等单位实验运行基础上，太仓市电子政务系统开始试运行。试运行期间，市委、市政府公文采取纸质文件与电子文件并行传输的方法。同时组织机关领导、信息管理员、部门技术人员及公务员600多人次参加专题业务培训，为顺利实施电子政务奠定技术基础。同年11月1日，系统投入正式运行，全市停止纸质文件传输。系统覆盖境内所有部委办局及乡镇，成为全市党政机关共同使用的电子政务平台。99家使用单位的1700余名公务人员分别建立登录账号，按各自权限处理业务。公务人员打开系统登陆界面，输入自己的用户名和密码便可进入系统，从事公文流转、收发、管理等业务操作，内容涵盖公文的起草、审批、会签、发送、传阅、统计、查询、登记、催办和归档等全部流程。

2005年1月10日，由省电子政务建设协调小组办公室、省发改委、东南大学、省信息中心和苏州市信息办等专家教授组成的专家组对太仓市电子政务一期工程验收。专家组一致认为该系统具有统一的支撑平台和个性化的用户界面，规范了办文流程，基本实现公文在党政机关内无障碍流转，平台实施单点登录、全网通行政务内网用户身份统一管理、网络应用资源统一管理和统一访问控制，市委、市政府、市级机关各部门和7个镇2个区系统运行情况良好，达到预期目标，政府机关

办事效率提高，公务成本降低。同年4月，电子政务专网更新防火墙，拓宽通道，由100兆扩至1000兆，增加信息畅通度。安装“启明星辰”网络内部检测系统，做到网络24小时全方位、全自动自主检测。安装“趋势”在线杀毒网络系统，确保核心服务器及1000多台终端的在线查杀病毒，抑制系统局域网内大规模病毒的发作。安装采用存储局域网络（SAN）架构方式建立的网络数据备份系统，确保数据即时备份。9月，由市信息办与江苏移动太仓分公司联合开发的移动短信客户服务系统投入运行。系统采用网络短信发送方式，实现政府各部门及部门之间各类通知、文件等信息的短信群发。12月，对网络结构进行优化配置和资源整合，将4个管理节点调整为3个，更新主服务器网协地址，初步实现与苏州市政务网络互通互联，能登录苏州市委、市政府综合信息网，阅读信息和公开文件，实现资源共享。

二、统　计

经济与社会发展统计

【统计制度】

1986年，贯彻执行国家统计报表制度，全县制有综合平衡、工业、农业、商业、外贸、物资、固定资产、劳动工资、农村住户家庭调查等项统计报表。统计工作由县统一布置，各乡镇政府及经委、粮食局、商业局、物资局、供销社、水利局、农业局、多管局、交通局、文教局、部属和省属等17个主管部门分系统实施。企事业单位按国家和部门的统计制度，填写上报各类统计报表。并形成政府统计、部门统计、基层企事业单位统计的三级统计网络。此后，统计报表范围逐年扩大，统计手段日益现代化，统计信息量越来越大。90年代，统计信息的采集和加工处理，采用计算机数据库体系和网络自动化系统。2005年，全市按国家统计报表制度进行统计的专业有综合平衡、工业、能源、固定资产投资、建筑业、房地产业、劳动工资、科技、人口及劳动力、贸易业、外经、城镇住户、农村住户、企业调查、城市调查等16项。全年调查单位1万多个、填报统计报表195种、处理统计数据895万笔。

【工业统计】

1986年，统计年报增加乡及乡以上独立核算工业企业主要指标汇总，共5个

表种150多项指标。1988年,停止使用工业净产值指标,启用工业增加值指标。1990年起,增加大中型工业企业1套6个表种近200项统计指标。1994年,出现企业集团,增加集团统计报表,共2个表种100多项指标。1996年,取消工业总产值不变价计算指标,调整为工业总产值现价计算口径。1997年年初,开始建立国有及年产品销售收入500万元及以上工业企业的字典库。同年6月,定报采用每月超级汇总和每月逐级汇总相结合的方法上报全市工业统计资料,年报则实行全部镇及镇以上独立核算、年产品销售收入在500万元及以上工业企业超级汇总和逐级汇总综合报表同时上报。1998年起,改革工业统计方法,取消按隶属关系进行统计的办法,将原统计对象为全部乡及乡以上独立核算工业企业,改为按全部国有和年产品销售收入在500万元及以上工业企业进行统计,并试行"上规模企业全面调查,小规模企业抽样调查,两者结合反映总体"的改革方法。2003年,全市有4家工业企业纳入全国重点工业企业5000强联网直报。2005年,年报采用省统一平台进行超级汇总,全部大中型工业企业纳入联网直报,定报超级汇总范围为全部国有和年产品销售收入在1000万元及以上工业企业。

【能源统计】

1993年,能源统计制度和物资统计制度合并,称为原材料和能源统计制度。原材料、能源消费与库存的综合范围为县及县以上(含建制镇)各种经济类型的独立核算的工业企业、建筑企业和运输邮电企业。1998年,能源统计内容并入工业统计,对22种能源产品的购进、消费和库存进行年报统计,重点耗能工业企业填报能源购进、消费和库存季报。2003年,能源统计报表由原来的年报改为定期季度报表,并增加主要工业产品产量能耗及综合能耗。2004年,定报工业企业主要能源消费与库存报表上增加水消费的统计,能源年报和经济普查合并处理。2005年,年报开始采用省统一平台进行超级汇总,并开始核算全社会每1万元地区生产总值(GDP)能耗。

【百强县统计评比】

1991年、1992年、1994年国家统计局农调总队3次评选"农村经济综合实力百强县"(含县级市,下同)。此后中断6年,2000年恢复评选。评选共设33个评价指标,从发展的水平、活力和潜力3个方面,测算县域社会经济综合发展指

数。太仓市列全国百强县第十九位。2004 年，太仓市以社会经济综合指数 88.486，发展水平 95.085、活力 97.2504、潜力 55.0831，在全国百强县中排名第十位。2005 年，太仓市以社会经济综合指数 96.0724，发展水平 104.862、活力 97.834、潜力 57.94，在全国百强县中排名第九位。全市 7 个镇均入围 2005 年全国小城镇综合发展水平 1000 强名单，其中璜泾镇列第一百九十八位，综合指数 2433.6；陆渡镇第三百位，综合指数 2270.3；浏河镇第三百二十四位，综合指数 2237.5；浮桥镇第三百四十四位，综合指数 2219.9；城厢镇第三百四十八位，综合指数 2216.7；沙溪镇第四百十二位，综合指数 2150.4；双凤镇第七百二十四位，综合指数 1829。

2005 年全国百强县（市）信息发布会

2005年年末太仓市国民经济主要指标统计表

表 203

项目	数量	项目	数量
年末人口（万人）	45.76	金融机构存款余额（亿元）	277.59
人口自然增长率（‰）	−1.79	金融机构贷款余额（亿元）	215.18
地区生产总值（亿元）	295.00	消费价格总指数	101.60
人均生产总值（元）	64679.00	城镇登记失业率（%）	2.87
第一产业占比（%）	5.00	城镇居民人均可支配收入（元）	16670.00
第二产业占比（%）	60.40	农民人均纯收入（元）	8401.00
第三产业占比（%）	34.60	城乡居民年末储蓄存款余额（亿元）	132.48
工农业总产值（亿元）	707.89	社会消费品零售总额（亿元）	47.87
全社会固定资产投资（亿元）	170.92	进出口总额（亿美元）	35.79
财政收入（亿元）	45.18	注册外资（亿美元）	9.33
财政支出（亿元）	24.69	实际利用外资（亿美元）	3.00

市(县)情普查

【人口普查】

1982年7月1日零时,全县第三次人口普查,总人口434093人。1990年,第四次人口普查,普查数据时点为7月1日零时。普查结果:全县总人口451419人,比第三次人口普查增加17326人,增长3.99%。全县家庭116485户,集体户813户。总人口中,男性222682人,占49.33%,女性228737人,占50.67%,性别比为97.35。总人口中,汉族451279人,占99.97%,各少数民族人口140人,占0.03%。1989年7月1日至1990年6月30日,出生4533人,死亡3328人,出生率10.06‰,死亡率7.38‰,自然增长率2.68‰。

2000年,第五次人口普查,普查数据时点为11月1日零时。普查结果:全市总人口51.49万人,比第四次人口普查增加6.35万人,增长14.07%。全市家庭13.52万户,47.51万人,占总人口92.27%。总人口中,男性25.08万人,占48.7%,女性26.41万人,占51.3%,性别比为94.95。总人口中,汉族51.39万人,占99.81%,各少数民族人口0.1万人,占0.19%。1999年11月1日至 2000年10月31日,出生3260人,死亡3680人,出生率6.33‰,死亡率7.15‰,自然增长率负0.82‰。

【工业普查】

1985年,全县进行第二次工业普查,成立各级普查机构623个,工作人员2052人。普查资料的调查年度为1985年,普查标准时点为1985年12月31日。普查结果:全县独立核算工业企业1183个,其中全民企业31个,县属集体企业44个,乡(镇)企业503个,村(队)办企业605个。年末职工122676人。固定资产原值4.75亿元。实现利税1.95亿元。工业总产值15.57亿元(含合作、个体及非独立核算工业企业),比1949年增长66.8倍,年均递增12.4%。工业总产值占工农业总产值的比重升为86.8%。其中586家乡镇及以上独立核算工业企业,职工84239人,工业总产值12.71亿元,固定资产原值4.08亿元,实现利税1.67亿元。

1995年7月至1996年12月,全市进行第三次工业普查。普查对象为境内全部工业企业和附营工业单位。普查采用全国统一方案设计、统一调查表式、统一指

标目录、统一分类标准和统一数据处理标准，内容涉及 17 个方面，除财务状况调查 1994 年和 1995 年两年资料外，其余均填报 1995 年资料。普查工业企业 654 家，资本 25.6 亿元，固定资产原值 40.6 亿元，工业设备价值 11.9 亿元，从业人员 9.7 万人。

【农业普查】

1996 年 7 月，全市开展第一次农业普查，普查标准时期为 1996 年 1 月 1 日至 12 月 31 日，登记时点为 1996 年 12 月 31 日 24 时，对象是各种类型的农业生产经营单位、农村住户、乡镇企业、行政村和乡镇。全市培训普查指导员 450 人，派调查员 5000 人逐户访查登记。普查结果：全市共有 22 个镇、356 个行政村（含居委会），从事生产经营活动的农村住户为 8443 户，其中农业户占 25.1%。非农村住户类农业生产经营单位 810 个，其中经营种植业为主的单位 712 个，畜牧业为主的单位 27 个，林业为主的单位 4 个，渔业为主的单位 67 个。非农乡镇企业 2147 个，其中乡镇办 803 个，村办 874 个，联产办 45 个，户办 425 个。农村从业人员 274487 人，其中从事农业人员为 99213 人，占 36.14%；从事非农业人员 175274 人，占 63.86%。农村拥有大中型拖拉机、小型拖拉机、联合收割机、机动脱粒机、农用运输车等 5 种主要农业机械 4.15 万台（辆）。农村社区 100% 的行政村通电、通邮、通电话、通公路，能接收电视节目。84% 的行政村居民饮用自来水，16% 的行政村居民饮用井水。18% 的行政村居民生活用上了液化气。21 个镇（不含城厢镇），每个镇镇区平均占地面积 2.19 平方千米，平均总人口 4696 人，平均非农业人口 2521 人。

【基本单位普查】

1996 年 4 月至 10 月，全市开展第一次基本单位普查。普查登记的对象为境内所有法人单位及其附属的产业活动单位，包括国家机关、社会团体、企事业单位、基层群众性自治组织、个体工商户等。内容涉及经济类型、所属行业、从业人员、企业规模、营业状态和主要标识。普查标准时点为 1995 年 12 月 31 日。经普查登记的基本单位共 3332 个，其中市属 919 个，镇属 2398 个，部省属 15 个。按经济类型划分，国有 721 个，集体 2157 个，私营 122 个，联营 58 个，股份制 38 个，中外合资合作 236 个。

2001年,开展第二次基本单位普查。普查标准时点为同年12月31日。内容包括单位基本标识、主要属性、基本状态、主要数据等。普查结果:全市共有基本单位及个体户19233个(户),其中基本单位5327个,个体户13906户。基本单位中法人单位4587个,其中企业法人单位3852个。从事生产经营性活动的基本单位4436个,从事非生产经营性活动的基本单位891个。

【经济普查】

2004年5月,全市开展第一次经济普查。普查年度为2004年,登记标准时点为同年12月31日,对象为境内从事第二、三产业的法人单位、产业活动单位和个体经营户。内容包括单位基本属性、就业人员、财务状况、生产经营情况、生产能力、原材料和能源消耗、科技活动情况等。全市组织普查员450多人,企事业单位1万多人参与普查工作。普查结果:全市共有从事第二、三产业的法人单位5556个,其中企业法人单位4880个,机关、事业法人单位342个,社会团体法人单位79个,其他法人单位255个。产业活动单位6065个,其中第二产业3555个,第三产业2510个。个体经营户24258户,其中第二产业3246户,第三产业21012户。第二、三产业法人单位和个体工商户的就业人员为313166人。其中第二产业就业人员240235人,占76.71%;第三产业就业人员72931人,占23.29%。就业人员中,法人单位250016人,占79.83%;个体63150人,占20.17%。单位就业人员中,女性128883人,占51.55%;制造业203174人,占81.26%;建筑业10619人,占4.25%;公共管理和社会组织7079人,占2.83%;教育4909人,占1.96%;批发和零售业7561人,占3.02%。从事第二、三产业的个体经营户中第二产业24568人,占38.9%,第三产业38582人,占61.1%。个体经营户较为集中的4个行业是:批发和零售业12360户,占50.95%;居民服务和其他服务业3998户,占16.48%;工业2993户,占12.34%;交通运输及电信业2356户,占9.71%。

专项调查

【人口抽样调查】

2005年,全市进行1%人口抽样调查,目的是摸清2000年第五次人口普查以来人口数量、构成及居住等方面的变化情况。调查的标准时点为2005年11月1

日零时。调查内容包括住户基本情况和个人年龄、性别、受教育程度、职业、迁移流动、生育、社会保障、住房情况等指标。

【农村居民住户调查】

1983 年，开展全县农村住户抽样调查，至 1993 年，抽样调查农村住户 60 户。1994 ～ 1995 年暂停调查。1996 年恢复调查，选定浮桥镇三新村、璜泾镇永乐村、双凤镇凤东村、南郊镇胜昔村、沙溪镇半泾村的 50 户农村住户为调查对象。至 1999 年，每年调查范围均为 50 户。2000 年起，扩至 100 户。2005 年，抽样调查资料显示，家庭户均人口 3.84 人，人均经营耕地面积 0.076 公顷，人均使用房屋面积 66.78 平方米，人均总收入 12114 元，可支配收入 7508 元，人均总支出 10040 元，年末人均存款 6895 元。

【城镇居民住户调查】

1989 年，全县开展第一次城镇居民住户抽样调查。抽取 60 户城镇居民住户作为经常性记账户，其中城厢镇 50 户，沙溪镇 10 户。调查内容包括基本情况、所得收入和支出、购买主要商品数量、耐用消费品拥有量等。每月由被调查户将其收入和支出逐笔记载在现金收支流水（日记）账上，调查员每月访问调查户，进行记账辅导、搜集账册、核对数据，按月整理编码，上报到县农村抽样调查队，由城镇住户调查专业人员进行审核、过录、汇总、上报、编制资料。1991 年起，调查城厢镇 50 户。至 1993 年，调查暂停。2003 年，恢复调查，抽取城厢镇 5 个社区居委会，每个居委 10 户，共 50 户作为经常性记账户。2005 年，扩至 100 户。调查资料显示，家庭户均人口 3 人，户均就业人口 1.61 人，人均住房建筑面积 42.49 平方米，人均总收入 1.83 万元，可支配收入 1.67 万元，人均总支出 1.62 万元。

2005年太仓市城乡居民家庭耐用消费品拥有量统计表

表 204

品名	100户城镇家庭拥有数	100户农村家庭拥有数
摩托车（辆）	64	178
家用汽车（辆）	9	6
彩色电视机（台）	201	183

续表 204

品名	100户城镇家庭拥有数	100户农村家庭拥有数
家用电脑(台)	67	20
空调(台)	188	88
洗衣机(台)	108	93
电冰箱(台)	107	101
固定电话(部)	160	118
移动电话(部)	162	189

三、财　政

1986 年，预算管理办法实行“收入递增包干，超收分成”体制。1994 年后，财政体制改革逐步深化，预算方式通过细化部门内外收支，由单一预算向综合预算过渡；财政支出由单位分散支出改为国库单一账户集中支出，并向集中收支过渡；采购制度由单位采购改为以集中采购为主、分散采购为辅的政府采购制度。通过积极培植财源、合理编制预算、加大收入力度、以收定支、增收控支等措施，使财政收支做到年年平衡，并略有结余。1986 ～ 2005 年，财政累计收入 178.13 亿元，支出 89.33 亿元。

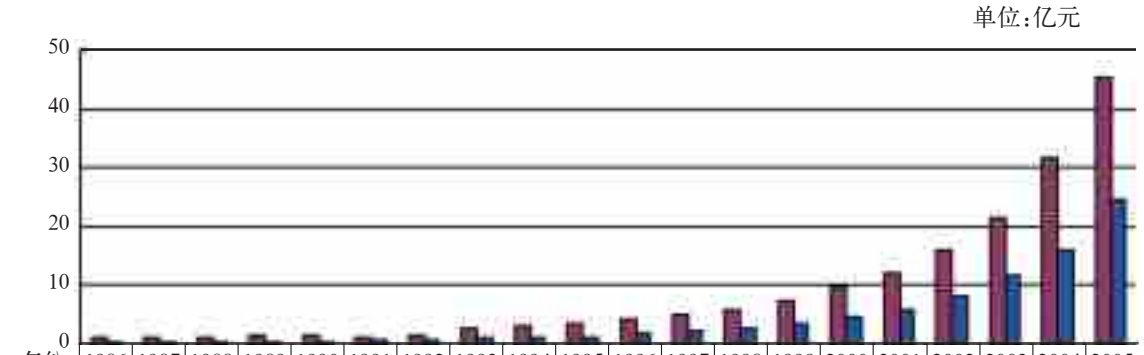
预算管理

【财政收入】

80 年代，太仓经济发展开始加快，财政收入有较大增长，1985 年首次突破 1 亿元，获省政府颁发的“财政超亿元奖”。90 年代后，随着经济持续、快速发展，财政收入以 20.2% 的年递增率增长，2005 年增至 45.18 亿元，是 1986 的 39.29 倍，全市实现地区生产总值 295 亿元，财政收入占比 15.3%。同年，太仓市被省政府评为财政收入上台阶先进市。1986 ～ 2005 年中，有 7 年增长率超过 30%，其中 1993 年、2004 年、2005 年分别为 47.67%、46.9% 和 42.25%。

在收入构成中，90 年代契税因房地产业升温、房产交易陡增而大幅增长，从 1986 年的 2.1 万元升至 2005 年的 10200 万元。涉外经济、个体私营经济是税收

主要增长点。2005 年涉外经济仅增值、消费两税入库就达 14.41 亿元，比上年增长 40.93%，入库比重为 65.73%；个体私营经济两税入库 4.75 亿元，比上年增长 36.12%。国有集体经济、股份制、联营企业经济税收回落，有的甚至出现负增长。农业税、农业特产税两税总额一直维持在每年 2000 万元上下，占财政收入的比重相对下降。2002 年农村税费改革后，上述两税征收先减后停。



年份	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
收入	1.15	1.22	1.34	1.43	1.37	1.25	1.72	2.54	3.07	3.58	4.40	5.06	6.00	7.27	9.87	12.12	16.18	21.62	31.76	45.18
支出	0.34	0.36	0.43	0.52	0.54	0.59	0.63	1.15	1.29	1.35	2.00	2.26	2.85	3.71	4.77	5.78	8.32	11.57	16.18	24.69

注：图中的财政收入系全口径收入

图 25　1986 ～ 2005 年太仓市（县）财政收支统计图

1986～1993年太仓市（县）财政收入分类统计表

表 205　　单位：万元

年份	合计	工商税收	农业税和耕地占用税类	企业收入	国有企业计划亏损补贴	国家预算调节基金	专项收入	罚没及其他收入
1986	11517.7	9972.0	646.0	740.5	—	—	142.8	16.4
1987	12195.0	10514.0	733.4	734.5	—	—	195.9	17.2
1988	13437.9	11615.1	798.4	838.3	—	—	180.2	5.9
1989	14344.0	12952.5	1136.8	−43.1	—	78.1	192.2	27.5
1990	13706.4	12523.1	913.3	−105.5	—	136.5	214.0	25.0
1991	12497.7	11405.7	1022.3	500.8	−926	85.7	372.1	37.1
1992	17198.0	14232.0	2653.0	549.0	−794	51.0	475.0	32.0
1993	25378.0	23702.0	1470.0	305.0	−706	31.0	512.0	64.0

1994～1998年太仓市财政收入分类统计表

表 206　　单位：万元

科　　目	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年
合　　计	30497	35273	42980	49678	58456
一、国家级收入	15965	19221	21992	25681	30068
1.消费税	269	459	482	697	459
2.增值税75%部分	15696	18762	21510	24984	29609
二、地方级收入	14532	16052	20988	23997	28388
1.工商税收类	9342	11775	15089	17668	20580
增值税25%部分	5232	6254	7170	8328	9870
营业税	2572	2784	3666	4336	5309
城市建设维护税	770	1139	1413	1542	1576
其他各税	768	1598	2840	3462	3825
2.农业税和耕地占用税类	2952	2536	3783	3906	4148
农业税	1441	1448	2056	2018	1928
农业特产税	278	342	382	384	400
耕地占用税	1203	716	1193	1318	1425
契税	30	30	152	186	395
3.企业收入类	2238	1741	2116	2423	3660

1999～2005年太仓市财政收入分类统计表

表 207　　单位：万元

科　　目	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年
合　　计	72744	98717	121218	161828	216188	317595	451805
一、国家级收入	37680	49536	60878	87552	114610	175180	214377
二、地方级收入	35064	49181	60340	74276	101578	142415	237428
1．增值税	12400	16307	20032	24052	30503	22969	54537
2．营业税	5910	7355	8080	13068	21218	35674	49380
3．企业所得税	5249	9686	15984	11745	11693	18595	25433
4．企业所得税退税	—	—	—	—	—	—	—
5．个人所得税	2330	2994	3662	2675	3385	5431	7686
6．资源税	—	—	—	—	—	14	—
7．固定资产投资方向调节税	100	13	116	—	—	—	—
8．城市维护建设税	1898	2605	3227	4124	4649	6354	7839

续表 207

科　目	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年
9. 房产税	1433	1994	1970	2441	3172	4857	6835
10. 印花税	307	455	718	885	1136	2296	2633
11. 城镇土地使用税	79	74	183	277	346	565	833
12. 土地增值税	4	5	8	23	18	830	3306
13. 车船使用和牌照税	82	88	37	60	165	229	246
14. 屠宰税	193	145	24	—	—	—	—
15. 筵席税	—	—	—	—	—	—	—
16. 农业税	1891	1929	2004	2082	2092	1185	—
17. 农业特产税	201	270	4	4	—	—	—
18. 牧业税	—	—	—	—	—	—	—
19. 耕地占用税	427	178	90	534	554	507	1529
20. 契税	551	2140	1375	3209	4271	10126	10200
21. 国有资产经营收益	—	—	—	—	—	—	2810
22. 国有企业计划亏损补贴	—	—	—	—	—	—	—
23. 行政性收费收入	—	—	—	600	2638	4162	2560
24. 罚没收入	525	975	413	506	613	1697	5787
25. 土地和海域有偿使用收入	—	—	—	—	—	—	—
26. 专项收入	1065	1283	1963	2121	2375	5570	6588
27. 其他收入	—	—	—	—	110	230	999
28. 预算内基金、资金收入	419	685	450	5870	12640	21124	48227

【财政支出】

1986 ～ 2005 年，市（县）级预算内财政支出以略高于财政收入的增长率递增，累计支出 89.33 亿元，其中 2005 年为 24.69 亿元，是 1986 年 0.34 亿元的 72.62 倍。财政支出除保障人员供给和机关正常运转外，其他支出主要用于基本建设、支援农业生产、扶持地方工业、发展科教文化事业、改善城乡人居环境和扩大社会保障覆盖面等。

人员工资与机关公用经费　1985 年，列入财政拨款和补助的人员为 6831 人（包括离退休人员，下同），2005 年增至 17373 人，增长 1.54 倍。由于供养人员增

多,工资待遇提高,机关公用经费的支出大幅上升,用于保发工资和保证机关正常运转的费用逐年增加。

基本建设 1986～1997年,市(县)财力较薄弱,对基本建设的投入较少。除1993年、1994年因建造机关办公大楼等投入较多外,其余年份均维持在数十万元上下。1998年起,市财力逐步增强,对基本建设的投入相应增加。1999年和2000年分别拨款2500万元、1480万元和650万元用于体育馆、青少年活动中心和图书馆建设。2001年,财政投入1800万元,用于太平路、郑和路提档改建及其他道路工程建设。2002～2005年开建的市级基建项目有28个,其中省道339复线和204国道拓宽工程财政拨款1.56亿元,新区污水处理厂前期项目拨款3100万元,公路绿化拨款2450万元。1998～2005年,累计投入基本建设资金5.05亿元。

农业生产 1986～2005年,在稳定粮食生产、推进农业生产结构调整、发展区域特色农业和高效农业方面给予扶持。累计支出2亿元,用于土地整治、改造低产田、西部圩区排灌配套建设、培养推广良种、更新农机具和建设示范基地等。其中2004年起,实行种粮和培育良种补贴,每亩分别为20元和10元,全年补贴水稻面积18533.33公顷,计834.3万元,77807户受益。

科教文卫 财政逐年加大对教育和科技费用的投入。科技三项费用支出从1986年的15.4万元,升至2005年的1974万元。1999～2005年的教育经费累计支出8.54亿元(其中2005年为2.07亿元),用于市属院校基本建设、支付教职工工资、教育设备更新以及乡镇中小学校舍扩建。1986～2005年,科教文卫累计支出17.84亿元,占财政总支出的19.97%。

城市维护 随着创建国家卫生城市、环保模范城市和园林城市的相继开展,城市维护开支从90年代起大幅上升。1983年之前每年的投入在几万元或几十万元之间,1984～1993年,每年投入在几百万元上下,1994年突破1000万元,2002年超1亿元,2005年3.51亿元,占全年总支出的14.22%。

社会保障补助 1997年,开始实行农村最低生活保障,全市享受人数为435人,补助标准每人每月100元。1998年,开始实行下岗职工生活保障和医疗保险补贴,全年分别支出120万元和110万元。2003年起,调整提高农村最低生活保障补助标准,至2005年,补助标准提高至每人每月180元,全市享受人数增至3364人。至年末,累计支出社会保障补助15266万元。其中支出农村最低生活保障补助1020.98万元,补贴医疗保险1518.71万元。

1986～1998年太仓市(县)财政支出分类统计表

表 208　　单位：万元

科　目	1986 年	1987 年	1988 年	1989 年	1990 年	1991 年	1992 年	1993 年	1994 年	1995 年	1996 年	1997 年	1998 年
基本建设支出类	44.7	39.7	35.0	30.6	15.0	5	33	470	320	60	26	15	790
企业挖潜改造资金类	185.0	2.5	0.7	0.6	—	—	—	951	220	60	276	98	1251
简易建筑费类	2.5	—	—	5.0	—	1	1	1	—	2	—	7	—
科技三项费用类	15.4	66.5	21.0	12.1	34.0	32	29	41	170	112	176	185	173
支援农村生产支出类	88.0	162.6	330.5	345.0	344.0	310	586	640	665	306	320	398	370
农村水利气象等部门事业费类	386.8	292.9	248.8	287.8	247.0	703	296	384	402	444	719	938	1482
工业交通等部门事业费类	21.5	11.4	14.4	18.0	23.0	37	44	48	71	70	87	53	130
城市维护费类	286.2	253.7	348.6	370.0	410.0	350	408	691	1065	1086	1412	2873	3090
文教、广电、卫生事业费类	1183.3	1277.5	1657.3	1956.1	1941.0	2128	2391	4159	5243	5470	7697	7509	8101
科学事业费类	14.2	12.7	18.6	35.6	20.0	17	25	22	30	39	66	86	112
其他部门事业费类	118.2	190.6	146.3	189.5	238.0	207	200	491	338	706	856	950	977
抚恤和社会福利救助费类	138.9	144.6	113.8	122.4	351.0	261	164	230	265	325	350	542	509
行政管理费类	402.6	472.2	670.8	862.7	840.0	885	1239	2089	2559	2846	5368	5241	6071
公检法支出类	68.3	86.2	168.9	217.6	179.0	190	210	439	611	749	1290	1372	1619
政策性补贴支出类	306.5	295.7	369.5	469.6	531.0	447	179	91	21	82	68	68	—
农业综合开发支出类	—	—	—	—	—	—	—	—	—	398	446	283	276
行政事业单位离退休经费类	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1291	2137
专款支出类	131.7	164.7	160.0	183.0	196.0	325	514	487	778	456	756	633	777
社会保障支出	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	183
地方财政收费附加支出	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16
城镇青年就业费类	3.3	5.9	1.2	1.7	2.3	2	3	5	—	—	—	—	—
其他支出类	46.7	99.9	36.8	114.5	−12.3	36	27	306	137	331	112	40	478
合　计	3443.8	3579.3	4342.2	5221.8	5359.0	5936	6349	11545	12895	13542	20025	22582	28542

1999～2005年太仓市财政支出分类统计表

表 209　　单位：万元

科　目	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
基本建设支出	3075	3412	4186	7402	6932	6158	18566
企业挖潜改造资金	988	2325	2439	2429	5382	911	477
地质勘探费	—	—	—	—	—	10	—
科技三项费用	350	440	545	758	405	875	1974
农业支出	—	—	—	—	3415	4134	7810
林业支出	—	—	—	—	1385	2131	1101
水利和气象支出	—	—	—	—	3117	4425	7159
支援农村生产支出	936	1264	1516	2604	—	—	—
农业综合开发支出	255	126	361	490	—	—	—
农林水利气象等部门的事业费	1443	1829	2372	2680	—	—	—
工业交通等部门的事业费	174	149	146	125	21	401	1144
文体广播事业费	1195	1062	1179	1649	1843	2654	4186
教育事业费	6784	7996	9528	10638	12921	16808	20710
科学事业费	125	136	180	232	305	419	478
卫生经费	1658	1726	2535	2416	4361	5489	7967
其他部门的事业费	1116	830	659	3735	5301	8739	11542
抚恤和社会福利救济费	649	684	1072	1445	2063	2703	3665
行政事业单位离退休经费	2701	3184	4169	5328	7102	8825	10359
社会保障补助支出	361	832	1168	1151	2933	4148	4490
行政管理费	7413	9023	11112	13526	16143	22333	30743
武装警察部队支出	—	60	80	297	266	328	794
公检法司支出	1974	2718	2929	3586	7382	15112	18875
城市维护费	3415	6087	7235	12656	13745	18738	35088
政策性补贴支出	120	2	13	—	—	—	2
专项支出	973	1014	1370	1716	1574	4605	4148
其他支出	676	2257	2787	2827	7236	9750	11097
基金、资金支出	745	563	228	5530	11904	22098	44511
合计	37126	47719	57809	83220	115736	161794	246886

【国库管理】

1986 年，预算内财政支出由县财政部门根据预算计划将资金下拨（划）到各预算单位，再由预算单位将资金分拨（划）到次级预算单位或收款单位（人）。由于资金分散、资金流转环节较多，县财政部门对支出过程和支出结果监控难于到位，财政资金存在有被挤占、挪用、截留或浪费的现象。

2003 年 9 月 19 日，太仓市国库支付中心投入运行

2003 年起，改革国库管理体制，逐步建立以国库单一账户体系为基础、资金缴拨以国库集中收付为主要形式的现代财政国库制度。改革分步进行，第一步先实施国库集中支付制度。同年 3 月 12 日，市委、市政府成立市国库集中支付领导小组，3 月 26 日，建立太仓市国库支付中心，6 月 6 日，制定下发《太仓市市级机关行政事业单位国库集中支付实施办法（试行）》。在保持“资金所有权不变、资金审批权不变、资金使用权不变、财务管理核算权不变”的前提下，对财政支出实行“统一账户、规范核算、统一管理、集中支付”的办法，由国库支付中心统一办理各预算单位各项资金的支付和结算。9 月 19 日，太仓市国库支付中心揭牌成立。实行国库集中支付后，预算单位不再设立基本账户，除经市财政局批准保留的工会、食堂、党团费等专户外，其余账户全部撤销。纳入国库集中支付范围的有市级行政机关和全额拨款事业单位，全年支付总额 3.72 亿元。

2004 年，差额拨款和自收自支事业单位纳入国库集中支付范围，包括土地、农业、交通、广电等设在乡镇实行垂直管理的基层单位。全年集中支付总额增至 17.64 亿元。为方便业务开展，在机关行政事务管理局、公安、水利、教育等综合管理部门建立结算中心，形成“国库支付中心集中支付，部门结算中心代理记账”的运行模式。同年起，国库集中支付改革推向乡镇，城厢、璜泾两个镇先进行实践探索。其中城厢镇 13 个行政事业单位的财政性资金，包括预算内资金、预算外资金及财政部门管理的其他财政性资金，全部实行国库集中支付制度，全年支付金额 2.26 亿元。2005 年，市级行政事业单位支付总额 24.9 亿元。

【政府采购】

1999年8月,市政府采购委员会和采购中心成立,开始实行政府采购制度。列入政府采购目录的有基础设施和公用工程建设及配套设施,办公设备、通讯工具、交通工具、专用设备、房屋、建筑物和使用转移、规格一致的货物,为开展公务而发生的大额、大宗批量性的财政公共消费行为,以及部分可以利用市场竞争开展的服务等。采购人购置列入政府采购目录的货物、工程和服务,需先编制年度预算计划,获批后再编制年度采购计划报市采购办审核,最后由市政府采购中心组织实施。政府采购分集中采购和分散采购两种。集中采购方式有公开招标采购、邀请招标采购、竞争性谈判采购、询价采购和单一来源采购5种。同年9月24日,太仓市第一中学等单位需用财政性资金购置一批电脑,经市采购办审核批准后,市政府采购中心在市国税局招待所首次举行招投标会议。市纪委、市监察部门监督了招投标全过程,市公证处对招投标活动进行公证。经过竞标角逐,新城电脑有限公司中标,中标总价为12.39万元,节约资金1.85万元。全年采购金额共182.83万元,节约资金38.67万元,节约率17.44%。

1999年8月市政府采购中心成立,此后不定期召开政府采购招标会

2001年,邀请招标采购10次,询价采购56次,竞争性谈判采购15次和单一来源采购214次,采购金额1846.41万元,资金节约率3.38%。同年全市行政机关车辆实行统一保险、定点维修和定点加油。2003年,邀请招标采购35次,竞争性谈判采购30次,询价采购381次,单一来源采购69次。采购电脑2121台,小汽车91辆,空调781台,工程项目11项。其中集中采购金额6028.16万元,分散采购金额1089.24万元,资金节约率11.38%。2005年,纳入政府采购的单位和项目扩大,全年集中采购800批次,其中公开招标采购占64%。工程项目金额5300万元,医疗器械设备800万元,并首次将一次性服务项目纳入政府采购。1999～2005年,政府采购累计金额3.5亿元,节约资金4000多万元,平均节约率12.48%。

预算外资金

1987 年 3 月，行政事业单位部分预算外资金的收入实行“财政专户存储、计划管理、财政审批、银行监督”的办法。1988 年 10 月，县政府要求各单位“服从财政部门的管理和监督，提高预算外资金的使用效益，不允许弄虚作假，阳奉阴违，抵制管理”，但因涉及面广，加上利益驱动而收效甚微。至 1996 年年末，预算外资金收入进财政专户储存的只有 49.1%，年进入资金占收入总量的 18.5%，80% 以上的预算外资金未受财政监督管理。同年，市票据管理所成立，负责全市行政事业性收费票据的印制、购领、撤销、保管及指导监督票据使用。原有行政事业收费票据因票据种类庞杂、购领渠道多和管理不够严密，违规使用票据较多的现象逐渐被遏制。

1997 年，太仓被江苏省定为推广陕西省睢宁县集中收费管理经验扩大试点县（市）。同年 5 月，太仓市预算外资金管理局成立，专司全市预算外资金的管理与监督职能。6 月 16 日，市委、市政府下发《关于实行预算外资金集中统一征收管理的通知》。7 月 1 日起，全市预算外资金实行集中统一征收管理。经市财政、物价部门清理、取消乱收费项目 17 项，保留有法可依的收费项目 219 项，其中属行政性的 98 项，事业性的 91 项，基金 16 项，专项资金 14 项。全市所有行政事业性收费（包括基金、资金）统一使用省财政厅监制的收费票据，并加盖“太仓市预算外资金管理局票据监管章”，其他票据停止使用。各主管部门向省或苏州市业务主管部门领取的专用发票在起用前，需全部送交市预算外资金管理局加盖“太仓市预算外资金管理局票据监管章”。预算外资金实行收支两条线管理办法，各单位除财政部门在银行开设的财政专户外，不准另外开设预算外资金收入户或多头户，预算外资金收入必须及时、足额上缴财政专户存储。经清查，取消各单位在银行开设的预算外资金收入户、多头户 235 个。至年末，有 175 家单位的预算外资金纳入财政专户管理，总额 2.42 亿元。

1998 年，行政事业单位预算外资金纳入财政专户存储的覆盖面 100%。同年，全市各镇推行“代理记账、财政监管”制度。城厢、浏河、浏家港、新毛 4 个镇先行试点，各镇成立会计服务中心，下属单位撤销主办会计岗位，所有会计业务全部由会计服务中心办理。下半年，在其余镇推开。6 月 27 日省政府批转省财

政厅、监察厅、物价局《关于在全省推广太仓等地集中统一管理预算外资金试点经验的意见》。2001 年,集中统一管理预算外资金模式向村级财务管理延伸,实行“村级代理记账”制。同年,市教委、建委、公安、广电 4 个系统实行集中记账办法。

2002 年起,推进预算和国库管理制度改革,预算外资金收支逐步纳入综合预算管理,并统一由国库支付中心办理相关业务,使预算外资金管理走向科学化、法制化、规范化。2005 年,预算外资金支出 66986 万元,是 1986 年 4083.7 万元 16.4 倍。

1986～1991年太仓县预算外资金收入统计表

表 210　　单位:万元

项目	1986年	1987年	1988年	1989年	1990年	1991年
财政部门管理收入	180	215	252	219	227	220
其中各项附加	155	163	184	218	227	220
行政事业单位收入	1159	1558	2195	2407	2995	2483
国有企业及主管部门收入	2718	3775	5031	6054	6461	5531
合　计	4057	5548	7478	8680	9683	8234

1997～2005年太仓市预算外资金收入统计表

表 211　　单位:万元

项目	1997 年	1998 年	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年
行政事业性收费	11971	12699	16558	23245	27267	28758	37941	26853	29609
政府性基金(资金附加)收入	5970	4155	1138	3500	6880	5884	10962	5607	7518
主管部门集中收入	984	487	549	877	771	664	83	640	2142
乡镇自筹统筹资金收入	4017	4801	4064	5764	5415	5996	8819	10810	12797
其他收入	338	636	756	2186	4307	9946	8731	13818	17735
合　计	23280	22778	23065	35572	44640	51248	66536	57728	69801

1986～1998年太仓市(县)预算外资金支出选年统计表

表 212　　单位：万元

项目	1986年	1987年	1988年	1989年	1990年	1991年	1996年	1997年	1998年
更新改造支出	703.1	646.2	737.3	815.2	1162.5	1394	47	—	—
大修理支出	192.3	319.2	518.0	491.1	586.0	996	—	—	—
基本建设支出	794.2	739.9	655.6	421.7	719.1	552	—	512	1495
简易建筑费支出	—	0.5	—	—	37.9	30	—	—	—
福利奖励支出	706.6	1002.4	819.4	1136.7	1063.4	1346	—	—	—
养路费支出	39.6	39.1	4.2	19.0	30.4	31	—	—	—
城市维护支出	311.0	248.0	174.1	207.7	208.1	211	376	—	—
科技三项费用支出	3.2	14.2	—	—	6.6	—	—	—	—
增补流动资金支出	22.4	40.9	67.6	126.5	170.3	169	—	—	—
行政事业支出	869.4	1016.1	927.4	1331.8	2150.0	1858	12931	11745	11709
上缴能源交通资金	255.8	231.1	302.1	269.1	276.0	181	—	—	—
上缴预算调节基金	—	—	—	231.5	222.5	122	—	—	—
固定资产投资支出	—	—	—	—	—	—	1729	—	—
弥补盈亏包干不足	—	—	—	2.0	7.8	—	—	—	—
乡镇自筹统筹资金支出	—	—	—	—	—	—	88	4017	4801
专项支出	—	—	—	—	—	—	—	3927	1372
其他支出	186.1	973.6	2341.8	2341.8	2235.6	1414	5432	3336	2909
合　计	4083.7	5271.2	6547.5	7394.1	8876.2	8304	20603	23537	22286

1999～2005年太仓市预算外资金支出统计表

表 213　　单位：万元

项　目	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
行政事业费支出	14693	24370	33990	38464	49221	42682	55672
基本建设支出	1482	996	409	—	—	—	—
城市维护支出	577	133	1021	155	198	1581	—
乡镇自筹统筹资金支出	4064	5573	5365	4868	7051	7913	9982
其他支出	1289	2992	2628	3372	2198	2655	1332
合　计	22105	34064	43413	46859	58668	54831	66986

农业税收

【农业税】

农业税实行以户为单位、核定田亩、评定常年产量、依率计征、依法减免、增产不增税、合理负担的政策。1985 年,太仓县农业税税率为 13%,1992 ～ 1998 年调整为 12.9%,1999 ～ 2000 年为 12.84%。2001 年,农村税费改革,税率调至 7%,调低 5.84%,农民税负下降。全年征收农业税 2004 万元。2002 年为 2082.4 万元。2003 年起,实行政府代缴农业税政策,不直接向农户征收。2005 年,取消农业税。

【农业特产税】

1987 年 9 月,开征农林特产税。税率:园艺 6%,苗木、花卉 8%,水产 6%,水生植物 5%,珍珠 8%。征收方法分为“定产征收”和“按实征收”两种,按不同产品实际情况确定。1995 年,农林特产税更名农业特产税。浏河海洋捕捞是全市农业特产税的主要税源。同年 10 月,浏河农业特产税征收组成立。至 1997 年,浏河农业特产税征收组共征收农业特产税 1108 万元,占全市农业特产税的 90%。同年,聘请渔政管理部门为协税单位。1999 年后,海洋捕捞及海产品收购较前萎缩,致使农业特产税征收额降至每年 200 万元左右。2001 年,农村税费改革,农业税和农业特产税不再重复征收,只对在非农业税计税土地上生产的农业特产品征收农业特产税,而且应税品种只在生产一道环节征税,全市农业特产税征收额降至每年 4 万元左右。2003 年起,停征农业特产税。

【耕地占用税】

1987 年 4 月 1 日,开征耕地占用税。凡占用耕地以及鱼塘、菜地、园地等建房或从事其他非农业建设的单位和个人,均是耕地占用税的纳税义务人。以实际占用的耕地面积计税,每平方米 7.5 元,实行一次性征收。农村居民在规定额度内占用耕地新建住宅,减半征收。1994 年,全市征收耕地占用税 1203 万元。2005 年,征收 1529 万元。

契税征收

80 年代，契税征收因税源匮乏征收金额很少。90 年代，随着商品房交易和企业房产转移的增多，契税有较大幅度递增。1998 年 11 月，实施《中华人民共和国契税暂行条例》，对国有土地使用权出让、转让，房屋买卖、赠与、交换，以土地、房屋权属作价入股或抵债，以获奖方式承受土地、房屋权属等，征收 4% 契税。1999 年 8 月 1 日起，执行财政部、国家税务总局《关于调整房地产市场若干税收政策的通知》规定，对个人购买自用普通住宅（除别墅、度假村、高级公寓房等）契税减半，按 2% 征收。契税征收工作由财政部门主管，各乡镇财政所专人办理。2000 年 4 月，太仓市契税征收站成立，集中办理全市的契税征收。全年征收契税 2140 万元。2004 年，征收额升至 1.01 亿元。2005 年 6 月，按照国家宏观调控政策，对单套建筑面积在 144 平方米以上的普通住房，按 4% 税率计征契税，144 平方米以下的普通住房，仍执行 2% 的税率。全市征收契税 1.02 亿元。同年，太仓市契税征收站更名为太仓市契税征收管理所。

企业财务

【国有企业财务管理】

1980 年，太仓开始尝试利用财政间歇资金作为周转金，以弥补企业流动资金不足，支持企业发展，取得成效。1985 年 7 月，国有工业企业按江苏省统一规定，实行固定资产分类折旧法。1986 年 9 月，省财政厅在总结财政收入超 1 亿元经验时，肯定太仓县“按有借有还的原则，6 年内发放周转金 5100 万元，新增产值 2 亿元，新增税利 3500 万元”的做法。1987 年 1 月 1 日起，商贸流通企业固定资产折旧执行 6% 的综合折旧率。同年 4 月起，工业企业提取的折旧基金全部留归企业，用于固定资产的更新和改造，停止执行财政和主管部门需集中 30% 的规定。1988 年起，财政和主管部门不再集中其折旧基金。同年，实行预提商品削价准备金制，比率在 2‰ ～ 3‰之间，按行业分别确定。企业成本管理执行国务院《国有企业成本管理条例》和财政部《国有工业、交通运输业成本管理实施细则》《国有商业、外贸企业成本管理实施细则》。1993 年后，随着新的工业企业会计制度、分行业

会计制度、企业财务通则、分行业财务制度的颁布，全市各类企业财务管理办法趋于稳定和相对固定。90年代末，利用财政间歇资金作为周转金，以弥补企业流动资金不足的做法，因企业转制等因素而停止。2004年，国务院颁发《关于进一步深化粮食流通体制改革的意见》，对部分粮食主产省在销售以往按保护价（含定购价）收购的粮食中，因库存粮食较多，价差亏损较大，难以用粮食风险基金弥补的，实行价差亏损挂账处理，以保证国有购销部门的正常运行。经审计后省粮食局发文确认，至2005年，全市政策性粮食财务挂账7705.84万元。

【外商投资企业财务管理】

1992年起，县（市）、乡镇两级财政部门指导外资企业办理各项财务手续，建立健全内部财会制度，按期进行财政登记、年检，收集汇编财务决算，开展会计质量检查。1996年起，开展外商投资企业会计决算检查。市政府成立检查小组和审理处理小组，每个检查组3～4人组成，配注册会计师1～2人。检查、核查工作依法行政，规范操作，严格执行《中华人民共和国行政处罚法》和《中华人民共和国行政复议法》。同年12月开始，对已领取工商营业执照的外商投资企业按财政部要求颁发“外商投资企业财政登记证”，全年申领登记的外商投资企业有413家。1997年，建立联合年检制度，财政等8个相关部门联合办公，全年外商投资企业完成年检658家。2004年，开展外商投资企业会计决算核查。2005年，查补各项财政收入40万元，其中国税12万元，地税20万元，财政入库费、金8万元；查处违纪金额800万元。同年开始实行网上年检，设立联合年检网，各职能部门按各自职责分别审核通过企业的申报。年末，全市发证外资企业增至1141家，通过年检989家。

国有资产

1986～1990年，太仓无国有资产管理专门机构，行政机关、全民企事业单位资产的添置、变价、报废和核销，由所属主管部门会同财政部门审批。1991年，太仓县国有资产管理办公室成立。1995年，更名太仓市国有资产管理局。2002年，更名太仓市国有资产监督管理委员会办公室。专司国有资产管理监督职能，负责国有资产产权登记、变更、交易和国有资产的统计评价、评估、核销及保值增值体

系建设等。

【产权管理】

产权登记 1992 年，对预算内工业、粮食、物资、商业系统 81 家国有企业进行国有资产产权登记，颁发“国有资产授权占用证书”。后扩至预算外国有企业。1996 年，首次对全市 285 家行政事业单位进行产权登记，颁发“国有资产产权登记证”。1997 年，国务院颁布《企业国有资产产权登记管理办法》后，太仓市对占有、使用国有资产的企业单位落实经营权和经营责任，强化产权登记的法律责任，完善产权占有登记、变动登记、注销登记和年度检查制度。以后，对列入产权登记范围的企业每年登记一次。由于企业改制、兼并、组建集团公司等原因，至 2005 年，依法进行产权登记的企业减至 35 家，其中国有企业（公司）14 家，资产授权经营公司 10 家，控股公司 11 家，合计注册资本 22.53 亿元，其中国有资本 22.51 亿元。

产权交易 1992 年起，加强对国有资产产权变动和交易的管理，防止国有资产流失。1997 年 12 月，苏州产权交易所太仓分所和苏州拍卖行太仓分行成立，提供产权交易场所和服务。至 2001 年，除审核确认评估机构对产权变动企业净资产的评估结果外，并根据市政府规定，按企业 20% 在册人员每人 2 万元标准，批准改制企业从净资产中剥离资金，作为改制企业职工安置费。2002 年，标准改为按全部职工在册人数月平均工资 700 元基数，人均 12 个月计提。至 2005 年年末，共审批产权变动 160 家（次）。批准改制企业从净资产中剥离 5.63 亿元作为改制企业职工安置费。

【保值增值】

1992 年 7 月，县财政就国有资产评估范围、立项、确认及注册验资等程序作出具体规定，资产评估先向县国有资产管理部门申请立项，经批准后委托资产评估机构评估。坚持“先立项、后评估、先申请、后确认”的运作程序，严格审查项目的合法性、资料的完整性和评估报告的客观性。1997 年 1 月，市政府规定，集体资产发生资产拍卖、转让、兼并，或与外国公司和其他经济组织合资、合作等都必须进行资产评估，由市国资管理部门在规定期限内组织审核、验证、协商、确认资产评估结果。同年 2 月至 5 月，对部分行政事业单位擅自将非经营性资产转为经营性资产的行为进行查处；对 1996 年前亏损在 100 万元以上的 14 家国有（集

体)企业进行调查分析。1998年,纺织、物资等7家资产经营公司以保值增值为主要考核指标,对公司经营者实行年收入考核。2000年4月,制定《太仓市市属工业控股(集团)公司(工业企业)经营者年薪制考核实施细则》,规定经营者年薪的主要组成部分——资本营运效益工资,应视公有资产保值增值率和实现利润情况确定,并与企业职工平均工资收入挂钩,由工业公有资产管理办公室负责考核。2005年,全市35家国有企业、授权经营公司、国有控股企业、国有参股企业共有国有资产120.27亿元,负债83.02亿元,所有者权益37.25亿元。全市市级行政事业单位占有国有资产总额为18.09亿元。

【清产核资】

国有企业清产核资　1993年4月,市清产核资领导小组及办公室成立。先以太仓机械总厂、市纺织品公司为清产核资试点企业,后在太仓铜材厂等16家工业系统企业及32家水利系统企业扩大试点。试点工作结束后,统一以1995年3月31日为时间点,在全市范围内对所有国有企业、单位进行清查资产、界定所有权、重估资产价值、核实国有资产价值总量、核定国有资本金等工作。至1998年,166家企业共清理各种资产1.78亿元,资金损失1.17亿元;资产价值重估增值2.03亿元;总面积为221.7万平方米的土地估价增值3.53亿元;共核销各种资产、资金损失8600万元;国有资产总量10.81亿元,其中国有资本5.67亿元。

城镇集体企业清产核资　1996年,太仓第二棉纺厂等6家市属集体企业进行清产核资试点。1997年4月扩至163家企业。至1998年,清理各种资产损失、挂账4.45亿元,资产价值重估增值6700万元,核销各种资产损失5400万元。核实资产总额42.01亿元,负债总额34.76亿元,所有者权益7.25亿元。同年,对"挂靠"的城镇集体企业,以纳税登记户数为基础,分别进行清理甄别,明晰企业产权归属,维护企业合法权益。

行政事业单位清产核资　1993年,对全市280家行政事业单位开展财产清查登记工作。经过财产清查、价值确定和所有权界定,资产总额4.36亿元,负债总额6800万元,国有资产3.68亿元。1998年,太仓市资产清理检查办公室成立,对223家市级行政事业单位开展资产清理检查工作。经过单位自查、主管部门复查和重点抽查,至同年7月31日,共有资产总额13.52亿元(不包括在建工程2.6亿元),净资产总额9.53亿元,净增资产8478万元,增幅8.9%。

【授权经营】

1996 年，在摸清家底、核实资产基础上，制定公有资产营运管理体系改革方案。先后组建太仓纺织控股（集团）有限公司、太仓化建医药控股（集团）有限公司、太仓商业控股（集团）有限公司等资产授权经营公司。至 1998 年，共有授权经营公司 14 家，公有资产计 9.33 亿元，其中国有资产 7.28 亿元，集体资产 2.05 亿元。至 2005 年，授权经营公司调整为 10 家，资产总额为 41.87 亿元，其中国有资产 41.86 亿元。

1998年太仓市资产授权经营公司情况表

表 214　　单位：万元

企业名称	授权资产总额	其中	
		国有资产	集体资产
太仓纺织控股(集团)有限公司	15927.94	8118.37	7809.57
太仓化建医药控股(集团)有限公司	7821.22	7329.36	491.86
太仓商业控股(集团)有限公司	10742.33	9237.25	1505.08
太仓交通控股(集团)有限公司	15531.36	12591.87	2939.49
太仓物资控股(集团)有限公司	1888.00	1888.00	—
太仓机电冶金控股(集团)有限公司	8310.00	7659.00	651.00
太仓轻工控股(集团)有限公司	5506.00	3443.00	2063.00
太仓经贸控股(集团)有限公司	3188.00	3188.00	—
太仓宏达集团有限公司	9830.00	9431.00	399.00
太仓经济开发区投资发展有限公司	860.00	860.00	—
太仓水利农机控股(集团)有限公司	1098.00	998.00	100.00
太仓建设控股(集团)有限公司	9443.18	4905.44	4537.74
太仓文化发展有限公司	690.71	690.71	—
太仓工业资产经营有限公司	2429.00	2429.00	—

2005 年太仓市资产授权经营公司情况表

表 215

企业名称	注册资本(万元)	资产总额(万元)	国有资产占比(%)
太仓贸易控股有限公司	3045	9504.66	99.67
太仓市教育发展有限公司	3588	14572.39	100.00

续表 215

企业名称	注册资本(万元)	资产总额(万元)	国有资产占比(%)
太仓市工业投资发展有限公司	2429	10775.38	100.00
太仓经济开发区投资发展有限公司	11630	85773.00	100.00
太仓经济开发区恒通投资开发有限公司	76000	161007.60	100.00
太仓水利控股有限公司	1098	6921.40	100.00
太仓建设控股有限公司	5100	42963.00	100.00
太仓文化发展有限公司	690	424.74	100.00
太仓市资产经营投资有限公司	50359	70689.00	100.00
太仓交通控股有限公司	3718	16024.55	100.00
合　计	157657	418655.72	—

基金资金

1983 年起，全县先后开征 13 项基金（资金）。1994 年，停征国家能源交通重点建设基金和国家预算调节基金。2005 年年末，有 11 项在征基金。

2005 年太仓市征集基金资金（社保基金外）情况表

表 216

基金（资金）名称	起征年份	征集对象	使用方向
地方教育基金和教育地方附加	1986	机关企事业单位、个体户	发展地方基础教育事业
农业发展基金	1989	从征用土地费中按比例提取	农业重点项目和土地复垦项目
市场物价调节基金 粮食风险基金	1989	企事业单位、个体户	物价补贴、粮价调节
防洪保安资金	1992	企事业单位	江堤建设、水利工程
民防建设资金	1995	企事业单位、个体户、开挖防空地下室的高层建筑	民防基础设施建设与设备添置

【职工基本养老保险基金】

企业职工基本养老保险基金　1987 年设立。1993 年 5 月，推行企业职工养老保险制度改革，企业职工基本养老保险基金，由国家、企业和个人三方面共同负担。1997 年起，企业按照职工工资总额的 18% 缴纳，职工按本人工资的 4% 缴纳，个体

工商户主按企业和职工缴费比例之和缴纳。职工基本养老保险基金由社会保险机构统一征集，2001 年改由地方税务局代征。所征集的基金，由财政专户储存，用于职工离退休金、各项补贴和抚恤等支出。市财政根据用款计划，每月从财政专户将资金划拨到社会保障机构的支出账户。1997 ～ 2005 年，共筹集基金 19.3 亿元，支出 13.63 亿元，加上 1997 年之前的结余，累计结余 6 亿元。

机关事业单位职工养老保险　1993 年 4 月起试行，1996 年 7 月起全面实施。所设基金由市、镇财政和单位、个人共同合理负担。单位按工资总额提缴 21%，个人按工资总额自缴 3%，离退休人员不再缴纳。1999 年 6 月起，国家公务员不再交纳。至 2005 年年末，滚存结余 4124.45 万元。

【城镇职工基本医疗保险基金】

1997 年 4 月实施。保险基金由用人单位和参保职工共同缴纳，国家给予扶持。参保人员个人缴费标准为在职职工按本人上年工资总额的 1% 缴纳（1999 年调整为 2%），由用人单位按月从职工工资中代为扣缴；停薪留职人员和私营企业主、个体工商户等难以确定正常工资收入的，按本市上年社会平均工资额的 13% 缴纳。医疗保险机构为在职职工建立个人医疗账户，实行统一代码。国家机关、企事业单位按在职职工上年工资总额的 12% 缴纳（1999 年调整为 8%）。用人单位的医疗保险费，按规定记入个人账户的以外部分作为社会统筹医疗基金，由社会医疗保险机构统一管理使用，用于职工个人医疗账户用完并按规定自负后的医疗费用。至 2005 年，全市共筹集职工社会医疗保险基金 6.1 亿元，总支出 5.02 亿元，结余 1.08 亿元。

【职工失业、工伤及女职工生育保险基金】

在社会保障方面，除养老保险和医疗保险外，还设立职工失业（待业）、职工工伤和女职工生育 3 种保险基金，分别用于失业救助、工伤

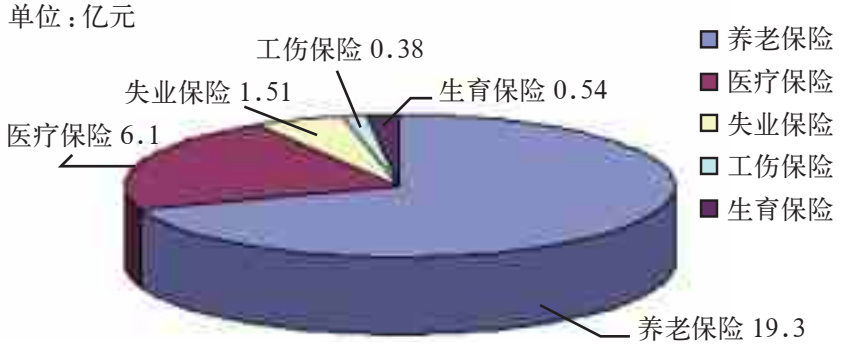


图 26　1997 ～ 2005 年太仓市社会保障基金征集总额分类统计图

医疗和生育费用。1997 ～ 2005 年,全市共筹集职工失业保险基金 1.51 亿元、企业职工工伤保险基金 3784.61 万元和女职工生育保险基金 5374.6 万元。(详见卷十五太仓市人民政府社会保障条目)

会计管理

【达标升级】

1989 年 8 月,县属企业开展会计达标升级活动。等级分为达标、三级、二级和一级,分别报经县、市、省审核确认。1990 年,举办企业会计核算工作培训班,有 300 多名企业会计参加培训。1991 年,会计达标升级活动扩至行政事业单位、乡镇企业及村级组织。至 1993 年,有 50 家国有和大集体企业、16 家流通企业、127 家乡镇企业和 232 个村的会计工作达标。1999 年,市财政局下发《关于加强财政所会计基础工作的通知》和《财政所内部会计基础工作规范化考核办法》。通过检查、考核、颁发合格证书,促进财政所内部的会计工作。

【人员管理】

持证上岗 1992 年 7 月,在经委、粮食、商业 3 个系统试点,后全面推开。1997 年年初,对通过年检的会计人员,办理会计证注册登记手续;未通过年检的会计证一律作废,并取消会计上岗资格。同年 7 月,换发全国统一编码的新会计证,年末,全市持有会计证的人员计 5533 人。以后每年对持证者进行一次岗位考核,严重违反财经纪律或弄虚作假骗取会计证者,经查实后予以收回或吊销会计证。2002 年,对通过会计证年检的人员,直接换发会计从业资格证书;对具有教育部门认可的中专以上会计类学历人员,取得初级会计电算化证书(或珠算 5 级)者,自毕业之日起两年内,可申领会计从业资格证书;不具备条件的人员,参加江苏省从业资格考试。至 2005 年年末,全市拥有注册和非注册的会计从业人员分别为 7933 人和 726 人。

培训教育 1984 年起,太仓财会函授学校采取“函授自学、电化教育、面授辅导”三位一体教育方法,先后举办财会中专、大专、本科学历班及会计上岗培训班、会计职称辅导班、电算化培训班等,帮助会计从业人员达标升级。1998 年 8 月,对持有会计证的在职会计人员开展继续教育,会计人员集中上课培训每年不少于 24

小时。同年，有 1236 人参加“现金流量表”培训，1054 人参加“会计基础工作规范”培训。2002 年，举办新“企业会计制度”培训 43 期 5074 人次。2003 年，培训内容有会计准则、预算、预算科目、国库集中支付、会计结算报告制度和金融企业会计制度。共培训 67 期 6624 人次， 2004 年，培训内容侧重于会计职业道德和内部会计控制，共培训 70 期 7138 人次。“小企业会计制度”制定后，组织相关内容培训 71 期 7367 人次。

职称考评 1981 年，职称考评由人事部门主管，相关部门协管。会计技术职称初设 4 个级别，均通过评审确定。至 1991 年，经县职称评审组织审定的会计员有 622 人，助理会计师 368 人，会计师 109 人；报苏州市评审组织审定的高级会计师 6 人。1992 年后，实行全国统一考试制度，等级调整为初、中、高 3 个级别。高级职称先维持原审定办法，2004 年起需参加财政部组织的全国高级会计师水平考试，成绩合格后方可呈报省会计专业高级资格评审委员会评审，最后再由省人事部门审核确认。1992 ～ 2005 年，通过考试或考评结合取得初级职称的有 1835 人，中级职称 528 人，高级职称 20 人。

会计电算化 1993 年，推行会计电算化。制定《太仓市会计电算化管理办法》《财政系统会计电算化规范》，组织会计电算化培训。至 1998 年，2686 名在职会计人员参加培训，经江苏省财政厅组织的无纸化考试，2195 人成绩合格，合格率 81.72%。1998 年起，按照江苏省企事业单位采用电子计算机替代和进行会计核算审批办法，市财政局组织专业人员，对企事业单位电算化业务进行评审，至 2001 年，共评审 227 家。

【代理记账】

2002 年，应中小企业发展之需，太仓第一家会计代理记账公司成立。根据财政部“代理记账管理办法”规定，设立代理记账公司，需经财政部门审查资格，经批准取得许可证后，方可依法办理工商登记。代理记账公司需具备有 3 名以上持有会计从业资格证书的专业从业人员，主管代理记账业务的负责人具有会计师以上专业技术职称资格，有固定的办公场所，有健全的代理记账业务规范和财务会计管理制度。营业后，每年 4 月 30 日前，向财政部门报送基本情况、营业执照、办公用房产权证明等材料，接受监督管理。违反“代理记账管理办法”的，按规定给予处理。至 2005 年，代理记账公司发展至 33 家，从业人员 170 人，代理记账户 483 户。

财政监督

【财务检查】

1985年起,全县每年开展一次税收、财务、物价检查。检查对象为国有和集体企业、外商投资企业、行政事业单位及个体工商户。1986年,重点检查对财政影响较大、群众反映强烈、困难较多的单位。1993年,重点检查执行汽车集控和行政事业性收费政策情况。1994年,重点清查“代币购物券”。1995年,重点清查“小金库”。全市1802家国有、集体企业和行政事业单位开展自查,自报违纪设小金库37家。在自查基础上,抽调126人,组成42个检查组,对118个单位重点抽查,查出5家有截留、隐匿收入等问题,违纪“小金库”金额186.9万元。对规定应入库的34.4万元,责令有关单位解缴入库。1996年,重点整顿会计工作秩序。全市2209家中有47家存在违规违纪行为,主要问题是虚报利润、不按规定列支费用,检查后得以纠正。至1997年,共查出违纪金额4257.5万元,应入库金额2697.3万元,检查后入库2503.3万元,占违纪金额的92.8%;清查出“代币购物券”128.2万元,对涉及单位或部门进行了严肃处理。

【控制社会集团购买力】

1988年12月,太仓县成立控制社会集团购买力办公室(简称“集控办”),与县财政局合署办公。1991年,对购车实行“指标控制、划定档次、分季审批”的办法。全年有88家单位推迟购买大小轿车。1992年,对非生产性购买轿车严格控制,凡属亏损企业、资金不落实、用银行借款、以物串换、上年已购车辆等7种情况,一律不予审批。1993年7月,集控办停止审批购买汽车35辆,抑制购车经费700万元。1994年起,实施购车资金专户储存办法,控制购车单位资金未落实而擅自购车的问题,对45辆“公车私户”违纪车,分别进行罚款和补办集控手续。1995年6月,对购买无线寻呼机和移动电话开展专项清理,清理出未办集控手续自购的移动电话3158部,清理结束后补办集控手续、征收消费附加。1999年后,苏州市集控办对市(县)乡(镇)党政机关购置排气量2.0升以上、车款25万元以上的小汽车一律不予批准。2004年6月,省政府发文取消社会集团购买力审批,从7月1日起取消小汽车控购审批,行政事业单位购车改用预算管理、政府采购和国库集中支付

等手段加以控制。

四、国家税务

1986 年，全县税收收入 1.12 亿元，首次进入“亿元县”行列。1994 年，全国实行分税制改革。同年 9 月，太仓市国家税务局和太仓市地方税务局成立，分别征管国家税收和地方税收。2005 年年末，全市国税收入 27.49 亿元，是 1995 年 2.68 亿元的 10.26 倍。

征收管理

【税务登记】

1986 年，全县的国有、集体等各类企业与个体工商户均在县税务局办理税务登记。全年登记 6968 户。1988 年，有 3 户外商投资企业办理税务登记，由苏州市税务局核发税务登记证。1990 年，有 6 户外商投资企业办理税务登记。1991 年起，外商投资企业列入太仓税务登记户籍统计。1994 年，实施分税制改革，全年登记各类纳税户 13006 户，其中增值税一般纳税人为 3752 户。2000 年，市国税纳税户 10673 户，其中外商投资企业 348 户，增值税一般纳税人 3937 户。2005 年，市国税纳税户 14888 户，其中外商投资企业 773 户，增值税一般纳税人 4626 户。。

1986～1990年太仓县纳税户统计表

表 217　　单位：户

年份	国有		供销社	集体					个体户	私营	其他	合计
	小计	其中工业		小计	其中							
					镇乡村	工业	街道	运输				
1986	222	21	225	2818	2057	48	104	16	3703	—	—	6968
1987	268	23	257	3451	2410	56	134	13	3960	—	—	7936
1988	318	24	234	4645	3107	42	279	11	5336	—	—	10533
1989	364	26	256	3384	2311	41	236	7	6219	—	70	10293
1990	308	46	290	3057	1969	60	281	10	6005	31	23	9714

1991～2005年太仓市(县)纳税户统计表

表 218　　单位：户

年份	国有企业	集体企业	股份合作企业	联营企业	有限责任公司	股份有限公司	私营企业	其他企业	港澳台商投资企业	外商投资企业	外国企业	个体经营	合计	其中一般纳税人
1991	277	3595	—	—	—	—	38	51	26	9	—	6272	10268	—
1992	445	4129	—	—	—	—	35	85	94	40	—	5841	10669	—
1993	866	5786	—	165	7	—	257	41	211	105	—	4793	12231	—
1994	758	5836	—	271	21	—	466	29	211	105	—	5309	13006	3752
1995	594	5019	—	224	22	—	498	39	282	148	—	4202	11028	4058
1996	489	3317	—	153	30	—	698	209	266	161	—	3500	8823	3888
1997	536	3557	—	155	345	—	1076	—	312	202	—	3999	10182	3986
1998	479	2955	—	128	480	—	1351	—	352	229	—	4896	10870	3528
1999	463	2782	—	115	—	532	1369	—	368	246	—	5037	10912	3706
2000	417	2139	120	39	295	15	2670	—	419	348	—	4211	10673	3937
2001	317	1713	105	29	274	16	2714	2	479	410	—	4729	10788	3157
2002	310	1700	102	26	279	13	2710	1	474	419	—	4647	10681	3397
2003	172	703	87	17	775	19	3115	—	503	557	2	6045	11995	3392
2004	145	604	78	14	350	26	4290	—	544	648	3	7116	13818	4257
2005	117	516	67	13	290	34	4825	1	568	773	5	7679	14888	4626

注：1995 年起，为国税纳税户

【征管模式】

2002 年税法宣传到村头

1986 年，全县实行“一员到户、各税统管，征、管、查合一”的税务专管员管户制度。1988 年 7 月 4 日，召开税务系统“公开办税”动员大会，并以浏河税务所为试点。实行税收法规公开、征管制度公开、违法处罚公开、减免税条件和审批程序公开、税务检查结果公开、干部职业道德和纪律规范公开、干部违纪案件处理公开、干部姓名工号职务公开等八公开，依法治税。1989 年 3 月 28 日，实施“征管与检查分离”制度，加强内部制约机制，形成局、所两级稽查模式。同年 12 月，税务所、组发票集中管理，专人负责。1990 年 4 月 4 日，开展全县税法宣传，并把每年 4 月份定为税法宣传月。1994 年 7 月 1 日起，统一使用由中国人民银行印钞造币公司统一印制的具有防伪标志的新版增值税专用发票，强化增值税征收管理。

1995 年始，全市 23 个乡镇税务所逐步建成诺勒公司（NOVELL）局域网，采用磁盘管理系统版征管软件，用电脑开具税票和进行简单的会计核算。1996 年 1 月 1 日起，停止使用手工 100 万元版和 1000 万元版专用发票，凡销售额 1 次达到 100 万元以上，一律使用增值税防伪税控系统开具电脑版专用发票。同年 5 月，全市开始实行部分大、中型企业开具电脑版增值税专用发票，并逐步推广防伪税控系统。12 月，选择沙溪国税分局进行“以申报纳税和优化服务为基础，以计算机网络为依托，集中征收、重点稽查”的第一轮税收征管改革试点，1997 年上半年在全市国税系统全面推行。按照经济区划组建 7 个税务分局、1 个涉外税务分局和 1 个税务稽查分局。在分局内部按照税收征管业务流程设置管理股、征收所和稽查所内设机构，建立市稽查分局和分局稽查所两级稽查机制。推行纳税人自行申报纳税制度，明确征纳双方法律责任，规范申报管理办法。各分局设置征收服务厅集中征收，在申报、征收、发票管理和税法公告宣传等税务事宜上为纳税人提供“一条龙”服务。以计算机网络和江苏省 3.0 版征管软件为依托，实施市局与分局的电子数据传递，建立现代征管电子化数据平台。

2001年9月,太仓市作为苏州市试点,进行第二轮国税征管改革。把原以税务分局为单位的征、管、查内分离转变为市局为单位的征、管、查外分离,设立征收分局和稽查局,实现全市集中征收和一级稽查。建立64K数字数据网(DDN)专线传输的即时广域网和集中征收系统,采用江苏省国税征管软件4.0版运作。划片管理分局重点加强税源管理,建立纳税评估机制。2002年1月,逐步推行带有客户端的电子申报和银税联网,纳税人在银行开设预储账户,实行纳税申报实时扣款入库,购买发票实时扣收工本费。至年末,所有增值税一般纳税人全部通过防伪税控系统开具电脑版专用发票,手工版专用发票统一废止。2003年3月,随着税收信息电子化的整合、提升,征收实行信息集中,征收分局完成历史使命。同年7月,银税库联网成功,税款通过电子缴库,实现税票无纸化。2005年1月,按照上级的统一部署,太仓国税的征管软件统一升级为7.0版。

税收收入

【税　种】

1986年,太仓征收产品税、增值税、营业税、国有企业所得税、集体企业所得税、城乡个体工商业户所得税、私营企业所得税、屠宰税、集体企业奖金税、城市维护建设税、个人所得税、房产税、车船使用税、个人收入调节税、国有企业工资调节税、固定资产投资方向调节税、城镇土地使用税、印花税、工商统一税、外商投资企业和外国企业所得税等20个税种。1994年9月,分设国税、地税机构。1995年起,国税征收增值税、营业税、消费税、车辆购置税、企业所得税、个人所得税、外商投资和外国企业所得税等7个税种。至2005年,保持不变。

【税　收】

1986年,全县工商税收1.12亿元。其中增值税、产品税、营业税7753万元,所得税2996万元,其他423万元。1994年,工商税收2.27亿元,是1986年的2.03倍。1995年,全市国税收入2.68亿元。其中增值税、消费税25476万元,所得税485万元,外商投资企业和外国企业所得税380万元,其他508万元。2005年,国税收入27.49亿元,是1995年的10.26倍。

1986～1994年太仓市(县)工商税收入库统计表

表 219　　单位：万元

年份	合计	其中			
		增值税、产品税、营业税	所得税	其他	外商投资企业和外国企业所得税
1986	11172	7753	2996	423	—
1987	11732	8384	2819	529	—
1988	13045	10180	2219	646	—
1989	14419	11289	2299	831	—
1990	14018	10912	2113	993	—
1991	12767	10134	1831	802	—
1992	15800	13324	1534	923	19
1993	25636	23252	1223	1102	59
1994	22723	22164	121	277	161
总计	141312	117392	17155	6526	239

1995～2005年太仓市国税收入统计表

表 220　　单位：万元

年份	合计	其中			
		增值税消费税	所得税	外商投资企业和外国企业所得税	其他
1995	26849	25476	485	380	508
1996	30787	29300	691	600	196
1997	25954	24043	431	691	789
1998	42475	40051	628	872	924
1999	53154	50245	825	1084	1000
2000	72350	66012	1262	2611	2465
2001	91721	81028	1361	6009	3323
2002	116819	97407	1913	14157	3342
2003	145911	122627	2657	17900	2727
2004	199404	162256	4742	29244	3162
2005	274929	219292	11879	39789	3969
总计	1080353	917737	26874	113337	22405

【减免退税】

1986年,按照税法规定并结合太仓实际情况,对于民政福利企业、校办工厂及新办外资企业等实施政策性减免税,免征或减征应纳税款。全年减免税2450万元。1993年,对已征收入库的税款,依据税法规定把部分税款退给原纳税人。有因销货退回、计算错误多纳税款和政策变动需要退税及鼓励产品出口、增强产品国际竞争力而设立的出口退税,全年出口退税48.6万元。至1994年,累计减免税51309万元。1995～2005年,累计减免国税19.2亿元。2001～2005年,累计出口退税34.09亿元。

1986～1994年太仓市(县)减免税统计表

表221　　单位:万元

年份	减免税项目				合计
	民政福利企业	校办企业	外资企业	其他	
1986	—	—	—	—	2450
1987	—	—	—	—	2669
1988	—	—	—	—	5012
1989	1108	—	—	2154	3262
1990	1766	675	—	4208	6649
1991	2024	1369	—	6507	9900
1992	2060	1692	—	3672	7424
1993	3784	1859	—	1611	7254
1994	3170	1376	2041	102	6689

1995～2005年太仓市减免国税统计表

表222　　单位:万元

年份	减免税项目				合计
	民政福利企业	校办企业	外资企业	其他	
1995	1590	1921	1170	232	4913
1996	1576	2046	915	427	4964
1997	2197	1686	2213	211	6307
1998	1323	1189	1001	5	3518

续表 222

年份	减免税项目				合计
	民政福利企业	校办企业	外资企业	其他	
1999	2649	3204	5682	1	11536
2000	2754	781	25330	14	28879
2001	3726	—	11788	30	15544
2002	5412	—	15380	40	20832
2003	5160	—	16810	33	22003
2004	2828	—	35146	153	38127
2005	1896	—	32881	613	35390
合计	31111	10827	148316	1759	192013

1993～2005年太仓市出口免抵退税选年一览表

表 223　　单位：万元

年份	合计	其中					
		省属企业	三资企业	免抵调减	出口货物退税	归还出口货物增值税退税欠款	归还出口货物消费税退税欠款
1993	48.6	48.6	—	—	—	—	—
1995	2007.2	1948.9	58.3	—	—	—	—
1996	5045.9	4783.1	262.8	—	—	—	—
1997	5450.2	3143.2	2307.0	—	—	—	—
1998	9732.6	3923.8	5808.8	—	—	—	—
2001	24274.0	—	—	—	24274	—	—
2002	28740.0	—	—	10300	18440	—	—
2003	54601.0	—	—	13100	41501	—	—
2004	141823.0	—	—	22438	47031	72350	4
2005	91502.0	—	—	27975	63536	−9	—

国税稽查

【稽　查】

1986 年，税务通过复审稽核查出应补税款 120 万元，检查后补交入库 73 万

元。至1993年,累计查出应补税款1723万元,检查后补交入库1199万元,入库率69.59%。1994年起,对偷逃国家税赋者,除全额补交外并处罚金。全年检查纳税户34户,补交税款35万元,罚金6万元。1995年起,对逾期未缴拖欠税款者,加征滞纳金。至2005年,市国税共检查纳税户3514户,查出应补税款1.23亿元,连同罚金和滞纳金共1.8亿元,入库1.61亿元,入库率89.69%。其中有214起案件依法移送司法机关处理。

1986～2005年太仓市(县)查补税统计表

表224

年份	检查户数(户)	应补税额(万元)	罚款(万元)	滞纳金(万元)	入库数合计(万元)	移送司法机关案件数(件)
1986	—	120	—	—	73	—
1987	—	120	—	—	59	—
1988	—	139	—	—	72	—
1989	—	290	—	—	202	—
1990	—	356	—	—	163	—
1991	—	225	—	—	195	—
1992	—	221	—	—	203	—
1993	—	252	—	—	232	—
1994	34	35	6	—	214	5
1995	279	3074	97	0	2464	4
1996	202	709	67	0	810	8
1997	194	404	102	0	506	2
1998	154	765	73	0	838	2
1999	258	780	232	1	1012	1
2000	415	700	193	10	882	4
2001	410	1137	694	0	1840	1
2002	288	869	137	111	911	7
2003	524	999	567	249	906	69
2004	392	1094	728	175	1770	50
2005	364	1719	2014	259	3992	61

【案　例】

1994 年 4 月至 6 月，吉某某承包太仓市兴太建筑公司建材经营部，在没有货物购销的情况下，先后为兴化市戴窑镇运输站嘉定分部等 15 家单位虚开增值税专用发票 48 份，虚开税额 49.86 万元，其中申报抵扣税发票 44 份，抵扣税款 48.16 万元。1995 年 10 月至 1996 年 3 月，吉某某承包太仓市王秀物资经营部，在没有货物购销的情况下，先后为太仓陆渡冠生园食品厂、太仓市政建设物资公司等 96 家单位，虚开增值税专用发票 171 份，虚开税额 73.67 万元，其中申报抵扣税发票 89 份，抵扣税款 50.39 万元。吉某某行为构成虚开增值税发票罪。1997 年 12 月 15 日，江苏省苏州市中级人民法院依法判处吉某某无期徒刑，剥夺政治权利终身，没收财产 5 万元。

五、地方税务

1994 年 9 月，太仓市地税局列入太仓市政府序列。1999 年 1 月，市地税局改由苏州市地税局和太仓市政府双重领导，以苏州市地税局垂直领导为主。至 2005 年，全市开征地方税 11 种，累计征收地方税 41.93 亿元。

地税收入

【税种税率】

营业税　为保证个体纳税人在经营活动中能获得最基本的收入，对营业税规定了起征点。1994 年，按期纳税的起征点为月营业额 400 元，2002 年 7 月调整为 800 元，2005 年年末调整为 5000 元；按次纳税的起征点从初期的每次（日）营业额 50 元调至每次（日）营业额 100 元。纳税人未达到起征点的免征营业税，达到起征点的按营业额全额计算应纳税款。教育、医疗、文化、农技等 9 种公益性服务免征营业税。金融保险业的税率按规定调整。娱乐业适用税率 5% ～ 20%。1994 ～ 2005 年，共征收营业税 190035 万元。

企业所得税（内资）　1994 年 1 月 1 日起，开征企业所得税，将原国有企业所得税、集体企业所得税、私营企业所得税合并，统一实行 33% 税率，体现公平税负、平等竞争原则。在征收中规范税前扣除项目和标准，统一减免税和税收优惠

政策,规定两档过渡性优惠税率,对年应纳税所得额在3万元(含3万元)以下的企业,暂按18%税率征收所得税,年应纳税额在3万元以上10万元以下(含10万元)的企业,暂按27%的税率征收所得税。1994～2005年,共征收企业所得税86285万元。

个人所得税 个人所得税分3种不同税率。工资、薪金所得,采用9级超额累进税率,按个人月工资、薪金所得减除费用800元后的余额划分级距,最低一级为5%,最高一级为45%,共9级;个体工商户生产经营所得和对企事业单位承包经营、承租经营所得适用5级超额累进税率,最低一级为5%,最高一级为35%;个人稿酬所得、劳务报酬所得、特许权使用费所得、利息、股息、红利所得、财产租赁所得、财产转让所得、偶然所得和其他所得,按次计征个人所得税,适用20%税率。1994～2005年,共征个人所得税60583万元。

固定资产投资方向调节税 1991年,在原建筑税基础上,为抑制经济过热,引导投资方向,合理配置社会资源,促进国民经济持续、稳定、协调发展,开征固定资产投资方向调节税,2002年停征。1994～2001年,共征固定资产投资方向调节税625万元。

土地增值税 是地税系统成立后新开征的第一个税种。1995年11月,太仓市贯彻执行《中华人民共和国土地增值税暂行条例》。至2005年,共征土地增值税4197万元。

城镇土地使用税 1988年9月27日,国务院发布《中华人民共和国城镇土地使用税暂行条例》。同年11月1日起,太仓县开征土地使用税。以城市、县城、建制镇和工矿区范围内的土地为征税对象。全县土地使用税分两个等级,城厢地区每平方米0.5元,其他地区每平方米0.2元。2001年1月1日起,调整为城厢地区每平方米1元,其他地区每平方米0.5元。1994～2005年,共征土地使用税2679万元。

印花税 1988年8月6日,国务院发布《中华人民共和国印花税暂行条例》。同年10月1日起,太仓县恢复征收13个税目的印花税。根据凭证性质,合同、产权转移书据和记载资金的账簿按比例税率计征,最高税率为千分之一,最低税率为万分之零点五。其他营业账簿、权利、许可证照,按件定额计征,每件5元。1994～2005年,共征印花税9207万元。

城市维护建设税 1985年1月1日,开征城市维护建设税,以缴纳消费税、

增值税、营业税的单位和个人为纳税义务人，以纳税人实际缴纳的消费税、增值税、营业税税额为计税依据并分别与这三种税同时缴纳。城区税率为5%，其他地区税率为1%。1993年后，改为城区7%，其他地区5%。进口产品海关代征消费税、增值税后，不再征城市维护建设税。按照税收法规减免的消费税、增值税、营业税，同时减免城市维护建设税。1994～2005年，共征城市维护建设税37137万元。

房产税和城市房地产税　1986年9月15日，国务院发布《中华人民共和国房产税暂行条例》。同年10月1日起，对在中国有房产的外国侨民、港澳台同胞和外商投资企业、外国企业，征收城市房地产税。房产税以房产原值或出租租金收入为计税依据，其税率按从价（房产原值）和从租（租金）两种方法计算缴纳，从价的税率为1.2%，从租的税率为12%。1994～2005年，共征房产税25461万元。

车船使用和牌照税　1986年9月15日，国务院发布《中华人民共和国车船使用税暂行条例》。同年10月1日起，太仓县开征车船使用税。车船使用税采用定额税率，分别按车船的种类、大小、使用性质规定不同的税率。2003年起，对车船使用税中的自行车项目停征。1994～2005年，共征车船使用和牌照税1694万元。

屠宰税　1994年1月1日实行新的财税制度后，屠宰税的管理权下放给地方管理。2002年停征。1995～2001年，共征收屠宰税825万元。

1994～2005年太仓市地税各税种征收统计表

表225　　单位：万元

年份	营业税	个人所得税	企业所得税	固定资产投资方向调节税	城市维护建设税	房产税和城市房地产税	印花税	城镇土地使用税	土地增值税	车船使用和牌照税	屠宰税
1994	3809	89	2273	53	770	136	38	27	—	114	—
1995	4024	288	1740	150	1139	381	58	74	—	166	98
1996	5272	1081	2050	84	1413	469	175	83	2	215	127
1997	5965	1522	3323	99	1543	590	211	75	1	165	104
1998	7181	2012	2851	10	1576	1183	296	63	—	127	134
1999	7717	2330	4218	100	1898	1433	307	79	4	82	193
2000	9500	2994	7145	13	2605	1994	455	74	5	88	145

续表 225

年份	营业税	个人所得税	企业所得税	固定资产投资方向调节税	城市维护建设税	房产税和城市房地产税	印花税	城镇土地使用税	土地增值税	车船使用和牌照税	屠宰税
2001	10259	3662	10059	116	3227	1970	718	183	8	37	24
2002	15479	5349	9350	—	4124	2441	885	277	23	60	—
2003	24613	8463	11062	—	4649	3172	1136	346	18	165	—
2004	40461	13577	15918	—	6354	4857	2296	565	830	229	—
2005	55755	19216	16296	—	7839	6835	2632	833	3306	246	—

【税　收】

1994 年，地方税收收入 7620 万元。2003 年，克服“非典”带来的不利影响，共组织入库地方税收 5.36 亿元，首次超 5 亿元；征收入库社会保险费 3.29 亿元，征缴率 99% 以上。2005 年，加强税源分析监控、收入预测、欠税清缴和税收稽查，坚持依法治税，做到应收尽收，组织各项收入 17.4 亿元，其中地方税收收入 11.3 亿元，增幅 58.24%。

2005年太仓市地税收入明细表

表 226　　单位：万元

地区或税种	收入	地区或税种	收入
一、全市地税收入	112958	4. 个人所得税	19216
(一)省级收入	6430	5. 城市建设税	7839
(二)市县级收入	106528	6. 印花税	2632
二、各项收入	174018	7. 土地增值税	3306
(一)地方税收	112958	8. 车船使用税	246
1. 营业税	55755	9. 房产税	6835
其中银行营业税	6375	(二)教育费附加	4596
2. 土地使用税	833	(三)文化事业建设费	66
3. 企业所得税	16296	(四)社会保险费	49775
其中省级	55	(五)其他基(资)金费	6623

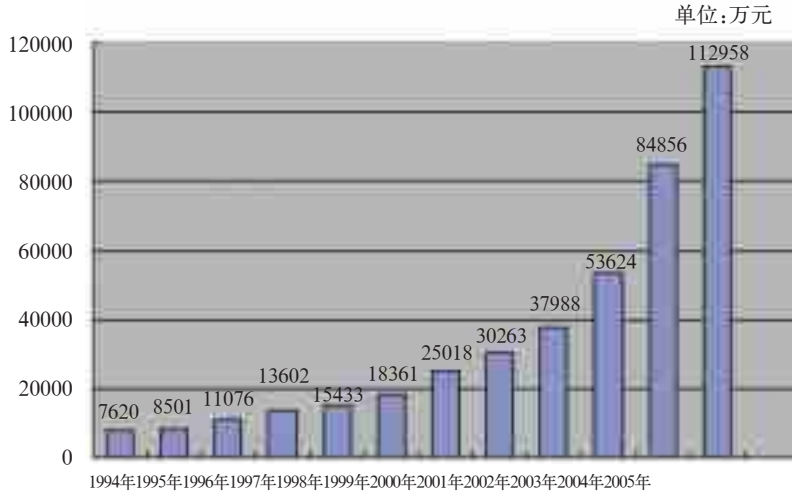


图 27　1994 ～ 2005 年太仓市地税收入统计图

【基金和费】

种　类　1986 年 7 月 1 日，开征教育费附加。1989 年 1 月 1 日，开征市场物价调节基金、粮食风险基金（简称两金）。1994 年 9 月 1 日，开征教育地方附加费。1995 年，开征人民教育基金。1997 年 1 月 1 日，开征文化事业建设费。同年 4 月 1 日，开征旅游事业发展费。1999 年 1 月 1 日，开征防洪保安资金。2002 年，开征民防建设经费。2003 年，开征残疾人就业保障金。同年 7 月，教育地方附加费和人民教育基金，分别更名为地方教育附加和地方教育基金。2004 年 1 月 1 日，开征义务植树绿化费、义务植树统筹费。至 2005 年，全市征收的基（资）金和费共 11 种。

1994～2005年太仓市教育费附加征收统计表

表 227　　单位：万元

年份	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
金额	413	100	386	357	370	500	767	940	1219	1265	4531	4596

2003 ～ 2005 年太仓市各项基（资）金、费征收统计表

表 228　　单位：万元

年份	地方教育基金	两金	防洪保安基金	残疾人就业保障金	义务植树绿化费统筹费	旅游事业发展费	民防建设经费	文化事业建设费	地方教育附加
2003	242.8	2070	123.6	390	21	7.7	135.1	8	421
2004	360.0	2641	186.0	563	67	38.0	180.0	83	1180
2005	417.0	2734	168.0	616	70	36.0	210.0	66	2248

社会保险费 2001年11月起,太仓按照有关规定征收社会保险费。凡在《社会保险费征缴暂行条例》《太仓市职工生育保险暂行办法》《太仓市职工工伤保险暂行办法》等规定范围内的国家机关、事业单位、企业及其职工、城镇个体工商户及其雇工均属社会保险费的征缴对象,其应缴纳的社会保险费,包括基本养老、基本医疗、失业、工伤、生育保险费,实行合并结算。缴费基数按职工实际工资收入总额申报。缴费比例按市政府的规定执行。2003年,征收社会保险费32903万元。2005年,增至49775万元。

2003～2005年太仓市社会保险费征收统计表

表229 单位:万元

险种	2003年	2004年	2005年
养老保险	20681	25772	30036
医疗保险	9451	12938	15276
失业保险	1696	2377	2844
工伤保险	435	545	663
生育保险	640	802	956
合计	32903	42434	49775

地税征管

【税务登记】

1994年,国、地税分设后,地税局全面收集并整理纳税人的税务登记,对各类企业的开业、改组、分设、停业、歇业、合并等变更情况及时办理申报和登记手续,一户一卡。1998年,换发税务登记,加强对非正常户、失踪户和注销户的控管,实行税源户籍管理制度,设立税源户登记台账,建立工商业户巡查制度,发现漏征漏管现象及时处理,把税收死角减少到最低限度。2000年,制定《太仓市地税局税务登记管理办法》,对纳税人户籍作明确规定。成立税务登记中心,实行集中登记,统一划分区域,规范税务登记行为,操作性强。2002年10月,在市行政服务中心设地税窗口,把好纳税服务第一关,公开办事流程和收费标准,受理纳税人的咨询、申请。结合税务登记验证工作,开展税务登记户籍检查。2004年,加强精细化管理,每月与国税、工商部门交换一次纳税人信息。2005年,全市地税登记总户数27.76

万户，其中个体工商户 15.45 万户，分别是 1995 年的 25.79 倍和 26.56 倍。

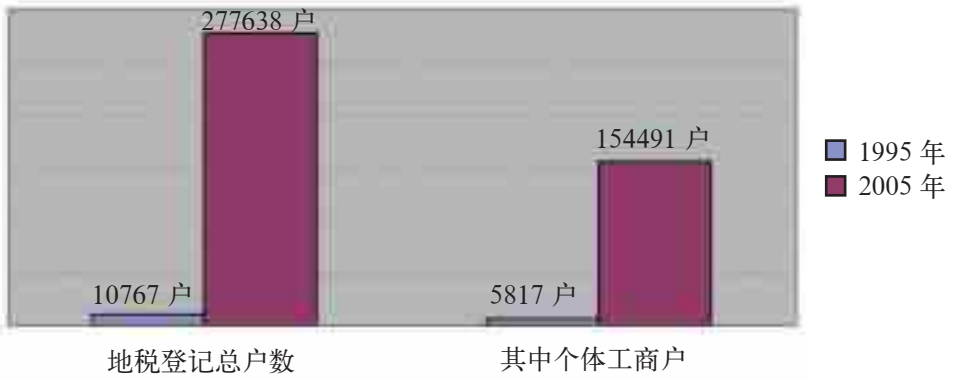


图 28　1995 年、2005 年太仓市地税登记情况对比图

【发票管理】

1994 年，全市启用由地方税务局监制并套印“全国统一发票监制章”的发票。建立发票印制、领购、保管、结报工作制度，做到专人管理、验旧领新，证、账、卡、表、实物相符，发票管理走上规范化轨道。1997 年 1 月 1 日，按全国统一换版要求，更换使用具有统一防伪措施的新版普通发票。发票联采用专用 SW 水印纸印制，发票监制章和发票号码采用有色荧光油墨套印，印色为大红色，在紫外线灯下呈橘红色反应。同年 4 月 1 日，文化、体育、园林、宗教场所使用的门票一律使用地方税务局监制并套印“全国统一发票监制章”的门票。1998 年 8 月 1 日起，市出租汽车陆续使用计价器机打发票。同年 10 月 1 日起，市公路汽车运输“定额客票”“客运包车票”、客票电脑票和补充客票陆续改为由地方税务局监制并套印“全国统一发票监制章”，纳入发票管理。1999 年 4 月 1 日，开始在餐饮、服务、娱乐行业使用税控装置。2000 年，推广至住宿、广告、建筑行业，年末，全市在用税控装置 200 台。2001 年，开展饮食业、服务业、娱乐业普通发票专项检查，推广使用税控机，向各类服务业和农村延伸。2003 年 7 月 1 日，启用新版定额发票，在旧发票防伪措施基础上，背面增加印有“SZDS”及“苏州地税”字样的温感油墨标记（遇热变红）。对全市出租车推广使用税控计价器。启用“发票管理模块”，对纳税人购票资格逐户进行重新认定和归类。2004 年 7 月 1 日，公路、内河货物运输业统一使用江苏省地方税务局监制的“公路、内河货物运输业统一发票”，实行电脑开票。2005 年 4 月 1 日，按全国统一换版要求，更换使用具有统一编码规则的新版普通发票。新版

普通发票具有12位发票代码和8位发票号码。

【征收管理】

1995年,开始按行政区划设置23个基层税务所和1个稽查队,理顺征管体系。个人所得税实行以代扣代缴制为中心的征管制度,在全市建立固定代扣代缴点2000多个,纳税9500人次,形成护税、协税网络。1997年,机构改革,统一撤并税务所,按经济区域设置10个征收分局、8个征收大厅。配备计算机110台,优化办税环境,在服务厅设置税法公告、咨询电话、纳税指南,配备电子显示屏,推行服务承诺制。2000年,推行征管、稽查外分离的新征管模式。成立1个稽查局,3个检查分局,调整合并8个征管分局,由征、管、查在一个基层征管单位转向多个单位的外分离,由分区域分散征收转向跨区域集中征收。对个体、私营业的税收管理全部使用计算机开票。强化涉外税收管理,实施涉外企业、外籍人员申报审核评税办法。抓好准期申报率和准期入库率的考核,使准期申报率95.6%以上,当月入库率98%以上。2002年,制定审核评税操作规程,推行纳税评估,补缴税款316.25万元。2003年7月起,对全市个人所得税纳税人实行全员按月申报征收方式。同年11月,对金融、烟草、通讯行业及所有外籍人员推广使用个人所得税管理软件,实行全员申报。至年末,1400多个中方人员,642个外籍人员实行全员申报。2004年,同国税部门联合成立纳税信誉等级评定管理小组,联合开展信誉评定工作,全年共评定A级企业6户。对1033户企业进行纳税评估,补缴税款1060万元。开展税源调查分析,对重点税源户、重点税源项目实施监控。2005年10月,根据省局统一部署,启动使用免费版网络方式电子申报软件。

2005年新建的地税征收大厅

【税务信息化】

2002 年 1 月，实现企业纳税申报电子化

1994 年 10 月，地税局有 1 台 AST486 微机，用 1 套会计报表汇总软件，1 个操作员，工作为录入各分局当月手工报表数据及金库当日到账数据，汇总报表和打印。1995 年，开始建立局域网，至 1997 年，乡镇税务所全部建立局域网，在全省县（市）地税中率先实行微机开票，报表处理由 3 天缩至 3 小时。1998 年，开始建立数据传输网络，至 2000 年，税务登记、申报征收、发票发售、票证管理等征管业务全部应用计算机管理。同年，推广应用总局 ODPS 公文系统，与苏州市局公文收发实现无纸化。2001 年，全省统一征收管理软件 1.0 推广使用。通过数字数据网专线，与各分局网络实时互联，税务登记、纳税申报、批文管理、税源管理、发票管理、票证管理、减免税管理等业务处理模块全面应用。同年，自行开发完成社会保险费征收系统，与社保局实现网络互联。与金融机构联手，建立通讯线路及前置平台，设计对账及数据转换软件，实现银税一体化，个体户、小额纳税人就近纳税，方便农村纳税人。2002 年 1 月，启动邮件方式电子申报，企业足不出户就能完成纳税申报。同时建立与财政、银行、国库的联网，开发实时电子扣款系统，实现扣款、上解、入库、划解的电子化处理。2003 年，完成地税网站建设并投入运行，开辟《政务公开》专栏，实施文明办税，在地税机关与纳税人之间架起税收信息桥梁。2005 年 5 月，新办公大楼现代化机房建成并投入使用。年末，实现苏州地税系统数据库大集中，完成个人所得税全员建档和税银库系统建设，建立网络方式电子办税绿色通道，实现税、费征收无纸化。

依法治税

【宣传服务】

1995 年，在太仓广播电台和电视台录制《地税来自你我他》专题节目，开展“地税知识宣传月”活动。召开金融、证券、保险、邮电、供电、烟草等高薪部门领导

人和财会人员会议,宣传个人所得税征收管理的有关规定。沙溪税务所举办“地税知识竞赛”,并组织小学生到全镇各主要街道宣传地税知识,当地一位旅美华人看到地税知识宣传后,把前几年转让房产所得,按规定缴纳了个人所得税。1996年,加强个人所得税征收管理宣传,与有关部门共同主办中秋晚会,特邀演员杨华生表演。在太仓“两会”召开之际,个人所得税宣传走进会场,市领导及各机关干部带头缴纳个人所得税。全年征收个人所得税1080.8万元,同比增长275.37%。1998年,税收宣传走进课堂,搬上舞台,进入因特网。在地税网站上设《法规之窗》《政策咨询》《便民服务》《演示之窗》等栏目,及时更新税收政策,加强与纳税人联系。结合餐饮业“定额发票”使用,创作排演滑稽小戏《马寡妇开店》,获“江苏省文明行业创建文艺调演”三等奖。加强正面宣传的同时,有针对性地曝光一批典型偷逃税案例,提高纳税人依法诚信纳税的自觉性。

2002年,运用现代通讯手段普及税法。联合邮政、电信部门,将税收知识以邮政广告和手机短消息形式,发送到千家万户,倡导诚信纳税。与《太仓日报》联合开展以“诚信纳税、利国利民”为主题的征文比赛。开展“诚信纳税、利国利民、从我做起”万人签名活动。2003年,税法宣传与优质服务相结合,把税收宣传延伸到社区,在4个街道、14个社区成立税收服务咨询站,将税收知识普及到社区居民,增强公民税收法制意识。2004年,紧扣“诚信”二字开展税收宣传。向全市地税干部、纳税人发出“税企同铸诚信,携手共建小康”倡议;开展“税务局长谈税法”“我与地税十周年”征文、全市中小学生税法征文书法比赛等,实现税务机关与纳税人互动。2005年,利用银行信用卡对账单进行税收宣传。与农行太仓支行、中行太仓支行、交行太仓支行联合,个人所得税宣传单随对账单一起寄出。

【地税稽查】

1995年,地税查补入库102万元。1996年,以“固定资产投资方向调节税”和“房产税”为重点,查补入库15.51万元。检查外来建筑安装单位,查补税款97万元。全年共查补入库地税260.61万元。1997年,专项检查“三代单位”(委托代征、代扣代缴、代卖印花税票)52人次,查补税款54.32万元;中介机构29户,查补税款100多万元。针对性检查26户,查补入库109万元。全年查补税款276.9万元。1998年,专项检查金融、保险33户企业,查补税款48万元。同年,建立50万元以上案件报审制度,重点检查纳税大户,查补税款375万元。设立举报电话,受理税务案

件 34 件，查处 29 件，查缴税款、滞纳金、罚款 40.59 万元。全年查补税款 620 万元。1999 年，把会计事务所、律师事务所、房地产、建筑安装、装饰行业、烟草、证券、娱乐业以及各类中介机构作为必查行业。全年共查 184 户，查补税款 615.28 万元。

2001 年上半年，开展“涉税案件执行月”活动，共清理执行 179 户，入库税款 475.38 万元。下半年，检查注塑行业和沙溪纺织行业。加大力度查处建筑、房地产业，检查 128 户，查补税款 200.8 万元，加收滞纳金 0.89 万元，并处罚款 81.46 万元。全年查补税款 1250 万元，罚款 131.46 万元。2002 年，检查金融行业 6 户，保险业 3 户，查补税款 22.02 万元。检查建筑、房地产业 81 户，占全市房地产企业 77.88%，查补税款 108.27 万元。检查中介、医疗、娱乐业 41 户，结案 41 户，查补入库 111.35 万元，并处罚款 11.85 万元。2005 年，查处 50 万元以上大案 3 件，其中 100 万元以上 2 件。检查房地产及相关行业 14 户，查补收入 277.09 万元。共协查假发票 90 份，专案 2 件，涉及纳税户 146 户。全年查补收入 636.83 万元，其中税款 474.07 万元，滞纳金 25.47 万元，罚款 137.29 万元。企业自查入库 549.23 万元。采取税收保全措施 15 起，公安机关依法作出治安处罚 1 起。1995 ~ 2005 年，累计查偷逃税案近 5000 件，查补各类收入近 3 亿元。

六、工商行政

1989 年 11 月，县消费者协会（简称消协）成立。1990 年，县工商局被国家税务局授予税务宣传最佳组织奖。1995 年，成立基层消费者分会、乡镇投诉站和商贸企业投诉站，建成三级投诉网络。1999 年 6 月，工商行政管理系统施行省以下垂直管理体制，太仓市工商行政管理局更名为苏州市太仓工商行政管理局（简称工商局）。设 13 个基层工商所。2000 年，成立“12315”消费者申诉举报受理中心。2002 年，工商部门机构改革，调整基层消费者分会和消费者投诉站，调整后设 6 个基层分会，15 个消费者投诉站。同年 9 月，基层工商所撤并组建 6 个工商分局。

国有集体企业管理

【国有集体企业注册】

1986 年，全县国有集体企业 5221 家。其中国有企业 464 家，占企业总数

8.89%；集体企业4702家，占90.06%；合营及其他企业55家占1.05%。企业资产总值101423万元。1989年8月，企业登记由营业登记转为企业法人登记，通过验照审核，全县核发“企业法人营业执照”2162家，核发“营业执照”2048家，共4210家，注销登记2022家。1992年，适当放宽名称登记和乡镇企业的经营范围，简化登记手续，由往年一个月审核期缩至3天，全年新开业登记1779家，比上年增长79.5%。1993年，国有集体企业8424家，其中股份制企业10家，实现太仓股份制企业零的突破。

1996年，全市143家企业办理改制登记。1999年，太仓市第一家企业集团——江苏新雅鹿集团有限公司注册登记。2000年年末，改制企业668家，其中国有企业改制94家，占拟改制国有企业的65%。2002年10月28日，工商局注册登记科进驻市行政审批服务中心，开展日常受理看“门诊”、重特企业走“急诊”、企业有求去“出诊”、疑难杂症搞“会诊”的“四诊式”服务，在苏州市工商系统得以推广。至2003年年末，全市改制企业812家，其中股份合作制企业102家，有限责任公司230家，私营企业480家。在改制中，通过强强联合组建规模型集团和清理注销“空壳”企业，国有集体企业数明显减少。2005年，全市国有集体企业1418家，比1986年减少3803家；注册资本680068万元，比1986年增加578645万元。同年年末，工商局注册登记科累计受理项目21584个，办结率100%。

1986～2005年太仓市(县)国有集体企业注册登记统计表

表230

年份	企业总数(家)	其中		注册资金(万元)
		企业法人(家)	营业登记(家)	
1986	5221	4435	786	101423
1987	5767	4938	829	118552
1988	6798	5917	881	151513
1989	7162	6094	1068	156671
1990	4527	2313	2214	102384
1991	5428	2846	2582	132242
1992	6989	4037	2952	280291
1993	8424	5268	3156	460000
1994	9023	5569	3454	539027

续表 230

年份	企业总数(家)	其中		注册资金(万元)
		企业法人(家)	营业登记(家)	
1995	8937	5369	3568	652350
1996	8722	5044	3678	621200
1997	8121	4552	3569	662400
1998	6038	3320	2718	586828
1999	4443	2560	1883	472705
2000	3526	2074	1452	421581
2001	2768	1596	1172	404813
2002	2314	1275	1039	408878
2003	1980	1096	884	442022
2004	1652	920	732	531511
2005	1418	786	632	680068

【国有集体企业监管】

清理整顿公司 1988 年 10 月至 1990 年 12 月，对全县公司进行清理整顿，在企业自清自查自报基础上，工商、审计、财政和经委等部门复查，再报县清理整顿领导小组审核。经过清理，县属以上 192 家公司保留 140 家，撤销 52 家，查处违法经营公司 27 家，罚款 33.97 万元。县属以下 173 家公司保留 143 家，撤销 30 家。“三部企业”（经销部、经理部、经营部）664 家，撤销 333 家，变更降格 249 家，保留 82 家。党政机关办企业 29 家，撤销 28 家，合并 1 家。

企业年检 1986 ～ 1996 年，由企业填写年度《报告书》，并于次年的 3 月底前向所在地工商行政管理局呈报，依法办理年检手续。1997 年，新的《企业年度检验办法》出台。工商局采取 5 个结合，与检查登记事项内容结合、与检查注册资本结合、与检查前置审批条件结合、与检查企业逾期申报和逾期年检结合、与检查企业违法经营结合，加强对企业的监管力度。至 2005 年年末，全市应年检企业 40506 家，实际年检 32097 家，定为 A 级 30066 家，B 级 810 家，申请注销 1797 家，逾期未参加年检吊销 4082 家，年检中办理变更 1594 家，办理变更、取消经营资格 554 家，违反工商法规立案查处 68 起，罚款 69 万元。

日常监督管理 1986 年起，新开办企业，凡申领执照满 6 个月，每年按照总数

的20%回访,写出回访记录,及时了解企业经营情况。1996～1999年,会同技术监督局、农资公司开展化肥农药专项检查。抽查化肥12.81万吨,农药167.74吨,种子1270千克,没收超标有毒杀虫剂30箱和无效农药1.3吨,查处违章销售进口化肥400吨。2001年,对化工、液化石油气、石油、歌舞娱乐、烟花爆竹、压力容器等重点行业3146家企业执法检查。1986～2005年,共检查各类企业3.18万家次。

经济户口管理　2001年起,建立企业信息资料库,实行经济户口管理。2002年,数据库纳入江苏省四级联网信息系统,资源共享,管理互通。2003年,与税务部门建立信息共享制度。2005年,数据库覆盖全市2.8万家市场主体、2200件注册商标和2231家动产抵押企业,涉及企业的基本情况及重守合同、荣誉受奖、案件查处、信用不良等方面信息。

个体私营经济管理

【个体私营企业登记】

1986年,全县个体工商户7233户,从业人员11318人,注册资金1143万元,全年营业额4250万元。1987年,国务院颁布"城乡个体工商户管理暂行条例"。年末全县个体工商户8452户,从业人员13765人;合作经营组织230户,从业人员2059人。1988年,个体工商户稳定中发展,营业额8533万元,比1986年翻了一番,向国家交纳税金952.6万元,占全县征税总额的17.4%。同年6月25日,国务院颁布《中华人民共和国私营企业暂行条例》,当年核准登记3家私营企业,从业人员44人。1993年,太仓制定"三放宽一简化"措施,放宽登记对象、经营范围、登记条件和简化办照手续,支持个体私营经济发展。私营企业增至102家,从业人员1512人。同年,中外合资私营企业初露头角,核准登记3家。1996年,私营企业核准登记369家,年末总数1079家。全市个体私营经济税收入库5048万元,占工商税收的14.4%。1997年,召开全市个体私营经济工作会议,表彰"十强"私营企业、"十佳"个体工商户,促进个体私营经济发展。全年私营企业上交国家税收5779.96万元。

2000年1月1日,《中华人民共和国个人独资企业法》正式施行。3月23日,双凤镇陆建宏个人投资设立"太仓市宏伟洗涤用品厂",领到第一张"个人独资企业营业执照"。年末,全市个人独资企业共77家。2001年,市委、市政府制定"加

快发展私营个体经济30条优惠政策”，工商部门降低市场准入“门槛”，全市私营个体经济快速发展。年末，私营企业总数2819家，数量首次超过国有集体企业。其中注册资金100万元以上规模型企业309家。苏州舒适家具有限公司、太仓市皇后纺织制品有限公司、太仓市华联化工实业有限公司等10家私营企业当年申报获得自营进出口经营权。2003年，全市新核准私营企业963家，其中外地到太仓投资企业348家。年末，全市有注册资金1000万元以上私营企业90家，其中1亿元以上4家，成为地方经济发展的重要支柱。

2005年年末，全市个体工商户18999户，从业人员28126人，注册资金81840万元；私营企业5193家，从业人员103432人，注册资金984919万元。私营企业数占全部企业总数的比例由2000年的36.41%升至66.71%。全年个体私营经济完成工业总产值320亿元，占全市工业总产值的47%。利税总额21亿元，实现经济总量、贡献份额和规模实力的同步提升。

1986～2005年太仓市(县)个体私营企业注册登记统计表

表231

年份	个体工商户			私营企业		
	户数（户）	从业人员（人）	注册资金（万元）	家数（家）	从业人员（人）	注册资金（万元）
1986	7233	11318	1143	—	—	—
1987	8452	13765	—	—	—	—
1988	9654	16010	—	3	44	—
1989	9421	15804	3019	34	639	277
1990	10053	15835	2927	35	754	293
1991	10417	16489	3509	46	1109	362
1992	9843	14496	4200	44	791	363
1993	8813	11559	5992	102	1512	2244
1994	8250	10817	5684	361	3936	8014
1995	6811	8973	6214	778	9043	26900
1996	6567	8972	4597	1079	9027	39000
1997	10673	12481	11300	1370	16235	54300
1998	11016	13991	15721	1647	20028	76723

续表 231

年份	个体工商户			私营企业		
	户数（户）	从业人员（人）	注册资金（万元）	家数（家）	从业人员（人）	注册资金（万元）
1999	11848	14857	19158	1903	22686	94688
2000	12674	15982	45169	2391	28147	128386
2001	13687	18524	40318	2819	37632	172223
2002	14431	19820	46047	3286	48081	311914
2003	16891	20336	64534	3981	77719	514904
2004	17974	24806	73510	4714	85045	785744
2005	18999	28126	81840	5193	103432	984919

【个体私营企业监管】

1986 年起，对个体工商户和私营企业进行年度验照贴花和年检，同时各基层工商分局按辖区划片包干，对个体工商户和私营企业实施日常监督检查。1988 年，配合财政局、税务局、物价局、卫生局、标准计量局、烟草专卖局、多管局进行联合检查，组织 628 人次，检查 2653 户，查处违章违规案件 831 起，罚款 5125 元。同年，检查个体户 4878 户，未发现招用童工现象。1989 年，开展对个体经济的清理整顿和无照经营大检查。至年末，检查个体户 6152 户，补办营业执照 835 户，核发经营许可证 462 张，取缔无照经营 735 户，注销 2070 户。查处违法违规案件 378 起，罚款 22053 元。1993 年，会同交通、公安部门查处无照运输户 464 户，当场补办执照 144 户，责令限期办照 320 户。1996 年，依法责令关闭 204 国道太仓段沿线个体饮食业 227 户。

2004 年 5 月 1 日市场检查

2000 年，重点检查易燃易爆生产经营企业和文化娱乐场所 112 家，发出限期

整改通知书 132 份。查处违反登记事项案件 86 起，虚假出资案件 3 起，吊销营业执照 931 家。2001 年，成立取缔无照经营专项行动指挥组，开展集中整治活动，取缔无照经营 2058 户，补办执照 1462 户。清理“黑网吧” 26 户，取缔 16 家无照化工企业、2 家汽车修理企业、7 家挂靠“建筑公司”无照无证施工企业、3 个地下屠宰场、9 家非法行医诊所、8 个地下食品加工窝点和 6 家无证加油站。2002 年，会同公安、文化、电信部门开展 3 次取缔无证无照“黑网吧”行动，共查出无证无照 45 家，查扣电脑 120 台，责令停业 39 家，取缔 6 家。配合人事部门取缔 2 家无证无照人才中介机构。配合药检、计生部门检查医药商店 168 家，取缔无照经营 23 家。配合公安局、燃气办公室检查 5 个液化气充装站、30 个液化气销售点，发现无照 27 家，当场责令停业，暂扣钢瓶 68 个。2005 年，开展“查处取缔无照经营活动月”活动，集中取缔无照经营 470 家。

外商投资企业登记管理

【外商投资企业注册】

1987 年，太仓首家外资企业，经国家工商行政管理局核准注册。至 1991 年年末，登记合资企业 67 家，注册资金 4951 万美元。1992 年，制定经济技术开发区扩大对外开放、加快建设步伐 7 条措施，支持外商投资企业发展。全年新注册外商投资企业 279 家，是前 5 年总和的 4 倍多。1993 年，苏州市授予太仓外商投资企业初审权。全年新注册外商投资企业 337 家，涉及 25 个国家和地区。1998 ～ 1999 年，受国际金融形势影响，外商投资企业相对减少。同期，依法对 383 家“三无”（无场所、无资金、无人员）外资企业作出吊销处理。

2001 年，全市外商投资企业 728 家，其中外向型私营企业 64 家。2003 年，新登记外商投资企业 202 家。年末，外商投资企业总数超 1000 家，投资总额 46 亿美元，注册资金 26.7 亿美元。其中投资总额 1000 万美元以上的企业 145 家。2005 年，外资企业有 121 家增资，增资额 2.72 亿美元，占新增注册合作的 57%。增资扩本，把企业做大做强，成为外资企业发展新的亮点。同年 12 月，市工商局获得外资企业核准登记权，对外商投资企业可以直接核准登记发照。年末，全市有外商投资企业 1174 家，投资总额 65.51 亿美元，注册资本 37.11 亿美元。外资企业来自美国、德国、日本、韩国等 60 个国家和地区。

1987～2005年太仓市(县)外商投资企业注册登记统计表

表 232

年份	企业总数(家)	投资总额(万美元)	注册资本(万美元)
1987	1	90	80
1988	9	1336	790
1989	20	2640	1297
1990	27	3451	2628
1991	67	5290	4951
1992	346	45253	28171
1993	683	105400	64000
1994	796	128200	78400
1995	896	166000	100600
1996	954	189000	115000
1997	742	188742	116800
1998	699	214508	106100
1999	644	225259	110000
2000	649	169000	106700
2001	728	231353	134947
2002	899	352215	200142
2003	1052	460000	267000
2004	1124	616100	357500
2005	1174	655050	371065

【外商投资企业监管】

1994 年，对 112 家 1 年以上未出资的企业进行分类、排队，提出处理意见，加快出资进度。1995 年，加强对外商投资企业假合资问题的管理和查处，通过年检和出资检查，依法注销 28 家“三无”外商投资企业。1997 ～ 1999 年，依法公告注销 477 家“三无”外商投资企业。2001 年，将 112 家因抽逃资本及处理债权债务的外资企业定为 B 级企业，对 26 家逾期年检的企业及违法违规行为作出行政处罚，罚款 34.52 万元。至 2005 年，累计依法注销 967 家“三无”外商投资企业。

商　标

【商标注册】

1986 年年末，全县共有 208 家企业拥有注册商标 255 件，使用于 252 个产品。1992 年，太仓肉松食品有限公司生产的“太仓”牌肉松获江苏省著名商标称号。同年 9 月，苏州市成立商标事务所，商标注册由核转制向代理制转轨。1993 年起，推行商标代理制，全年太仓代理申请商标注册 121 件，商标续展 55 件，变更 231 件，年末全市有注册商标 666 件。1995 年，雅鹿集团一次性在 34 个商品类中申请注册 33 件“雅鹿”商标，8 个服务类均申请注册商标，成为全市首家全类注册商标的企业。1997 年，“雅鹿”服装商标被认定为江苏省著名商标。1998 年，为太仓地方传统特色的“板桥西瓜”“新毛芋艿”“叶复隆黄酒”“俞长盛羊肉”“春凰燻鸡”等产品注册商标。

2000 年，以外商投资企业、个体私营企业、转制改制企业为重点，推进商标注册工作。全年为私企、外企代理商标注册 94 件。2002 年 4 月，雅鹿集团创中国驰名商标成功。同年 5 月，自然人任生元向国家商标局申请注册图形商标，是太仓市首个个人申请注册商标。2003 年，雅鹿集团向国外申请注册 16 件商标，是太仓企业首次注册涉外商标。年末，全市注册商标 1485 件（含待批），其中以个人名义申请注册商标 70 件。2004 年，为 2000 多家企业 2600 多人次举办培训班，帮助经营者提高商标法律意识。全年新申请商标注册 540 件。香塘集团 72 件，其中国内商标 58 件，涉外商标 14 件；大仓集团 45 件，其中国内商标 30 件，涉外商标 15 件；太仓市镇洋化工有限公司 85 件；江苏德威新材料股份有限公司 44 件。至 2005 年年末，全市有国内注册商标 2566 件（含待批），涉外商标 45 件。其中中国驰名商标 1 件，江苏省著名商标 18 件，苏州市知名商标 33 件。

2005年太仓市中国驰名商标名录

表 233

企业名称	商标	类别	主要商品	所在地	认定年份
江苏新雅鹿集团有限公司	雅鹿	25	服装	太仓	2002

2005年太仓市江苏省著名商标名录

表 234

企业名称	商标	类别	主要商品	初次认定年份
太仓肉松食品有限公司	太仓	29	肉松	1992
江苏新雅鹿集团有限公司	雅鹿	25	服装	1997
江苏大仓集团有限公司	大仓	25	服装	2001
国营太仓铜材厂	仓环	6	铜及铜合金管材	2002
太仓利泰纺织厂有限公司	醒狮	23	天然棉纱	2002
苏州舒适家具有限公司	舒宝	20	家具	2003
江苏香塘集团有限公司	香塘	25	拖鞋	2003
太仓市塑料制品三厂	三角洲	30	塑料粒	2003
江苏新雅鹿集团有限公司	蓝冰	25	服装	2003
江苏德威新材料股份有限公司	图形	1	聚氯乙烯树脂	2004
太仓汇丰化学肥料有限公司	恩丰	1	肥料	2004
苏州市苏创集团有限公司	图形	4	气体燃料、润滑油	2004
太仓兴达制罐有限公司	图形	6	金属罐	2004
太仓嫦娥工业用呢有限公司	嫦娥	24	工业用呢	2004
江苏佩佩文具连锁超市有限公司	佩佩	35	文化用品	2005
太仓冠生园食品有限公司	金纳子	30	食品	2005
太仓市南丰特种有色合金厂	图形	6	金属	2005
太仓市金辉化纤实业有限公司	明辉	23	化纤	2005

【商标监管】

1986 年，全县查处商标侵权、假冒商品案件 14 起，查获假冒牡丹和凤凰名牌卷烟 1000 余条、西凤名酒 860 瓶、洋河普曲 1000 余瓶。1987 ～ 1989 年，收缴假冒洋河大曲瓶贴 120 余万张，查处假冒茅台、西凤、汾酒、五粮液名酒 10096 瓶。1993 ～ 1994 年，先后从常熟、郑州、哈尔滨等地缴获假冒“雅鹿”商标标识 3 万余张，挖出 4 个地下制售窝点，查获冒牌金利来衬衫 2265 件。查获冒用太仓酿酒总

厂“苏瑶”牌软管饮料10万余支、“通海泉”粮食白酒1250瓶、商标标识13.5万张。1997年，查获假冒金鸟牌助动车222辆，案值73.58万元。2001年，查处非法印制商标案件13起、商标侵权假冒案件9起，案值1000余万元，罚款53.45万元，收缴、销毁侵权商标标识16.2万件（套）。1986～2005年共查处商标违法违章案件89起，没收商标标识249.11万张（套、件），罚款344.92万元。

广　告

【广告业】

1986年年末，境内有2家广告经营单位，从业人员16人。全年制作3块50平方米路牌广告，25平方米灯箱广告，120平方米橱窗广告。1990年，经营单位增至4家，从业人员62人。全年制作路牌54块，广播广告453条，灯箱7个，霓虹灯1个，橱窗25块，经营额90.1万元。1993年，实行广告管理制度改革，鼓励国有、集体、个体多种经济成分共同发展广告事业，放宽广告经营单位审批登记。全年核准广告经营单位21家，年末累计48家，其中国有1家、集体44家、私营企业3家，从业人员470人，经营额1198万元。1994年，太仓市广播电视局成立广告部，开始发布电视广告，结束太仓没有电视广告的历史。1995年，《中华人民共和国广告法》正式实施。同年，对全市46家经营单位重新登记，核发41份“广告经营许可证”，取消5家“空壳”公司经营资格。1996年，受理核准第一个户外广告——南方广告装潢公司代理发布的霸王啤酒立体广告。2004年，太仓市广告协会成立。2005年年末，全市有广告经营单位43家，从业人员240人，经营额4100万元。建有户外广告891个，其中霓虹灯20个，路牌290个，电子显示屏（牌）1个，公共载体250个，灯箱280个，其他50个。

【广告监督】

80年代后期，开始每年对广告经营单位进行监督检查、回访和定期年审，对户外广告进行不定期检查和整治。1994年，开始对电视、报刊广告进行检查监测。1995年，全年监测检查电视广告65条，对明显有问题或内容不恰当的4条责令停止发布。清除乱贴、乱挂、乱设广告2万张。组织3次卷烟、药品广告执法检查。同年，按照创建全国卫生城市要求，制定《太仓市户外广告管理办法》。2002年，建

立户外广告每周巡查制度,净化户外广告环境。2004年起,对《太仓日报》刊登的广告内容实行全天候检查,运用电脑网络对太仓电视台发布的电视广告实行全程监测。2005年,共监测报刊广告2438条、电视广告2535条,其中有问题广告23条,分别发出通知督促限期改正。1995～2005年,共清除和收缴游医庸俗广告和非法小广告208种15.46万张(条幅),拆除非法和虚假广告牌1053块,拆除非法广告遮阳棚203个,清除酒类广告400余张。1999～2005年,共查处广告案件135件。其中广告业主85件,广告发布者39件,广告经营者5件,其他6件。属于虚假广告的33件,医药类广告居多。

市场管理

【集贸市场建设】

1986年,采取"多方集资、共同建设"的办法,筹集65万元,改扩建原有棚顶式集贸市场。先后扩建、新建城厢、新毛、时思、陆渡集贸市场,建筑总面积6259平方米。全县集贸市场成交额7415.5万元。1987～1991年,全县投资520多万元兴建、扩建市场面积1.9万平方米。1992年起,按照"政府领导、统一规划、合理布局、多方兴建、工商部门统一管理"的原则,逐步向上规模、高档次方向发展。至1993年,先后在城厢、浏河、沙溪、璜泾、陆渡等9个镇投资1500万元新建扩建23个市场。其中城厢市场投资750万元,建筑面积5500平方米。1994年,出资500万元,扩建浏河集贸市场,固定摊位增至1000多个。逐步形成以城厢、浏河、沙溪3个镇市场为中心,其他乡镇集贸市场为基础,大中小规模相结合的格局。城厢、浏河、沙溪等市场长期与17个省市80多个市县保持外协关系,进行商品交流。全市集贸市场成交额17.42亿元。1995年起,不断拓宽市场投资主体,至2000年,多方共投入市场建设资金1325.3万元。同年,集贸市场成交额47.24亿元,比1994年增长1.71倍。2001年起,市场建设及场内设施趋向高档化,至2005年,城厢、沙溪、浏河、璜泾等镇均建成档次较高的室内集贸市场。年末,全市共有集贸市场36个,全年市场成交总额80.04亿元。20年总投资23924.1万元,建筑面积126636平方米。

2005年太仓市集贸市场一览表

表 235

市场名称	所属分局	建造年份	占地面积（平方米）	建筑面积（平方米）			投资总额（万元）
				合计	其中		
					室内	棚顶	
城厢市场	城厢分局	1993 2001（扩建）	16094	8000	8000	—	2650
兴业楼市场	城厢分局	2000（改建）	600	500	500	—	360
城南市场	城厢分局	1995	3700	3700	3700	—	250
古松市场	城厢分局	1991	1000	850	150	700	55
新桃园市场	城厢分局	2005（迁建）	1800	1800	1260	540	65
朝阳市场	城厢分局	1995	2180	2180	1526	654	200
南郊市场	城厢分局	1988	860	860	160	700	70
西门市场	城厢分局	2000（改建）	1530	1280	896	384	180
沙溪市场	沙溪分局	1992	31668	13045	9130	3915	750
利泰市场	沙溪分局	1998	800	500	350	150	60
归庄市场	沙溪分局	2005（新建）	7000	5000	3500	1500	24
直塘市场	沙溪分局	1998（新建）	7000	5000	3500	1500	228
岳王市场	沙溪分局	2003（新建）	5000	2000	1400	600	90
浏河市场	浏河分局	2004（新建）	12400	18800	12300	6500	4500
浏河农副产品市场	浏河分局	2001	1200	1000	700	300	420
陆渡市场	浏河分局	1997	3200	2600	1820	780	420
璜泾市场	璜泾分局	2004（新建）	8680	8680	8680	—	2500
王秀市场	璜泾分局	1998（扩建）	2600	1346	940	406	15
鹿河市场	璜泾分局	2005（扩建）	2000	2000	400	1600	100
新板桥市场	开发区分局	2005	7000	3552	2486	1066	60
东亭市场	开发区分局	2002	2157	2075	1450	625	125
惠阳市场	开发区分局	1997	2800	800	560	240	20
东郊商贸中心市场	开发区分局	2001	5000	2300	1610	690	108
世纪苑市场	开发区分局	2003	1600	800	800	—	3800
双凤市场	开发区分局	2005（迁建）	5500	5028	5028	—	1100
香花桥综合市场	开发区分局	2002	18185	15000	10500	4500	3600

续表 235

市场名称	所属分局	建造年份	占地面积（平方米）	建筑面积（平方米）			投资总额（万元）
				合计	其中		
					室内	棚顶	
向阳市场	开发区分局	1995	3300	1200	400	800	50
新湖市场	开发区分局	1998（扩建）	6000	1700	1190	510	160
新毛市场	开发区分局	1998（迁建）	6600	3000	2100	900	90
洋沙市场	开发区分局	2000	3000	800	560	240	65
浮桥市场	港区分局	2003	8671	3600	2520	1080	930
茜泾市场	港区分局	2002	2500	2500	1750	750	118
金浪市场	港区分局	1999	7500	2300	1610	690	230
牌楼市场	港区分局	1998（迁建）	1000	300	210	90	83
老闸市场	港区分局	2002	2450	1200	840	360	146
时思市场	港区分局	1996	2560	1340	940	400	300

【市场监督管理】

1986 年，对集贸市场以管理交易秩序为主，严禁场外交易、无照经营和腐败变质食品上市，加强市场物价管理，查处违章违规行为。1987 年，根据国务院《关于整顿市场秩序，加强市场物价管理的通知》，对猪肉、大宗蔬菜等商品实行临时最高限价或公布中准价措施，使各地集贸市场物价上涨的趋势得到抑制。1988 年，开展“优质服务、规范管理”创建文明市场活动，在个体猪肉经营户中开展以“质量、计量、卫生、物价”为内容的“四信”竞赛活动。同年，工商、物价、卫生、计量、烟草等部门就物价管理、食品卫生、计量和烟草管理等方面多次进行检查。先后查处违章违规案件 831 起，罚款 5125 元。其中短斤缺两 93 起、无证经营 269 起、掺杂使假 6 起、超经营范围 58 起、场内就地转手 30 起、以次充好 10 起、违反食品卫生 24 起、其他 34 起。查核衡器 108 台（杆）。1990 年起，市场推行规范化管理，按商品划行归市，固定经营者摊位，明码标价，亮照经营。市场内的交易设施合理布局，做到肉上案、货上架、鱼入池、禽入笼，保持市场清洁卫生，场内交易有序。1991 年，根据国家工商行政管理局《集贸市场管理基本规范》要求，将全县集贸市场划分为高级、中级和初级 3 个等级，组织开展市场升级活动。1994 年，着重抓商品价格管理，完善明码标价制度。同时各集贸市场积极组织货源，引进茭白、毛笋、鲜鱼等农

副产品 15963 吨，平抑市场物价。1995 年，重点打击掺杂使假行为。针对市民反映比较多的肉、禽类掺水现象开展检查，查处短斤缺两、掺杂使假、无证经营等违章案件 1368 起，查出注水鸡、鸭 720 千克。1996 年 1 月起，实行定点屠宰、集中检疫，凭定点屠宰的检疫证、检验证及票据，三证齐全才允许进入市场交易。

2001 年，重点开展肉食品市场专项整治活动，查获私宰肉食品 1800 千克，没收未经检验检疫猪肉 649 千克，现场销毁病死猪肉 225 千克。处理违规屠宰户 13 人。2002 年 12 月，开展对集贸市场的专项整治，先后出动 220 余人次，检查农贸市场 34 个，捣毁制假窝点 6 个，没收未经检疫检验猪肉 1000 千克，收缴假冒伪劣包装食品、水产品、冷冻食品 2000 千克。同年，对市场内蔬菜农药残留开展流动检测车巡回抽检，17 个规模较大的市场配置蔬菜农药残留检测室，每两周将抽检结果在媒体发布公告。2004 年，全年检测蔬菜 6300 千克，农药残留平均超标率逐步下降。2005 年，全市有 30 个集贸市场，配置蔬菜农药残留检测室，其余 6 个规模较小的市场，通过流动检测车监管。

【文明市场创建】

1986 年，全县集贸市场开展创建文明市场活动，有 7 个市场评为县级文明市场，其中城厢、浏河市场被评为苏州市文明市场。1988 年，在国家工商行政管理局首次组织的评比中，城厢市场被评为“1987—1988 年度全国文明市场”。并连续 4 次获“全国文明市场”称号。沙溪市场被评为“1989—1990 年度省文明市场”。沙溪市场、浏河市场被评为“1993—1994 年度省文明市场”。1996 年，城厢、沙溪、浏河 3 个市场均被评为省文明市场及苏州市诚信市场、样板市场。

经济合同

【网络建设】

1986 ～ 1987 年，举办 32 期经济合同专业知识培训班，1472 家企业 1845 人参加。1988 年，工商局、经委、计委、乡镇工业局等单位联合举办 70 期“经济合同法”培训班，2500 多名企业法人、生产（供销）负责人及合同管理人员参加培训。同年，400 家企业建立合同管理小组，初步形成管理网络。1993 年，7 个工商所成立经济合同管理协会，企业会员 365 家，网络更趋完善。2004 年，太仓市企业信用管理协

会成立,首批230家“重合同守信用”企业入会。2005年,企业会员发展至604家。

【合同鉴证】

1986年,鉴证合同76份,标的金额856万元。1993年,加强对建筑工程承包合同及房地产合同的鉴证,全年鉴证建筑工程、房地产合同59份,标的金额3458.3万元,占全年标的金额的65.08%。1998年,鉴证合同920份,其中农业种子、建筑工程664份。2003年8月,《中华人民共和国行政许可法》颁布实施,合同鉴证工作依法取消。

1986～2003年太仓市(县)合同鉴证统计表

表236

年份	合同数(份)	金额(万元)	年份	合同数(份)	金额(万元)
1986	76	856	1995	479	9141
1987	100	1894	1996	413	19300
1988	253	2911	1997	560	12200
1989	236	1671	1998	920	84654
1990	261	1991	1999	684	32647
1991	137	3573	2000	1091	56871
1992	339	4088	2001	1419	65874
1993	570	5314	2002	1137	79790
1994	634	5299	2003	518	3552

【合同监督检查】

1986年,检查企业合同1841份,标的金额5801万元,受理142家企业经济合同咨询181份,为64家企业追回宕欠款228.9万元。1988年,检查312家企业1383份合同,履约率100%;受理173家企业合同咨询183份,确认无效合同5份;协助16家企业追回货款27万元。制止1起标的270万元的合同诈骗案。1991年,检查各类经济合同6046份,标的金额8.54亿元。同年,1582家企业开始使用经济合同示范文本。1996年,开展合同专项检查,及时制止1起标的300万元的合同诈骗案。2000年,检查各类经济合同6300份,标的金额69.86亿元。查处各类违法合同87起,涉案金额2023.63万元。受理合同咨询76份,为企业避免

经济损失 644.09 万元。1986 ～ 2005 年，共检查各类经济合同 54083 份，标的金额 150.61 亿元。

1986～2005年太仓市（县）经济合同检查统计表

表 237

年份	合同数(份)	金额(万元)	年份	合同数(份)	金额(万元)
1986	1841	5801	1996	981	30145
1987	4804	8910	1997	878	29150
1988	1383	4768	1998	764	27162
1989	2664	27981	1999	684	32647
1990	2817	31640	2000	6300	698603
1991	6046	85411	2001	2732	140948
1992	5781	71310	2002	1417	56760
1993	5172	73216	2003	250	8805
1994	4614	68143	2004	769	12796
1995	3819	41741	2005	367	50125

【“重合同、守信用”活动】

1985 年 7 月，省工商局发出《关于开展重合同、守信用企业评定活动的通知》。1986 年 5 月，重合同、守信用（简称“重守”）评定活动在全县开展，年末评定“重守”企业 109 家。1993 年，评定“重守”企业 336 家，是 1986 年的 3.08 倍。2001 年，“企业合同信用领导小组”成立。年末，“重守”企业认定采取百分制评分法，分为国家级、省级、苏州市级、太仓市级。全市有 72 家企业被各级命名为“重守”企业，其中香塘集团被命名为国家级，9 家为苏州市级，62 家为太仓市级。2005 年年末，全市“重守”企业 505 家，其中被命名为国家级 4 家、省级 8 家、苏州市级 190 家、太仓市级 303 家。

1986 ～ 2005 年太仓市（县）“重合同、守信用”企业统计表

表 238

年份	企业数(家)	年份	企业数(家)
1986	109	1996	218

续表 238

年份	企业数(家)	年份	企业数(家)
1987	116	1997	152
1988	174	1998	111
1989	186	1999	92
1990	200	2000	66
1991	229	2001	72
1992	314	2002	142
1993	336	2003	358
1994	324	2004	604
1995	304	2005	505

【调解仲裁】

1984 年 7 月,太仓县经济合同仲裁委员会成立,负责经济合同纠纷的调解和仲裁。1986 ～ 1994 年,共调解经济合同纠纷 333 起,解决争议金额 2896.17 万元。1995 年,《中华人民共和国仲裁法》颁布实施。仲裁职能由市法院承担,合同争议调解工作继续进行。2003 ～ 2005 年,共调解争议合同 151 件,解决争议金额 90.09 万元。

【动产抵押物登记】

1995 年 10 月,国家工商行政管理局发布《企业动产抵押物登记管理办法》,同年 12 月,太仓办理 3 件抵押物登记,贷款金额 432 万元。1996 年,受理抵押物登记 1120 件,抵押物价值 14 亿元。2003 年,为私营企业办理抵押物登记 322 件,帮助企业筹措贷款资金 4.1 亿元。2005 年,受理抵押物登记 321 件,抵押物价值 25.86 亿元。其中为江苏德威新材料股份有限公司办理抵押物登记手续,取得上海外资银行贷款 64.8 万美元;为太仓振辉化纤有限公司办理抵押物登记手续,取得 1.2 亿元银行贷款。1995 ～ 2005 年,累计办理抵押物登记 5068 件,抵押物价值 163.94 亿元,贷款金额 80 多亿元。

监督检查

1986 年,加强经济案件查处,制止转手倒卖活动。全年共查处案件 26 起,罚

款 11.86 万元。其中投机牟利 9 起，违章 17 起。1988 年，设立经济检查股、经济检查中队。全年查处违法案 58 起，罚款 34.19 万元。查获黄金 201.7 克，假鱼粉 120 吨，进口旧服装 1125 件，假茅台酒 888 瓶，伪劣自行车 18 辆。其中违法情节严重，构成犯罪嫌疑的 3 人移送司法机关处理。1991 年 2 月，在杨林塘岳王段连续伏击 5 个昼夜，于 2 月 10 日查获价值 118 万元走私卷烟。全年另外查获 2 起案值 121 万元的走私卷烟和走私录（放）像机 18697 台、汽车 8 辆。1993 年，查处违法案件 42 起，查获走私汽车 11 辆、摩托车 2 辆、卷烟 5518 条和假冒“红塔山”卷烟 4322 条、空调 25 台、手表 362 块、名优白酒 9715 瓶，伪劣饮料 3640 箱，过期失效化肥、农药 9.95 吨。1995 年，查获假冒进口劣质摩托车 204 辆和假冒“索尼”“松下”彩电 220 台、“路路达”机油 6400 听、“老人头”皮鞋 300 双、名酒 1.98 万瓶、“佛手”味精 1620 千克、“太太”口服液 8000 盒。端掉制假窝点 12 个。1998 年，查处违法案件 111 起，其中 1 万元以上案件 33 起。查获假冒伪劣成品油、助动车、液化气灶具、化肥、烟酒等一大批物资，总案值 1692 万元。查获利用伪造“货物进口证明书”“海关报关单”等假单证进行走私贩私案白砂糖 948.25 吨、涤纶长丝 91.57 吨、晴纶纤维 787.87 吨、塑料粒子 220 吨。1999 年，查获伪造厂名、厂址、仿冒知名商品特有包装装潢等多种类型不正当竞争案 5 起，总案值 1336 万元，其中包括首起侵犯他人商业秘密案件。2003 年，组织“保护消费、共建小康”执法行动。捣毁制假和非法生产食品窝点 33 个，取缔地下诊所 4 个，没收劣质汽车配件 767 件、假冒名牌篮球 2664 个、侵权葡萄酒 1150 瓶、黑心棉胎 199 条。公开销毁 8.3 吨假冒伪劣商品。在“抗击非典”斗争中，查获劣质口罩 2 万个。2005 年，先后组织“红盾护农”“打侵权、保名牌”“打虚假、树诚信”等各类专项执法行动 17 次，成功查处医药商业贿赂、倒卖进口废旧物资等多起大案要案。全年查处违法案件 172 起。其中案值 100 万元以上的 3 起，10 万元以上的 18 起。

权益保护

【宣传教育】

1994 年 1 月，《中华人民共和国消费者权益保护法》（简称“消法”）施行，全市组织职工、村民、学生和个体私营业主 1 万多人参加全国“消法”知识竞赛，回收

上报答卷1万多份。1996年起,消协每年确定消费年主题,并根据主题,采取到街头、广场及农村集镇宣传“消法”知识、发送资料、接受咨询、现场受理投诉、举办“假冒伪劣商品展示”等多种形式开展宣传活动,提高消费者识假辨别能力。2005年,全市举办“3·15”大型咨询宣传活动,发放宣传册8000余册、各类宣传品1万份,提供为民义务服务200人次,现场受理投诉60件,当场处理25件。

【受理投诉】

1993年,消协受理各类投诉47件。1994年,受理各类投诉116件,调解处理112件,接待消费者来访、咨询417人次,为消费者挽回经济损失近10万元。1995年,全市建立消协分会、乡镇投诉站、商贸企业投诉站三级投诉网络。全年受理消费者投诉155件,挽回经济损失16.8万元。2003年,加强热点、难点投诉件的调查处理。全年受理各类投诉185件,结案率100%,挽回经济损失68.52万元。2004年6月,消协与上海嘉定区消协签署投诉合作协议,两地消费者拥有异地消费当地投诉的便捷保障,年内受理投诉4件。1993～2005年,消协共受理各类投诉2244件,为消费者挽回经济损失318.44万元。

【诚信建设】

2003年太仓市百家企业零投诉巡礼活动表彰会

1990年,新城商厦、五金交电商店实行高档耐用消费品售前申报制,全年销售400余万元商品,未发现有假冒伪劣商品。1993年,全市商贸系统组织开展“不经销伪劣商品活动”,新城商厦等5家单位获得“不经销伪劣商品单位”铜牌。1995年,新世界商厦、华联商厦等13家单位被评为“不经销伪劣商品单位”。2003年,开展“百家企业零投诉巡礼活动”,29家申报企业中有19家实现零投诉。同年,针对投诉热点,组织开展以“放心购买手机、放心购买电脑、放心购买食品、放心修理汽车”为内容的“四放心承诺服务活动”,全年有77家企业申报,其中48家被评为“放心单位”。2004年,

有69家企业获评太仓市“购物放心单位”，其中17家被苏州市精神文明建设委员会、消费者协会命名为苏州市“诚信单位”。同年下半年，全市40家大中型商场、超市、食品商店实施商品准入工程。2005年，太仓市“零投诉企业”增至28家，“购物放心单位”增至92家。

七、质量技术监督

1988年8月15日，太仓县标准计量局成立，正式履行相应职能。1997年2月27日，更名太仓市技术监督局，工作重心转向质量监督与标准化管理。2000年1月28日，市经委的质量管理机构和生产许可证管理机构、市劳动局的锅炉、压力容器、电梯、防爆电器、起重机、场内机动车辆、架空索道、大型游艺机等特种设备安全监察管理机构和下属的锅炉压力容器检验所、劳动安全卫生检测站等机构划入市技术监督局。同年3月1日，市技术监督局更名为苏州市太仓质量技术监督局（简称质监局）。

计量管理

【计量监督】

1986年，对商业局、供销社、粮食局、邮政局、物资局等部门100多个基层单位的2000多件衡器实施周期强制检定。1987年，对衡器、竹木直尺等民用计量器具率先改制，推行法定计量单位。至1990年，全面完成向法定计量单位过渡。1993年，对集贸市场、金银饰品销售单位、加油站开展计量监督检查。1995年12月，监督检查定量包装商品计量。2001年4月，按国家规定，推行定量包装商品生产企业计量保证能力合格标志即“C标志”。2003年，新申领计量器具制造许可证19张，修理许可证2张。至2005年年末，全市共建立社会公用计量标准30项（次），企事业单位建立最高计量标准51项（次），授权建立水表、血压计社会公用计量标准2项（次）。强制检定计量器具8.58万台（件），强制检定覆盖率95%以上。抽查定量包装商品40批，合格36批，合格率90%。纳入国家依法实施制造计量器具许可证企业13家，获取修理计量器具许可证企业4家。有4家企业7项产品获取定量包装商品生产企业计量保证能力证书。

【计量器具检测修理】

1989年6月,太仓县计量测试所成立。负责建立全县社会公用计量标准,进行量值传递,引导企业建立、完善计量检测体系,并对部分器具执行强制检定。下设3个专业检测室,涉及长度、热学、力学、电磁学、时间频率、光学、物理化学7大类32项计量业务,从事计量检定项目106个,校准项目46个,检测项目3个。1998年,通过国家法定计量检定机构考核。2000年9月,江苏省苏州质量技术监督局颁发计量授权证书。2003年,通过国家实验室认可和机构复查。2005年,检测修理全市各类计量器具5.4万台(件)。

【企业计量升级】

1985年起,开展企业计量定级、升级工作。至1993年11月,全市达到一级计量合格企业2家,二级15家,三级131家,验收合格企业169家。1996年下半年,开展企业计量确认工作。1997年1月,企业定级、升级工作按江苏省规定停办。至2005年年末,全市共有1家企业获得计量体系确认,8家企业获得计量保证确认,255家企业获得计量合格确认证书。

标准化管理

【企业标准制定与发布】

1988年12月,《中华人民共和国标准化法》颁布,太仓对企业产品执行标准(包括国家标准、行业标准、地方标准和企业标准)情况进行梳理,扩大产品标准覆盖面,推动企业产品标准的制定。1989年,首次受理企业产品标准备案——上船太仓甲板敷料厂“SD不易着火甲板敷料”。至2005年年末,全市累计备案企业产品标准3684项。

【国际标准采用】

1986年,太仓农机修理制造厂采用国际标准生产旋耕机通过上级验收。1997年2月,市经贸委、科委、标准计量局及乡镇工业局联合发出《关于采用国际标准工作要求的通知》。至2005年年末,156个产品采用国际标准和国外先进标准组织生产,获得采用国际标准证书。太仓金阳气体有限公司生产的溶解

乙炔为第一个办理采标标志证书获得者。

【标准覆盖率】

1997 年 4 月，按照市政府《关于开展消灭工业产品无标生产的意见》通知，开展工业企业产品标准验审工作。验审中，帮助企业查找国家标准 436 项、行业标准 473 项，制定企业标准 229 项。至同年 12 月 10 日，登记检查了 1191 家工业企业 2696 个产品的标准执行情况，其中执行国家标准 993 项、行业标准 974 项、地方标准 1 项、企业标准 641 项、国外标准 13 项，标准覆盖率为 97.26%。12 月 20 日，顺利通过江苏省“消灭无标生产示范县（市）”验收。至 2005 年年末，全市共有 4160 家企业的 7179 个产品执行标准进行备案登记，其中执行国家标准、行业标准的产品数为 5669 个，执行企业标准的产品数为 1358 个，标准覆盖率为 97.88%。城厢、沙溪、浏河、璜泾等镇通过“江苏省执行标准优秀乡镇”验收。

【农业标准化】

2001 年起，太仓开始创办江苏省和苏州市农业标准化示范区。2003 年，设有江苏省级农业标准化示范区——江苏省（太仓）蔬菜标准化示范区、江苏省扣蟹养殖标准化示范区，苏州市级农业标准化示范区——太仓白蒜标准化示范区。蔬菜示范区中心示范方 6.67 公顷，推广 533.33 公顷，示范户 920 户，目标实现农民人均增收 288 元。扣蟹养殖示范区示范面积 133.33 公顷，亩产 40 千克，亩均效益 3000 元，目标实现产值 8000 万元，创造社会效益 2500 万元。至 2005 年年末，正式发布实施的江苏省农业地方标准有“出口太仓白蒜种子”（DB32/T452-2002）、“太仓白蒜”（DB32/T803-2005）、“太仓白蒜生产技术规程”（DB32/T804-2005）等 3 项，苏州市农业地方标准“无公害农产品新毛香籽芋艿生产技术规程”（DB3205/T031-2003）、“无公害农产品黄喉水龟养殖技术规程”（DB3205/T048-2003）、“无公害农产品牛踏扁毛豆生产技术规程”（DB3205/T073-2004）、“无公害农产品水稻水直播栽培生产技术规程”（DB3205/T091-2005）等 6 项，制定太仓农业生产技术规程等农业企业标准 80 项。

【组织机构代码管理】

1993 年，开始实行企事业单位和社会团体代码管理。同年 7 月，组织 2 个工

作小组,分别对部委办局和各乡镇的组织机构进行代码登记和发证,并在金融、统计、税务、公安、海关等业务部门中统一执行。至2005年年末,办理组织机构代码1.29万个单位,其中注销组织机构代码9501个单位,并建立组织机构代码数据库。

质量管理与监督

【产品质量监督】

1986年,工业产品质量由企业内部自检和行业组织互检,境内无产品质量检验专业机构。1990年7月,太仓县产品质量监督检验所成立(简称质检所)。之后,每年抽查产品200批次以上,产品合格率逐年提高。1995年,抽查336批次产品,合格率82%。1997年起,全市产品质量监督抽查目录由45种扩至220种。2000年,质检所添置仪器设备,开展食品、化工项目的产品质量检验。同年,新"产品质量法"颁布,产品质量免检审批权集中到国家一级。2002年,建成纺织品检验室。同年,雅鹿集团生产的羽绒服获得国家产品质量免检荣誉。2003年,质检所通过国家实验室认可和机构复查。2004年起,取消县(市)级的产品质量定期抽检,产品质量由国家、省、市三级定期抽检。全年抽检181批次产品,合格率93.28%。同年,雅鹿集团、大仓集团、利泰纺织公司3家企业获江苏省质量诚信企业称号,文祥食品有限公司的产品创江苏省质量信用产品。2005年,抽检433批次产品,合格率88.73%,比全省平均水平高出4.11%。同年起,企业推广国标"卓越绩效评价准则"等质量管理方法。年末,全市累计有511家企业通过国际标准化组织质量管理体系ISO 9001认证。苏州宏达制酶有限公司等3家企业获得苏州质量管理(服务质量)奖,香塘集团、太仓市农药厂有限公司2家企业获江苏省质量诚信企业称号,太仓肉松食品有限公司、太仓汇丰化学肥料有限公司2家企业的产品创省质量信用产品。

【名牌产品】

1990年,全县有1个产品获纺工部优秀产品,2个产品获江苏省优质产品。1999年,雅鹿集团生产的"雅鹿牌"服装等7个产品获江苏省名牌产品,雅鹿牌夹克衫同时被列为江苏省重点名牌产品。2001年,苏州舒适家具有限公司等3家企

业获“苏州市质量信得过产品”称号，太仓铜材厂等54个单位获“太仓市质量信得过产品”称号。2002年，雅鹿集团生产的“雅鹿牌”羽绒服获中国名牌产品。至2005年年末，有效期内的各级名牌数分别为：中国名牌产品1个，江苏省名牌产品9个，苏州市名牌产品80个。

2005年年末太仓市中国名牌、江苏省名牌产品名录

表239

企业名称	商标	产品名称	级别	负责人	所属镇区	企业地址
江苏新雅鹿集团有限公司	雅鹿	羽绒服	中国名牌	顾振华	璜泾	璜泾镇鹿河工业区
	雅鹿	羽绒服 休闲服	江苏省名牌	顾振华	璜泾	璜泾镇鹿河工业区
	蓝冰	羽绒服				
太仓利泰纺织有限公司	醒狮	纱、布	江苏省名牌	朱永刚	沙溪	沙溪镇新民村20号
江苏香塘集团有限公司	香塘	工艺鞋	江苏省名牌	顾建平	沙溪	沙溪镇香塘村
江苏大仓集团有限公司	大仓	服装	江苏省名牌	王丽亚	新区	市区东仓南路19号
太仓市农药厂有限公司	浏港	多菌灵原药	江苏省名牌	鲍菊篱	浏河	浏河镇滨河街114号
江苏三角洲塑化集团有限公司	三角洲	聚氯乙烯电缆料	江苏省名牌	丁建宏	沙溪	沙溪镇新北东路90号
江苏仓环铜业股份有限公司	仓环	铜及铜合金拉制管	江苏省名牌	徐　明	城厢	城厢镇吴塘桥东堍
太仓市金辉化纤实业有限公司	明辉	涤纶长丝	江苏省名牌	谈　辉	沙溪	沙溪镇胜利村
太仓(广东)温氏家禽有限公司	温氏	肉鸡	江苏省名牌	黄松德	城厢	城厢镇南郊科技园东首

特种设备安全监察

1985年，太仓县锅炉压力容器检验所成立，实施锅炉压力容器检验。1990年，太仓县劳动安全卫生检测站成立，对起重机械、电梯进行安全检测。1996年，检验锅炉621台、压力容器737台、电梯和起重机械648台次，查封“土锅炉”27台。1999年，现场验收39台新增锅炉，注册登记258台压力容器、130台特种设备，验收9个新安装竣工的管道液化气站。检验锅炉压力容器954台，检测特种设备

722台次。2000年,在全市范围开展“土锅炉”专项整治行动,取缔“土锅炉”118台,杜绝“土锅炉”非法使用现象。同年1月,特种设备安全监察职能由劳动部门划归质量技术监督部门。2002年,开展特种设备普查,建立特种设备数据库。2003年6月1日,国务院《特种设备安全监察条例》实施,太仓先后开展气瓶、小型锅炉、电梯、浴室锅炉、化学危险品使用和压力管道普查等一系列专项整治活动。2005年年末,全市共有各类特种设备9600余台,气瓶近20万个,压力管道234千米,特种设备作业人员逾1万人。

执法打假

1986～1995年,查获案件数量、规模均较小。1996年9月10日,太仓市成立打击制售假冒伪劣商品违法行为领导小组,加大执法力度。1997年,开展食品、皮鞋、羊毛衫、化学试剂、家具等专项打假行动,查处违法案件343起,罚款41.71万元,受理消费者投诉41起,挽回损失23.5万元。1998年,开展农资、建材、电器、纯净水、油品等专项整治,打击掺杂使假和生产销售伪劣商品行为。2000年,开展汽车配件、燃气用具、食品、烟、酒、一次性注射器、大米、农药、复合肥、种子、农机等专项打假行动,端掉制假售假窝点52个,查获假冒伪劣商品标值381.3万元。2001年,重点开展食品、棉花等打假活动,查获用下脚料加工生产的黑心棉胎392条,捣毁黑心棉加工窝点2个。并开展酒类、电线、电缆、水泥等专项检查,先后查处1万元以上大案14起,捣毁劣质果冻、假冒蓄电池等制假窝点。2003年,开展防“非典”用品、食品、无纺布、农资、棉花、建筑材料、低压电器、通讯器材、电线电缆、装饰材料、医疗器械、石油成品油、“地条钢”“瘦肉精”“毒鼠强”等专项打假行动。出动执法人员2879人次,查处违法案件196起,其中1万元以上案件71起,10万元以上案件8起,捣毁制假售假窝点52个,查获假冒伪劣产品标值1000余万元。2004年,查处违法案件214起,其中1万元以上案件98起,10万元以上案件15起,100万元以上案件1起,移送公安机关案件11起。2005年,开展建材、汽配、涂料、办公耗材、食品、液化气、化工产品、消防产品等专项检查,查处违法案件162起,取缔制假售假窝点20个,查处“地条钢”生产企业7家,没收“地条钢”30吨。

2000～2005年太仓市质监部门打假执法情况表

表 240

年份	查处违法案件(起)	捣毁制假售假窝点(个)	查获假冒伪劣产品标值(万元)	受理消费者投诉(起)	挽回直接损失(万元)
2000	428	52	381	96	17
2001	529	6	214	86	192
2002	458	48	125	57	82
2003	196	52	1000	—	—
2004	214	29	1000	42	9
2005	162	20	350	45	—

八、食品药品监督管理

1986 年，药品监管职能主要由卫生部门承担，食品安全监管职能分别由农林、质监、工商、卫生、贸易等部门承担。2001 年 11 月，组建苏州市太仓药品监督管理局，药品监管体制实行省以下垂直管理，为江苏省苏州药品监督管理局直属机构。2005 年 6 月，在苏州市太仓药品监督管理局的基础上，组建苏州市太仓食品药品监督管理局，主管太仓市食品、保健品、化妆品安全管理的综合监督、组织协调，重大食品安全事故的查处和药品、医疗器械的监督管理工作。同年 9 月，市政府成立食品安全委员会，负责全市食品安全综合监督、组织协调和依法对重大食品安全事故进行查处。

药品监督

【药品综合管理】

药品销售网络　1986 年，全县有中药店 84 家，西药房 5 家，各乡镇供销社百货店兼售西药。1995 年，有中药店 31 家，市级医院和卫生院附设中药房 20 家，西药房 27 家，317 个村卫生室有西药柜，20 个镇的 31 家中药房兼售部分西药。2001 年起，药品零售业兴起。至 2005 年，全市社会零售药店从 32 家增至 180 家。

药品检验　1987 ～ 1995 年，分析鉴定境内制药厂、医药公司、医药商店、医院药房和制剂室的药品及医疗器械，检验中、西药药品 1376 件，其中 1261 件合格，

合格率91.64%。1996～2001年,检验924件,其中894件合格,合格率96.75%。2003年起,组织药品生产和经营企业参加药品生产企业质量管理规范(GMP)和药品经营企业质量管理规范(GSP)认证考核,并加强认证后的跟踪监管,规范企业经营行为。同年,药监部门坚持做好零售药店资质审核、立项指导、现场验收一站式服务,不降低准入标准。全市47家社会零售药店通过验收,取得药品经营许可证。2004年,太仓制药厂、苏州万庆药业有限公司2家企业通过药品生产企业质量管理规范认证,新波药业有限公司通过药品生产企业质量管理规范复检。至2005年年末,全市6家药品生产企业通过药品生产企业质量管理规范认证,165家药品经营企业通过药品经营企业质量管理规范认证,获得从业许可。2169名涉药单位从业人员参加药事法律法规和药学知识培训,提高守法自律意识。

【药品行政执法】

1986年,检查工厂、村卫生室药品质量,发现伪劣药品167种、927(瓶、盒),价值1142.65元,由各乡集中销毁处理;检查医院药房、药店9次,发现劣药茵陈5千克,作深埋处理;查处外来游医药贩43起。1990～1999年,共销毁价值10.61万元的伪劣药品和价值2864元的过期变质药品126种;处罚违法经营7起;取缔非法行医和销售药品16起,没收处罚价值5.27万元的药品、医疗器械。2000年3月1日起,全市医药卫生用品实行集中招标采购。全年招标22起,金额3918万元,药品质量提高,成本下降10%。至2001年,两年依法查处过期失效药品267种,价值7000余元;查处假冒伪劣案件8起、违法医疗广告3家;清理整顿非法行医31家37人。2002年,组织80家药品经营企业的165名经营人员参加上岗培训。检查药品、医疗器械生产及使用单位248家,取缔非法药品零售点18个,查处违法案件43起,查处各类假冒伪劣药品、医疗器械207批次,价值5.24万元。2003年,查处利用邮购渠道无证销售无生产厂名、无批准文号的“咳嗽痰喘胶囊”“关节炎康复胶囊”假药。同年,加强对防“非典”药品的督查,对群众举报的7起有关口罩、板蓝根、消毒液制假售假违法行为进行严厉打击。2004年,查获被央视《每周质量报告》栏目曝光的“复方川羚定喘胶囊”等多种邮售假药。至2005年,4年共出动药品稽查人员5671人次,检查涉药单位1495家次,受理群众举报110起,查处违法案件277起,发现假劣药品86种,没收并销毁假劣药械价值100多万元。

【特殊药品管理】

80 年代起，每年进行严禁私种罂粟和制造麻醉药物的检查处理。1986 年，发现 4 个乡（镇）7 个村 9 户人家，私种罂粟 280 棵，果实 542 个，均妥善处理。麻醉品管理、供应实行定量供应、定人开方、专职管理、专用处方等措施。1994 年起，医疗单位购买麻醉、精神药品，由限级供应改为计划供应。推行世界卫生组织对癌症病人实行三阶梯止痛疗法，对癌症病人实行核发麻醉药品专用卡制度。2005 年，经培训、考试，全市共有 630 名医师获麻醉药品处方权。

【药品监管网络】

2003 年 3 月，太仓药监网站 http://www.stda.gov.cn 开通。同年，在全市 120 多家药品零售（连锁）企业中推广使用“药师宝”药店管理系统，并从社会聘请 17 名药品监督协管员在全市各镇区担任“千里眼”和“顺风耳”，以弥补行政监管力量不足，对保证全市零售药品质量及企业实施药品经营企业质量管理规范起到积极的作用。2004 年，协管员增至 23 名。同年，建立农村药品配送网络，社区卫生服务站、村卫生室委托镇卫生院实行药品统一招标采购，从源头上规范药品进货渠道，保证药品质量。

2005 年社区药品安全宣传

食品安全

1983 年 7 月 1 日，国家颁布实施《中华人民共和国食品卫生法》，至 1987 年，全县食品行业卫生督查处理违法事件 442 起，罚款 298 起，罚金 2.84 万元，没收及销毁各类食品 1.94 万千克。1.9 万名从业人员作健康体检，发健康证 1.07 万份。1988 年，对 3524 家单位和 1113 名从业人员进行培训和健康检查，查出痢疾、伤寒、病毒性肝炎、肺结核、化脓性和渗出性皮肤病患者 138 人，调离 115 人，治疗 23 人。1990 ～ 1992 年，制定食品卫生“四检”（自检、送检、抽检、

委检)“一报”(旬报告)制度,对16种食品实行定时、定量、定点的抽检和送检监测。对大中型宾馆招待所开展创建卫生示范户活动,检查92家,其中62家达标。1996年,开展食品卫生示范点、示范街、示范片建设,实行体检、发证归口管理。2001年,开展食品安全需要消费者参与竞答活动和迎六一、确保高考食品安全、强化学校食品安全等5次专项检查。查处假冒伪劣案件31起,取缔制假窝点22个。2002年,开展豆制品和水发产品专项监督检查25批7200户次,取缔西郊太丰村无证地下八宝饭和东郊3家地下豆制品加工窝点。2003年,学校食堂量化分级中评出一(A)级单位10家,二(B)级31家,三(C)级22家,未评级16家。建立食物中毒预警机制,加强“五一”“谢师宴”“中秋”“国庆”“春节”等办酒高峰的监督检查。2005年,实施企业食堂卫生基础设施达标工程,276家食堂中172家达标。开展4次以“护苗行动”“健康食品进校园”等为主题的食品安全专项活动。开展20多次专项整治,监督检查1.2万户次,立案查处违法案件350起。安徽省阜阳市劣质奶粉造成婴儿死亡和严重营养不良被媒体曝光后,太仓对境内60家经营户、50家企业的55个品牌208个品种进行检测,查获4个品牌伪劣奶粉15.2千克。在四川省等地相继发生人感染猪链球菌病后,对190家餐饮行业,落实肉及肉制品登记索证制度,确保“郑和航海节”等24项重大社会活动的饮食安全保障。

九、安全生产监督管理

1986年,太仓设有县安全生产委员会(简称安委会)。同年5月30日,安委会调整人员,县长范正清任主任。此后,每有政府领导调任,均调整组建由时任市(县)长任主任的安委会新班子。至2001年,安全生产工作由市(县)劳动局具体负责,局内设安全生产监督科(股)。各工业主管局均有一名领导分管安全工作,并设有专职安全员。各乡镇工业公司和大企业设安全科,小企业设专职安全技术员。同年10月9日,太仓市实施党政机关机构改革,组建市经济贸易委员会,挂市安全生产监督局牌子。2005年3月29日,市安全生产监督局更名为市安全生产监督管理局(简称市安监局),列为市政府工作部门,办公地址位于县府东街8号。内设办公室、综合监督科、监督管理科和危化品监督管理科,下设安全生产监察大队。

安全生产责任制

1986 年，建立县、乡、企业三级安全责任网络，69 个县属企业配备专职安全技术员 131 名，各生产车间设不脱产安全生产管理员，聘用 58 名乡镇工业公司安全技术干部为乡镇企业安全联络员。1996 年，推行安全生产目标管理，修订对 18 个主管局、22 个乡镇安全生产百分考核实施细则。2005 年年初，市政府与各镇政府、两区及有关部门共 40 家单位签订 2005 年度《安全生产目标责任书》，将安全生产纳入两区、各镇、市级机关相关部门和单位年度目标管理考核范围。年末，由市安监局根据《安全生产目标责任书》进行考核。同年起，在全市建立三级重大危险源监管网络，加强监控管理。确定苏州市级、太仓市级、镇区级重大危险源监控单位若干家，定人、定期对这些企业进行检查和监控。

安全督查

1986 年，元旦、春节和国庆等节日期间，全县组织 4 次安全大检查，检查 143 家单位，查出隐患 302 项，整改率 90%。1990 年 9 月，开展“迎亚运、迎国庆”安全大检查，分 5 个组，检查 10 家乡镇、10 家重点县属企业和 18 家重点乡镇企业，发现有仓库混装、配电房杂乱、女工穿高跟鞋留长发及高危岗位串岗脱岗等事故隐患，通过加强管理，狠抓整改，确保万无一失。同年 11 月 1 日至次年 3 月 10 日，全县开展以防火为重点的“冬季百日安全”活动，重点检查易燃易爆化学危险品、粮棉油、水电气、居民用电和液化气。1994 年，对易燃易爆、化工、建筑行业中 68 家重点企业的事故隐患发出限期整改书 24 份。分 75 个检查组，组织 10 次全市性安全大检查，对 334 家企业发出事故隐患整改通知书 241 份，整改率 95%。

1996 年，开展以三资企业、私营企业、乡镇小化工企业、建筑企业和有毒有害、易燃易爆场所为重点的安全生产大检查 6 次，检查企业 157 家，查出各类事故隐患 364 项，整改率 94%。1997 年，全年举办安技人员培训班 13 期，培训人员 412 人，组织安全生产大检查 5 次，被查企业 138 家，共查出事故隐患 218 条，在责令企业限期整改的同时，采取跟踪复查等办法，督促企业落实整改措施，整改率 95%。1999 年，对 88 家化工企业、13 家三资企业、16 家液化石油气仓库、26 个易燃易爆

储罐区组织安全生产大检查6次,查出各类事故隐患712项,整改落实701项,整改率98.5%。

2000年,查封2家“三无”企业,停产整顿6家“三不到位”企业。2001年5月,开展“安全生产月”和“安全生产周”活动,7月,开展以“防暑降温”为重点的夏季安全生产活动。全年组织安全生产检查6次,检查企业157家,查出各类事故隐患364项,整改率94%。2002年,开展危险化学品、小化工、道路交通、农业机械、公共场所、民爆器材、烟花爆竹等10个专项整治,查出各类隐患5820项,整改率95%。2005年,立案调查生产安全事故23起,工伤事故5起,举报案件40多起。开展全市性安全生产专项检查15次,重点开展道路交通、危险化学品、建筑施工、人员聚集场所、水上交通、特种设备、高毒物品职业危害及电子行业职业危害7个方面专项整治。12家不符合安全生产条件的危险化学品企业签订单项产品停产承诺书,2家自行关闭。

工伤事故

1986年,全县发生重伤以上事故31起,重伤33人,死亡4人。安委会对4起死亡事故、2起井架倒塌事故和1起气体爆炸事故分别召开现场会,调查分析,做出处理。1989年12月27日12时2分,太仓华联精细化工厂芳烃计量缸爆炸起火。1990年1月23日15时5分,太仓县医药助剂厂氯仿提取工段爆炸。同年12月10日12时50分,娄东个体豆腐坊土锅炉爆炸。针对3起重大事故,安委会连续发出通报,在全县范围内加强安全警示。通报要求严格工艺纪律和操作规范,强化职工的安全意识和自我保护能力。淘汰下来的土锅炉,一律就地销毁,不得转让、倒卖或留用。1996年1月,太仓市建立工伤保险制度。1998年,发生因工伤亡事故5起,死亡5人,重伤4人。1999年,因工死亡事故4起,重伤事故3起。2000年,因工伤亡事故8起,死亡3人,重伤5人。至年末,共有112名职工享受工伤保险金258万元。2001年,因工伤亡事故12起,死亡4人,重伤9人。2003年,全市82474人参加工伤保险。工伤认定工作实行例会制度,共受理工伤认定申报325人,认定工伤289人,工伤等级鉴定273人。2004年,受理工伤案件1277起,其中工伤认定645起,工伤鉴定557起。2005年,受理工伤案件1940起,工伤认定1102起,工伤鉴定750起。

宣传教育

1986 年，举办安全教育培训班 11 期，693 人受训。培训特殊工种 448 人，其中司炉工 271 人，电焊工 112 人，起重工 65 人。培训企业领导 61 人，专（兼）职安全技术员 184 人。1992 年 5 月 9 日，江苏省压力容器整顿治理现场会在太仓召开，劳动部锅炉局局长江才寿出席会议。同年 10 月 19 日，劳动部锅炉局处长刘福仁到太仓视察锅炉房管理情况，并在《中国劳动报》发表题为《江苏省太仓县乡镇企业锅炉房管理水平高》的文章。1994 年，组织安全知识竞赛 31 次，各类消防运动会 14 次，特种作业人员培训 12 期 533 人，特种作业人员复审换证 2504 人。1996 年，举办安全保护培训班 17 期，培训 584 人。至 2000 年，年均举办各类安全生产培训班 20 期左右，培训人员 800 人左右。2005 年，开展企业负责人、安全管理干部、危化品从业人员、特种作业人员安全生产管理知识和上岗资格培训。举办各类培训班 49 期，培训 2486 人。在太仓人民广播电台开办《政务直通车》栏目，市安监局领导与市民通话，解答安全生产问题，宣传安全生产政策。《太仓日报》公布安全隐患举报电话，全年共收到群众举报 40 多起，分别进行查处或交有关职能部门督办。

十、价格管理

1986 ～ 2005 年，境内物价经历了一个由计划价格向市场价格转变的过程。物价管理由权限高度集中向分级管理，再向生产经营企业自行定价逐步过渡，初步建立起市场形成价格机制。价格管理形式从政府定价一种，发展到政府定价、政府指导价、市场调节价多种形式并存。20 年中，境内物价随国家经济形势虽时有起伏，但总体上基本稳定。

价格体制改革

1984 年起，太仓机械产品按国家要求试行按质论价、分等定价的新政策。生产资料价格开始实行“双轨制”（一方面继续提高计划内生产资料价格，另

一方面放开计划外生产资料价格)。同时大规模放开农副产品价格。1986年8月,放开自行车、黑白电视机、电冰箱等7种工业消费品价格。11月,放开包括日用杂品等24个大类749种小商品的价格。生产资料价格放开后,市场一度出现混乱。1988年,全县市场物价指数由上年的109.7升至128.3。为有效遏制物价水平上涨,太仓县加强对放开后的价格间接管理。1989年,全县试行乡镇分片价格管理,先后在沙溪、浏河建立物价管理站,各配管理人员3人,协助物价局管理、监督所辖乡镇的物价工作。同年,各乡镇建立个体经济管理办公室,设物价管理员1人,宣传物价政策法规,协助物价局管理、监督本乡镇范围内的个体、私营企业的物价工作。1991年,授权工作范围扩至乡镇企业的流通单位。1992年,太仓县成立职工物价监督站,从各企业抽调责任心强、热心物价工作的职工30余人参加,协助物价检查所开展对农贸市场、零售企业的物价监督。通过价格管理使物价指数逐年回落,1991年、1992年全县价格指数分别为108.8和103.8。

1993年,实行企业定价资格认可制度,规定企业内部必须有价格管理制度、配备物价员,才能制定(调整)本企业的产(商)品价格。1995年起,对服务、饮食等行业实行等级管理,不同等级的企业实行相应等级的价格或毛利率。同年9月,对猪肉价格实行差率管理。规定白肉以收购价为基础,按1∶1.62的毛白差计算统货零售价;批发企业在零售价基础上倒扣不超过10%计价;外采猪肉按实际进价加12%进零差率制定统货零售价。并对主要商品和服务价格规定暴利界限。1996年,实施改革黄金饰品定价管理办法。由市物价局、人行太仓支行、商业局等部门组成行业管理小组,推行黄金饰品以克重为计价单位、金价与加工费分离计价办法。同年,改革小公共汽车收费办法,两条市区环城线实行一票制,每次2元;乡镇之间就近上下的招手车,每人每千米为0.16元,计价段由5千米改为6千米,并实行1元起价、1元进级。经营者可视实际情况下浮。1998年,贯彻原油、成品油价格改革方案。同年5月1日,《中华人民共和国价格法》颁布实施,以经济手段为主,综合运用法律、行政、舆论、群众监督等间接调控物价的新的价格调控体系逐步形成并得到加强。1999年,电价改革,实行农村统一销售分类电价。农村用电取消计划内外、基数内外两种价格和在抄见电量外加收损耗的做法,实行“一县一价”,电量、电价、电费“三

公开”制度。全市农村公用变(1千伏以下)统一销售到户,电价平均水平每千瓦时为居民生活照明0.57元,其他照明0.945元,非普工业0.791元,农业生产0.564元。

2000年,太仓市物价局建立价格举报中心。同年,正式推行企业交费登记制度。交费登记卡由物价局、监察局免费发放,并负责监督、查验。企业支付各类行政事业性收费时,由收费当事人填写。2001年,实施收费公示制度。要求各收费单位必须在交费场所醒目位置设置收费公示栏(牌),标明本单位的收费项目、计费单位、收费标准、收费范围、对象、监督电话及批准收费机关的文件号。2002年6月,市物价局内部建立价格违法案件审理制度和价格审议制度,设立相应的审理、审议委员会。2003年4月20日起,对防治“非典”的药品和口罩、消杀剂等相关商品采取限价、差率管理等价格干预措施,至6月10日解除价格干预措施。同年11月10日,全市计划内居民生活用瓶装液化气价格与市场价格实施并轨,取消计划内价格。2005年12月,贯彻全省工商业水电气价格实行并轨的精神,取消商业服务业用水、用气价格分类,按工业类用水、用电价格执行。取消商业照明类用电价格,改按其他照明类用电价格执行。次年1月1日起执行。

价　格

【工业品价格】

日用工业消费品价格　1988年,江苏省下放价格管理权限,太仓县管理的工业品由45种增至86种,其中57种下放到企业。同时,适当扩大纺织品价格浮动幅度,13种名烟名酒价格实行市场调节,适当提高部分高、中档卷烟价格。1989～1992年,进一步放开价格,扩大市场调节比重。放开食糖价格,搪瓷面盆、口杯、卷烟的批发和零售价格及粗纺和精纺呢织品价格,实行市场调节。至1992年10月,除盐和少部分药品外,大部分日用轻工业品价格全部放开。1994年,对彩电、电冰箱、洗衣机等部分家电实行差率管理,最高进零差率为12%～15%。1996年,食品零售价格由省级物价部门确定,并适度调整批零差率及销售价格。至1997年,日用工业消费品价格放开,实行市场调节价。

工业生产资料价格 1984年起,工业生产资料价格以“放”为主,“放”“调”结合,实行“双轨制”。1987年10月至12月,经济过热,许多重要原材料供求矛盾加剧,生产资料价格上涨。1988年,对计划外重要生产资料如铝锭、钢材等黑色、有色金属执行全国统一最高限价管理,即限出厂价格又限销售价格。1989年1月,对达到国际标准的地产水泥实行10%优质加价。1990年11月,提高计划内煤炭价格。1991年1月至3月,提高成品油、钢铁的价格,10月至12月调高统配水泥、钢材价格,放开指导性计划煤、部分化工产品、统配玻璃、部分优质钢材和大部分机电产品价格。1993年,放开钢铁产品、统配煤价格。1994年,统一调整电力、煤炭价格,计划内、外成品油价格并轨。生产资料“双轨制”基本结束,初步建立起市场为主体的价格形成机制。1998年6月,成品油价格实行政府指导价,由石油集团和石化集团在5%浮动幅度内制定统一价格,全省一价,统一配送。

农业生产资料价格 1988年,农业生产资料价格大幅上涨,太仓县对化肥、农药、农膜实行专营,由物价部门根据加权进货成本制定综合零售价格。同年4月、8月连续调整地产碳酸氢胺出厂价和零售价,地产碳酸氢胺(一级品,下同)出厂价从每吨169元调至每吨220元,零售价从每吨185元调至每吨240元,高压聚乙烯农用薄膜每吨零售价格调整为5790元,高压聚乙烯农用地膜每吨零售价格调整为6250元。1989年,地产碳酸氢胺出厂价调至每吨260元,零售价调至每吨280元,高压聚乙烯农用薄膜每吨综合零售价格调整为8000元,高压聚乙烯农用地膜每吨零售价格调整为7400元。1990年,地产碳酸氢胺出厂价调至每吨275元,零售价调至每吨300元,同年8月每吨磷肥提高零售价格20元。1991年10月,为保持农业生产资料价格的基本稳定,对部分常用计划外化肥、农药(除“省统一零售价”的品种)、农膜试行全县统一综合零售价,综合零售价由县物价局、供销合作总社、农资公司在分批作价的基础上,根据保本微利的原则制定。各基层经营单位自行外购的化肥、农药、农膜必须执行统一综合零售价格并报主管部门备案。

1993年1月起,放开计划外农用生产资料价格,实行企业自主定价。同年2月,为防止价格暴涨,对化肥、农药、农膜、农用柴油实行最高限价。1994年,地产复合肥出厂价调至每吨680元,零售价调至每吨740元;地产碳酸氢胺出厂价调至每吨420元,零售价调至每吨480元。同年5月,改革化肥价格管理办法,改为

省级规定出厂中准价（浮动价格的基准价格和商品代表品的价格，下同）和浮动幅度，化肥的调拨价格和零售价格实行经营差率或利润率控制。1995 年，对农膜价格实行指导价格管理，允许企业在 8% 幅度内上下浮动，高压聚乙烯农用薄膜零售价格调整为每吨 9990 元，高压聚乙烯农用地膜零售价格调整为每吨 9125 元。同年 3 月，地产碳酸氢胺出厂价调至每吨 490 元，零售价调至每吨 550 元。7 月，对敌敌畏等 9 种省管农药的中准出厂价实行省定价，农药零售价格实行差率管理，在出厂价或进价基础上加合理运杂费，再加 9% 综合差率。综合差率的分配，市农资公司 3.5%，基层供销社 5.5%。1996 年，对化肥调拨、零售实行综合作价，按不同渠道购入的化肥，分品种制定综合市场零售价格。1997 年 3 月，农药实施分级管理，农药零售价实行经营差率和价格水平双重控制的办法进行管理。1999 年 3 月，国产农膜由国家定价改为国家指导价，销售价实行差率管理，进一步深化化肥价格管理办法，化肥出厂价格实行政府指导价，放开化肥的零售价格。2004 年 4 月，化肥出厂价格实行上限控制，对化肥批发、零售价格实行差率和价格控制，企业经营化肥从出厂到零售的综合经营差率每批次最高不超过 7%。

【农产品价格】

副食品价格 1988 年，提高猪肉、鸡蛋、蔬菜、食糖等主要副食品价格，对职工发放副食品价格补贴。太仓白蒜收购价格提高至每千克 0.4 元。1989 年，生猪收购价格不低于每 50 千克 210 元，同年放开部分副食品价格，包括水产品类、干果类、炒货类等 9 个大类 136 种商品。1993 年，平价粮食复制品、副产品价格与粮价同步放开。1995 年，为保证粮食供应，稳定粮价，全市城镇居民凭粮油供应证，每人每月供应 7.5 千克特等粳米、2.5 千克面粉、2.5 千克精洁米，分别按国家定价每千克 2.08 元、每千克 2.02 元、每千克 2.4 元结算。1993 ～ 1995 年，对猪肉、鸡蛋价格实行差率管理，对大宗蔬菜组织同行议价。1998 年起，副食品价格随行就市，由购销双方面议。

粮油价格 1988 年，地产粮油定购价为：红小麦每 50 千克 23.5 元，粳稻每 50 千克 20.75 元，二级菜籽油每 50 千克 148.4 元，议购粳稻每 50 千克 38 元。为鼓励农民多卖议价稻谷，县政府决定，每收购 50 千克议价稻谷，奖售平价标准化肥 12.1 千克。1989 ～ 1990 年，连续提高定议购粮油价格，红小麦每 50 千克定购价

25元、议购价40元,粳稻每50千克定购价26.8元,油菜籽每50千克定购价70.4元、议购价80元。1992年3月,继续提高粮食定购价格,红小麦每50千克31元,粳稻每50千克31.8元,同时提高粮食统销价格。1993年4月1日起,全省取消粮、油定购任务,收购价格放开,对定量、定统销供应的粮油价格放开,不再使用粮油券(军用粮票、油票除外),粮食收购保护价为每50千克中等质量标准红小麦31元,晚粳稻31.8元。1994年,省定小麦收购价为每50千克中等质量标准红小麦51元,油菜籽120元。1996年起,粮食定购价格执行省政府定价。1997年,粮食市场价格下跌,市场价低于国家定价,只执行省定的粮食收购保护价,敞开议价收购农民手中的余粮。1998年5月,实施粮食流通体制改革,进一步完善粮食价格市场形成机制,执行顺价销售。2000年,红小麦、粳稻等退出保护价收购。2001年起,执行按保护价敞开收购。

棉花价格 1988年,以发放生产扶持费的形式对棉花生产实行加价鼓励。1989年,两次提高收购价至每50千克标准级(327)皮辊棉236.42元。1991年,在收购价每50千克300元的基础上,发放生产扶持费30元。1992年起,棉花供不应求,连续大幅度提高棉花收购价格,但继续实行国家统一定价。1994年,每50千克标准级(327)皮辊棉收购价提高至500元,对棉农给予价外奖励每50千克44元。1995年,每50千克标准级(327)皮辊棉收购价提高至700元,至1996年,并未放开棉花市场。之后,棉花市场疲软,收购价格由政府统一定价改为政府指导下的浮动价,供应价格由政府定价改为市场调节价。1998年,棉花收购价格为每50千克650元。1999年起,放开棉花收购价格,由购销双方协商定价。

蚕茧价格 1988年,由于国际市场蚕茧价格大幅度上涨,导致蚕茧抬价抢购,市场混乱。同年,江苏省规定秋茧价格每50千克350元,实际蚕茧收购平均价每50千克570元。1989年,国家实行"以干壳量计价",中准级(9.2克干壳量)每50千克最高限价480元。1991年,国际蚕茧市场产大于销,为防止蚕茧生产大起大落,境内收购价格保持相对稳定。1995年,蚕茧收购价由国家管理改为国家指导下的省级政府定价。1998年,秋茧收购起,全市的蚕茧收购,每年分两季,执行江苏省统一收购价和相应浮动率。2001年,春茧、秋茧收购价最高,每50千克分别为780元、750元。2005年,春茧、秋茧的收购价均为每50千克730元。

1998～2005年太仓市蚕茧收购价格表

表 241

年份	春茧(元/50千克)	秋茧(元/50千克)	允许浮动幅度(%)
1998	—	680	—
1999	640	630	—
2000	690	730	—
2001	780	750	10
2002	680	600	10
2003	600	650	15
2004	680	680	15
2005	730	730	20

农作物种子价格 1991 年 8 月，太仓根据江苏省统一规定，明确常规水稻、小麦、棉花、油料作物种子实行指导价格管理，城区供应价 =（收购价格 + 直接费用）×（1+ 综合差率），乡镇零售价 =（供应价 + 运杂费）×（1+ 综合差率）。综合差率，县为 15%，乡镇为 5%。新品种试销价格，按不超过同类作物种子的 2 倍掌握，试销期限为 2 年。1992 年 10 月，县销售常规种子的综合差率不超过 18%，乡镇经营的综合差率不超过 10%。2001 年 4 月，贯彻《江苏省农作物种子价格管理办法》，列入政府价格管理范围的农作物种子为水稻、小麦和棉花种子，批发价格 =（收购或购进价格 + 直接费用）×（1+ 综合差率）+ 包衣费 + 销售包装费 + 检验检疫费，零售价格 =（批发价格 + 运杂费）×（1+ 综合差率）。综合差率批发不超过 20%，零售不超过 15%。新品种的试销价格，按不超过同类作物种子的 3 倍掌握，试销期限为 3 年。

【商品房价格】

1991 年 11 月，太仓县规定商品住宅房屋价格实行国家指导价管理。1993 年 12 月，实施商品房价格分类管理，向社会公开发售的普通住宅商品房价格实行国家定价并具体规定成本构成，高标准住宅（指豪华、别墅式）商品房价格实行市场调节价。1994 年 1 月，苏州建设房屋开发公司太仓分公司开发的桃园新村的销售

价格为每平方米822元。1998年,普通住宅均价每平方米969元,2002年涨至每平方米1385元。2003年,制定《太仓市商品房价格管理实施细则》,明确商品房价格必须实行明码标价制度和“一价清”制度。2004年,普通住宅均价每平方米2112元,2005年涨至每平方米3300元。

【药品价格】

1986年12月,太仓县中药材收购价格实行国家指导价和议价两种形式,中药材销售价格继续实行产地县、销地县(市)批发、零售价格和二级站内部供应价格3种形式。1989年,加强药品价格管理和监督检查,改进和完善医药新产品的价格管理,整顿流通环节。1990年,制定医药商品的价格分级管理目录,国家医药管理局管理的价格目录共88种类,省医药管理局管理的价格目录共145种类,县管价格目录共33种类。1996年8月,贯彻国家对垄断性药品、少数临床应用面广量大的基本治疗药品、一类精神药品、一类麻醉药品和避孕药具等特殊药品实行政府定价制。2000年8月,调整药品价格管理形式,对纳入国家基本医疗保险目录的药品及少量特殊药品实行政府定价,其他药品价格由市场调节,生产经营者自主定价。2002年7月,制定《太仓市医药流通单位价格行为规则(试行)》,规范医药流通单位价格行为。2005年7月,实施国家发改委定价药品目录,完善药品价格政策。

2002年药价检查

收　费

【行政事业性收费】

1989年起,太仓行政事业性收费实行“江苏省收费许可证”制度。凡行政事

业性收费的单位，必须经审批领取“江苏省收费许可证”和“江苏省收费员证”，使用财政部门制发的票据，且由物价、财政部门每年对其进行年审。同年，开展行政事业性收费清理整顿工作，对各部门、各乡镇共286项收费项目逐项审定，其中20项不合法收费被取消。1992～1994年，对市（县）工商局、国土局等45个单位或部门分3批审定行政事业性收费项目，公布收费项目359项。1998年起，开展行政事业性收费治乱减负工作，严格遵照国家、江苏省和苏州市公布目录，取消不符合规定的收费、罚款、集资、基金和各种摊派，并向社会公布，降低收费标准，合并重复收费，保留项目按照管理权限从严重新审批。2000年起，行政事业性收费改用全国统一的“收费许可证”。1998～2005年，全市合计取消收费项目308项、降低收费标准137项、合并重复收费10项，合计减轻企业和社会各方面负担2.95亿元。

【经营服务性收费】

1989年，县物价局公布电视机、收录机等修理费收费标准。1991年起，经营服务性收费实行分级管理，“铁路客货运价”“电信资费”等10项收费由国务院有关部门管理，“公路客货运价”“货物装卸收费”等22项收费由江苏省管理，“度量衡器修理收费”“农公车客运价”等64项收费由苏州市管理，“园林门票价”“理发业收费”等33项收费由太仓县管理。同年，对全县125个宾馆（旅馆）、招待所核定收费标准。发放理发行业价目表，男子洗、理、修、吹全套1.6元，女子剪、洗、吹全套2元。1994年，对全市32个歌舞厅按不同等级分别核定门票价格。1995年，男子理发全套调至7元，女子调至9元。2002年，实行行政审批制度改革，全市管理的经营服务性收费有“停车场收费”“殡葬服务收费”等13项。

1992～2005年太仓市（县）居民有线电视收费标准表

表242

项目	1992年	1993～1994年	1995年	1996～2001年	2002～2005年
入网费	每户250元	每终端300元	每户300元	每户300元	每户300元
安装材料费	—	—	每终端150元	每终端150元	每终端150元
收视维护费	每月4元	每月4元	每月8元	每月13元	每月12元

【教育医疗收费】

1986年,县教育、卫生部门按县物价部门要求,制定收费标准。至2005年,托儿所、幼儿园收费标准调整7次,小学、初中、高中收费标准调整9次。医疗项目和部分医疗手术费收费标准分别调整2次和4次。

1986～2005年太仓市(县)托儿所幼儿园收费标准表

表243

年份	托儿所	幼儿园	附注
1986～1988	集体办1周岁以上每月保育费3.5元，管理费7元 集体办1周岁以下每月保育费4元，管理费8元	杂费每学期2元 保育费三大镇每月2.5元，其他乡2元 管理费三大镇每月3元，其他乡2.5元	“三大镇”指城厢镇、沙溪镇、浏河镇
1989～1991	杂费每学期5元 保育费每月8元 管理费每月公办15元、民办20元	杂费每学期5元 保育费一、二、三类园分别为每月公办11元、8元、6元,民办10元、8元、6元 管理费每月公办15元、民办20元	1989年实验小学幼儿园按一类园标准，三大镇及茜泾中心幼儿园按二类园，其余乡镇按三类园标准收取
1992	杂费每学期5元 托费每月5元, 管理费18个月内每月35元,42个月内每月30元	杂费每学期5元 保育费一、二、三类园分别为每月公办11元、8元、6元,民办10元、8元、6元 管理费每月公办15元、民办20元	—
1993	杂费每学期10元 托费每月20元, 管理费18个月内每月30元,42个月内每月25元	杂费每学期15元, 保育费一、二、三类园分别为每月30元、26元、20元 管理费公办每月20元、民办25元	—
1994～1995	杂费每学期30元 管理费每月40元 托费18个月内每月50元,36个月内每月40元	杂费每学期30元, 保育费一、二、三类园分别为每月50元、40元、30元 管理费公办每月35元、民办40元	—

续表 243

年份	托儿所	幼儿园	附注
1996 ~ 1997	杂费每学期 40 元 管理费每月 55 元 托费 18 个月内每月 64 元,36 个月内每月 54 元	杂费每学期 40 元, 保育费一、二、三类园分别为每月 64 元、50 元、40 元 管理费公办每月 45 元、民办 55 元	—
1998 ~ 2000	杂费每学期 50 元 管理费每月 60 元 托费 18 个月内每月 70 元,36 个月内每月 60 元	杂费每学期 50 元, 保育费和管理费合计:省示范园、市现代化园、一、二、三类园分别为每月公办 160 元、140 元、120 元、105 元、95 元,民办 180 元、155 元、130 元、115 元、105 元	—
2001 ~ 2005	杂费每学期 70 元 管理费按示范所、一类所、合格所分别为每月 80 元、70 元、60 元 保育费按示范所、一类所、合格所分别为每月 100 元、80 元、65 元	杂费每学期 70 元, 保育费和管理费合计:省示范园、市现代化园、一、二、三类园分别为每月公办 180 元、160 元、140 元、120 元、110 元,集体办 200 元、180 元、160 元、140 元、130 元	收费标准执行到 2005 年

1986～2005年太仓市(县)中小学每学期收费标准表

表 244

年份	小学	初中	高　中	
			一般高中	省重点高中
1986 ~ 1987	杂费高年级 5 元,中年级 4 元,低年级 3 元	杂费 8 元	学杂费 9 元	—
1988	杂费高年级 15 元,中年级 12 元,低年级 10 元(县定标准,1989 年纠正) 代办费 15 ~ 20 元	杂费 20 元(县定标准,1989 年纠正) 代办费 20 ~ 25 元	学杂费 40 元(县定标准,1989 年纠正) 代办费 25 ~ 30 元	—
1989	杂费高年级 9 元,中年级 7 元,低年级 5 元 代办费 15 ~ 20 元	杂费 13 元 住宿费 20 元 代办费 20 ~ 25 元	学杂费 16 元 住宿费 20 元 代办费 25 ~ 30 元	学杂费 19 元 住宿费 20 元 代办费 25 ~ 30 元

续表 244

年份	小学	初中	高　中	
			一般高中	省重点高中
1990～1991	杂费高年级 9 元，中年级 7 元，低年级 5 元 代办费 15～20 元	杂费 13 元 住宿费 20 元 代办费 20～25 元	学杂费 20 元， 住宿费 20 元 代办费 25～30 元	学杂费 24 元 住宿费 20 元 代办费 25～30 元
1992～1993	杂费 14 元 代办费 15～20 元 代收费 10 元	杂费 22 元 住宿费 20 元 代办费 20～25 元 代收费 15 元	学杂费 70 元， 代办费 25～30 元 代收费 20 元	学杂费上浮 20% 代办费 25～30 元 代收费 20 元
1994～1995	杂费 30 元 代办费 60 元	杂费 50 元 住宿费 30 元 代办费 70 元	学杂费 100 元， 自费生培养费 500 元，(另收学杂费) 住宿费 30 元 代办费 100 元	学杂费 200 元 自费生培养费 650 元，(另收学杂费) 住宿费 30 元 代办费 100 元
1996～1997	杂费 40 元 代办费 90 元	杂费 65 元 住宿费 45 元 代办费 120 元	学杂费 150 元， 自费生培养费 650 元(不另收学杂费) 住宿费 45 元 代办费 120 元	学杂费 260 元 自费生培养费 900 元(不另收学杂费) 住宿费 45 元 代办费 120 元
1998～1999	杂费 50 元 代办费 120 元	杂费 80 元 住宿费普通 60 元，公寓式 100 元 代办费 150 元	学杂费 170 元， 自费生培养费 650 元(不另收学杂费) 住宿费普通 60 元， 公寓式 100 元 代办费 200 元	学杂费 300 元 自费生培养费 900 元(不另收学杂费) 住宿费普通 60 元， 公寓式 100 元 代办费 200 元
2000～2004	杂费 70 元 代办费 120 元 代管费 80 元	杂费 100 元 住宿费普通 100 元，公寓式 200 元 代办费 220 元 代管费 80 元	高中实行并轨，学杂费 500 元 住宿费普通 100 元，公寓式 200 元 代办费 220 元 代管费 80 元	学杂费市重点 650 元、省重点 850 元 住宿费普通 100 元，公寓式 200 元 代办费 220 元 代管费 80 元
2005	杂费 90 元 课本费 44～77 元 作业本费 11～14 元 讲义费 8 元 信息技术教育费 20 元 社会实践活动费 100 元	杂费 130 元 住宿费普通 100 元，公寓式 200～350 元 课本费 88～110 元 作业本费 11 元 讲义费 15 元 信息技术教育费 30 元 社会实践活动费 120 元	无一般高中	学杂费 850 元 住宿费普通 100 元，公寓式 200～500 元 代办费 220 元 代管费 80 元 讲义费 30～60 元 信息技术教育费 40 元 社会实践活动费 130 元

1986～2005年太仓市(县)部分医疗项目收费标准表

表 245　　单位：元／次

项　目	1986 ～ 1996 年		1997 ～ 2004 年	2005 年
	自费	公费（劳保）		
挂号费	0.15	0.25	0.8 加诊疗费 1.5 ～ 2	0.8 加诊查费 1.5 ～ 3
普通床位费	1.1 ～ 1.5	2.5	一等 10 二等 8 三等 5	一等 40 ～ 50 二等 30 ～ 35 三等 17 ～ 25 四等 12 ～ 15 五等 6 ～ 8
简易床位费	0.6 ～ 0.8	1.5	—	—
肌肉注射	0.05	0.05	0.6	0.6
静脉注射	0.1	0.1	1.6	1.6
静脉输液	0.3	0.3	2 （不含一次性材料费）	6 （含一次性材料费，门诊第二瓶起、住院第四瓶起每瓶加收 1 元）
换药费（小）	0.2	0.2	2	5
胸部透视	0.5	0.5	2	5
摄片 (8×10)	3	3	12	12
普通 B 超	国产 5 进口 15	国产 5 进口 15	15	30
心电图	3	3	20（三导）	15（三导）
脑电图 16 支笔	8	8	30	30
纤维胃镜检查	20	20	60	80
支气管麻醉	单侧 15 双侧 20	单侧 15 双侧 20	单侧 40 双侧 50	230 ～ 316

1986～2005年太仓市(县)部分医疗手术费收费标准表

表 246　　单位：元／次

项　目	1986～1992年	1993～1996年	1997～2000年	2001～2004年	2005年
全胃切除术	30	180	360	470	770～1104

续表 246

项　目	1986～1992年	1993～1996年	1997～2000年	2001～2004年	2005年
阑尾切除术	自费10 公费15	80	160	160	320～460
开胸探查术	25	150	300	390	640～920
颈椎间盘切除术	—	240	480	620	990～1426
子宫肌瘤剔除术(剖腹)	25	80	160	160	510～736
腹式子宫全切除术	30	180	360	470	580～828
平产接生	6	40	80	80	260～368
难产接生	12	—	—	—	510～736
剖腹产	自费18 公费22	120	240	310	580～828

注：2005 年 10 月起执行的医疗收费标准中，不同级别医院执行不同的手术费收费标准，且医疗机构可根据情况在 15% 的幅度内上下浮动

监督检查

【全国性物价检查】

1988 年，按国务院统一部署开展全国性物价检查，共查出价格违法案件 287 件，实行经济制裁 71.67 万元，其中没收非法所得 70.05 万元，退还用户 1.62 万元。1992 年，重点检查企业定价权落实情况，整顿市场价格秩序和治理乱收费。1993 年，重点检查国务院减轻农民负担有关政策的落实情况和国家定价商品价格及收费标准执行情况。1994 年，共查出价格违法案件 594 起，实行经济制裁 79.2 万元，其中没收非法所得 74.65 万元，罚款 3.27 万元，退还用户 1.28 万元。1995 ～ 1996 年，对人民生活必需品，特别是主、副食品及棉花、电力价格进行检查。之后，未开展全国性物价检查。

【收费检查】

1992 年，开展计划生育、教育、城建、医疗等收费检查。1993 ～ 1995 年，开展水利、农机、土地、医疗卫生、公安、客运、有线电视、税务等收费检查。1996 ～ 1999 年，重点开展土地、招生办、律师事务、教育、交通、建设管理等收费检查，改善投资

环境，减轻企业和群众负担。1999 年 9 月，检查 22 个乡镇交管所收费情况，没收乱收费款 18 万元。2000 年起，检查全市各类收费情况，同时针对教育、医疗收费两大社会热点问题，开展专项整治。2003 年，检查 12 家医疗卫生单位收费情况，没收违法所得 36.7 万元。至 2005 年，先后检查劳动、土地、公安、交通、规划建设、渔政等收费情况。

【行业价格监管】

1986 ～ 1990 年，专项整顿农业生产资料价格，对计划外尿素、复合肥、农膜和非省管农药等近 20 种农业生产资料商品降价，实行全县一价。对超差率经销化工原料商品和同城转手加价销售等物资实施价格干预。1991 ～ 1998 年，检查农业生产资料、电力、商品房、汽车修理、公墓等行业价格。1999 年，清理电信行业历年收取的电话预存款，退还消费者电话预存款 595 万元。2000 ～ 2005 年，检查农业生产资料、药品、成品油、商品房价格。

【市场专项监督】

1988 年，跟踪检查猪肉、副食品市场价格。1991 年，洪涝灾害期间，重点检查市场粮、油价格。1998 年，粮食购销体制改革，监督检查粮食顺价销售情况。2003 年，防治“非典”期间，检查价费优惠政策落实情况。2004 年，督查“禽流感”防治品市场价格。对市场监督检查中查出的问题，均按相关法规及时作出处理。另外，每年的元旦、春节、五一、国庆，均开展节日市场检查。

1986～2005年太仓市（县）查处价格违法案件情况表

表 247

年份	查处违法案件数（件）	查处违法所得金额（万元）	经济制裁金额（万元）				上缴财政金额（万元）
			合计	退款	没收	罚款	
1986	64	11.74	11.74	0.74	11.00	—	11.00
1987	39	13.38	13.53	0.47	12.91	0.15	13.06
1988	287	71.67	71.67	1.62	70.05	—	70.05
1989	39	19.99	19.99	0.04	19.95	—	19.95

续表 247

年份	查处违法案件数(件)	查处违法所得金额(万元)	经济制裁金额(万元)				上缴财政金额(万元)
			合计	退款	没收	罚款	
1990	74	43.03	43.84	—	43.03	0.81	43.84
1991	82	24.73	24.74	—	24.73	0.01	24.74
1992	123	66.25	66.25	—	66.25	—	66.25
1993	33	17.77	18.87	4.15	13.62	1.10	14.72
1994	594	75.93	79.20	1.28	74.65	3.27	77.92
1995	211	126.73	128.78	4.98	121.75	2.05	123.80
1996	468	226.67	236.45	56.22	170.45	9.78	180.23
1997	174	74.47	76.30	1.05	73.42	1.83	75.25
1998	85	107.44	109.21	12.08	95.36	1.77	97.13
1999	67	685.33	690.46	616.79	68.54	5.13	73.67
2000	62	95.13	97.71	13.68	81.45	2.58	84.03
2001	57	77.57	79.03	17.36	60.21	1.46	61.67
2002	38	42.88	44.70	0.36	42.52	1.82	44.34
2003	42	73.56	76.28	3.68	69.88	2.72	72.60
2004	30	88.71	88.73	13.58	75.13	0.02	75.15
2005	33	27.28	27.85	2.31	24.97	0.57	25.54
合 计	2602	1970.26	2005.33	750.39	1219.87	35.07	1254.94

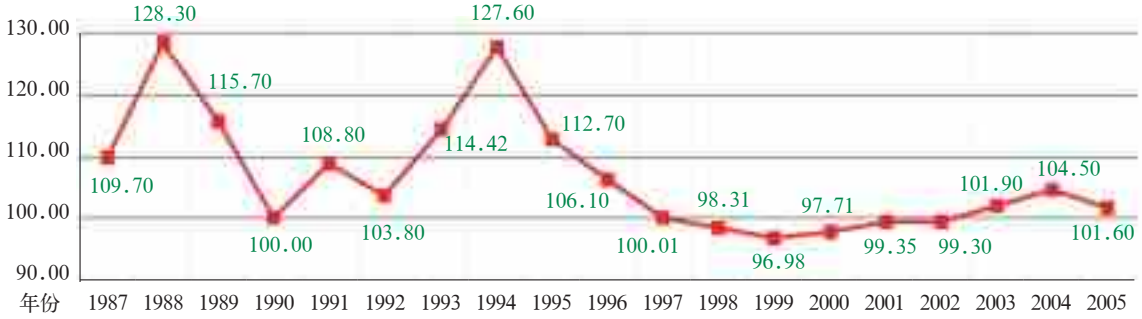


图 29　1987 ～ 2005 年太仓市（县）居民消费价格指数(CPI)统计图

2005年太仓市居民消费价格指数

表 248

类别	平均指数
居民消费价格总指数	101.6
食品类	100.5
烟酒	106.7
衣着	98.9
家庭设备及用品	102.3
医疗保健和个人用品	101.1
交通和通讯	100.3
娱乐教育文化用品及服务	104.2
居住类	101.6

2005年年末太仓市部分商品(服务)价格表

表 249

品名	规格等级	计价单位	价格(元)
面粉	特二	千克	3.00
粳米	特等	千克	3.16
菜油	二级	千克	6.16
猪肉	去骨腿肉	千克	15.30
鸡	活草鸡	千克	11.10
鸡蛋	新鲜洋鸡蛋	千克	6.40
带鱼	每条250克以下	千克	16.00
鲫鱼	每条400克左右	千克	10.66
河虾	中等鲜活	千克	44.00
大白菜	鲜统	千克	1.50
青菜	鲜统	千克	1.90
黄瓜	鲜统	千克	3.87
萝卜	鲜统	千克	2.10

续表 249

品名	规格等级	计价单位	价格(元)
豆腐	水豆腐	千克	1.40
食盐	粉精盐袋装500克	袋	1.30
食糖	白砂	千克	4.40
卷烟	红塔山	盒	7.00
绿茶	一级	千克	48.00
苹果	一级	千克	3.50
梨	一级	千克	2.13
柑橘	一级	千克	2.43
香蕉	一级	千克	4.00
饼干	太平苏打每袋440克	千克	8.90
奶粉	光明400克袋装	袋	14.50
肉包子	50克	个	0.50
鲜肉大馄饨	150克	碗	3.00
大排面	150克	碗	3.50
洗衣机	小天鹅全自动	台	1015.00
电冰箱	双门186升	台	1650.00
毛毯	纯毛2.8千克	条	960.00
床单	纯棉双人	条	74.00
灯泡	220伏40瓦	个	1.80
金饰品	铂金PT900	克	292.00
板蓝根冲剂	每盒10袋	盒	4.50
胃药	三九胃泰	盒	9.90
青霉素	80万单位针剂	支	0.50
摩托车	重庆CY80	辆	5500.00

续表 249

品名	规格等级	计价单位	价格(元)
地方报纸	太仓日报	份	0.50
电视报	苏州广播电视报	份	1.00
砖头	85砖	块	0.17
水泥	425号普通	袋	14.00
木材	花旗松板材5×20厘米以上	立方米	980.00
自来水	民用	立方米	2.05
电	民用直供	千瓦时	0.52
液化气	民用15千克	罐	79.00
仔猪	头重10～15千克	千克	9.00
尿素	含氮46%	吨	1940.00
农用柴油	0号	千克	4.01
农用塑料薄膜	聚乙烯	千克	14.00
市内电话费	住宅	次	0.20
长途电话费	太仓—南京	分钟	0.80
平信邮寄	市外	封	0.80
长途汽车费	—	人千米	0.20
出租汽车费	起步价	3千米	8.00
理发	男子一级全套	次	7.00
洗浴	普通男子大池	次	5.00
学杂费	初中	每学期每生	130.00
幼托费	中班日托	每月每生	110.00
挂号费	乡镇医院普通门诊	次	3.80
注射费	肌肉注射	次	0.60
手术费	阑尾切除	次	320.00
住院费	二等病房	每日每床	35.00

十一、审计监督

审计监督体系由国家审计、内部审计和社会审计三部分构成,以国家审计为主体。1986 ～ 2005 年,太仓审计机关通过对财税、金融、行政企事业单位、固定资产投资等方面 1225 个项目的审计,查出违规违纪金额 5.5 亿元,直接增加财政收入 9728 万元。

国家审计

【本级预算执行审计】

1995 年 1 月 1 日起,施行的《中华人民共和国审计法》,赋予审计机关对本级预算执行情况审计(简称“同级审”)的职责。1996 年起,太仓每年历时三四个月实施“同级审”,审计对象以财政、地税、金库为主,审计重点为预算执行和财政重大收支,并选择部分专项基金(资金)、经济建设重点和社会关注热点作为配套审计。同时,每年的“同级审”工作报告通过分析研究财政收支、税收征管、专项(基金)资金管理等领域存在的问题,提出有针对性的建议对策,给市政府、市人大常委会加强预算管理监督提供依据。2002 年起,计算机辅助审计引入“同级审”领域。2005 年,应用“金审工程系统——现场审计实施软件”,提高审计效率和质量。至年末,“同级审”查出违规金额 1.8 亿元,直接增加财政收入 5800 万元。

【乡镇财政决算审计】

1986 年,对沙溪、璜泾、陆渡 3 个乡开展财政审计调查。1988 年,对新毛乡实施财政决算审计,之后乡镇审计范围不断扩大,逐步按照 3 年轮审一次的要求安排计划,至 2005 年年末,完成乡镇审计 71 项,查出违规金额 4230 万元,直接增加财政收入 680 万元。如在对某镇 2004 年度财政决算审计中,对该年度财政部门为归还集资款拨入某单位的 591.71 万元进行追踪,发现该单位财务主管采取收取集资款、现金支票不入账、支付凭证不真实和重复支付个人集资款等手段,涉嫌挪用公款 41 万元,市审计局及时将审计 3 条疑点线索移交市检察院,经市检察院立案侦察,事实清楚,1 人受到法律制裁。

【金融审计】

1987 年 4 月 21 日，审计工行太仓支行的财务收支，首开金融审计先河。同年对农行太仓支行、建行太仓支行和中国人民保险公司太仓支公司实施审计。至 1997 年，审计重点是财务收支的真实性、合法性。1998 年起，审计重点转为资产、负债、所有者权益的真实性、合法性和财务收支情况。2001 年，审计中国人民保险公司太仓支公司 1999 ～ 2000 年资产负债损益情况，注重检查资产质量、负债结构、赔付能力和经营风险等，查纠其业务经营、财务管理及计算机应用等方面存在的问题。至 2005 年年末，共审计和审计调查 27 个项目。

【企业审计】

本地企业　1984 年 2 月，对太仓铜材厂财务收支实施审计调查。至年末，审计调查太仓酒厂等 5 家国有亏损企业，查出太仓酒厂在企业经营管理等方面存在 7 个问题，针对审计建议，该厂落实 10 项整改措施，企业扭亏为盈。此后随着国有经济布局和结构调整，审计内容由以审查企业财务收支和纠错防弊为主，转变为以审查企业承包经营责任为中心，审计方法由审计调查为主逐步转为审计和审计调查相结合。1997 年 1 月至 2001 年 2 月，先后审计 13 家中外合资合作企业的资产、负债和损益情况。审计表明，中外合资合作企业经营业绩普遍较好，但存在资产负债不实，虚增成本费用等人为调节利润的现象，审计查补各类税费 532 万元、社保基金 109 万元。至 2005 年年末，共对全市 335 家各类企业进行审计和审计调查，查出违规违纪金额 11551 万元，资产不实 12917 万元，盈亏不实 3588 万元。

外地企业　1998 年 1 月，按照江苏省审计厅异地交叉审计的统一部署，太仓市审计组赴高淳县，对该县粮食系统 1996—1997 年度，粮食企业亏损情况和库存情况进行清查。同年 6 月，再次对该县 1992 年 1 月至 1998 年 5 月新增财务挂账和其他不合理占用贷款情况进行清查，查出账面亏损 507 万元，挤占挪用粮油收购资金 2764 万元。审计发现 2 个基层粮管所存在个人经济问题，后移交检察机关立案查处。同期，海安县审计局到太仓，对全市粮食企业的财务情况进行审计。2004 年 9 月，根据江苏省审计厅对全省国有粮食购销企业财务挂账清查审计的步骤和要求，太仓市审计组赴如东县，对该县国有粮食购销企业财务挂账进行清查。在被审计单位自查亏损 2935.22 万元基础上，审定亏损额为 895.31 万元。太仓市审计

组被江苏省审计厅评为全省粮食财务挂账清查审计先进集体。同期,铜山县审计局到太仓,对全市国有粮食购销企业财务挂账进行清查。

【行政事业单位审计】

重点审计财务收支和专项资金(基金)。1985年,首次参与上级审计机关组织对全县粮食部门超购粮加价款、供销部门市场絮棉财政补贴等项收支的审计。2002年,审计全市2001年度企业职工基本养老保险,延伸审计浏河、沙溪两个劳动和社会保障所。审计调查市地税局、财政局对企业职工基本养老基金的征收、管理情况及4个国有、集体企业的缴费情况,将历年外借资金153万元全部收回专户管理,确保基金的安全和完整。2003年,审计全市2002年度教育基金,使留存于各地税分局的1271万元教育基金解缴各镇财政专户,少数部门多年截留的973万元教育基金如数进入市级财政专户。至2005年年末,开展专项资金(基金)审计53项,财务收支审计458项,其中定期审计183项,查出违规金额1.67亿元,偷漏税419万元。

【经济责任审计】

企业领导　1987年2月,县委、县政府转发县委组织部、县审计局关于对厂长(经理)实行任期经济责任审计的试行办法。同年10月,对太仓机械总厂厂长进行离任经济责任审计,作出客观公正、实事求是的评议。2000年11月,市委、市政府出台《太仓市企业领导人员任期经济责任审计实施意见》。至2005年年末,先后对42位企业领导人员进行任期经济责任审计,结果表明,大部分领导人员使企业在其任期内得到发展壮大,资产实现保值增值。小部分企业领导人员未能适应经济发展规律,责任意识不强,管理薄弱,产品单一,滞销压库,经营业绩滑坡,少数企业濒临破产。

党政领导　2000年11月,市委、市政府制定《太仓市党政领导干部任期经济责任审计实施意见》。2001年2月,市纪委、组织部、监察局、人事局、财政局和审计局建立六部门经济责任审计联席会议制度。同年12月,对陆渡、鹿河两镇原党委书记进行任期经济责任审计。至2005年年末,先后对42名党政领导干部进行任期经济责任审计。大部分党政领导干部在任期内认真履行本单位经济责任,在深化各项改革和加强国有资产管理的同时,遵守国家财经法规。小部分单位财政财务

收支、资产管理、资金使用等方面欠规范，重大决策程序缺乏民主性、科学性。所有审计结果均如实提供给组织部门，成为考核评价领导干部的重要依据。

【固定资产投资审计】

2003 年起，突出对政府公共工程的审计监督，其对象是以国有资产或融资为主的基本建设和技术改造项目，对其预算（概算）执行情况及竣工决算实施审计。2004 年，市政府出台《关于太仓市公共工程审计监督的实施意见》，明确市发计委、财政局、规划建设局、监察局等部门根据各自职责协助审计机关开展对公共工程建设项目的审计监督。至 2005 年年末，共审计 102 个项目，核减工程款 9140 万元，查出偷漏税款 108 万元。

【要案审计】

2000 年 1 月 10 日，市审计局抽调 12 人组成审计组，集中于市第一招待所 6 号楼，对浏家港镇马北村一案进行审计。历时 3 个多月，查阅 1151 册账簿、3982 本会计凭证，涉及 57 个单位，时间跨度 10 年。挽回经济损失 800 多万元，收缴违法金额 290 多万元，向有关部门移交 12 个大类 226 条疑点线索。经市纪委和司法机关核实，8 人被移送司法机关处理，纪委立案 3 起，行政立案、党内立案、移送条线立案各 1 起。

2000 年 1 月，“马北专案组”审计人员在核对账目

2002 年 11 月至 2003 年 3 月，对城厢房管所下属房地产开发公司进行转制“回头看”审计调查，发现原经理在转制过程中存在隐匿资产、虚列负债、侵占股权等严重问题，涉案金额 5000 多万元。审计结束后，向市纪委和市检察院移交案件线索 11 条及相关审计证据。2004 年 12 月 8 日，苏州市中级人民法院以贪污罪、挪用公款罪和受贿罪，判处涉案人无期徒刑。1996 ～ 2005 年，共完成交办审计 134 项。

内部审计

1985年,县供销、粮食、商业、物资和经委等5个系统建立内部审计机构,配备7名兼职内部审计人员。1986年,卫生、文教、农业、多管、交通、水利等系统和9个党委(总支)级企业建立内部审计机构,配备25名兼职内部审计人员。此后各乡镇、各部门和国有、集体企业相继建立内部审计机构并配备专兼职内部审计人员。各内部审计机构根据本部门实际,开展财务收支、资金效益、成本效益、营销效益、工程造价、资产负债、经济责任等方面审计,对经济活动的真实性、合法性、效益性实施监督和评价,内部审计工作逐渐制度化、规范化。2005年,市教育局对5名中小学校长进行届中经济责任审计,对学校的财务资产管理、资金使用及有关经济活动作出客观评价,审计结果得到局领导和市相关部门的重视,增强了基层领导的责任意识、自律意识。至年末,全市有内部审计机构68个,专兼职内部审计人员110人。

社会审计

1987年11月23日,设苏州审计事务所太仓县分所。1988年8月10日,更名为太仓县审计事务所。1993年5月19日,增设江苏兴联会计师事务所太仓办事处。1998年4月16日,太仓市审计事务所和江苏兴联会计师事务所太仓办事处合并,更名为江苏太仓兴联会计师事务所。1999年5月,按照国务院关于中介服务机构脱钩改制的精神和《江苏省会计师(审计)事务所脱钩改制实施办法》的要求,市审计局对所属江苏太仓兴联会计师事务所实施脱钩改制,至12月13日,机构撤销。同年,设太仓基建事务所。2001年2月,根据国务院办公厅《关于经济监证类中介机构与政府部门实行脱钩改制意见的通知》要求,对所属太仓基建事务所实施脱钩改制,至8月25日,机构撤销。社会审计机构从建立到脱钩改制撤销的14年间,审计业务范围涉及会计业务咨询、工商验资、基建、绿化、装饰工程审核、资产评估、审计鉴证、会计报表审核等领域,共完成审计项目4100多项。